相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事
（意匠）

意　匠　図　（共通）

図面番号		図　面　名　称
―	―	表紙・図面リスト
1	A-001	【共通】　特記仕様書（１）
2	A-002	【共通】　特記仕様書（２）
3	A-003	【共通】　特記仕様書（３）
4	A-004	【共通】　特記仕様書（４）
5	A-005	【共通】　特記仕様書（５）
6	A-006	【共通】　特記仕様書（６）
7	A-007	【共通】　特記仕様書（７）
8	A-008	【共通】　特記仕様書（８）
9	A-009	【共通】　工事区分表
10	A-010	【共通】　敷地求積図
11	A-011	【共通】　消防本庁(署）棟　1階求積図
12	A-012	【共通】　消防本庁(署）棟　2階求積図
13	A-013	【共通】　消防本庁(署）棟　3階求積図
14	A-014	【共通】　消防本庁(署）棟　建築面積求積図
15	A-015	【共通】　車庫棟　求積図
16	A-016	【共通】　訓練棟　求積図
17	A-017	【共通】　その他　求積図
18	A-018	【共通】　全体配置図
19	A-019	【共通】　付近見取図
20	A-020	【共通】　平均地盤算定図
21	A-021	【共通】　日影図

意　匠　図　（消防本庁(署）棟）

図面番号		図　面　名　称
22	A-101	【消防本庁(署）棟】　仕上表（１）
23	A-102	【消防本庁(署）棟】　仕上表（２）
24	A-103	【消防本庁(署）棟】　仕上表（３）
25	A-104	【消防本庁(署）棟】　ピット平面図
26	A-105	【消防本庁(署）棟】　１階平面図
27	A-106	【消防本庁(署）棟】　２階平面図
28	A-107	【消防本庁(署）棟】　３階平面図
29	A-108	【消防本庁(署）棟】　屋根平面図
30	A-109	【消防本庁(署）棟】　立面図（１）
31	A-110	【消防本庁(署）棟】　立面図（２）
32	A-111	【消防本庁(署）棟】　断面図
33	A-112	【消防本庁(署）棟】　矩計図（１）
34	A-113	【消防本庁(署）棟】　矩計図（２）
35	A-114	【消防本庁(署）棟】　矩計図（３）
36	A-115	【消防本庁(署）棟】　矩計図（４）
37	A-116	【消防本庁(署）棟】　矩計図（５）
38	A-117	【消防本庁(署）棟】　矩計図（６）
39	A-118	【消防本庁(署）棟】　階段室（１）詳細図１
40	A-119	【消防本庁(署）棟】　階段室（１）詳細図２
41	A-120	【消防本庁(署）棟】　階段室（２）詳細図
42	A-121	【消防本庁(署）棟】　屋外階段詳細図
43	A-122	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（１）
44	A-123	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（２）
45	A-124	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（３）
46	A-125	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（４）

意　匠　図　（消防本庁(署）棟）

図面番号		図　面　名　称
47	A-126	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（５）
48	A-127	【消防本庁(署）棟】　1階平面詳細図（６）
49	A-128	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（１）
50	A-129	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（２）
51	A-130	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（３）
52	A-131	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（４）
53	A-132	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（５）
54	A-133	【消防本庁(署）棟】　2階平面詳細図（６）
55	A-134	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（１）
56	A-135	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（２）
57	A-136	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（３）
58	A-137	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（４）
59	A-138	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（５）
60	A-139	【消防本庁(署）棟】　3階平面詳細図（６）
61	A-140	【消防本庁(署）棟】　屋根平面詳細図（１）
62	A-141	【消防本庁(署）棟】　屋根平面詳細図（２）
63	A-142	【消防本庁(署）棟】　屋根平面詳細図（３）
64	A-143	【消防本庁(署）棟】　屋根平面詳細図（４）
65	A-144	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１）
66	A-145	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（２）
67	A-146	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（３）
68	A-147	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（４）
69	A-148	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（５）
70	A-149	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（６）
71	A-150	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（７）
72	A-151	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（８）
73	A-152	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（９）
74	A-153	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１０）
75	A-154	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１１）
76	A-155	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１２）
77	A-156	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１３）
78	A-157	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１４）
79	A-158	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１５）
80	A-159	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１６）
81	A-160	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１７）
82	A-161	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１８）
83	A-162	【消防本庁(署）棟】　1階展開図（１９）
84	A-163	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（１）
85	A-164	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（２）
86	A-165	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（３）
87	A-166	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（４）
88	A-167	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（５）
89	A-168	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（６）
90	A-169	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（７）
91	A-170	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（８）
92	A-171	【消防本庁(署）棟】　2階展開図（９）
93	A-172	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（１）
94	A-173	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（２）
95	A-174	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（３）

意　匠　図　（消防本庁(署）棟）

図面番号		図　面　名　称
96	A-175	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（４）
97	A-176	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（５）
98	A-177	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（６）
99	A-178	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（７）
100	A-179	【消防本庁(署）棟】　3階展開図（８）
101	A-180	【消防本庁(署）棟】　１階天井伏図
102	A-181	【消防本庁(署）棟】　２階天井伏図
103	A-182	【消防本庁(署）棟】　３階天井伏図
104	A-183	【消防本庁(署）棟】　１階建具案内図
105	A-184	【消防本庁(署）棟】　２階建具案内図
106	A-185	【消防本庁(署）棟】　３階建具案内図
107	A-186	【消防本庁(署）棟】　屋根建具案内図
108	A-187	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（１）
109	A-188	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（２）
110	A-189	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（３）
111	A-190	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（４）
112	A-191	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（５）
113	A-192	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（６）
114	A-193	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（７）
115	A-194	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（８）
116	A-195	【消防本庁(署）棟】　建具リスト（９）
117	A-196	【消防本庁(署）棟】　排煙オペレーター図
118	A-197	【消防本庁(署）棟】　オーバースライダー配管配線図
119	A-198	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１）
120	A-199	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部２）
121	A-200	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部３）
122	A-201	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部４）
123	A-202	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部５）
124	A-203	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部６）
125	A-204	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部７）
126	A-205	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部８）
127	A-206	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部９）
128	A-207	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１０）
129	A-208	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１１）
130	A-209	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１２）
131	A-210	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１３）
132	A-211	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（外部１４）
133	A-212	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部１）
134	A-213	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部２）
135	A-214	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部３）
136	A-215	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部４）
137	A-216	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部５）
138	A-217	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部６）
139	A-218	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部７）
140	A-219	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部８）
141	A-220	【消防本庁(署）棟】　部分詳細図（内部９）
142	A-221	【消防本庁(署）棟】　サインリスト・書体・ピクト
143	A-222	【消防本庁(署）棟】　1階　サイン配置図
144	A-223	【消防本庁(署）棟】　2階　サイン配置図

意　匠　図　（消防本庁(署）棟）

図面番号		図　面　名　称
145	A-224	【消防本庁(署）棟】　3階　サイン配置図
146	A-225	【消防本庁(署）棟】　外構　サイン配置図
147	A-226	【消防本庁(署）棟】　サイン意匠図-1
148	A-227	【消防本庁(署）棟】　サイン意匠図-2
149	A-228	【消防本庁(署）棟】　サイン意匠図-3
150	A-229	【消防本庁(署）棟】　サイン意匠図-4
151	A-230	【消防本庁(署）棟】　EV詳細図（１）
152	A-231	【消防本庁(署）棟】　EV詳細図（２）
153	A-232	【消防本庁(署）棟】　EV詳細図（３）
154	A-233	【消防本庁(署）棟】　EV詳細図（４）
155	A-234	【消防本庁(署）棟】　PC版詳細図（１）
156	A-235	【消防本庁(署）棟】　PC版詳細図（２）
157	A-236	【消防本庁(署）棟】　家具図（１）
158	A-237	【消防本庁(署）棟】　家具図（２）
159	A-238	【消防本庁(署）棟】　家具図（３）
160	A-239	【消防本庁(署）棟】　家具図（４）
161	A-240	【消防本庁(署）棟】　家具図（５）
162	A-241	【消防本庁(署）棟】　消防訓練金物キープラン
163	A-242	【消防本庁(署）棟】　消防訓練金物（１）
164	A-243	【消防本庁(署）棟】　消防訓練金物（２）

意　匠　図　（車庫棟）

図面番号		図　面　名　称
165	A-301	【車庫棟】　仕上表
166	A-302	【車庫棟】　平面図
167	A-303	【車庫棟】　立面図
168	A-304	【車庫棟】　断面図
169	A-305	【車庫棟】　矩計図（１）
170	A-306	【車庫棟】　矩計図（２）
171	A-307	【車庫棟】　矩計図（３）
172	A-308	【車庫棟】　1階平面詳細図
173	A-309	【車庫棟】　2階平面詳細図
174	A-310	【車庫棟】　3階・屋上平面詳細図
175	A-311	【車庫棟】　1階展開図
176	A-312	【車庫棟】　2階・3階展開図
177	A-313	【車庫棟】　天井伏図
178	A-314	【車庫棟】　建具案内図
179	A-315	【車庫棟】　建具リスト
180	A-316	【車庫棟】　部分詳細図（外部１）
181	A-317	【車庫棟】　部分詳細図（外部２）
182	A-318	【車庫棟】　部分詳細図（外部３）
183	A-319	【車庫棟】　部分詳細図（内部１）
184	A-320	【車庫棟】　消防訓練金物キープラン
185	A-321	【車庫棟】　消防訓練金物（１）
186	A-322	【車庫棟】　消防訓練金物（２）
187	A-323	【車庫棟】　消防訓練金物（３）
188	A-324	【車庫棟】　消防訓練金物（４）
189	A-325	【車庫棟】　消防訓練金物（５）

意　匠　図　（訓練棟）

図面番号		図　面　名　称
190	A-401	【訓練棟】　仕上表
191	A-402	【訓練棟】　平面図
192	A-403	【訓練棟】　立面図（１）
193	A-404	【訓練棟】　立面図（２）
194	A-405	【訓練棟】　断面図
195	A-406	【訓練棟】　矩計図（１）
196	A-407	【訓練棟】　矩計図（２）
197	A-408	【訓練棟】　1階平面詳細図
198	A-409	【訓練棟】　2階平面詳細図
199	A-410	【訓練棟】　3階平面詳細図
200	A-411	【訓練棟】　4階平面詳細図
201	A-412	【訓練棟】　屋上平面詳細図
202	A-413	【訓練棟】　1階展開図（１）
203	A-414	【訓練棟】　1階展開図（２）
204	A-415	【訓練棟】　2階展開図（１）
205	A-416	【訓練棟】　2階展開図（２）
206	A-417	【訓練棟】　3階展開図（１）
207	A-418	【訓練棟】　3階展開図（２）
208	A-419	【訓練棟】　4階展開図（１）
209	A-420	【訓練棟】　4階展開図（２）
210	A-421	【訓練棟】　天井伏図
211	A-422	【訓練棟】　建具案内図
212	A-423	【訓練棟】　建具リスト（１）
213	A-424	【訓練棟】　建具リスト（２）
214	A-425	【訓練棟】　部分詳細図(外部１）
215	A-426	【訓練棟】　部分詳細図(外部２）
216	A-427	【訓練棟】　部分詳細図(外部３）
217	A-428	【訓練棟】　部分詳細図(内部１）
218	A-429	【訓練棟】　消防訓練金物キープラン
219	A-430	【訓練棟】　消防訓練金物（１）
220	A-431	【訓練棟】　消防訓練金物（２）
221	A-432	【訓練棟】　消防訓練金物（３）
222	A-433	【訓練棟】　消防訓練金物（４）

意　匠　図　（その他）

図面番号		図　面　名　称
223	A-501	【その他】　外構配置図
224	A-502	【その他】　屋内貯蔵所詳細図
225	A-503	【その他】　屋内貯蔵所家具図
226	A-504	【その他】　屋外階段詳細図（１）
227	A-505	【その他】　屋外階段詳細図（２）
228	A-506	【その他】　カーポート詳細図
229	A-507	【その他】　外構詳細図（１）
230	A-508	【その他】　外構詳細図（２）
231	A-509	【その他】　外構詳細図（３）
232	A-510	【その他】　外構詳細図（４）
233	A-511	【その他】　外構詳細図（５）

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		表紙・図面リスト		2023/03
管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
NEXJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:－ A3:－	－

建築工事特記仕様書

【1】 工 事 概 要

1．工 事 場 所　京都府木津川市城山台九丁目1番の一部他

2．敷 地 面 積　15,476.25 ㎡

3．建築物概要

	様　名	構　造	階　数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備　考
	消防本庁（署）棟	RC造一部S造	地上3階	2,334.43	4,599.92	
	訓　練　棟	RC造	地上4階	136.58	472.52	
	車　庫　棟	RC造	地上3階	268.36	387.22	
	屋内貯蔵所	RC造	地上1階	8.38	8.38	
	カーポート	既製品	地上1階	64.72	107.88	
	受水槽	既製品	地上1階	6.97	6.97	
	燃料小出槽	既製品	地上1階	4.76	4.76	
	屋外階段	S造	地上1階	10.02	0.00	

4．そ の 他

【2】 適 用 範 囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）をいう。（以下、これを「標仕」という。）
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工 事 区 分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工 事 仕 様

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の〈 〉内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	● 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　令和4年版　（監修：国土交通省） ● 建築工事標準詳細図　令和4年改定　（監修：国土交通省） ● 敷地調査共通仕様書　令和4年改定　（監修：国土交通省） ● 建築構造設計基準、同資料　令和3年改定　（監修：国土交通省） ● 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　令和4年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築木造工事標準仕様書　令和4年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　令和4年版　（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　令和4年版　（監修：国土交通省） （注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す）
	② 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承認を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。 （評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ）、鉄骨柱下無収縮モルタル、 無収縮グラウト材（ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形、現場調合形）、押出成形セメント板、 成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（ｼｰﾘﾝｸﾞ工事用）、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材（ﾓﾙﾀﾙ用）、 アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、 錠前類（ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠）、クローザー類（ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、 制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、 重量シャッター、軽量シャッター、ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ、ガラス（ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ、型板ｶﾞﾗｽ、 網入板ｶﾞﾗｽ・線入板ｶﾞﾗｽ、熱線吸収板ｶﾞﾗｽ、倍強度ｶﾞﾗｽ、熱線反射ｶﾞﾗｽ）、 ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（3000N、5000N）、 可動間仕切、移動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、 天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、 屋上緑化軽量システム）、トップライト、エポキシ樹脂、 タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、 鋳鉄製ふた（マンホールふた・井桁ふた）

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	③ 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	④ 風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3、8.5.3) (10.5.3) (13.2.3～13.4.3)	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速（Vo）　● ３２　○　（平成12年5月31日建設省告示第1454号） 地表面粗度区分　○ Ⅰ　○ Ⅱ　● Ⅲ　○ Ⅳ 多雪地域の指定　● なし　○ あり
	⑤ 現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第１０条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
	⑥ 工事工程報告	月報は毎月末日に〆め、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週（　　）曜日に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録　(1.1.4)	適用する　（適用事項は、現場説明書による）
	⑧ 設備工事との取合い	施工範囲 ● 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ● 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ● 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ● 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	⑨ 施工図等の取扱い　(1.2.3)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。
	⑩ 工事写真　(1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）よるほかは監督職員の指示による。 下記のものを監督職員に提出する。

		部 数（ネガ１枚につき）	分　類　・　規　格	原版の大きさ（mm）
着　工　前		● １　○	● カラーサービス版	● 24×36以上
工　事　中		● １　○	● カラーサービス版	● 24×36以上
完成時	屋　内 （　　）箇所	○ ２　● ５	○ カラーサービス版 ● カラーキャビネ版	○ 24×36以上 ● 60×70以上
	外　観 （　　）箇所	○ ２　● ５	○ カラーキャビネ版 ● カラーパネル半切	○ 24×36以上 ● 60×70以上

デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。
完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。
● 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。
● 完成写真は、オリジナルデータ（DVD）及び建築写真ハードカバーフォトブックA4サイズを提出すること。

⑪ 電気保安技術者　(1.3.3)	適用する
⑫ 施工条件　(1.3.5)	現場説明書による
⑬ 発生材の処理等　(1.3.11)	○ 引渡しを要するもの　（　　） ○ 工事 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの （　　） ● 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） ● アスファルトコンクリート塊　● セメントコンクリート塊　● 建設発生木材 ● 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） ○ 指定地処分　（　　） ● 自由処分　（ 最寄りの再資源化施設へ搬出すること ） ● 指定副産物以外の搬出　※ 構外搬出適切処理 ○ 特別管理産業廃棄物の処理　（　　） 再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。 ● 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ● 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	14 発生材の処理等（ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板）	処理を行う範囲　○ 図示（仕上げ表による　床・壁・天井毎に種別を確認） ○ 全ての室　○ ＿＿＿＿ 施工調査　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認 確認方法　○ 成形板の製造年等の確認　○ X線解析法 処理方法　「非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。
	⑮ 技能士　(1.5.2)	(1.5.2)

工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	
仮設工事	● とび作業	
鉄筋工事	● 鉄筋組立作業	
コンクリート工事	● 左官作業	● 型枠工事作業
	● ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業	
鉄骨工事	● 構造物鉄工作業	● とび作業
ﾌﾞﾛｯｸ及びALCﾊﾟﾈﾙ工事	○ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業	● ALCﾊﾟﾈﾙ工事作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	● 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工作業	● ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	● ｶﾞﾗｽ工事作業	
防水工事	● ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業	● ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
	○ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業	○ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業
	○ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業	○ FRP防水工事作業
	○ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業	
	○ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業	
	○ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁｪ工法防水工事作業	
石工事	○ 石張り作業	
タイル工事	● タイル張り作業	
木工事	● 大工工事作業	○ 家具手加工作業
屋根及びとい工事	● 内外装板金作業	○ かわらぶき作業
	○ スレート工事作業	
金属工事	● 鋼製下地工事作業	● 内外装板金作業
左官工事	● 左官作業	
塗装工事	● 建築塗装作業	
建具工事	● ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業	
	● ガラス工事作業	● 自動ドア施工作業
内装工事	● ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業	● ﾎﾞｰﾄﾞ仕上工事作業
	● ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上工事作業	● 壁装作業
排水工事	● 建築配管作業	
舗装工事	● 溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業	
	● 加熱ｼｰﾙﾄﾞﾏｼﾝﾃｰｶｰ工事作業	
植栽工事	● 造園工事作業	

ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。

⑯ 化学物質の濃度測定　(1.5.9)	適用する　（適用事項は、現場説明書による）
⑰ 完成図　(1.7.2)	作成する　（提出部数　● ２部　○ ＿部）　詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。
⑱ 保全に関する資料　(1.7.3)	作成する　（提出部数　● ２部　○ ＿部） ● 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ● 建物の主要な構造部及び外構についての説明 ● 建物を使用する上での注意事項 ● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 ● 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ● 建物等の清掃の要点 ● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。

章	項　目	特　記　事　項
2 仮設工事	① 足場等　(2.2.4)	足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中桟及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の２を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。
	② 監督職員事務所　(2.3.1)	規模　○ 10㎡程度　● 20㎡程度　○ 35㎡程度　○ 65㎡程度　○ 100㎡程度 仕上　床　○ 合板張り素地　○ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ敷き　● ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ敷き 内壁、天井　● 合板又はせっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り、合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り 屋根　○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り　● 鉄板張り調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り 休憩室　● 設けない　○ 設ける（畳敷き）　○ ＿＿＿＿ 備品　● 机　● いす　○ 保護帽　● ゴム長靴　○ 雨がっぱ　● 衣類ﾛｯｶｰ（上記４品、 6 人分程度） ● 書棚　○ 黒板　○ 製図板　● 掛時計　○ 温度計 ● 消火器　● 掃除具　○ 懐中電灯　○ 湯沸器　○ 加入電話機 ● 冷暖房機器　● コピー機　○ ネット回線　● 流し台　○ ＿＿＿＿ ● 棚仕（令和4年版）　● 建築工事監理指針（令和4年版） ● 建築工事施工チェックシート　● 建築工事標準詳細図（令和4年改定） ● 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）
	③ 工事用水	構内既存の施設　● 利用できない　○ 利用できる　（ ○ 有償　○ 無償 ）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　● 利用できない　○ 利用できる　（ ○ 有償　○ 無償 ）
	⑤ 仮囲い等	● 図示による　○ ＿＿＿＿
	⑥ 設計ＧＬ	● 図示による　○ 設計ＧＬ＝現状ＧＬ

章	項　目	特　記　事　項
3 土工事	① 埋め戻し及び盛土　(3.2.3)	● Ａ種　砂質土（山砂の類）を水締め又は機器による締固め（適用箇所：ピット内埋戻し部）（表3.2.1） ● Ｂ種　根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ Ｃ種　他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ Ｄ種　再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ その他（材料　工法　　） ○ 建設発生土（盛土材）の外部からの受入土量（　　m3） 発生場所（　　）
	② 建設発生土の処理　(3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による ● 構外指示の受入場所に処分 受入場所　● （一財）城陽山砂利採取地整備公社　○ ＿＿＿＿ 土壌調査　● 行う（受入場所指定の検査）　○ ＿＿＿＿ ● 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第７条第３項１３号及び第４項に規定する方法 仮置場所　○ ＿＿＿＿ ○ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 ● 構外搬出適切処理
	③ 山留めの撤去　(3.3.3)	鋼矢板等の抜き跡の処理　○ 図示による ● 撤去する ○ 存置する

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	① 基礎種別　(4.2.2)～(4.5.8)	○ 杭基礎　杭の種別、本数等　構造図による 工法　構造図による 試験杭　○ 行う（構造図による） 支持層の位置及び土質　構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ　構造図による 杭継手　○ ＿＿＿　○ ｱｰｸ溶接　○ 無溶接継手　（工法　　） 杭の水平方向位置ずれ精度　構造図による 杭の載荷試験　○ 行う（構造図による） 継杭溶接部試験　○ 行う（浸透探傷試験　　本） ● 直接基礎　載荷試験　○ 行う（下記以外は構造図による）
	② 地盤の載荷試験　(4.2.4)	平板載荷試験　試験箇所数　＿＿＿＿箇所　（試験位置図示） 設計地耐力　＿＿＿＿t/㎡
	③ 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業　(4.3.1)　(4.3.4)　(4.3.5)	○ セメントミルク工法 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ※ 標仕4.3.4(6)(ｺ)(a)から(g)による　○ ＿＿＿＿ ○ 特定埋込杭工法
	④ 鋼杭地業　(4.4.3)	鋼杭の材料　○ 図示による　○ ＿＿＿＿
	⑤ 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業　(4.5.1)　(4.5.5)　(4.5.6)	工法 ○ アースドリル工法　○ リバース工法　○ オールケーシング工法 超音波測定器による孔壁の確認　● 行う　○ 行わない ○ 場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法　○ 拡底杭

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（１）	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:- A3:- / 図面番号：A-001

4 地業工事

⑥ 砂利及び砕地業 (4.6.2) (4.6.3)

厚さ（mm） ● 図示による ※６０

材料 砂利 ● 再生クラッシャラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石

砂 ○山砂 ○川砂 ○砕砂

⑦ 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ地業 (4.6.4)

厚さ（mm） ● 図示による ※５０

⑧ 床下防湿層 (4.6.5)

ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅緩及び基礎梁際のみ込み 250mm以上

施工範囲 ● 図示による

○ 建物内の土間スラブ(土間ｺﾝｸﾘｰﾄ含む)の直下（ピット下を除く）

○ 捨ｺﾝｸﾘｰﾄの直下

⑨ 土間断熱材

● 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂのスキン層付き ○＿＿＿＿

厚さ ● ２５ mm ○ ＿＿ mm

⑩ 地盤改良

○ 現場発生土を再利用する。 ○ ＿＿＿＿

改良方法 セメント系固化材撹拌

セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。

「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（(一財)日本建築ｾﾝﾀｰ）を参考とすること。

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類等 (5.2.1)

（表5.2.1）

	種類の記号	径（mm）	備考
異形鉄筋	※ ＳＤ２９５	Ｄ１６以下	
	※ ＳＤ３４５	Ｄ１９以上	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する
	● ＫＳＳ７８５	Ｓ１３	

※ SD295はＦｃ:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する

2 溶接金網 (5.2.2)

網目の形状、寸法 ＿＿＿＿ 鉄線の径 ＿＿＿＿ mm

③ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)

部位	接合方法	径（mm）	重ね継手の長さ
※ 柱・梁の主筋	○ 重ね継手 ● ｶﾞｽ圧接継手 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手	Ｄ１９以上	● 標仕表5.3.2による
※ その他	● 重ね継手 ○ ｶﾞｽ圧接継手 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手	Ｄ１６以下	※ 構造図による

○ 機械式継手 種類 ＿＿＿＿ 工法 ＿＿＿＿

品質確認方法、修正方法等 ＿＿＿＿

○ 溶接継手 種類 ＿＿＿＿ 工法 ＿＿＿＿

品質確認方法、修正方法等 ＿＿＿＿

● 鉄筋 継手位置 ※ 構造図による ○ 表5.3.3による

● 鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表5.3.4による

○ 機械式定着工法 種類 ＿＿＿＿ 工法 ＿＿＿＿

品質確認方法、修正方法等 ＿＿＿＿

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

※ 構造図による ● 表5.3.6による（次の２項目のかぶり厚さを除く）

○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

○ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所等	最小かぶり厚さ（mm）

機械式継手及び溶接継手のあき ○ ＿＿＿＿

⑤ ガス圧接継手 (5.4.10)

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験

試験方法等 ※ 標仕 5.4.10(f)(b)①～⑥による

○ ＿＿＿＿

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類 (6.2.1)

種類 ※ 普通コンクリート ○ ＿＿＿＿

類別 ※ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 （表6.2.1）

② コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)

設計基準強度（Ｆc）

打設部位		Ｆc（N/mm2）	スランプ（cm）	備考
構造体	基礎	● ２４ ● ３０ ● ３６	● １５ ○ １８	
	上部	● ２４ ● ３０ ● ３６	○ １５ ※ １８	土間スラブを含む
土間コンクリート		(屋外) ● １８ (屋内) ● ２４	● １５ ○ １８	側溝・犬走り
捨コンクリート		● １８ ○	○ １５ ● １８	
軽量コンクリート		○ ２１ ○	※ ２１ ○ １８	
無筋コンクリート		※ １８ ○	○ １５ ○ １８	標仕6.14.1による

※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。

［Ｆc ＋構造体強度補正値（Ｓ）］N/mm2

(6.14.1によるもの及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄは構造体強度補正は行わない)

③ セメントの類別 (6.3.1)

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種

○ 高炉セメントのＢ種 （適用箇所 ＿＿＿＿）

○ シリカセメント

○ フライアッシュセメントのＢ種（適用箇所 ＿＿＿＿）

④ 骨材 (6.3.1)

粗骨材 ※砂利(JIS A5308)，砕石(JIS A5005) ○ 高炉ｽﾗｸﾞ ○ 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ ○ 再生骨材H

細骨材 ※砂(JIS A5308)，砕砂(JIS A5005) ○ 高炉ｽﾗｸﾞ ○ 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ ○ 銅ｽﾗｸﾞ ○ ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ ○ 再生骨材H

アルカリシリカ反応性による区分 ※ Ａ（無害） ○ ＿＿＿＿

⑤ 混和材料 (6.3.1)

● 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のⅠ種(JIS A 6204)

防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025)

● 混和材 ※ フライアッシュ(JIS A 6201)Ⅰ種、Ⅱ種若しくはⅣ種

○ コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206)

○ コンクリート用シリカフューム(JIS A 6207)

○ コンクリート用膨張材(JIS A 6202)

⑥ 構造体強度補正値 (6.3.2)

※ 気温による構造体強度補正値（Ｓ） （表6.3.2）

予想平均気温（℃） 普通	早強	補正値（Ｓ）	期間（打設日） 南部地域	中部地域	北部地域
8以上	5以上	3 N/mm2	3/6 ～ 6/30	3/11～ 7/20	3/11～ 7/10
			9/11～ 11/15	9/1 ～ 11/5	9/1 ～ 10/31
0以上 8未満	0以上 5未満	6 N/mm2	11/16～ 3/5	11/ 6～ 3/10	11/ 1～ 3/10

南部地域（京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村）

北部地域（宮津市、旧加悦町以北の市町）

中部地域（上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む）

⑦ 打継ぎ (6.6.4)

位置 ※構造図による ●標仕 6.6.4(1) による

目地の寸法 ※図示による ○ ＿＿＿＿

⑧ 型枠（せき板） (6.2.5) (6.8.1) (6.8.2)

合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板の規格」による合板

合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板

厚さ（mm） ※１２ ○ ＿＿＿＿

打放し仕上げのせき板

※ 合板せき板を用いる場合 （表6.2.4）

種別	板面の品質	施工箇所
● Ａ種	※6.8.2(2)(ア) ○	
○ Ｂ種	※6.8.2(2)(イ) ○	
○ Ｃ種	※6.8.2(2)(イ) ○	

○ 合板せき板を用いない場合

せき板の 材料 ＿＿＿＿

コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
● ａ種	
○ ｂ種	
○ ｃ種	

外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示による ○ ２０mm

ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※ 図示による ○ ＿＿＿＿

⑨ スリーブ (6.8.2)

スリーブの材種 （表6.8.1）

適用箇所	材種（規格その他）
水密を要する地中部分等	※ つば付き鋼管 （JIS G3452 の黒管に厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの）
水密を要しない地中部分等	※ 硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K6741 のＶＵ）
上記以外の円形スリーブ	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 （径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上） ○

6 コンクリート工事

⑩ コンクリートの試験 (6.9.2) ～(6.9.5)

※ フレッシュコンクリートの試験

○ 省略する

11 軽量コンクリート (6.10.1) ～(6.10.3)

常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可

種類 ○ １種 ○ ２種

施工箇所 ＿＿＿＿

気乾単位容積質量 ＿＿＿＿ t/m3

12 寒中コンクリート (6.11.1)

予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第６章第１１節（寒中コンクリート）による。

13 暑中コンクリート (6.12.2)

※ 暑中における構造体強度補正値（Ｓ）

地域	日平均気温が25度を超える期間（打設日）	補正値
北部地域	７月１１日～８月３１日	※ 6N/mm2 ○ 3N/mm2
中部地域	７月２１日～８月３１日	
南部地域	７月 １日～９月１０日	

14 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)

施工箇所 ＿＿＿＿

セメントの種類 ○ 中庸熱ポルトランドセメント ○ シリカセメント ○ 低熱ポルトランドセメント ○ 高炉セメントＢ種 ○ フライアッシュセメントＢ種 ○ 普通ポルトランドセメント

混和材料 ○ 混和剤 ※ AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A 6204) ○ ＿＿＿＿

○ 混和材 ○ フライアッシュのⅡ種(JIS A 6201) ○ 高炉スラグ微粉末の3000 若しくは 4000(JIS A 6206) ○ ＿＿＿＿

スランプ ※ 15cm ○ ＿＿＿＿

15 無筋コンクリート (6.14.1)

コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ○ ＿＿＿＿

⑯ ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車の過積載防止対策等

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車１台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。

7 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

※ 建築基準法第６８条の２５に基づき国土交通大臣から 構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場 又は同等以上の能力のある工場

（（ＯＳ ○Ｈ ●Ｍ ○Ｒ ○Ｊ ）グレード ） 以上

○ 監督職員の承諾する工場（標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る）

② 施工管理技術者 (7.1.4)

適用する

③ 鋼材 (7.2.1)

種類、形状及び寸法 ※ 図示による ○ ＿＿＿＿

④ 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)

ボルトの区分 ○ トルシア形高力ボルト ● 溶融亜鉛めっき高力ボルト ○ ＪＩＳ形高力ボルト ○＿＿＿＿

ねじの呼び ● 図示

すべり係数試験 ● 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ ＿＿＿＿

⑤ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) (7.12.5)

セットの種類 ● １種 （F8T）相当

摩擦面の処理

● ブラスト処理（表面粗度５０μmRz以上）

○ リン酸塩処理

すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○ ＿＿＿＿

6 普通ボルト (7.2.3) (7.3.8)

ねじの呼び ○ 図示

母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径 ○ ＿＿＿＿ ※ 呼び径＋1.0mm

⑦ 溶接材料 (7.2.5)

溶接材料

※ 標準仕様書 7.2.5 (1)(2)による

○ 図示による

○ ＿＿＿＿

⑧ ターンバックル (7.2.6)

胴の種類 ※ 割枠式 ○ パイプ式

ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト

ねじの呼び ● 図示

9 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)

材質、形状及び寸法 ※ 図示による ○ ＿＿＿＿

デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 図示による

7 鉄骨工事

⑩ 工作図 (7.3.2)

高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄのｹﾞｰｼﾞ、ﾋﾟｯﾁ、へりあき等

※ 図示による （図に無い場合は鉄骨設計基準による）

11 仮組 (7.3.10)

○ 実施する 部位（ ）

○ 実施しない

⑫ 溶接作業者における技能資格者 (7.6.3)

溶接作業者の技量付加試験

※ 行わない

○ 行う 試験の要領 ○ 図示による（ ） ○ ＿＿＿＿

⑬ 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)

開先の形状

○ 図示による ● 構造関係共通図（鉄骨標準図）による ○ ＿＿＿＿

鋼製エンドタブの切断 ● 有 ○ 無

適用箇所 ※ 図示による ● 見え掛かり部

切断面の仕上げ ※ ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰにより、粗さ100μmR,程度以下及びﾉｯﾁ深さ1mm程度以下 ○ ＿＿＿＿

スカラップの形状

○ 図示による ● 構造関係共通図（鉄骨標準図）による

⑭ 溶接部の試験 (7.6.12)

完全溶込溶接部の超音波探傷試験

※ 行う ○ 行わない

● 工場溶接

AOQL ● 4.0% ○ 2.5%

検査水準 ● 第６水準（節全て）

○ 工事現場溶接

H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等

●「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強ﾏﾆｭｱﾙ(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査

○ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②

JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付則3「溶接」に関する試験方法等

○ JASS 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。

外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

15 耐火被覆 (7.9.2) ～(7.9.7)

種別

種別	材料・工法	適用箇所（部位・部分）
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○	
○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○	
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール ○	
○ ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	－	
○ 耐火塗料		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適用箇所（部位・部分）
○ ３０分耐火	
○ １時間耐火	
○ ２時間耐火	
○ ３時間耐火	

⑯ アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3)

適用

● 構造用アンカーボルト

種類 ○ SNR400B ● SS400

アンカーフレームの形状及び寸法

○ 図示による ○ ＿＿＿＿

○ 建方用アンカーボルト

種類 ○ SS400

アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 （表7.10.1）

種別 ○ Ａ種 ○ Ｂ種

柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm

⑰ 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)

モルタルの種別 ※ 無収縮モルタル ○ ＿＿＿＿

材料・調合等 ※標示 7.2.9 (2)(ｱ)から(ｴ)による ○ ＿＿＿＿

厚さ ※ 図示による ○ ＿＿＿＿

工法 ※ Ａ種 ○ Ｂ種

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（２）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:－ A3:－	A-002

章	項目	特記事項

7 鉄骨工事

18 錆止め塗料 (7.8.4) (18.3.2)

塗料の種別

○ 鉄鋼面の錆止め塗料

○ 表18.3.1による　※ A種　○ B種

○ ＿＿＿＿

○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料

○ 表18.3.2による　※ A種　○ B種　○ C種

○ ＿＿＿＿

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）

○ 表18.3.1による　※ A種　○ B種

○ ＿＿＿＿

耐火被覆材の接着する面への塗装

○ 行わない　○ 行う（範囲　○ 図示による　○＿＿＿＿）

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

○ 行わない　○ 行う（範囲　○ 図示による　○＿＿＿＿）

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)～(8.2.8)

ブロックの種類　○ 16（C種）普通ブロック　○ 16-W（C種）防水ブロック

モデュール呼び寸法及び正味厚さ　○ 図示による　○ ＿＿＿＿

コンクリートの設計基準強度 Fo（N/mm２）

充填用及びまぐさ　※ 21 以上　○ ＿＿＿＿

上記以外　※ 21 以上　○ ＿＿＿＿

各部の配筋　※ 図示による

目地仕上げ　○押し目地仕上げ　○化粧目地仕上げ

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲　○ 図示による　○ ＿＿＿＿

2 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)

ブロックの種類　（表8.3.1）

適用箇所	種類の記号
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック 16　○ ＿＿＿＿
外壁の化粧積み	○ 空洞ブロック 16-W　○ ＿＿＿＿

モデュール呼び寸法及び正味厚さ　○ 図示による　○ ＿＿＿＿

塀の厚さ　○ 図示による　○ ＿＿＿＿

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※ 図示による

各部の配筋　※ 図示による

塀化粧ブロック　○ 有（　　）

ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 Fo（N/mm２）

○ 18　※ 21　○ ＿＿＿＿

③ ＡＬＣパネル (8.4.2)～(8.4.5)

パネルの種類　（表8.4.2）（表8.4.3）（表8.4.4）

区分	単位荷重(N/㎡)	厚さ(mm)	構法	耐火性能
● 外壁 ﾊﾟﾈﾙ	※ 1180　○ 1960	※ 100 ○	●A種 ○ B種	※ 有り（ 1 時間） ○ 無し
○ 間仕切 ﾊﾟﾈﾙ	※ 640　○	※ 100 ○	○ C種　○E種 ○D種	※ 有り（　時間） ○ 無し
○ 屋根 ﾊﾟﾈﾙ	※ 980　○	※ 100 ○	※ F種	※ 有り（　時間） ○ 無し
○ 床 ﾊﾟﾈﾙ	○ 2350　○ 3530	○ 100 ○ 150	※ F種	※ 有り（　時間） ○ 無し

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材　○図示による　○ ＿＿＿＿

外壁ﾊﾟﾈﾙの工法

※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

ﾊﾟﾈﾙ幅の最小限度　※ 300 mm　○ ＿＿＿mm

ﾊﾟﾈﾙの出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取り合い部の目地幅　20 mm

伸縮目地への耐火目地材の充填　● 適用する　○ 適用しない

外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能　○ ＿＿＿＿

4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 (ECP) (8.5.2)～(8.5.5)

種類　※ 無石綿タイプ（タイプⅡ）

施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	工法	耐火性能
○ 外壁	※ フラットパネル ○ デザインパネル(図示) ○ タイルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ A種 ○ B種	※ 有り （　時間） ○ 無し
○ 間仕切り	※ フラットパネル ○ デザインパネル(図示) ○ タイルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ B種 ○ C種	○ 有り （　時間） ※ 無し

外壁ﾊﾟﾈﾙの工法

※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

パネル幅の最小限度　※ 300 mm　○ ＿＿＿ mm

ﾊﾟﾈﾙ相互の目地幅　○ 図示による　○ ＿＿＿ mm

出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部目地の目地幅　※ 15 mm　○ ＿＿＿ mm

外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能　○ ＿＿＿＿

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出すること。

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のﾊﾟﾈﾙの残り部分の幅
ﾊﾟﾈﾙに孔あけを設ける場合	短辺		
	長辺		
ﾊﾟﾈﾙに欠き込みを設ける場合	短辺		
	長辺		

9 防水工事

① アスファルト防水 (9.2.2)～(9.2.5)

（表9.2.3）～（表9.2.9）

種別		防水層	施工箇所
● 保護防水	○ A-1　○ A-2　● A-3	表9.2.3	屋根(車庫棟)
	○ AI-1　● AI-2　○ AI-3	表9.2.4	屋根(本庁、訓練棟)
	○ B-1　○ B-2	表9.2.5	
	○ BI-1　※ BI-2	表9.2.6	
● 露出防水	※ D-1　○ D-2 ● D-4 同等	表9.2.7	施工箇所：本庁車庫屋上／仕上塗料 種類：高反射・防火水アクリル系保護塗料／使用量：0.8kg～1.0kg
	○ DI-1　○ DI-2	表9.2.8	
○ 屋内防水	※ E-1　○ E-2	表9.2.9	

● 断熱材（屋根保護防水断熱工法）

厚さ ● 図示

● 断熱材（屋根露出防水断熱工法）

厚さ　35 mm

種類　ポリイソシアヌレートフォーム

ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材及び絶縁用シートの張りじまい位置

※ 図示による　○ ＿＿＿＿

絶縁用シート　※ ポリエチレンフィルム厚0.15（保護防水工法）

※ フラットヤーンクロス（70g/㎡程度）（保護防水断熱工法）

○ ＿＿＿＿

押え金物　※ アルミニウム製 L-30×15×2.0　○ ＿＿＿＿

立上り部の保護　● 乾式保護材（押出成形セメント板t=15）

○ 普通れんが　○ 化粧れんが　○ モルタル押え（屋内）

○ コンクリート（工法 ＿＿＿＿）

保護層　平場のコンクリート厚さ　● 80 mm

● こて仕上げ ＿＿ mm

○ 床タイル張り等仕上げ ＿＿ mm

屋上排水溝　※ 図示による

脱気装置(露出防水絶縁(断熱)工法)　※設ける　材種（　　）

設置数量（1箇所／＿㎡）

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)～(9.3.4)

種別　（表9.3.1）～（表9.3.3）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
○ AS-T1　○ AS-T2	表9.3.1			
○ AS-T3　○ AS-T4　○ AS-J1	表9.3.2			
○ ASI-T1　○ ASI-J1	表9.3.3			

断熱材（露出防水断熱工法）

厚さ　○ ＿＿ mm

種類　○ ＿＿＿＿

脱気装置（絶縁工法）　※ 設ける　材種（　　）設置数量（1箇所／ ＿ ㎡）

防湿層（露出防水絶縁断熱工法）　○ 設ける　○ 設けない

押え金物　※アルミニウム製 L-30×15×2.0　○ ＿＿＿＿

③ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 (9.4.2)～(9.4.4)

種別　（表9.4.1）（表9.4.2）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
● S-F1 PC部材入隅増張(※有り○無し) ○ S-F2	表9.4.1	本庁庇	● カラー ○ シルバー ○ ＿＿＿ (露出の場合)	0.3kg/㎡
● S-M1　○ S-M2				
○ SI-F1 PC部材入隅増張(※有り○無し) ○ SI-F2	表9.4.2			
○ SI-M1　○ SI-M2				
○ S-C1	表9.4.3		ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ ＿＿ mm	

S-F1,S-M1,S-F2,S-M2　※ 非歩行仕様　○ 軽歩行仕様

平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ　○ ＿＿ mm

○ 断熱材（機械的固定 工法）

厚さ ＿＿ mm

種類 ＿＿＿＿

○ 断熱材（接着 工法）

厚さ ＿＿ mm

種類 ＿＿＿＿

○ 防湿用フィルムを設置する(断熱工法)

9 防水工事（続き）

可塑剤移行防止用 シート　※ 発泡ポリエチレンシート　○ ＿＿＿＿

脱気装置（接着工法）　○ 設ける　材種（　　）設置数量（1箇所／ ＿ ㎡）

固定金具の材質及び寸法形状

※ 防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの

○ ＿＿＿＿

接着工法の場合で　ＰCｺﾝｸﾘｰﾄ部材下地の場合の処理

目地処理　※ 図示による　○ ＿＿＿＿

入隅部の増張り（S-F1、SI-F1の場合）　※ 図示による　○ ＿＿＿＿

※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

④ 塗膜防水 (9.5.3)

種別　（表9.5.1）（表9.5.2）

種別	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
○ X-1	表9.5.1			
● X-2		ﾊﾞﾙｺﾆｰ・屋外階段・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上り(共通)		
○ Y-1	表9.5.2	地下外壁防水		
○ Y-2		屋内防水		

脱気装置（X-1）　○ 設ける　材種（　　）設置数量（1箇所 ＿ ㎡）

保護層（Y-2）　○ 設ける

● ポリマーセメント系塗膜防水　施工箇所（訓練棟屋内床）

⑤ ｹｲ酸質系塗布防水 (9.6.3)

●ポリマーセメント系塗膜防水 ○耐油性）パラテックス防水B-2工法同等

施工箇所（自家発電機置場ピット部）地処理　○ 図示による　○ ＿＿＿＿

※ ﾊﾞﾙｺﾆｰ、屋外階段部分の塗膜防水については防滑仕様とする

⑥ 漏水試験

※ 水張り試験を行う（○ 屋内　● 屋外）

⑦ 保証書

※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。

（保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。）

⑧ 施工標識

工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。

材質　※ 真鍮製エッチング仕上 150×100　○ ＿＿＿＿

設置数量 ＿＿＿ 箇所

⑨ シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※ 表9.7.1 による

施工箇所　※ 図示による

仕上げを行わない施工箇所（○図示による　○ ＿＿＿）

目地寸法　コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地

※ 幅20mm以上、深さ10mm以上　○ ＿＿＿＿

ガラス回りの目地

※ 幅5mm以上、深さ5mm以上　○ ＿＿＿＿

その他の目地

※ 幅10mm以上、深さ10mm以上　○ ＿＿＿＿

シーリングの試験　※ 簡易接着性試験（部位 ＿＿＿＿）

○ 引張接着性試験（部位 ＿＿＿＿）

⑩ 止水板

材質　塩化ビニル樹脂　形状　● 差込式　○ 据置式　○ 壁張り式

適用範囲　ピット部基礎打継部

10 石工事

1 天然石張り (10.2.1)

石の種類・表面仕上げ　（表10.2.1）

施工箇所	種類（産地、名称、形状、寸法）	表面仕上げの種類

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げ　○ あり　○ なし

2 テラゾ張り (10.2.1)

（表10.2.2）

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ
	※ 大理石 ○	※ 1.5～12mm ○		

3 壁の石張り工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3) (10.5.2) (10.5.3)

外壁石張り

工法　○ 外壁湿式工法（※ 流し筋工法　○ あと施工ｱﾝｶｰ工法　○ あと施工ｱﾝｶｰ横筋流し工法）

受金物の材質、形状及び寸法　○ ＿＿＿＿

○ 外壁乾式工法　※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

金物の種類、形状、寸法等

○ スライド方式　○ ロッキング方式　○＿＿＿＿

石の厚さ ＿＿ mm

浸透性吸水防止剤　※ 専門工事業者の指定

裏面及び裏打ち処理　※ 行わない　○ 行う（表面処理の場合小口共）

ドレンパイプ　※ ステンレスSUS304　○ ＿＿＿＿

目地　○ 一般目地幅 ＿＿ mm

○ 伸縮調整目地位置 ＿＿＿＿

○ シーリング材の目地寸法 ＿＿ mm

10 石工事（続き）

内壁石張り

工法　○ 内壁空積工法（※ あと施工アンカー横筋流し工法　○ あと施工アンカー工法）

○ 乾式工法（○ スライド方式　○ ロッキング方式　○＿＿＿＿）

石の厚さ ＿＿ mm

浸透性吸水防止剤　※ 専門工事業者の指定

裏面及び裏打ち処理　※ 行わない　○ 行う

目地　○ 一般目地幅 ＿＿ mm

○ 伸縮調整目地位置 ＿＿＿＿

○ シーリング材の目地寸法 ＿＿ mm

あと施工アンカーの材質、寸法等　種類 ○　材質 ○　寸法 ○

4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)

石の厚さ ＿＿ mm

浸透性吸水防止剤（床石張り）　○適用する　○適用しない

石裏面処理（床石張り）　○適用する　○適用しない

（階段石張り）　○適用する　○適用しない

裏打ち処理（床石張り）　○適用する　○適用しない

目地　○ 一般目地幅 ＿＿ mm

○ 伸縮調整目地位置 ＿＿＿＿

○ シーリング材の目地寸法 ＿＿ mm

5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1)～(10.7.3)

笠木、甲板等

取付工法　○ 湿式工法　○ 乾式工法

取付金物　○ ＿＿＿＿

石の厚さ ＿＿ mm

石裏面処理　※ 行わない　○ 行う

石材裏面の補強用モルタル（乾式工法）　※ 行わない　○ 行う

目地　○ 一般目地幅 ＿＿ mm

○ 伸縮調整目地位置 ＿＿＿＿

○ シーリング材の目地寸法 ＿＿ mm

あと施工アンカーの材質、寸法等　種類 ○　材質 ○　寸法 ○

隔て板

石の厚さ ＿＿ mm

11 タイル工事

① 伸縮調整目地等 (11.1.3)

外壁　※ 表11.1.1による　○ 図示による

屋内壁面　※ 図示による　○ ＿＿＿＿

床面　※ 表11.1.1による　○ ＿＿＿＿

② 施工後の確認及び試験 (11.1.7)

浮きの確認　※ 全面打診による確認を行う

接着力の試験　※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う　○ 行わない

③ タイル張り (11.2.2) (11.2.6) (11.3.2) (11.3.5)

タイルの種類

施工箇所・ﾀｲﾙの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法 その他
外構床 内装床	400角	○ 磁器 ○ 陶器 ● せっ器	● 無釉 ○ 施釉	● 有り ○ 無し	あり	○ 有り ● 無し	※ 標準 ○ 特注	湿式
トイレ 壁面	70φ	○ 磁器 ○ 陶器 ● せっ器	● 無釉 ○ 施釉	● 有り ○ 無し	ー	○ 有り ● 無し	※ 標準 ○ 特注	湿式
トイレ (汚垂タイル)		● 磁器 ○ 陶器 ○ せっ器	○ 無釉 ● 施釉	○ 有り ● 無し		○ 有り ● 無し	※ 標準 ○ 特注	

タイルの試験張り　※ 行わない　○ 行う

タイルの見本焼き　※ 行わない　○ 行う

既調合モルタル ＿＿＿＿

④ 下地及びタイルごしらえ (11.2.6)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理

○ MCR工法　○ 目荒し工法　● 図示による　○ ＿＿＿＿

⑤ 張付け用材料 (11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿

外壁タイルの目地詰め　○行う　○行わない

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（3）	2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田 文武　／　設計者名：安川 雅巳　／　縮尺：A1:- A3:-	図面番号：A-003

章	項目	特記事項
12 木工事	① 揮発性有機化合物対策 (12.2.1) (12.2.2) (12.2.3)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量 表示がある場合　※ F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿ 表示がない場合　※ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用（塗装していないもの） ※ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（塗装したもの） ※ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（化粧加工したもの） ○ ＿＿＿＿ 接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿
	② 含水率 (12.2.1)	下地材　※ A種(15%以下)　○ B種(20%以下)　(表12.2.1) 造作材　※ A種(15%以下)　○ B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。
	③ 製材 (12.2.1)	「JAS1083（製材）」による製材 ○ 下地用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
			○１級 ※２級		

● 造作用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
内装壁	スギ	t=12	○無節※上小節 ○小節 ○並	15%以下	

○ 広葉樹製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
			○特等 ※１等 ○２等	※10%以下 ○	

「JAS1083（製材）」以外の製材　(表12.2.2)

使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	含水率
			※A種 ○B種		

	④ 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 ● 工事完成までに、ウッドマイレージ002京都の木認証書（京都府産木材証明書及びｳｯﾄﾞﾏｲﾚｰｼﾞ002計算書）（注１）を提出することを原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書（京都府産木材証明書）（注２）を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL：075-802-2991 注１）認証書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業体でなければ発行されない。 注２）証明書は製材所、流通業者の全てが取扱事業体又は認証機関登録事業体でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 ● 工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。 ※ 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書（発行機関：〈一社〉京都府木材組合連合会）を提出すること。

章	項目	特記事項
12 木工事	⑥ 集成材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ● 造作用集成材

使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質
階段手摺	タモ集成材	タモ	ー	φ38	※１等 ○２等

○ 化粧ばり造作用集成材

使用箇所	品名	樹種 化粧材	樹種 芯材	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質
							※１等 ○２等

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
○ 造作用集成材

使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
				※15%以下 ○

○ 化粧ばり造作用集成材

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率
						※15%以下 ○

「JAS0701（単板積層材）」による造作用単板積層材
○ 造作用単板積層材

使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理
			○表面化粧加工なし ○１等 ○２等 ○３等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	○適用する ○適用しない

「JAS0701（単板積層材）」以外の造作用単板積層材
○ 造作用単板積層材

使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理
		○表面化粧加工なし ○ ＿＿＿＿ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	※14%以下 ○	○適用する ○適用しない

JAS3079（直交集成板）

使用箇所	品名	曲げ強度	種別	接着性能	樹種	寸法

	⑥ 合板 等 (12.2.1)	「合板の日本農林規格」による普通合板

使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
※押入れ、物入れ		※5.5mm ○ ＿＿		※１類 ○２類	広葉樹 ※２等以上 ○ ＿＿＿＿ 針葉樹 ※C-D以上 ○ ＿＿＿＿	○防虫処理

「合板の日本農林規格」による構造用合板

使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理
※畳床下地材,ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り下地材		※２級以上 ○ ＿＿＿＿	※12mm ○ ＿＿		※１類 ○特類	※C-D以上 ○ ＿＿＿＿		○防虫処理 ○強度等級 ＿＿＿＿

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	その他処理
				○ １類 ○ 特類	○防虫処理

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板(突板練付不燃版)

使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	その他処理
図示	t=6	図示	●１類 ○２類	●防虫処理

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

使用箇所	品目	厚さ	樹種名	接着程度	化粧加工の方法	その他処理
				○１類 ○２類	○オーバーレイ ○プリント ○塗装 ○ ＿＿＿＿	○防虫処理

パーティクルボード

使用箇所	厚さ	各種区分
	※15mm ○ ＿＿	※１３Ｐタイプ又は１３Ｍタイプ ○ ＿＿＿＿

JAS0360に基づく構造用パネル

使用箇所	等級	厚さ

章	項目	特記事項
12 木工事	⑦ 接合具等 (12.2.2)	MDF

使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち　○ 釘頭埋め木　○ つぶし頭丁釘　○ 釘頭現し
錺金物の形状、寸法及び材質
※ かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、
表14.2.2[鉄鋼の亜鉛めっきの種別]のＦ種程度の亜鉛めっきを施したもの
○ ＿＿＿＿

	⑧ 防腐、防蟻及び防虫処理 (12.3.1) ～(12.3.2)	防腐・防蟻処理 ○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○ K2　○ K3　○ K4
	○ K2　○ K3　○ K4

○薬剤の塗布による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ○	※ JIS K 1571に適合又は同等品 ○
	○	

○薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　適用部位 ＿＿＿＿
○合板等の加圧注入処理等の適用　適用部位 ＿＿＿＿
防虫処理　※ 行う（範囲：　ラワン材等　※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1　）
○ 行わない

13 屋根及びといい事	① 性能	※ 本特記仕様書「１章 一般共通事項　4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

(表13.2.1)

屋根葺形式	材料の種類等	厚さ(mm)	下葺材料
○ 心木なし瓦棒葺 ○ 立平葺 ○ 繰掛葺 ○ 横葺	※ JIS G 3322の屋根用　(着色○有) ○ ＿＿＿＿	○ ＿＿	○ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 ○ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材 ○ 一般タイプ ○ 複層基材タイプ ○ 粘着層付タイプ

	2 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3)	専門工事業者　※ 製造所の指定業者とする　○ ＿＿＿＿ ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。 横葺きの場合のけらば納め　○つつみ込み納め　○けらば納め 雪止め　○設置する　○設置しない

	③ 折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	形式による区分　※ 重ね形　○ はぜ締め形　● 嵌合形 山高（mm）　１６０　耐力 山ピッチ（mm）　５００　板厚（mm）　※ 0.6　● 0.8 材料による区分　※JIS G3322の屋根用　(着色　○有)　(表13.2.1) 軒先面戸板　※ 有り(軒先面戸・換気面戸)　○ 無し けらば変形防止材　○ 鉄鋼製（上塗り ※折板色　○　）　○ ｽﾃﾝﾚｽ鋼製 断熱材張り　○行う　種別（　）　厚さ（　）　防火性能（　３０分　） ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 耐雪性能に対応した工法の適用　○適用する　○適用しない 雪止め　○適用する　○適用しない
	4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	種類、大きさ、産地等　※ Ｊ型 ５３Ａ　○ ＿＿＿＿ 役物瓦の種類　＿＿＿＿ 雪止め瓦の使用　○ 有　○ 無 凍害試験　○ 行う　○ 行わない 凍補強用心材の材質、寸法　※杉幅40mm×高さ30mm以上(防腐処理を施したもの) ○ ＿＿＿＿ 凍補強等に使用する金物等

材種	材質	形状	寸法	留付け方法
○ ステンレス製 ○ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理)				

桟木の留付け工法　＿＿＿＿
棟の工法　○ ７寸丸伏せ棟　○ Ｆ形用冠瓦伏せ棟　○ のし積み棟
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力・地震力に対応した工法を品質計画により定める。
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合　○モルタル ○瓦葺き用しっくい

	⑤ とい（雨水） (13.5.2) (13.5.3)	といの材種 (表13.5.1)　○ 配管用鋼管　● 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　●ルーフドレイン ● アルミバンドレス　＿＿＿＿ ○ 表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　○ ＿＿＿＿） （屋内といにＶＰ管は使用しない）　○ ＿＿＿＿ とい受け金物及び足金物 材種　○ ＿＿＿＿　※ 表13.5.2(溶融亜鉛めっきを行ったもの) 形状　○ ＿＿＿＿　※ 表13.5.2 取付け間隔　○ ＿＿＿＿　※ 表13.5.2　○ 0.5m以下（多雪地域の場合） 鋼管製といの防露　※ 行う　（施工箇所　※ 表13.5.3による　○ ＿＿＿＿　） 防露材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿ 掃除口　※ 設ける　（開放性のある自転車置場のといを除く）
	⑥ 保証書	※ 受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 （保証年限：工事目的物引渡しより　10 年間以上とする。）

章	項目	特記事項
14 金属工事	① 一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引張試験　※ 行う　（　箇所以上、　N/箇所　） ○ 行わない

(表14.2.1)

種別	施工箇所（手すり、成形板、笠木、建具以外）
B-2(ブラック)	竪樋

	② ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理 (14.2.2)	陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色　○ 三次電解着色　○ ＿＿＿＿ 色合等　＿＿＿＿

(表14.2.2)

表面処理方法	種別	試験	施工箇所
● 溶融亜鉛めっき	● A種　● B種　● C種	● 行う	外部鉄部共通
○ 電気亜鉛めっき	○ D種　○ E種　○ F種	○ 行う	

	③ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)	

	④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) ～(14.4.4)	野縁等の種類　屋内　※ 19型　○ 25型　(表14.4.1) 屋外　○ 19型　※ 25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔　図示 ＿＿ mm 屋外の周辺部の端からの寸法　図示 ＿＿ mm 屋外の野縁の間隔　図示 ＿＿ mm 屋外のはずれ留め補強　※ 有り　○ 無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法　※ 図示による　○ ＿＿＿＿ 天井のふところの補強（1.5m以上3m以下）　※ 行う （3m超える）　※ 行う（ 図示による ） 天井下地材における耐震性を考慮した補強　● 行う　○ 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　● 行う　○ 行わない

	⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	スタッド、ランナー等の種類　(表14.5.1) ※ 表14.5.1におけるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類　○ ＿＿＿＿ スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示による　○ ＿＿＿＿

(表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(mm)	表面処理（種別）
○ スパンドレル形	○ 押出し ○ ロール	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ● スチールパネル	板厚 3.2 板幅 図示	● Znの上リン酸処理
● パネル形	※ プレス			

伸縮調整継手　○ 設けない　○ 設ける　（施工箇所は図示）

(表14.7.1)

種類	板厚(mm)	表面処理（種別）	備考
○ 250 形	1.6	● B-2	ｺｰﾅｰ 部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。
○ 300 形	1.8		
● 350 形	2.0		
● 図示			

	⑦ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による　○ ＿＿＿＿
	⑧ 天井点検口	● アルミニウム製既製品（450 ×450 ）　＿＿ 箇所　● 図示 ● アルミニウム製既製品（600 ×600 ）　＿＿ 箇所　● 図示
	⑨ 床点検口	● アルミニウム製既製品（600 ×600 ）　＿＿ 箇所　● 図示 ○ ステンレス製既製品　（600 ×600 ）　＿＿ 箇所 ○ 鋳鉄製マンホール蓋　＿＿ 型　＿＿ φ　＿＿ 箇所
	⑩ 屋上点検口	寸法（mm）　○ φ600　○ 500角　● 図示 断熱材　● 有り　○ 無し

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（４）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEXJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:－ A3:－	A-004

章	項目	特記事項
15 左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	下地の種類 ○ 二層下地通気構法 ○ 単層下地通気構法 換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(ｳ)) ○ 直張りラスモルタル下地 ○ 直張りラスシートモルタル下地 ラスの材料 種類及び記号 (　　) 単位面積当たりの質量 (　　) ラスシートの材料 ラス目による区分 (※M ○　　) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (OLS4（建築基準法に基づく耐力壁） ○　　) ステープルの形状及び寸法 (　　) 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシート施工 (　　)
	② モルタル塗り (15.3.2) ～ (15.3.5)	材料 ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 既製目地材 ○ 適用する (形状　　) 床塗り 目地の設置 ※ 有り (種類 ※ 押目地 ○　　) (目地割 ※ 2㎡程度 最大目地間隔 3m ○　　) ○ 無し 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗及び 下地調整塗材塗りの接着力試験 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力試験 ● 行う ○ 行わない
	3 石こうボードその他のボード下地	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ 種類（○GB-R ○GB-L ○　　）厚さ（　　mm） 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類（○　　）厚さ（　　mm）
	4 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定（○あり ○なし）
	5 木ずり下地	木ずり用小幅板の種類（※すぎ（心去り材） ○　　）
	⑥ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○

薄付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)

種類（呼び名）	仕上げ		工法	備考
○ 外装薄塗材Si	○ 砂壁状	○ ゆず肌状	吹付け	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 可とう形外装薄塗材Si	○ 砂壁状	○ ゆず肌状	吹付け	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 外装薄塗材E	○ 砂壁状	○ ゆず肌状	吹付け	
	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 着色骨材砂壁状	○ 吹付け	○ こて塗		
○ 可とう形外装薄塗材E	○ 砂壁状	○ ゆず肌状	吹付け	
	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 防水形外装薄塗材E	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
（ ○ 増塗材 ）	○ 凹凸状		吹付け	
○ 外装薄塗材S	砂壁状		吹付け	
○ 内装薄塗材C	○ 凹凸状		吹付け	○ 調湿形
○ 内装薄塗材L	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 内装薄塗材Si	○ 砂壁状じゅらく	○ ゆず肌状	吹付け	
● 内装薄塗材E	● 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状	○ さざ波状	ローラー	
○ 内装薄塗材W	○ 京壁状じゅらく	○ ゆず肌状	吹付け	○ 調湿形 ○ 耐アルカリ性 ○ かび抵抗性
	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	

厚付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)

種類（呼び名）	仕上げ		工法	備考
○ 外装厚塗材C	○ 吹放し	○ 凸部処理	吹付け	
	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
（ ○ 上塗材 ）	○ ひき起し	○ かき落とし		
○ 外装厚塗材Si	○ 吹放し	○ 凸部処理	吹付け	
○ 外装厚塗材E	○ 平たん状	○ 凹凸状	○ こて塗	
（ ○ 上塗材 ）	○ ひき起し		○ ローラー	
○ 内装厚塗材C	○ 吹放し	○ 凸部処理	吹付け	○ 調湿形
	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し	○ かき落とし		
○ 内装厚塗材L	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し	○ かき落とし		
○ 内装厚塗材G	○ 平たん状	○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し	○ かき落とし		
○ 内装厚塗材Si	○ 吹放し	○ 凸部処理	吹付け	
○ 内装厚塗材E	○ 平たん状	○ 凹凸状	○ こて塗	
	○ ひき起し		○ ローラー	

章	項目	特記事項
15 左官工事		複層仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1) ○ 複層塗材CE ○ 凸部処理 吹付け ○ 複層塗材RE ○ 凹凸状 ○ 複層塗材Si ○ 複層塗材E ○ ゆず肌状 ローラー ○ 可とう形複層塗材CE ○ 凸部処理 ○ 凹凸状 吹付け ○ ゆず肌状 ローラー ○ 防水形複層塗材CE ○ 凸部処理 吹付け（○増塗材） ● 防水形複層塗材E ● 凹凸状 ○ 防水形複層塗材RE ○ ゆず肌状 ローラー 複層仕上塗材の耐候性 ○ 耐候形1種 ○耐候形2種 ○耐候形3種 複層仕上塗材の上塗材 溶媒 ○ 水系 ○ 弱溶剤系 ○ 溶剤系 樹脂 ○ アクリル系 ○　　 外観 ○ つや有 ○ つやなし ○ メタリック
		軽量骨材仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1) ○ 吹付用軽量塗材 砂壁状 吹付け ○ こて塗用軽量塗材 平たん状 こて塗
	7 マスチック塗材塗り (15.7.2)	種別 ○ A種 ○ B種 (表15.7.1)
	8 しっくい塗り (15.10.1) ～ (15.10.3)	下地 ○ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ ○せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ ○ﾓﾙﾀﾙ塗り ○木ずり ○こまい ○ 下塗りをせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰとし上塗りに使用する場合 ○　　 材料 ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 色しっくい ○適用する ○適用しない 既調合しっくいの調合 ○ せっこうボード下地 ※（表15.10.1） ○　　 ○ モルタル塗り下地 ※（表15.10.2） ○　　 ○ せっこうラスボード下地 ※（15.8.2） ○　　 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ○ 木ずり下地 ※（表15.10.3） ○　　 ○ せっこうプラスター下地、こまい下地 ※（表15.10.4） ○　　 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ○ なで切り仕上げ ○パターン
	9 こまい壁塗り (15.11.2) ～ (15.11.8)	土壁用のり ※ つのまた ○ ふのり ○ ぎんなんそう ○ 粉末海藻 ○　　 砂壁用のり ※ ふのり ○ つのまた ○ こんにゃくのり ○ にわか ○ 合成樹脂系混和剤 ○　　 色土の種類 ○ 土物仕上げ　　 ○ 大津仕上げ　　 色砂の種類 ○天然砂と岩石の砕砂 ○ 人工的に着色・製造したもの 下塗りの調合 ※ 表15.11.2 ○　　 塗厚 ※ 表15.11.8 ○　　 ○ 耐力壁の指定がある場合 （　　mm） 工程 ※ A種 ○ B種 ○土物 仕上げ 種類 ○ 土もの仕上げ工法 ○ 水ごね土物１工法 ○ 水ごね土物２工法 ○ のりさし土物工法 ○ のりごね土物工法 ○ 砂壁仕上げ工法 ○ 切返し仕上げ工法 ちりじゃくり ○大津 仕上げ 種類 ○ 普通大津仕上げ工法 ○ 大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり
	⑩ ロックウール吹付け (15.12.2) (15.12.3)	

吹付け厚さ（mm）	施工箇所
３０mm	※仕上げ表による

ﾛｯｸｳｰﾙのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○　　
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○　　

章	項目	特記事項
16 建具工事	① 性能	※ 本特記仕様書「１章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
	② 防火戸 (16.1.3)	※ 図示による ○
	3 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 ○ 行う （建具番号　　） 特殊な建具の仮組 ○ 行う （建具番号　　）
	4 防犯建物部品 (16.1.6)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 （　　） ・ サッシ 適用箇所 （　　） ・ シャッター 適用箇所 （　　）
	⑤ アルミニウム製建具 (16.2.2) ～ (16.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 （コンクリート系下地、鉄骨下地） (表16.2.1)

性能等級	● A種	○ B種	○ C種
耐風圧性	※ S－4 ○	※ S－5 ○	※ S－6 ○
気密性	※ A－3 ○		※ A－4 ○
水密性	※ W－4 ○		※ W－5 ○
枠見込み(mm)	※ 図示 ○ 70 ○ 100		※ 図示 ○

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 （木下地） (表16.2.2)

性能等級	○ D種	○ E種
耐風圧性	※ S－2 ○	※ S－3 ○
気密性	※ A－3 ○	
水密性	※ W－3 ○	
枠見込み(mm)		

表面処理 (表14.2.1)

種別		色	施工箇所
屋外	○ BB－1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
	● BB－2種	● 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
屋内	○ BC－1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
	○ BC－2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
	○	○ 標準 ○ 特注	

● 防音ドア、防音サッシとする場合 （遮音性の等級 D-40 ）
○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 （断熱性の等級 ）
○ 耐震ドアとする場合 （面内変形追随性の等級 ）
結露水の処理方法 ※ 図示による ○　　
水切り、ぜん板等 ※ 図示による ○　　
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○　　
木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○ 行う

⑥ 網戸等 (16.2.3) (16.3.3)	防虫網	材質	※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ● ステンレス製（SUS316）
		形式	※ 外部可動式 ○ 固定式
		線径、網目	※ 0.25mm以上、16～18メッシュ ○
	防鳥網	○ 設置する	

7 樹脂製建具 (16.3.2) ～ (16.3.4)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 （コンクリート系下地、鉄骨下地） (表16.3.1)

性能等級	○ A種	○ B種	○ C種
耐風圧性	※ S－4 ○	※ S－5 ○	※ S－6 ○
気密性	※ A－4 ○		
水密性	※ W－4 ○	※ W－5 ○	
枠見込み(mm)	※ 図示 ○		

外部に面する樹脂製建具の性能等級 （木下地） (表16.3.2)

性能等級	○ D種	○ E種
耐風圧性	※ S－2 ○	※ S－3 ○
気密性	※ A－4 ○	
水密性	※ W－3 ○	
枠見込み(mm)	※ 図示 ○	

○ 防音ドア、防音サッシとする場合 （遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○　　）
○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合
（断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ H-7 ○ H-8 ○　　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○　　
ガラス ※ 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○　　
表面色 ○ 標準色 ○ 特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○　　
水切り、ぜん板等 ※図示による ○　　
木下地の場合の外部に面する内付け建具の止水処理 ○行う

章	項目	特記事項
16 建具工事	⑧ 鋼製建具 (16.4.2) ～ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ● S－4 ○ S－5 ○ S－6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシの適用 （遮音性の等級　　） ○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 （断熱性の等級　　） ○ 耐震ドア の適用 （面内変形追随性の等級　　） ○ 点検口の類のくつずりの材料 ○ ○ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※図示による ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○　　 JISただし書き建具の寸法許容差（これ以外は標仕による） ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ ※ 表16.4.2（片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く） ○　　mm
	⑨ 鋼製軽量建具 (16.5.2) ～ (16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する（A－3） ○ 適用しない ○ 防音ドア、防音サッシの適用 （遮音性の等級　　） ○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 （断熱性の等級　　） ○ 耐震ドア の適用 （面内変形追随性の等級　　） 鋼板 ● 表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 ○ ステンレス鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○　　 鋼板類の厚さ ※ 表16.5.1（片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く） ○　　mm 召合せ、縦小口包み板等 ※鋼板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム合金の押出形材
	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ～ (16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○ S－4 ○ S－5 ○ S－6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシの適用 （遮音性の等級　　） ○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 （断熱性の等級　　） ○ 耐震ドア の適用 （面内変形追随性の等級　　） ステンレス鋼板 ※JIS G 4305 種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○　　 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○　　 JISただし書き建具の寸法許容差（これ以外は標仕による） ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ
	⑪ 木製建具 (16.7.2) (16.7.3)	建具材の含水率の種別 ※ A種 ○ B種 ○ C種 フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標仕16.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質（ ※ 広葉樹１種 ○　　） 接着の程度（ ○ １種 ○ ２種 ）	
○ 天然木化粧合板	樹種名 （　　） 接着の程度（ ○ １種 ○ ２種 ）	
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ 接着の程度（ ○ １種 ○ ２種 ）	
○ ＭＤＦ		

表面材の合板の種類の適用及び品質等 ● メラミン化粧合板
表面板の厚さ ※ 図示による ○　　
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ○適用する ○適用しない
かまち戸
かまち及び鏡板の樹種 ※ 図示による ○　　
見込み寸法 ※ 36mm ○　　
ふすま
材料の種別 ○ Ⅰ型 ○ Ⅱ型
上張りの種類 ※ 図示による ○　　
見込み寸法 ※ 19.5mm ○　　
戸ぶすま
上張りの種類 ※ 図示による ○　　
見込み寸法 ※ 30mm ○　　
紙張り障子
見込み寸法 ※ 30mm ○　　
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○　　
枠及びくつずりの材料 ※ 図示による

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（５）	2023/03
管理技術者名	設計者名	縮尺 / 図面番号
NEOJEC 株式会社ニュージェック 小田 文武	安川 雅巳	A1:－ A3:－ / A-005

章	項目	特記事項
16 建具工事	⑫ 建具用金物 (16.8.2) ～(16.8.4)	マスターキーの製作 ● 作成する （ 7 グループ、各グループ 3 個 ） ○ 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる ● 子錠は各室作成 鍵の製作本数 ※ 3本 1組 ○＿＿＿＿ 開き戸 (表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
● シリンダー箱錠	○ 握り玉：ｽﾃﾝﾚｽ ● ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金、（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅）	● 取付位置（ 図示 ） 実用性能項目 ※ ｸﾞﾚｰﾄﾞ3以上（鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾃﾝﾚｽ建具）○＿＿＿＿ 耐じん性能のｸﾞﾚｰﾄﾞ○＿＿＿＿
	ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾗｰ：ｽﾃﾝﾚｽ	● 図示
● 本締り錠	ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾗｰ：ｽﾃﾝﾚｽ	実用性能項目 ※ ｸﾞﾚｰﾄﾞ3以上（鋼製建具、鋼製軽量建具、ｽﾃﾝﾚｽ建具）○＿＿＿＿ 耐じん性能のｸﾞﾚｰﾄﾞ○＿＿＿＿
○ 空錠	○ 握り玉：ｽﾃﾝﾚｽ ○ ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金、（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅）	○ 取付位置（ ）
○ グレモン錠	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ：亜鉛合金、（○ｽﾃﾝﾚｽ）	○ 取付位置（ ）
ケースハンドル錠	ステンレス ●図示	
点検口錠	亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ） ●図示	
丁番	ｽﾃﾝﾚｽ、（○黄銅）	
● ピボットヒンジ	ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（○亜鉛合金）	亜鉛合金は木製建具用のみ
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き
○ フロアヒンジ	ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（本体は銅）	ドアクローザー
○ ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ（丁番型）	銅（焼付け塗装）	○ 遅延閉り機能付き
○ ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ（ﾋﾟﾎﾞｯﾄ型）	ｶﾊﾞｰ部：ｽﾃﾝﾚｽ、（本体は銅）	
● ドアクローザー	本体：ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ｱｰﾑ部：銅（焼付け塗装）	
閉鎖順位調整器	ｽﾃﾝﾚｽ、（○銅）	
● 押棒・押板	（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅、○合成樹脂 ●図示）	● 取付位置（ 図示 ）
上げ落し（フランス落し）	亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ）	
● ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ	銅（ｸﾛｰﾑめっき）、（○ｽﾃﾝﾚｽ）	
● 戸当り	亜鉛合金程度、（○ｽﾃﾝﾚｽ、○黄銅）	○ あおり止め付き

引き戸 (表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
引戸用錠	建具製作所の仕様による。	木製建具の場合：ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾗｰ等はｽﾃﾝﾚｽ
● クレセント		● 取付位置（ 図示 ）
引手類		木製建具の場合：ｽﾃﾝﾚｽ（○黄銅） ●図示
戸車（上吊りの場合除く）		
レール（上吊りの場合を除く）	ステンレス、（○ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ○黄銅）	黄銅は木製建具用のみ

金属製建具用丁番 ※ 表16.8.2による ○＿＿＿＿
樹脂製建具用丁番 ※ 表16.8.3による ○＿＿＿＿
木製建具用丁番 ※ 表16.8.4による ○＿＿＿＿
戸車及びレール ※ 表16.8.5による ○＿＿＿＿

章	項目	特記事項
16 建具工事	⑬ 自動ﾄﾞｱ開閉装置 (16.9.2) ～(16.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 ● 引き戸用駆動装置性能値 ※ 標仕 表16.9.1による（○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ● DSLD-1 ○ DSLD-2） ○ 種類・開閉方式／耐電圧／温度上昇／耐久性(サイクル)／防錆／電源 ○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 ※ 標仕 表16.9.2による ○ 耐電圧／温度上昇／耐久性(サイクル)／防錆／電源 ○ 引き戸用検出装置性能値 ※ 標仕 表16.9.3による ○ 放射無線周波数電磁界耐性／耐電圧／防錆／防滴／電源 戸の開閉方式 ※ 建具表による ○＿＿＿＿ 引き戸検出装置の種類 ○ 表16.9.4（ ）による ※ 建具表による タッチスイッチの種類 ○無線式タッチスイッチ ○光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ○大型押しボタンスイッチ ○非接触スイッチ 凍結防止 措置 ○ 行う
	⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)	性能値等の区分 (表16.10.1) 適用戸の総質量(kg)：●40以下／○40を越えるもの 手動開き力(N)：※15以下 ○／※20以下 ○ 手動閉じ力(N)：※15以下 ○／※20以下 ○
		性能等＿＿＿＿ 品質・規格＿＿＿＿
	⑮ 重量シャッター (16.11.2) ～(16.11.4)	種類 ● 管理用シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ●設ける） 耐風圧強度 2,000Pa ○ 外壁用防火シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ※設ける） 耐風圧強度＿＿＿＿ ● 屋内用防火シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ※設ける） ○ 屋内用防煙シャッター（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ※設ける） 開閉方式 ※ 電動式（手動併用） ○ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○＿＿＿＿ 管理用シャッターのシャッターケース ○設ける ○設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 材質／めっきの付着量 ○ JIS G 3302／○ Z12又はF12を満足するもの ○ ● JIS G 3312／● Z12又はF12を満足するもの ○
	⑯ 軽量シャッター (16.12.2) ～(16.12.4)	開閉方式 ○ 電動式（手動併用） ※ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○＿＿＿＿ 耐風圧強度＿＿＿＿ スラット 材質／めっきの付着量／形状 ○ JIS G 3312／○ Z06又はF06を満足するもの ○／● インターロッキング形 ● JIS G 3322／● AZ90を満足するもの ○／○ オーバーラッピング形
	⑰ オーバーヘッドドア (16.13.2) ～(16.13.4)	セクション材 ○ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ● ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ○ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ 耐風圧性能 1,435N/㎡ 開閉方式 ○ **バランス式** ○ チェーン式 ● 電動式 電動式には保護装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○＿＿＿＿ 収納形式 ● スタンダード型 ○ ローヘッド型 ○ ハイリフト型 ○ バーチカル型 ガイドレール等 ○ 溶融亜鉛めっき鋼板 ● ステンレス鋼板
	⑱ ガラス (16.14.2) ～(16.14.4) (9.7.1～5)	材料 種別／種類等／種別／種類等 ● ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ／／● 強化ガラス／ ● 型板ガラス／／○ 熱線吸収板ｶﾞﾗｽ／ ● 網入板ガラス／型板ガラス／● 複層ガラス／ ○ 線入板ガラス／／○ 熱線反射ｶﾞﾗｽ／ ● 合わせガラス／／○ 倍強度ガラス／ ● 耐熱強化ガラス／特定防火設備認定品／○／

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材の種別	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製建具	●シーリング材	※建具製造所の仕様による
	○グレイジングチャンネル	○図示による
鋼製及び鋼製軽量建具	●シーリング材	※建具製造所の仕様による
	○	○図示による
ステンレス製建具	●シーリング材	※建具製造所の仕様による
	○	○図示による
樹脂製建具	○グレイジングガスケット	※建具製造所の仕様による
	○	○図示による

※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。

章	項目	特記事項
16 建具工事	19 ガラスブロック (16.14.5)	○ 壁用金属枠及び補強材＿＿＿＿ ○ 力骨 材質 ※ SUS304 ○＿＿＿＿ 寸法・形状 ※ 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 ○＿＿＿＿ ○ 化粧目地モルタルの色＿＿＿＿ ○ シーリング ※ 表9.7.1による ○＿＿＿＿ ○ 金属製化粧カバー 材質 ○ SUS304 ○＿＿＿＿ 寸法・形状 ※ 図示による ○＿＿＿＿ ○目地幅の寸法 ○ 平積み ※ 8mm以上、15mm以下 ○＿＿＿＿ ○ 曲面積み ※ 外側 15mm以下、内側 6mm以上（曲率半径はｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ幅寸法の10倍以上とする）○＿＿＿＿ ○ 伸縮調整目地の位置 ※ 6m以下ごとに幅10～25mmの伸縮目地を設ける。○＿＿＿＿

寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	パターン	防火認定
	○	○ クリア ○ カラー（ ）		※ なし
×	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射		○ あり

※ 品質規格はJIS A 5212 による
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

章	項目	特記事項
17 カーテンウォール工事	① 性能 (17.1.3)	※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 耐風圧性：● S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○ 耐震性：水平方向(KH) ※ 1.0 ○ 鉛直方向(KV) ※ 0.5 ○ 水密性：○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ● W5 気密性：○ A1 ○ A2 ○ A3 ● A4 ○ 耐火性：※ 図示 ○ 30分 ○ 1時間 ● 非防火 耐温度差性(℃)：○ 80 ○ 70 ○ 60 ○ 遮音性：○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ● 指定なし 断熱性：○ H1 ○ H2 ○ H3 ○ H4 ○ H5 ● 指定なし
	2 メタルカーテンウォール (17.2.2) ～(17.2.3) (17.2.5)	材料：○ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ○鋼材 ○ステンレス鋼材 形状・寸法：※ 図示による 断熱材：※ 図示による 見え掛り仕上げ：ｱﾙﾐﾆｳﾑ材の場合 ○ （標仕16.2.3）／鋼材及びステンレス鋼材の場合 ○ 製品の寸法許容差：○ 表17.2.1による ○＿＿＿＿
	3 PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ (17.3.2) ～(17.3.5)	コンクリート ○ 種類＿＿＿＿ ○ 品質＿＿＿＿ 鉄筋 ※ SD295 ○＿＿＿＿ 補強鉄線 径＿＿＿＿ 網目寸法＿＿＿＿ 耐火目地材＿＿＿＿ 断熱材＿＿＿＿ 仕上げ＿＿＿＿ 仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 ※ 図示による
	④ シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2) (17.3.2)	○ 表9.7.1による ● 図示＿＿＿＿ ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持
	5 構造用ガスケット (17.2.2) (17.3.2)	材質 ※ 図示による ○＿＿＿＿ 形状 ※ 図示による ○＿＿＿＿ 寸法 ※ 図示による ○＿＿＿＿

章	項目	特記事項
18 塗装工事	① 塗装材料 (18.1.3)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿
	② 素地ごしらえ (18.2.2) ～(18.2.7)	(表18.2.1)～(表18.2.7) 木部：不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ○ B種／透明塗料塗りの場合 ○ A種 ※ B種 鉄鋼面（DP以外） ○ A種 ○ B種 ※ C種 鉄鋼面（DPのみ） ○ A種 ※ B種 ○ C種 亜鉛めっき鋼面 ● A種 ○ B種 モルタル面及びせっこうプラスター面 ○ A種 ※ B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）及びALCパネル面 ○ A種 ※ B種 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 ○ A種 ○ B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DPのみ） ※ A種 ○ B種 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及び：目地：継目処理工法 ※ A種 ○ B種 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面：目地：継目処理工法以外 ○ A種 ※ B種
	③ 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)	(表18.3.1)～(表18.3.4) 鉄鋼面／SOP／A種／見え掛り：A種、見え隠れ：B種 DP／C種及びD種／表18.3.4 EP-G／○A種 ※B種／見え掛り：A種、見え隠れ：B種 亜鉛めっき鋼面／SOP／※A種 ○B種／鋼製建具等：A種、上記以外：B種 ○A種 ※B種 DP／B種／表18.3.6 EP-G／C種／鋼製建具等：A種、上記以外：B種
	④ 塗装工程 (18.4.1) ～(18.14.2)	工程の種別 (表18.4.1)～ (表18.14.1) SOP 合成樹脂調合ペイント塗り：木部 屋内 ○ A種 ※ B種／屋外 ※ A種 ○ B種／鉄鋼面 ○ A種 ※ B種／亜鉛めっき鋼面 ※ 表18.4.3による CL クリヤラッカー塗り ○ A種（着色塗料種類＿＿＿＿） ※ B種 NAD ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り ○ A種 ※ B種 DP 耐候性塗料塗り：鉄鋼面 ※ 表18.7.1による／亜鉛めっき鋼面 ※ 表18.7.2による／ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 ● A種 ○ B種 ○ C種／上塗り ● 1級 ふっ素樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ○ 3級 ｳﾚﾀﾝ系等 EP-G つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り：ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面 ○ A種 ※ B種／木部 ※ 表18.8.2による／鉄鋼面 屋内 ○ A種 ※ B種／亜鉛めっき鋼面 屋内 ※ 表18.8.4による EP 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り ○ A種 ※ B種 UC ウレタン樹脂ワニス塗り ○ A種 ※ B種 ステイン塗り ○ピグメントステイン塗り（表18.11.1）／○オイルステイン塗り（OS） WP 木材保護塗料塗り ○ A種 ※ B種 クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ○適用しない ○適用する（着色剤：○溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤） ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ○適用する ○適用しない オイルステイン塗りの工程等 ○＿＿＿＿
19 内装工事	① 揮発性有機化合物対策 (19.2.2) (19.3.3) (19.4.2) (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ・ﾀｲﾙ、ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ、ｶｰﾍﾟｯﾄ、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、ﾎﾞｰﾄﾞ類、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿ 塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○＿＿＿＿ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ○図示による ○＿＿＿＿
	② ビニル床シート張り (19.2.2)	区分／種類／記号／厚さ(mm)／色柄／工法／施工箇所 発泡層無：○ 単層ビニル床シート／TS／○ 2.5 ※ 2.0／※ 無地 ○ マーブル ● 図示／※ 熱溶接 ● ジョイントシールド／※ 仕上表による 発泡層無：※ 複層ビニル床シート／FS／○ 2.5 ※ 2.0／※ 無地 ○ マーブル ● 図示／※ 熱溶接 ● ジョイントシールド／※ 仕上表による 発泡層有：○ 発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ／HS／○／○ マーブル ● 図示／● ジョイントシールド／※ 仕上表による 発泡層有：○ クッションフロア／KS／○／○ マーブル ● 図示／● ジョイントシールド／※ 仕上表による
	③ ビニル床タイル張り (19.2.2)	区分／種類／記号／厚さ(mm)／色柄／寸法／施工箇所 接着形：※ ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ／KT／○ 2.5 ○ 2.0／● 図示／● 図示／● 図示 接着形：○ 単層ビニル床タイル／TT／○ 2.5 ○ 2.0／● 図示／● 図示／● 図示 接着形：○ 複層ビニル床タイル／FT／○ 2.5 ○ 2.0／● 図示／● 図示／● 図示 置敷形：○ 置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ／FOA／● 3.0／● 図示／● 図示／● 図示 置敷形：○ 薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ／FOB／● 3.0／● 図示／● 図示／● 図示

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（6）	2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田 文武 / 設計者名：安川 雅巳 / 縮尺：A1:- A3:- / 図面番号：A-006	

章	項目	特記事項

19 内装工事

4 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)

○ 帯電防止床シート

種類	性能	厚さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10^{7}～1×10^{10} Ω程度	
○	○	

○ 帯電防止床タイル

種類	性能	寸法 (mm)	厚さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10^{7}～1×10^{10} Ω程度		
○	○		

⑤ 視覚障害者用床タイル (19.2.2)

種類	形状	備考
○ 塩化ビニル系	※ ３００mm角	
○ レジンコンクリート系	○ １５０mm角	
○ 磁器又はせっ器質タイル	● 杉田エースJL22-S-Y同等	
● ステンレス鉄		

6 耐動荷重性床ｼｰﾄ (19.2.2)

種類	厚さ (mm)	備考
○	○	
○	○	

⑦ 防滑性床シート、床タイル (19.2.2)

● 防滑性床シート

種類	厚さ (mm)	備考
● 複層ビニル	● 2.0	消臭トワレ同等
○	○	

○ 防滑性床タイル

種類	寸法	厚さ (mm)	備考
○	○	○	
○	○	○	

⑧ ビニル幅木 (19.2.2)

種類	高さ (mm)	厚さ (mm)
● 軟質 ○ 硬質	※ 60 ○ 75 ○ 100 ○	※ 1.5 ○ 2.0

9 ゴム床タイル張り (19.2.2)

種類	色柄	厚さ (mm)	寸法 (mm)
○ 単層品 ○ 積層品			

⑩ カーペット敷き (19.3.2) (19.3.3)

○ 織じゅうたん

種別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所
○ A種			○ 適用	※ 無地	○ ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法	
○ B種				○	○ つづり縫い	
○ C種						

○ タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所
		○ ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	○ 適用	
		○ 全面接着工法		

● タイルカーペット

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所
※ 一種	※ ループパイル	※ 500×500	○ 6.5	図示
○ 二種	○	○	● 7.8	

タイルカーペットの敷き方　平場部分　○ 市松敷き　● 流し敷き

階段部分　○ 模様流し　○ ＿＿＿＿

下敷き材　※ JIS L 3204(反毛フェルト)の　第２種呼び厚さ8mm

○ ＿＿＿＿

見切り、押さえ金物　材質、形状等　※ 図示による　○ ＿＿＿＿

⑪ 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)

厚膜型塗床材

○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材

※ 平滑仕上げ　○ 防滑仕上げ　○ つや消し仕上げ

塗厚（mm）　○ ＿＿＿＿

○ エポキシ樹脂系塗床材

○ 薄膜流し　のべ仕上げ　（ ○ 平滑　○ 防滑 ）

○ 厚膜流し　のべ仕上げ　（ ○ 平滑　○ 防滑 ）

○ 樹脂モルタル仕上げ　（ ○ 平滑　○ 防滑 ）

薄膜型塗床材　（OAフロア下防塵塗料）

● エポキシ樹脂系塗床材　（ ABC商会　ルメアコートER　同等 ）

無機系塗床材　（防塵塗料）

● 大粒骨材配合散布型美装高耐久床仕上材　（ ABC商会　カラーハードEM　同等 ）

⑫ フローリング張り (19.5.2)～(19.5.6)

単層フローリング　(表19.5.1)～(表19.5.6)

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考
● フローリング ボード　1等	※ なら ○	○ ● 15 ○ 12 ○ 8	● 巾120以上 ● 表19.5.1 ○ 表19.5.4 ○ 表19.5.5	釘留め工法 ○ 根太張り工法 ● 直張り工法 ● 接着工法	
○ フローリング ブロック　1等	※ なら	○ 8 ○ 15 ○		○ 接着工法	○ 防水処理足金物付

複合フローリング

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考
○ １×６タイプ ○ フローリング ボードタイプ ○	※ なら ○	○ 8 ○ 15 ○	釘留め工法 ○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法	○ A種 ○ B種 ○ C種	

接着工法のフローリング裏面の不陸緩和剤　※ 合成樹脂発泡シート　○ ＿＿＿＿

仕上げ塗装　○ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形）Ｂ種

○ オイルステインの上ワックス塗り　○ 生地のままワックス塗り

○ ＿＿＿＿

13 縁甲板張り (19.5.1)

樹種	等級	仕上程度	施工箇所

⑭ 畳敷き (19.6.2)

種別　● A種　○ B種　○ C種　○ D種　(KT- ＿)　(表19.6.1)

衝撃緩和畳（畳表　○C1　○C2）

⑮ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2)

種別　※ 表19.7.1によるＪＩＳ規格品とする　(表19.7.1)

種類	規格、厚さ(mm)等
● せっこうボード(GB-R)	※ 12.5(不燃)　● 9.5(準不燃)
○ 化粧せっこうボード(GB-D)	○ 杉柾模様 ○ トラバーチン模様（軽鉄下地は専用のものとする） ○ 12.5(不燃)
● 不燃積層せっこうボード(GB-NC)	● トラバーチン模様 ○ 模様なし ※ 9.5(不燃)
● シージングせっこうボード(GB-S)	○ 15(不燃)　● 12.5(不燃)　○ 9.5(準不燃)
● 強化せっこうボード(GB-F)	● 21(不燃)　● 15(不燃)　○ 12.5(不燃)
○ ロックウール吸音ボード(RW-B)	※ 25　○
○ グラスウール吸音ボード(GW-B)	※ 25　○
● 吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	● 9.5(準不燃)
● ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用　フラット　● 12(不燃)　○ 9(不燃) 内部用　立体模様　○ 15(不燃)　※ 12(不燃) 軒天用　フラット　○ 12(不燃)　※ 9(不燃) 軒天用　立体模様　○ 15(不燃)　※ 12(不燃)
● けい酸カルシウム板(0.8FK,1.0FK)	タイプ２（無石綿）　○ 8.0　● 6.0　○
● メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　※ 1.2
○ 難燃木毛セメント板	○ 30　○ 25　○ 20　○ 15
○ 断熱木毛セメント板	○ 30　○ 25　○ 20　○ 15
○ 普通合板	厚さ　接着の程度　表板樹種 板面の品質　防虫処理○行う
● 天然木化粧合板（突板練付不燃合板）	厚さ t=6　接着の程度 1類 化粧板樹種　○ なら　○ しおじ ● 図示　防虫処理 ●行う
○ 特殊加工化粧合板	厚さ　接着の程度　化粧加工の方法 表面性能　○F　○FW　○W　○WS　防虫処理○行う
● その他下張り用合板	

天井のﾎﾞｰﾄﾞ類（ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板を除く）の重ね張りを行う場合　※図示による

合板類の張付け　(表19.7.3)

○ A種　※ B種

せっこうボードの目地処理　(表19.7.5)

● 目透かし　● 突付け　● 継目処理

突付け工法及び目透かし工法のエッジの種類　○ベベルエッジ　○スクエアエッジ

⑯ 壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)

防火性能・種類・規格・施工箇所　※ 図示による　○ 下表による

施行箇所	防火性能	品質・規格

素地ごしらえ　モルタル及びプラスター面　○ A種　※ B種　(表18.2.4)

コンクリート面　○ A種　※ B種　(表18.2.5)

せっこうボード面

目地継目処理工法の場合　※ A種　○ B種　(表18.2.7)

突付け・目透し工法の場合　○ A種　※ B種　(表18.2.7)

⑰ 天井廻り縁

材質　● アルミニウム製　● 塩化ビニル製

⑱ 断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)

	材料		その他
断熱材打込み工法	○ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ　断熱材 ○ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ　断熱材 ○ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ　断熱材 ○ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ　断熱材	JIS A 9521	断熱材厚さ ○ ＿＿ mm
断熱材現場発泡工法	● A種１　○A種１Ｈ　○ ＿＿ （難燃性を有するものとする）	JIS A 9526	吹付け厚さ ● 図示

※ 開口部等補修用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量はJISで定めるＦ☆☆☆☆とする

※ 特定フロンを使用しないものとする。

20 ユニット及びその他の工事

① 家具、ﾕﾆｯﾄ等の揮発性有機化合物対策

収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の放散量　※ F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿

収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の放散量　※ F☆☆☆☆　○ ＿＿＿＿

含まれる可塑剤　※ ﾌﾀﾙ酸ｰﾌﾞﾁﾙ等を含有しない、難揮発性のもの　○ ＿＿＿＿

② フリーアクセスフロア (20.2.2)

※ 建設技術評価制度「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の技術評価を取得した製品とする。

施工箇所	寸法 (mm)	フロア高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗
図示	●100	FL±0	無し	3000N		
図示	●200	FL±0	免振	5000N		

スロープ及びボーダー　※ 製造所の標準仕様　○ 図示による

コンセント等の取付け　※ 製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）

配線用取出し用開口　※ 対応品又は工場加工品　（施工箇所は図示）

空調用吹出しパネル　○ あり　（ ※ 固定式　○ 可変式　施工箇所は図示　）

※ 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕１９章内装工事による。

フリーアクセスフロアの試験方法

耐荷重性能　○ ＿＿＿＿

耐衝撃性能　○ ＿＿＿＿

ローリングロード性能　○ ＿＿＿＿

耐燃焼性能　○ ＿＿＿＿

③ 可動間仕切 (20.2.3)

種類 構造形式	種類 構成基材	種類 表面仕上	遮音性	ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具 寸法・形状
● パネル式 ○ スタッド式 ○ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	● 図示	○メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付 ● 図示	● 図示	● 図示

パネル材料のホルムアルデヒト放散量　F☆☆☆☆

④ 移動間仕切 (20.2.4)

パネル操作方法による種類	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性
● 図示	● 図示	● 図示	● 図示

あと施工アンカー　材質 ＿＿＿＿　寸法 ＿＿＿＿

引抜耐力試験　※ 行う

⑤ トイレブース (20.2.5)

表面材　○ メラミン樹脂系化粧板　○ ポリエステル樹脂系化粧板

● MDF下地の上、木目塩化ビニルシート

脚部　※ 幅木型　○ 足金物型

ドアエッジの材質　※トイレブース製造所の仕様による。　○ ＿＿＿＿

パネル材料のホルムアルデヒト放散量　F☆☆☆☆

⑦ てすり (20.2.6)

材料及び表面処理	施工箇所
○ステンレス製SUS304　※HL程度　○ ＿＿＿＿	
○鋼製　亜鉛めっき　外部　○ ＿＿　内部　○ ＿＿	
○アルミニウム製　○ ＿＿＿＿	

手すりの握り部分

○ ステンレス製　（SUS304　ＨＬ仕上）　径 ＿＿ mm　（仕様は金属工事参照）

● 集成材　径 図示　● WP　○ クリアラッカー仕上げ

○ ビニル製ハンドレール　※ 丸型　径 ＿＿ mm　○ 平型　幅 ＿＿ mm

⑦ 階段滑り止め (20.2.7)

材種　○ ステンレス製（SUS304）　● 集成材スリット加工 真ちゅうローレット加工　幅　○ 約35mm　● 約85mm

形状　○ ビニルタイヤ入り　両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　○ あり　（ ○ ビニル　○ SUS304 ）

取付工法　○ 接着工法　○ 埋込み工法　● 釘・接着材併用固定

8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

	区分	種類	色彩	備考
○ 黒板	※ 焼付け ○	○ 鋼製黒板 ○ ほうろう黒板	※ 緑 ○ 黒	○ 曲面 ○ スクリーン付引分け
○ ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ		○ ほうろう白板 ○ ＿＿＿＿	※ 白	○ 曲面 ○ スクリーン付引分け

額縁金属　※ アルミ製　（表面処理の種別　※ Ｂ－２　○ Ｂ－１ ）

品質・規格 ＿＿＿＿

⑨ 鏡 (20.2.10)

厚さ（mm）　○ ５　● 図示

⑩ 表示・標識 (20.2.11)

衝突防止表示

※ 図示 による　（ 市販品　○ ステンレス製 径 30 mm　● サイン図による　）

○ なし

法令に基づく表示

※ 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。

室名札　※ 図示

厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式
○ ５	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型
○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型

外国語表現　○ 行う　（ ○ 英語　○ ＿＿＿＿ ）

寸法（mm）　○ 50×250　○ 60×250　○ 図示による

ピクトグラフ（便所、車いす、階段等）　※ 図示

厚さ(mm)	材質	印刷等の種別	取付け形式	備考
○ ５	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型	
○	○ アルミ板	○	○ 持出型	

寸法（mm）　○ 150×150　○ 図示による

案内板（館内、各階、便所）　※ 図示

厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種別	取付け形式
○ ５	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型
○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型

外国語表現　○ 行う　（ ○ 英語　○ ＿＿＿＿ ）

寸法（mm）　○ 600×600　○ 100×600　○ 200×200　○ 図示による

館名板等

品質・規格　※図示

11 タラップ (20.2.12)

材種　※ステンレス製SUS04（表面処理　※研磨なし　○ ＿＿）

○亜鉛めっき（表面処理　※C種）

○ ＿＿＿＿

12 煙突ライニング (20.2.13)

適用安全使用温度　※４００℃　○６５０℃

工法 ＿＿＿＿

⑬ ブラインド (20.2.14)

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄ幅 (mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材質
○ 横形	※ ギヤ式 ○ コード式	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金	※ 25 ○ 35	※ 鋼製 ○ ＿＿＿＿
● 縦形	※ ２本操作コード式 ○ １本操作コード式	● ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ○ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	● 80 ○ 100	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ 合金製

⑭ ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法　○ スプリング式　● コード　○ 電動式

幅及び高さ　図示

スクリーンの材種　○ 合成，天然繊維製　○ ガラス繊維製　○ 木製

品質・規格　図示

15 カーテン (20.2.16)

取付箇所	形式 ｼﾝｸﾞﾙ	形式 ﾀﾞﾌﾞﾙ	形式 片引	形式 引分	開閉操作方法 電動	開閉操作方法 ひも引	開閉操作方法 手引	カーテン用きれ地の種別・品質・特殊加工等	ひだの種類 つまみ	ひだの種類 箱片	ひだの種類 ﾌﾟﾚｰﾝ
	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

暗幕用のカーテンの両端、上部及び召合わせの重なり　※300mm以上　○ ＿＿

16 カーテンレール (20.2.16)

材種　※ アルミニウム製又はアルミニウム合金の押し出し成形材　製　○ ステンレス製

○ ＿＿＿＿

形状　○ Ｃ型　○ Ｄ型　※ 角型

強さによる区分　※ 10-90　○ ＿＿＿＿　仕上げ　※ アルマイト　○ ＿＿＿＿

⑰ ブラインドボックス カーテンボックス

溝幅×深さ(mm)　○90×150　○120×80　○120×150　○150×80　●図示

表面処理　○ Ｃ－１（無着色）　○ Ｃ－２（着色）　● Ｂ－２（ブラック・標準色）

材種　○集成材（仕上げ：　　）

○アルミニウム製　押し出し型材（市販品）

種別　（表14.2.1）による種別　○BC-1種　○BC-2種

色合い　○標準色（　　）　○特注色（　　）

○鋼製（仕上げ：　　）

⑱ くつふきマット

材種　○ 塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製（SUS304）受枠）

○ 硬質アルミニウム合金（受枠とも）　● ステンレス製（SUS304）（受枠とも）

○ ゴム製（ステンレス製（SUS304）受枠）

⑲ 鋼製書架及び棚

品質・規格　図示

20 収納家具(木製)

品質・規格 ＿＿＿＿

㉑ 掲示板

	枠の材質	表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格
○ 屋内	○ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 (B-2) ○ ｽﾃﾝﾚｽ製 (SUS304)		―	―	
● 屋外	○ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 (B-2) ● ｽﾃﾝﾚｽ製 (SUS304)	HL	○ あり ● なし	● あり ○ なし	

22 カウンター

品質・規格 ＿＿＿＿

㉓ 洗面カウンター

材種　○ メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　●人工大理石（品質　図示）

奥行き（mm）　○ 約450　○ 約600　● 図示

㉔ 流し台ユニット

種類	部品寸法 (mm)	規格	仕様
● 流し台	図示	○ 優良住宅部品	図示
○ コンロ台		○ 優良住宅部品	バックガード有り
○ 吊戸棚		○ 優良住宅部品	高さ 約500 mm
○ 水切り棚		○ 優良住宅部品	ステンレス製１段式
○			

㉕ 非常用救助袋等

※ 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとする。

形式　○ 傾斜式　● 垂直式

品質・規格 ＿＿＿＿

㉖ 鍵箱

市販品　形式　※ 釣下式　○ 差込式

（ ○ 30　● 60　○ 120　○ ＿＿ ）　組用　（ 1 ）　個

㉗ 定礎

定礎石　● 御影石　文字掘込共　寸法 450×600×30　○ ＿＿＿＿

定礎銘板　○ 銅板製　両面文字掘込共　寸法Ｂ４版　厚さ５mm　○ ＿＿＿＿

定礎箱　○ 銅版製　寸法 400×300×60　○ ＿＿＿＿

28 旗竿受金物

材種　※ ステンレス鋼（SUS304）　（ 市販品　※ １箇所　○ ＿箇所 ）

品質・規格 ＿＿＿＿

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 特記仕様書（７）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:- A3:-	A-007

20 ユニット及びその他の工事

(29) 旗ポール

材質	形式	地上高さ（m）	操作方法	固定方法
○ アルミニウム合金	※ テーパー型	○ 6　○ 10	※ ハンドル式	● 埋込式
● 既製品	○ 同一断面型	○ 8　● 図示	○ ロープ式	○ ベース式
				○ バンド式

品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿

30 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ ｺﾝｸﾘｰﾄ (20.3.2)

補強鉄線　○ JIS G 3532 の普通鉄線
○ JIS G 3551 の溶接金網
径 ＿＿＿＿(mm)　網目寸法 ＿＿＿×＿＿＿

コンクリートの設計基準強度
※ 水セメント比 55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3
を満足する調合強度
○ ＿＿＿＿＿＿＿＿

配筋　※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
○ ＿＿＿＿＿＿＿＿

取付け方法　※ 図示による　○ ＿＿＿＿＿＿

31 間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み (20.4.2) (20.4.3)

間知石の材種　○ 花こう岩　○ ＿＿＿＿

ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ブロック　面の形状　○ 長方形　○ 正方形　○ 六角形　○ H型
質量区分　○ ブロックA　○ ブロックB

地業の材料　※ 再生クラッシャラン　○ ＿＿＿＿

練積みの工法　※ 谷積み　○ 布積み　（ 目塗り　○ 行う ）

伸縮目地材の材種、厚さ ＿＿＿＿＿＿

32 敷地境界石標

種別　○ 花こう石類（文字記号入り）　※ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製（市販品）

33 車止め　さく

形式	材質	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
○ 上下式鎖内蔵型	○ ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）	○ φ76.3 t=2.0	○ GL+700
（ ○ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ付き ）	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850

基礎　無筋コンクリート造　３５０×３５０　Ｈ２５０程度

34 フェンス

表面仕上等	種類	門扉の仕様
○ 亜鉛めっき　○ 樹脂塗装	○ ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　○ ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ	○ 片開き
○ ビニル被覆　○	○ ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ　○	○ 両開き

21 排水工事

(1) 屋外雨水排水 (21.2.1) (21.2.2)

材種（表21.2.1）	管の種類	呼び径	基床の厚さ
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（　１種　）		
● 硬質ポリ塩化ビニル管	● ＶＰ　○ ＶＵ		
	○ ＲＳ－ＶＵ		
○ 硬質ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手	○ ＤＶ　○ ＶＵ継手		

硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　○ ＿＿＿＿
側溝の形状及び寸法　○図示による　○ ＿＿＿＿
排水桝の種類　○図示による ＿＿＿＿
砂地業に用いる材料　○シルト　○山砂　○川砂　○砕砂
砂利地業に用いる材料　○再生クラッシャラン　○切込砂利または切込砕石
○現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　○ ＿＿＿
スランプ　※15cm　又は　18cm　○ ＿＿＿
○現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295
○現場打ちの場合の足掛け金物　※（21.2.2(6)(ｵ)）
材質　○ステンレス製　○鋼製　○合成樹脂被服加工されたもの
○ 凍上抑制層に用いる材料　○ 砂（○ 砂の粒度試験）　○ ＿＿＿＿＿＿

2 鋳鉄製ふた (21.2.1)

鋼鉄製マンホールふたの種類

種類	適用荷重（安全荷量）
○ 水封形　○ 密閉形(ﾀｰﾊﾞｰﾊﾞｯｷﾝ式)	○ T- 2用（5KN）　○ T-6用(15KN)
○ 中蓋付密閉形　○ 簡易密閉形(ﾊﾞｯｷﾝ式)	○ T-20用（50KN）

3 グレーチング (21.2.1)

グレーチングふた

種類	材質	形式	適用荷重	タイプ	上面形状
○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠　※ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形
○ 桝ふた用	○ ｽﾃﾝﾚｽ製	○ あり	○ T- 2用	※ 細目	※ 凹凸形
○ 嵩上げ用		○ 図示	○ T- 6用		
○ U字溝用		ボルト固定　※ なし	○ T-14用		
		○ 図示	○ T-20用		

4 縁石 (21.3.1) (21.3.2)

歩車道境界ブロックのJIS による呼び名　※ A　○ ＿＿＿＿
地先境界ブロックのJIS による呼び名　○ A　○ C　○ ＿＿＿＿
砂利地業の厚さ　※ 100mm　○ ＿＿＿＿

5 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)

鉄筋コンクリートL形のJIS による呼び名　○ 250A　※ 250B　○ ＿＿＿＿
コンクリートL形のJIS による呼び名　○ 250A　※ 250B　○ ＿＿＿＿
鉄筋コンクリートU形のJIS による呼び名　○ 240　○ 300A　○ 360A　○ ＿＿＿＿
現場打ちコンクリートの設計基準強度　Fc(N/mm2)　※ １８　○ ＿＿＿＿
スランプ(cm)　○ １５　○ １８　○ ＿＿＿＿
現場打の鉄筋　種類の記号　※ SD295A　○ ＿＿＿＿

22 舗装工事

1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)

路床の構成
○ 凍上抑制層　厚さ　○ 図示による　○ ＿＿＿＿
○ 凍上抑制層に用いる材料　○ 砂（ ○ 砂の粒度試験　○ ＿＿＿＿
○ 透水性舗装　フィルター層の厚さ　車道部　○ 図示による　○ 150mm　○ ＿＿＿＿
歩道部　○ 図示による　○ 50mm　○ ＿＿＿＿

盛土に用いる材料　○ A種　※ B種　○ C種　○ D種　（表3.2.1）
路床安定処理　○ 行う　○ 行わない
路床安定処理用材料　※ 添加材料による安定処理　（表22.2.1）
種類　○ 地盤改良材　（ ＿＿＿＿ ）　○ 高炉ｾﾒﾝﾄB種
○ 普通ポルトランドセメント　○ 生石灰　特号　○ 生石灰　1号
○ フライアッシュセメントB種　○ 消石灰　特号　○ 消石灰　1号
添加量 ＿＿＿＿ kg/m3
路床土の支持力比(CBR)試験　○ 行う　（ ※ 乱した土　○ 乱さない土 ）
路床締固め度の試験　※ 行う（埋戻し部、盛土部）　○ 行わない

2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)

路盤の厚さ ＿＿＿＿ mm
材料　○ 再生クラッシャラン（RC-40,30,20）
○ クラッシャラン（C-40,30,20）　○ ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ（CS-40）
路盤締固め度の試験　※ 行う

3 アスファルト舗装 (22.4.2) ～(22.4.6)

舗装の種類	表層(mm)	基層(mm)	カラー舗装の種類
※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物

アスファルト　○ 再生アスファルト　（ ○ ６０～８０　○ ８０～１００ ）
○ ストレートアスファルト

再生加熱アスファルト混合物の種類

区分	○ 一般地域	○ 寒冷地域
表層	○ 密粒度アスファルト混合物（13）	※ 密粒度アスファルト混合物（13F）
	○ 細粒度アスファルト混合物（13）	

施工
アスファルト混合物の抽出試験　○ 行う　※ 行わない
アスファルト締固め度、厚さの試験　※ 行う　○ 行わない

4 コンクリート舗装 (22.5.2) ～(22.5.6)

構成

コンクリート　の種類	部位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)

早強セメント　※ 使用しない　○ 使用する
目地
注入目地材料　※ 低弾性タイプ　○ 高弾性タイプ
種類　○ 突合せ目地　○ 収縮目地　○ 伸縮調整目地　○ ＿＿＿＿
間隔　○ 5m程度ごと　○ 4m程度ごと　○ 3m程度ごと　○ ＿＿＿＿
コンクリート版厚さの試験　※ 行う

5 カラー舗装 (22.6.2) ～(22.6.4)

種類	部位	配合その他
※ 加熱系ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 添加材　○ 着色骨材　○ 自然石 結合材　○ ｱｽﾌｧﾙﾄ　○ 石油樹脂（添加量＿＿＿＿） ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験 ○ 適用する　※ 適用しない 舗装の厚さ ＿＿＿＿ mm	○ 車路 ○ 歩行者用通路	
○ 常温系ニート工法		
○ 常温系塗布工法		

着色部の下部　○ アスファルト舗装　○ コンクリート舗装

6 透水性舗装 (22.7.2) ～(22.7.6)

舗装構成及び厚さ　※ 図示による　○ ＿＿＿＿
表層の厚さの試験　※ 行う　○ 行わない
開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ　混合物の抽出試験　○ 行う　※ 行わない

22 舗装工事

7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)

○ コンクリート平板舗装

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地
※ 普通平板(N)　○ カラー平板(C)	○ ３００角	○ ６０	※ 砂
○ 洗出平板(W)　○ 擬石(S)　○	○	○	○ モルタル
○ 透水性平板(P)　○ 保水性平板(M)			

品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿
クッション材　※ 砂　○ 空練りモルタル

○ インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	色彩及び表面加工等
※ 普通 ﾌﾞﾛｯｸ(N)	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品
○ 透水性ﾌﾞﾛｯｸ(P)			○＿＿	○＿＿	
○ 保水性ﾌﾞﾛｯｸ(M)	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○ ＿＿＿＿
			○ 80	○＿＿	○ ＿＿＿＿
○ 植生ブロック	－		○ 60		
			※ 80		
			○ 100		

品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿
クッション材　※ 砂

○ 舗石舗装

種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	工法	基層	基層の厚さ(mm)
○ 花崗岩		○ 80～100	○ うろこ張り	○ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※ 70
○＿＿＿＿		○＿＿＿＿	○＿＿＿＿	○ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※ 50
					○＿＿＿＿

品質・規格 ＿＿＿＿＿＿＿＿
クッション材　※ 砂　○ 空練りモルタル

8 砂利敷き (22.9.2)

通路　※ A種　○ B種
建物周囲その他　○ A種　※ B種
※ 下敷きの使用材料は再生クラッシャランとする

9 白線引き

種類　○ 溶融式　○ ペイント式　幅（cm）○ 15　○ ＿＿＿＿

(10) 遮熱性舗装コート

● 中空セラミック微粒子含有
熱反射性特殊顔料（NIPPO パーフェクトクールコート同等）
● 範囲：アスファルト舗装範囲全て

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3)

※ 行う

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
12m以上	※ 100　○ 120　○ 150	※ A種	※ 植込み部分
7～12m未満	※ 80　○ 100	○ B種	○ 集張りの範囲
3～ 7m未満	※ 60　○ 80	○ C種	（樹高7m以上）
3m未満	※ 50　○ 60	○ D種	○ 図示
芝、地被類	※ 20	※ B種　○	※ 植栽範囲　○

※ 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤
高からを有効土層とする。 ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画
地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

植込み用土　※ 現場発生土の良質土　○ 客土　（ ○ 畑土　○ 黒土 ）
土壌改良材　○ 行う　（ ○ パーク堆肥　○ 下水汚泥ｺﾝﾎﾟｽﾄ　）
施工箇所　※ 植込み部分　○ 図示による
使用量　植栽基盤１㎥あたり　○ ＿＿＿＿
植栽基盤に浸透した雨水の排水
○暗きょ　○開きょ　○排水層　○竪穴排水　○ ＿＿＿＿＿＿

2 樹木の種類等 (23.3.2)

樹木の種類、寸法、数量等　※ 図示による　○ 下表による

種類	寸法	数量	備考

3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)

支柱材　※ 杉(焼き丸太)　○ 竹　○ ひのき　○ から松(皮はぎ)
形式　※ 図示による　○ ＿＿＿＿
防腐処理方法　※ 加圧式防腐処理丸太　○ ＿＿＿＿
幹巻用材料　※ 幹巻き用テープ　○ わら　○ こも

4 芝等 (23.4.2) (23.4.3)

芝

種別	芝張りの工法		
	平地	切土法面	盛土法面
※ コウライシバ	※ 目地張り	※ べた張り	○ 筋芝張り
○ ノシバ	○	○	○

吹付けは種
種子の種類　※ 洋芝類　○ ＿＿＿＿
種子の量 ＿＿＿＿
地被類
種類 ＿＿＿＿
芽立数 ＿＿＿＿　径 ＿＿＿＿
単位面積当たりの株数 ＿＿＿＿株/㎡

5 屋上緑化 (23.5.2) ～(23.5.4)

○ 屋上緑化ｼｽﾃﾑ
排水層　○ 軽量骨材　（厚さ＿＿）　○ 板状成形品
土壌層　※ 改良土　（厚さ＿＿）　○ 人工軽量土　（厚さ＿＿）
○ 屋上緑化軽量ｼｽﾃﾑ

樹木の種類、寸法、数量等　※ 図示による　○ 下表による

種類	寸法	数量	備考

芝・地被類の種類
※ 図示による
○ コウライシバ　（ ※ 目地張り　○ ＿＿＿＿ ）
○ ノシバ　（ ※ 目地張り　○ ＿＿＿＿ ）
○ セダム類　（ ○ カット　○ ふるい　○ プラグ苗　○ ＿＿＿＿ ）

材料　○ 見切 ﾚ材 ＿＿＿＿　○ 舗装材 ＿＿＿＿
○ 排水孔 ＿＿＿＿　○ ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材 ＿＿＿＿

かん水装置　○ 設置する　（ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ）
○ 設置しない

支柱材　○ 設置する
※ 杉(焼き丸太)　○ 竹　○ ひのき　○ から松(皮はぎ)
形式　※ 図示による　○ ＿＿＿＿
防腐処理方法　※ 加圧式防腐処理丸太　○ ＿＿＿＿
○ 設置しない

「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日　建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した工法
○図示による　○ ＿＿＿＿

6 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)

※ 引渡しの日から１年　○ 引渡しの日から　＿＿年

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【共通】 特記仕様書（８）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:－ A3:－	A-008

工事区分表

※○が付いている項目を適用する。　注）複数の工事が適用となっている項目については、それぞれの工事に関連する箇所を当該工事の施工とする。

番　号	項　　目	細　　目	建　築	電気設備	機械設備	EV設備	備　　考
1	基礎	(1)　屋上基礎	○				但し、(5)を除く
		(2)　屋内基礎	○				但し、(5)を除く
		(3)　屋外基礎	○				但し、(4)及び(5)を除く
		(4)　外灯基礎		○			
		(5)　設備用既製基礎		○	○		
		(6)　架台、アンカーボルト		○	○	○	
		(7)　屋上の給・排気口及び、配管取出口	○				
		(8)　上記（７）の配管貫通部のシーリング		○	○		
2	躯体の開口補強	(1)　貫通孔材	○	○	○	○	鉄骨の損製貫通孔及び補強は建築工事
		(2)　貫通孔材の補強筋	○				
		(3)　床、壁開口部の箱入れ及び、補強筋	○				
		(4)　貫通孔及び、箱入れ部の穴埋め	○	○	○	○	
		(5)　上記（４）の墨出し（梁、床、壁共）	○	○	○	○	
3	仕上材の開口・補強	(1)　天井、軽鉄間仕切りの開口（ボード等の切込み及び下地補強共）	○				
		(2)　アウトレットボックス類		○	○	○	
		(3)　上記の(1)(2)の墨出し	○	○	○	○	
		(4)　ALCパネル及びECPの貫通孔加工	○				
		(5)　点検口（床、天井、壁）	○				
		(6)　フリーアクセスフロアの穴あけ加工及び補強	○				
4	改修工事	(1)　補強を要しない設備配管等の躯体貫通部の穴開け		○	○	○	
		(2)　補強を要しない設備配管等の天井、壁ボードの切り込み		○	○	○	
		(3)　設備の撤去により生じた補強を要しない床、壁の開口の穴埋め		○	○	○	穴埋め後の仕上げ工事は建築工事
		(4)　設備の撤去により生じた補強を要する床、壁の開口の穴埋め	○				
5	衛生設備工事関係	(1)　雨水排水（配管、ます、ふた）	○				土木図による
		(2)　汚水、雑排水（配管、ます、ふた）			○		
		(3)　敷地内合流（雨水と汚水、雑排水合流以降の配管、ます、ふた）			○		
		(4)　下水本管への接続			○		雨水単独の場合は建築工事とする
		(5)　機械室のます、ふた	○				
		(6)　屋外くつ洗い流し	○				排水金物等への接続配管以降機械設備工事
		(7)　ゴミ置き場の排水設備			○		
		(8)　便器、洗面器			○		
		(9)　洗面カウンター（洗面器は除く）	○		○		
		(10)　ユニットバス及びユニットシャワー	○				
		(11)　現場打ち浴槽及び既製浴槽	○				
		(12)　造付け流し台及びＢＬ型流し台	○				
		(13)　厨房流し台及び実験器具流し台			○		
		(14)　厨房器具（基礎共）			○		
		(15)　厨房排水溝（ふた共）	○				
		(16)　グリーストラップ（ふた共）	○				
		(17)　鏡（600×800以下）			○		600 x 800を超える場合は建築工事
		(18)　手すり	○				システム及びユニットに直接設置する場合は、機械工事
		(19)　ＦＲＰ製浄化槽			○		
		(20)　衛生器具の取付下地の補強	○				
6	空気調和設備関係	(1)　外部ガラリ（ダクト接続の場合は取付枠共）	○				
		(2)　内部ガラリ（ドアガラリ）	○				
		(3)　内部ガラリ（レターンガラリ）			○		
		(4)　厨房フード（幕板、吊りボルト共）			○		
		(5)　換気扇用ガラリ取付枠	○				
		(6)　ウェザーカバー			○		
		(7)　防火区画、ダクト貫通部の鋼枠			○		
7	電気設備関係	(1)　電柱（新設、移設共）	○	○			訓練用電柱は建築工事
		(2)　煙感知器連動防火戸のラッチ受座取付用切込補強	○				
		(3)　煙感知器連動防火戸の磁石式吸着板、電磁式ラッチ受座取付		○			
		(4)　自動ドア電源供給（１次配線）		○			
		(5)　自動ドア電源供給（２次配線及びアウトレットボックス）	○				
		(6)　電動シャッター等電源供給（１次配線）		○			
		(7)　電動シャッター等電源供給（２次配線）	○				
		(8)　空調・衛生設備のユニット機器電源供給（1次配線）		○			
		(9)　空調・衛生設備のユニット機器電源供給（２次配線）			○		
8	昇降機関係	(1)　昇降路の築造工事	○				
		(2)　各階乗り場の壁開口	○				
		(3)　乗り場出入口の敷居受、床持ち出し	○				
		(4)　鉄骨造のシャフト壁面に設置する機器類の取付用下地鋼材	○				ただし特記した部材のみとし、それ以外に必要なものはエレベーター設備工事に含むものとする
		(5)　鉄骨造の乗り場の三方枠、ボタン、位置表示器等の取付用下地鋼材	○				
		(6)　三方枠の区画処理（モルタル充填等）				○	三方枠（大枠）が建築工事の場合は建築工事で施工する
		(7)　ピット内防水工事	○				
		(8)　ピット点検用タラップ				○	
		(9)　ピット点検用コンセント		○			
		(10)　電源盤への電源の供給		○			
		(11)　エレベーター制御盤への火災報知器信号の供給		○			
		(12)　館内放送及び監視カメラのモニター用配線		○			ただしエレベーター制御盤への結線までとする
		(13)　インターホン用配管配線工事		○			
		(14)　監視盤用配管配線工事				○	監視盤用の電源を含む
		(15)　煙感知器		○			
		(16)　非常用エレベーターロビーの避難経路表示板	○				
		(17)　機械室天井又はシャフト頂部のトロリービーム、フック	○				
		(18)　かご内監視カメラ				○	カメラ用モニターは電気設備工事とする
		(19)　カメラモニター		○			
		(20)　カメラと制御盤との渡り配管配線				○	
		(21)　制御盤とカメラモニターとの渡り配管配線		○			
		(22)　電力量計及び電力量計と表示装置等との渡り配管配線		○			

番　号	項　　目	細　　目	建　築	電気設備	機械設備	EV設備	備　　考
		【 以下はエレベーター機械室がある場合に適用する 】					
		(23)　機械室を有するロープ式エレベーターの機械室床の開口	○				機器搬入のため仮設の開口が必要な場合はその復旧を含む
		(24)　機械室のマシンビーム受梁及びスペーサー	○				
		(25)　機械室の機器用基礎	○				
		(26)　機械室床のシンダーコンクリート	○				
		(27)　機械室の照明設備、点検用コンセント		○			
		(28)　機械室の換気設備			○		
9	設備間の取合	(1)　機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）			○	○	
		(2)　機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			
		(3)　自動制御盤と動力制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線		○			
		(4)　天井吊り形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチ			○		
		との渡り配管配線及び接地					
		(5)　煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線		○			
		(6)　小便器用節水装置への電源供給配管配線		○			
		(7)　電極棒及び電極帯			○		
		(8)　地震感知器とバーナー間の配管配線			○		
		(9)　パッケージ形空調機電源供給（1次配線）		○			
		(10)　パッケージ形空調機（ルームエアコンを含む）二次側配管配線（接地を含む）			○		
10	その他	(1)　配管、配線トラフ（ふた、セパレーター共）	○				
		(2)　防油槽（釜場共）	○				
		(3)　浄化槽躯体、地下オイルタンクのタンク室	○				
		(4)　ＦＲＰ製浄化槽・地下オイルタンクの基礎、上部スラブ	○				
		(5)　地下オイルタンク埋戻し用乾燥砂		○			
		(6)　電気錠、制御装置及び操作部（テンキー）が一体のもの	○				
		(7)　入退室管理装置の制御装置、操作部（テンキー等）及び建具までの配線		○			
		(8)　入退室管理装置の電気錠	○				

設備工事の開口補強等

設備機器の位置、取り合いなどの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける

※　開口補強

種類　(ｺﾝｸﾘｰﾄ部)	対象部材断面	開口寸法	補強部	個　数	種　類（軽量鉄骨下地）	寸法（約）	個　数
はり貫通孔					天井開口		

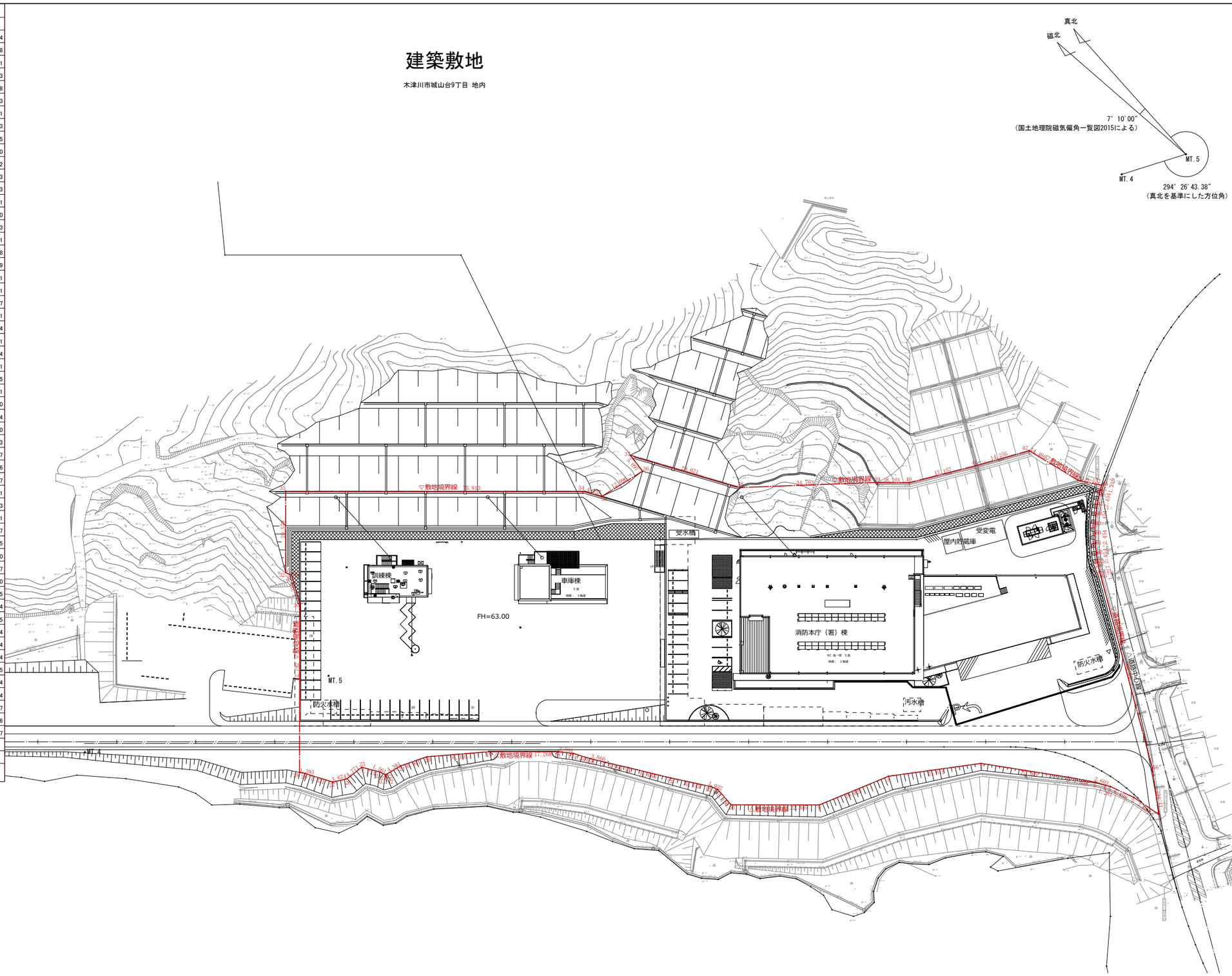
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【共通】　工事区分表		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:－ A3:－	A-009

建築敷地

木津川市城山台9丁目 地内

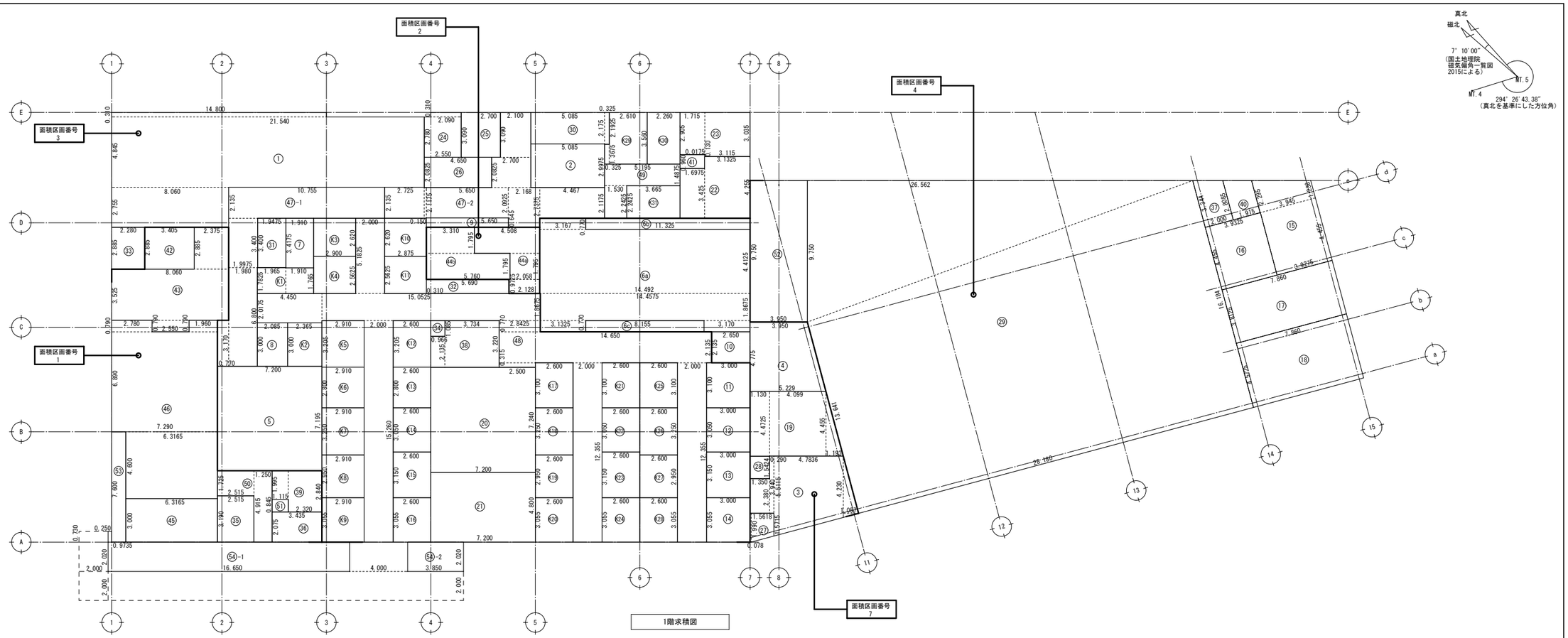
座標面積計算書

点名	Xn	Yn	(Xn+1−Xn−1)×Yn	距離(m)
1	−141138.3706	−15740.5233	37838.643961	7.653704
2	−141130.9429	−15742.3695	−210966.642143	6.498
3	−141124.9694	−15744.9278	−110652.203593	1.281
4	−141123.9151	−15745.6547	−51977.980730	2.603
5	−141121.6683	−15746.9696	−123342.863483	7.058
6	−141116.0823	−15751.2845	−361392.746183	22.363
7	−141098.7246	−15765.3840	−481993.508494	23.611
8	−141085.5094	−15784.9501	−308681.013185	19.023
9	−141079.1692	−15802.8852	−336408.659561	22.305
10	−141064.2216	−15819.4406	−317458.206185	5.120
11	−141059.1016	−15819.3731	−108699.658382	1.932
12	−141057.3503	−15820.1889	−160111.385800	10.343
13	−141048.9809	−15826.2655	−276218.977024	11.003
14	−141039.8971	−15832.4736	−221529.553858609	5.991
15	−141034.9888	−15835.9090	−128112.503809945	3.860
16	−141031.8071	−15838.0953	−112529.667106205	4.593
17	−141027.8838	−15840.4835	−108499.391733427	3.891
18	−141024.9576	−15843.0480	−229196.622501902	17.268
19	−141013.4171	−15855.8935	−337304.008014711	16.059
20	−141003.6845	−15868.6667	−196855.571013256	6.941
21	−141001.0118	−15875.0723	−56635.907937629	4.381
22	−141000.1169	−15879.3608	−15295.000322533	0.147
23	−141000.0486	−15879.4912	−24090.776099477	1.561
24	−140998.5998	−15880.0732	−85520.546211267	4.714
25	−140994.6632	−15882.6656	−67849.159176520	4.771
26	−140994.3279	−15887.4244	−33678.162243357	3.674
27	−140992.5434	−15890.6362	−128898.484599981	7.371
28	−140986.2163	−15894.4183	−118332.354801706	1.395
29	−140985.0985	−15895.2536	−523743.837543879	42.791
30	−140953.2666	−15866.6557	−610123.684963066	7.380
31	−140946.6453	−15863.3956	−128885.330231556	1.644
32	−140945.1419	−15864.0614	−266597.138233105	20.570
33	−140929.8402	−15850.3143	560544.780188309	75.813
34	−140980.5068	−15793.9181	859874.600685370	4.437
35	−140984.2836	−15791.5897	93693.080848987	12.096
36	−140986.4399	−15779.6876	−46165.054042367	5.097
37	−140981.3580	−15779.2963	309615.040280287	29.021
38	−141006.0615	−15764.0670	739213.358984207	34.703
39	−141028.2503	−15737.3851	435302.366819936	8.101
40	−141033.7219	−15731.4108	211238.237939860	17.157
41	−141041.6781	−15716.2101	223946.564198950	14.255
42	−141047.9713	−15703.4197	316321.834727038	14.480
43	−141061.8216	−15699.1966	295268.919732908	6.127
44	−141066.7792	−15695.5955	89198.069226343	1.310
45	−141067.5046	−15696.6858	21341.214013619	1.145
46	−141068.1388	−15697.6390	33092.192776092	2.454
47	−141069.6127	−15699.6016	47999.961932149	2.455
48	−141071.1962	−15701.4770	51364.241709991	2.454
49	−141072.8840	−15703.2590	54560.973395218	2.454
50	−141074.6707	−15704.9418	57582.169110033	2.454
51	−141076.5505	−15706.5200	60416.699832298	2.455
52	−141078.5173	−15707.9885	63053.436637855	2.454
53	−141080.5646	−15709.3423	65484.393377546	2.454
54	−141082.6858	−15710.5772	50512.647813077	1.227
55	−141083.7798	−15711.1331	720405.728260656	50.206
56	−141128.5390	−15733.8770	858924.932531685	11.867
			倍面積＝ 30952.510224	
			面 積＝ 15476.255112	
			敷地面積＝ 15476.255㎡	



代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原 嘉成		小田 文武		安川 雅巳	
一級建築士 第247426号		一級建築士 第318795号		一級建築士 第322365号	

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 敷地求積図		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/500 A3:1/1000	A-010



1階求積表

記号	室名	計算式(m)				面積(㎡)
①	食堂	14.800	×	0.310		4.588
		21.540	×	4.845		104.361
		8.060	×	2.755		22.205
					計	131.154
②	火災原因調査室	5.085	×	2.9975		15.242
③	救急洗浄消毒室	4.230×1.057／2				2.236
		(4.230+5.5115)×4.7836／2				23.300
		3.940	×	0.290		1.143
		2.380	×	1.350		3.213
					計	29.892
④	救急訓練室	(3.950+5.229)×4.775／2				21.915
⑤	トレーニング室	7.200	×	7.195		51.804
⑥a	出動準備スペース	3.167	×	0.770		2.439
		14.492	×	4.4125		63.946
		14.4575	×	1.8675		26.999
		3.1325	×	0.770		2.412
		3.170	×	0.770		2.441
					計	98.237
⑥b	収納部A	11.325	×	0.770		8.720
⑥c	収納部B	8.155	×	0.770		6.279
					計	549.724
⑦	倉庫（1）	1.910	×	3.4175		6.527
⑧	倉庫（2）	2.085	×	3.000		6.255
⑨	倉庫（3）	5.650	×	0.645		3.644
					計	11.773
⑩	倉庫（4）	2.650	×	2.135		5.658
⑪	倉庫（5）	3.000	×	3.100		9.300
⑫	倉庫（6）	3.000	×	3.050		9.150
⑬	倉庫（7）	3.000	×	3.150		9.450
⑭	倉庫（8）	3.000	×	3.055		9.165
⑮	整備修繕庫	(1.238+2.295)×3.945／2				6.969
		3.9275	×	4.455		17.497
					計	24.466
⑯	空気充填室・ボンベ保管庫	3.9325	×	4.455		17.519
⑰	資機材庫（救助）	7.860	×	3.8125		29.966
⑱	資機材庫（消防）	7.860	×	4.5725		35.940
⑲	資機材庫（救急）	1.193×4.455／2				2.657
		1.130	×	4.4725		5.054
		4.099	×	4.455		18.261
					計	25.972
⑳	更衣室（男）	7.200	×	7.240		52.128
㉑	浴室・脱衣・洗面室（男）	7.200	×	4.800		34.560
㉒	更衣室（女）	1.6975	×	3.425		5.814
		3.1325	×	4.255		13.329
					計	19.143
㉓	浴室・脱衣・洗面室（女）	1.715	×	2.905		4.982
		3.115	×	3.035		9.454
					計	14.436
㉔	乾燥室	2.090	×	0.310		0.648
		2.550	×	2.780		7.089
					計	7.737
㉕	洗濯室	2.700	×	3.090		8.343
㉖	リネン庫	4.650	×	2.0825		9.684
㉗	DS	(1.990+1.5715)×1.5618／2				2.781
		1.990	×	0.078		0.155
					計	2.936
㉘	US	1.350	×	1.5425		2.082
㉙	車庫	(13.641+16.184)×28.180／2				420.234
		26.562×9.750／2				129.490
					計	549.724
㉚	下足室	5.085	×	2.175		11.060
		0.325	×	2.1925		0.713
					計	11.773
㉛	EPS（1）	1.9475	×	3.400		6.622
㉜	EPS（2）	5.690	×	0.9725		5.534
㉝	PS（1）	2.280	×	2.885		6.578
㉞	PS（2）	0.966	×	1.085		1.048
㉟	多機能トイレ	2.515	×	3.190		8.023
㊱	男子トイレ（1）	3.435	×	2.075		7.128
㊲	男子トイレ（2）	(3.344+2.8085)×2.000／2				6.153
㊳	男子トイレ（3）	3.734	×	3.220		12.023
					計	14.085
㊴	女子トイレ（1）	1.115	×	1.995		2.224
		2.320	×	2.840		6.589
					計	8.813
㊵	女子トイレ（2）	(2.295+2.8085)×1.915／2				4.887
㊶	女子トイレ（3）	1.6975	×	0.960		1.630
		0.0175	×	0.130		0.002
					計	1.632
㊷	EV	3.405	×	2.885		9.823
㊸	階段室（1）	2.375	×	2.885		6.852
		8.060	×	3.525		28.412
		2.550	×	0.790		2.015
					計	37.279
㊹a	階段室（2）	4.508	×	1.795		8.092
		2.058	×	1.795		3.694
		2.128	×	0.9725		2.069
					計	13.855
㊹b	消火ポンプ室（階段下）	3.310	×	1.795		5.941
		5.760	×	1.795		10.339
					計	16.280
㊺	風除室	6.3165	×	3.000		18.950
㊻	エントランスホール	2.780	×	0.790		2.196
		1.960	×	0.790		1.548
		7.290	×	6.890		50.228
		6.3165	×	4.600		29.056
					計	83.028
㊼	廊下（1）	㊼-1	10.755	×	2.135	22.962
		㊼-1	1.9975	×	3.400	6.792
		㊼-1	1.980	×	6.800	13.464
		㊼-1	0.770	×	3.170	2.441
		㊼-2	2.100	×	3.090	6.489
		㊼-2	2.700	×	2.0825	5.623
		㊼-2	2.725	×	2.135	5.818
		㊼-2	0.150	×	2.1175	0.318
		㊼-2	5.650	×	2.0925	11.823
		㊼-2	2.168	×	2.7375	5.935
		㊼-2	4.467	×	2.1175	9.459
					㊼-1 小計	45.659
					㊼-2 小計	45.465
					計	91.124
㊽	廊下（2）	2.000	×	5.1825		10.365
		4.450	×	2.0175		8.978
		2.000	×	15.260		30.520
		15.0525	×	1.8675		28.111
		2.8425	×	0.770		2.189
		14.650	×	2.135		31.278
		2.500	×	0.315		0.788
		2.000	×	12.355		24.710
		2.000	×	12.355		24.710
					計	161.649
㊾	廊下（3）	5.195	×	1.4875		7.728
		1.530	×	2.2425		3.431
					計	11.159
㊿	トイレ前通路	2.515	×	1.725		4.338
		1.250	×	4.915		6.144
					計	10.482
(51)	SK	1.115	×	0.845		0.942
(52)	手洗いスペース	3.950	×	9.750		38.513
(53)	デッドスペース	0.9735	×	7.600		7.399
(54)	ピロティ部	(54)-1	16.650	×	2.020	33.633
		(54)-1	0.250	×	0.730	0.183
		(54)-2	3.850	×	2.020	7.777
					(54)-1 小計	33.816
					(54)-2 小計	7.777
					計	41.593
					小計1	1,881.380
K1	仮眠室 男（1）	1.965	×	1.7825		3.503
		1.910	×	1.765		3.371
					計	6.874
K2	仮眠室 男（2）	2.365	×	3.000		7.095
K3	仮眠室 男（3）	2.900	×	2.620		7.598
K4	仮眠室 男（4）	2.900	×	2.5625		7.431
K5	仮眠室 男（5）	2.910	×	3.205		9.327
K6	仮眠室 男（6）	2.910	×	2.800		8.148
K7	仮眠室 男（7）	2.910	×	3.250		9.458
K8	仮眠室 男（8）	2.910	×	2.950		8.585
K9	仮眠室 男（9）	2.910	×	3.055		8.890
K10	仮眠室 男（10）	2.875	×	2.620		7.533
K11	仮眠室 男（11）	2.875	×	2.5625		7.367
K12	仮眠室 男（12）	2.600	×	3.205		8.333
K13	仮眠室 男（13）	2.600	×	2.800		7.280
K14	仮眠室 男（14）	2.600	×	3.050		7.930
K15	仮眠室 男（15）	2.600	×	3.150		8.190
K16	仮眠室 男（16）	2.600	×	3.055		7.943
K17	仮眠室 男（17）	2.600	×	3.100		8.060
K18	仮眠室 男（18）	2.600	×	3.250		8.450
K19	仮眠室 男（19）	2.600	×	2.950		7.670
K20	仮眠室 男（20）	2.600	×	3.055		7.943
K21	仮眠室 男（21）	2.600	×	3.100		8.060
K22	仮眠室 男（22）	2.600	×	3.050		7.930
K23	仮眠室 男（23）	2.600	×	3.150		8.190
K24	仮眠室 男（24）	2.600	×	3.055		7.943
K25	仮眠室 男（25）	2.600	×	3.100		8.060
K26	仮眠室 男（26）	2.600	×	3.250		8.450
K27	仮眠室 男（27）	2.600	×	2.950		7.670
K28	仮眠室 男（28）	2.600	×	3.055		7.943
K29	仮眠室 女（1）	2.610	×	3.560		9.292
		0.325	×	1.3675		0.444
					計	9.736
K30	仮眠室 女（2）	2.260	×	3.560		8.046
K31	仮眠室 女（3）	3.665	×	2.2425		8.219
					小計1	1,881.380
					小計2	250.352
					合計	2,131.732
					1階床面積	2,131.73

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】消防本庁（署）棟　1階求積図	2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳
	縮尺：A1:1/150　A3:1/300	図面番号：A-011

2階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	署長室	7.185 × 3.600	25.866
②	消防課事務室・警防課事務室	7.050 × 7.450	52.523
		7.0475 × 3.750	26.428
		7.065 × 3.600	25.434
		7.660 × 17.1275	131.197
		14.800 × 17.0875	252.895
		計	488.477
③	2階ホール・相談コーナー	1.965 × 3.730	7.329
		2.485 × 3.630	9.021
		7.050 × 4.110	28.976
		計	45.326
④	災害情報事務室	7.200 × 9.2075	66.294
⑤	指令センター	7.600 × 9.2075	69.977
⑥	会議室（1）	4.450 × 4.020	17.889
⑦	会議室（2）	4.450 × 3.910	17.400
⑧	休憩室（男）（女）	3.8025 × 5.190	19.735
⑨	倉庫（1）	5.2125 × 5.190	27.053
⑩	倉庫（2）	6.265 × 5.190	32.515
⑪	倉庫（3）	3.880 × 4.420	17.150

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
⑫	倉庫（4）	2.025 × 3.400	6.885
⑬	倉庫（5）	5.650 × 0.645	3.644
⑭	書庫	7.2025 × 3.750	27.009
⑮	指令センター機械室	14.800 × 3.305	48.914
⑯	EPS（1）	1.965 × 3.300	6.485
⑰	EPS（2）	5.910 × 0.9725	5.747
⑱	PS（1）	2.280 × 2.885	6.578
⑲	男子トイレ	4.195 × 3.0025	12.595
		3.675 × 0.7125	2.618
		3.2965 × 2.7825	9.173
		1.964 × 1.080	2.121
		計	26.507
⑳	女子トイレ	4.195 × 3.425	14.368
		0.810 × 1.505	1.219
		2.135 × 2.815	6.010
		2.4865 × 1.2325	3.065
		計	24.662
㉑	SK	1.901 × 1.080	2.053
㉒	デッドスペース	3.675 × 0.770	2.830

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
㉓	PS（2）	0.520 × 1.4825	0.771
㉔	PS（3）	0.810 × 2.5425	2.059
㉕	多機能トイレ	2.900 × 2.815	8.164
㉖	通路	1.980 × 11.505	22.780
		0.5685 × 4.015	2.283
		計	25.063
㉗	デッドスペース	3.880 × 0.770	2.988
㉘	EV	3.405 × 2.885	9.823
㉙	階段室（1）	2.375 × 2.885	6.852
		8.060 × 3.525	28.412
		計	35.264
㉚	階段室（2）	7.510 × 2.780	20.878
		7.660 × 0.810	6.205
		1.750 × 0.9725	1.702
		計	28.785
㉛	廊下（1）	11.650 × 2.100	24.465
		5.650 × 2.075	11.724
		1.860 × 2.720	5.059
		計	41.248

記号	室名		計算式(m)	面積(㎡)
㉜	廊下（2）		2.640 × 7.930	20.935
㉝	通路		(0.466+3.173)×3.143／2	5.719
			3.428×2.336／2	4.004
			計	9.723
㉞	室外機置場	㉞-1	16.900 × 0.800	13.520
		㉞-2	8.300 × 0.800	6.640
			計	20.160
㉟	デッドスペース		2.550 × 0.790	2.015
㊱	デッドスペース		0.9735 × 4.600	4.478
㊲	屋内屋根部分		7.290 × 3.000	21.870
			小計1	1,222.342

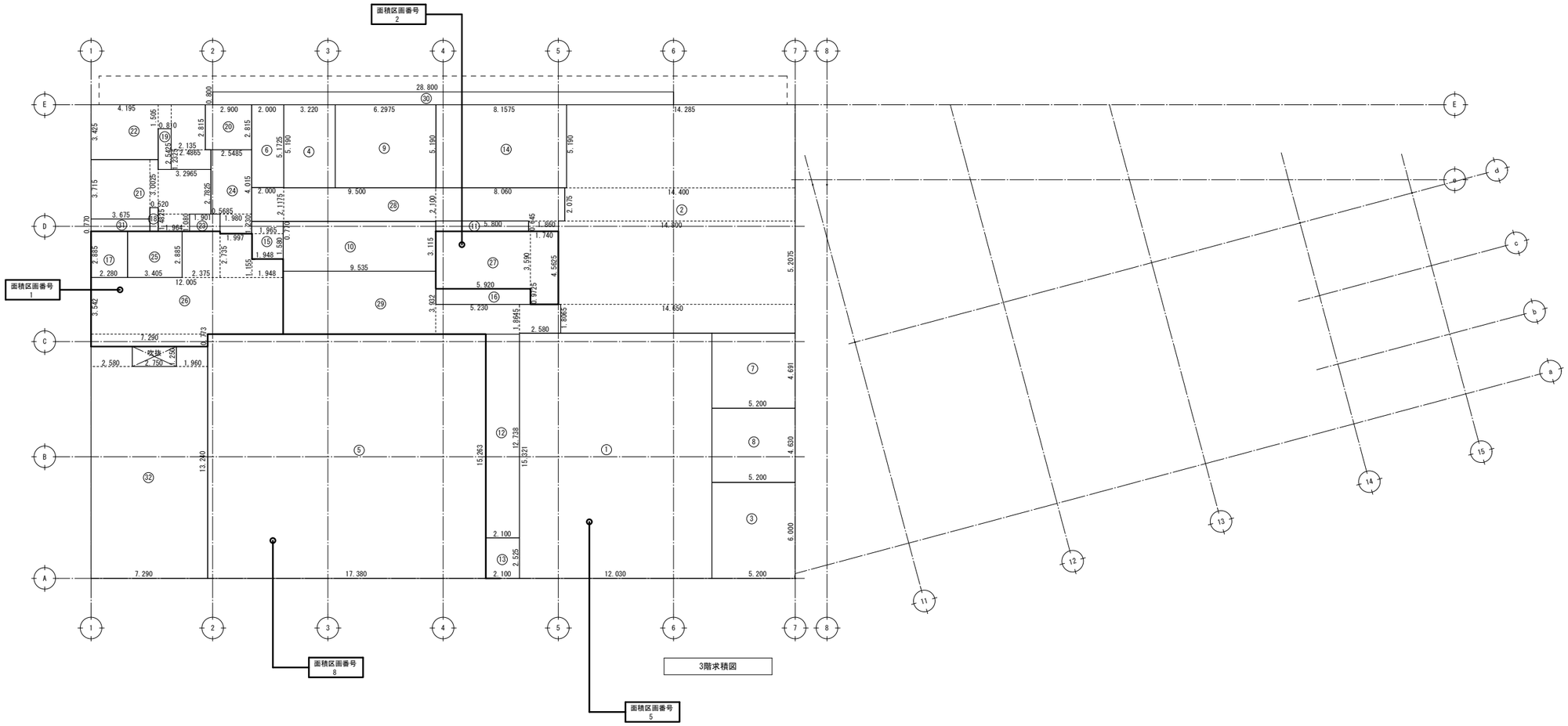
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
K32	仮眠室（1）	2.390 × 3.400	8.126
K33	仮眠室（2）	2.590 × 3.400	8.806
K34	仮眠室（3）	2.680 × 3.400	9.112
		小計2	26.044

小計1	1,222.342
小計2	26.044
合計	1,248.386
２階床面積	1,248.38

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階求積図	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-012



3階求積表

記号	室名	計算式(m)			面積(㎡)
①	総務課事務室	12.030	×	15.321	184.312
②	予防課事務室	14.285	×	5.190	74.139
		14.400	×	2.075	29.880
		14.800	×	5.2075	77.071
		14.650	×	1.8065	26.465
				計	207.555
③	消防長室	5.200	×	6.000	31.200
④	休憩室（男）（女）	3.220	×	5.190	16.712
⑤	大会議室	17.380	×	15.263	265.271
⑥	印刷室	2.000	×	5.1725	10.345
⑦	会議室（1）	5.200	×	4.691	24.393
⑧	会議室（2）	5.200	×	4.630	24.076
⑨	倉庫（1）	6.2975	×	5.190	32.684
⑩	倉庫（2）	9.535	×	3.115	29.702
⑪	倉庫（3）	5.800	×	0.645	3.741
⑫	倉庫（4）	2.100	×	12.738	26.750
⑬	総務用倉庫	2.100	×	2.525	5.303
⑭	書庫	8.1575	×	5.190	42.337
⑮	EPS（1）	1.965	×	0.770	1.513
		1.948	×	1.580	3.078
				計	4.591
⑯	EPS（2）	5.920	×	0.9725	5.757
⑰	PS（1）	2.280	×	2.885	6.578
⑱	PS（2）	0.520	×	1.4825	0.771
⑲	PS（3）	0.810	×	2.5425	2.059
⑳	多機能トイレ	2.900	×	2.815	8.164
㉑	男子トイレ	3.675	×	3.715	13.653
		0.520	×	3.0025	1.561
		3.965	×	2.7825	9.173
				計	26.508
㉒	女子トイレ	4.195	×	3.425	14.368
		0.810	×	1.505	1.219
		2.135	×	2.815	6.010
		2.4865	×	1.2325	3.065
				計	24.662
㉓	SK	1.901	×	1.080	2.053
㉔	廊下（1）'	2.5485	×	4.015	10.232
		1.980	×	1.230	2.435
				計	12.667
㉕	EV	3.405	×	2.885	9.823
㉖	階段室（1）	2.375	×	2.885	6.852
		1.997	×	2.735	5.462
		1.948	×	1.155	2.250
		12.005	×	3.542	42.522
		7.290	×	0.773	5.635
				計	62.721
㉗	階段室（2）	5.920	×	3.590	21.253
		1.740	×	4.5625	7.939
				計	29.192
㉘	廊下（1）	2.000	×	2.1175	4.235
		9.500	×	2.100	19.950
		8.060	×	2.075	16.725
		1.860	×	0.645	1.200
				計	42.110
㉙	3階ホール・相談コーナー	9.535	×	3.932	37.492
		5.230	×	1.8645	9.751
		2.580	×	1.8065	4.661
				計	51.904
㉚	室外機置場	28.800	×	0.800	23.040
㉛	デッドスペース	3.675	×	0.770	2.830
				3階床面積	1,219.81
㉜	屋外デッキ	2.580	×	1.250	3.225
		1.960	×	1.250	2.450
		7.290	×	13.240	96.520
				計	102.195
		①	～	㉛	合計 1,219.811

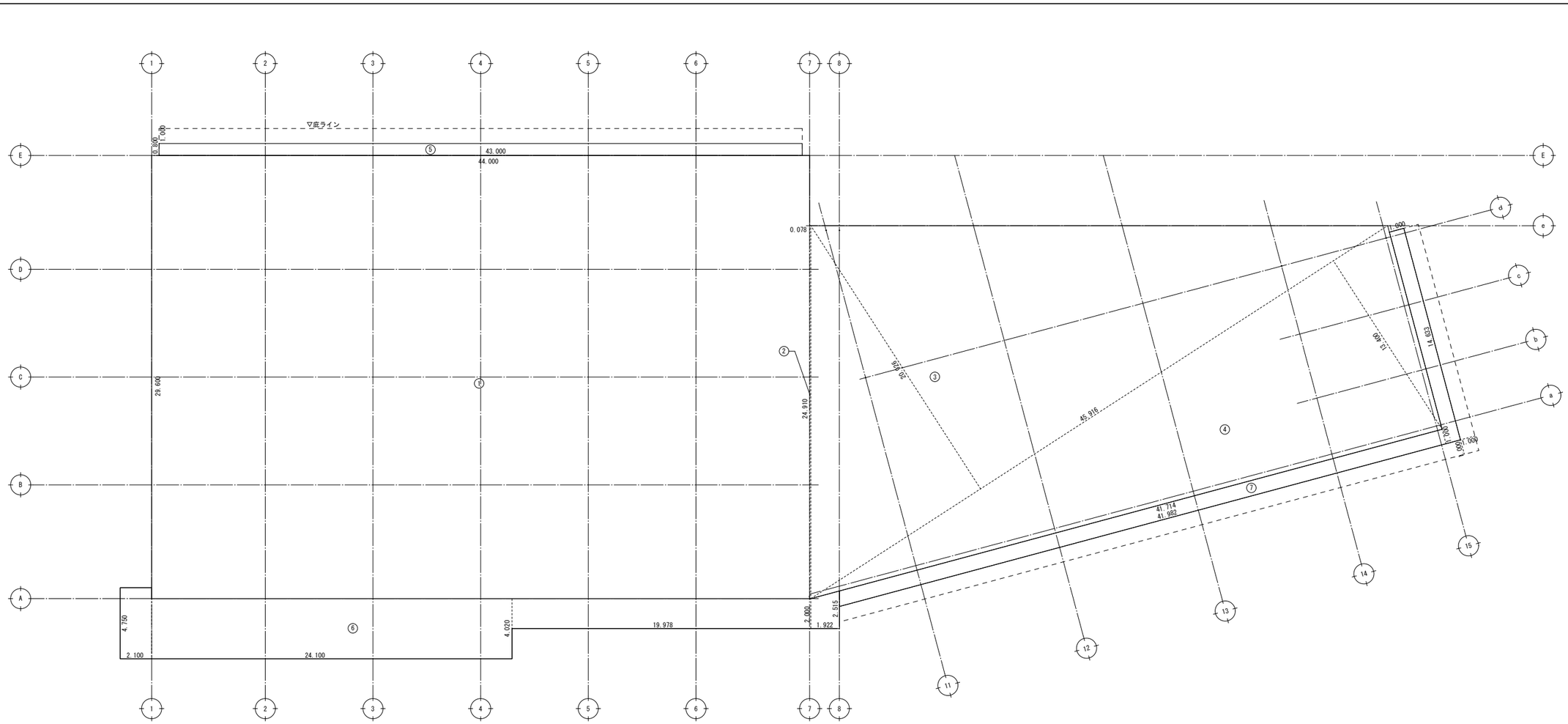
面積区画番号	面積（㎡）
1	539.806
2	88.112
3	967.055
4	716.891
5	846.226
6	974.877
7	201.691
8	265.271

階	面積（㎡）
3階	1,219.81
2階	1,248.38
1階	2,131.73
延床面積	4,599.92

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階求積図	2023/03

管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック　小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-013



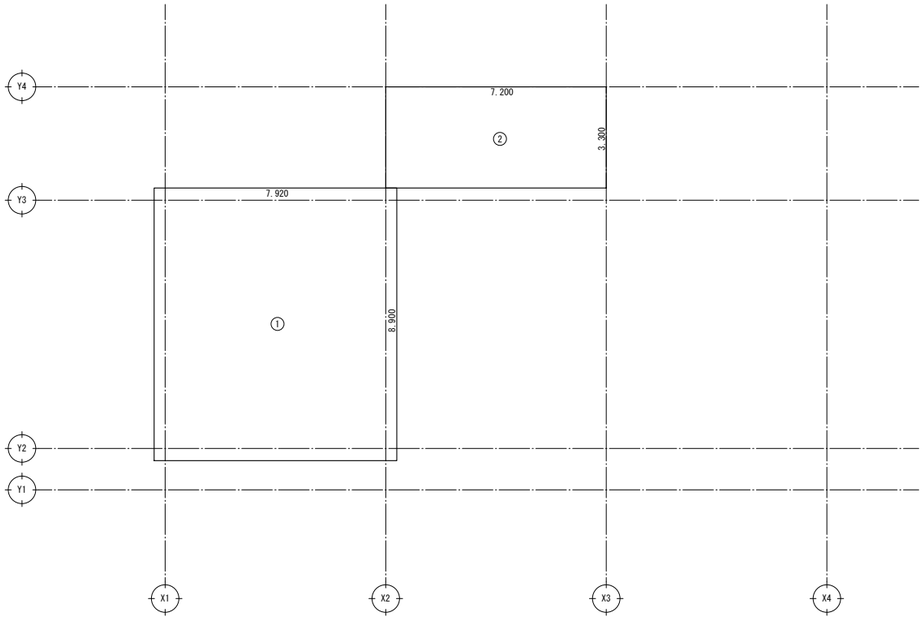
建築面積求積図

建築面積求積表

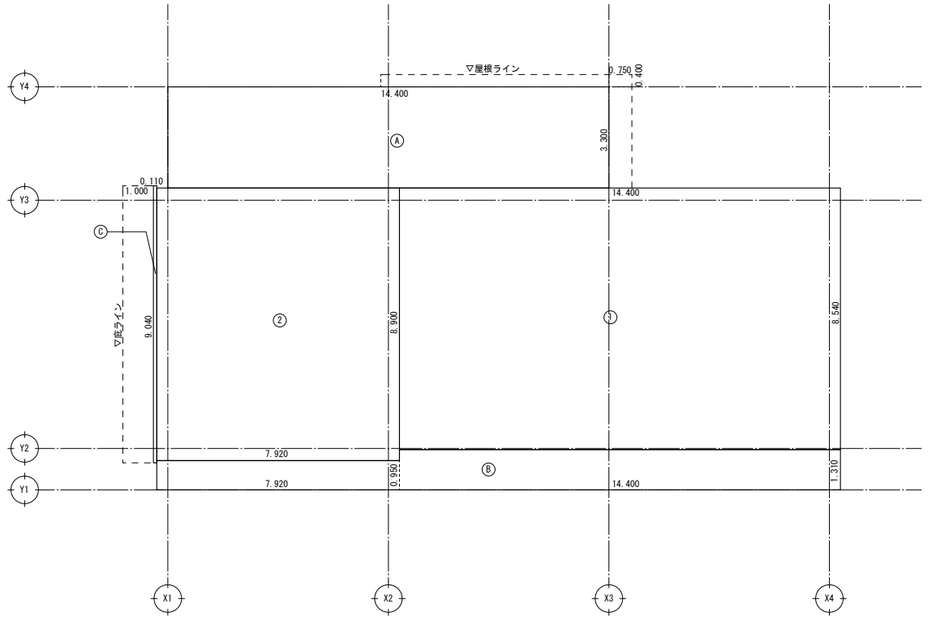
記号	部分	計算式(m)			面積(㎡)
①	建物	44.000	×	29.600	1302.400
②	建物	0.078	×	24.910	1.943
③	建物	45.916×20.926／2			480.419
④	建物	45.916×13.400／2			307.637
⑤	庇	43.000	×	0.800	34.400
⑥	袖壁に囲まれる部分・庇	2.100	×	4.750	9.975
		24.100	×	4.020	96.882
		19.978	×	2.000	39.956
		(2.000+2.515)×1.922／2			4.339
				計	151.152
⑦	庇	(41.714+41.982)×1.000／2			41.848
		14.633	×	1.000	14.633
				計	56.481
				合計	2,334.432
				建築面積	2,334.43

代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原　嘉成		小田　文武		安川　雅巳	
一級建築士 第247426号		一級建築士 第318795号		一級建築士 第322365号	

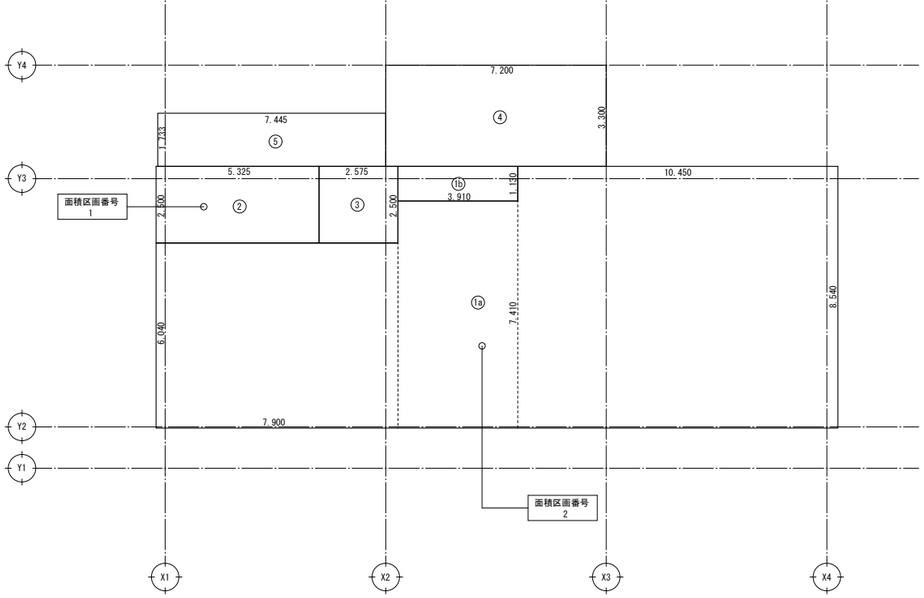
工事名		図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【共通】 消防本庁（署）棟　建築面積求積図			2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名		縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳		A1:1/150 A3:1/300	A-013



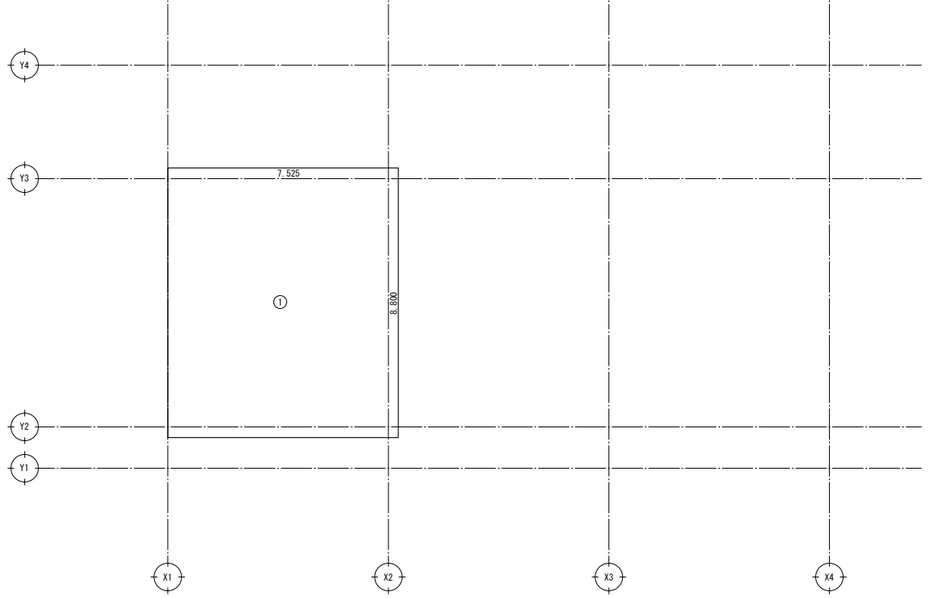
２階（1.5階）求積図



建築面積求積図



１階求積図



３階求積図

建築面積求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	床面積部分	14.400 × 8.540	122.976
②	床面積部分	7.920 × 8.900	70.488
Ⓐ	屋外階段部分	14.400 × 3.300	47.520
Ⓑ	袖壁部分	7.920 × 0.950	7.524
		14.400 × 1.310	18.864
		計	26.388
Ⓒ	庇部分	0.110 × 9.040	0.994
		合計	268.366
		建築面積	268.36

１階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
⑴a	車庫	7.900 × 6.040	47.716
		3.910 × 7.410	28.973
		10.450 × 8.540	89.243
		計	165.932
⑴b	タイヤラック置場	3.910 × 1.130	4.418
⑵	倉庫	5.325 × 2.500	13.313
⑶	油庫	2.575 × 2.500	6.438
⑷	作業スペース	7.200 × 3.300	23.760
⑸	廊下	7.445 × 1.733	12.902
		合計	226.763
		１階床面積	226.76

２階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	ネット収納庫	7.920 × 8.900	70.488
②	作業スペース	7.200 × 3.300	23.760
		合計	94.248
		２階床面積	94.24

３階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	訓練ステージ	7.525 × 8.800	66.220
		合計	66.220
		３階床面積	66.22

延床面積（車庫棟）

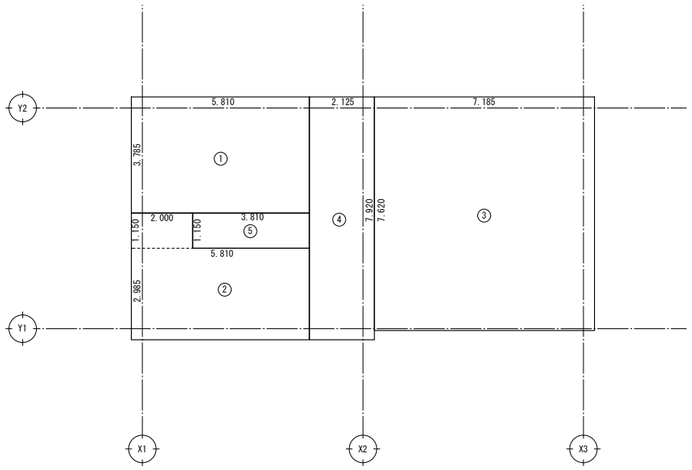
	面積(㎡)
３階床面積	66.22
２階床面積	94.24
１階床面積	226.76
延床面積	387.22

面積区画番号	面積（㎡）
1	19.751
2	207.009

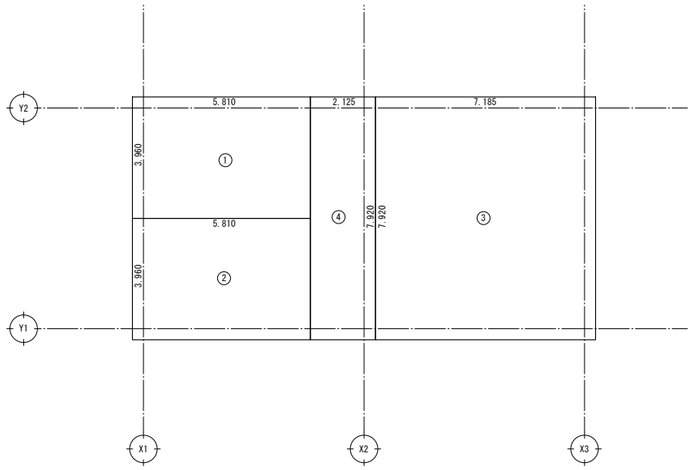
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】　車庫棟　求積図	2023/03

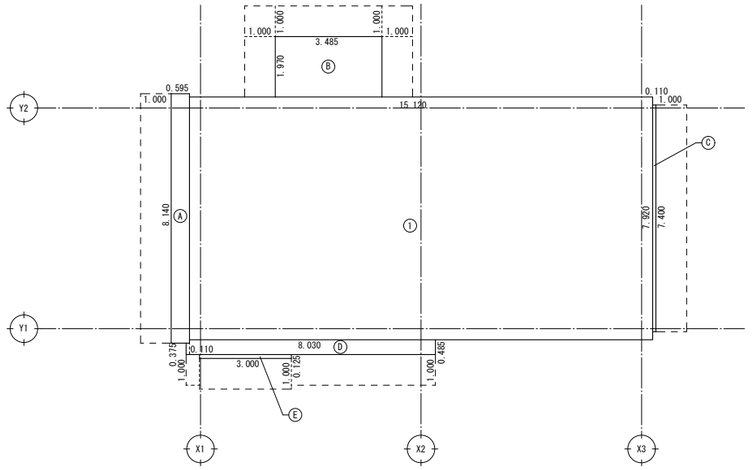
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-015



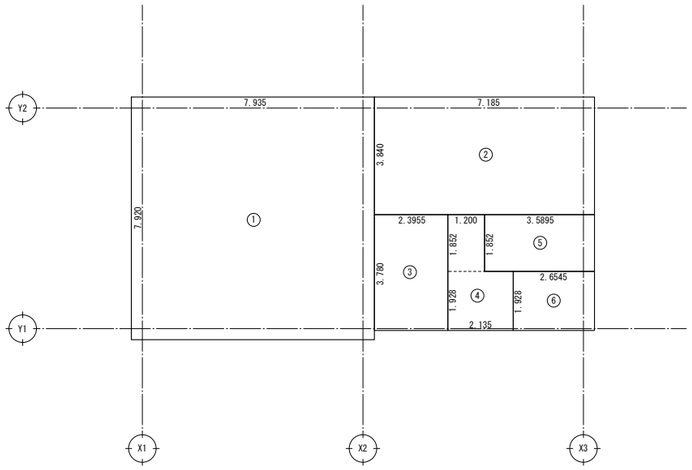
2階求積図



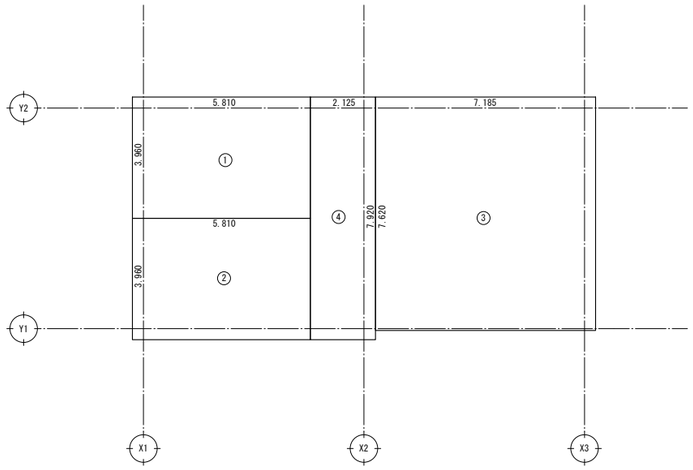
4階求積図



建築面積求積図



1階求積図



3階求積図

1階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	検索訓練室	7.935 × 7.920	62.845
②	倉庫	7.185 × 3.840	27.590
③	司令端末室	2.3955 × 3.780	9.055
④	女子トイレ	1.200 × 1.852	2.222
		2.135 × 1.928	4.116
		計	6.338
⑤	男子トイレ	3.5895 × 1.852	6.648
⑥	トイレ前通路	2.6545 × 1.928	5.118
		合計	117.594
		1階床面積	117.59

4階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	部屋（1）	5.810 × 3.960	23.008
②	部屋（2）	5.810 × 3.960	23.008
③	燃焼室	7.185 × 7.920	56.905
④	廊下	2.125 × 7.920	16.830
		合計	119.751
		4階床面積	119.75

2階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	部屋（1）	5.810 × 3.785	21.991
②	濃煙熱気室	2.000 × 1.150	2.300
		5.810 × 2.985	17.343
		計	19.643
③	部屋（2）	7.185 × 7.620	54.750
④	廊下	2.125 × 7.920	16.830
⑤	階段室	3.810 × 1.150	4.382
		合計	117.596
		2階床面積	117.59

延床面積（訓練棟）

	面積(㎡)
4階床面積	119.75
3階床面積	117.59
2階床面積	117.59
1階床面積	117.59
延床面積	472.52

3階求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	部屋（1）	5.810 × 3.960	23.008
②	部屋（2）	5.810 × 3.960	23.008
③	渡過スペース	7.185 × 7.620	54.750
④	廊下	2.125 × 7.920	16.830
		合計	117.596
		3階床面積	117.59

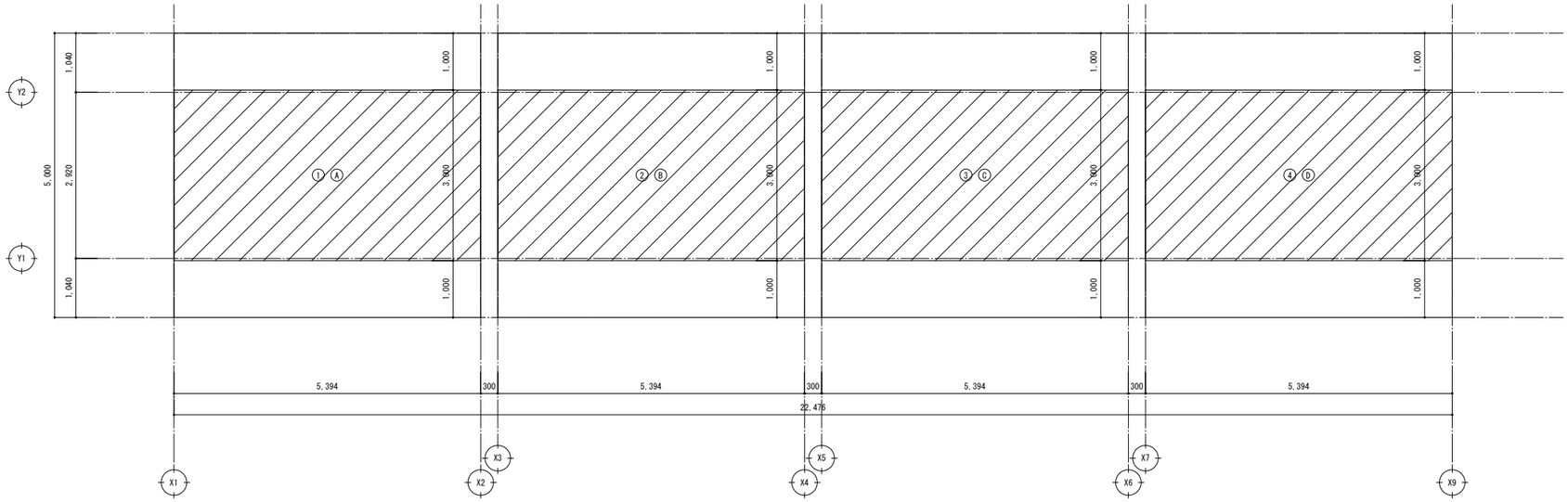
建築面積求積表

記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	床面積部分	15.120 × 7.920	119.750
Ⓐ	バルコニー部分	0.595 × 8.140	4.843
Ⓑ	屋外階段部分	3.485 × 1.970	6.865
Ⓒ	ステージ部分	0.110 × 7.400	0.814
Ⓓ	屋上部分	8.030 × 0.485	3.895
		0.110 × 0.375	0.041
		計	3.936
Ⓔ	庇部分	3.000 × 0.125	0.375
		合計	136.583
		建築面積	136.58

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

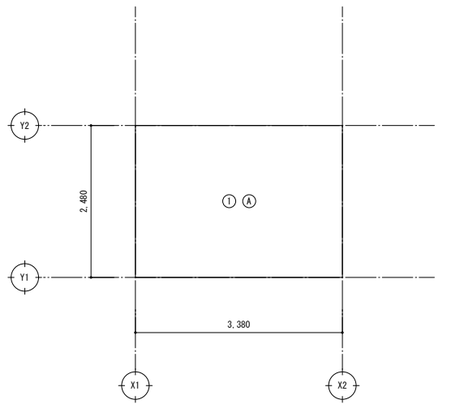
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】　訓練棟　求積図	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-016



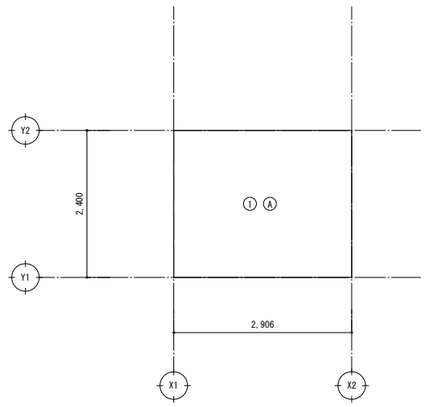
カーポート　求積図

カーポート　求積表			
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	カーポート（1）	5.394 × 5.000	26.970
②	カーポート（2）	5.394 × 5.000	26.970
③	カーポート（3）	5.394 × 5.000	26.970
④	カーポート（4）	5.394 × 5.000	26.970
		合計	107.880
		延床面積	107.88
Ⓐ	屋根部分（1）	5.394 × 3.000	16.182
Ⓑ	屋根部分（2）	5.394 × 3.000	16.182
Ⓒ	屋根部分（3）	5.394 × 3.000	16.182
Ⓓ	屋根部分（4）	5.394 × 3.000	16.182
		合計	64.728
		建築面積	64.72



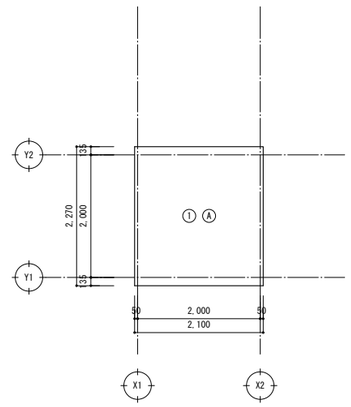
屋内貯蔵所　求積図

屋内貯蔵庫　求積表			
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	屋内貯蔵庫	3.380 × 2.480	8.382
		合計	8.382
		延床面積	8.38
Ⓐ	屋上部分		
		合計	8.382
		建築面積	8.38



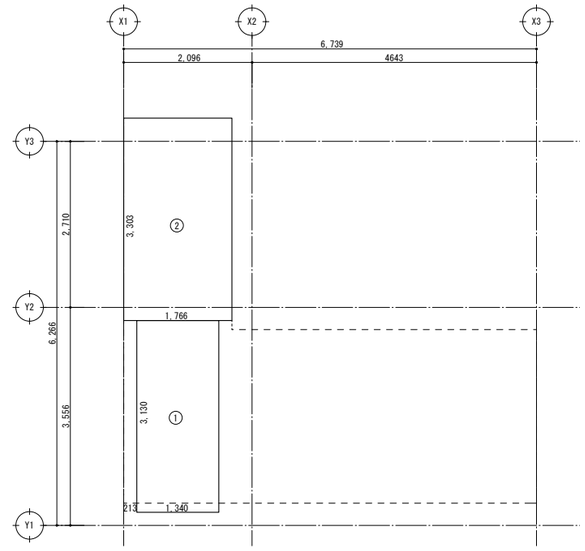
受水槽ポンプ室　求積図

受水槽ポンプ室　求積表			
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	受水槽	2.906 × 2.400	6.974
		合計	6.974
		延床面積	6.97
Ⓐ	屋上部分	2.906 × 2.400	6.974
		合計	6.974
		建築面積	6.97



燃料小出槽　求積図

燃料小出槽　求積表			
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
①	燃料子出槽	2.100 × 2.270	4.767
		合計	4.767
		延床面積	4.76
Ⓐ	屋上部分	2.100 × 2.270	4.767
		合計	4.767
		建築面積	4.76



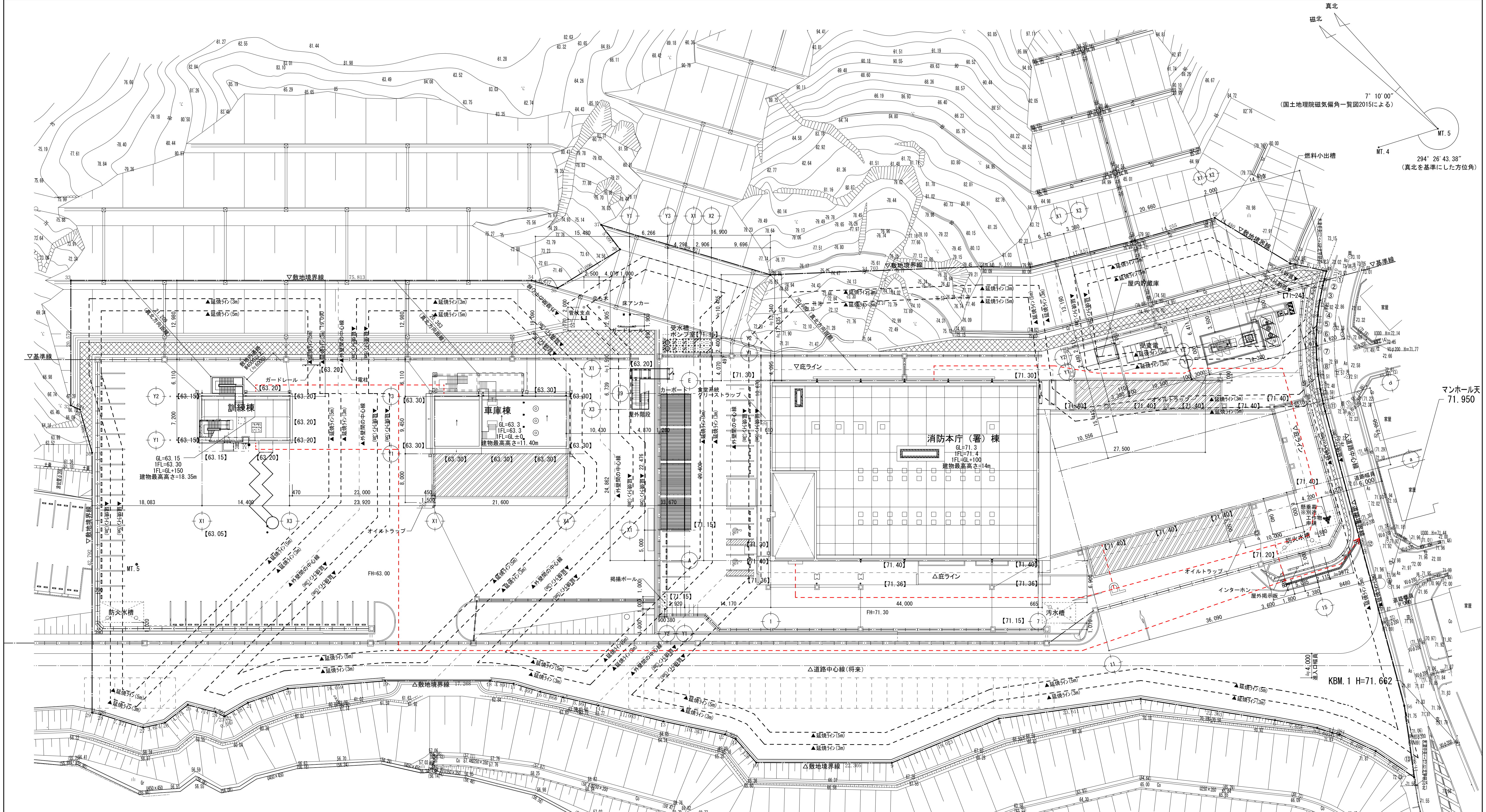
屋外階段　求積図

屋外階段　求積表			
記号	室名	計算式(m)	面積(㎡)
			0.000
		合計	0.000
		延床面積	0.00
①	階段（柱に囲まれる部分）	1.340 × 3.130	4.194
②	階段への接続部分	1.766 × 3.303	5.833
		合計	10.027
		建築面積	10.02

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

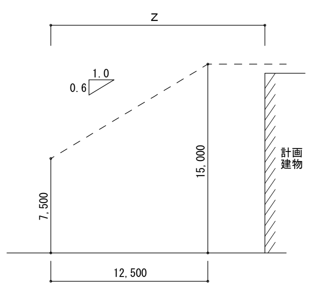
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 その他　求積図	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-017



全体配置図

■高度斜線



※最下階のレベルからとする

消防本庁（署）棟

Z＝20.980 m
7.5 ＋ Z×0.6 ＝ 20.088 m 以下
かつ、15m 以下
建物高さ：14.970 m ≦ 15m　OK

車庫棟

Z＝20.363 m
7.5 ＋ Z×0.6 ＝ 19.7178 m 以下
かつ、15m 以下
建物高さ：11.400 m ≦ 15m　OK

訓練棟

Z＝21.209 m
7.5 ＋ Z×0.6 ＝ 20.2254 m 以下
かつ、15m 以下
建物高さ：18.350 m ≦ 15m　NG

■地盤面

周辺レベルの最も低いレベルを地盤面と設定する。（各棟共通）
各棟の地盤面については下記とする。

消防本庁（署）棟：71.30
車庫棟：63.30
訓練棟：63.15

■凡例

- - -> ：避難口から道路までの敷地内通路（W=1,500mm以上）

※車庫部分の駐車場（青空駐車は除く）については、緊急車両用である。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

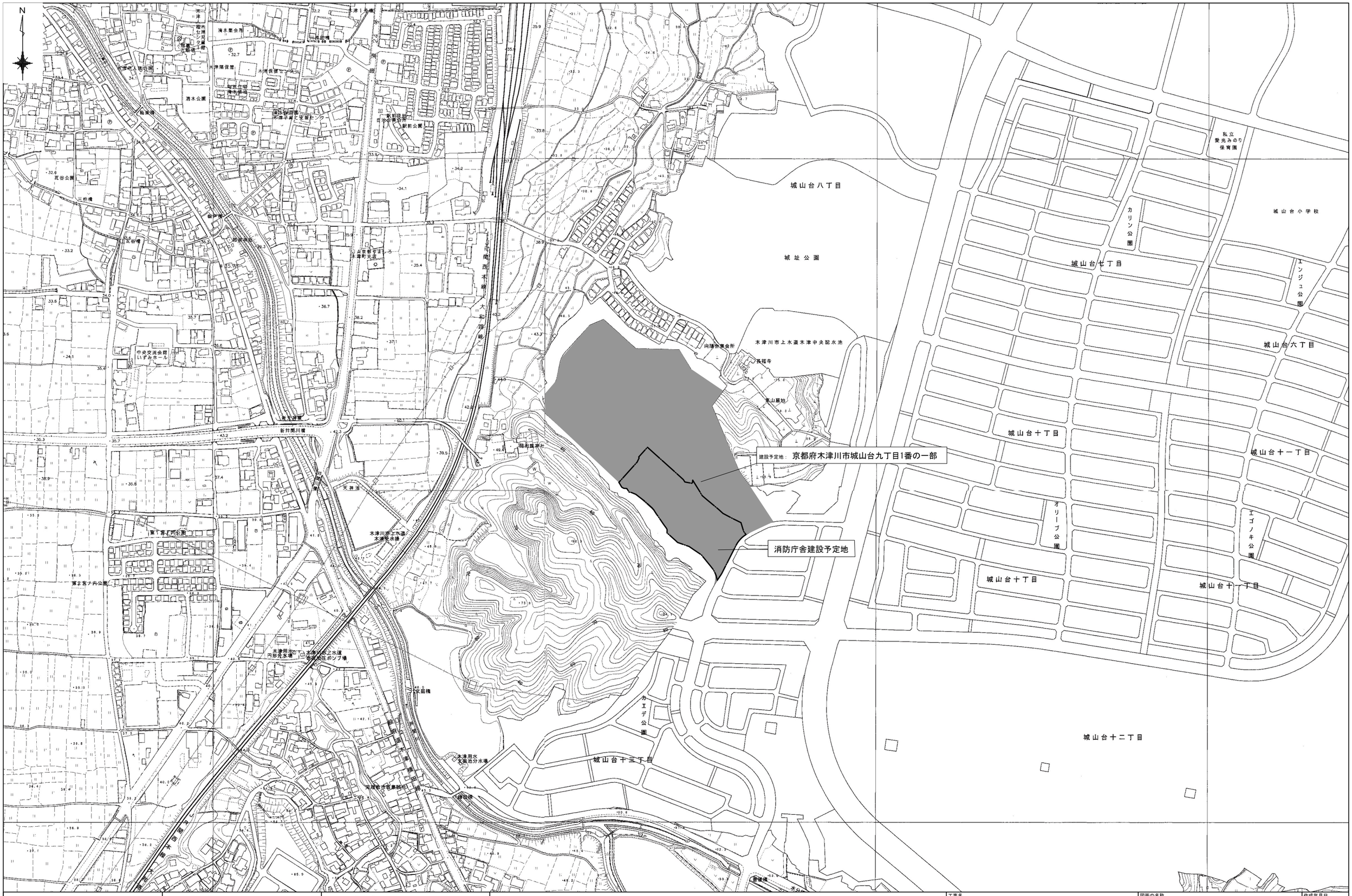
【※】：造成仕上レベルを示す

道路敷地と接している長さ

①:1,309.56	⑥:2,454.41	⑪: 1,227.14
②:1,144.90	⑦:2,454.46	⑫:50,206.28
③:2,456.31	⑧:2,454.55	⑬:11,867.33
④:2,454.51	⑨:2,454.43	
⑤:2,454.42	⑩:2,454.48	合計:85,392.78mm(85.39m)

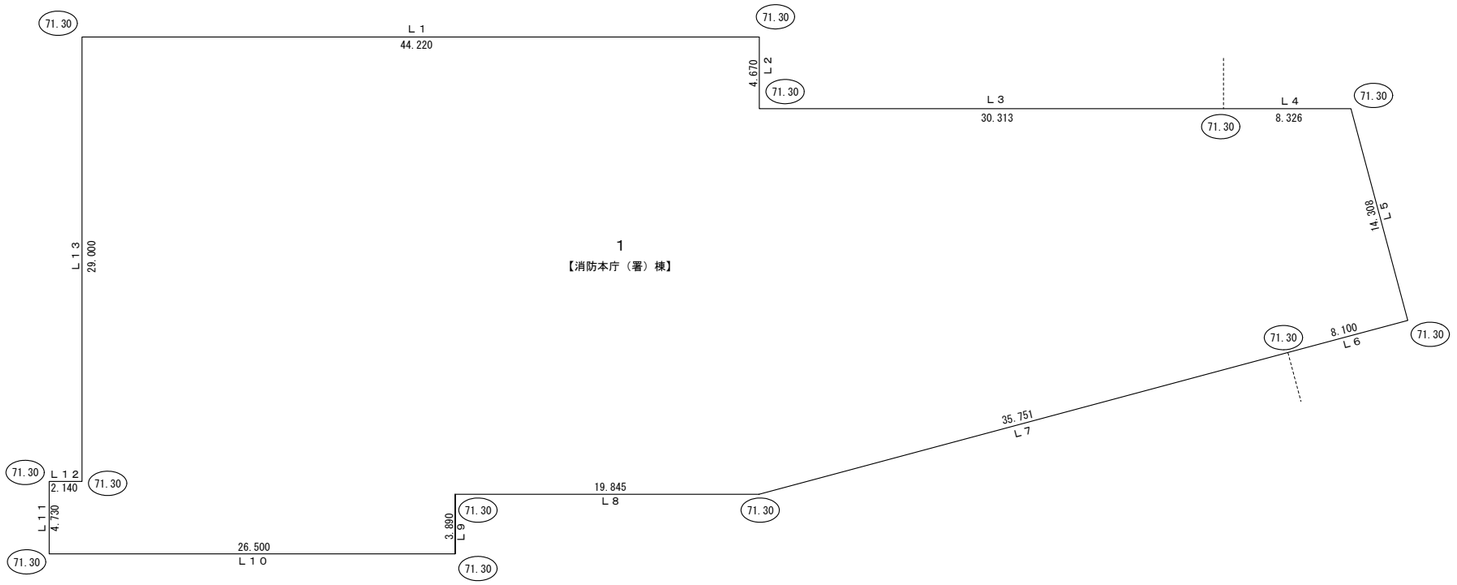
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 全体配置図	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/300 A3:1/600	A-018

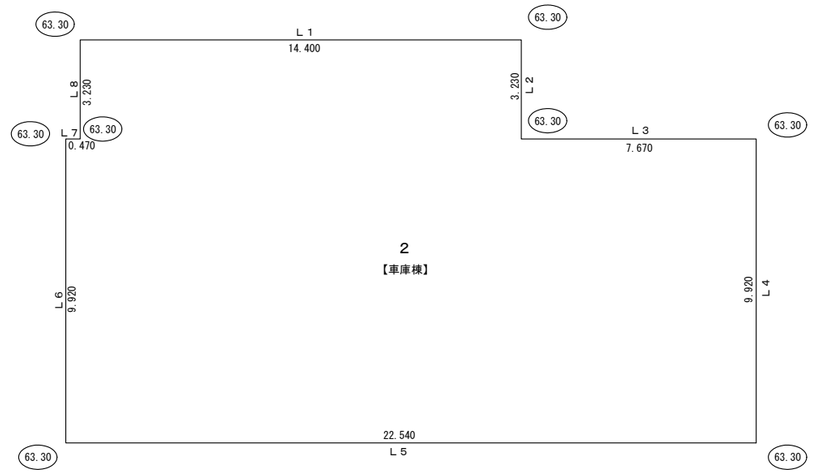


代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

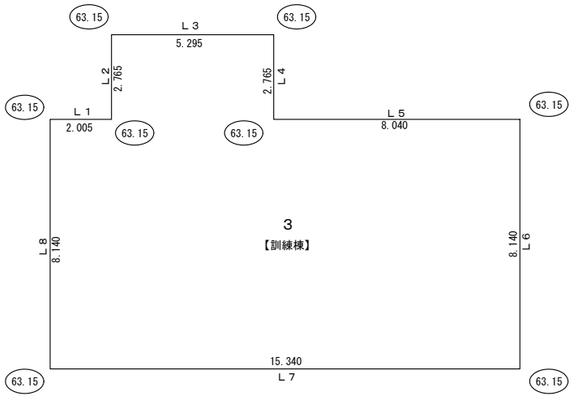
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【共通】　付近見取図		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/2500 A3:1/5000	図面番号：A-019



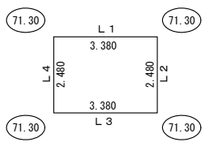
平均地盤算定図　1/200



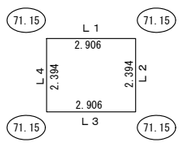
平均地盤算定図　1/100



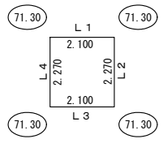
平均地盤算定図　1/100



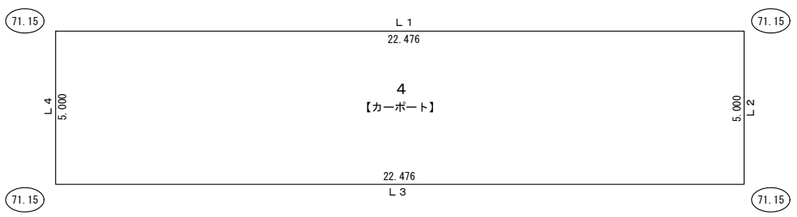
平均地盤算定図　1/100



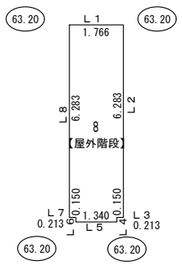
平均地盤算定図　1/100



平均地盤算定図　1/100



平均地盤算定図　1/100

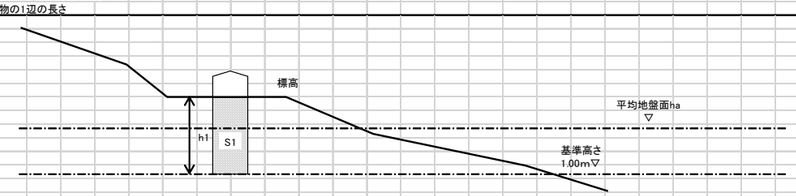


平均地盤算定図　1/100

平均地盤面の算定

No	建物		設計GL	基準レベル～設計GL	端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル	辺長5	端部レベル	辺長6	端部レベル	辺長7	端部レベル	辺長8	端部レベル	辺長9	端部レベル	辺長10	端部レベル	面積	建物周長	平均地盤面（各建物）	平均地盤面（全建物）
x			h(m)	h1(m)		L1(m)		L2(m)		L3(m)		L4(m)		L5(m)		L6(m)		L7(m)		L8(m)		L9(m)		L10(m)		S(㎡)	L(m)	ha(m)	ha(m)
																											Σ.S/Σ.L -基準レベル	Σ.S/Σ.L -基準レベル
1	消防本庁		71.30	70.30	71.30	44.220	71.30	4.670	71.30	30.313	71.30	8.326	71.30	14.308	71.30	8.100	71.30	35.751	71.30	19.845	71.30	3.890	71.30	26.500	71.30				
	（署）棟	地盤レベル(h1x)			70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30		70.30				
		面積(h1x×Lx)				3,108.67		328.30		2,131.00		585.32		1,005.85		569.43		2,513.30		1,395.10		273.47		1,862.95					
			端部レベル	辺長11	端部レベル	辺長12	端部レベル	辺長13	端部レベル																	16,295.05	231.793	71.30	
		地盤レベル(h1x)	71.30	4,730	71.30	2.140	71.30	29.000	71.30																				
		面積(h1x×Lx)	70.30		70.30		70.30		70.30																				
				332.52		150.44		2,038.70																					
2	車庫棟		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル	辺長5	端部レベル	辺長6	端部レベル	辺長7	端部レベル	辺長8	端部レベル										
		63.30 62.30	63.30	14.400	63.30	3.230	63.30	7.670	63.30	9.920	63.30	22.540	63.30	9.920	63.30	0.470	63.30	3.230	63.30							4,446.97	71.380	63.30	
		地盤レベル(h1x)	62.30		62.30		62.30		62.30		62.30		62.30		62.30		62.30		62.30										
		面積(h1x×Lx)		897.12		201.23		477.84		618.02		1,404.24		618.02		29.28		201.23											
3	訓練棟		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル	辺長5	端部レベル	辺長6	端部レベル	辺長7	端部レベル	辺長8	端部レベル										
		63.15 62.15	63.15	2.005	63.15	2.765	63.15	5.295	63.15	2.765	63.15	8.040	63.15	8.140	63.15	15.340	63.15	8.140	63.15							3,262.25	52.490	63.15	
		地盤レベル(h1x)	62.15		62.15		62.15		62.15		62.15		62.15		62.15		62.15		62.15										
		面積(h1x×Lx)		124.61		171.84		329.08		171.84		499.69		505.90		953.38		505.90											
4	カーポート		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル																		
		71.15 70.15	71.15	22.476	71.15	5.000	71.15	22.476	71.15	5.000	71.15															3,854.88	54.952	71.15	68.81
		地盤レベル(h1x)	70.15		70.15		70.15		70.15		70.15																		
		面積(h1x×Lx)		1,576.69		350.75		1,576.69		350.75																			
5	屋内貯蔵庫		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル																		
		71.30 70.30	71.30	3.380	71.30	2.480	71.30	3.380	71.30	2.480	71.30															823.92	11.720	71.30	
		地盤レベル(h1x)	70.30		70.30		70.30		70.30		70.30																		
		面積(h1x×Lx)		237.61		174.34		237.61		174.34																			
6	受水槽		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル																		
		71.15 70.15	71.15	2.906	71.15	2.394	71.15	2.906	71.15	2.394	71.15															743.59	10.600	71.15	
		地盤レベル(h1x)	70.15		70.15		70.15		70.15		70.15																		
		面積(h1x×Lx)		203.86		167.94		203.86		167.94																			
7	燃料小出槽		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル																		
		71.30 70.30	71.30	2.100	71.30	2.270	71.30	2.100	71.30	2.270	71.30															614.42	8.740	71.30	
		地盤レベル(h1x)	70.30		70.30		70.30		70.30		70.30																		
		面積(h1x×Lx)		147.63		159.58		147.63		159.58																			
8	屋外階段		端部レベル	辺長1	端部レベル	辺長2	端部レベル	辺長3	端部レベル	辺長4	端部レベル	辺長5	端部レベル	辺長6	端部レベル	辺長7	端部レベル	辺長8	端部レベル										
		63.20 62.20	63.20	1.766	63.20	6.283	63.20	0.213	63.20	0.150	63.20	1.340	63.20	0.150	63.20	0.213	63.20	6.283	63.20							1,019.96	16.398	63.20	
		地盤レベル(h1x)	62.20		62.20		62.20		62.20		62.20		62.20		62.20		62.20		62.20										
		面積(h1x×Lx)		109.85		390.80		13.25		9.33		83.35		9.33		13.25		390.80											
																										31,061.04	458.073		

特記事項
基準レベルの高さ 1.00 m
端部レベルは、基準レベルからのレベル
辺長は、建物の1辺の長さ

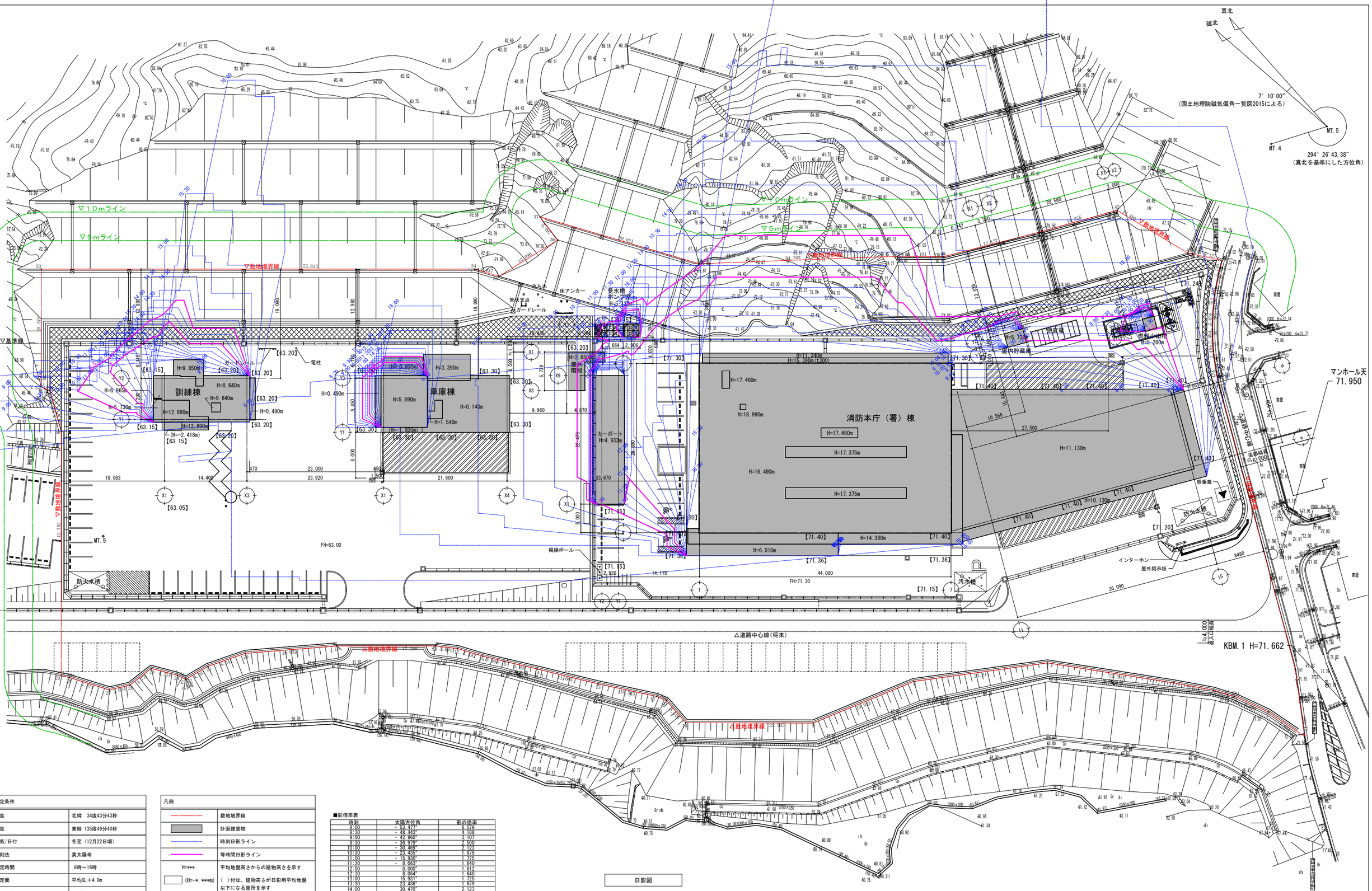


※各棟共通:周辺地盤のそれぞれ最も低い地盤面を平均地盤と設定する。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 平均地盤算定図	2023/03

NEC JEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100, 1/200 A3:1/200, 1/400	A-020



測定条件	
緯度	北緯　34度43分43秒
経度	東経 135度49分40秒
節気/日付	冬至（12月22日頃）
時刻法	真太陽寺
測定時間	8時～16時
測定面	平均GL＋4.0m
規制時間1（ 5m）	4時間
規制時間2（10m）	2.5時間

凡例	
	敷地境界線
	計画建築物
	時刻日影ライン
	等時間日影ライン
H=***	平均地盤高さからの建物高さを示す
(H=−*, ***m)	（ ）付は、建物高さが日影用平均地盤以下になる箇所を示す
日影用平均地盤高さ	68.81

■影倍率表

時刻	太陽方位角	影の倍率
8:00	− 53.477°	6.579
8:30	− 48.443°	4.188
9:00	− 42.960°	3.107
9:30	− 36.979°	2.500
10:00	− 30.469°	2.123
10:30	− 23.435°	1.879
11:00	− 15.930°	1.725
11:30	− 8.063°	1.640
12:00	0.000°	1.612
12:30	8.064°	1.640
13:00	15.931°	1.725
13:30	23.436°	1.879
14:00	30.470°	2.123
14:30	36.980°	2.500
15:00	42.961°	3.107
15:30	48.444°	4.188
16:00	53.478°	6.579

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

【※】：造成仕上レベルを示す

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【共通】 日影図	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/300 A3:1/600	A-021

外部仕上表

区分	床	腰	壁・柱・梁	屋上取合い	屋根	屋上パラペット	庇 上端	庇 はな	庇 下端	備考
消防本庁（署）棟	せっ器質タイル400×400	RC（A)保護塗料A	RC（A）保護塗料A		アスファルト保護防水密着断熱工法（AI−2）	ウレタン塗膜防水（X-2）	ウレタン塗膜防水（X-2）	RC（A）保護塗料A	RC（A）保護塗料A	屋上設備架台、手摺はすべてZnリン酸処理仕上げ
	沓摺マット(SUS製)	RC（A・P)保護塗料C	RC（A・P)保護塗料C		押さえコンクリートｔ＝80					屋上鉄塔Znの上リン酸処理仕上げ
			RC（A)DP（着色）		立上り部乾式保護板t=15		アルミ庇（アルポリックfr NM-1888同等）			縦樋：アルミバンドレス
			PCa(P)保護塗料C		玄関庇：硬質木毛セメント板下地（FP030RF-9082)					ステンレス製車止めポールH=950φ200
			ALCｔ＝100（縦張り）の上防水型複層塗材Ｅ		耐火(屋根30分)の上塩ビ系シート防水					屋上デッキ:再生木ウッドデッキ
			アルミ製EXPJカバー（1時間耐火）		車庫部分：乾式断熱パネルt=35下地アスファルト防水工法	車庫部分：アルミ笠木（既製品）				ステンレスタラップ（既製品）
					田島ルーフィングYP-SYSTEM同等	アルミ製EXPJカバー（1時間耐火）				屋外階段：ウレタン塗膜防水（X-2） 歩行仕様

内部仕上表 （1）

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
1階	風除室（準）	C (-50)	せっ器質タイル400×400										点字鋲
			RC人研ぎ仕上げ										自動ドア防護柵
			（真鍮目地@3000程度）										収納式傘立て
		S		W（杉）NP	杉羽目板張りt=12（準不燃）	NP			GB-Rｔ=12.5＋DRｔ=12.0	アルミ	EP−G	2,700	
	エントランスホール（準）	C (-50)	せっ器質タイル400×400	RC(A) 保護塗料B	RC(A)	保護塗料B			躯体あらわし(RC)	アルミ		※8,140	ロールスクリーン
			RC人研ぎ仕上げ	RC(A・杉) 保護塗料B	RC(A・杉)	保護塗料B							ピクチャーレール
			（真鍮目地@3000程度）	RC(B) 薄塗材E	RC(B)	薄塗材E							天井内スラブ下GWマットｔ=25（黒）
		S		W（杉）NP	杉羽目板張りt=12（準不燃）	NP			GB-Rｔ=12.5＋DRｔ=12.0	アルミ		7,500	天井内黒塗装（EP-G)
				W（杉）NP	GB-Rｔ=12.5+12.5	薄塗材E							FL+7,200:天井下
													突板練付不燃板ｔ=6透し張り
	トイレ前通路（準）	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0										
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	薄塗材E			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	2,700	
				W（杉）NP	杉羽目板張りt=12（準不燃）	NP							
	トレーニング室（不） 居室：VOC24×1	C (-30)	衝撃吸収塩ビシートt=4	VB	RC(A)	保護塗料B							雲梯
													全身鏡(W5,400×h1,500 FL+300下端)
													ピクチャーレール
		S		VB	GB-Fｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	3,000	
					GB-Fｔ＝21.0+21.0	EP−G						一部3,500	
	廊下 （1）（2）（3）（準）	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B							ピクチャーレール
													マグネット式壁紙
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
					GB-Sｔ＝12.5+12.5	EP−G							
	食堂（準） 居室：VOC24×1	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0（木目）	VB									システムキッチン（換気扇・照明標準品共）
													食器棚(備品工事)
													ロールスクリーン
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	2,700	畳ユニット
					不燃メラミン化粧板t=3								ピクチャーレール
													マグネット式壁紙
	洗濯室・乾燥室（準）	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									収納棚(備品工事)
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	リネン庫（準）	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									収納棚(備品工事)
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
1階	火災原因調査室（不） 居室：VOC24×1	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB					GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								
	下足室（準）	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB					GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	下足箱
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								
	仮眠室 男（1）～（28） 女（1）～（3）（不） 居室：VOC24（代表カ所）	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	ベッド・机・ロッカー
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								
	更衣室（男）（女） 畳コーナー（不） 居室：VOC24×各1	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	ロッカー
			畳 t=55										
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								
	浴室・脱衣室 洗面室 （男）・（女）（準）	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	ロッカー・脱衣棚
													UB1216タイプ
			浴室（-225）										US0812タイプ
		S	乾式床下地の上畳敷	VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5クロス								UB・UB共換気扇照明標準品共
	出動準備スペース 収納スペース（不） 居室：VOC24×各1	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B							ホワイトボードスクリーン
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NCｔ＝9.5	塩ビ製	EP−G	3,000	
	車庫（準）	C (-10)	防塵塗料	-	躯体あらわし		躯体あらわし		躯体あらわし			直天	コーナーガード
													中量ラック
													ピクチャーレール
		S											防鳥ネット
	救急訓練室（不）	C (-10)	防塵塗料	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC（T）ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	ピクチャーレール
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上								
					化粧ケイカル板t=6								

特記なき限り、内装材（床・壁・天井）は化学汚染物質F☆☆☆☆若しくは規制対象外商品とする。
区分に記載の（-※）は、SL天端レベル（FLからの下がり寸法）を示す。
天井高に記載の（※-）は、避難安全検証法上の有効天井高を示す。

杉板t=12透し張り・突板練付不燃板ｔ=6透し張りは開放率50%以上とし、端部壁取り合いは60mmクリアランス有とする。
避難安全検証法煙伝搬開口部の壁の仕上げは、避難安全検証法による。

（不） 下地仕上不燃
（不） 内装不燃
（準） 内装準不燃
（難） 内装難燃

材料記号

記号	内容	記号	内容
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	GB-R	石膏ボード
CL	クリアラッカー塗り	GB-P	化粧吸音用穴あき石膏ボード
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料		現場塗装品（ニュータイガートーン同等）
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-S	シージング石膏ボード
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-F	強化石膏ボード
EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	GB-NC	不燃積層石膏ボード（模様なし）
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	GB-NC（T）	不燃積層石膏ボード（トラバーチン模様）
OS	オイルステイン塗り	GB-D（W）	化粧石膏ボード（杉柾模様）
DP	耐候性塗料塗り（フッ素）	DR	ロックウール化粧吸音板
WP	外部用木材保護塗料塗り	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板
NP	内部用木材保護自然塗料塗り	FK-P	吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
LGS	軽量鉄骨	PF	ポリスチレンフォーム保温板
ＲＣ（ ）	床：標準仕様書表6.2.5による	D	アクリル樹脂焼付塗装
	壁、天井：コンクリート打放し（種別）	MB	メラミン樹脂化粧板
	［（ ）の記載がない場合はコンクリート打ちの	SP	内装薄塗材E
	のままとする］	SUS（HL）	ステンレスヘアライン
ＲＣ（Ａ・杉）	コンクリート打放し A種 杉小幅板本実型枠	SUS（B）	ステンレスバイブレーション
ＲＣ（Ａ・Ｐ）	超高圧ウォータージェット意匠工法	GWマット	グラスウールマット ガラスクロス（黒） 32Kg/m3 不燃材
保護塗料Ａ	水性無機高分子塗料塗り（外壁用）	VB	ビニル巾木
保護塗料Ｂ	水性無機高分子塗料塗り（室内用）	TC	タイルカーペット
保護塗料Ｃ	シリカ系複合保護材	免震FAF	免震フリーアクセスフロア
薄塗材Ｅ	内外装薄塗材Ｅ		

仕上げ 不燃・準不燃番号

仕上げ	番号
GB-R（石膏ボード）ｔ12.5以上	NM−８６１９
GB-S（シージング石膏ボード）ｔ12.5	NM−９６３９
GB-S（シージング石膏ボード）ｔ9.5	QM−０８９８
GB-NC（不燃積層石膏ボード）ｔ9.5	NM−０４４１
GB-D（化粧石膏ボード）ｔ=9.5	NM−１８６４
クロス（下地不燃）	NM−０３０２
ＥＰ、ＥＰ−Ｇ、ＮＡＤ、ＳＯＰ（下地不燃）	NM−８５８５
ＥＰ、ＥＰ−Ｇ、ＮＡＤ、ＳＯＰ（下地準不燃）	QM−９８１６
杉羽目板張りt=12（準不燃）	QM−０２５５
GB-P（化粧吸音石膏ボード）ｔ＝9.5	NM−４９６１（２）
耐火スリット	
不燃メラミン化粧板	NM−２１８３
GB-F	NM−８６１５
突板練付不燃板	NM−１２９７,NM−４３８９
クロス	NM−３９９１
化粧ケイカル板 t=6.0	NM−５０３７
ケイカル板 t=5.0	NM−８５７６
保護塗料Ｂ	NM−１４２８
硬質ウレタンフォーム（不燃）	NM−５３３３
GWマット	NM−８６１０

共通事項

◎ 区分 Ｃ：コンクリート下地及びコンクリートブロック下地等 Ｓ：軽量鉄骨下地等
◎ 室名の前に（VOC２４）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（２４時間）及び確認を所定の箇所数行う
室名の前に（VOC８）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（８時間）及び確認を所定の箇所数行う
◎ 特記なき場合の床仕上げ下地は、石張り部・タイル張り部・階段部（踊り場共）・屋上防水部・フリーアクセスフロア・OAフロア部分を除きコンクリート直均し仕上げ（1-01-3, 1-01-4）のうえ、仕上げ材とする

適用事項 ※特記のない限り下記による

幅木
※ 幅木の高さはH=40（特記なき限り、VBは東リスタイル巾木同等）とする

壁
※ 壁紙張りの石膏ボードは、突付けＶ目地工法のうえパテ処理とする
※ 塗装仕上げの石膏ボードは、継目処理工法（テーパー付きボード）とする
※ 壁取り合い（２−２４−３、６）の見切縁はアルミ製とする

天井
※ ロックウール吸音板張りは下地張り（GB-R厚さ12.5）を行う
※ 天井壁紙張り及び塗装下地の石膏ボードの目地処理は突き付けＶ目地工法のうえパテ処理とする

天井取合い
※ 特記なき限り天井取合いは、壁一天井（3-11-3,7又は4,8）見切縁は DR、GB-NC（T）仕上げ箇所のみに取り付け、
※（ 塩ビ製 フクビV-12N号同等又はアルミ製 創建ATV-1212（焼付塗装） 同等）とする
※見切縁の無い場合は、3-11-1,2,5,6による

乾式二重床
※ 乾式二重床（1）：水廻り・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・耐水合板捨張りｔ＝12の上、各仕上
※ 乾式二重床（2）：縁甲板の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・合板捨張りｔ＝12の上、仕上
※ 乾式二重床（3）：畳の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20の上、仕上

断熱
※ 屋根：押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ ｔ＝50（標：9-2-2-ｈ）
※ 外壁：硬質ウレタンフォームA種Ⅰ（難燃）吹付ｔ＝30（標：19-9-3）
※ 土間下：押出ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込ｔ＝25（標：7-01-2）
※ 屋上水下側熱橋部：硬質ウレタンフォーム（不燃） ｔ＝30
※ 構造スリットは耐火1時間仕様とすること

杉小幅板本実型枠について
※杉板はW=100の本実板貼・焼杉浮造仕様とする。 製材・乾燥後石灰水によりアク抜きを行うこと。
※杉板の表面は剥離材を2回塗布後、コンクリート打設まで1週間以上の養生期間を設けること。
※杉板は普通型枠に比べて水分による収縮が大きいため日除け養生や散水養生を適査行うこと。
※工事着工後、すみやかに試験打ちを行い設計者および監督職員と仕上がり状態についての協議を行う事。
※型枠用杉板は間伐材を使用し、転用は行わない。

超高圧ウォータージェット意匠工法について
※工事着工後、すみやかモックアップを作成し設計者および監督職員と仕上がり状態についての協議を行う事。

化粧打放し面の補修について
※化粧打放し面にて、ジャンカ・気泡・型枠のはらみ・打継ぎでの大幅な色違い・面木や目地棒の入れ忘れ コールジョイントによる色変わり・著しい黒ずみ・部分的なテカリ等については、これを 下記仕様同等以上にて補修を行う。 パネルの目違いについては、現地にて設計者及び監督職員と協議する。収縮によるヘアラックやピンホールについては、これを許容する。
※補修については、打放し特有の肌合いを損なわず、割付けライン・セパ穴・木目を立体的に復元できる工法（ランデックスコートFCコート同等以上）とし、設計者および監督職員の承諾を得ること。

その他特記事項
※炻器質タイル400×400：国代耐火アゴラグランデ同等 ※炻器質タイル210×60×13：国代耐火 幅抜き粗面同等 ※炻器質タイル70φ：国代耐火 OzBRICK同等
※クロス：東リ 環境素材コレクション（防汚・抗菌）同等 ※超高圧超高圧ウォータージェット意匠工法：OSHIROX OXハイブリッドピーリング工法同等
※水性無機高分子塗料塗り：大日技研工業（株）ランデックスコート(NM1428)同等 ※シリカ系複合保護材：OSHIROX 含侵シリカ+低汚染トップ複合コーティング同等
※ＮＰ：内部木仕上（床除く）については、内部自然系木材保護塗料（オスモ・フロアクリア2回塗同等）とする。
※ＮＰ：フローリング塗装については、土足用ＵＣ（ＪＡＳＳ18M-301合格品）（オスモ・フロアクリア3回塗同等）とする。
※金属屋根Ａ：フッ素樹脂鋼板ｔ＝0.4（粘接着工法一文字葺260×1200）裏貼り特殊ブチルゴムシートｔ＝4.0
断熱材：両面炭酸カルシウム紙張変性ヌレートフォーム板ｔ＝30、野地板：高密度木毛木片セメント板ｔ＝20
下地材：専用プライマー（ブチルゴム系接着剤）の上、ポリオレフィン系補強層入り非加硫ブチルゴムシートｔ＝1.0
※トイレブース：小松ウォール 一体型シート巻アールエッジ型同等、アイカ メラフロントブース同等
※ビニル床タイルｔ＝3.0：東リ ルミナス同等 ※ビニル床シートｔ＝2.0：東リ マチュアNW同等 ※タイルカーペット：東りGA-100T同等
※ビニル床シートｔ＝2.0（消臭）：東リ 消臭トワレNW同等 ※内外装薄塗材Ｅ：アイカジョリパッドJP-00シリーズ同等
※水性モルタル調塗装：カラーワークス VALPAINT同等 ※レバーハンドル：ユニオン UL1076（抗ウイルスシリーズ）
※マグネット式壁紙：サンゲツK304・K404同等 ※ホワイトボードスクリーン：サンゲツK351-1/K351-2同等
※乾式断熱パネル(FP030RF-1352)：ガルバリウム鋼板t=0.5mm ポリイソシアヌレートフォーム

準耐火建築物 耐火リスト （法2条九の三、ロ−２）

	要求耐火性能	設計仕様		要求耐火性能	設計仕様
柱	不燃材	RC・鉄骨	屋根	不燃材	RC造・乾式断熱パネル(FP030RF-1352) 耐火(屋根30分)
梁	不燃材	RC・鉄骨	床	準耐火	RC造(t=150mm以上)(H12建告第1399号)
外壁	延焼のおそれのある部分にあっては防火構造				ALC(H12建告第1399号) RC(H12建告第1399号) PCa(H12建告第1399号)
庇	不燃材	RC・鉄骨・アルミ(H12建告第1365号)・硬質木毛セメント板（FP030RF-9082)耐火(屋根30分)			
階段	不燃材	RC・鉄骨			
柱	令70条 耐火被覆	SC1柱 BH-500*255*32*50 t=1.00（１時間耐火）FP060CN-9401 SC2柱 BH-500*255*36*55 t=1.00（１時間耐火）FP060CN-9401 SC3柱 BH-500*200*10*16 t=1.50（１時間耐火）FP060CN-9401			

防火区画の仕様

面積区画	LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 両面貼り（R01建告第195号） LGS下地GB-Ft=21+21（FP060NP-0007) 床:RC(t=180mm) （H12建告第1399号）
異種用途区画	LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 両面貼り （R01建告第195号） 床:RC(t=180mm) （H12建告第1399号）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 仕上表（１）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:- A3:-	A-101

内部仕上表 （1）

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
1階	救急洗浄消毒室・US (不)	C (-10)	防塵塗料	VB	RC(A)	保護塗料B			ケイカル板 t=5.0	塩ビ製	EP-G	2,700	SUSグレーチング
			一部塗膜防水										SUS作業台、SUS製シンク
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上								
					化粧ケイカル板t=6								
	空気充填室 ボンベ保管庫 (準)	C (-10)	防塵塗料	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	ボンベ収納棚、潜水用ボンベ棚
													救急用酸素ボンベ収納棚
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上								
					化粧ケイカル板t=6								
	整備修繕庫 (準)	C (-10)	防塵塗料	VB	RC(A)	保護塗料B			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	中庸ラック
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上								
					化粧ケイカル板t=6								
	資機材庫 （救助）・（消防）・（救急） (準)	C (-10)	防塵塗料	VB					GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	消防ホース収納棚、ホース運搬ラック
													ロープラック、アクアラングラック
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上								
					化粧ケイカル板t=6								
	男子トイレ(1) 女子トイレ(1) (準)	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									手摺
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										鏡(バックライト付き)450×75×1000
													ステンレス製紙巻き器
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	2,600	間接照明
					一部せっ器質タイル								
	男子トイレ(2) 女子トイレ(2) (準)	C (-10)	防塵塗料	VB									手摺
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										化粧鏡ｔ5、300×450
													ステンレス製紙巻き器
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5（GL）	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	男子トイレ(3) 女子トイレ(3) SK (不)	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									手摺・鏡
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										ステンレス製紙巻き器
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	倉庫(4) (準)	C (-30)	防塵塗料	VB									
		S		VB	GB-Sｔ＝12.5の上				GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	
					化粧ケイカル板t=6								
	消火ポンプ室 (準)	C (-30)	モルタル金鏝押えｔ＝３０	-					躯体あらわし			直天	
		S			GB-Rｔ＝12.5　素地								
					GB-Fｔ＝21.0+21.0　素地								
2階 （階避難安全検証法適用階）	消防課事務室 警防課事務室 居室：VOC24×各1	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上	VB					躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										壁面ホワイトボード、カウンター
													ローパーテーション
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								書架、カウンター、ピクチャーレール
													FL+2,700:天井下
													杉板t=12透し張り
	会議室（１）（２） (不) 居室：VOC24×各1	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上	VB	RC(A)	保護塗料B			躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										ホワイトボードスクリーン(会議室(2))
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								FL+2,700:天井下
													突板練付不燃板t=６透し張り
	署長室 (準) 居室：VOC24×1	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上	VB					躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										壁面ホワイトボード
													ピクチャーレール
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								FL+2,700:天井下
													突板練付不燃板t=６透し張り
	指令センター (不) 居室：VOC24×1	C (-200)	免震FAFH=200（防塵塗装）の上	VB									ホワイトボードスクリーン
			TCｔ＝7.8										
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス				GB-Rt=12.5+DRt=12.0	アルミ		3,000	
	災害情報事務室 (不) 居室：VOC24×1	C (-200)	免震FAFH=200（防塵塗装）の上	VB									ホワイトボードスクリーン
			TCｔ＝7.8										ピクチャーレール
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス				GB-Rt=12.5+DRt=12.0	アルミ		3,000	
	指令センター機械室 （サーバー室含む） (不)	C (-200)	免震FAFH=200（防塵塗装）の上	VB									壁面ホワイトボード
			TCｔ＝7.8										
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス				GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		3,000	
	仮眠室(1)～(3) (不)	C (-30)	ビニル床シートt=2.0	VB									ベッド・机・ロッカー
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス				GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,700	

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
2階 （階避難安全検証法適用階）	2階ホール 相談コーナー含む 居室：VOC24×1	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB					躯体あらわし(RC)	-		※4,050	ピクチャーレール
													天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G							FL+2,700:天井下
					GB-Fｔ＝21.0+21.0	EP−G							杉板t=12透し張り
	廊下（１） (準)	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B							
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	通路 (準)	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B			躯体あらわし(RC)	-		※4,050	ピクチャーレール
													天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G							FL+2,700:天井下
													突板練付不燃板t=６透し張り
	トイレ前通路（１）（２） (準)	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0										
		S		VB	GB-Rｔ=12.5+12.5	EP−G			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	2,600	
3階 （階避難安全検証法適用階）	大会議室 (準) VOC24×2	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上						躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										ホワイトボードスクリーン
													ピクチャーレール
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								FL+3,150:天井下
													突板練付不燃板t=６透し張り
	総務課事務室 (準)	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上						躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										壁面ホワイトボード
													ピクチャーレール
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								FL+2,700:天井下
													杉板t=12透し張り
	予防課事務室 (準)	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上						躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										壁面ホワイトボード
													ピクチャーレール
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								FL+2,700:天井下
													杉板t=12透し張り
	消防長室 (準)	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上						躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										壁面ホワイトボード
													FL+2,700:天井下
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								突板練付不燃板t=６透し張り
	会議室（１）（２） (準)	C (-100)	OAフロアH=100（防塵塗装）の上						躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
			TCｔ＝7.8										ホワイトボードスクリーン
													FL+2,700:天井下
		S			GB-Rｔ＝12.5+12.5クロス								突板練付不燃板t=６透し張り
	印刷室 (不)	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		3,000	
	総務用倉庫 (準)	C (-30)	ビニル床シートｔ＝2.0	VB									
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,800	
										-			
	廊下（１）（１）′ (準)	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B							
			一部　OAフロアH=100										
			（防塵塗装）の上　TCｔ＝7.8										
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC (T)ｔ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	3階ホール 相談コーナー含む (準) 居室：VOC24×1	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0	VB					躯体あらわし(RC)	-		※4,050	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄｔ=25
													壁面ホワイトボード
													ピクチャーレール
		S		VB	GB-Rｔ＝12.5+12.5	EP−G							FL+2,700:天井下
					GB-Fｔ＝21.0+21.0	EP−G							杉板t=12透し張り
	トイレ前通路（１）（２） (準)	C (-30)	ビニル床タイルｔ＝3.0										
		S		VB	GB-Rｔ=12.5+12.5	EP−G			GB-Pｔ＝9.5	アルミ	EP−G	2,500	

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 仕上表（２）	2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳　縮尺 A1:- A3:-	図面番号 A-102

内部仕上表 （1）

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
共通	男子トイレ 女子トイレ SK 準	C (-30)	ビニル床シート t＝2.0	VB									手摺・鏡（バックライト付き）
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										ステンレス製紙巻き器
													間接照明
		S		VB	GB-S t＝12.5+12.5	EP−G			GB-P t＝9.5	アルミ	EP−G	2,600	
					一部せっ器質タイル								
	多機能トイレ 準	C (-30)	ビニル床シート t＝2.0	VB									手摺・鏡（バックライト付き）
			（消臭・抗菌・防滑仕様）										ステンレス製紙巻き器
													多目的トイレには服掛けフックを設置
		S		VB	GB-S t＝12.5+12.5	EP−G			GB-P t＝9.5	アルミ	EP−G	2,600	
	休憩室(男・女) 不	C (-30)	ビニル床シート t＝2.0	VB	GB-R t＝12.5+12.5（GL）クロス				GB-NC（T）t＝9.5	塩ビ製		2,600	マグネット式壁紙
													ミニキッチン（換気扇照明標準品共）
													IH3口タイプ
		S		VB	GB-R t＝12.5+12.5クロス								
	倉庫（共通） 準	C (-30)	ビニル床シート t＝2.0	VB									
		S		VB	GB-R t＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）t＝9.5	塩ビ製		2,500 2,700	
	書庫（共通） 準	C (-30)	ビニル床シート t＝2.0	VB									
		S		VB	GB-R t＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）t＝9.5	塩ビ製		2,500	
	階段室（1） 準	C (-50)	樹無垢フローリング t＝15NP	RC(A) 保護塗料B	RC(A)	保護塗料B							ピクチャーレール(3階のみ)
													姿見 W300×H1,500
		S		VB	GB-R t＝12.5+12.5	薄塗材E			GB-R t=12.5+DR t=12.0	アルミ	EP−G	2,700	突板練付不燃板t=6透し張り(2階)
					GB-F t＝21.0+21.0	薄塗材E			躯体あらわし			2,700	天井内黒塗装(EP-G)、ｽﾗﾌﾞ下GWﾏｯﾄ t=25
													姿見 W300×H1,500
	階段室（2） 準	C (-30)	ビニル床タイル t＝3.0	VB	RC(A)	保護塗料B							
		S		VB	GB-R t＝12.5+12.5	EP−G			GB-NC（T）t＝9.5	塩ビ製		2,700	
	PS・EPS 準	C (-30)	モルタル金鏝押え t＝３０	−					躯体あらわし			直天	
		S			GB-R t＝12.5 素地								
					GB-F t＝21.0+21.0 素地								
	EVシャフト	C -1250	ウレタン塗膜防水（X-2）	−	躯体あらわし				躯体あらわし			直天	
		S											

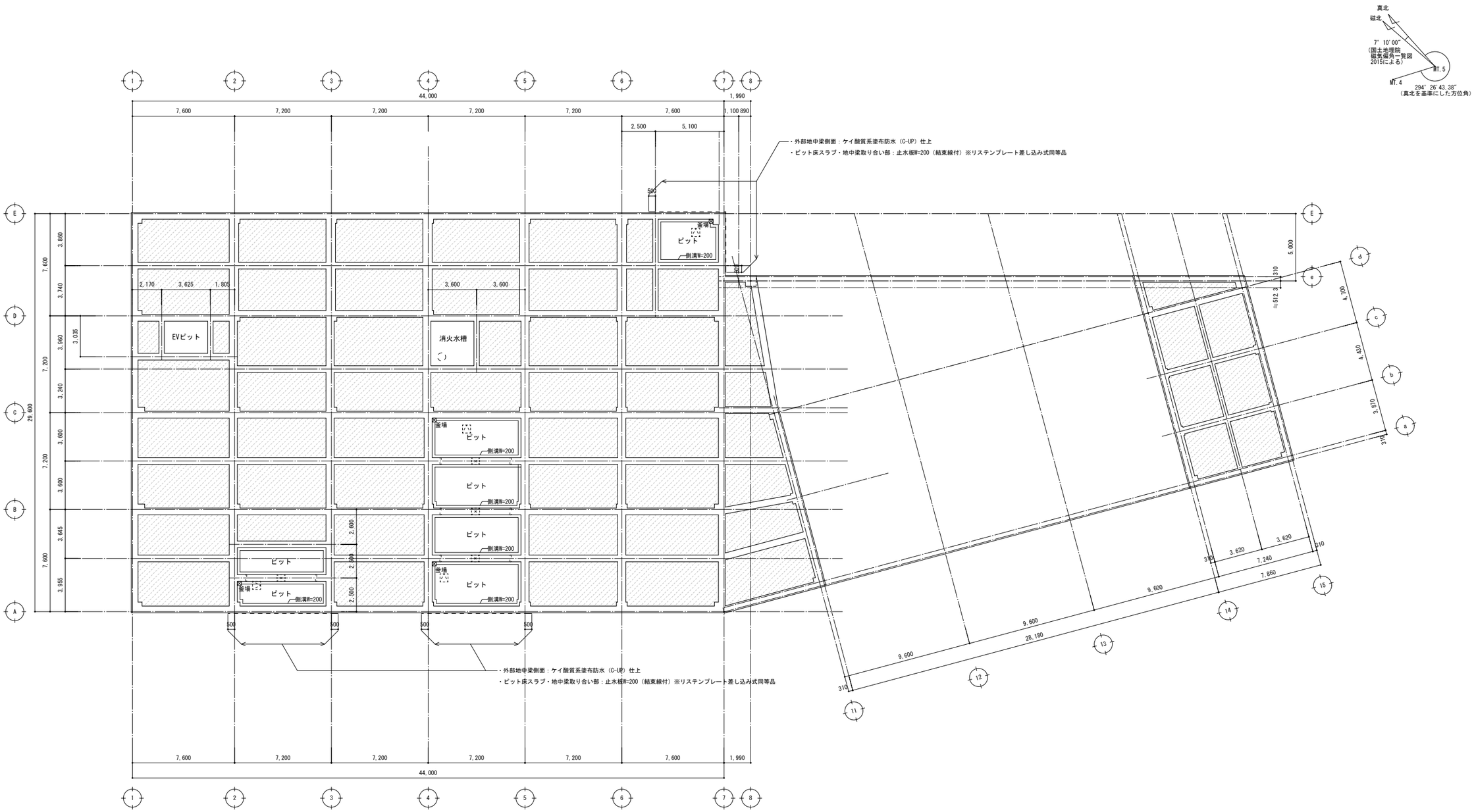
内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 仕上表（３）	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:− A3:−	A-103



ピット平面図

・ピット・消火水槽床スラブ天＝1FL-1,650
・ピットFL＝1FL-1,600
・EVピット床スラブ天＝1FL-1,250

凡　例	仕　様
	RC躯体
	埋戻し範囲（良質土）
釜場	300×300×H300
	人通口位置を示す ※高さ方向の位置や仕様については、構造図による
	水抜きパイプΦ100（半割）位置を示す
	上部点検口及びタラップ位置を示す
	上部マンホール位置を示す

代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原　嘉成		小田　文武		安川　雅巳	
一級建築士　第247426号		一級建築士　第318795号		一級建築士　第322365号	

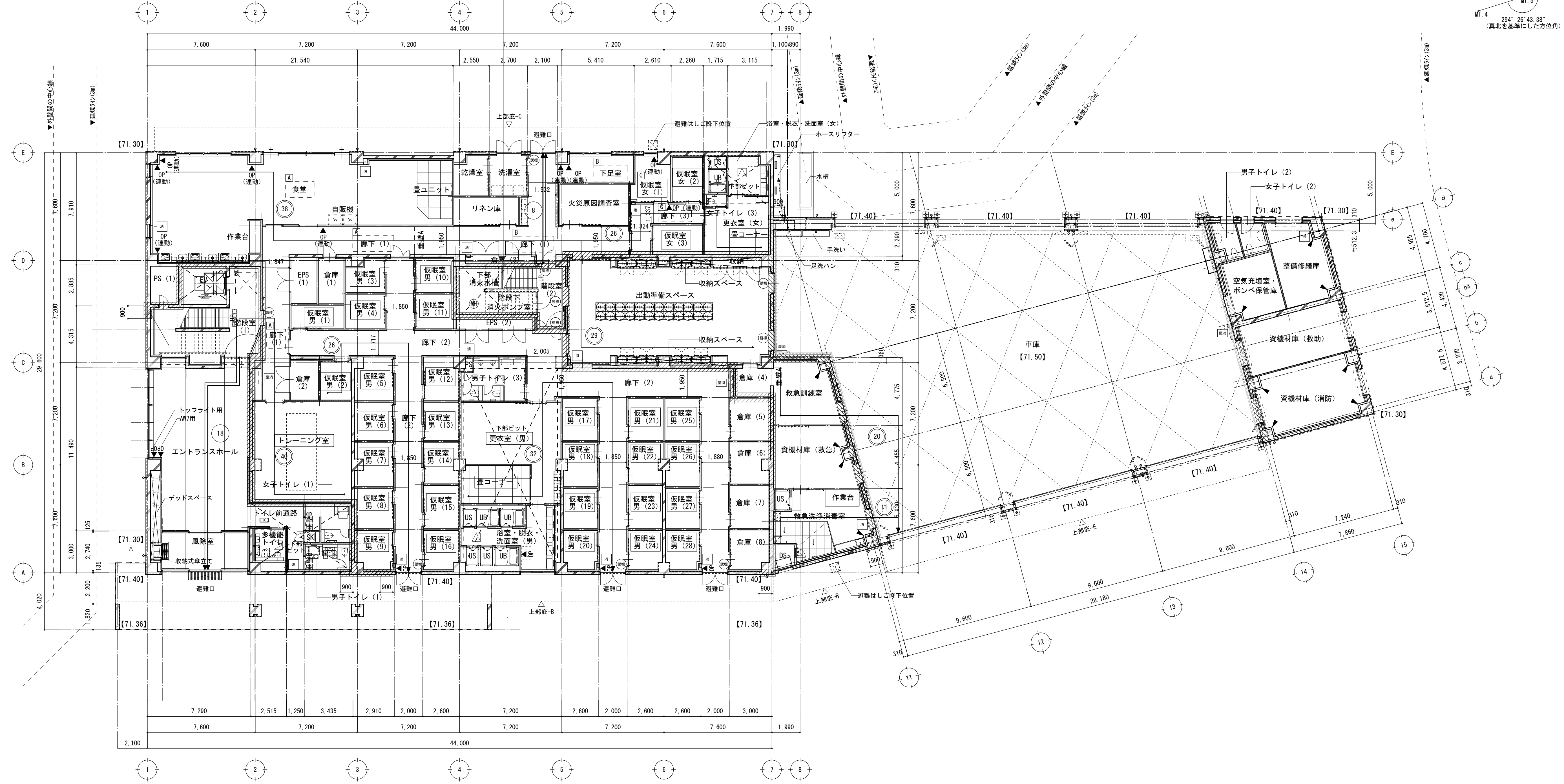
工事名			図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　ピット平面図			2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名		縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳		A1:1/150 A3:1/300	A-104

階段（2）	（RC）1F～2F
階段幅	1575※
踊場幅	1450※
蹴上	173.08
踏面	300

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする

階段（1）	（RC）1F～2F
階段幅	1465※
踊場幅	1450※
蹴上	173.08
踏面	300

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする



1階平面図

1FL=71.40
※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	【71.**】	特記以外の床レベルを示す		面積区画範囲を示す	室名 室名	二室一室の部屋を示す 凡例左上の英字が二室一室になる室を示す	→	避難方向（経路）を示す
	LGS壁　特記なき限り65型		床下点検口　600角（防臭・防滴型）		異種用途区画範囲を示す				避難距離を示す　例：18　階段から屋外出口への歩行距離　≦50m
	LGS壁（グラスウール充填）	MH	鋳鉄製マンホールΦ600（防臭・防滴）		コーナーガード	垂壁A	ガラス仕様（線入り透明ガラスｔ＝6.8）H=500		避難距離を示す　例：26　居室から屋外出口への歩行距離　≦100m
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		ガードポスト（基礎共）	垂壁B	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=500	避難口	内部からの解錠方法はサムターンとする 自動扉についてはパニックオープン機構付とする
▲ OP （連動）	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする	デッドスペース	床の用途として利用しない		
		誘導	誘導標識：建築工事						

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階平面図	2023/03

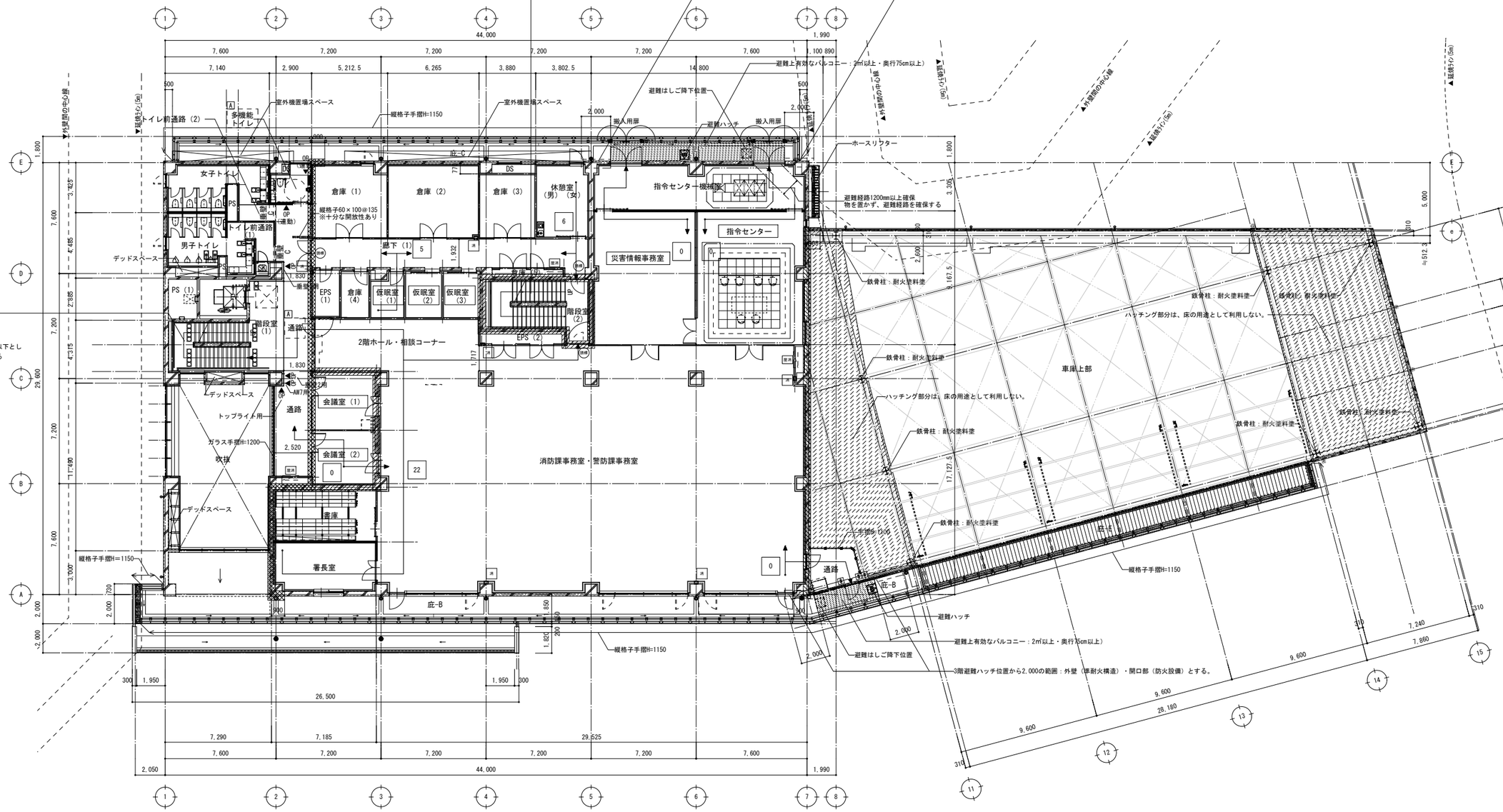
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-105

階段（2）	(RC)2F～3F
階段幅	1575※
踊場幅	1450※
蹴上	170
踏面	300

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする

階段（1）	(RC)2F～3F
階段幅	1465※
踊場幅	1450※
蹴上	170
踏面	300

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする



2階平面図

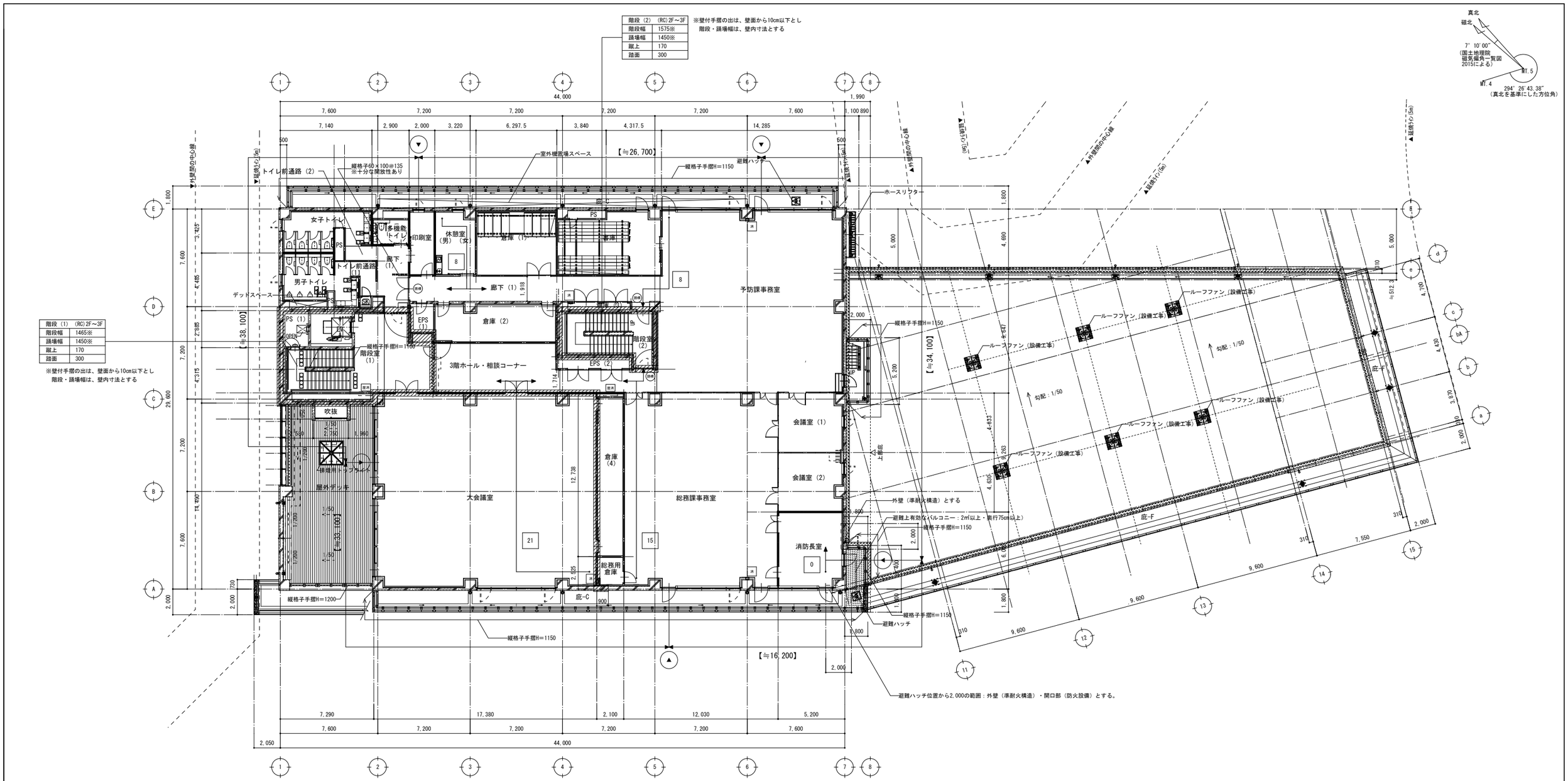
（区画避難対象）

特記事項
※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁		床下点検口　600角（防臭・防滴型）		面積区画範囲を示す	室名 室名	二室一室の部屋を示す 凡例左上の英字が二室一室になる室を示す		
	LGS壁　特記なき限り65型	MH	鋳鉄製マンホールΦ600（防臭・防滴）		異種用途区画範囲を示す				
	LGS壁（グラスウール充填）	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		避難安全検証法上の区画範囲を示す ※壁：準耐火構造 ※開口部：防火設備（令112条19項二号）	垂壁C	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=600		
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事			デッドスペース	床の用途として利用しない		
▲ OP (連動)	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	誘導	誘導標識：建築工事	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする		避難方向を示す		
						*	重複距離を示す　≦25m		

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面図			2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-106



3階平面図

（階避難安全検証法対象）

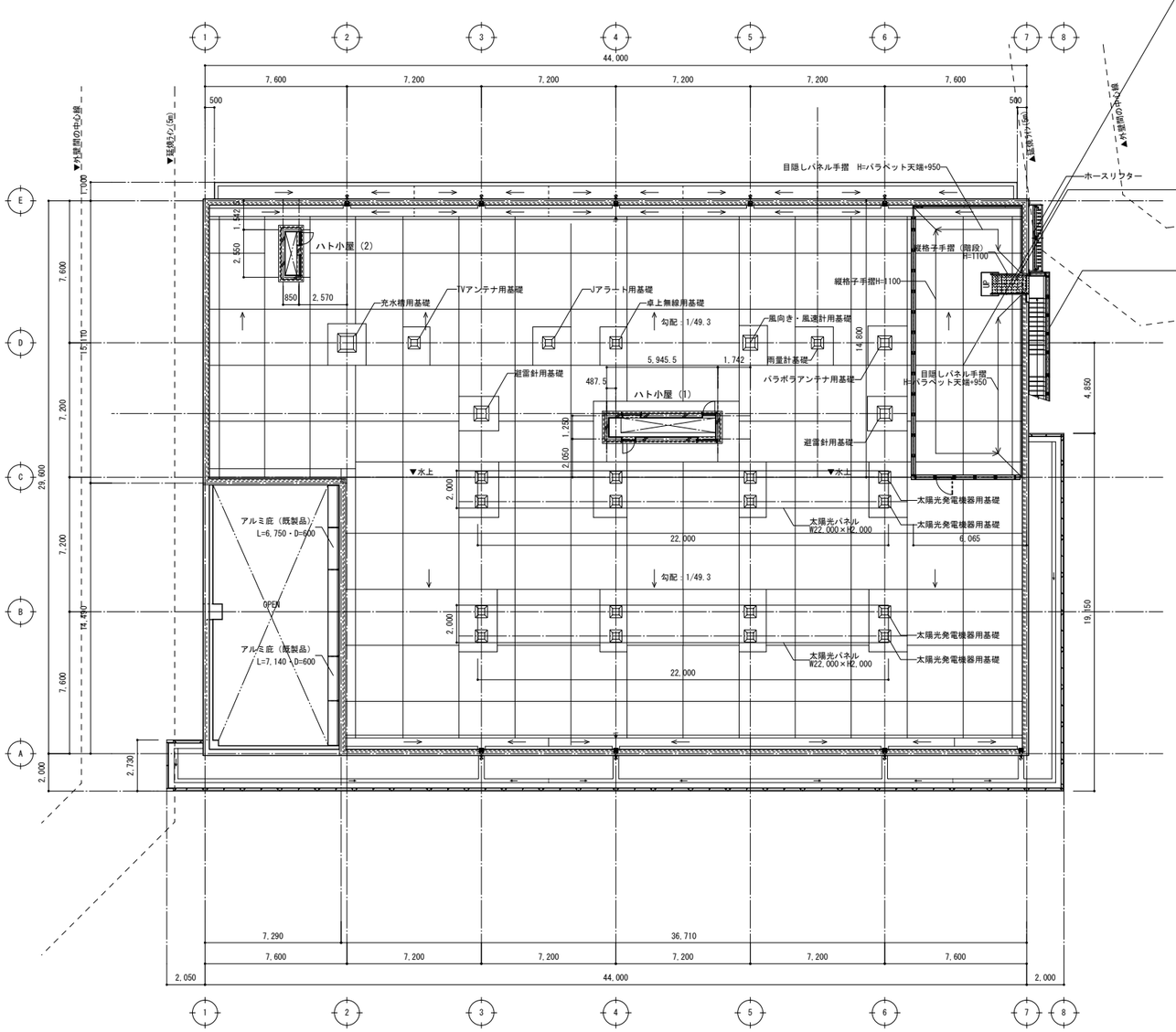
特記事項
※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す				
	LGS壁　特記なき限り65型	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事						
	LGS壁（グラスウール充填）	誘標	誘導標識：建築工事						
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	デッドスペース	床の用途として利用しない						
▲	非常用進入口位置を示す		避難方向を示す						
		*	重複距離を示す　≦25m						

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階平面図	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-107

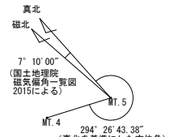


外部階段（S）	
階段幅	950
踊場幅	1210
蹴上	185
踏面	250

特記事項
・縦格子手摺：H=1100

屋外階段（RC）3F～RF	
階段幅	900
踊場幅	1200
蹴上	185.7
踏面	250

特記事項
・縦格子手摺：H=1200（※）
※足元RC立上りH=100含む



高さ不算入

名　称	計算式(m)	面積(㎡)
ハト小屋（1）	5.9455 × 1.250	7.432
ハト小屋（2）	0.850 × 2.550	2.168
太陽光パネル	22.000 × 2.000 × 2.0	88.000
充水槽用基礎	1.000 × 1.000	1.000
屋外階段	2.560 × 1.280	3.277
	1.110 × 1.420	1.576
目隠しパネル	0.440 × 9.664	4.252
	合計	107.705

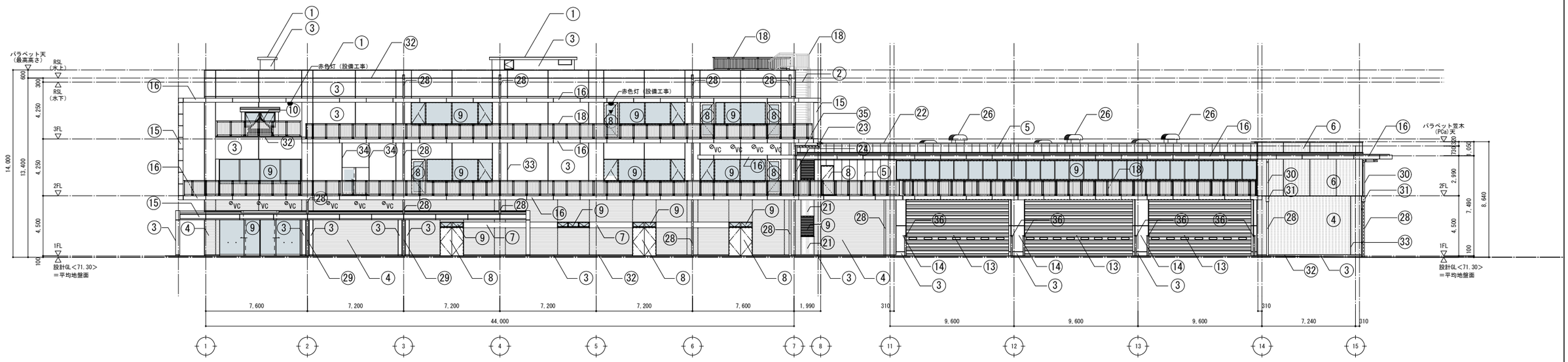
107.71 ≦ 291.80 ＝ 建築面積（2,334.43）× 1/8

屋根平面図

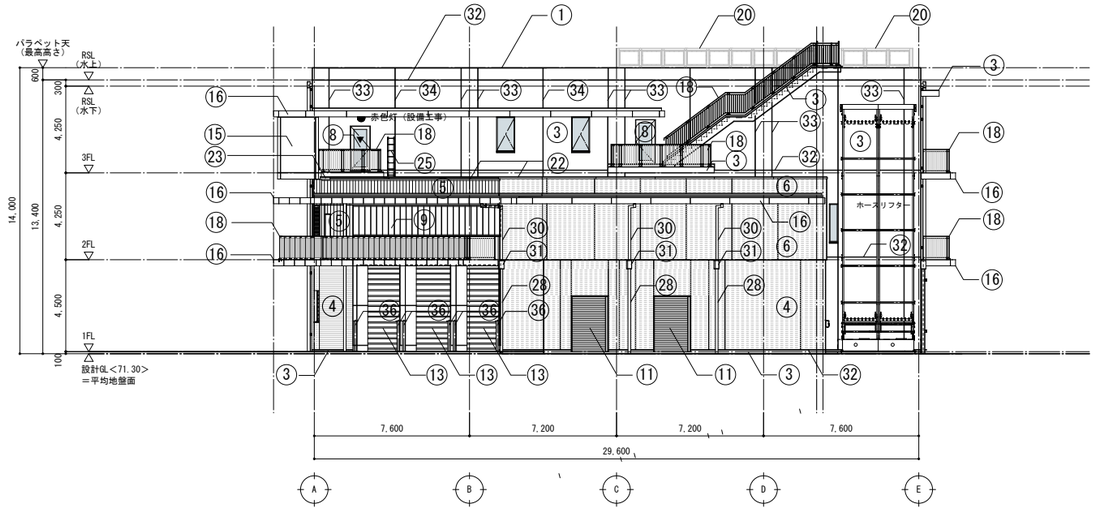
特記事項
※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 屋根平面図		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-108



南面　立面図



東面　立面図

防水型壁（鉛直）構造スリットW＝30※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品

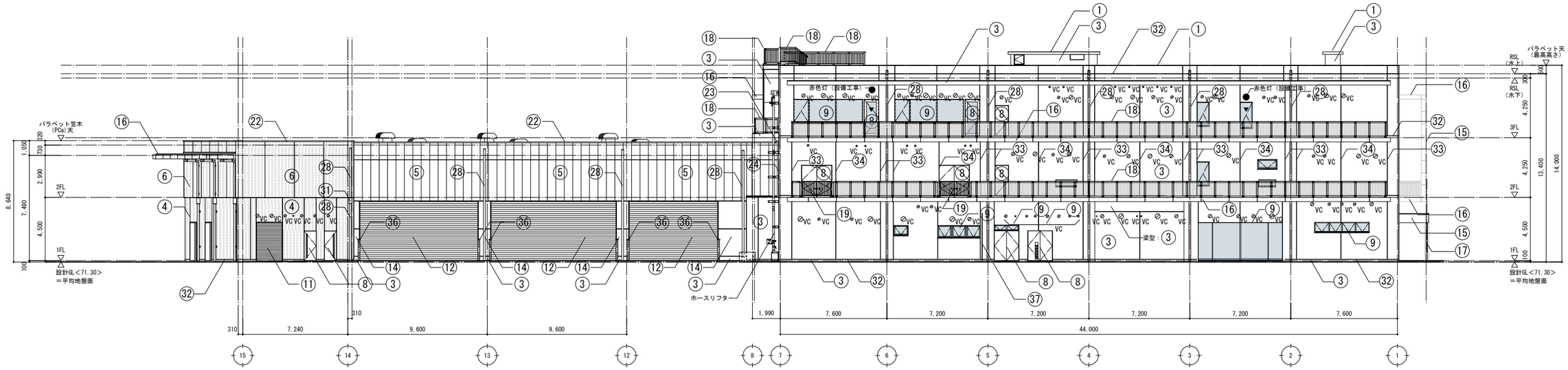
特記事項
・ひび割れ誘発目地は、柱型の両側及び建具の上下に入れる。
　柱際近くに建具がある場合は、建具の上下に入れ、反対側の目地はそれの対称位置とする。
・化粧目目は、スパンの中央または、誘発目地間中央に入れる。
※誘発目地及び化粧目地位置については、施工図に反映し監督員と協議の上、確定すること。

記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト
①	パラペット天端・ハト小屋（屋根面・屋根側面）： コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑨	アルミサッシ：カラー（黒）	⑰	支柱：St　Φ101.6　t＝3.2　Zn処理の上、リン酸処理	㉕	ステンレスタラップ（既製品）	㉝	ひび割れ誘発目地（標：2-02-9）
②	瓦止・踏面・溝部：モルタル金コテ押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑩	アルミトップライト（排煙用）：カラー（黒）	⑱	縦格子手摺：St　Zn処理の上、リン酸処理　※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております	㉖	ルーフファン（設備工事）	㉞	化粧目地（標：2-02-10）
③	外壁　A・足元巾木（立上り共）：RC(A)　保護塗料　A	⑪	シャッター：カラー鋼板 t＝0.8 三方枠：SUS304（HL）t＝2.0	⑲	両開き扉（搬入出用）St　：Zn処理の上、リン酸処理	㉗	オーバーフロー管（SUS製・既製品）Φ125用	㉟	アルミ製EXPJ(外壁―外壁）W＝50　※耐火帯付（既製品）
④	外壁　B：RC（A・P）　保護塗料　C	⑫	シャッター：スチール t＝1.6　DP（3部艶・指定色） 三方枠：SUS304 t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	⑳	目隠しパネル手摺：St　Zn処理の上、リン酸処理	㉘	縦樋：アルミバンドレス　φ140（高強度支持金具）	㊱	ガードポスト（基礎共）
⑤	外壁　C：ALC t＝100（縦張り）の上、防水型複層塗材E	⑬	スライディングオーバードア：アルミフッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色） 三方枠：SUS304　t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	㉑	外壁　B：RC（A・P）　保護塗料　C　表面リブ加工	㉙	縦樋：アルミバンドレス　□100（凹部取付金具）	㊲	防水型　構造垂直スリットW＝25　※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品
⑥	外壁　D：PCa（P）　保護塗料C	⑭	化粧パネル：SUS304　t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	㉒	アルミ製笠木（既製品）	㉚	縦樋：アルミバンドレス　φ100（高強度支持金具）	⌀VC	ベンドキャップ（設備工事）・スリーブ開口（建築工事）※サイズは設備図面による
⑦	外壁及びバルコニー鼻先：RC(A)　DP塗色（N-30）	⑮	化粧パネル　スチール t＝3.2　曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色） ※一部（朱色）　範囲は、部分詳細図による	㉓	アルミ製EXPJ(屋根コーナー）W＝50　※耐火帯付（既製品）	㉛	アルミ飾り桝Φ140用　※縦樋間EXPJ用	▼	非常進入口位置を示す（専用表示シール張り）
⑧	鋼製建具：フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	⑯	鼻先PL　スチール t＝3.2　曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）	㉔	アルミ製EXPJ(外壁コーナー）W＝50　※耐火帯付（既製品）	㉜	打継ぎ目地（標：2-02-8）		

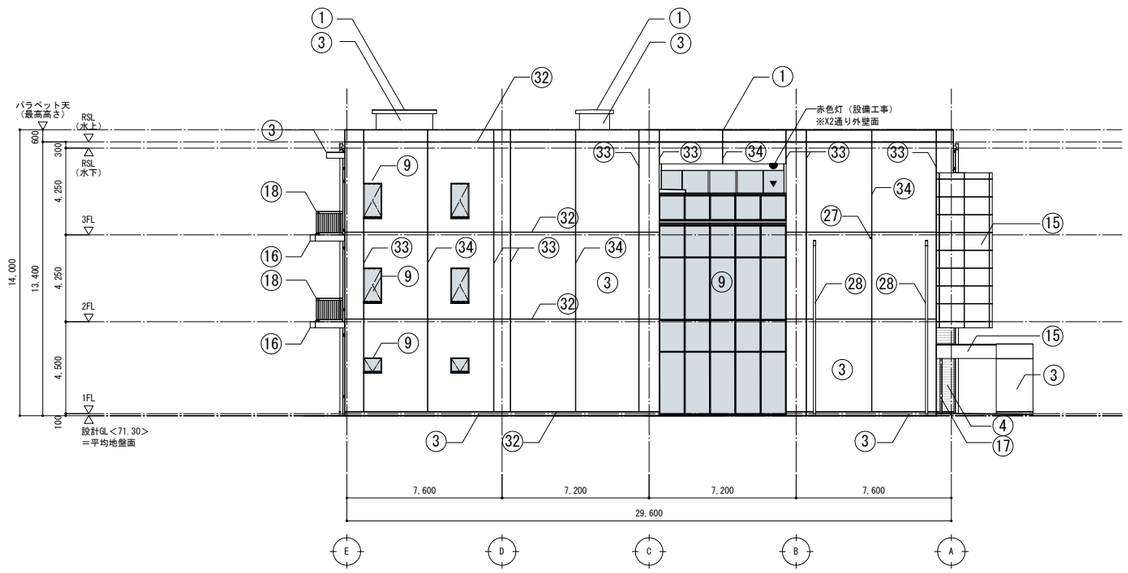
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　立面図（1）	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-109



北面　立面図



西面　立面図

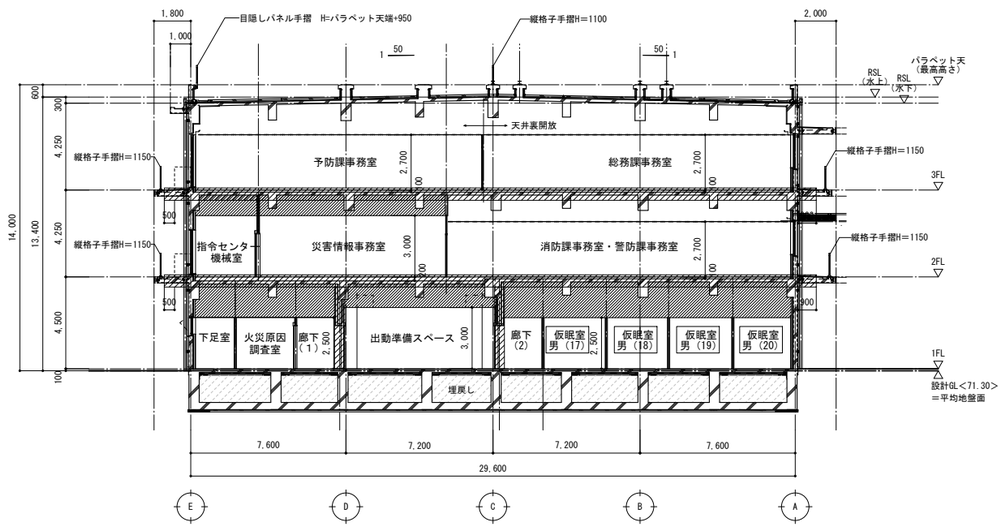
特記事項
・ひび割れ誘発目地は、柱型の両側及び建具の上下に入れる。
　柱際近くに建具がある場合は、建具の上下に入れ、反対側の目地はそれの対称位置とする。
・化粧目地は、スパンの中央または、誘発目地間中央に入れる。
※誘発目地及び化粧目地位置については、施工図に反映し監督員と協議の上、確定すること。

記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト
①	パラペット天端・ハト小屋（屋根面・屋根側面）： コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑨	アルミサッシ：カラー（黒）	⑰	支柱：St　Φ101.6　t＝3.2　Zn処理の上、リン酸処理	㉕	ステンレスタラップ（既製品）	㉝	ひび割れ誘発目地（標：2-02-9）
②	嶽上・踏面・溝部：モルタル金コテ押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑩	アルミトップライト（排煙用）：カラー（黒）	⑱	縦格子手摺：St　Zn処理の上、リン酸処理　※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております	㉖	ルーフファン（設備工事）	㉞	化粧目地（標：2-02-10）
③	外壁　A・足元巾木（立上り共）：RC(A)　保護塗料　A	⑪	シャッター：カラー鋼板 t＝0.8 三方枠：SUS304（HL）t＝2.0	⑲	両開き扉（搬入出用）：St　Zn処理の上、リン酸処理	㉗	オーバーフロー管（SUS製・既製品）Φ125用	㉟	アルミ製EXPJ(外壁―外壁）W＝50　※耐火帯付（既製品）
④	外壁　B：RC（A・P）　保護塗料　C	⑫	シャッター：スチール t＝1.6　DP（3部艶・指定色） 三方枠：SUS304 t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	⑳	目隠しパネル手摺：St　Zn処理の上、リン酸処理	㉘	縦樋：アルミバンドレス　φ140（高強度支持金具）	㊱	ガードポスト（基礎共）
⑤	外壁　C：ALC t＝100（縦張り）の上、防水型複層塗材 E	⑬	スライディングオーバードア：アルミフッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色） 三方枠：SUS304　t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	㉑	外壁　B：RC（A・P）　保護塗料　C　表面リブ加工	㉙	縦樋：アルミバンドレス　□100（凹部取付金具）	㊲	防水型　構造垂直スリットW＝25　※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品
⑥	外壁　D：PCa（P）　保護塗料C	⑭	化粧パネル：SUS304　t＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	㉒	アルミ製笠木（既製品）	㉚	縦樋：アルミバンドレス　φ100（高強度支持金具）	⌀VC	ベンドキャップ（設備工事）・スリーブ開口（建築工事）※サイズは設備図面による
⑦	外壁及びバルコニー鼻先：RC(A)　DP塗色（N-30）	⑮	化粧パネル　St　t＝3.2　曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色） ※一部（朱色）　範囲は、部分詳細図による	㉓	アルミ製EXPJ(屋根コーナー）W＝50　※耐火帯付（既製品）	㉛	アルミ飾り桝Φ140用　※縦樋間EXPJ用	▼	非常進入口位置を示す（専用表示シール張り）
⑧	鋼製建具：フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	⑯	鼻先PL　St　t＝3.2　曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）	㉔	アルミ製EXPJ(外壁コーナー）W＝50　※耐火帯付（既製品）	㉜	打継ぎ目地（標：2-02-8）		

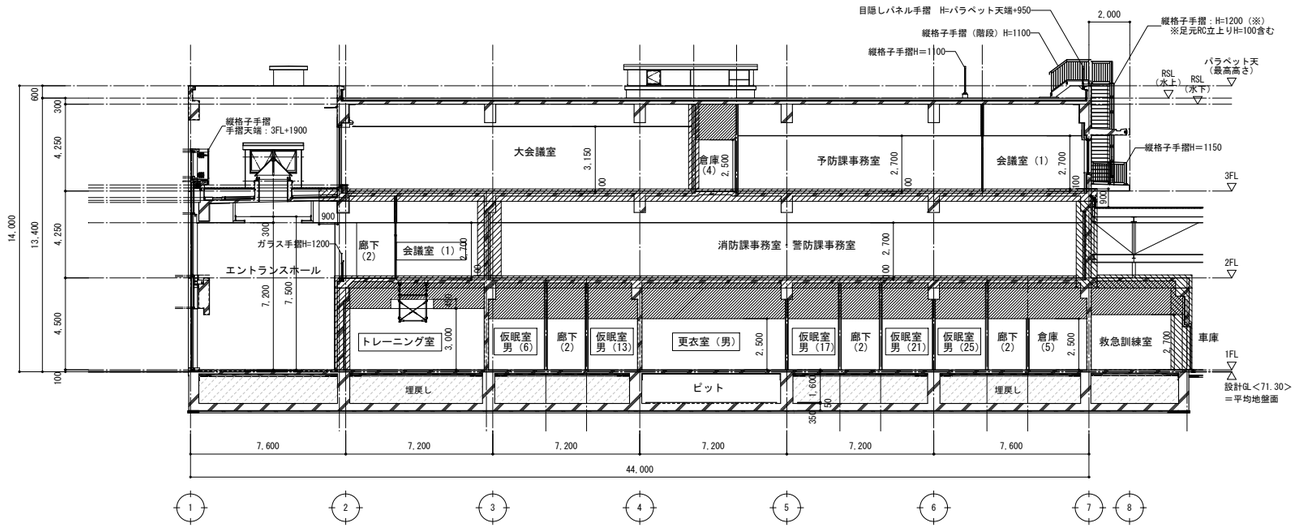
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　立面図（2）	2023/03

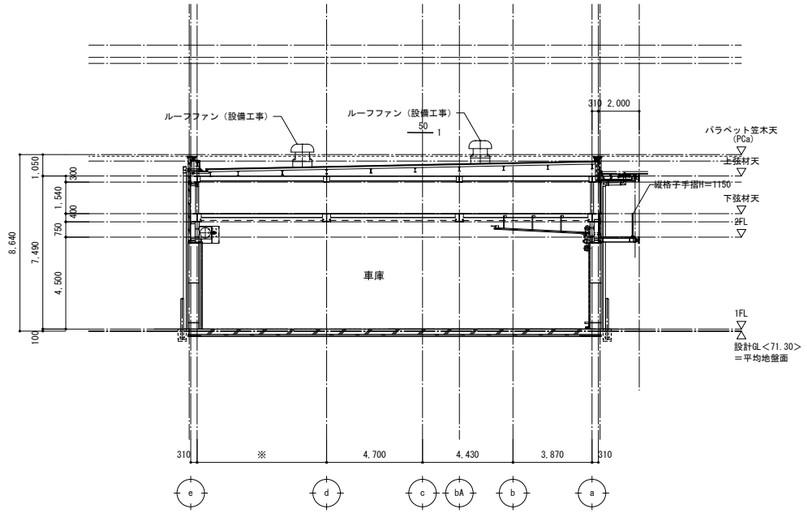
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-110



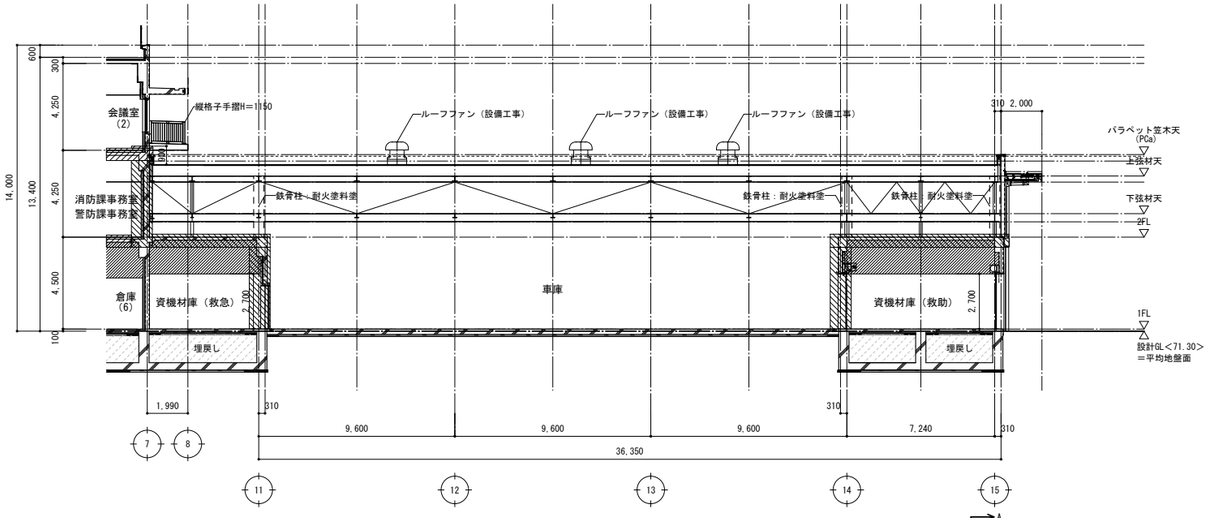
A-A 断面図



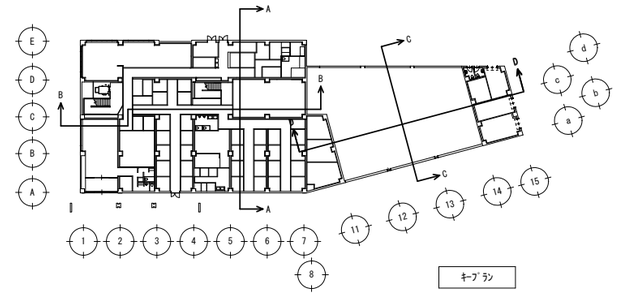
B-B 断面図



C-C 断面図



D-D 断面図

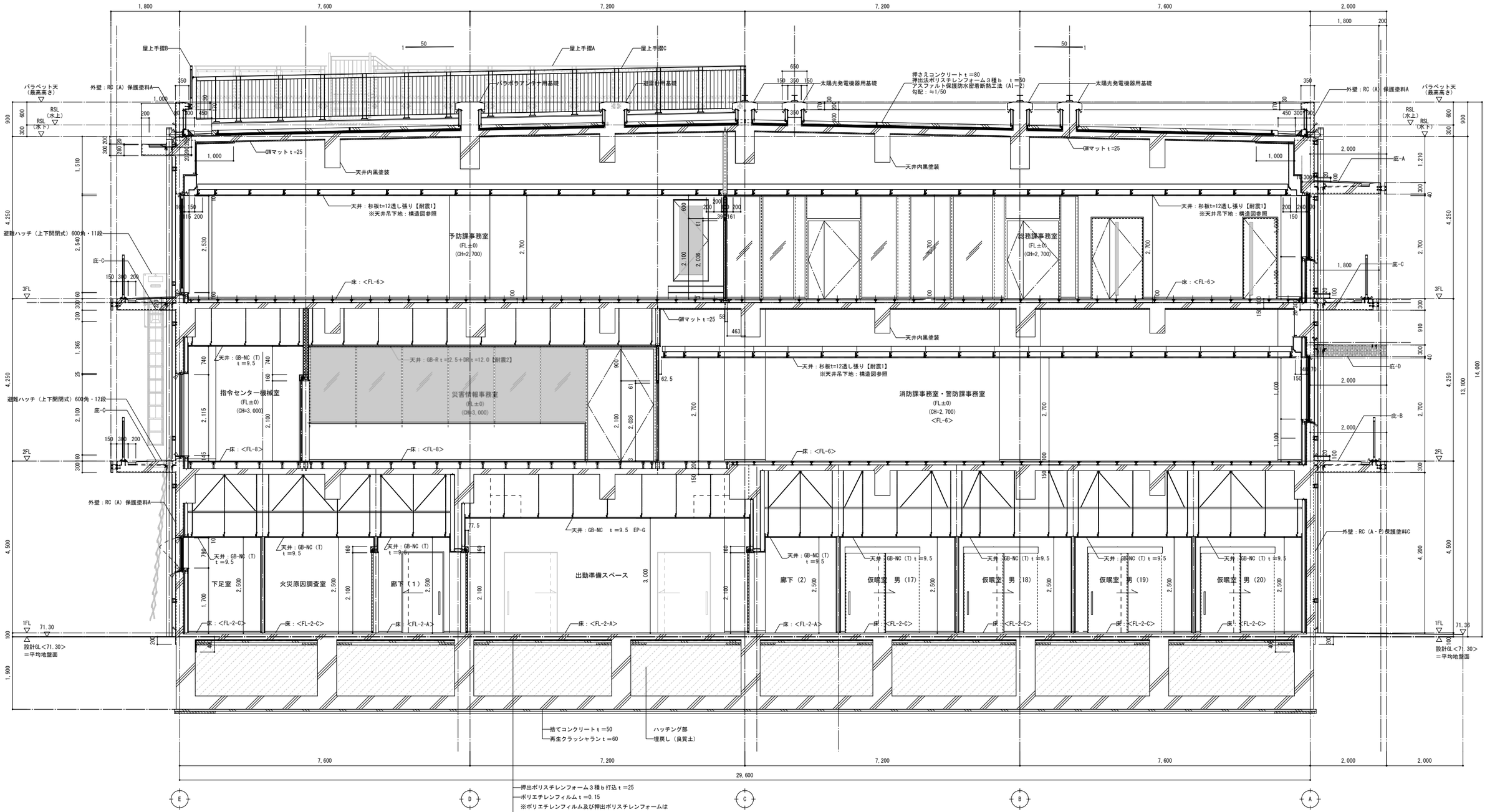


キープラン

凡 例	仕 様
	面積区画範囲を示す
	異種用途区画範囲を示す
部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、 ※四角囲いのない部屋は告示249号とする

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 断面図	2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/150 A3:1/300 / 図面番号：A-111

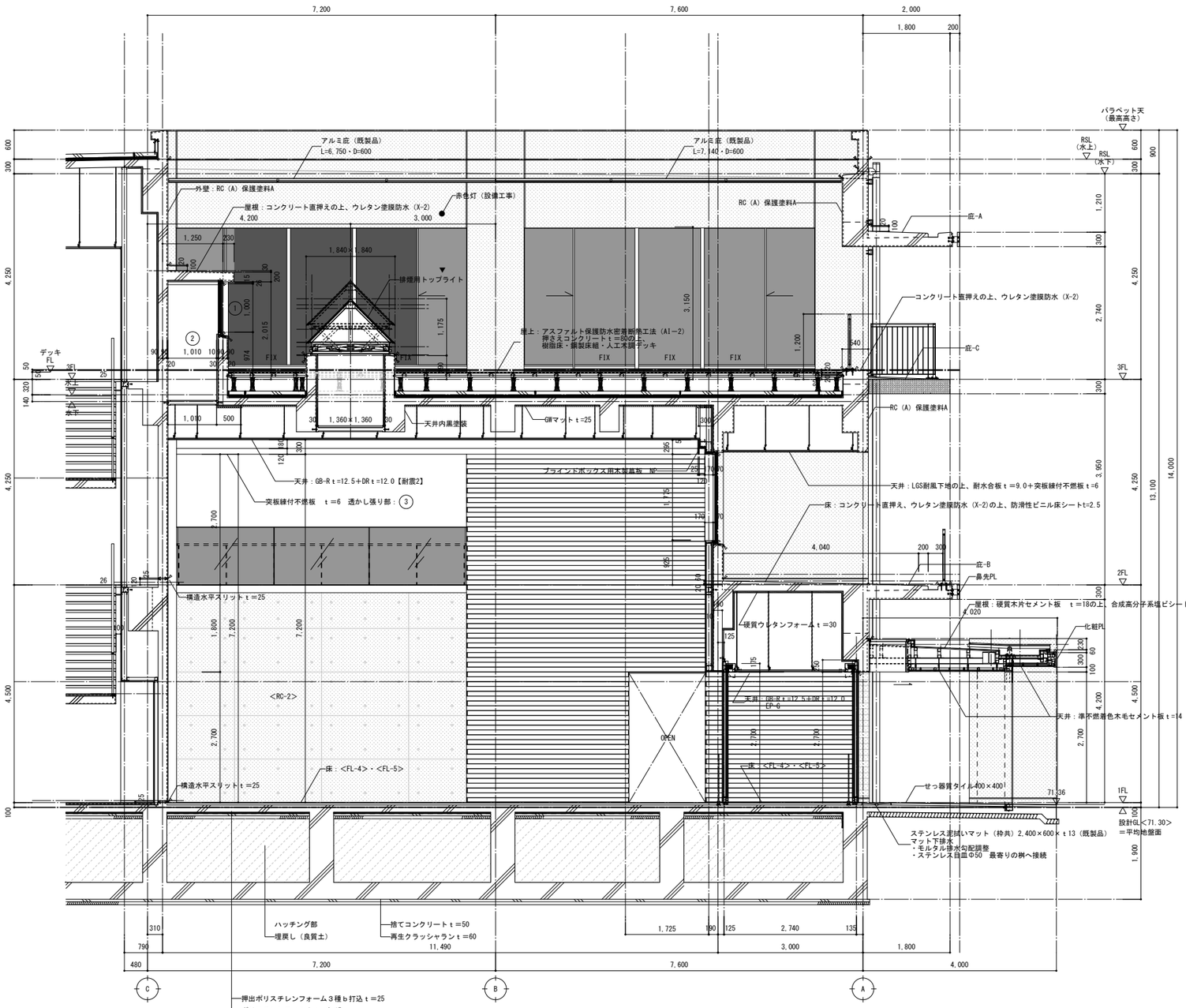


A-A　断面詳細図

1FL=71.40

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 矩計図（1）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEXJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-112

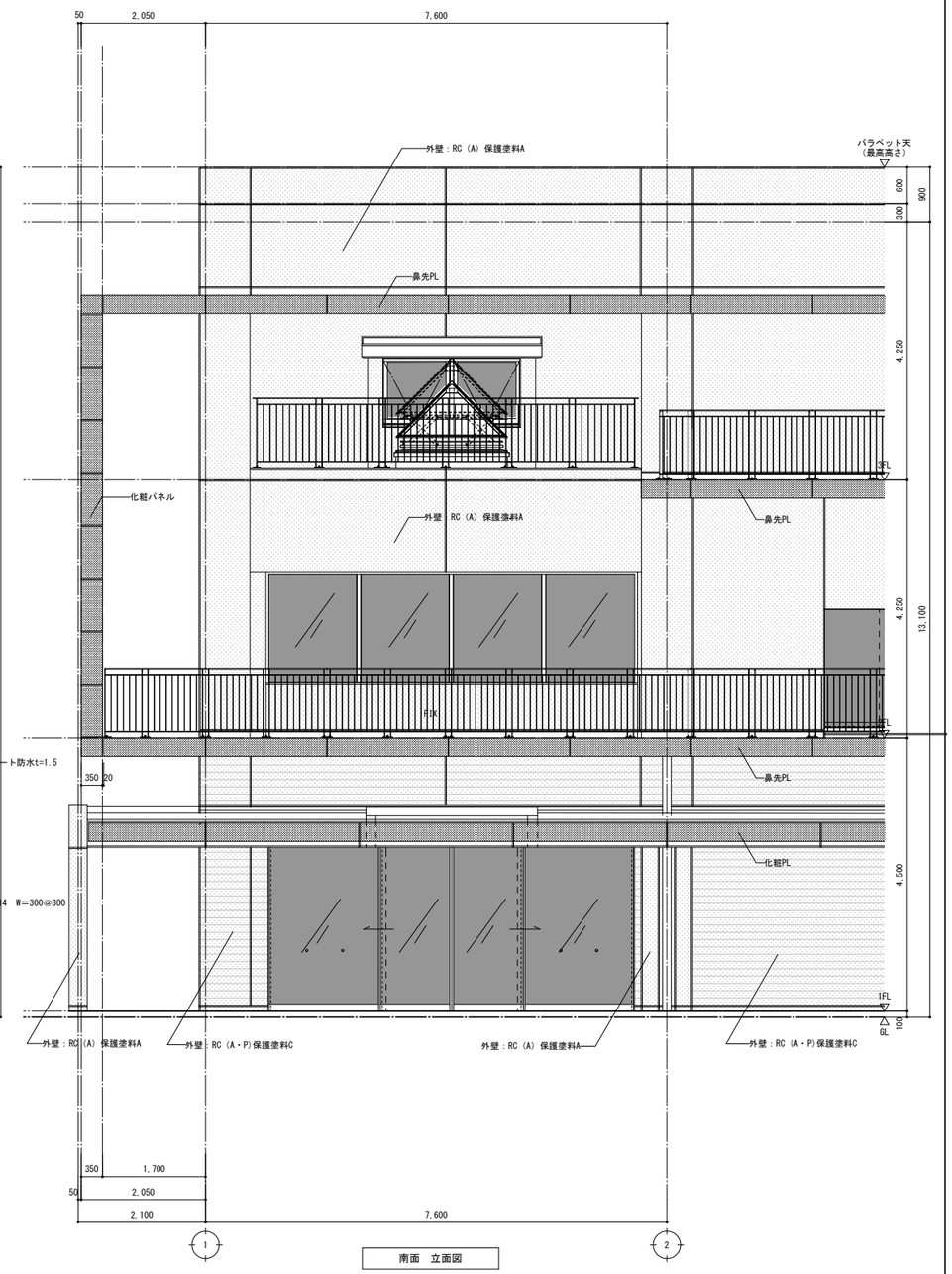


B-B　断面詳細図

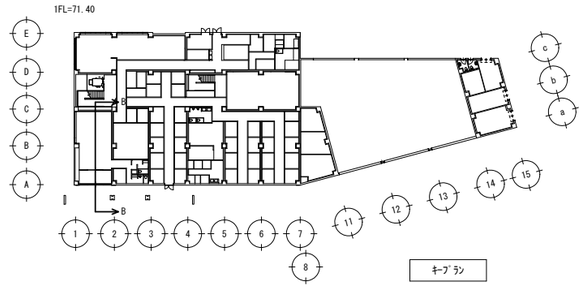
1FL=71.40

排煙有効面積（単位：m）
① 1.025×0.974
≒0.998㎡
② 2.29×1.01
≒2.312㎡
③ 1.68÷2（ルーバー開口50%）
≒0.840㎡
※③の排煙有効開口は、天井伏図を参照する

上記より、③の0.840㎡を排煙有効面積とする



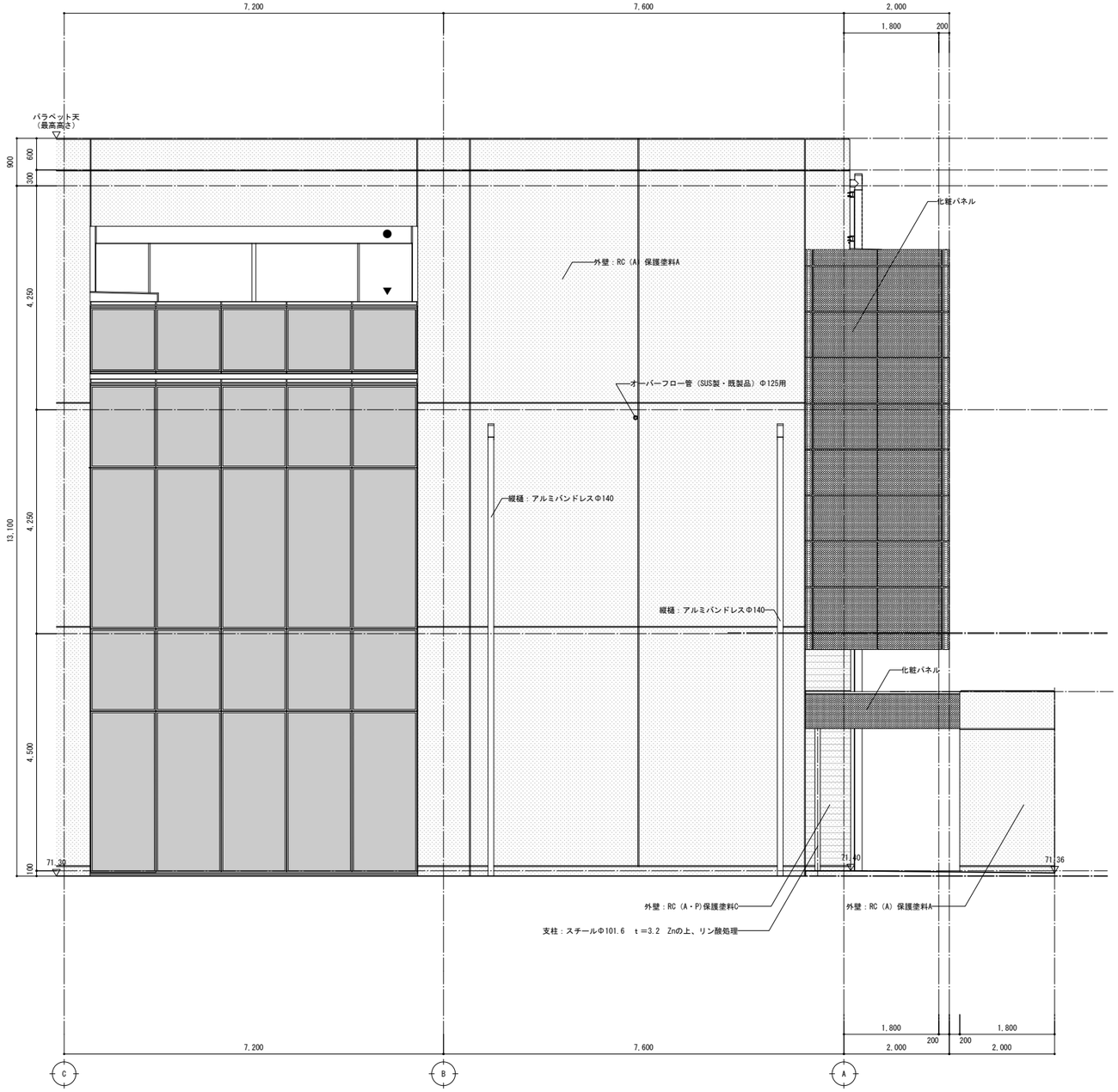
南面　立面図



キープラン

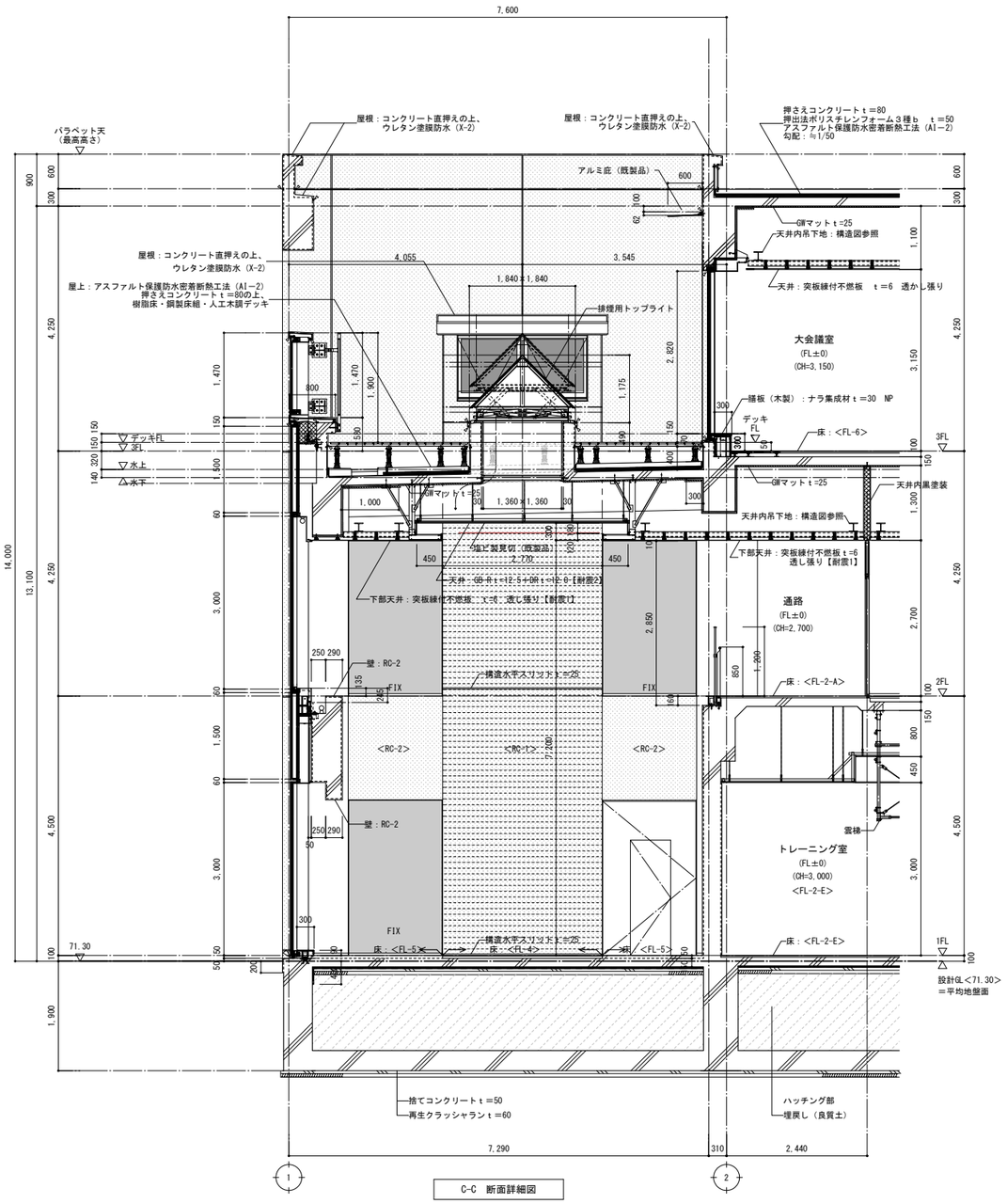
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　矩計図（2）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-113



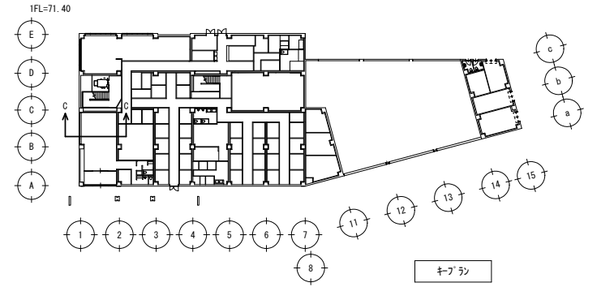
西面　立面図

1FL=71.40



C-C　断面詳細図

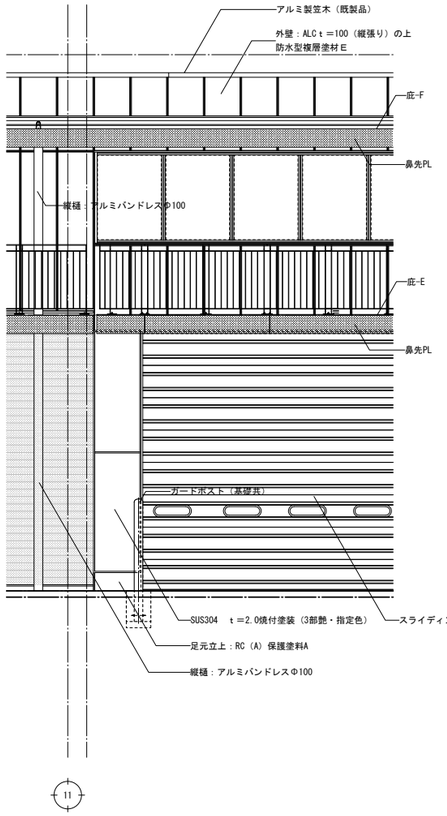
1FL=71.40



キープラン

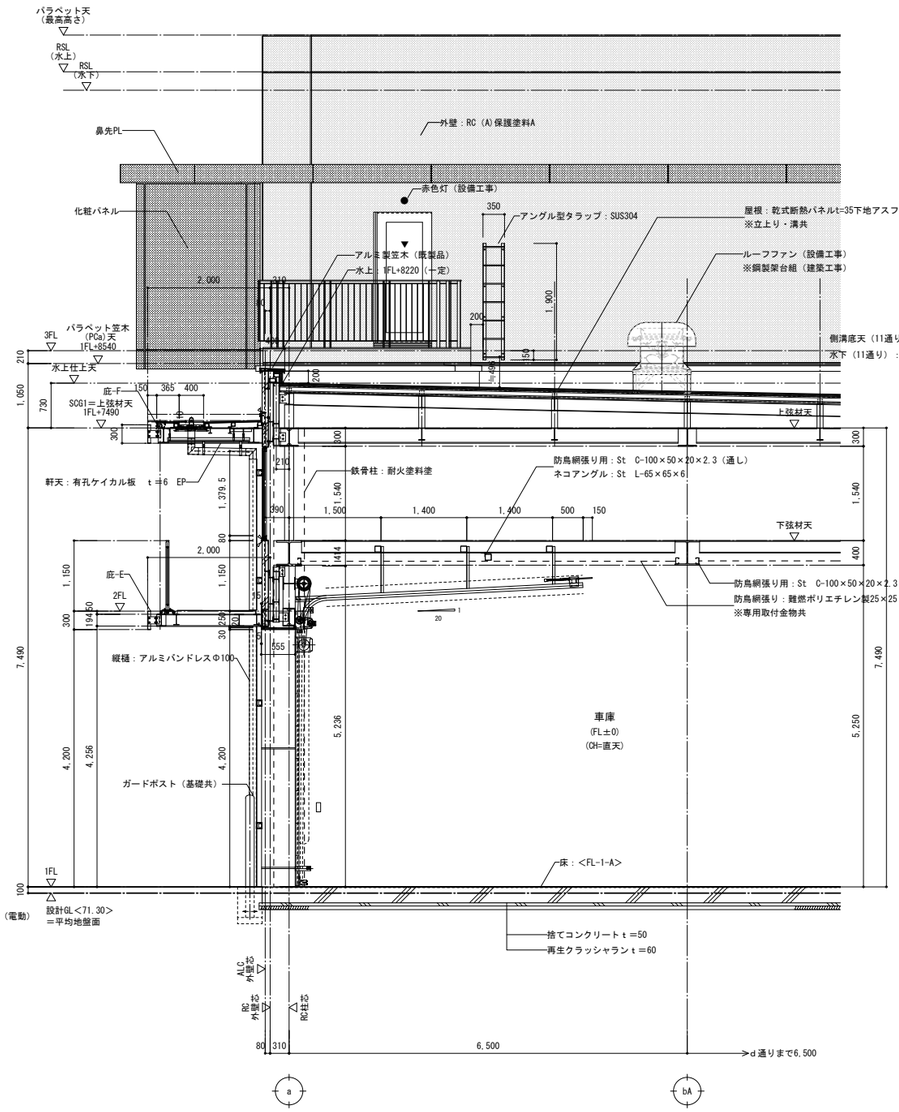
代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原　嘉成		小田　文武		安川　雅巳	
一級建築士 第247426号		一級建築士 第318795号		一級建築士 第322365号	

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 矩計図（3）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-114



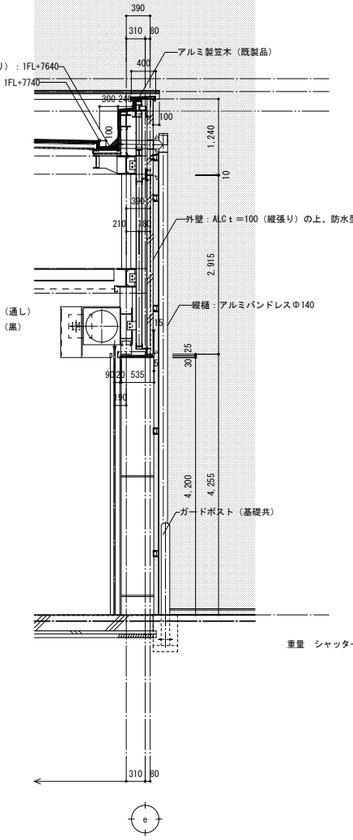
南面　立面図

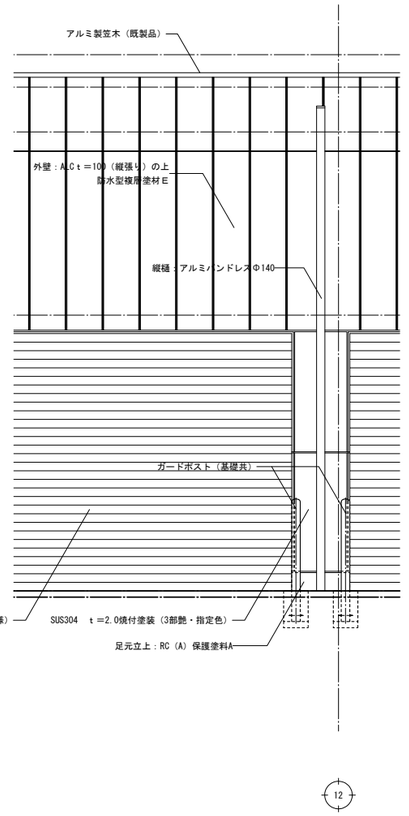
1FL=71.40



A-A　断面詳細図

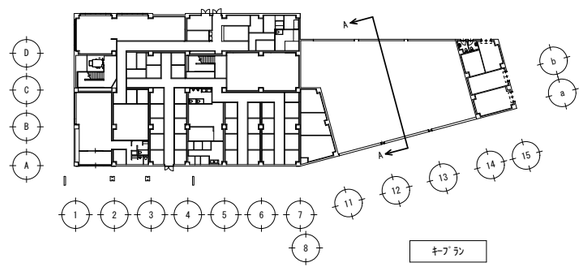
1FL=71.40





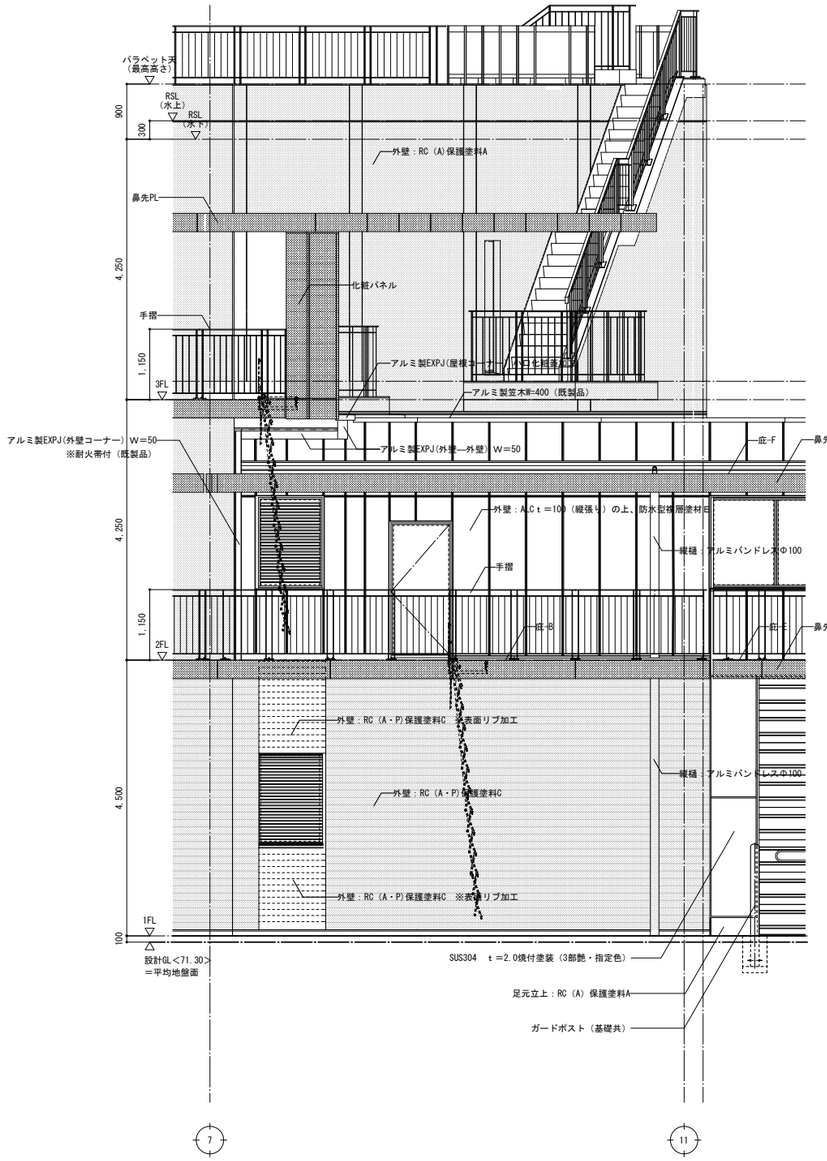
北面　立面図

1FL=71.40



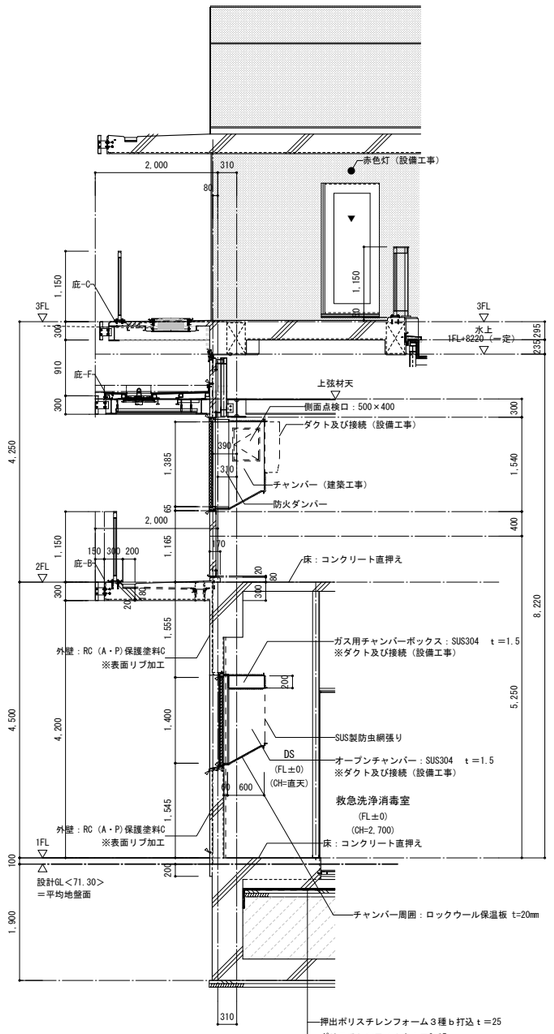
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　矩計図（4）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-115



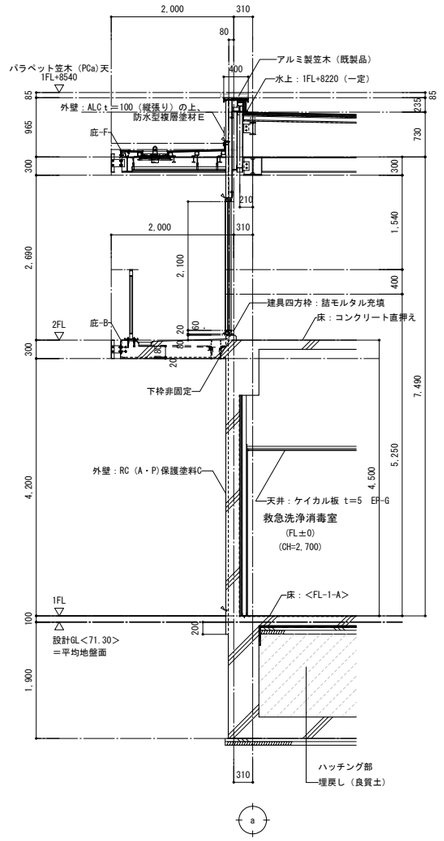
南面 立面図

1FL=71.40



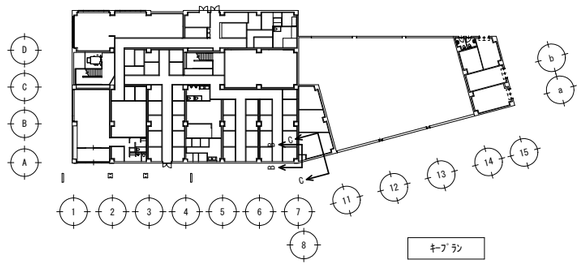
B-B 断面詳細図

1FL=71.40



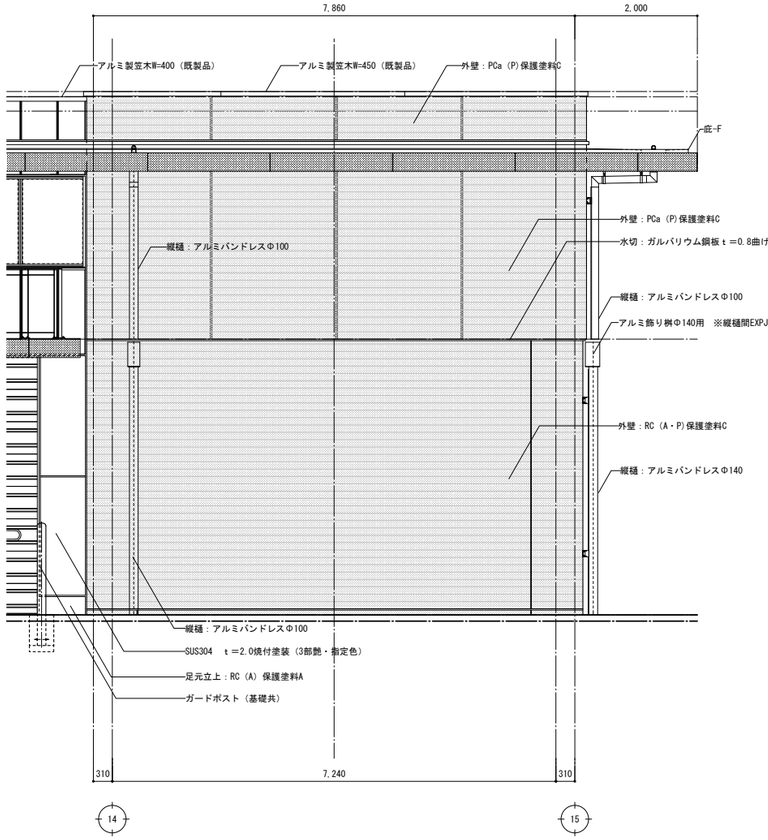
C-C 断面詳細図

1FL=71.40



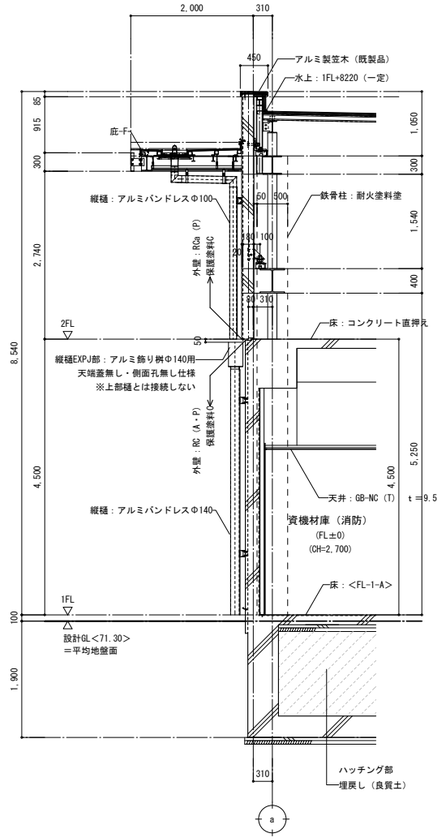
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 矩計図（5）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-116



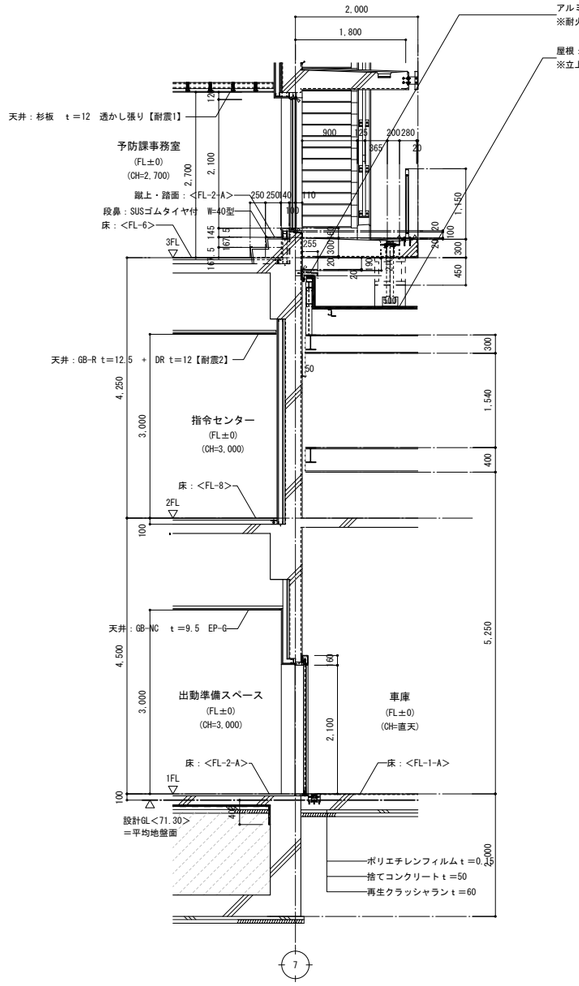
南面　立面図

1FL=71.40



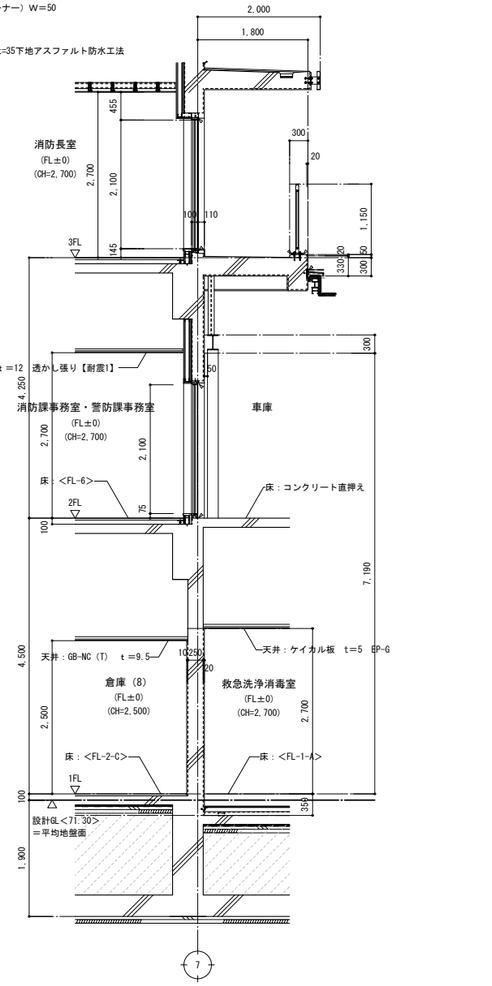
D-D　断面詳細図

1FL=71.40



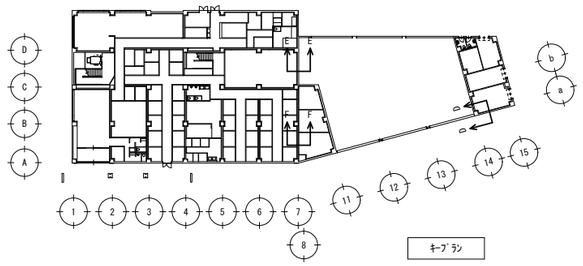
E-E　断面詳細図

1FL=71.40



F-F　断面詳細図

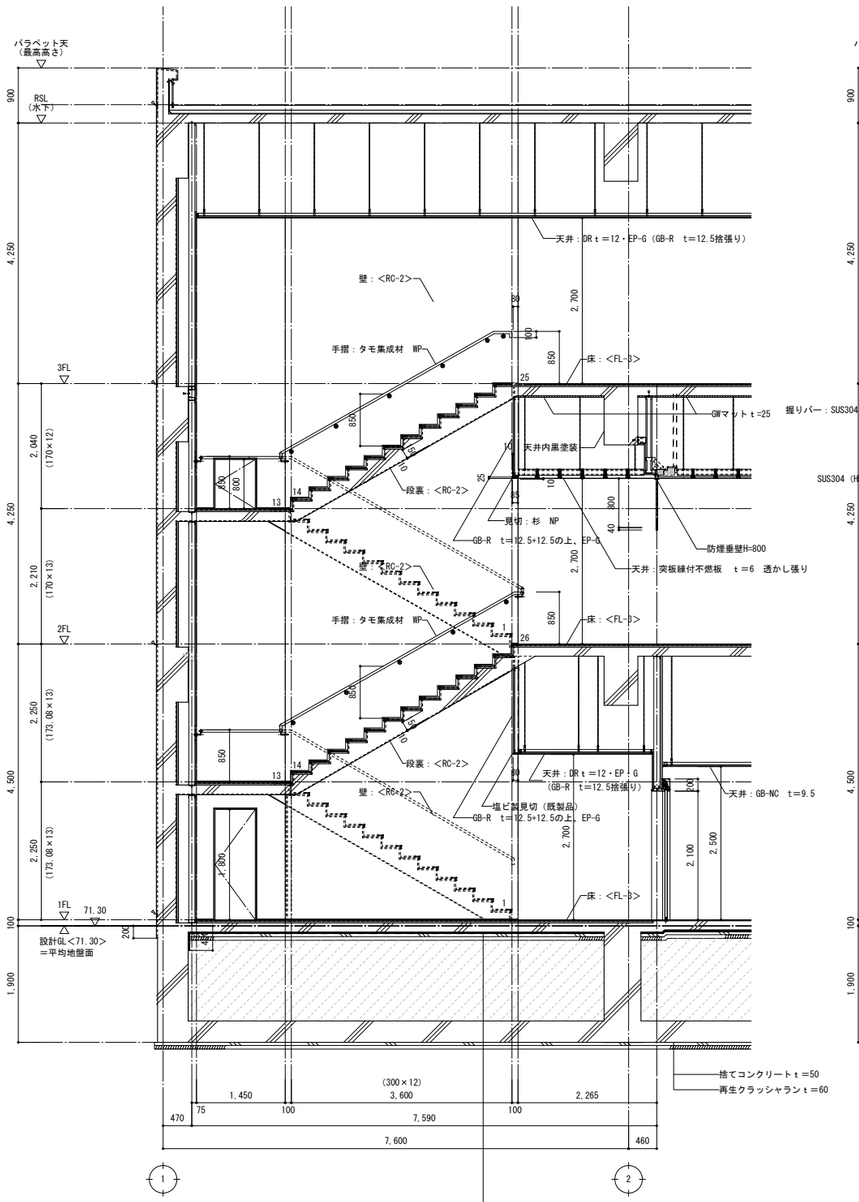
1FL=71.40



キープラン

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

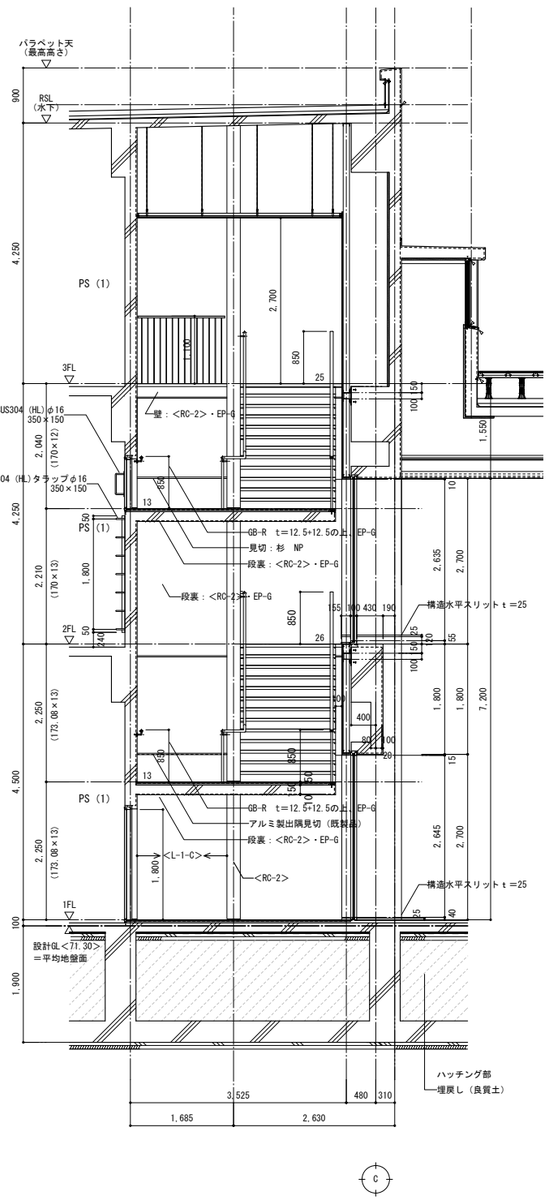
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　矩計図（6）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-117



A-A 断面詳細図

1FL=71.40

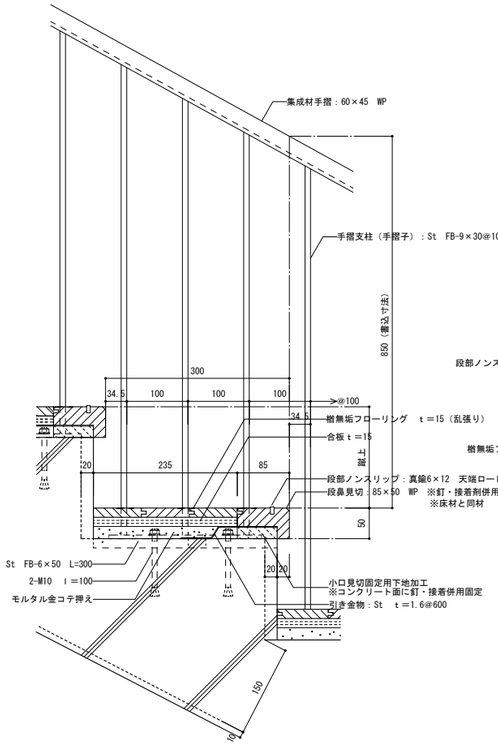
- 押出ポリスチレンフォーム３種ｂ打込 t＝25
- ポリエチレンフィルム t＝0.15
  ※ポリエチレンフィルム及び押出ポリスチレンフォームは外周部地中梁側面全周折下げとする。
- 捨てコンクリート t＝50
- 再生クラッシャラン t＝60

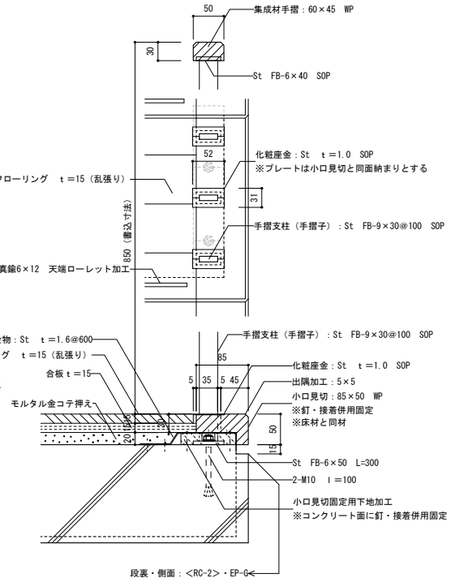


B-B 断面詳細図

1FL=71.40

特記事項
壁付ブラケット手摺の出寸法は10cm以下の為、階段の有効幅は、壁の内々寸法とする。

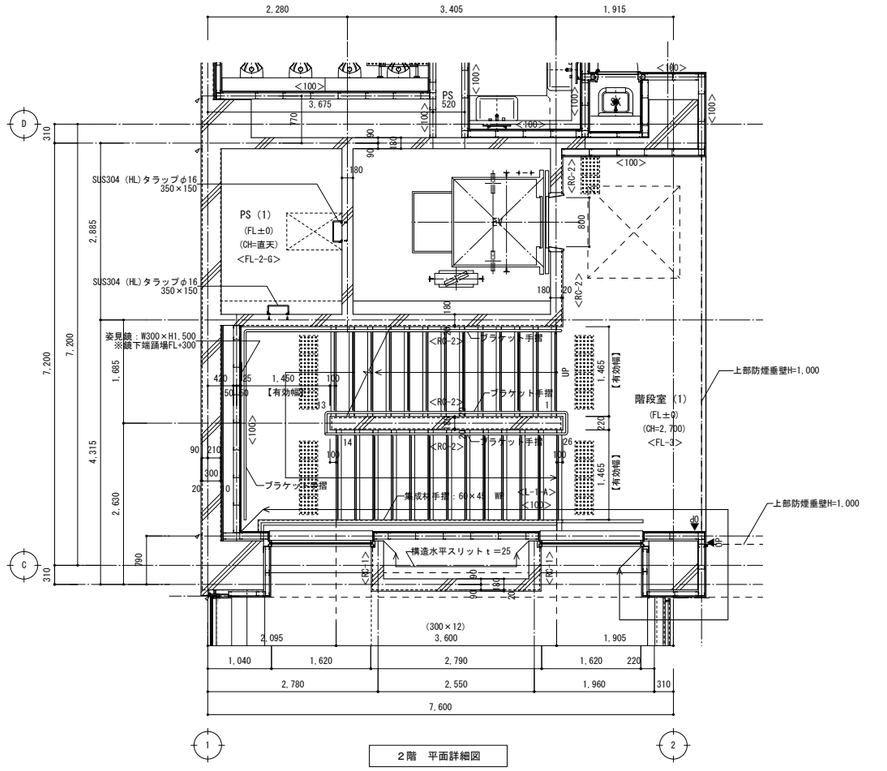




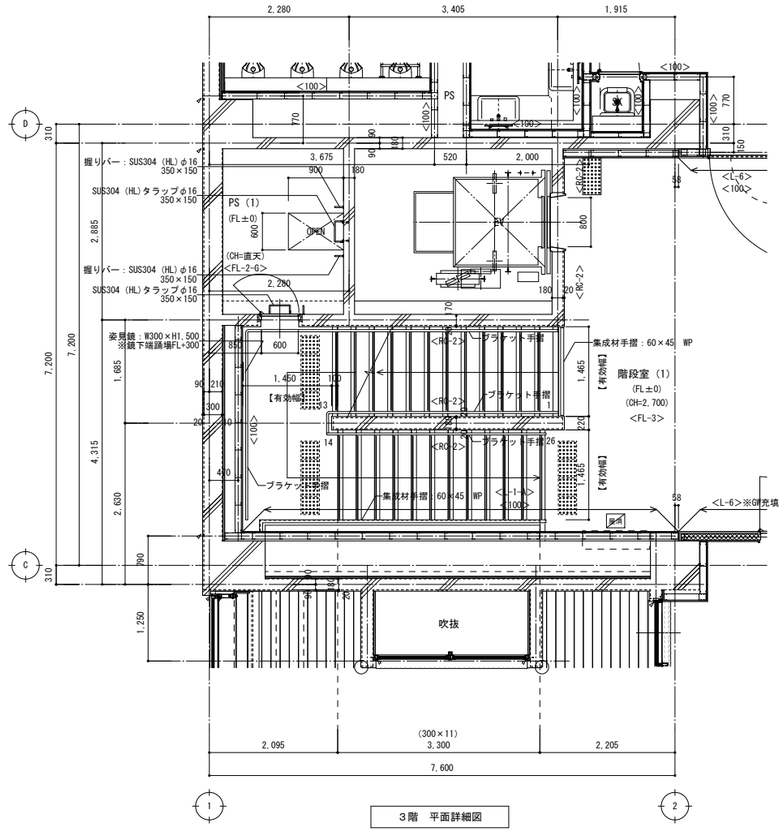
手摺・巾木詳細図 A1:1/5 A3:1/10

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

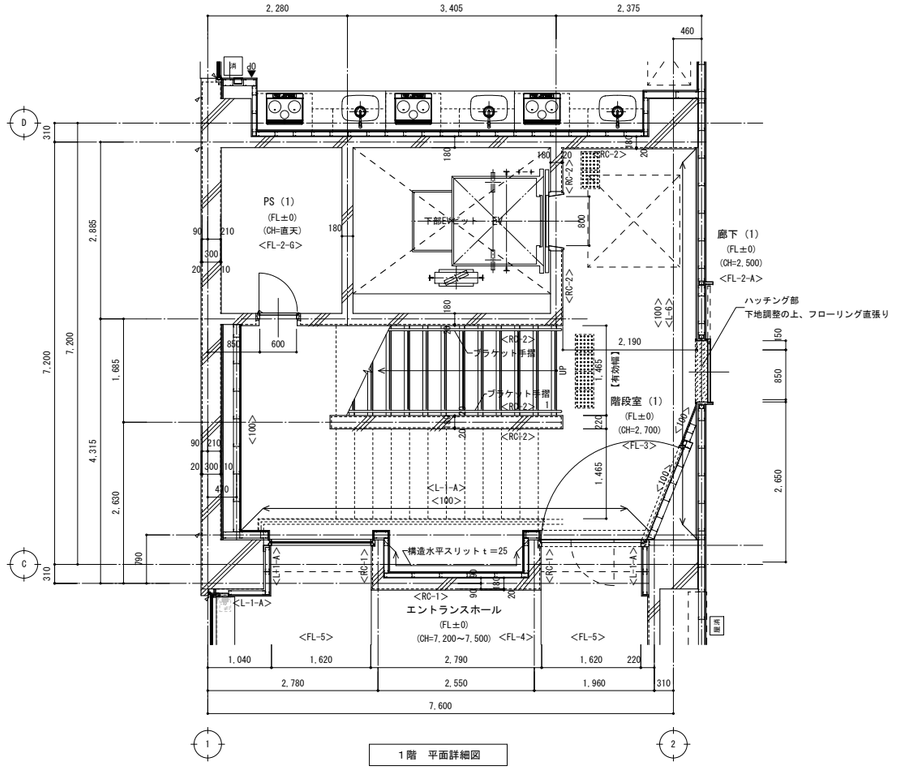
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 階段室（１）詳細図１		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-118



2階　平面詳細図



3階　平面詳細図



1階　平面詳細図

特記事項
壁付ブラケット手摺の出寸法は10cm以下の為、階段の有効幅は、壁の内々寸法とする。

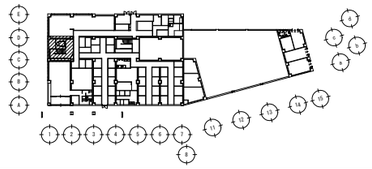
凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事
消	消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする。
	シーリングを示す

特記事項

・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び

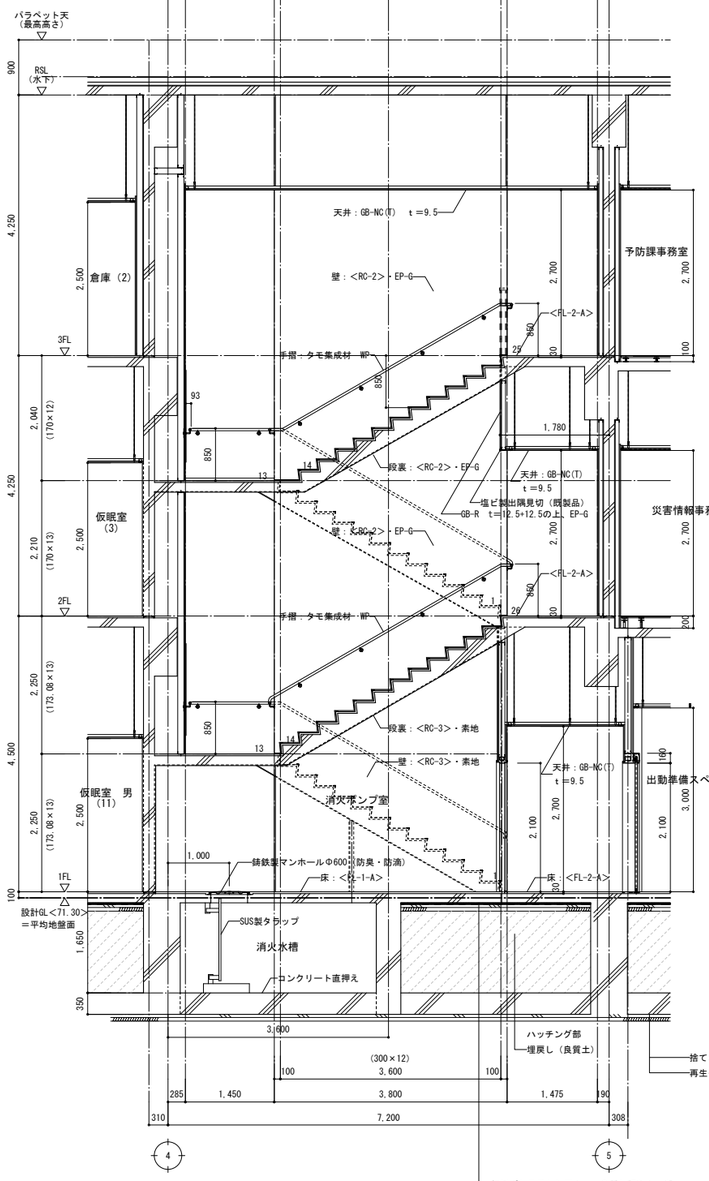
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる。

また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

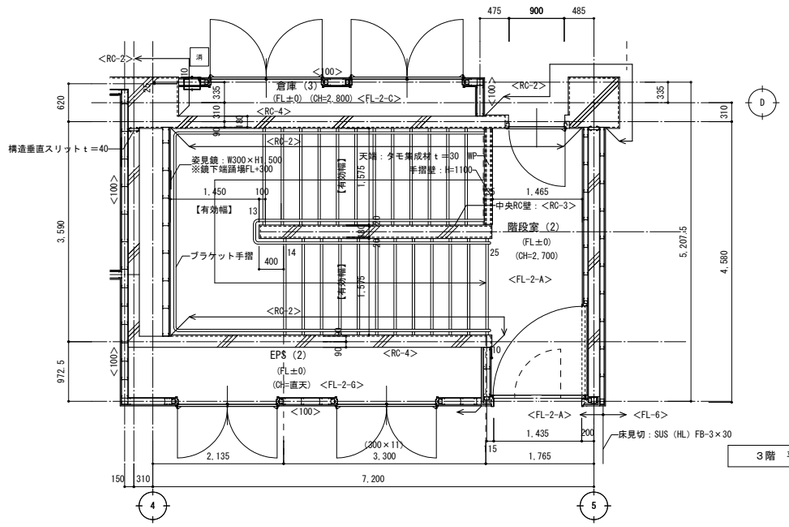
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　階段室（1）詳細図２	2023/03
NEOJEC　株式会社ニージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳　縮尺：A1:1/50 A3:1/100	図面番号：A-119



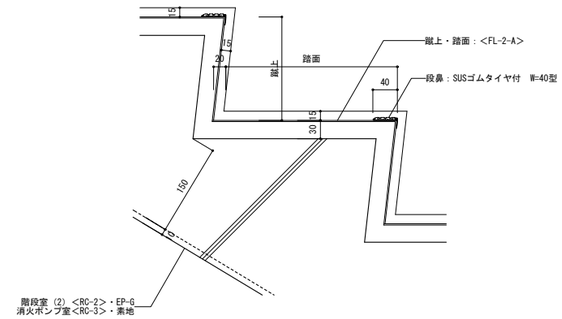
A-A 断面詳細図

押出ポリスチレンフォーム３種ｂ打込ｔ＝25
ポリエチレンフィルムｔ＝0.15
※ポリエチレンフィルム及び押出ポリスチレンフォームは
外周部地中梁側面全周折下げとする。
捨てコンクリートｔ＝50
再生クラッシャランｔ＝60

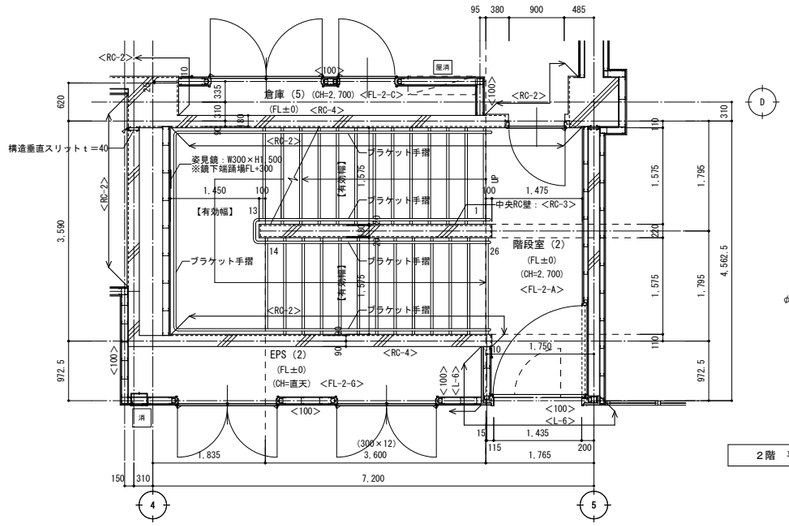
特記事項
壁付ブラケット手摺の出寸法は10cm以下の為、階段の有効幅は、壁の内々寸法とする。



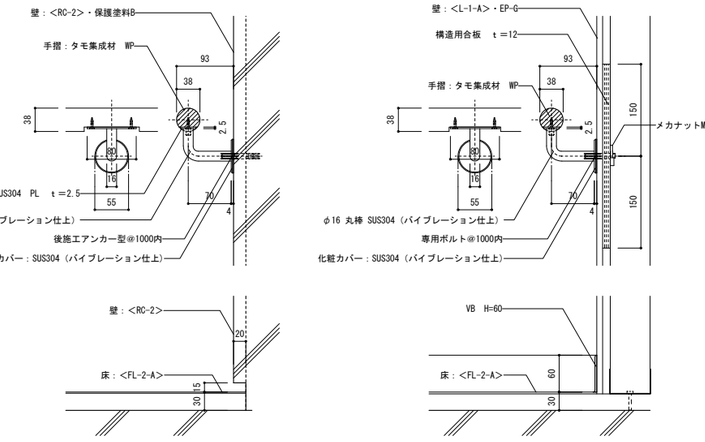
３階 平面詳細図



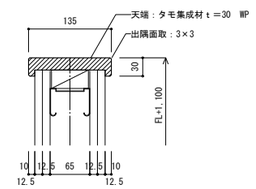
段部 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



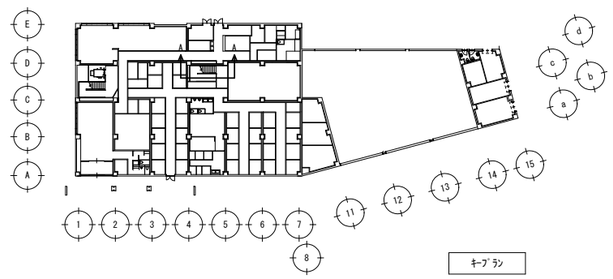
２階 平面詳細図



手摺・巾木詳細図 A1:1/5 A3:1/10



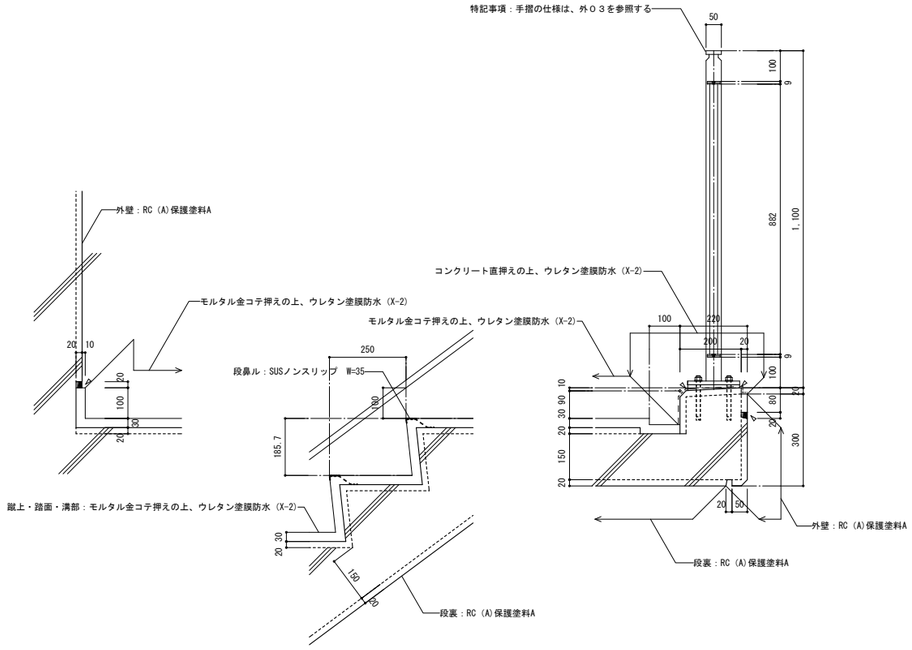
１階 平面詳細図



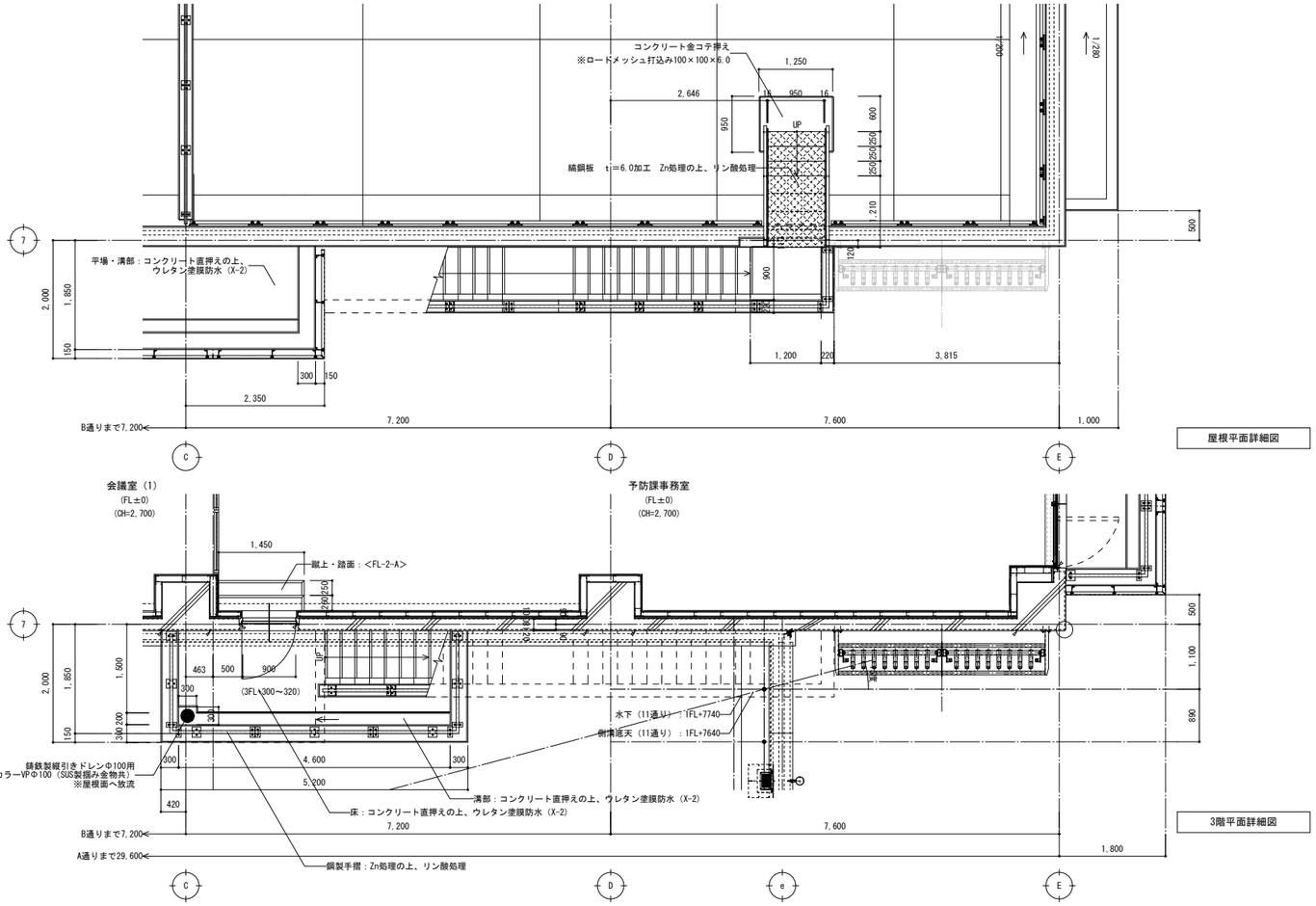
キープラン

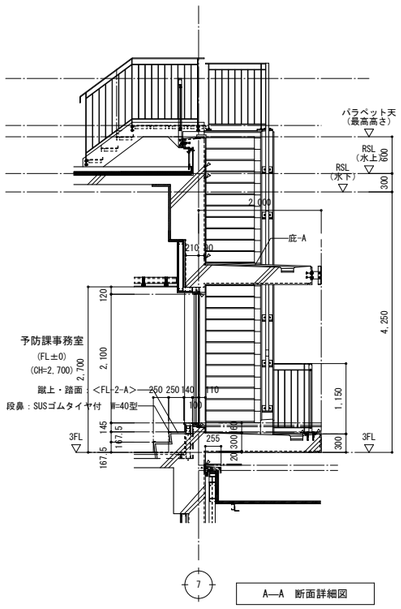
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 階段室（2）詳細図		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺 / 図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100 / A-120

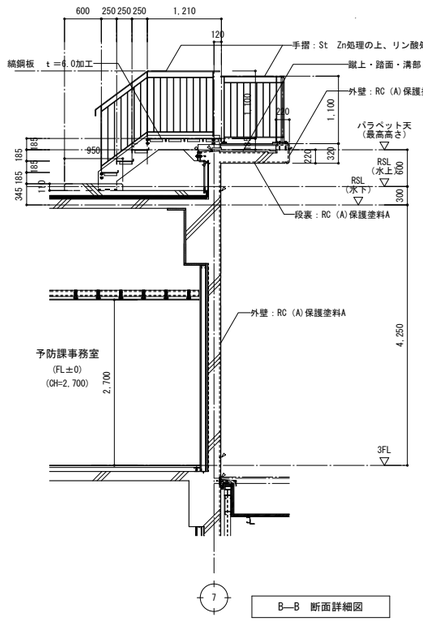


部分詳細図　A1:1/10　A3:1/20

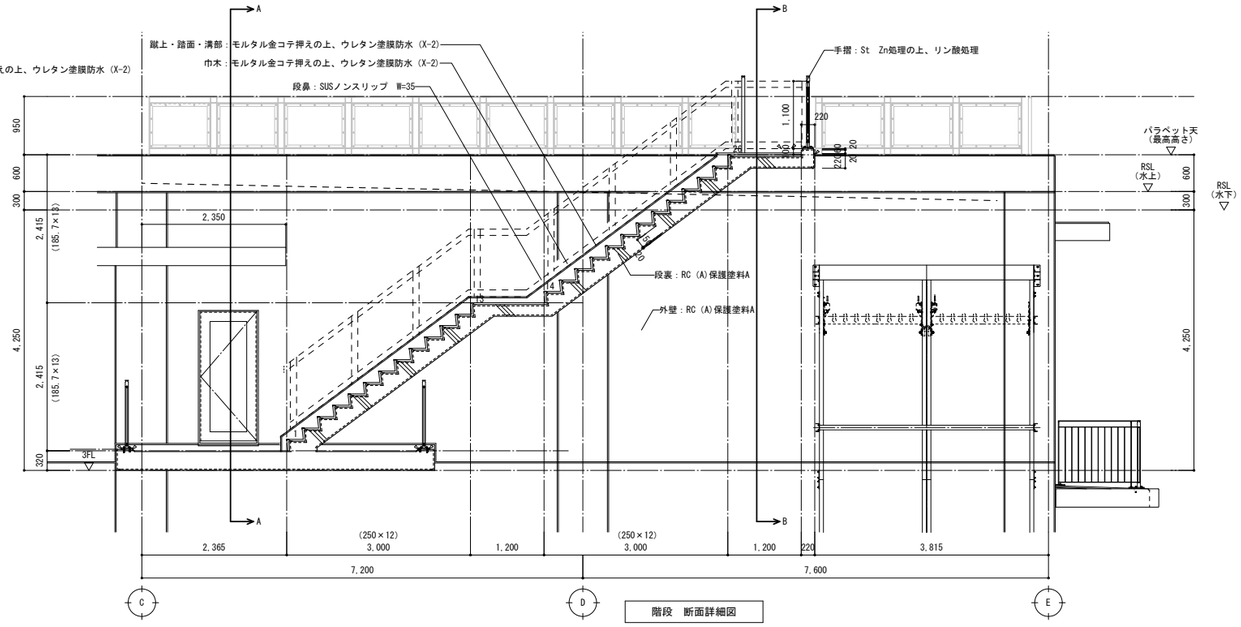




A—A　断面詳細図

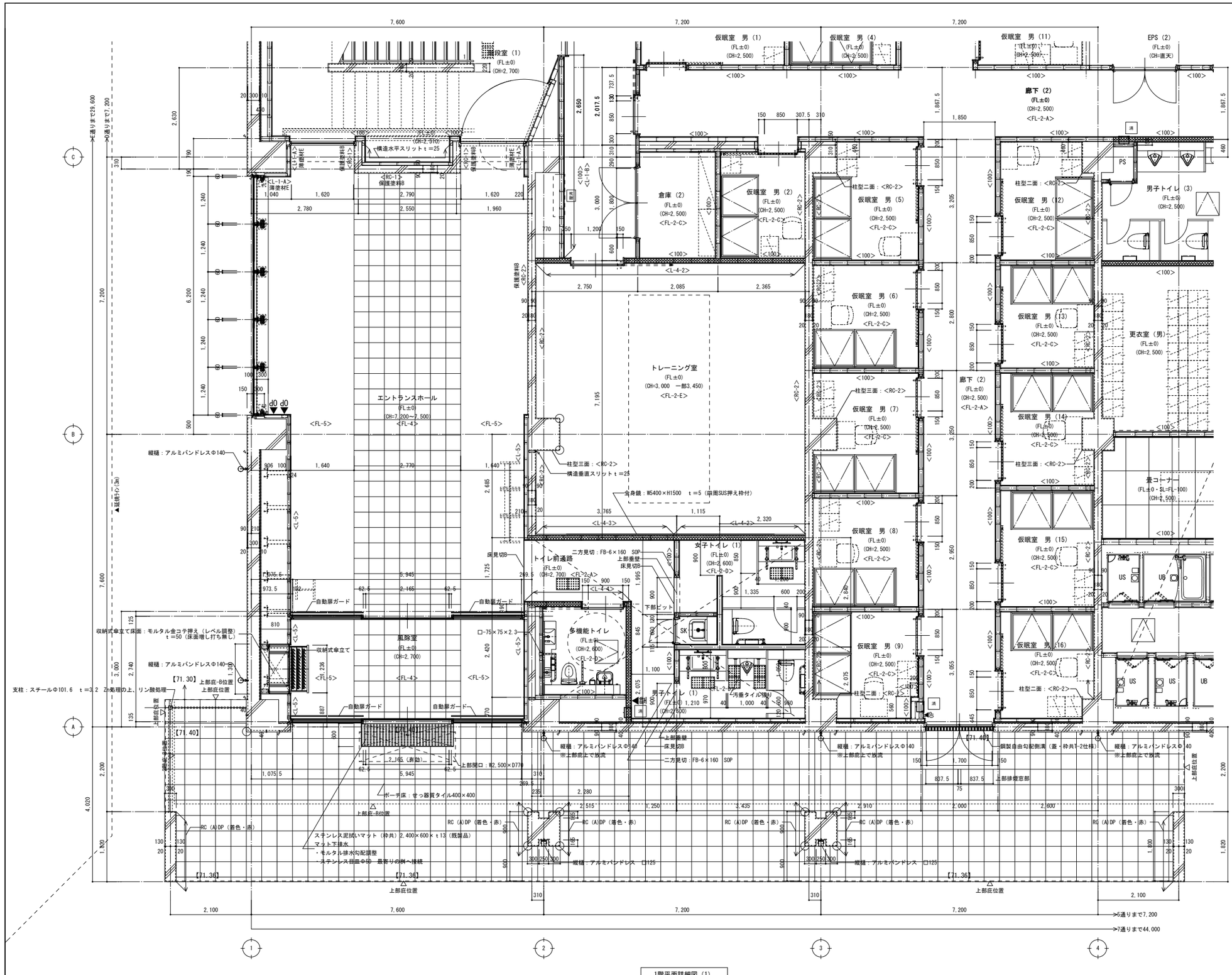


B—B　断面詳細図



階段　断面詳細図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　屋外階段　詳細図		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-121

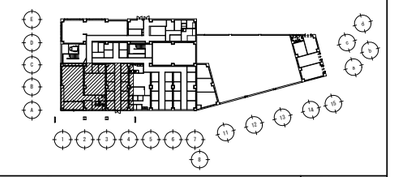


凡 例	仕 様
	RC壁
	LGS壁 特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-**>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
▲ 壁	壁点検口450角（既製品）位置を示す 開口寸：各展開図による
【71.**】	特記以外の床レベルを示す。
	床下点検口 600角（防臭・防滴型）
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型) ※消火器：建築工事
	柱型出隅部 20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

1階平面詳細図（1）

1FL=71.40

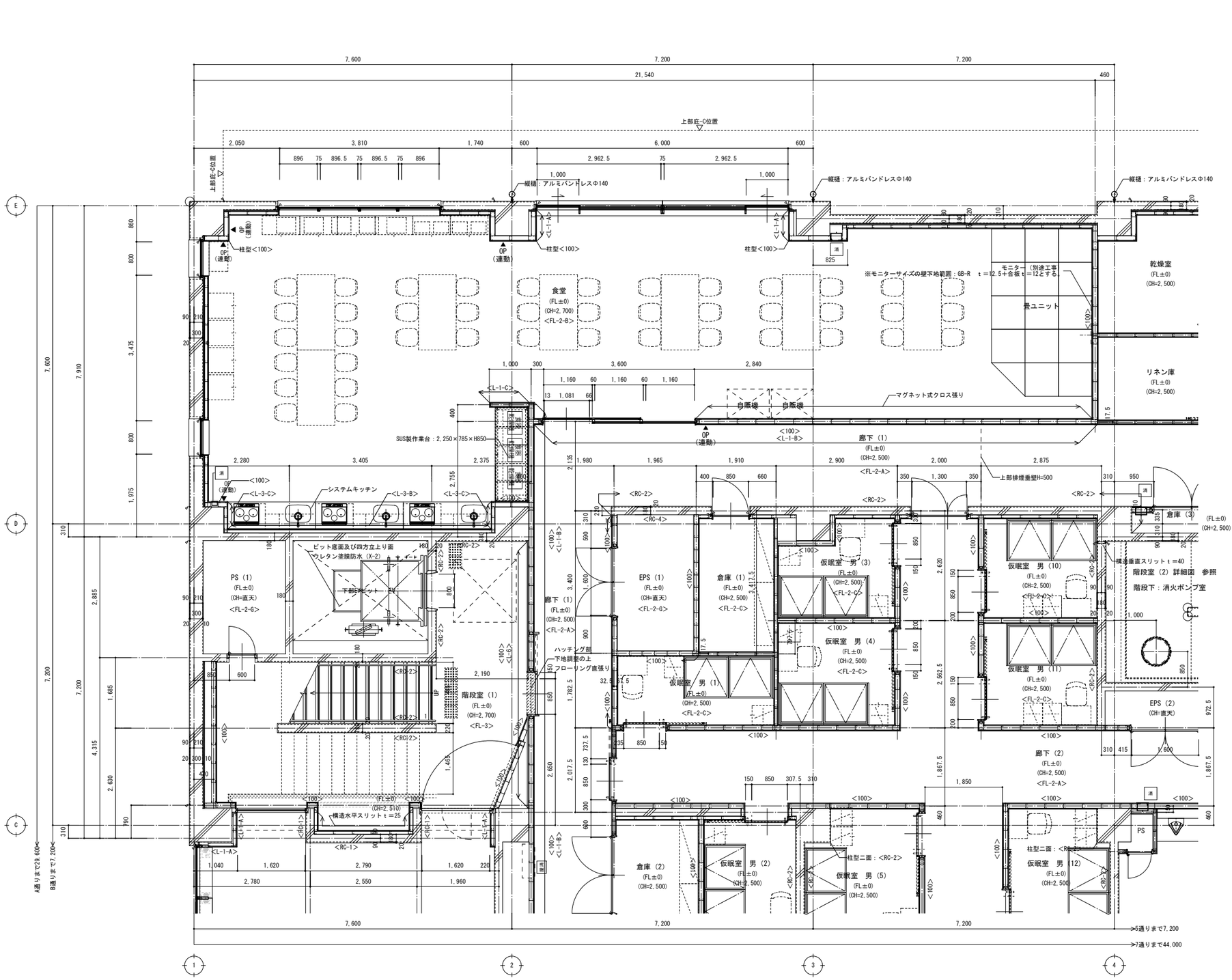
※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階平面詳細図（1）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-122



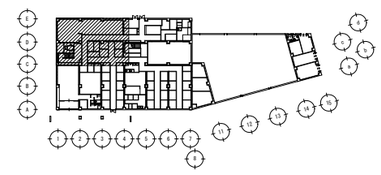
1階平面詳細図（2）

1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

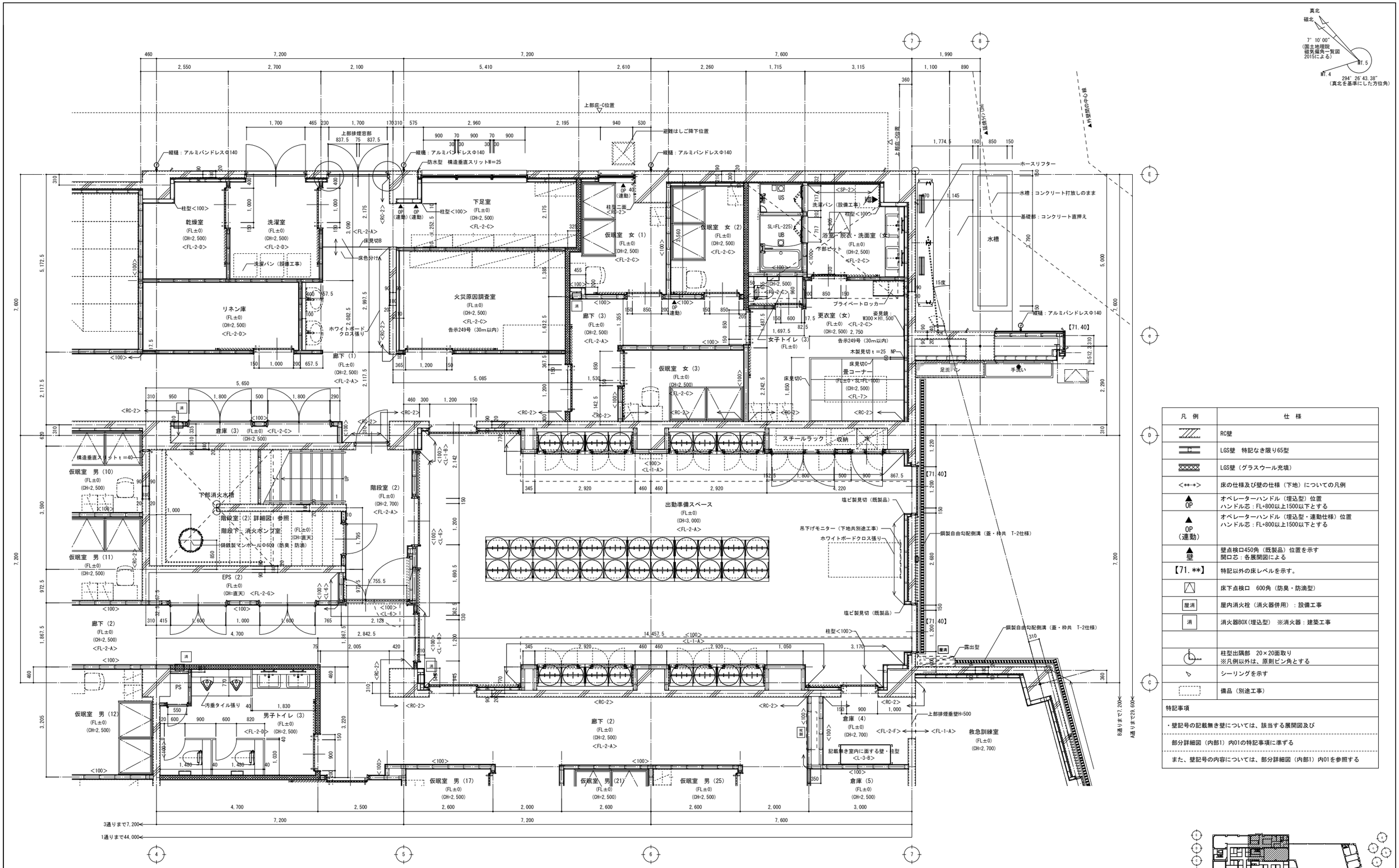
真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院 磁気偏角一覧図 2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′ 43.38″
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
▲ OP (連動)	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
【71.**】	特記以外の床レベルを示す。
	床下点検口　600角（防臭・防滴型）
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階平面詳細図（2）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-123



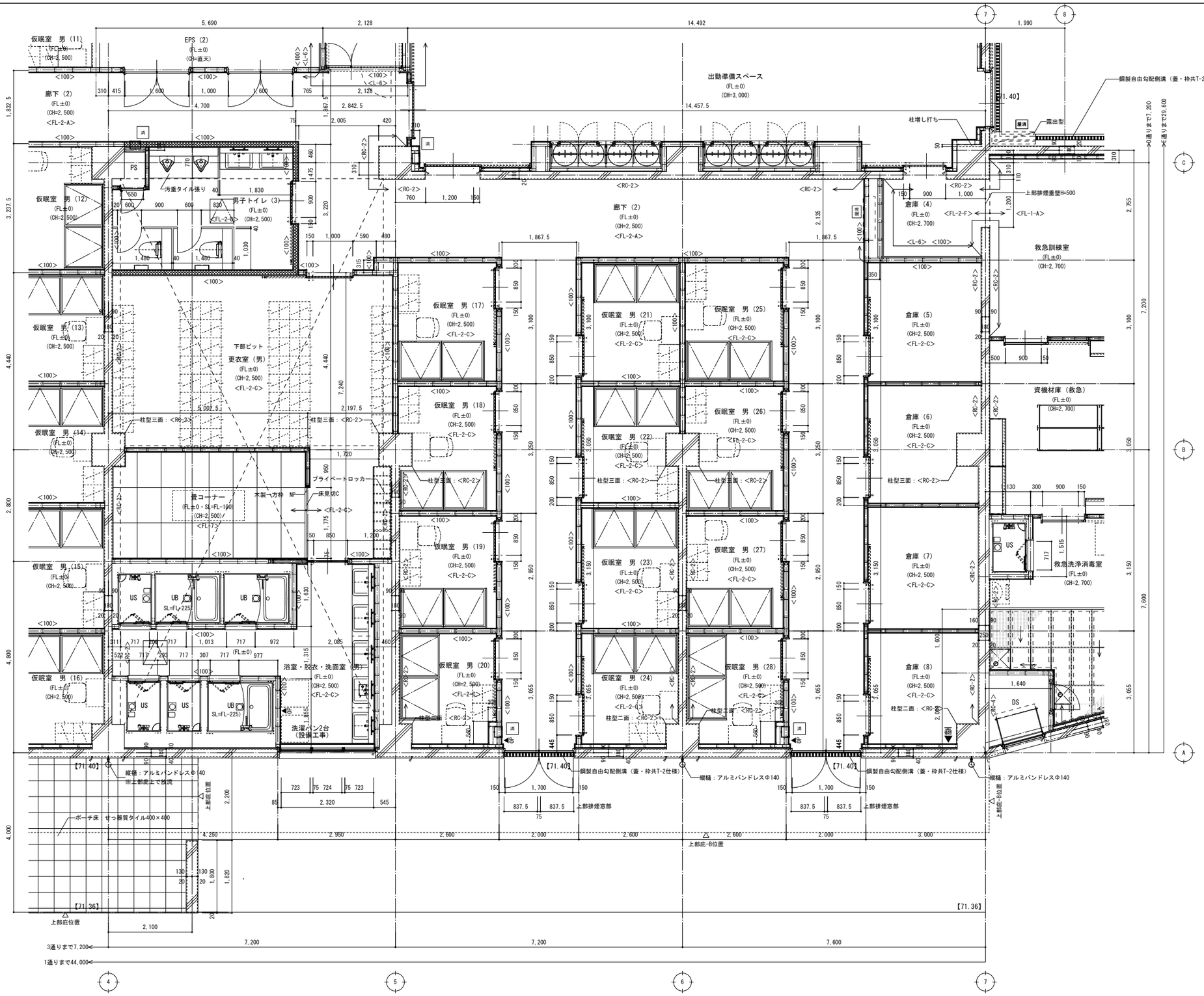
1階平面詳細図（3）

1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階平面詳細図（3）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100
			図面番号 A-124



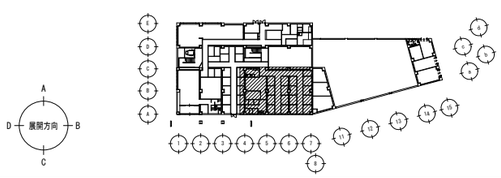
凡 例	仕 様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
▲ 壁	壁点検口450角（既製品）位置を示す 開口寸：各展開図による
【71.**】	特記以外の床レベルを示す
	床下点検口　600角（防臭・防滴型）
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院 磁気偏角一覧図 2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′ 43.38″
（真北を基準にした方位角）

1階平面詳細図（4）

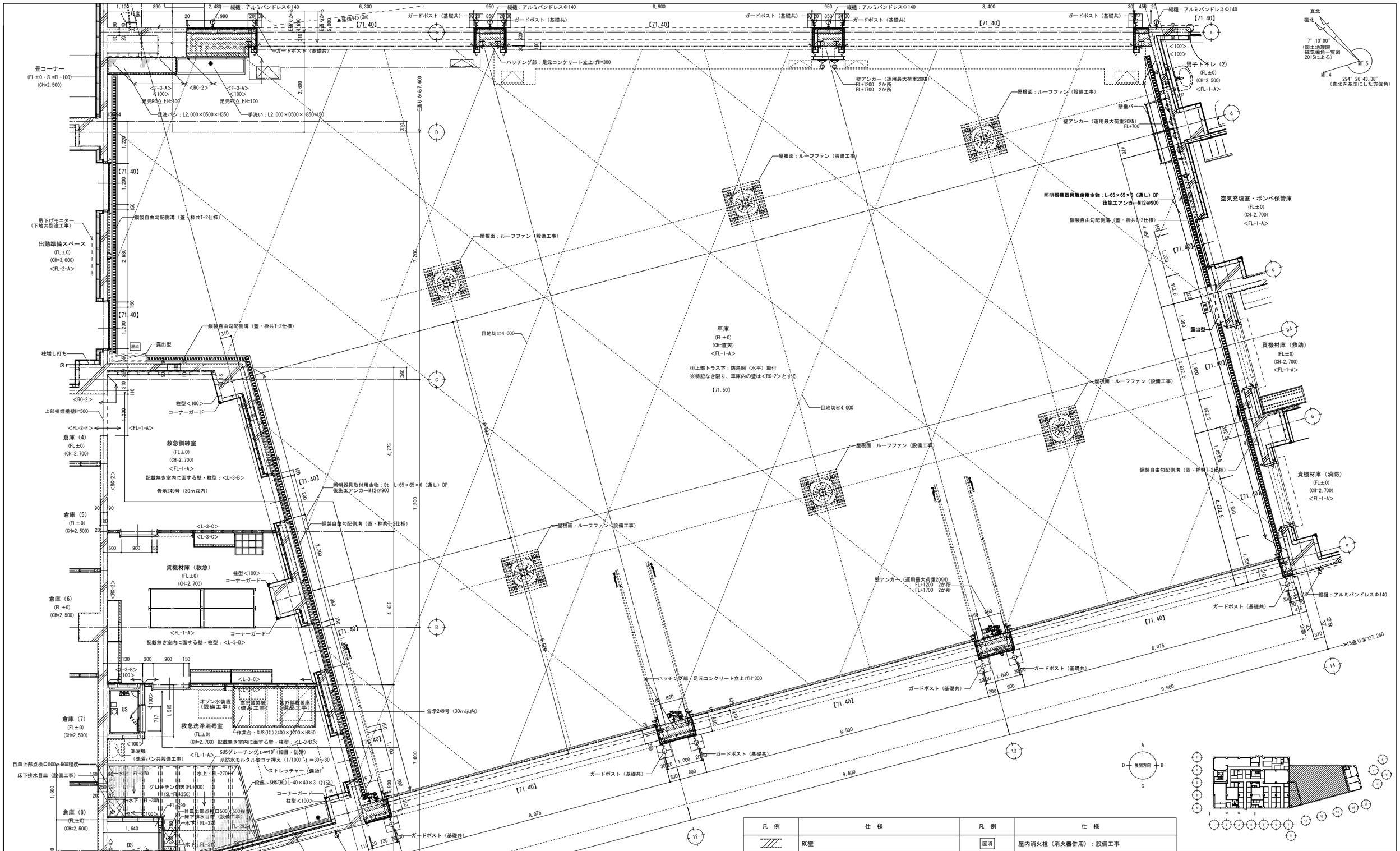
1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階平面詳細図（4）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-125



1階平面詳細図（5）

1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

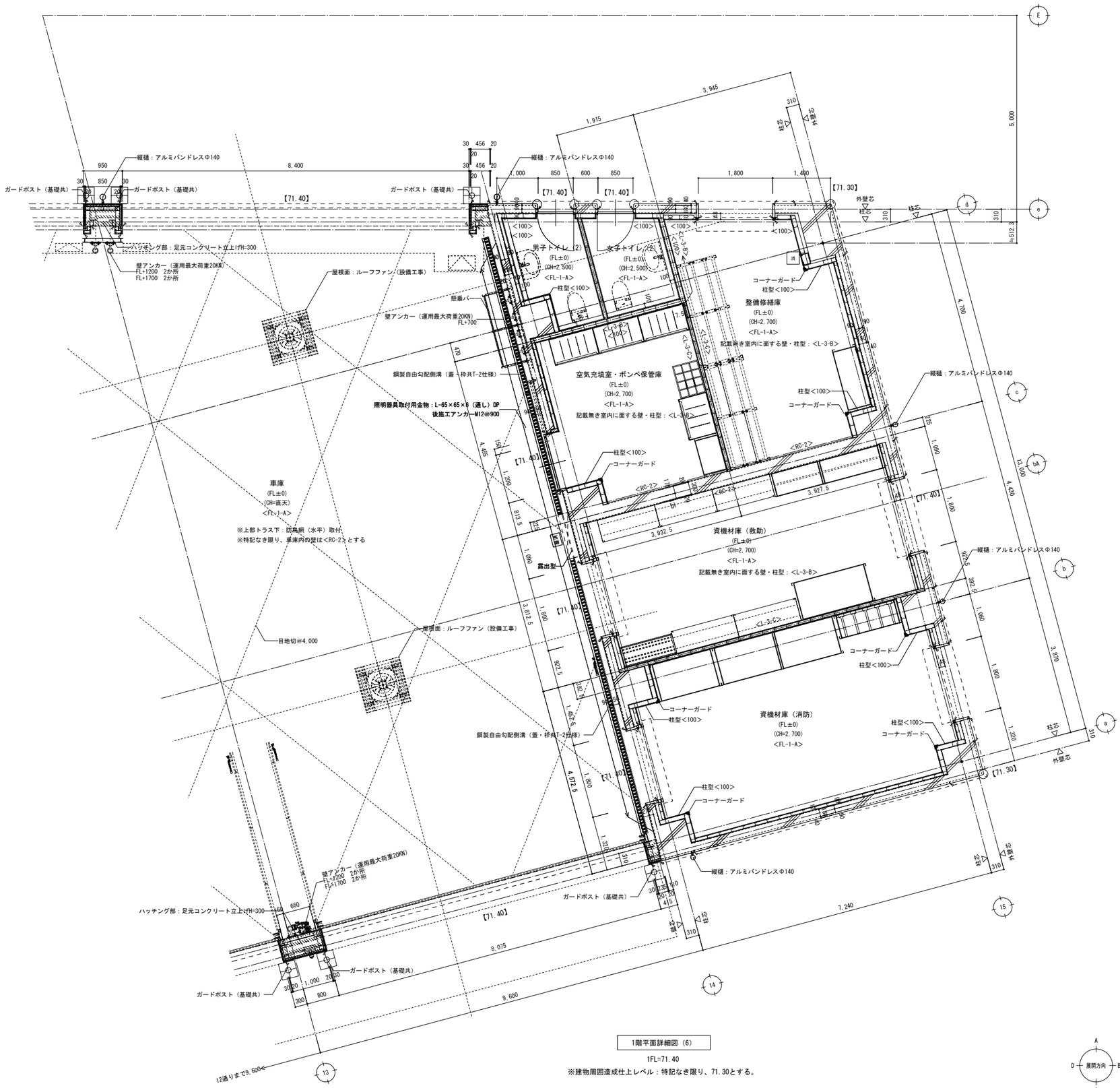
凡例	仕様	凡例	仕様	
	RC壁	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事	
	LGS壁　特記なき限り65型	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事	特記事項
	LGS壁（グラスウール充填）			・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例		柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする	部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
【71.**】	特記以外の床レベルを示す。		シーリングを示す	また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階平面詳細図（5）	2023/03

管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-126

NEOJEC 株式会社ニュージェック



凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-**>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
【71.**】	特記以外の床レベルを示す。
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り 特記事項 柱型は、原則ピン角とし、左表凡例部分は、 面取り加工とする。
▷	シーリングを示す

特記事項

・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び

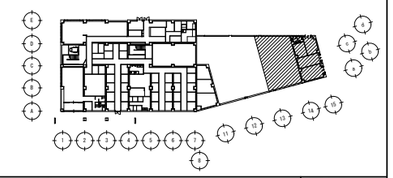
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる

また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する

1階平面詳細図（6）

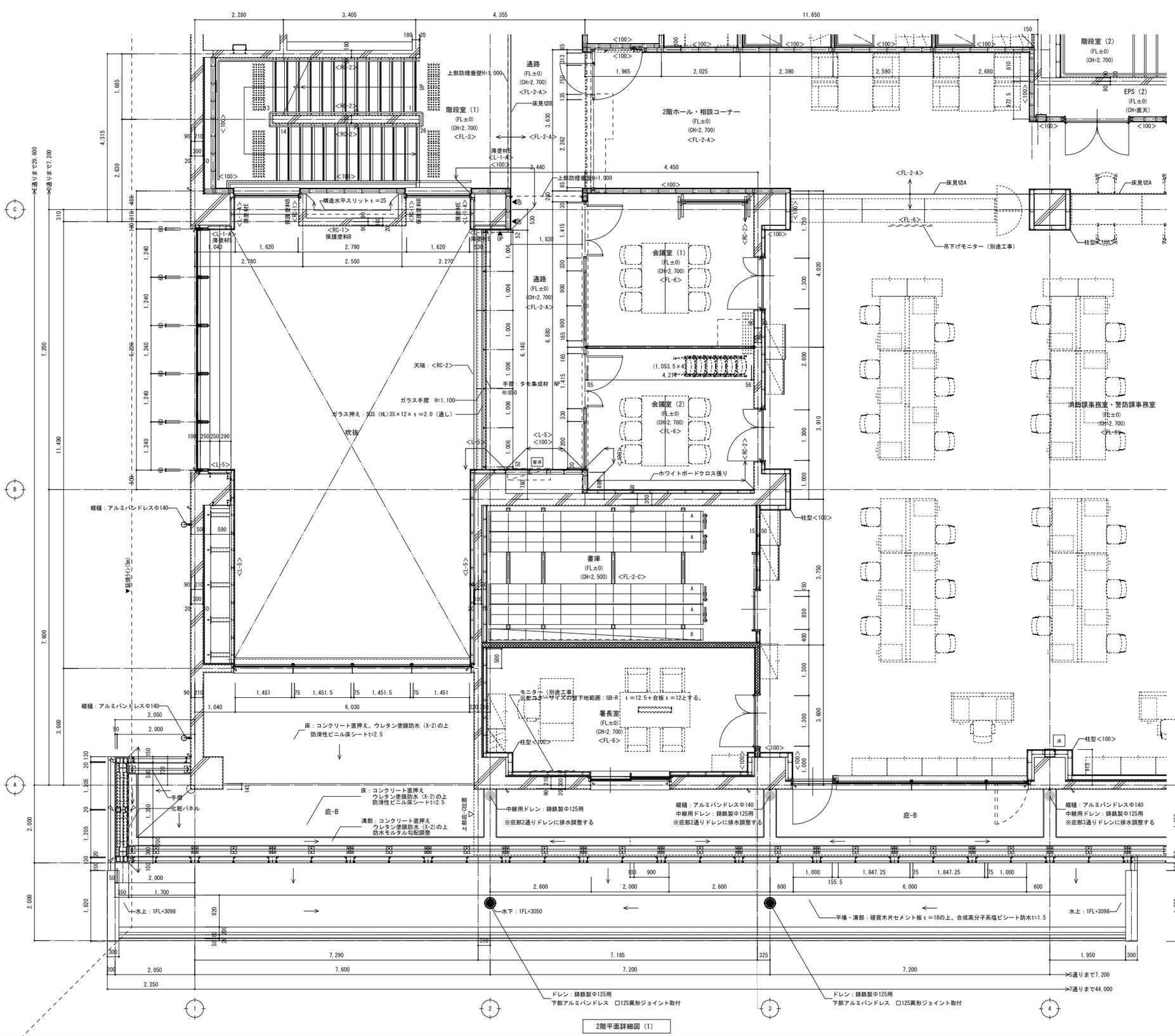
1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　1階平面詳細図（6）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-127

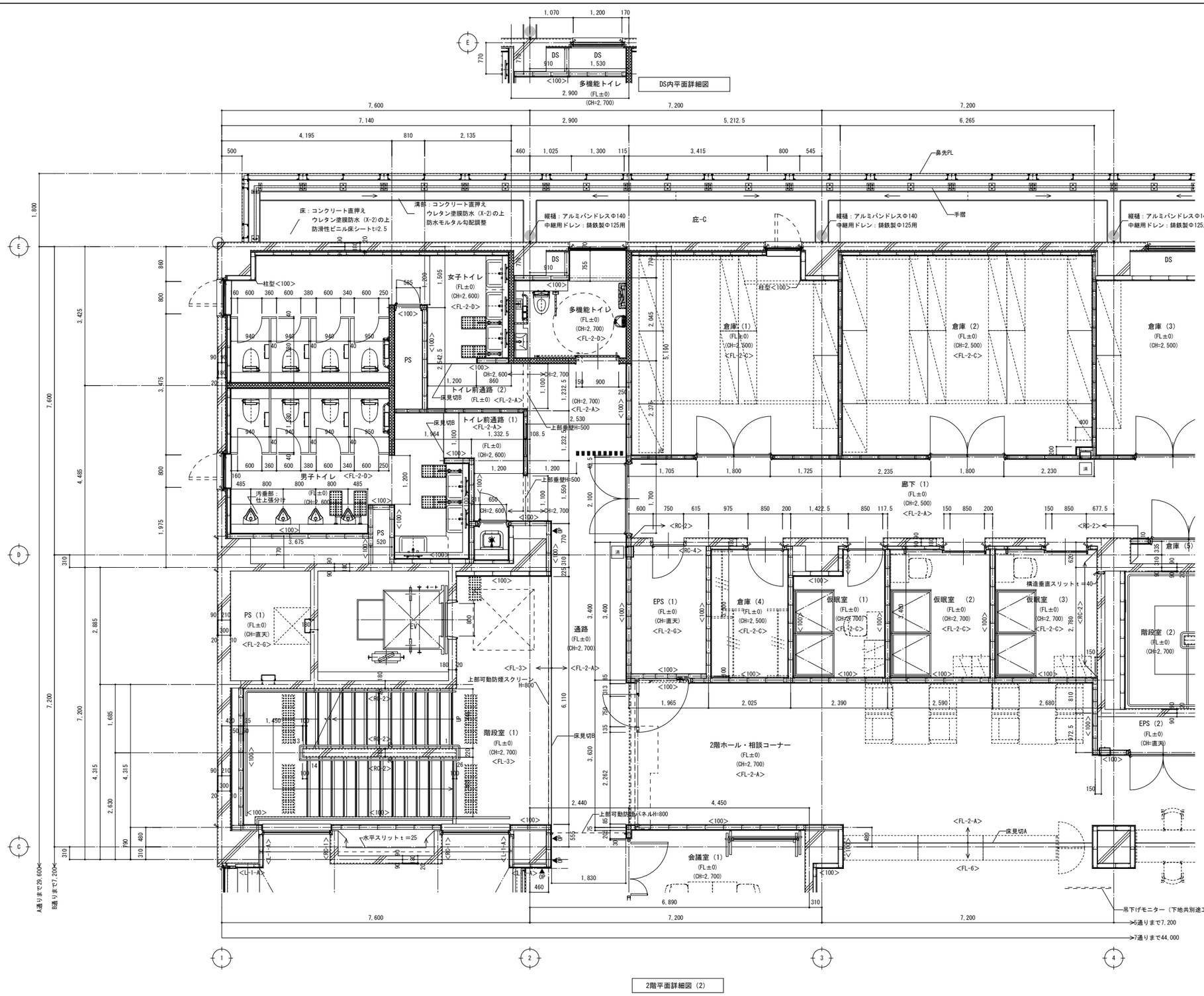


凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
【71.**】	特記以外の床レベルを示す。
	床下点検口　600角（防臭・防滴型）
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

2階平面詳細図（1）

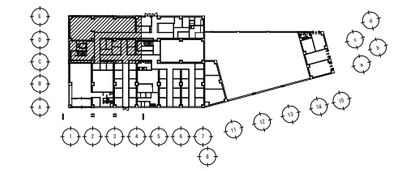
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面詳細図（1）	2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50　A3:1/100
		図面番号：A-128



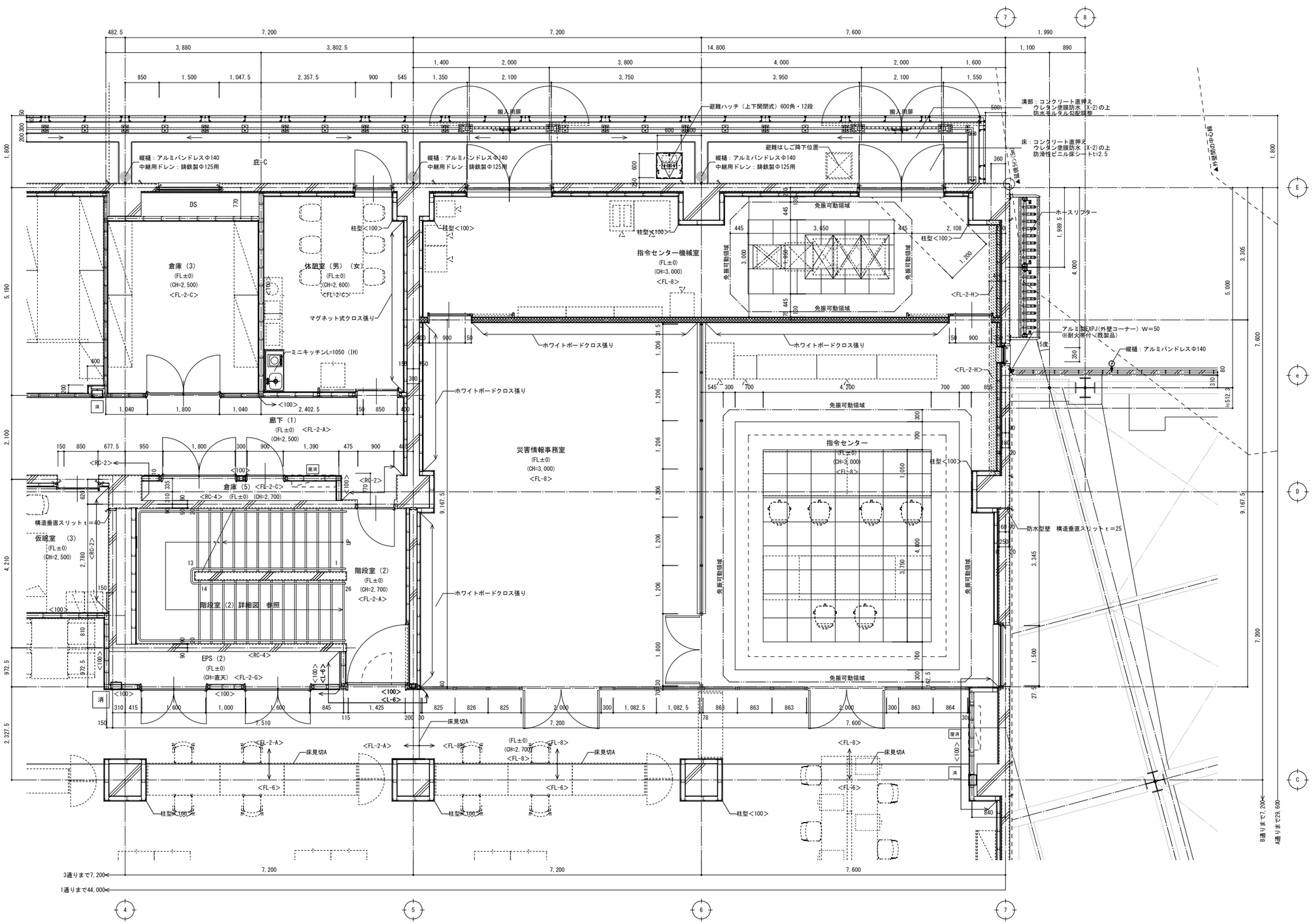
2階平面詳細図（2）

凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<＊＊－＊＊>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	



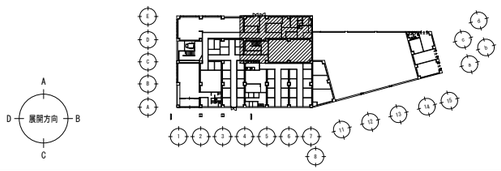
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階平面詳細図（2）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-129



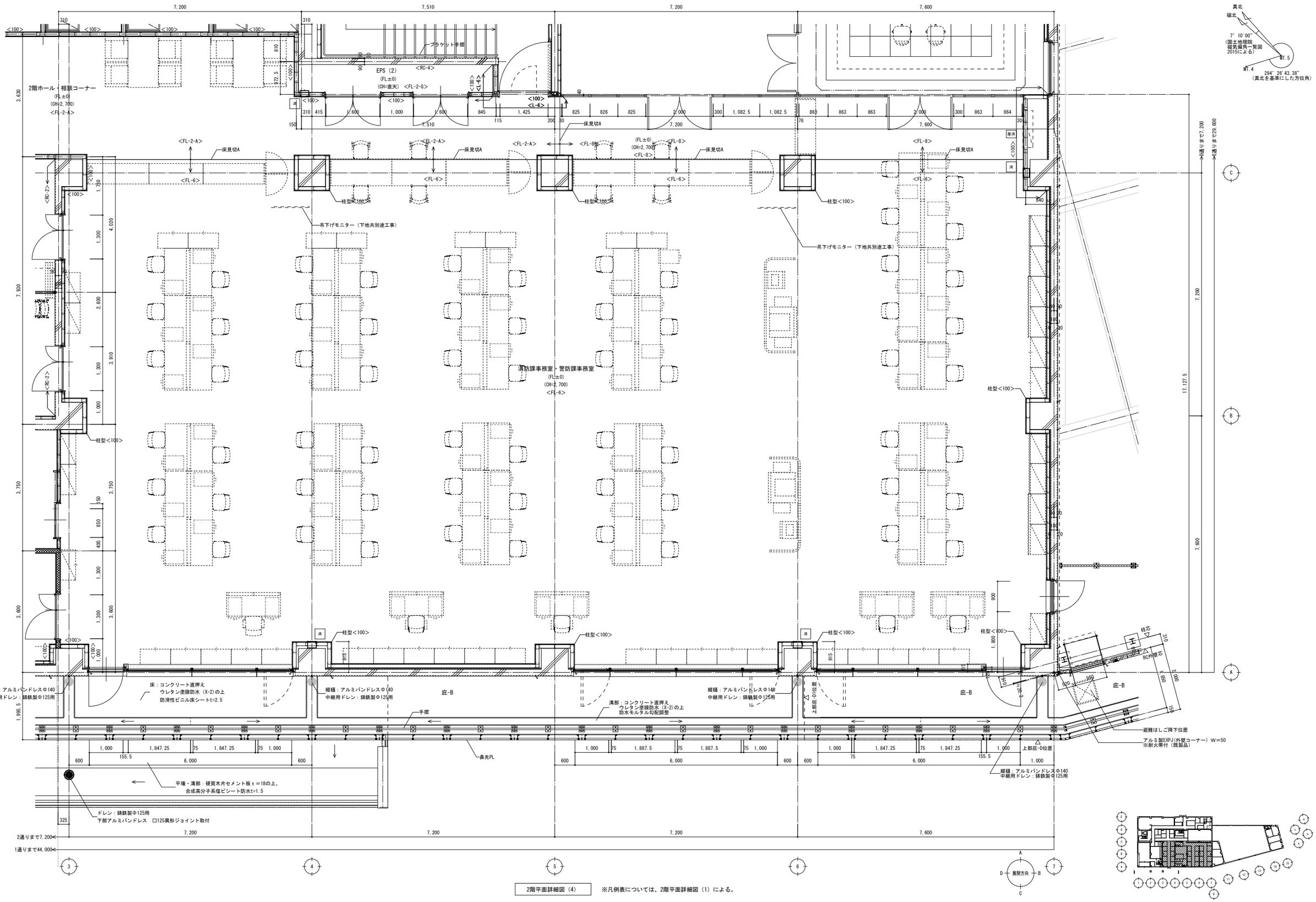
凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-**>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

2階平面詳細図（3）



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

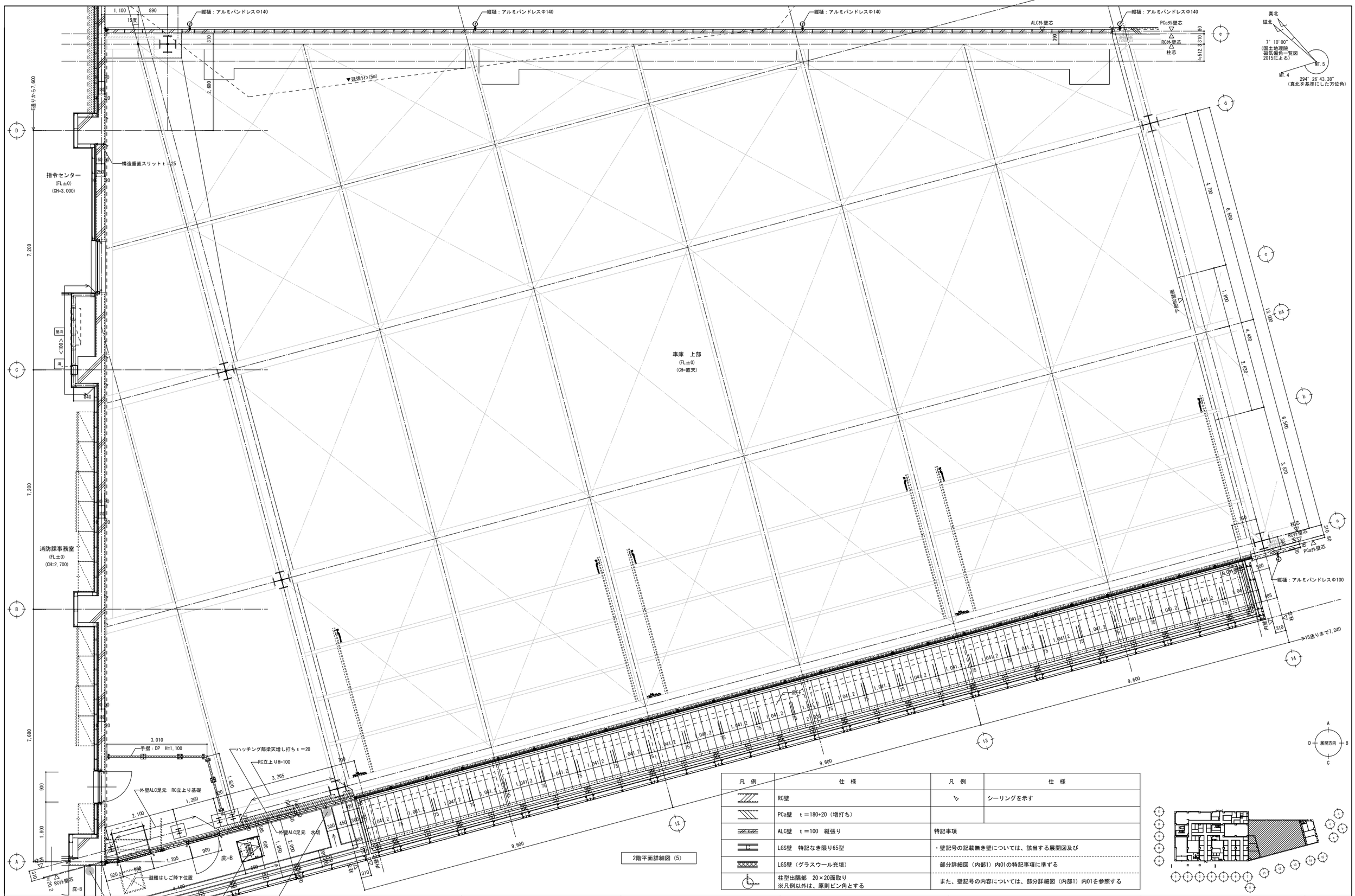
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面詳細図（3）		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-130



2階平面詳細図（4）　※凡例表については、2階平面詳細図（1）による。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面詳細図（4）	2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号：A-131



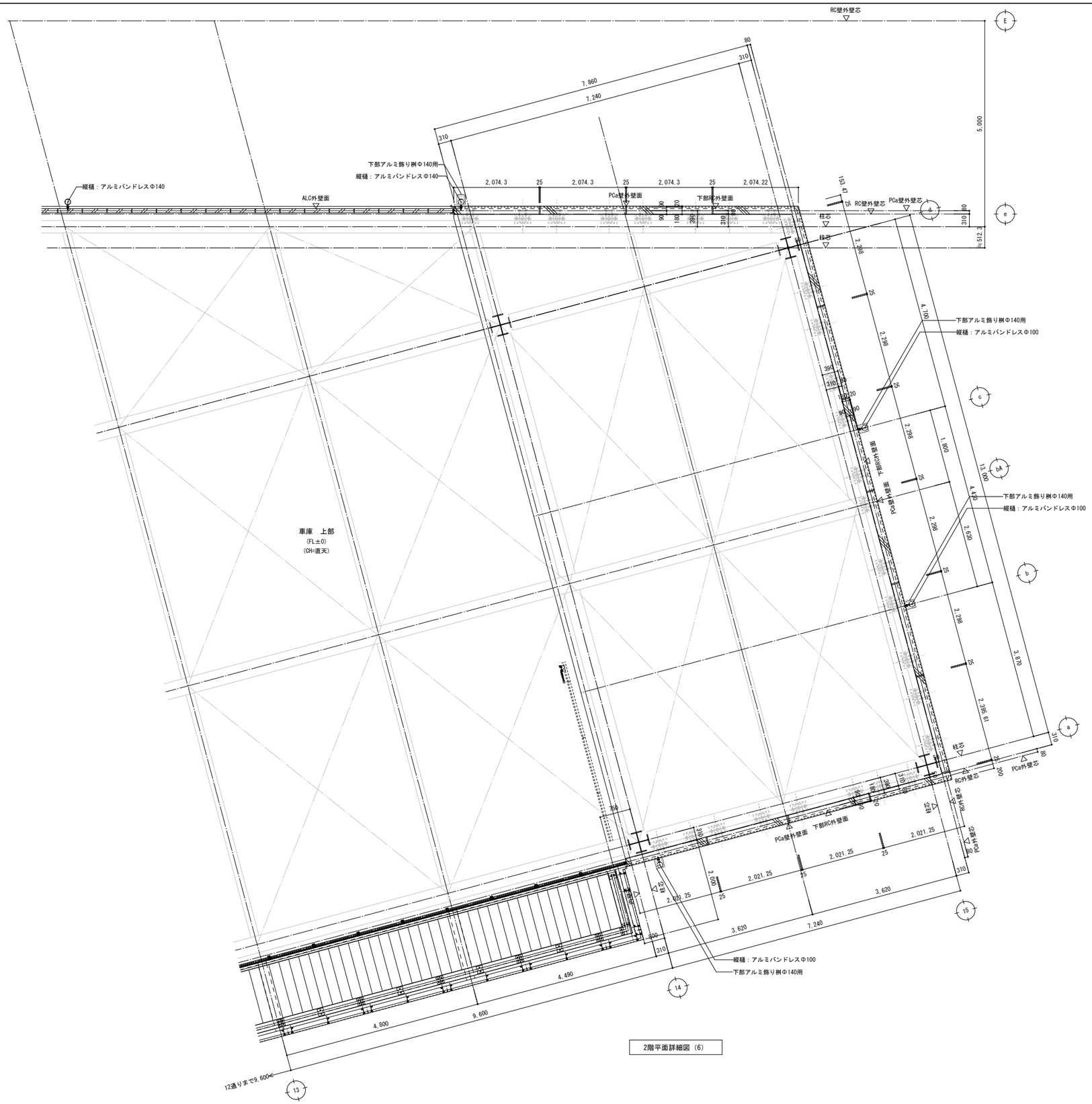
2階平面詳細図（5）

凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁		シーリングを示す
	PCa壁　t＝180+20（増打ち）		
	ALC壁　t＝100　縦張り	特記事項	
	LGS壁　特記なき限り65型	・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
	LGS壁（グラスウール充填）	部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする	また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

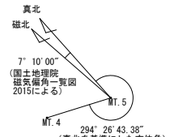
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面詳細図（5）	2023/03

NEJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-132

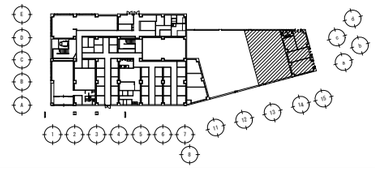


2階平面詳細図（6）



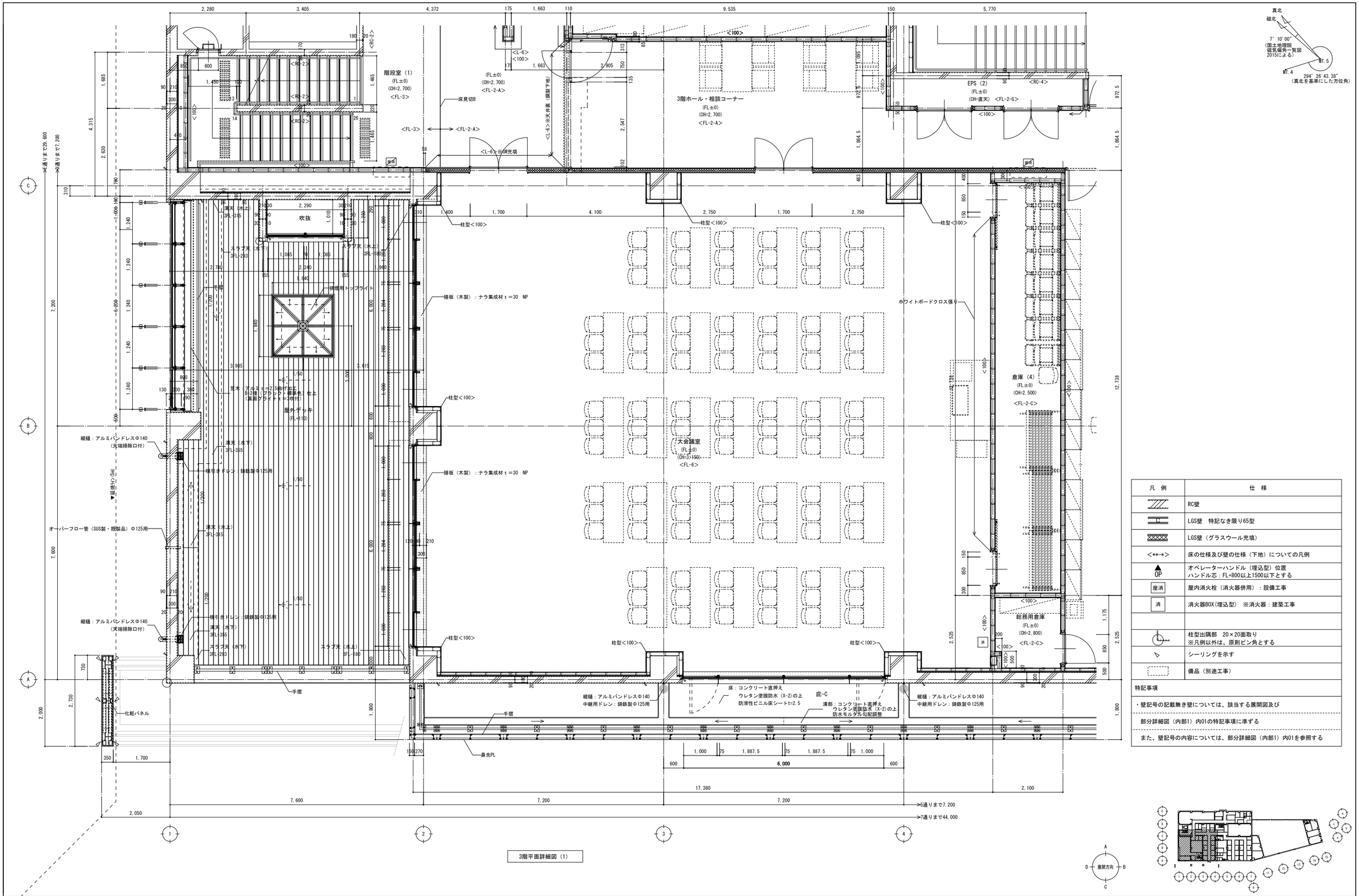
凡　例	仕　様
	PCa壁　t＝180+20（増打ち）
	ALC壁　t＝100　縦張り
	シーリングを示す

特記事項



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　2階平面詳細図（6）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-133



凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）

特記事項

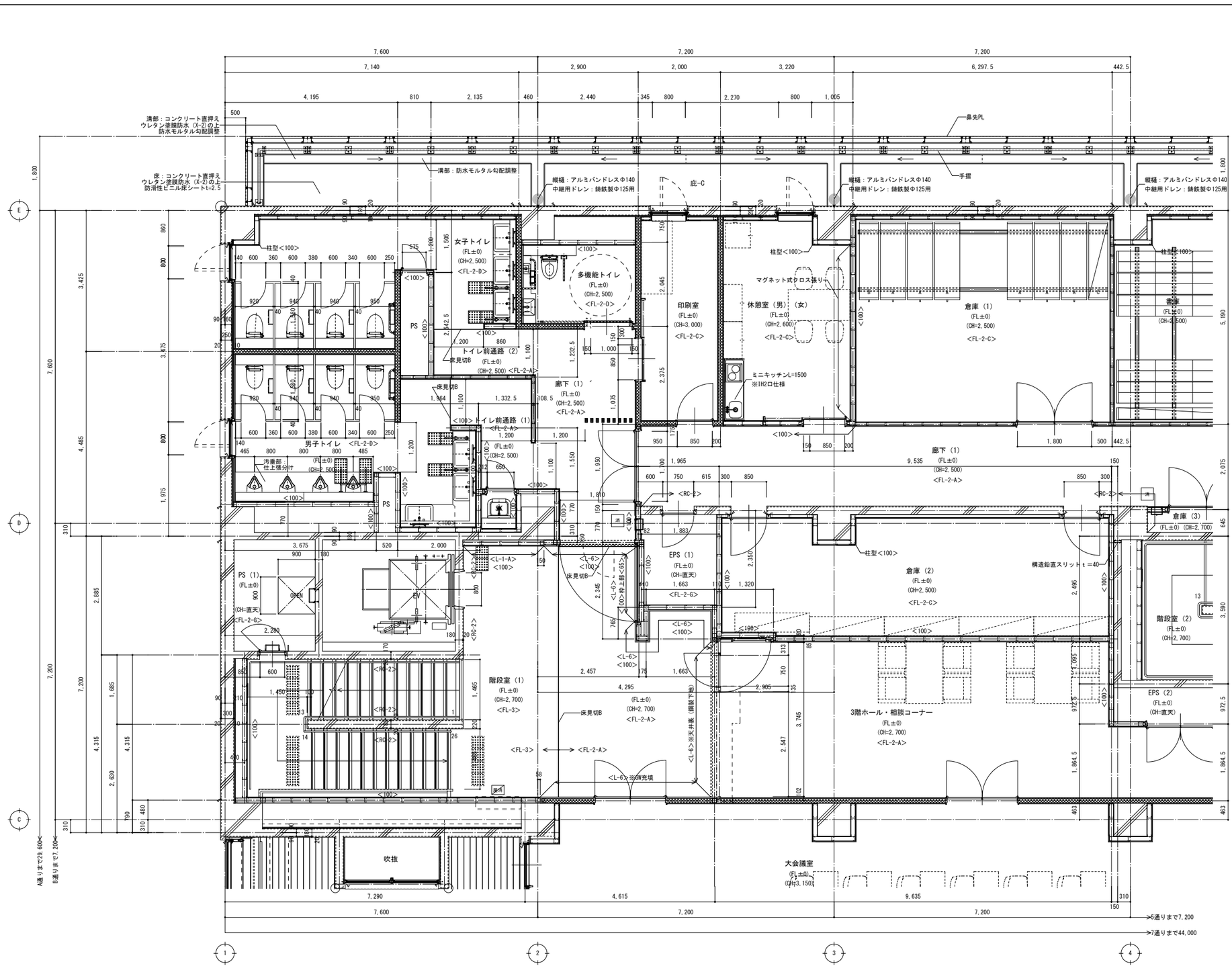
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する

3階平面詳細図（1）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階平面詳細図（1）	2023/03

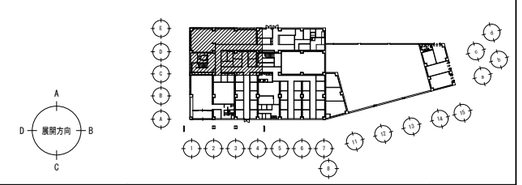
NEJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-134



3階平面詳細図（2）

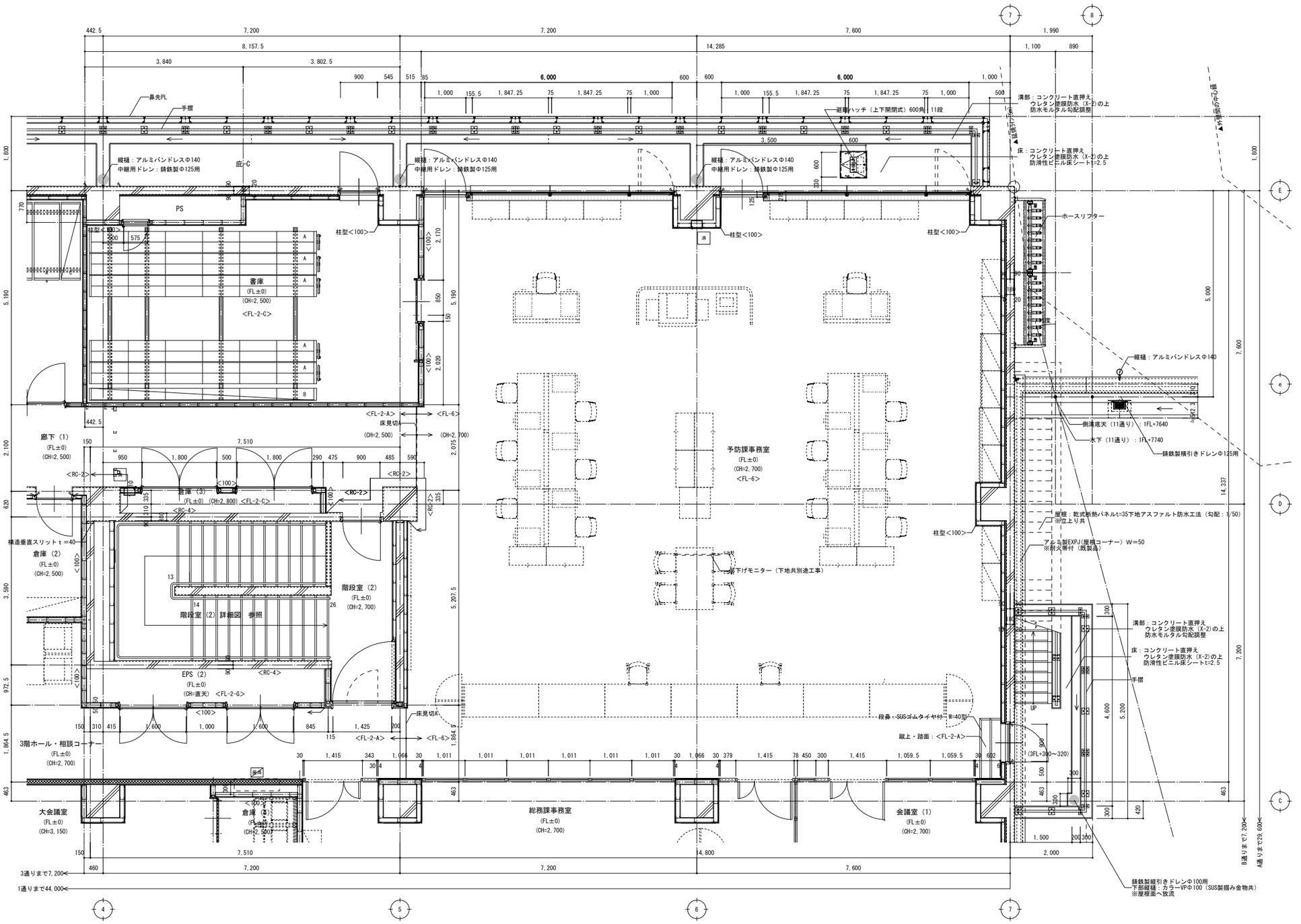
真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院 磁気偏角一覧図 2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′ 43.38″
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
＜**-*＞	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	

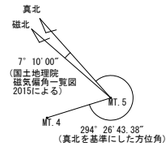


代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

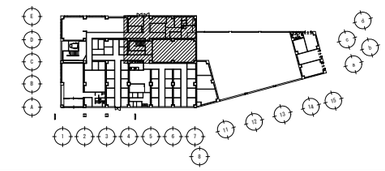
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階平面詳細図（2）	2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳 / 縮尺：A1:1/50 A3:1/100	図面番号：A-135



3階平面詳細図（3）

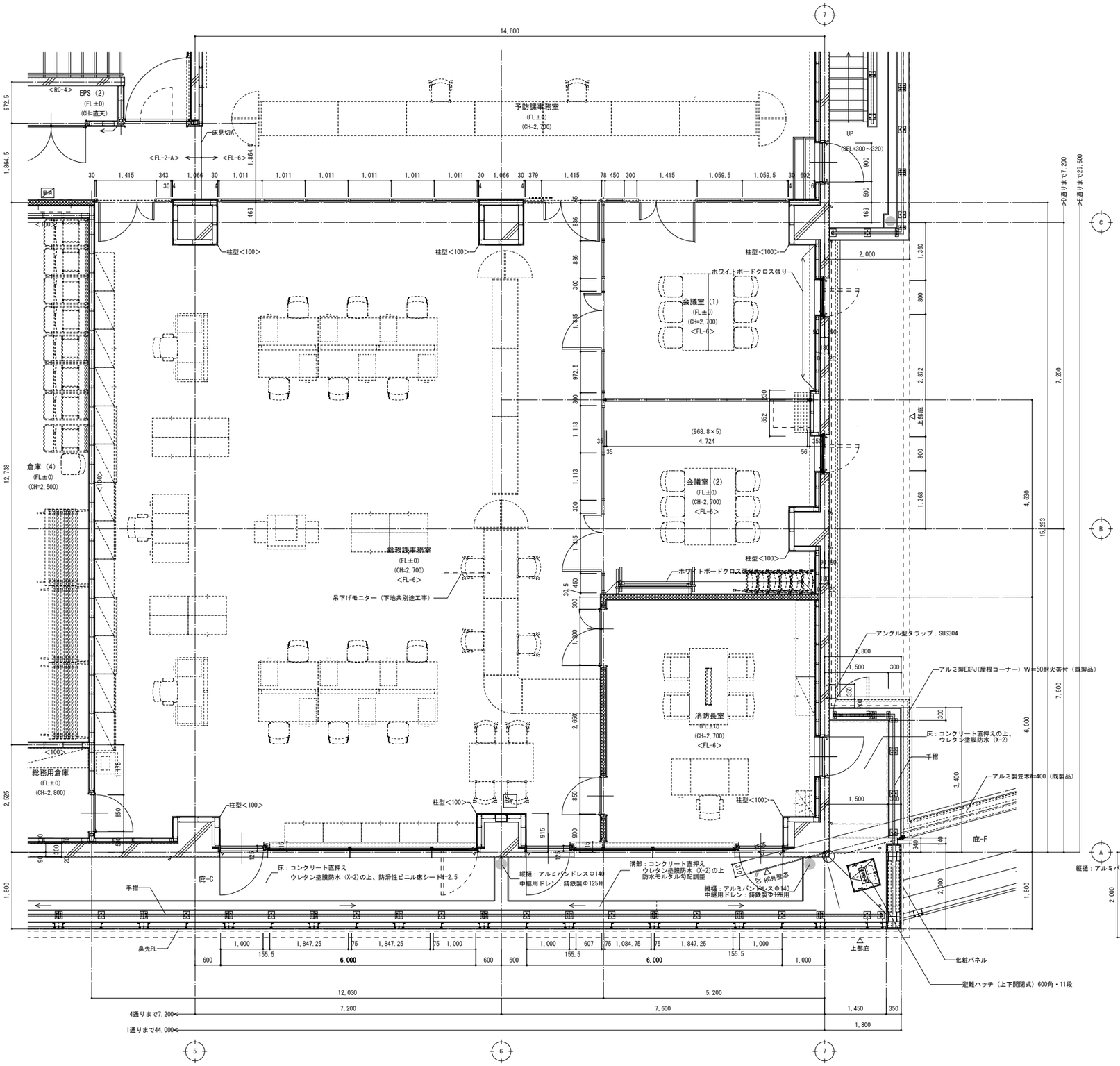


凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	



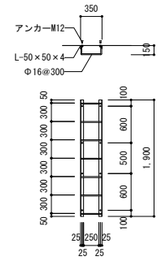
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 3階平面詳細図（3）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-136



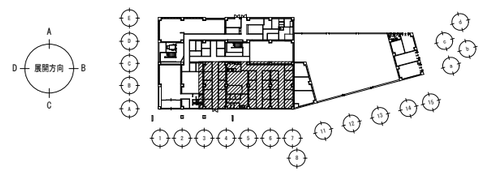
3階平面詳細図（4）

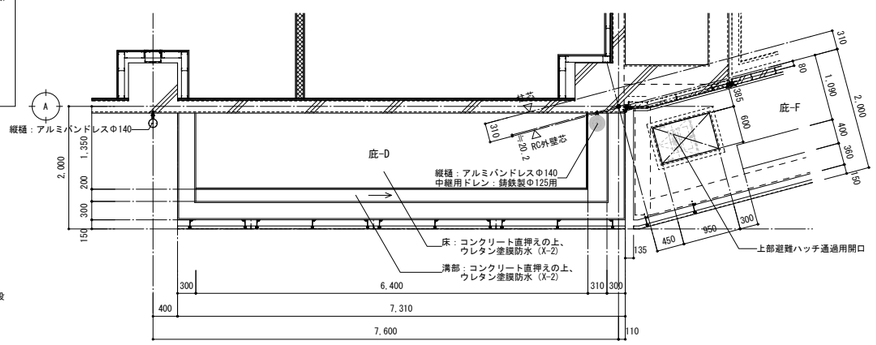
凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	



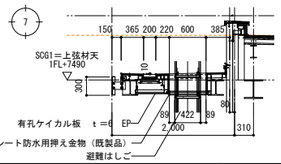
アングル型タラップ　詳細図　A1:1/50　A3:1/100

特記事項
SUSアングル型タラップ1900　杉田エース株式会社同等
材料：SUS304（HL）





庇-D・庇-F取り合い詳細図



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階平面詳細図（4）	2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50　A3:1/100
		図面番号：A-137

縦樋：アルミバンドレスΦ140

縦樋：アルミバンドレスΦ140

縦樋：アルミバンドレスΦ140

アルミ笠木（既製品）W=400

アルミ笠木（既製品）W=450

縦樋：アルミバンドレスΦ140

錆鉄製横引きドレンΦ125用
側溝底天（11通り）：1FL+7640
水下（11通り）：1FL+7740

錆鉄製横引きドレンΦ125用
側溝底天（12通り）：1FL+7696
水下（12通り）：1FL+7796

錆鉄製横引きドレンΦ125用
側溝底天（13通り）：1FL+7751
水下（13通り）：1FL+7851

錆鉄製横引きドレンΦ125用
側溝底天（14通り）：1FL+7807
水下（14通り）：1FL+7907

▼延焼ライン(5m)

ルーフファン（設備工事）

ルーフファン（設備工事）

ルーフファン（設備工事）

ルーフファン（設備工事）

ルーフファン（設備工事）

ルーフファン（設備工事）

アルミ製EXP.(屋根コーナー) W=50
※耐火帯付（既製品）

清部：コンクリート直押え
ウレタン塗膜防水（X-2)の上
防水モルタル勾配調整

床：コンクリート直押え
ウレタン塗膜防水（X-2)の上
防滑性ビニル床シートt=2.5

屋根：断熱パネルt=35下地アスファルト防水工法（勾配：1/50）
※立上り共

勾配：1/50

勾配：1/50

真北
磁北
7° 10' 00"
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
294° 26' 43.38"
（真北を基準にした方位角）

柱型<100>

錆鉄製縦引きドレンΦ100用
下部縦樋：カラーVPΦ100（SUS製掴み金物共）
※屋根面へ放流

会議室（1）
(FL±0)
(CH=2,700)

会議室（2）
(FL±0)
(CH=2,700)

消防長室
(FL±0)
(CH=2,700)

庇工事

庇-F

水上：1FL+8220（一定）

化粧パネル

塩ビシート系防水用縦型ドレンΦ100

避難ハッチ（上下開閉式）600角・11段

縦樋：アルミバンドレスΦ140
中継用ドレン：錆鉄製Φ125用

15通りまで1,240

凡　例	仕　様	特記事項
	RC壁	・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
	LGS壁　特記なき限り65型	部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
	LGS壁（グラスウール充填）	また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する
	柱型出隅部　20×20面取り ※凡例以外は、原則ピン角とする	
	シーリングを示す	

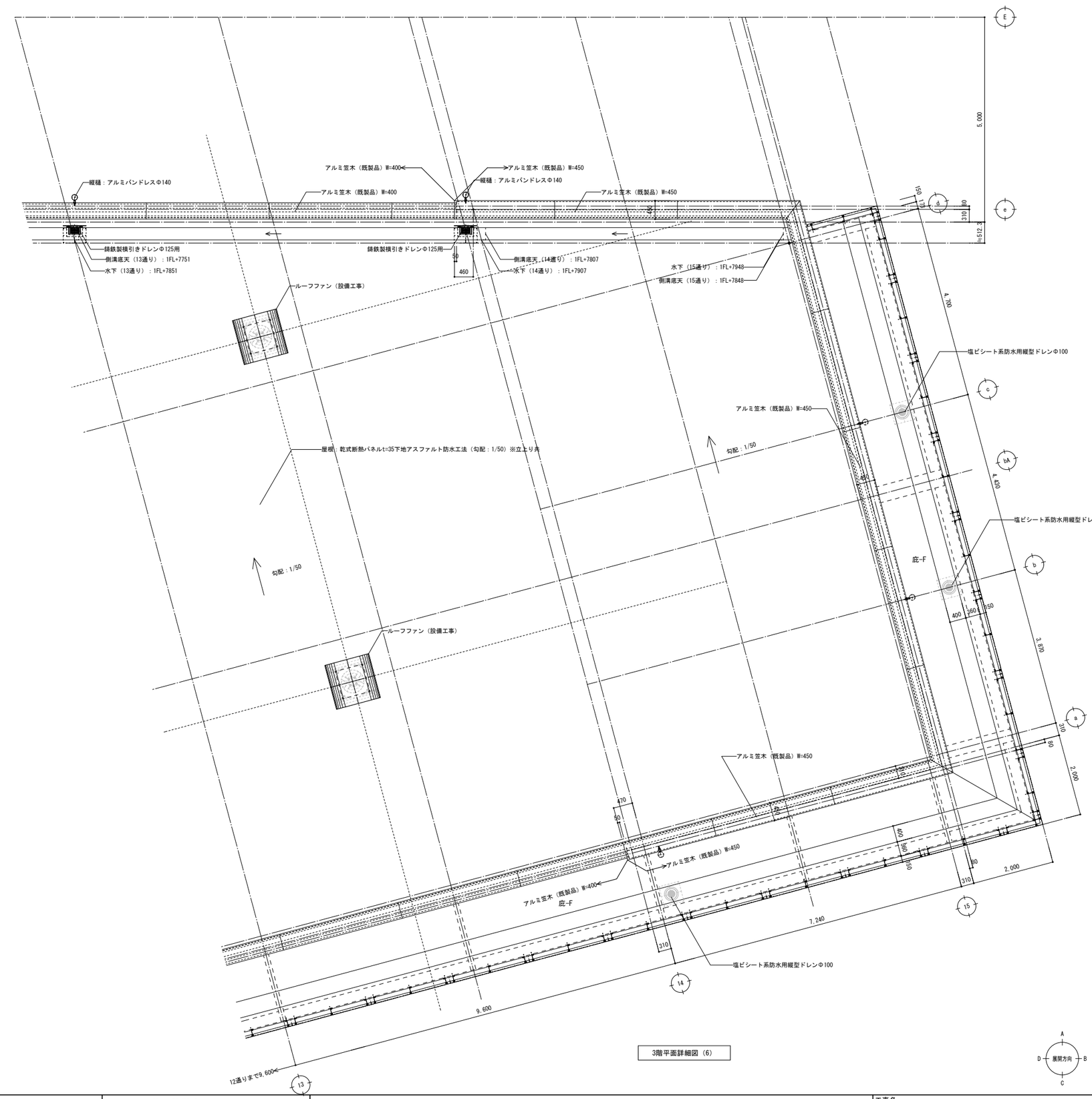
3階平面詳細図（5）

A
D 展開方向 B
C

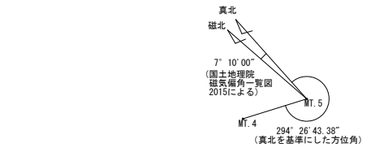
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

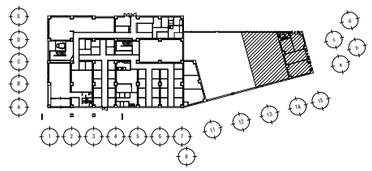
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階平面詳細図（5）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-138



3階平面詳細図（6）





代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 3階平面詳細図（6）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-139

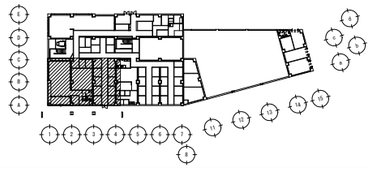
真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT. 5
MT. 4
294° 26′ 43. 38″
（真北を基準にした方位角）

7, 600
7, 200
7, 200
>5通りまで29, 600
>5通りまで7, 200
▼外壁芯の中心線
▼基礎外ぐ(5m)
C
B
A
7, 600
730
2, 000
350
1, 700
2. 050
20
350
445
2, 250
6, 750
2, 250
600
2, 250
15
2, 380
7, 140
2, 380
600
2, 380
455
150
1, 350
300
100
140
50
1, 300
5, 900
1, 300
6, 300
7, 200
7, 600
7, 200
7, 200
>5通りまで7, 200
>7通りまで44, 000
1
2
3
4
コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
パラペット天端：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
アルミ庇（既製品）
梁天端：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
OPEN
梁天端：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
アルミ庇（既製品）
パラペット天端：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
梁天端：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
鼻先PL：St　t＝3.2曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）
平場・溝部：コンクリート直押えの上、
ウレタン塗膜防水（X-2）
溝部：防水モルタル勾配調整
袖パネル：St　t＝3.2曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）
鼻先PL：St　t＝3.2曲げ加工　Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）
太陽光発電機器用基礎
水上
150　350　150
勾配：1/49.3
屋根：
アスファルト保護防水密着断熱工法（AⅠ-2）
押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ　ｔ＝50
押えコンクリートｔ＝80
溶接金網6Φ150×150入り
伸縮目地（既製品）@3000以内

特記事項
排水溝にかかれたレベルは、周囲保護コンクリート面からのレベルとする。
また排水勾配は、記載数値より緩くしない様に調整する。
錆鉄製横引きドレンΦ125用
1/200
1/100
1/100
-20
-60
-20
-60
水下
縦樋：アルミバンドレスΦ140（天端掃除口付）
中継用ドレン：錆鉄製Φ125用
縦樋：アルミバンドレスΦ140（天端掃除口付）
中継用ドレン：錆鉄製Φ125用

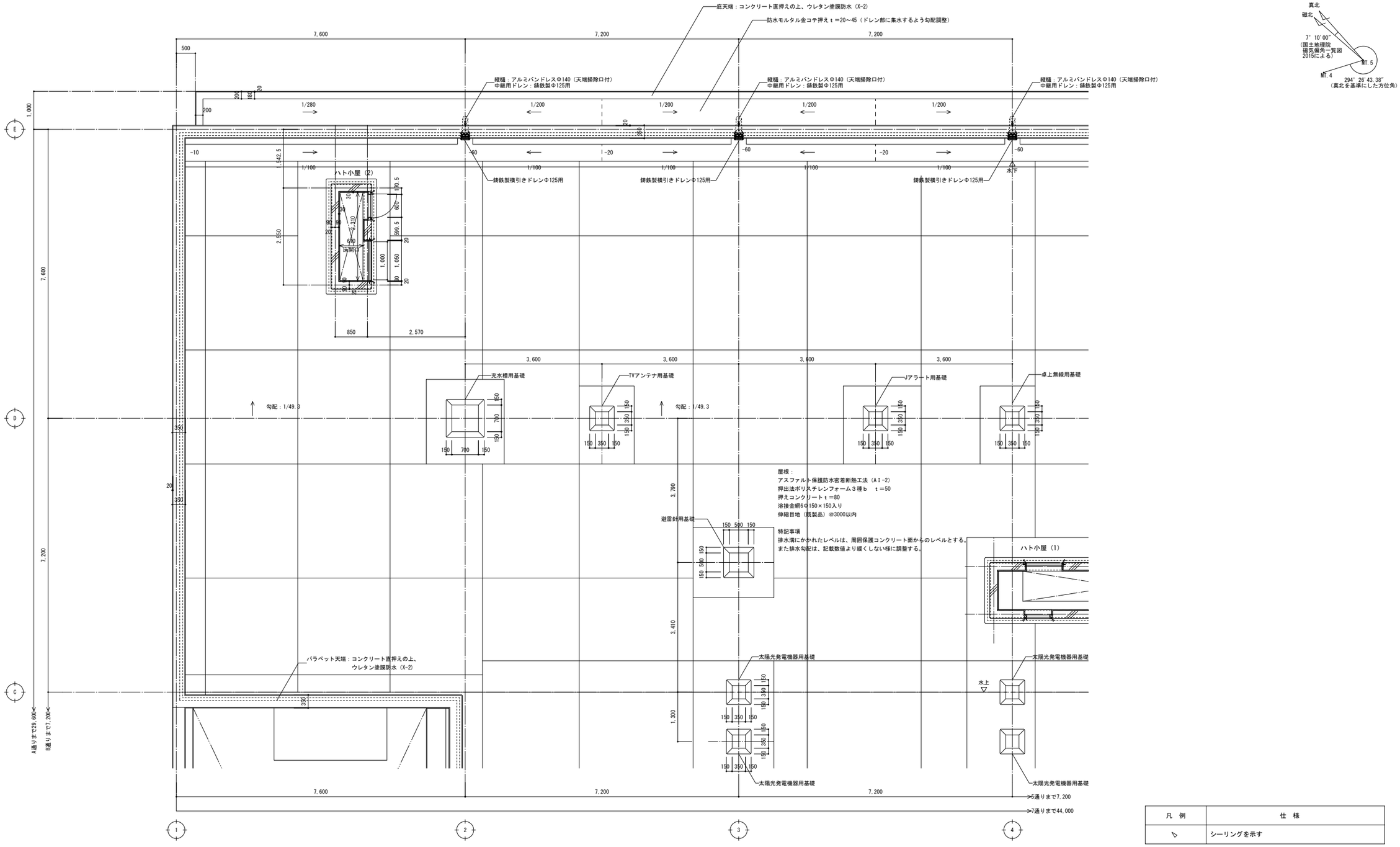
凡　例	仕　様
▽	シーリングを示す

屋根平面詳細図（1）



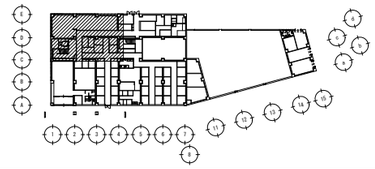
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 屋根平面詳細図（1）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-140



屋根平面詳細図（2）

凡　例	仕　様
▷	シーリングを示す



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　屋根平面詳細図（2）	2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50　A3:1/100
		図面番号：A-141

真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′ 43.38″
（真北を基準にした方位角）

縦樋：アルミパンドレスΦ140（天端掃除口付）
中継用ドレン：鋳鉄製Φ125用
底天端：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）
防水モルタル金コテ押え t＝20～45（ドレン部に集水するよう勾配調整）
鋳鉄製横引きドレンΦ125用
水下
パラペット天端：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）
ホースリフター
屋上手摺B
手摺受け：L-65×65×5　※最寄りの支柱間に溶接
屋上手摺A
屋上手摺C
屋上手摺天レベル
屋上手摺A：パラペット天+950
屋上手摺B：パラペット天+950
屋上手摺C（C通り）：パラペット天+950
屋上手摺C（以外）：パラペット天+950～650
UP
勾配：1/49.3
卓上無線用基礎
風向き・風速計用基礎
※BPL（アンカー共）より上は、別途
雨量計基礎
パラボラアンテナ用基礎
足元：手摺布基礎
避雷針用基礎
ハト小屋（1）
有効開口寸
床開口
5.085
太陽光発電機器用基礎
手摺扉：St　Zn処理の上、リン酸処理
パラペット天端：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）
鼻先PL
溝部：防水モルタル勾配調整
平場・溝部：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）
B通りまで7,200
A通りまで29,600
3通りまで7,200
1通りまで44,000

屋根：
アスファルト保護防水密着断熱工法（A Ⅰ-2）
押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ　t＝50
押えコンクリート t＝80
溶接金網Φ6@150×150入り
伸縮目地（既製品）※3000以内

特記事項
排水溝にかかれたレベルは、周囲保護コンクリート面からのレベルとする。
また排水勾配は、記載数値より緩くしない様に調整する。

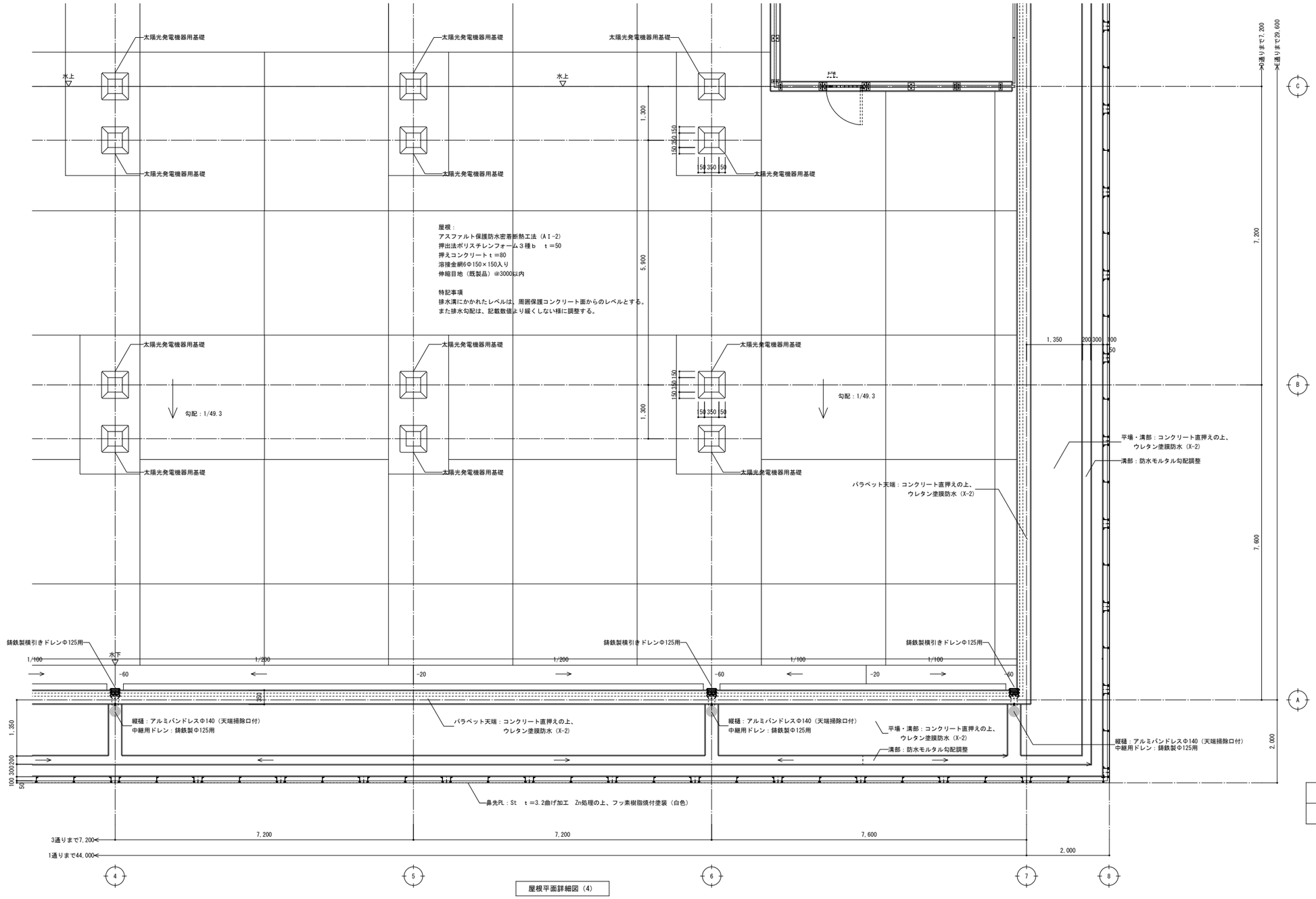
凡　例	仕　様
▷	シーリングを示す

屋根平面詳細図（3）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

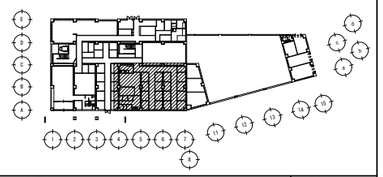
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　屋根平面詳細図（3）	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-142



屋根平面詳細図（4）

凡　例	仕　様
▷	シーリングを示す

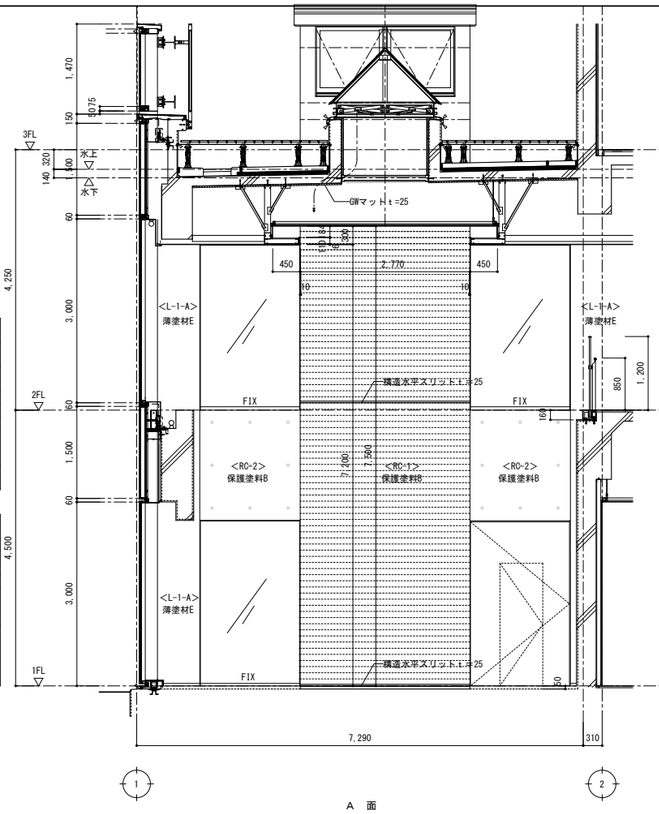


代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

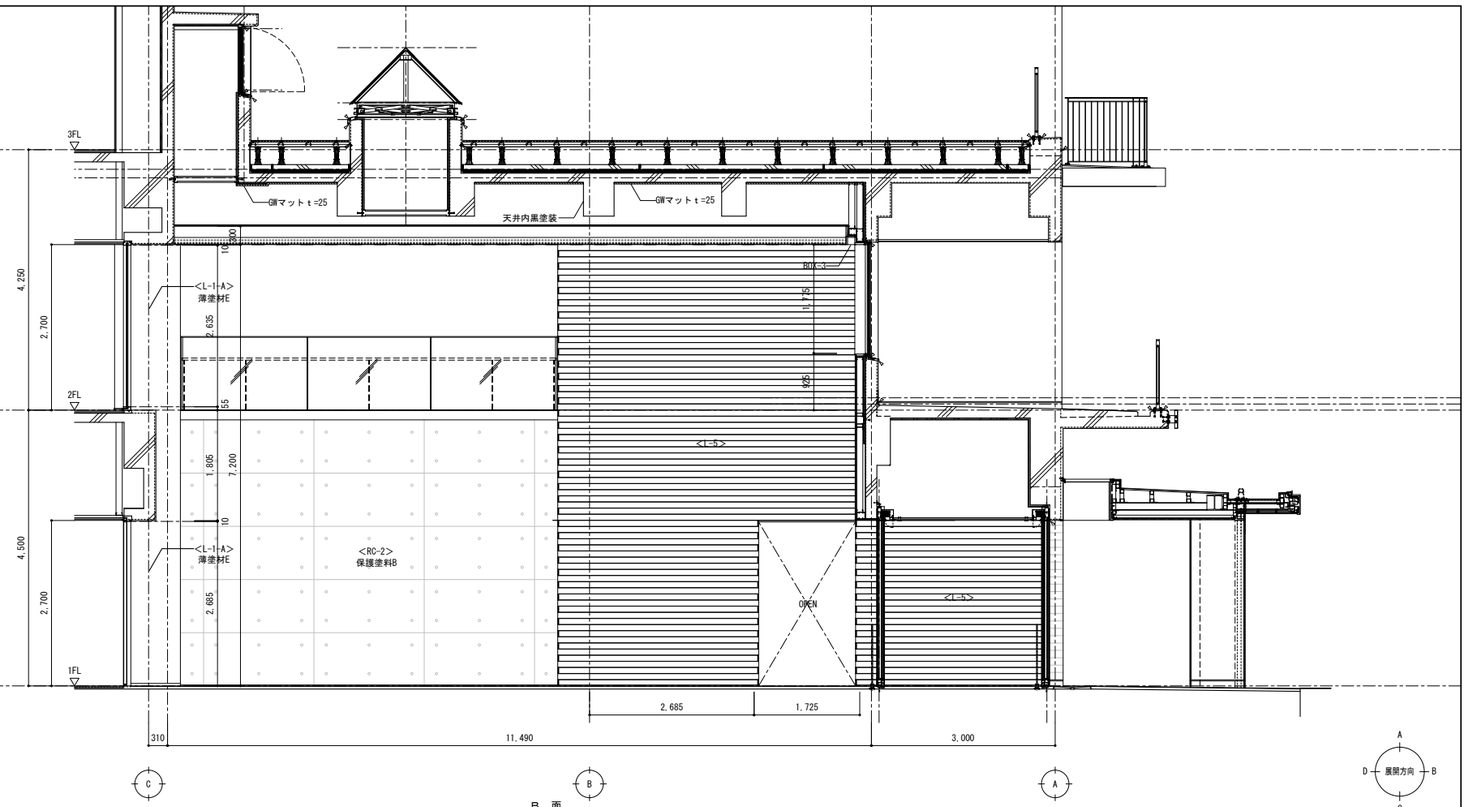
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　屋根平面詳細図（4）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-143

風除室	
床	<FL-4>　<FL-5>
巾木	W（杉）NP
壁	図示 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	DR　t＝12（GB-R　t＝12.5捨張り）

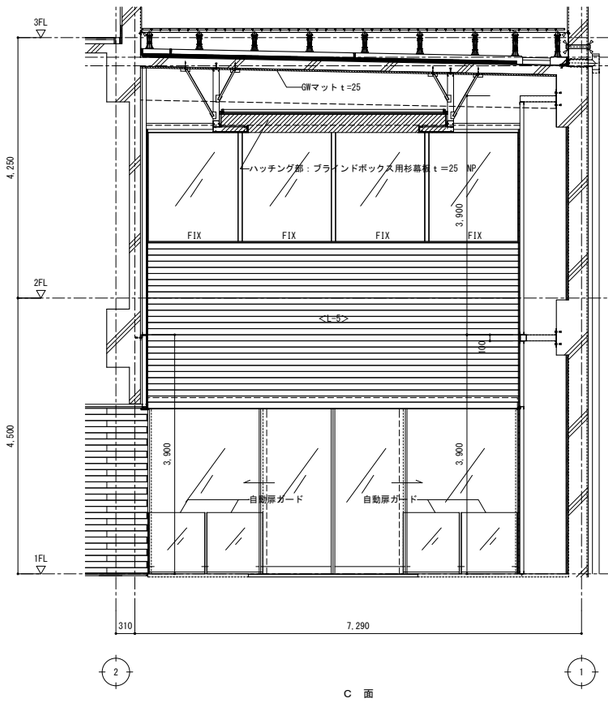
エントランスホール	
床	<FL-4>　<FL-5>
巾木	RC（A・杉）　W（杉）NP
壁	図示 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	DR　t＝12（GB-R　t＝12.5捨張り） 突板練付不燃板 t＝6　透かし張り



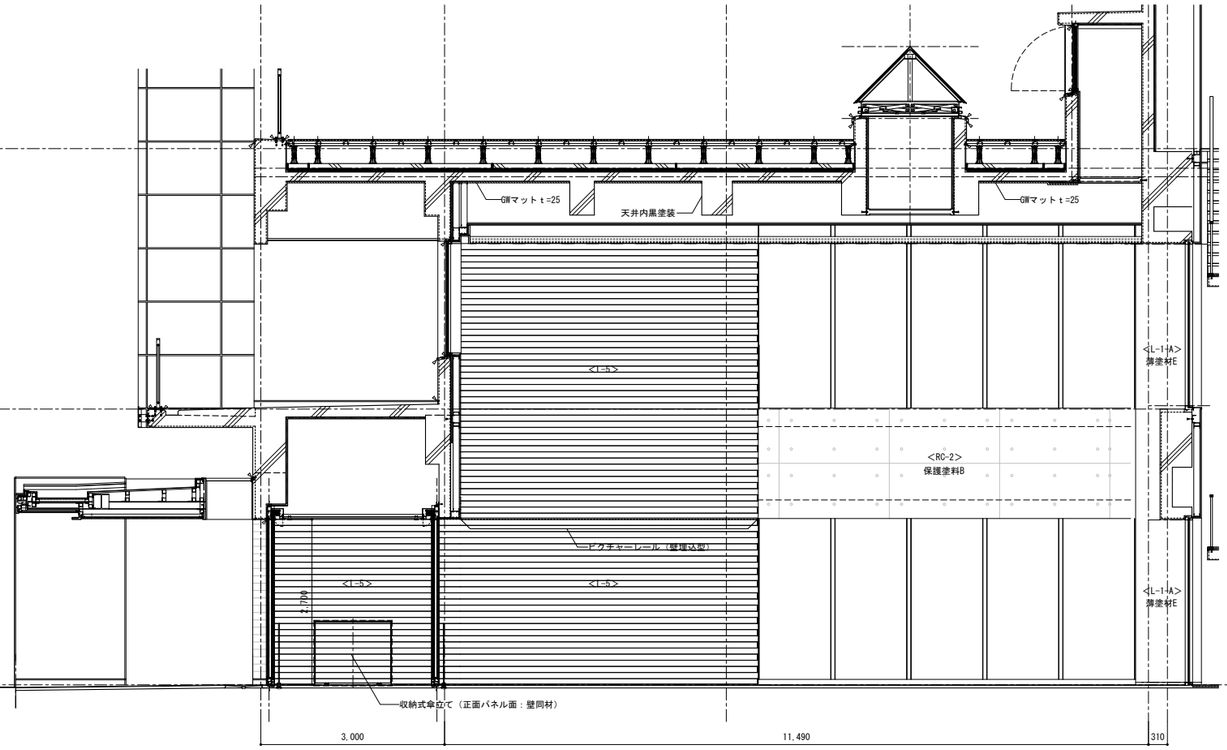
A　面



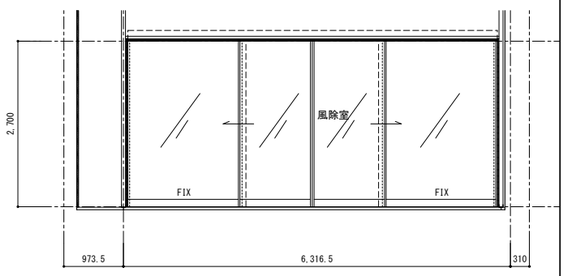
B　面



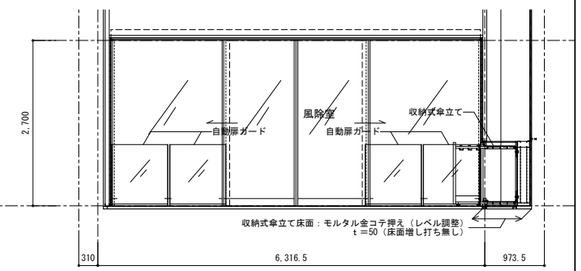
C　面



D　面



A　面

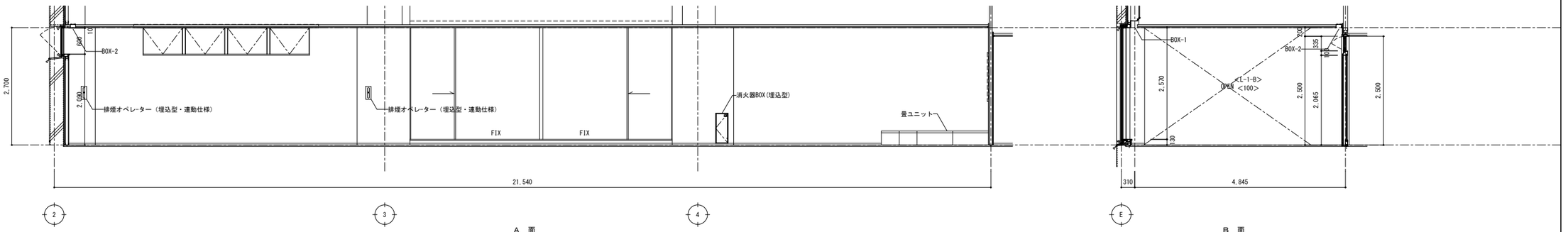


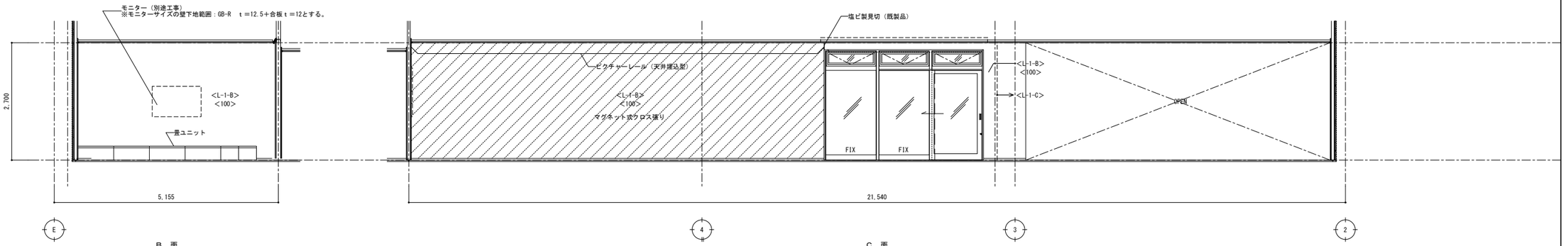
C　面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

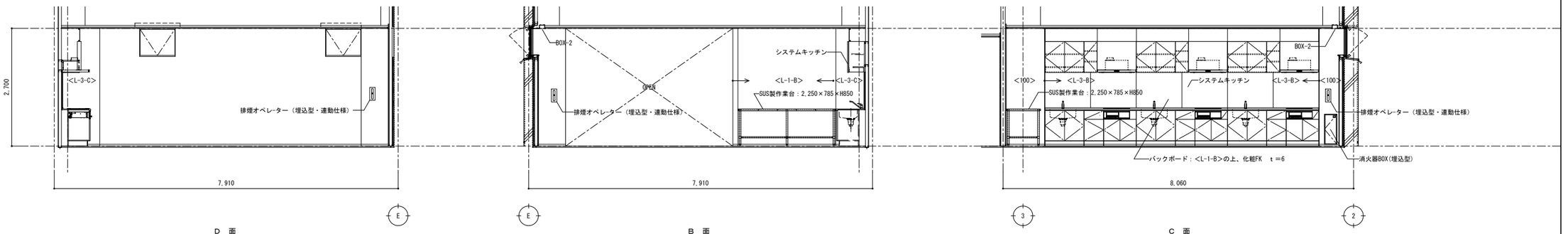
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（1）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-144

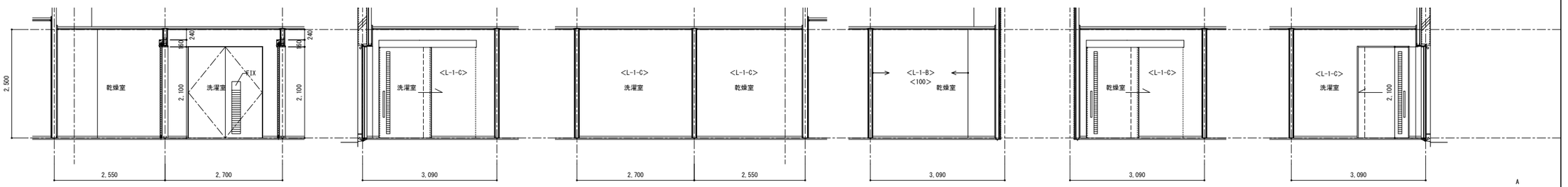
食堂	
床	<FL-2-B>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 不燃メラミン化粧板 t =3 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t =9.5 EP-G
備考	





洗濯室　乾燥室	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	NAD 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t =9.5
備考	



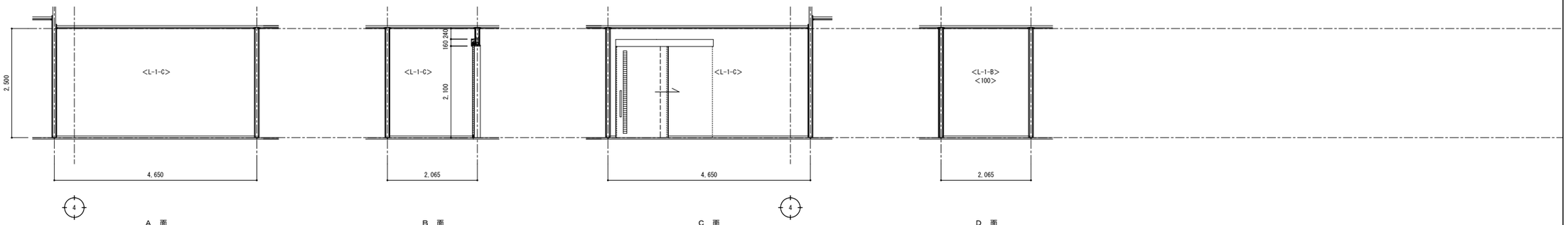


特記事項

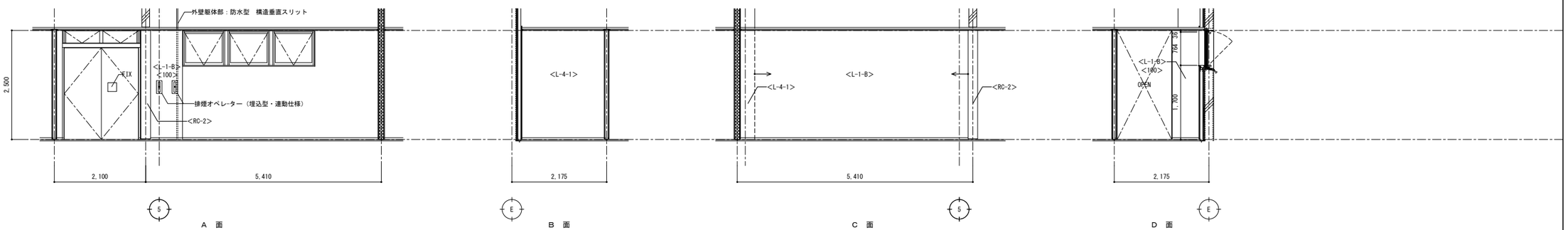
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-145

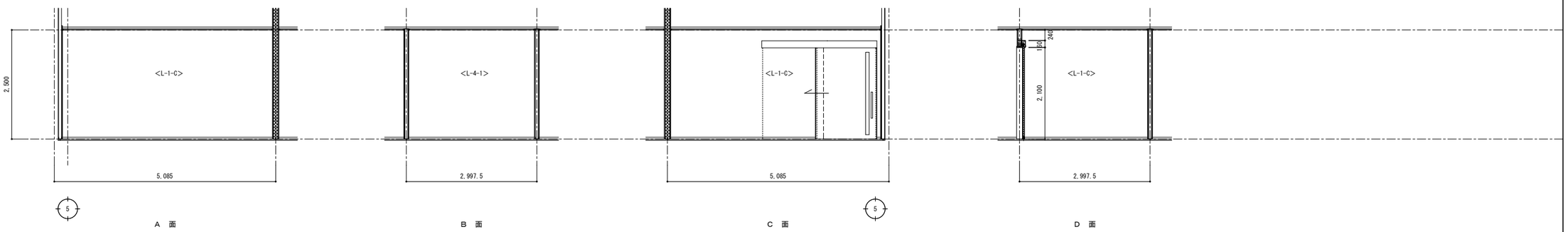
リネン庫	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



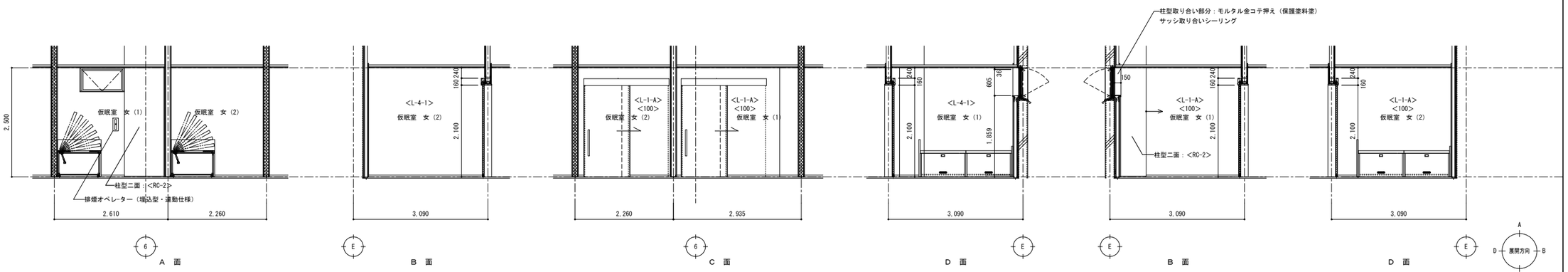
下足室	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



火災原因調査室	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



仮眠室 女（1）（2）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	

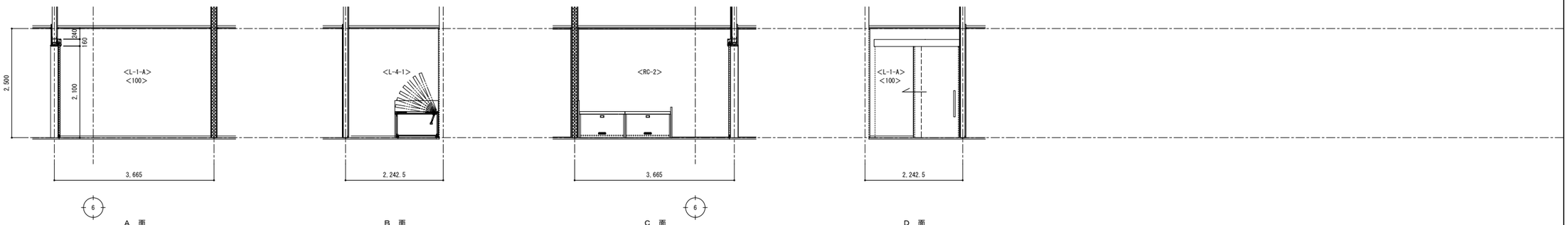


特記事項

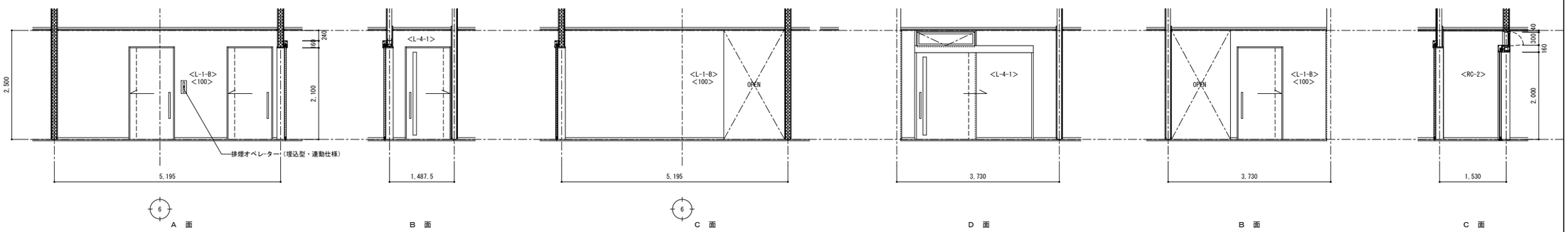
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 1階展開図（3）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-146

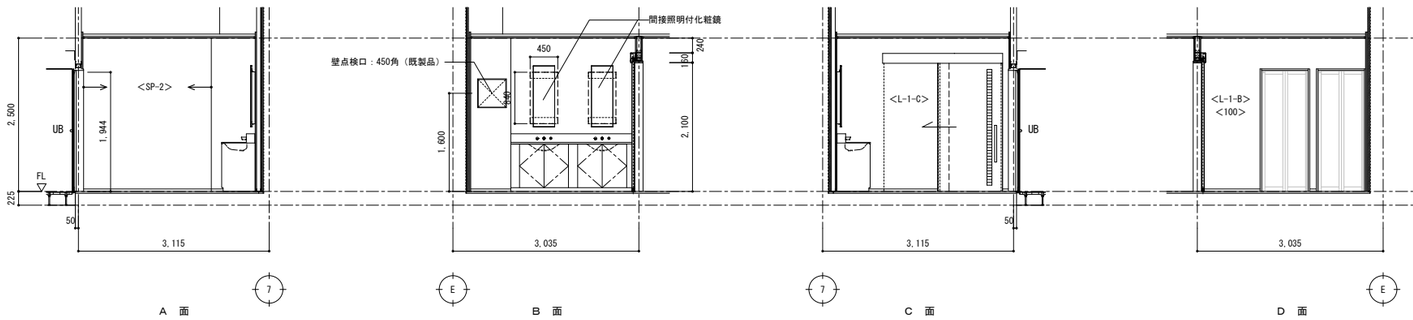
仮眠室　女（３）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



廊下（３）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

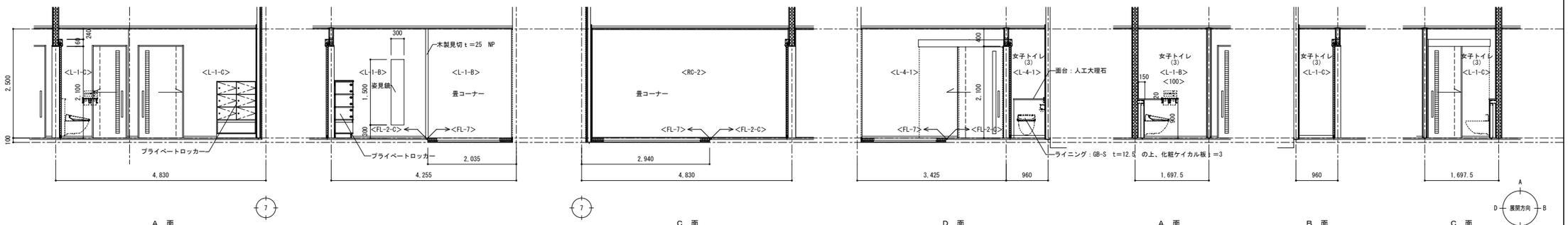


浴室・脱衣室　洗面室（女）	
床	<FL-7-B>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S　t＝12.5 +耐水合板ｔ＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

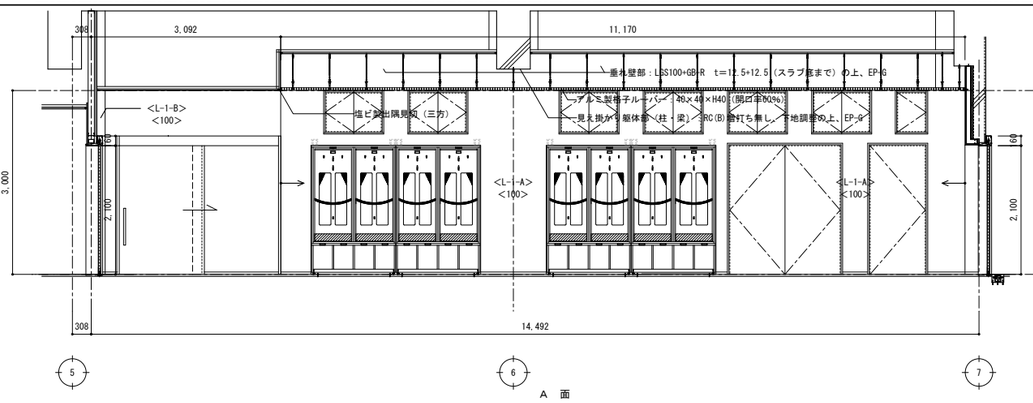
更衣室（女）　女子トイレ（3）	
床	<FL-2-C>　<FL-7>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



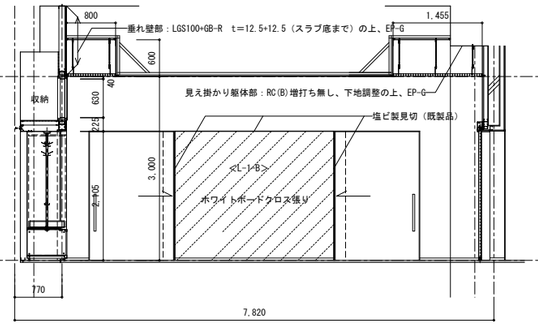
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（4）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	小田　文武	設計者名	安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号 A-147

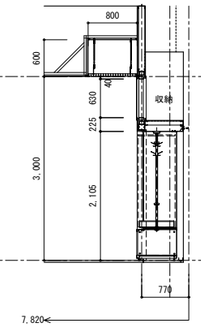
出動準備スペース	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC t=9.5 EP-G
備考	

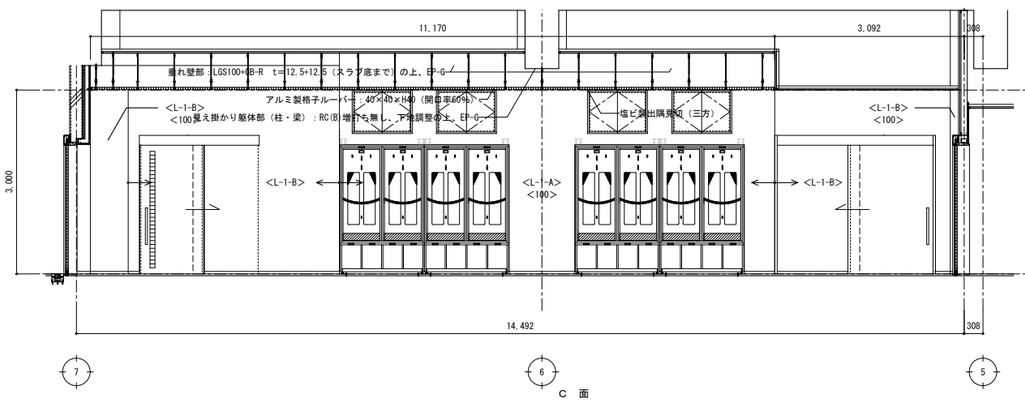


A 面

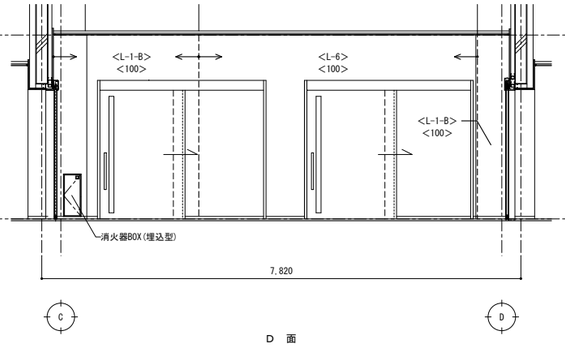


B 面



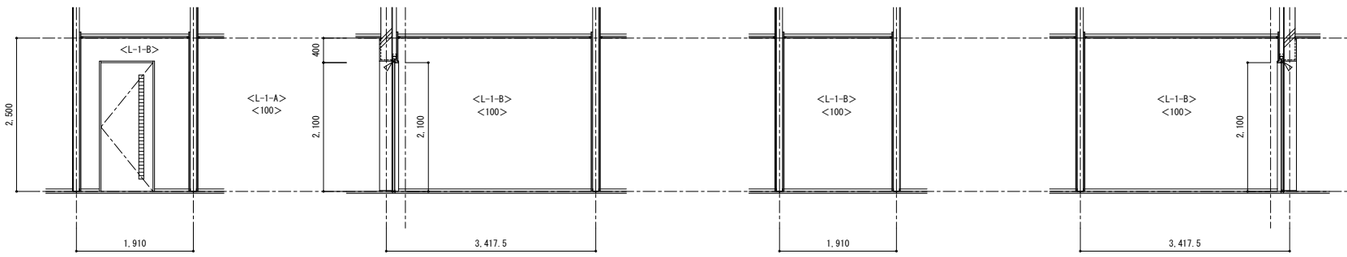


C 面



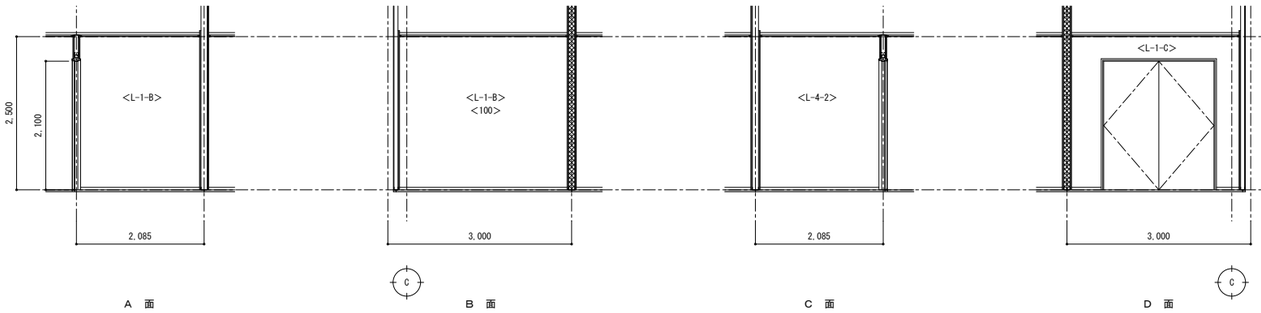
D 面

倉庫（1）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



A 面　B 面　C 面　D 面

倉庫（2）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



A 面　B 面　C 面　D 面

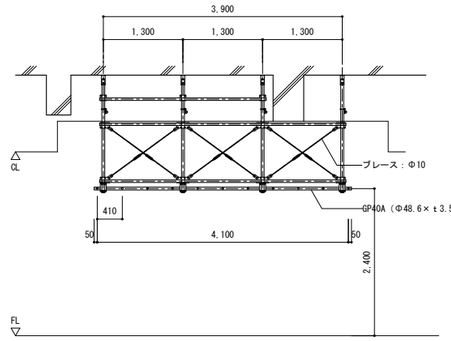
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

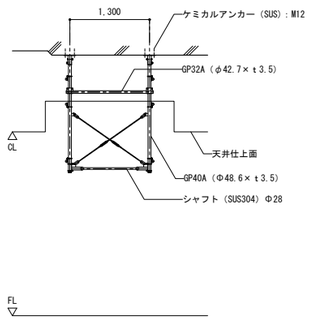
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階展開図（5）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-148

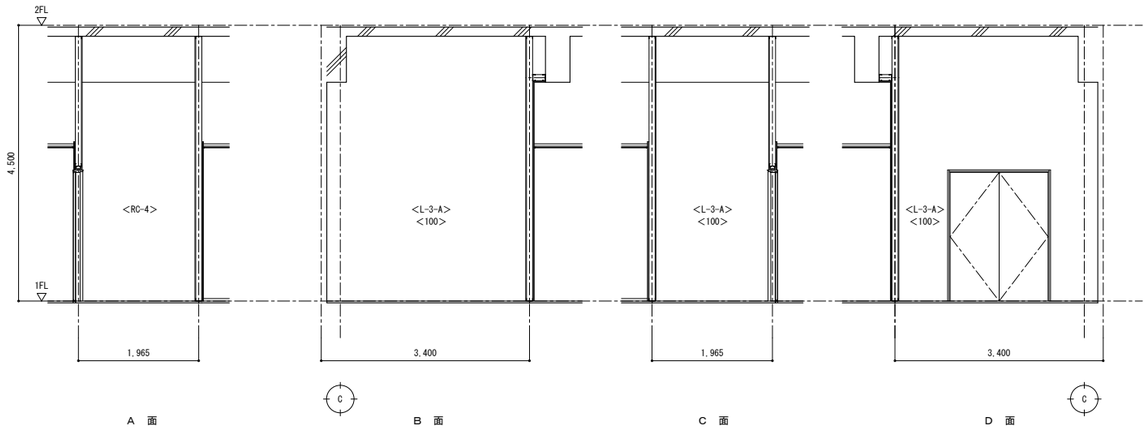
震梯　参考図

特記事項
・ 鋼材は、亜鉛メッキ下地のうえ高温焼付塗装仕上
・生産物賠償責任保険加入製品（対人・対物最高５億円）
・公益財団法人 日本スポーツ施設協会施設用器具部会加盟メーカー品
・吉田体機工業株式会社　同等品



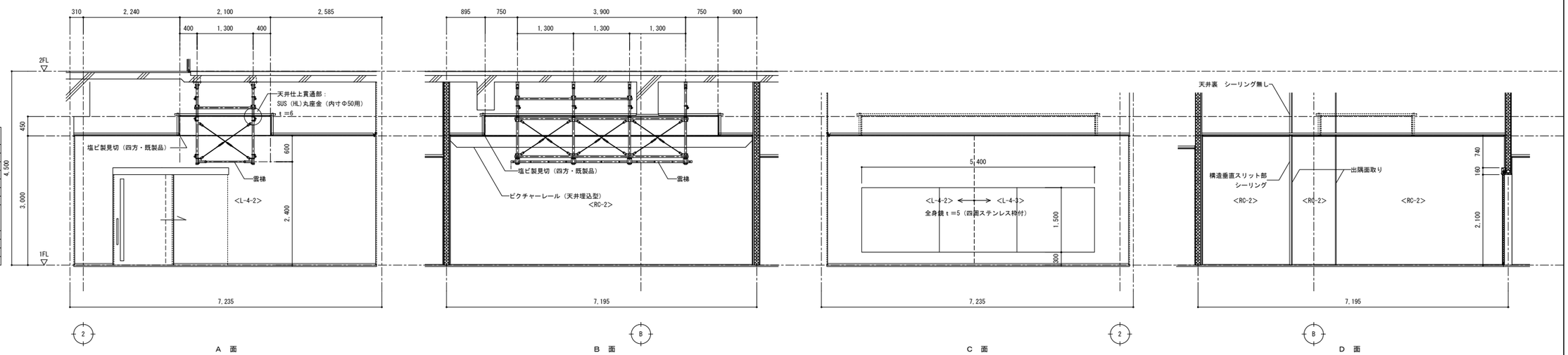


EPS（1）	
床	<FL-7-G>
巾木	—
壁	素地 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	スラブ表し
備考	

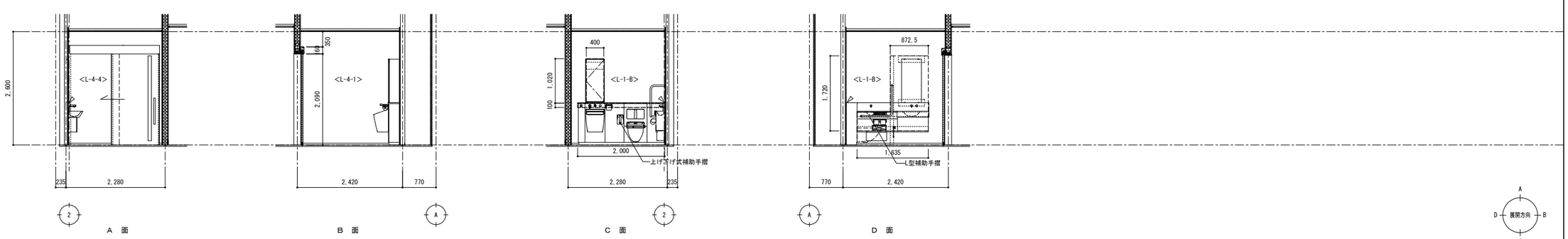


A 面　B 面　C 面　D 面

トレーニング室	
床	<FL-2-E>
巾木	VB H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗材B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t=9.5 EP-G
備考	折り上げ天井面及び側周 GB-R t=12.5 EP-G



多機能トイレ（共用部）	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル張り 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t=9.5 EP-G
備考	トイレユニット・化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）

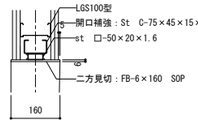


A 面　B 面　C 面　D 面

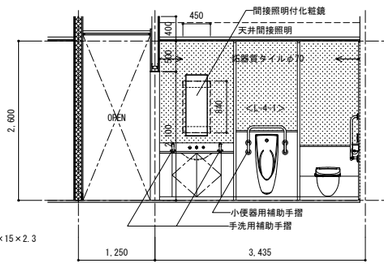
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階展開図（6）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号：A-149

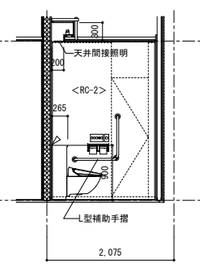
男子トイレ（共用部）	
床	<FL-2-D>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P　t＝9.5　EP-G
備考	トイレユニット・化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



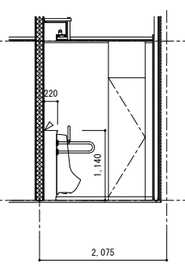
木製二方見切詳細図　A1:1/10　A3:1/20



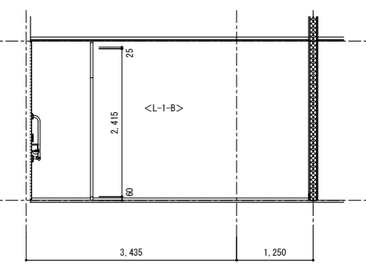
A　面



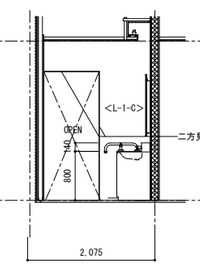
B　面



B　面



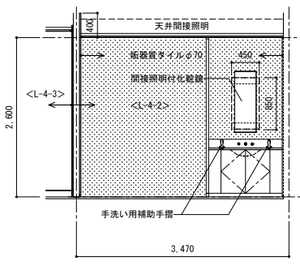
C　面



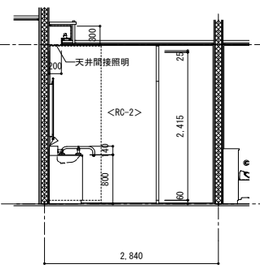
D　面

衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S　t＝12.5+耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

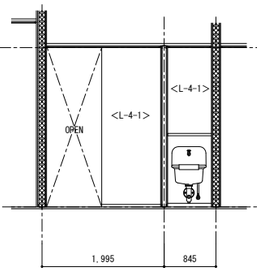
女子トイレ（共用部）	
床	<FL-2-D>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P　t＝9.5　EP-G
備考	トイレユニット・化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



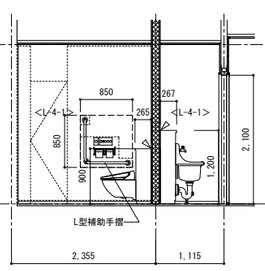
A　面



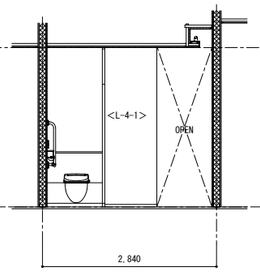
B　面



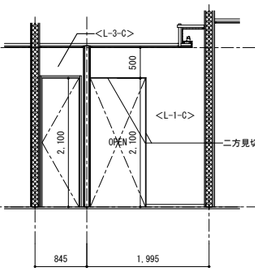
B　面



C　面

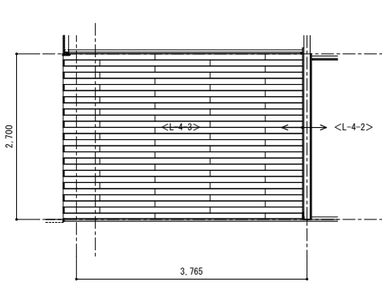


D　面

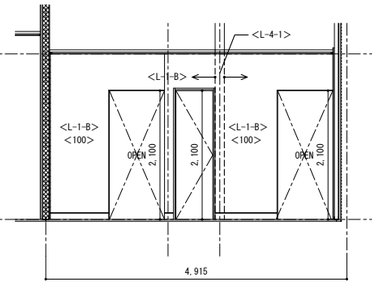


D　面

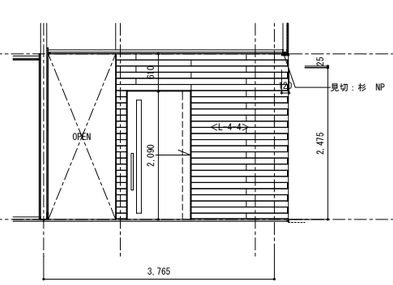
トイレ前通路	
床	<FL-2-A>
巾木	杉　H=100
壁	薄塗材E 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P　t＝9.5　EP-G
備考	



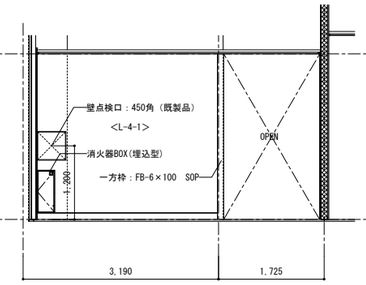
A　面



B　面

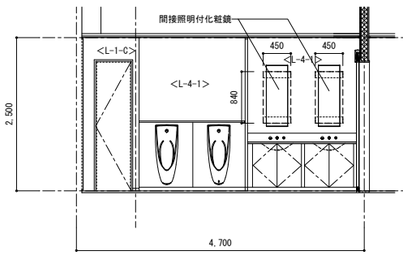


C　面

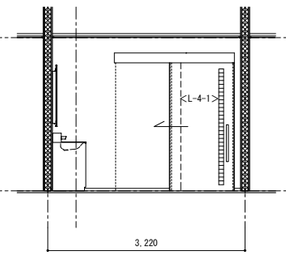


D　面

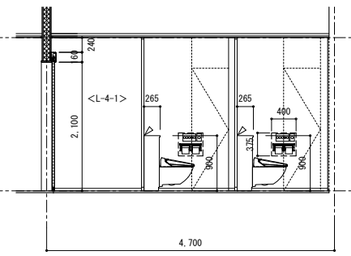
男子トイレ（3）	
床	<FL-2-D>
巾木	VB　H=40
壁	NAD 一部せっ器質タイル <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P　t＝9.5　EP-G
備考	トイレユニット・化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



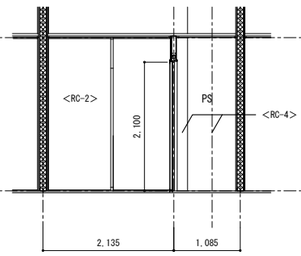
A　面



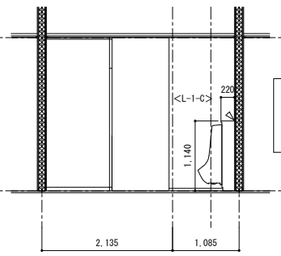
B　面



C　面

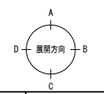


D　面



D　面

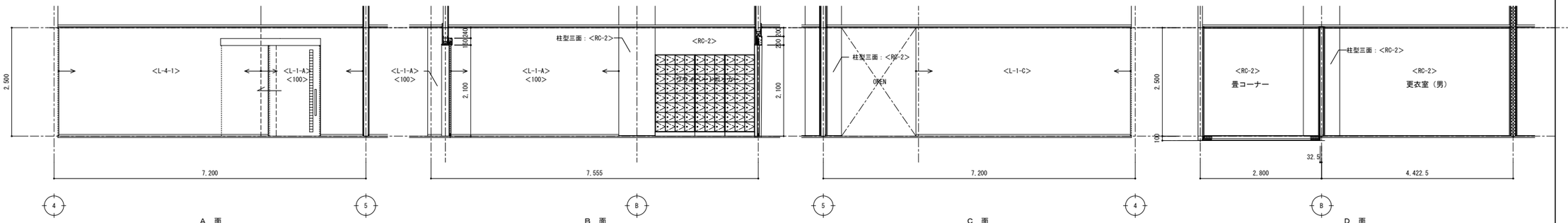
衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S　t＝12.5 +耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

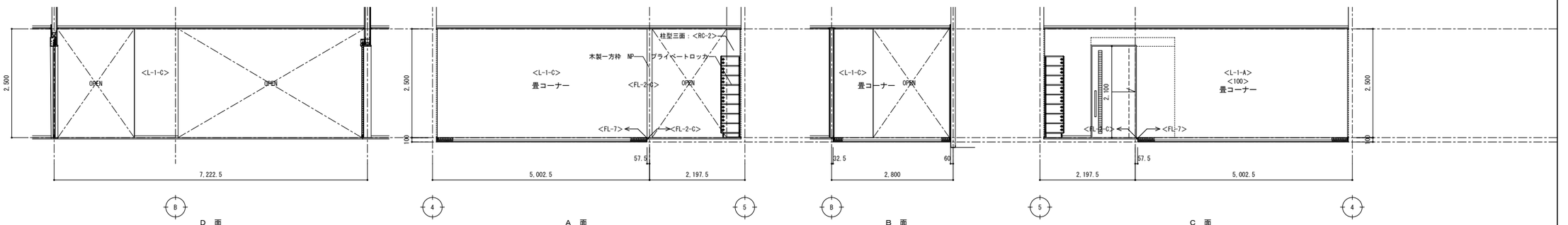


特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

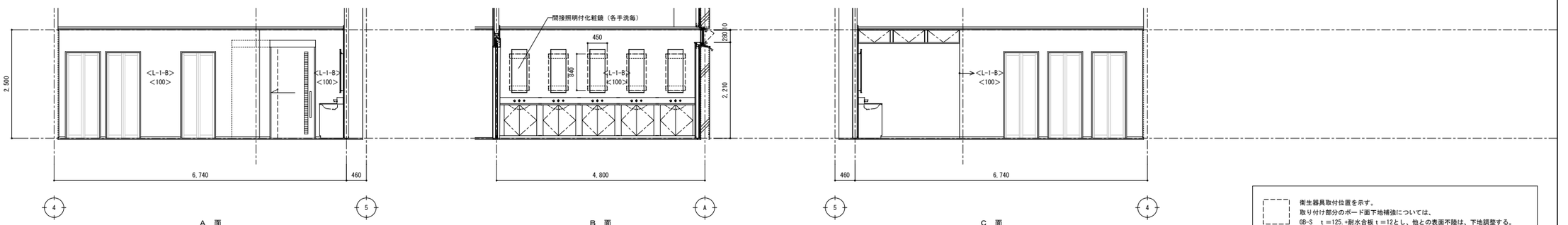
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階展開図（7）		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50　A3:1/100 / 図面番号：A-150

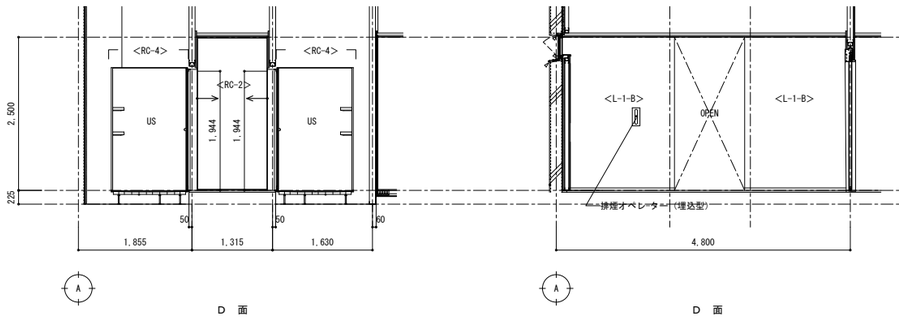
更衣室（男）・畳コーナー	
床	<FL-2-C>　<FL-7>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	





浴室・脱衣室　洗面室（男）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



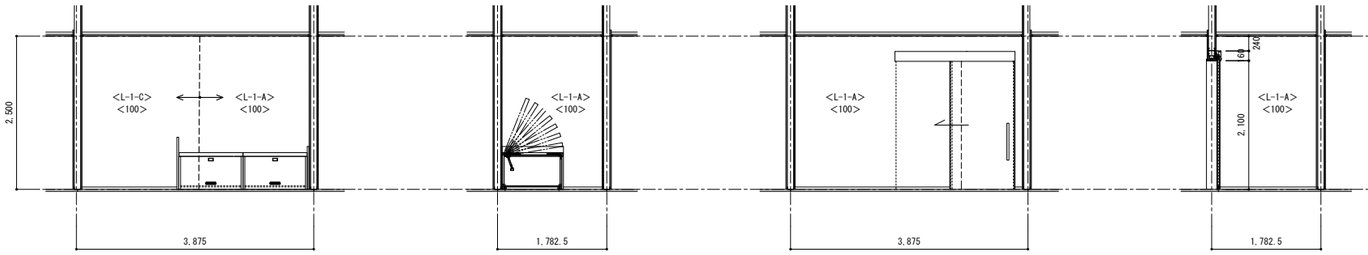


衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S　t＝12.5,+耐水合板ｔ＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

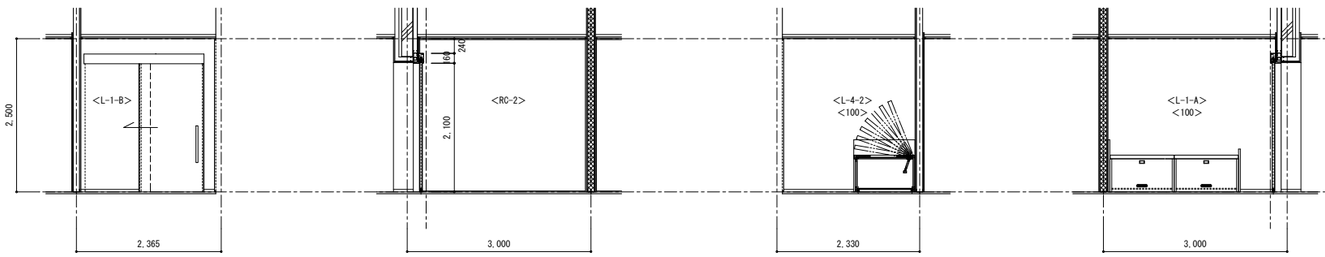
工事名	図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階展開図（8）			2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-151

仮眠室　男（1）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



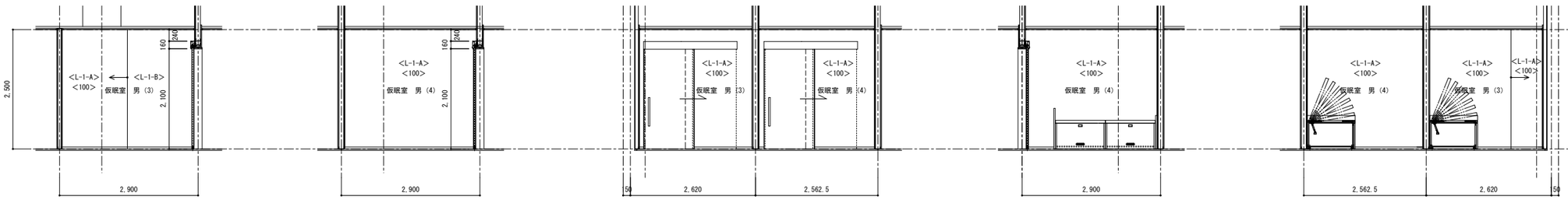
A　面　　B　面　　C　面　　D　面

仮眠室　男（2）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



A　面　　B　面　　C　面　　D　面

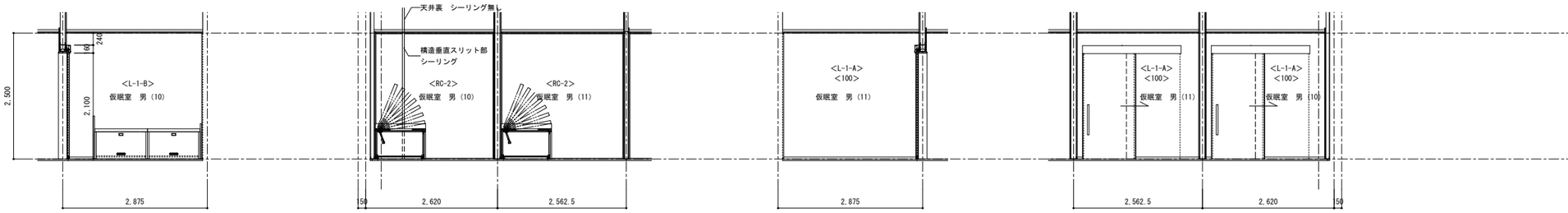
仮眠室　男（3）（4）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



A　面　　A　面　　B　面　　C　面　　D　面

※仮眠室　男（3）　C面　共通

仮眠室　男（10）（11）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

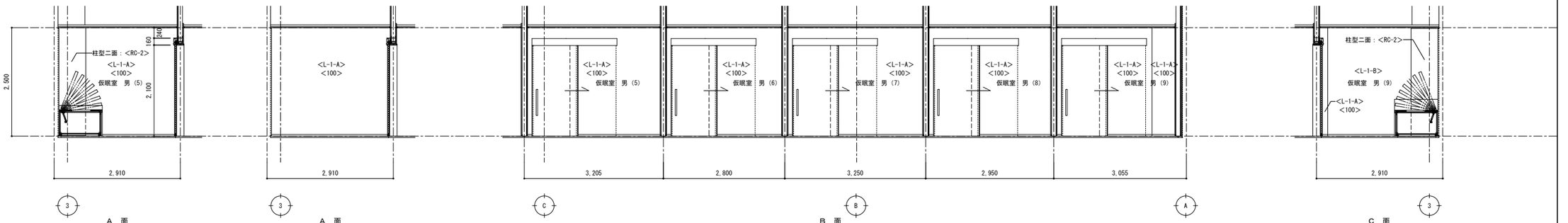


A　面　　※仮眠室　男（11）　A面　共通　　B　面　　C　面　　※仮眠室　男（10）　C面　共通　　D　面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（9）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-152

仮眠室　男（5）～（9）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t=9.5
備考	

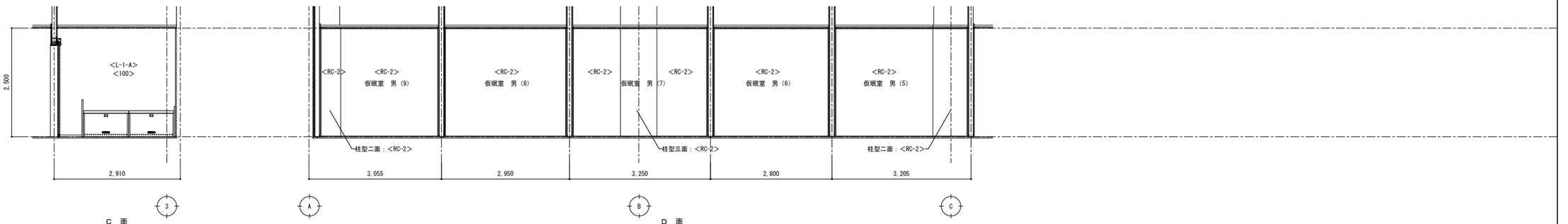


A　面

※仮眠室　男（6）～（9）　A面　共通

B　面

C　面

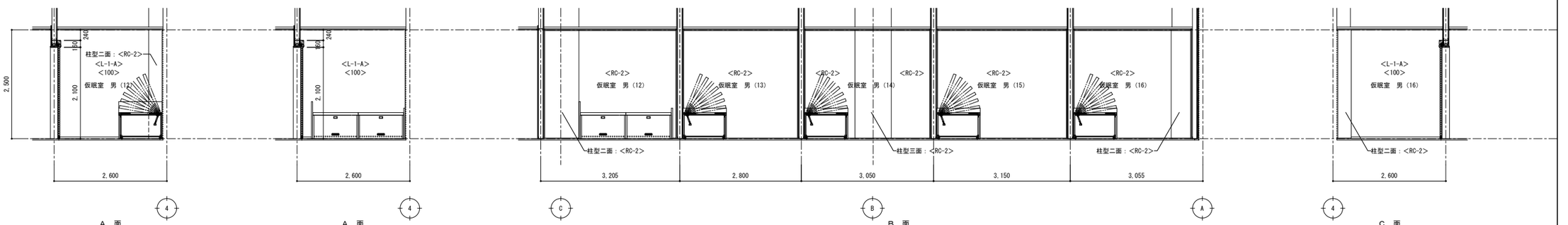


C　面

※仮眠室　男（6）～（9）　C面　共通

D　面

仮眠室　男（12）～（16）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t=9.5
備考	

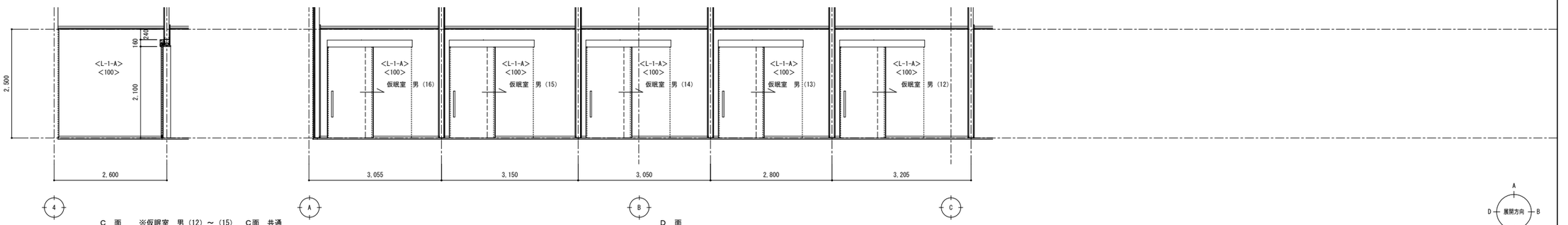


A　面

※仮眠室　男（13）～（16）　A面　共通

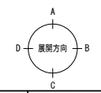
B　面

C　面



C　面　※仮眠室　男（12）～（15）　C面　共通

D　面

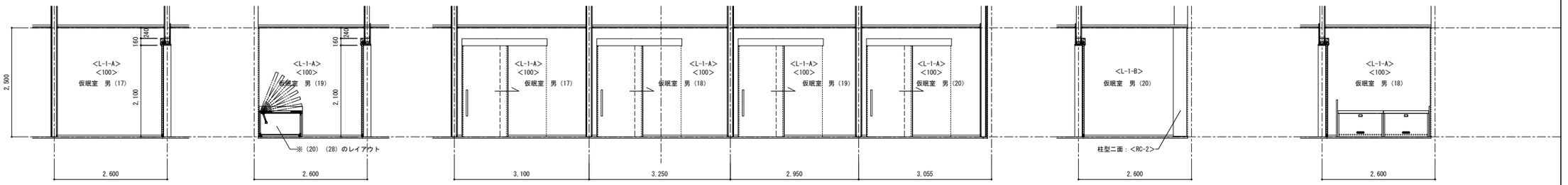


特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（10）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-153

仮眠室　男（17）～（20）　※（25）～（28）共通	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



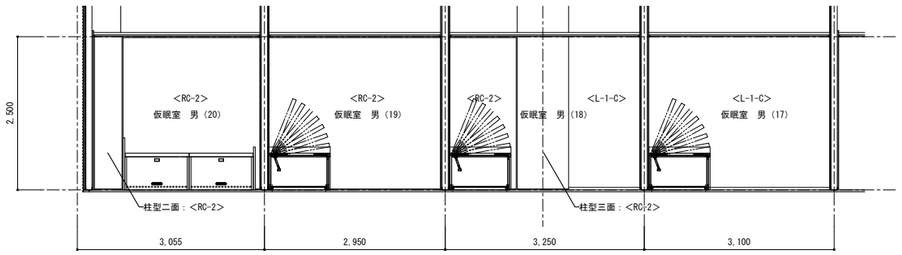
5 6 A面　※仮眠室　男（18）　A面　共通　※仮眠室　男（25）（26）　A面　共通

5 6 A面　※仮眠室　男（20）　A面　共通　※仮眠室　男（27）（28）　A面　共通

B 面　※仮眠室　男（25）～（28）　B面　共通

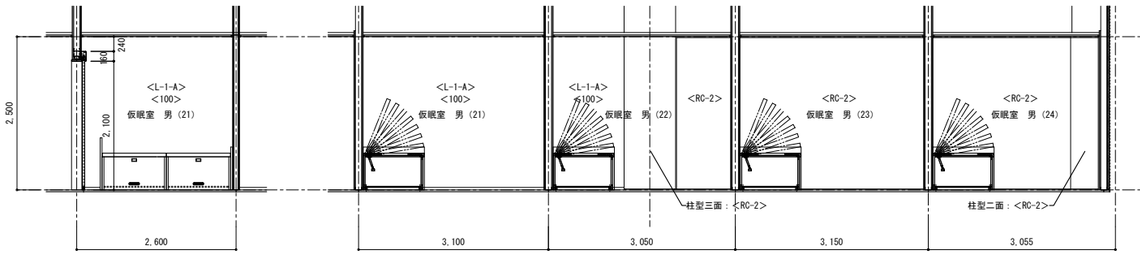
5 6 C面　※仮眠室　男（28）　C面　共通

5 6 C面　※仮眠室　男（19）　C面　共通　※仮眠室　男（26）（27）　C面　共通



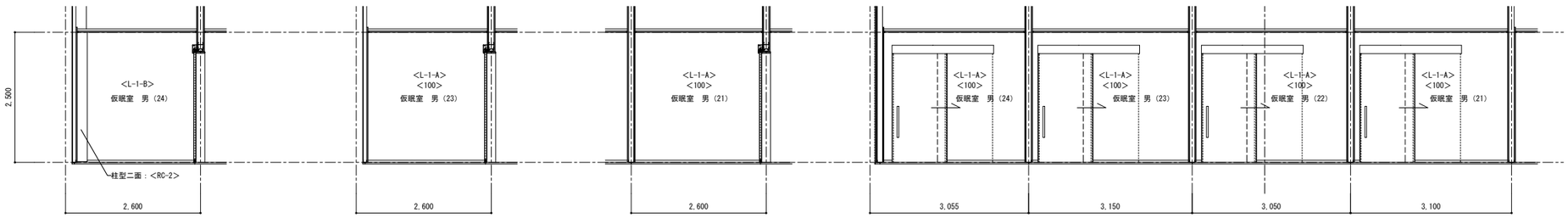
A B D面　※仮眠室　男（25）～（28）　D面　共通

仮眠室　男（21）～（24）　※（29）～（32）共通	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



6 A面

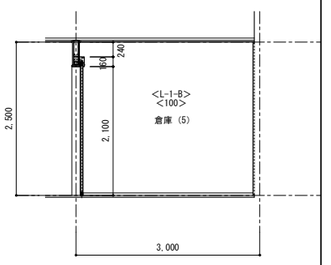
B 面



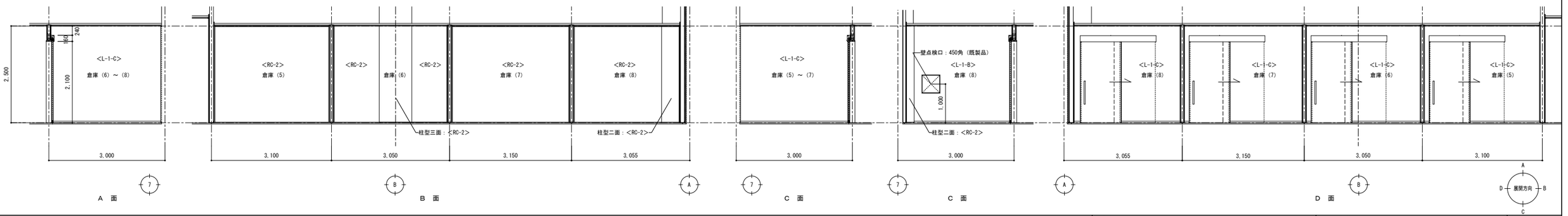
6 C面　6 C面　6 C面　A D面　B D面

※仮眠室　男（22）　C面　共通

倉庫（5）～（8）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	クロス <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



7 A面



7 A面　B 7 B面　A 7 C面　7 C面　A D面　B

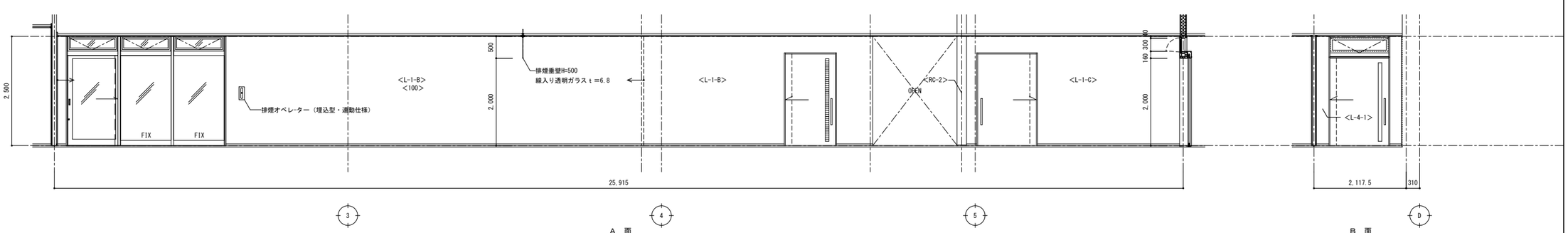
A D 展開方向 B C

特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

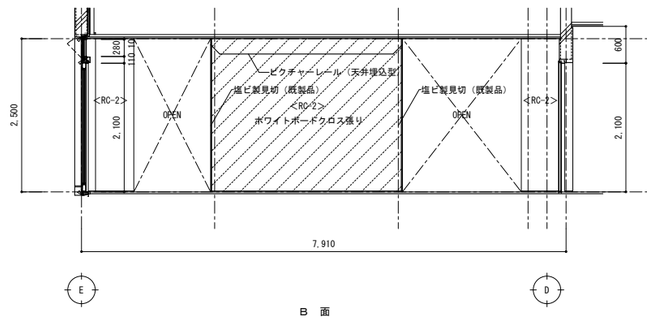
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（11）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	小田　文武	設計者名	安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号 A-154

廊下（1）　D通り側	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗材B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

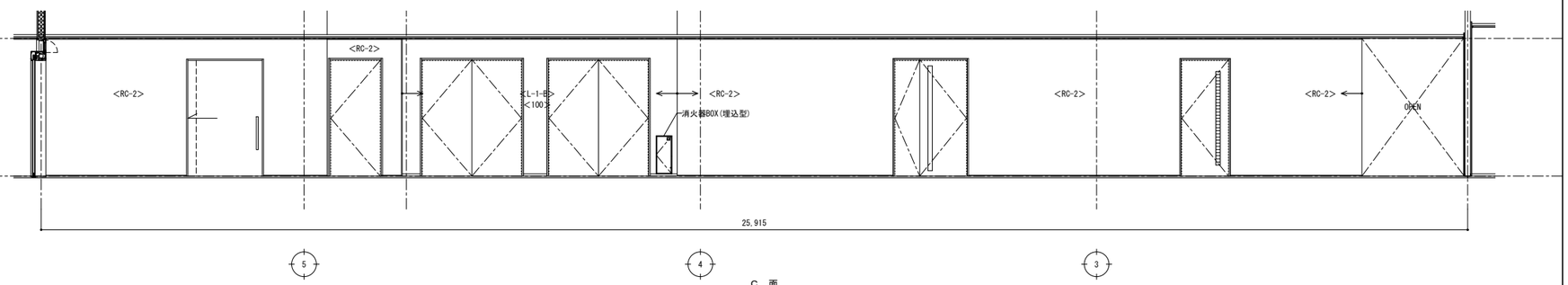


A　面

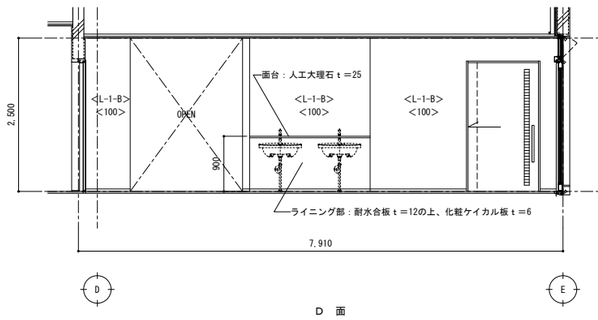
B　面



B　面

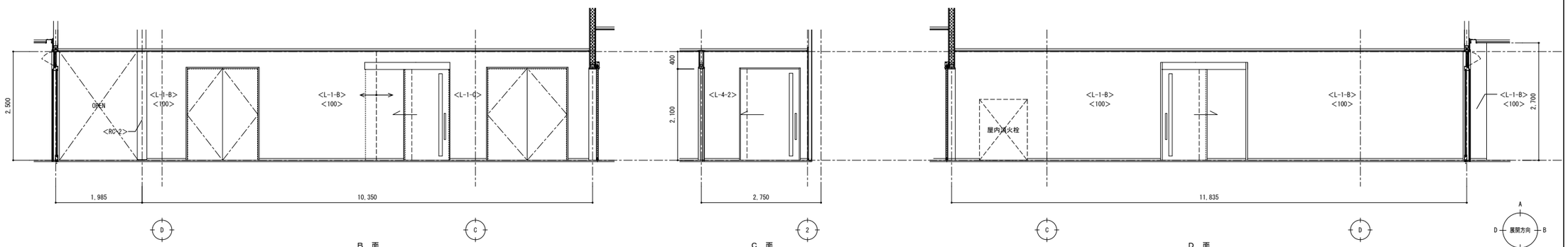


C　面



D　面

廊下（1）　2通り側	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗材B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	



B　面

C　面

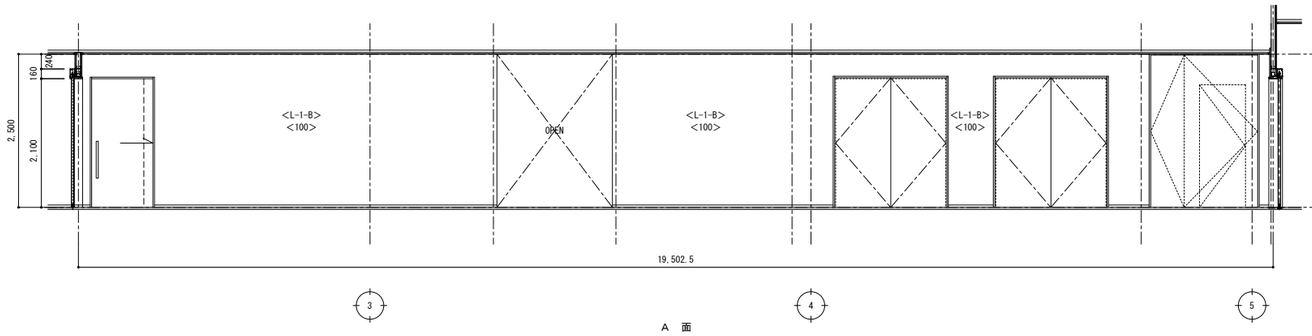
D　面

特記事項

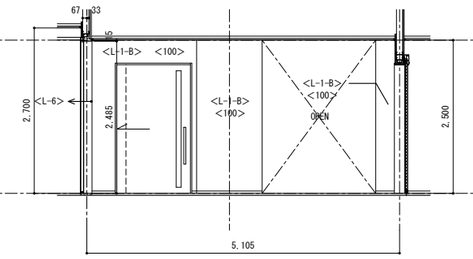
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（12）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-155

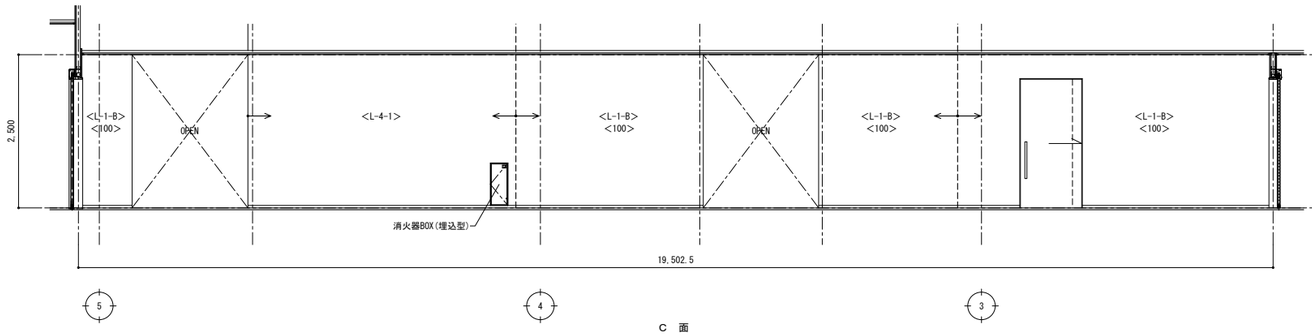
廊下（2）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



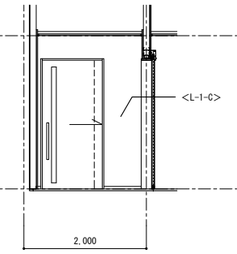
A 面



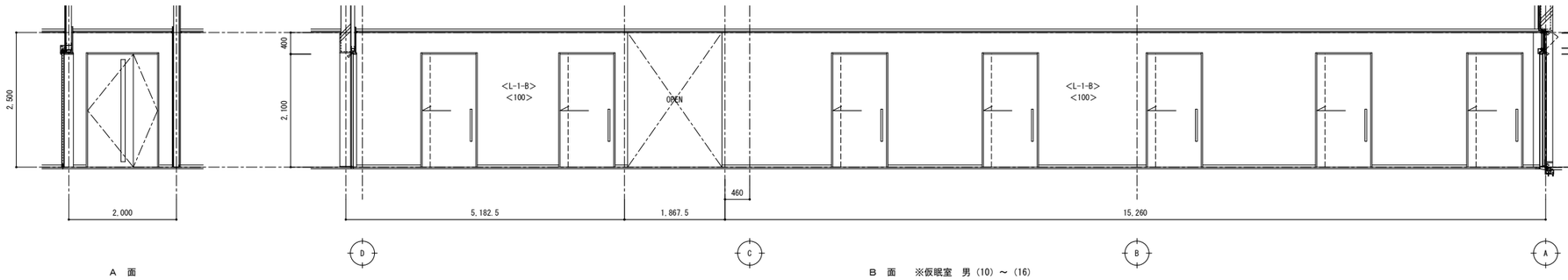
B 面



C 面



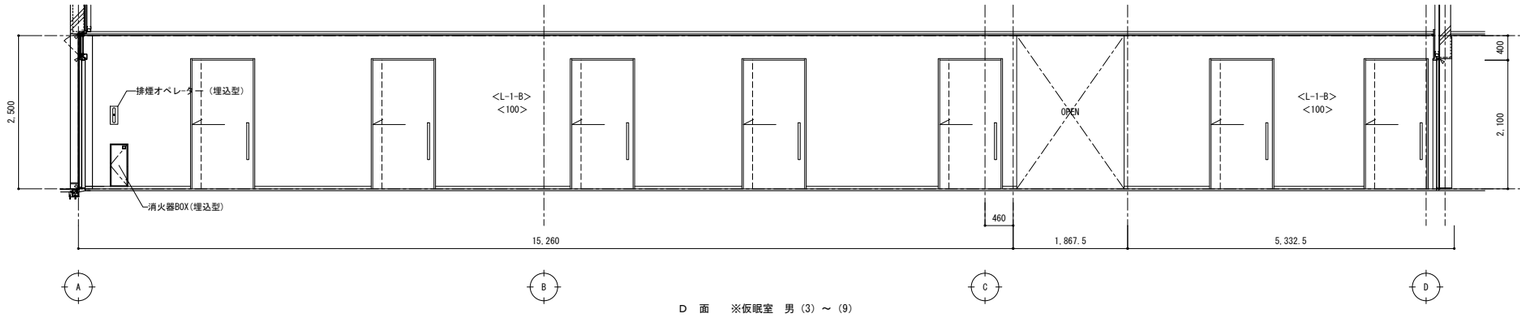
D 面



A 面

B 面 ※仮眠室 男（10）～（16）

C 面



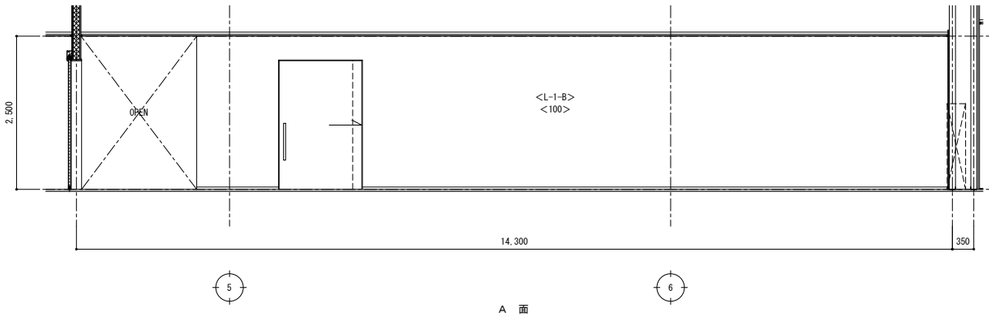
D 面 ※仮眠室 男（3）～（9）

特記事項

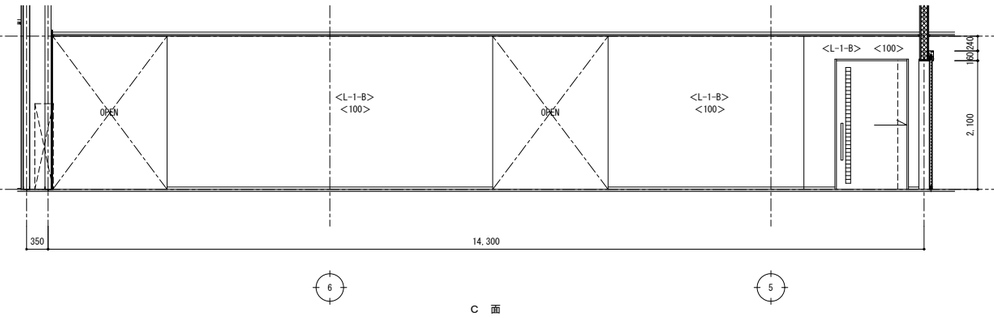
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 1階展開図（13）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-156

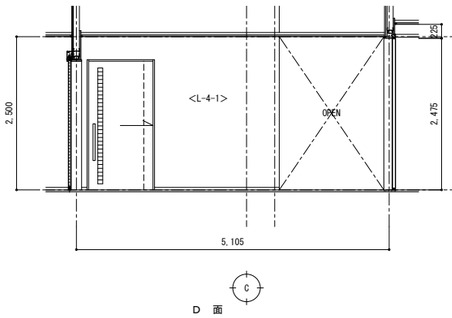
廊下（2）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t＝9.5
備考	



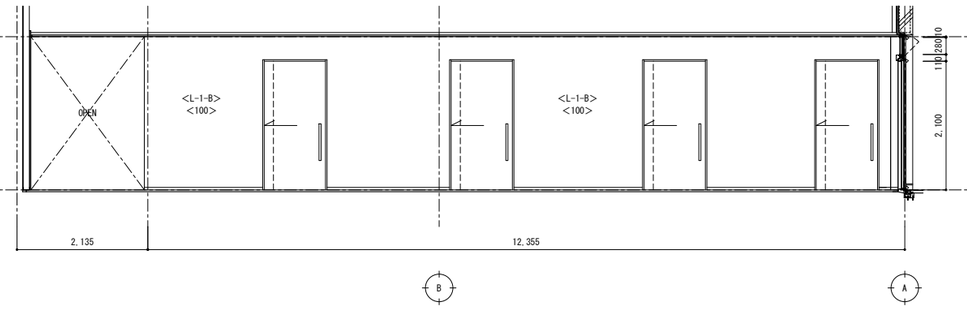
A 面



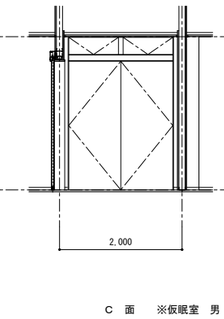
C 面



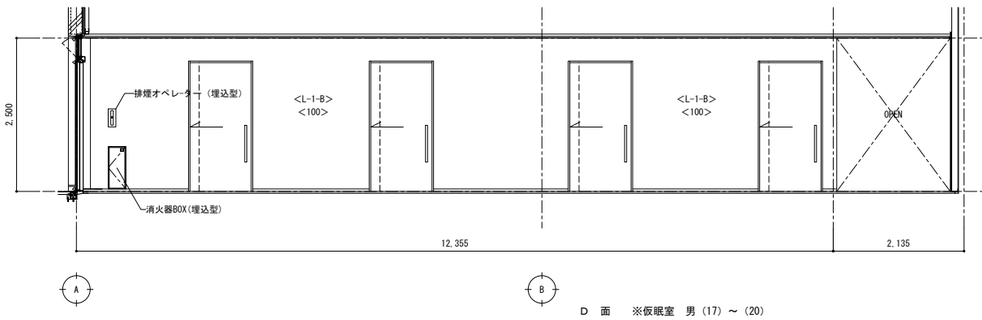
D 面



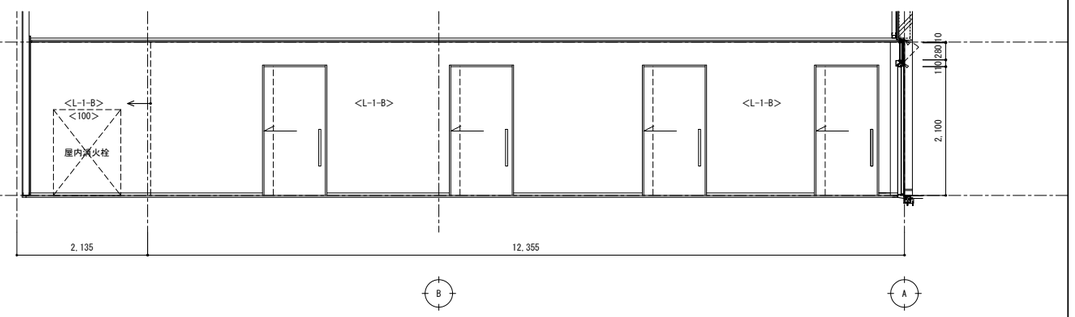
B 面 ※仮眠室 男（21）～（24）



C 面 ※仮眠室 男（25）～（28）側共通

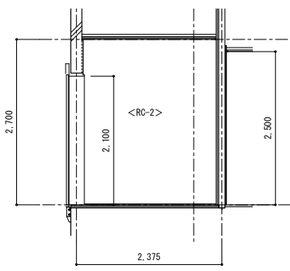


D 面 ※仮眠室 男（17）～（20）
※仮眠室 男（25）～（28）側共通

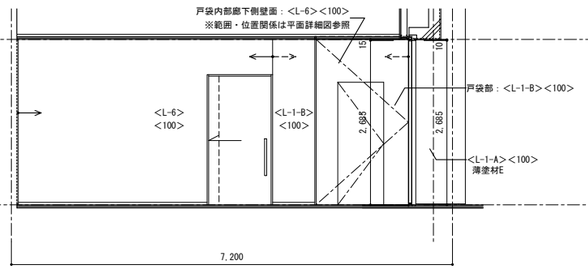


B 面 ※倉庫（5）～（8）

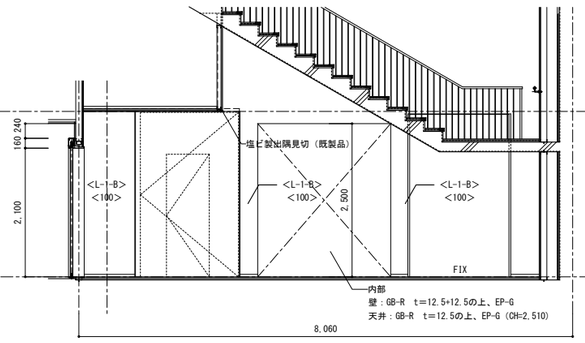
階段室（1） ※EV前	
床	<FL-3>
巾木	VB H=40
壁	EP-G <RC-1・RC-2>部分、保護塗料E 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	DR t＝12 EP-G （GB-R t＝12.5捨張り）
備考	



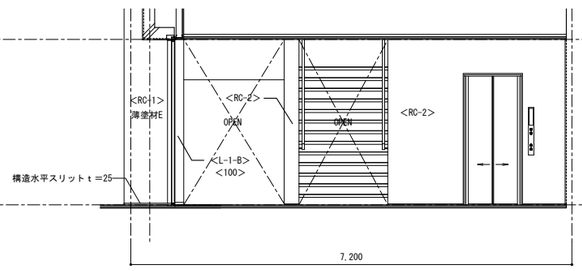
A 面



B 面



C 面

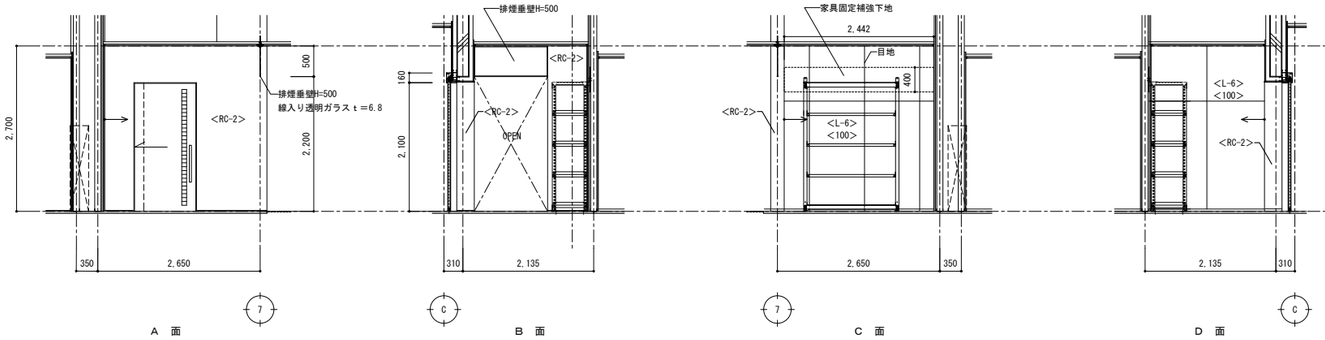


D 面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

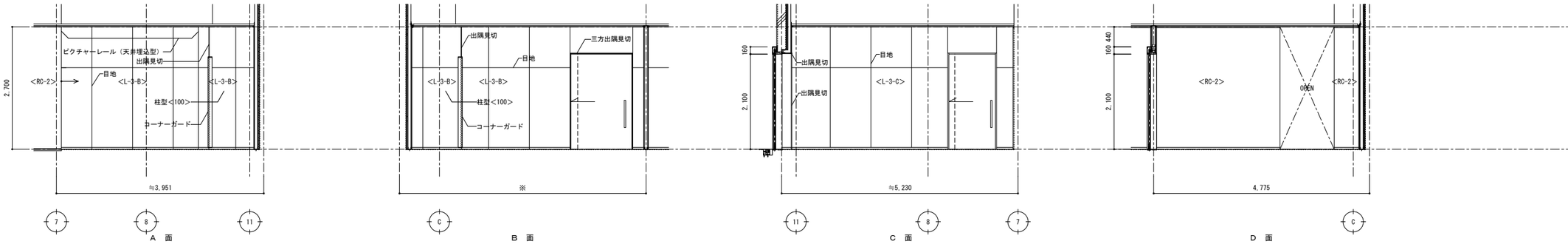
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階展開図（14）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-157

倉庫（4）　※救急訓練室横	
床	<FL-2-F>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	出隅見切 単色塗装アルミジョイナー（既製品）



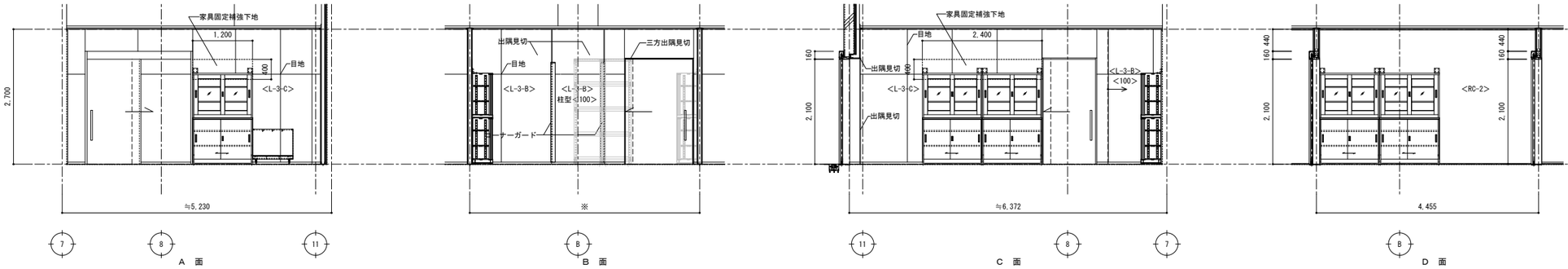
家具固定補強下地範囲を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-R又はGB-S　を合板 t ＝12に入替、他との表面不陸は、下地調整する。
※GB-Sを使用している壁では、耐水合板を使用すること。

救急訓練室	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	出隅見切 単色塗装アルミジョイナー（既製品）

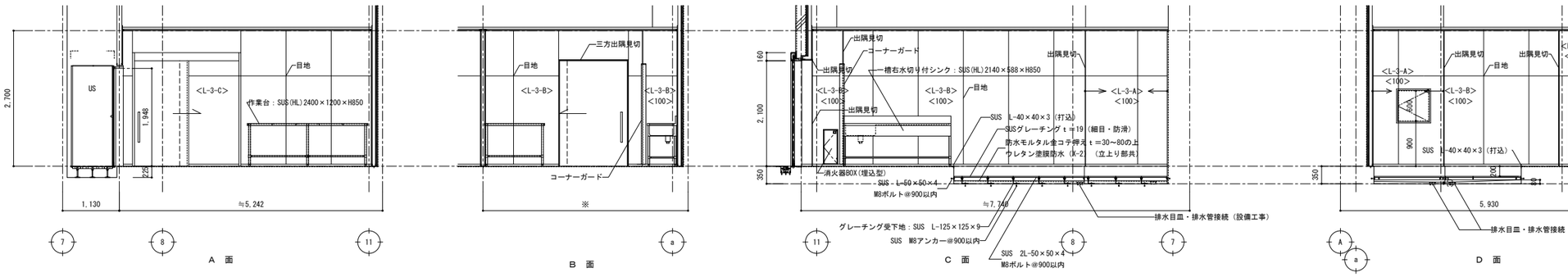


資機材庫（救急）	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	出隅見切 単色塗装アルミジョイナー（既製品）

家具固定補強下地
仕上下のGB t＝12.5を合板 t＝12に切り替える。
材厚差については、パテしごきのよ、段差が生じないように処理する。
※家具裏は、仕上有りとする。

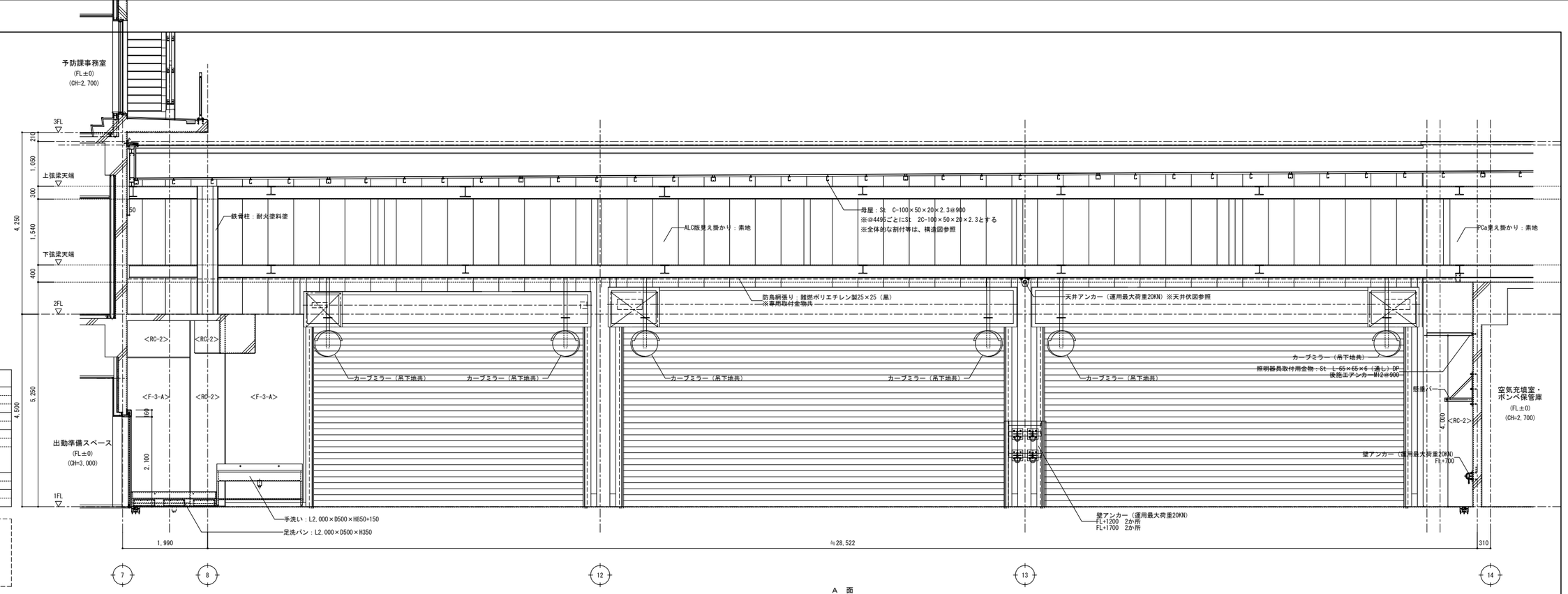


救急洗浄消毒室	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	ケイカル板　t＝5　EP-G
備考	出隅見切 単色塗装アルミジョイナー（既製品）



特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

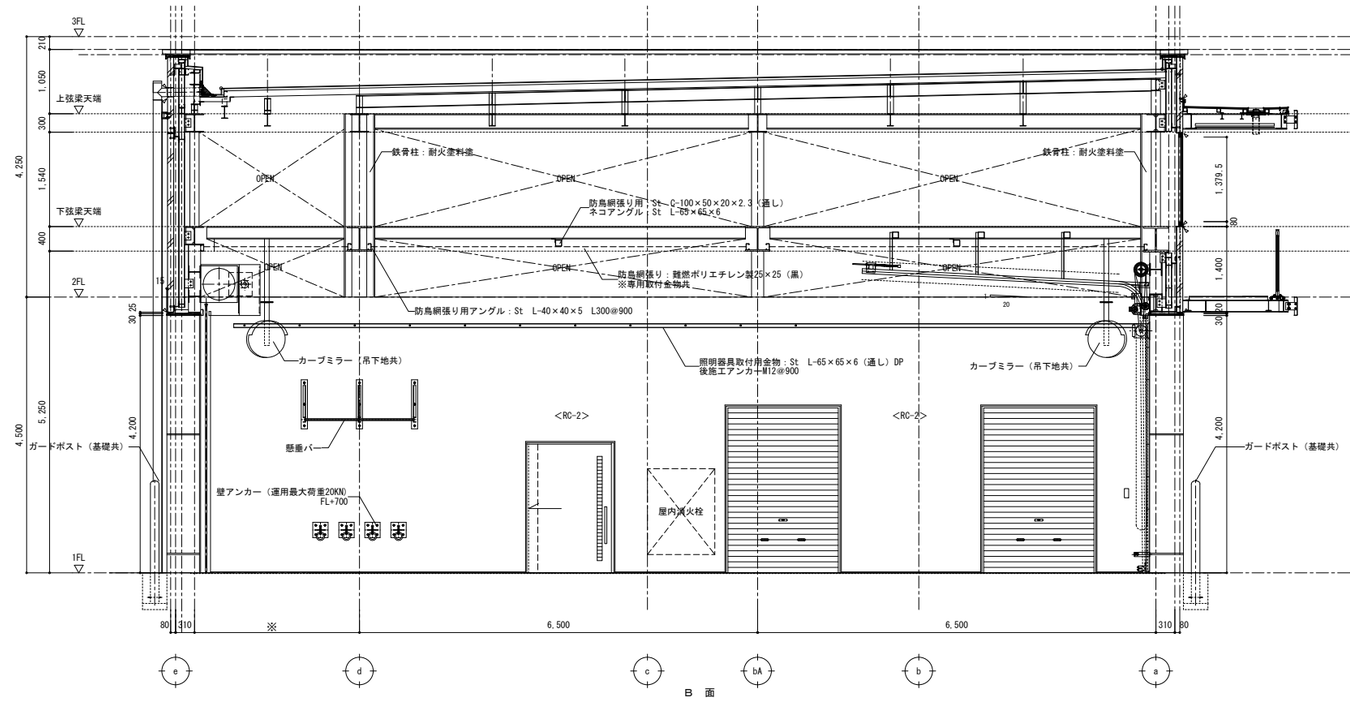
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（15）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺		図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100		A-158



A 面

車庫	
床	<FL-1-A>
巾木	<RC-2>部分：保護塗料B
壁	<RC-2>部分：保護塗料B 見えがかり鉄部 DP 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	見えがかり鉄部 DP
備考	建具及びその枠の仕上げについては、建具リストによる。

注意 下記の表現については、開口の表現とし構造ブレース表現ではないものとする。



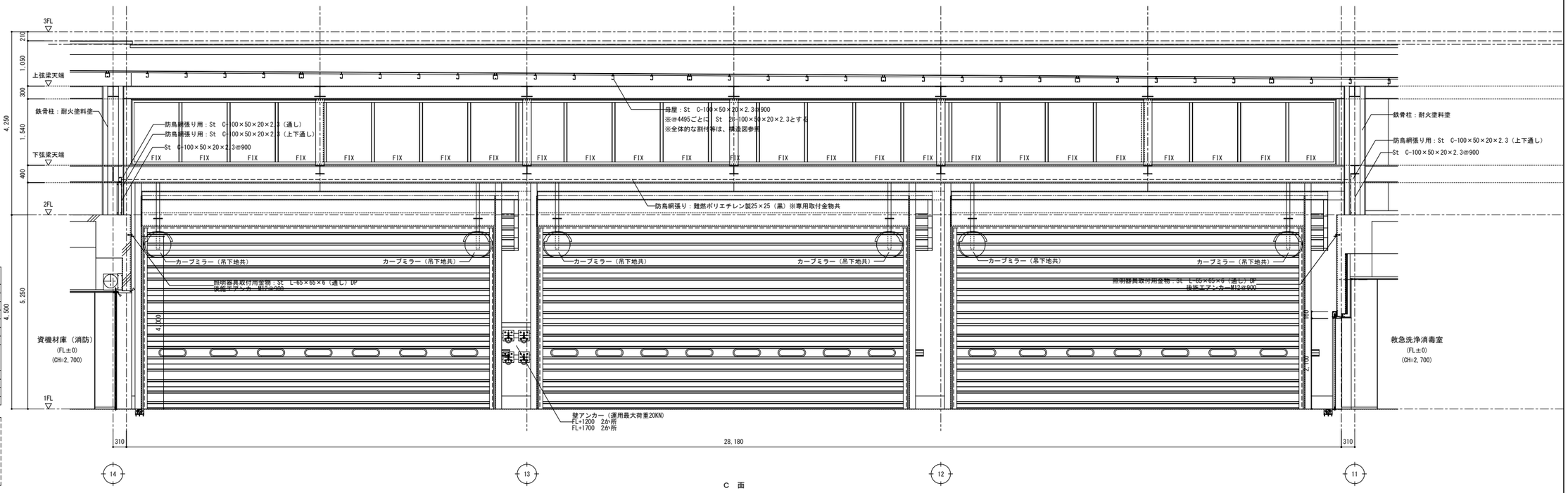
B 面

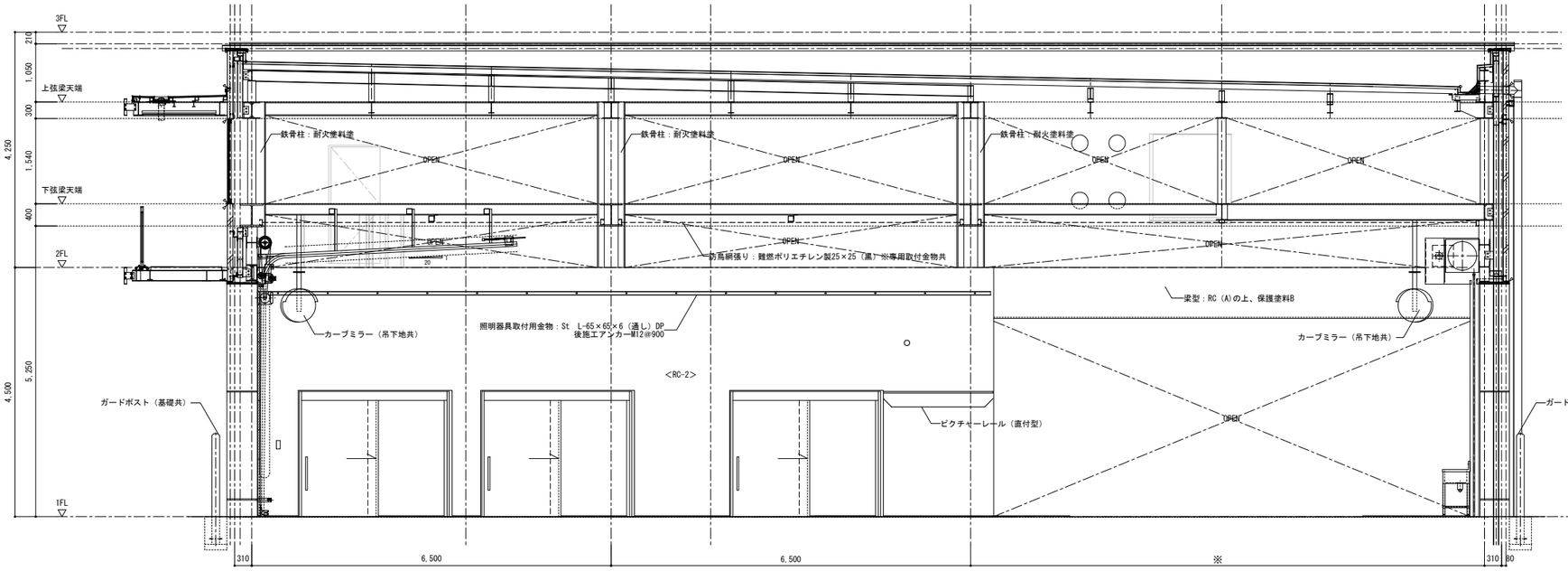
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

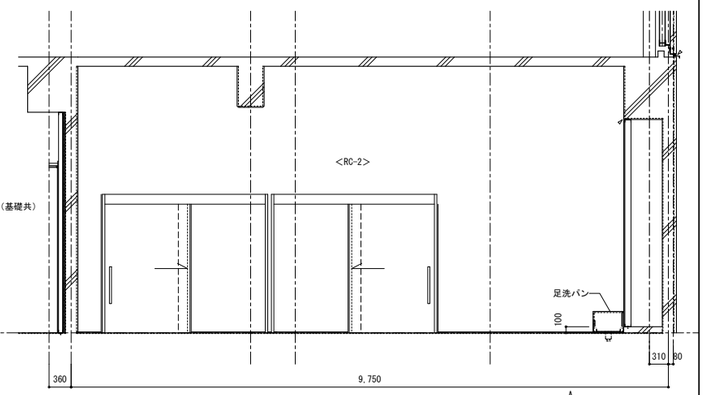
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 1階展開図（16）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-159

車庫	
床	<FL-1-A>
巾木	<RC-2>部分：保護塗料B
壁	<RC-2>部分：保護塗料B 見えがかり鉄部　DP 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	見えがかり鉄部　DP
備考	建具及びその枠の仕上げについては、建具リストによる。

注意　下記の表現については、開口の表現とし構造ブレース表現ではないものとする。



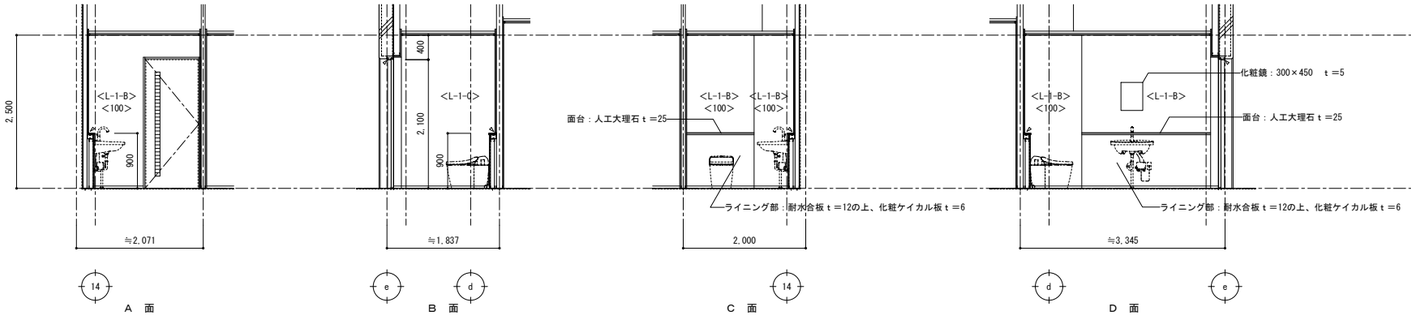




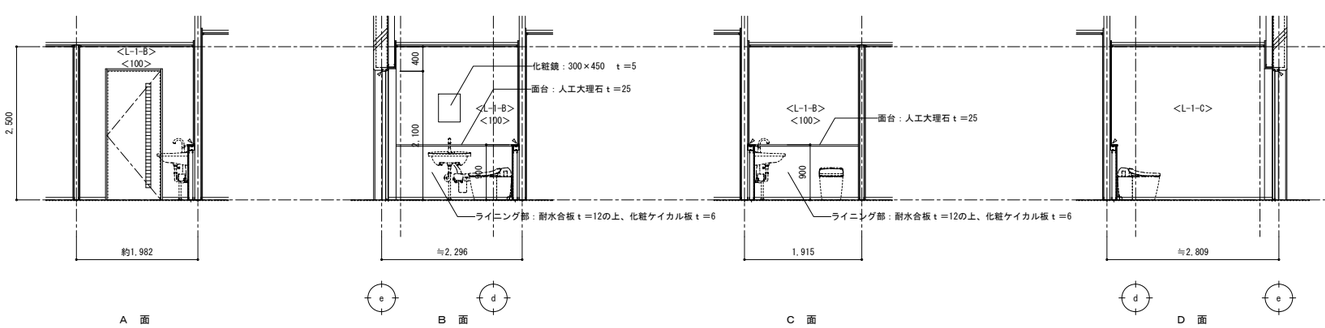
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　1階展開図（17）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-160

男子トイレ（2）	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	NAD 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	化粧鏡：356×457×ｔ5既製品（建築工事） 各衛生器具（設備工事）

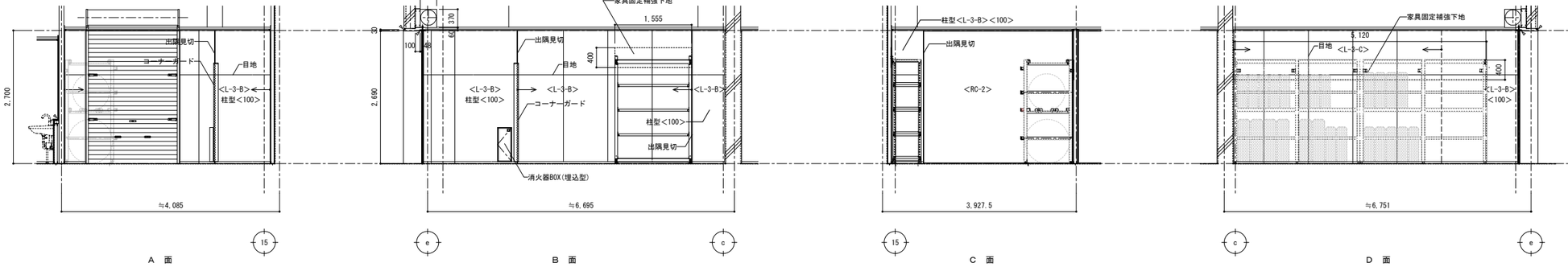


女子トイレ（2）	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	NAD 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	トイレユニット・化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



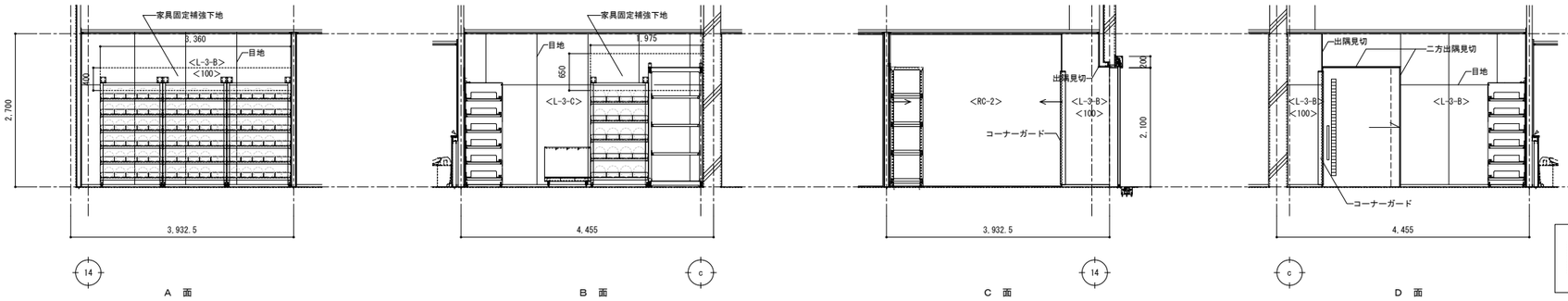
整備修繕庫	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	出隅見切 単色塗装アルミジョイナー（既製品）

家具固定補強下地
仕上下のGB t＝12.5を合板 t＝12に切り替える。 材厚差については、パテしごきのよ、段差が生じないように処理する。
※家具裏は、仕上有りとする。

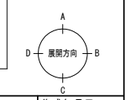


空気充填室・ボンベ保管庫	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-B>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

家具固定補強下地
仕上下のGB t＝12.5を合板 t＝12に切り替える。 材厚差については、パテしごきのよ、段差が生じないように処理する。
※家具裏は、仕上有りとする。



家具固定補強下地範囲を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-RまたはGB-S　を合板ｔ＝12に入替、他との表面不陸は、下地調整する。
※GB-Sを使用している壁では、耐水合板を使用すること。

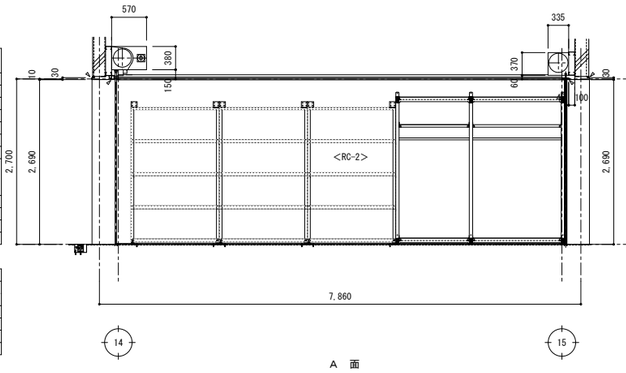


特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

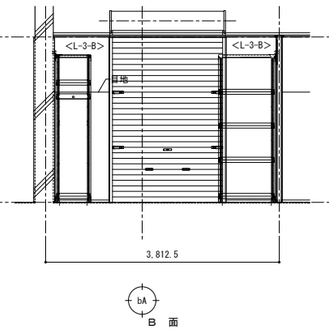
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　1階展開図（18）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-161

資機材庫（救助）	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

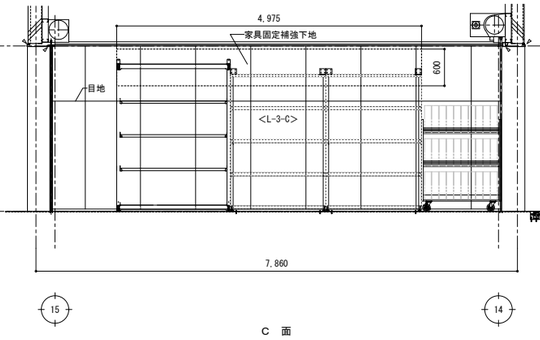
家具固定補強下地
仕上下のGB t＝12.5を合板 t＝12に切り替える。
材厚差については、パテしごきのよう、段差が生じないように処理する。
※家具裏は、仕上有りとする。



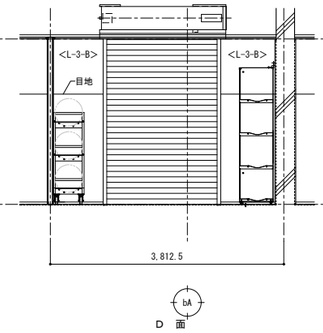
A　面



B　面



C　面



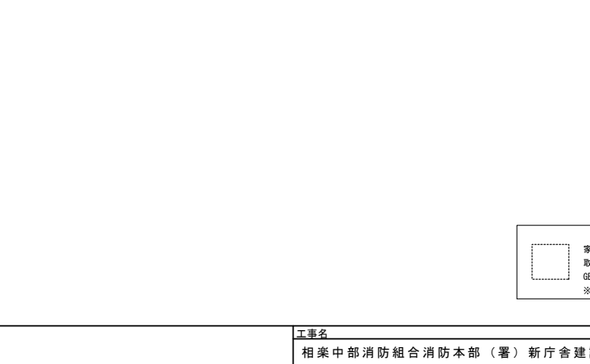
D　面

資機材庫（消防）	
床	<FL-1-A>
巾木	VB　H=40
壁	化粧ケイカル板　t＝6 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-B>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

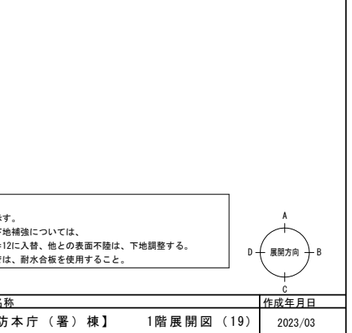
家具固定補強下地
仕上下のGB t＝12.5を合板 t＝12に切り替える。
材厚差については、パテしごきのよう、段差が生じないように処理する。
※家具裏は、仕上有りとする。

A　面

B　面



C　面



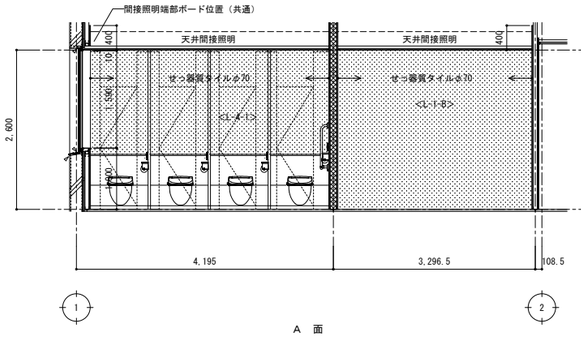
D　面

家具固定補強下地範囲を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-R又はGB-S　を合板 t＝12に入替、他との表面不陸は、下地調整する。
※GB-Sを使用している壁では、耐水合板を使用すること。

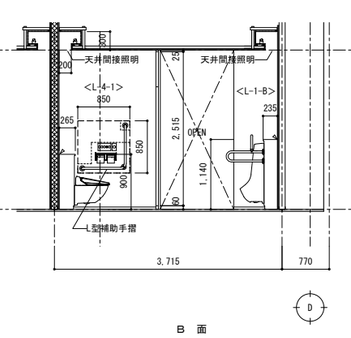
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　1階展開図（19）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-162

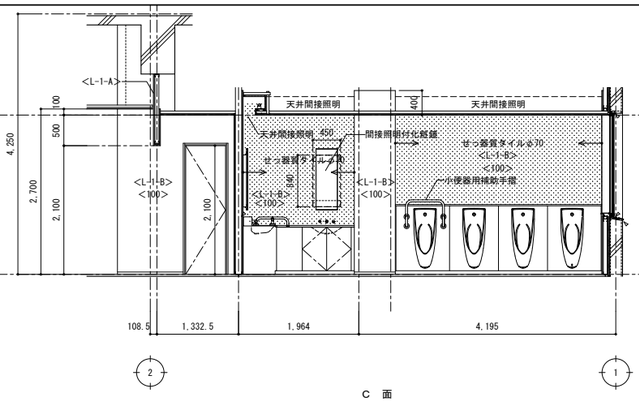
男子トイレ	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t＝9.5 EP-G
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



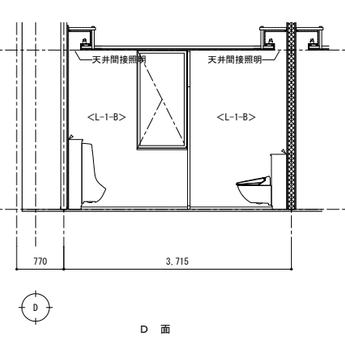
A 面



B 面

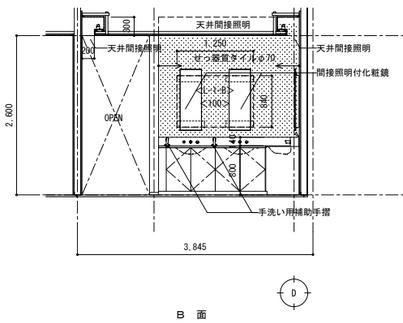


C 面

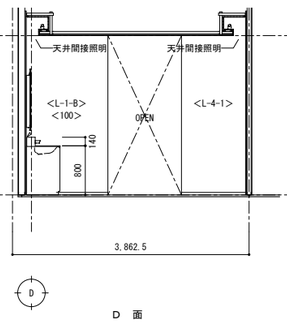


D 面

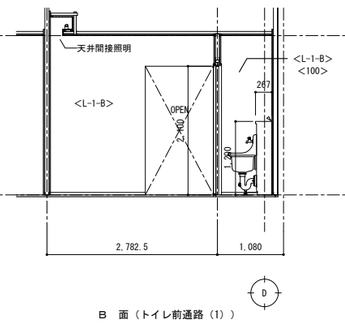
トイレ前通路（1）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t＝9.5 EP-G
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



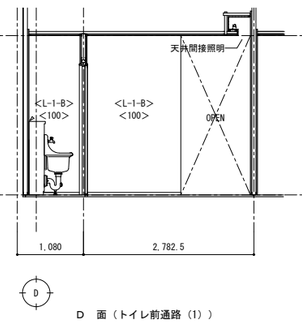
B 面



D 面

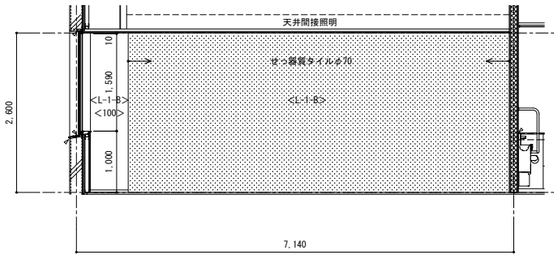


B 面（トイレ前通路（1））

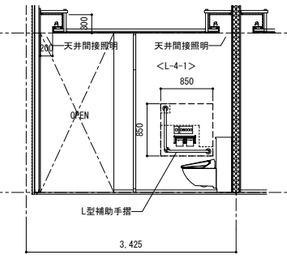


D 面（トイレ前通路（1））

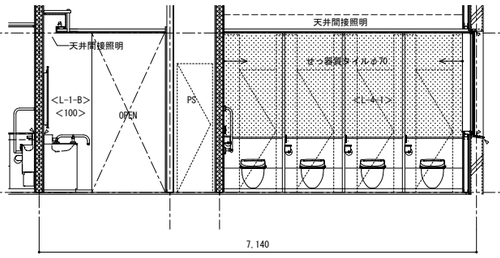
女子トイレ	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t＝9.5 EP-G
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）



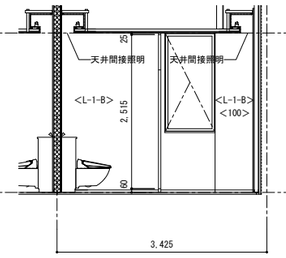
A 面



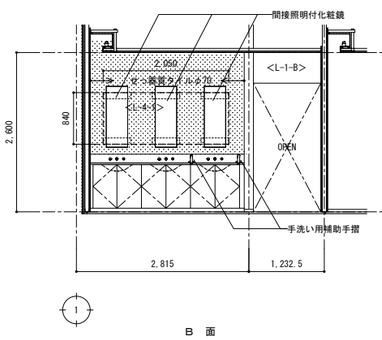
B 面



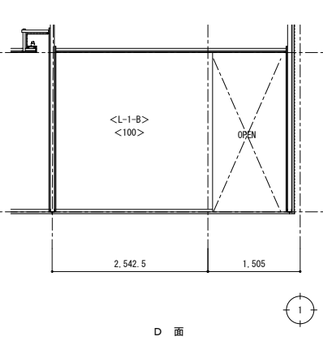
C 面



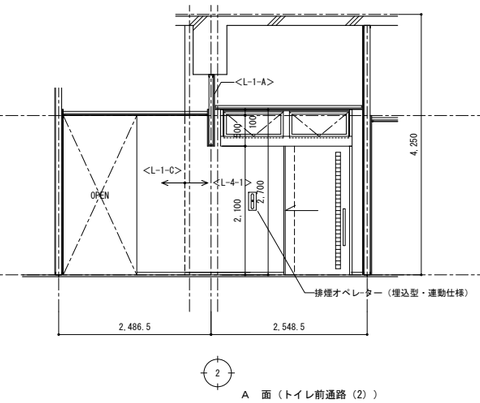
D 面



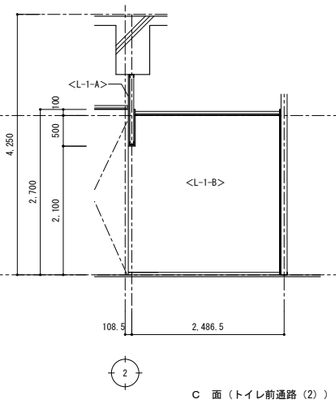
B 面



D 面



A 面（トイレ前通路（2））



C 面（トイレ前通路（2））

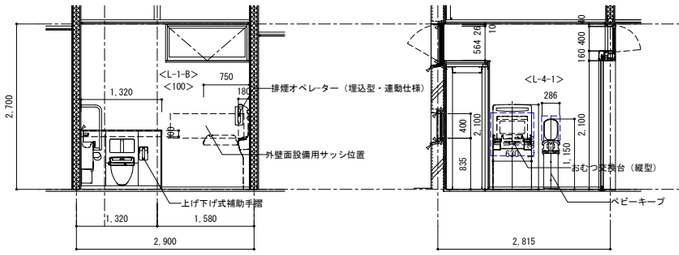
衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S t＝12.5 +耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階展開図（1）	2023/03

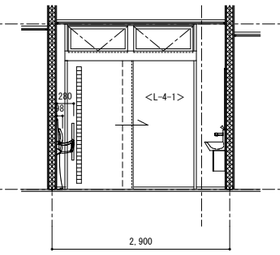
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-163

多機能トイレ	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）

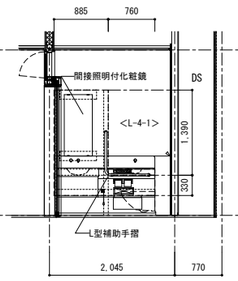


A 面

B 面



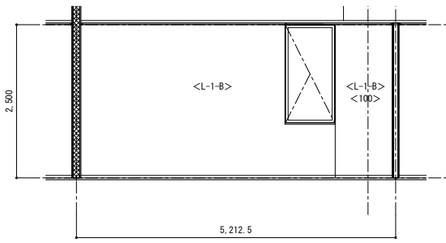
C 面



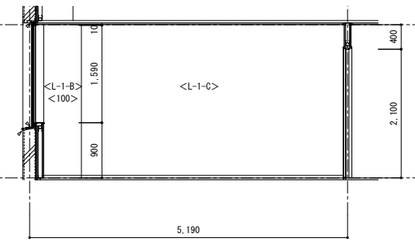
D 面

衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S t＝12.5+耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

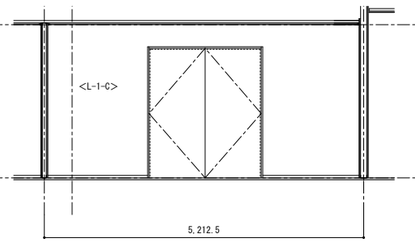
倉庫（1）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



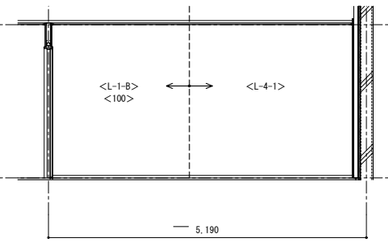
A 面



B 面

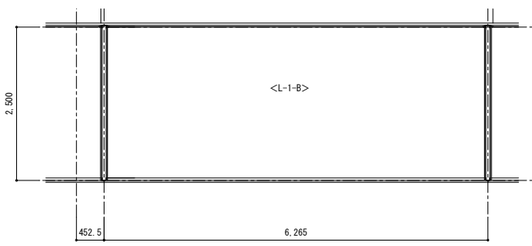


C 面

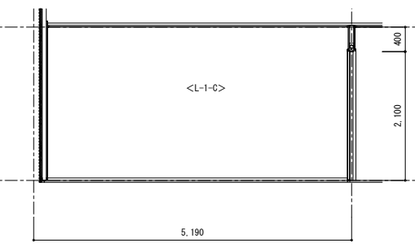


D 面

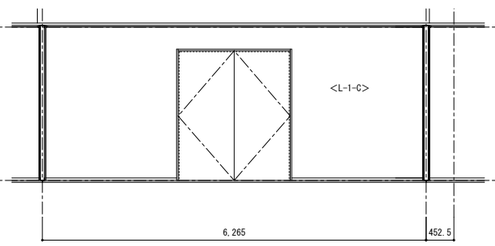
倉庫（2）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



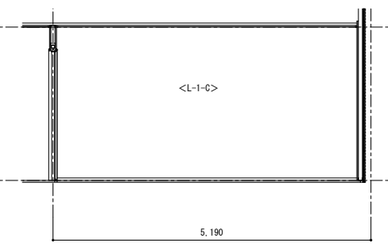
A 面



B 面

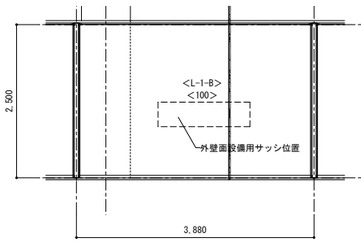


C 面

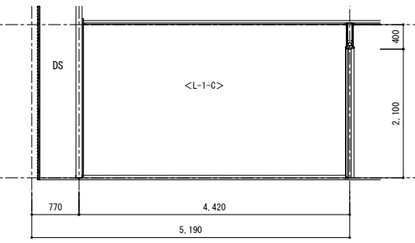


D 面

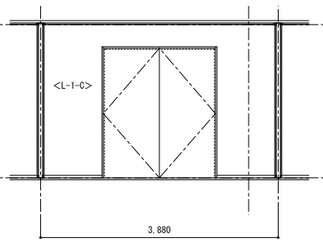
倉庫（3）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



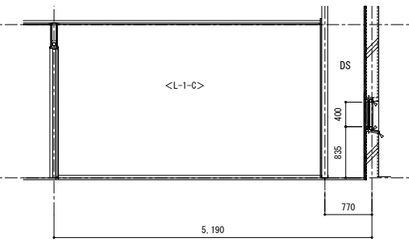
A 面



B 面



C 面

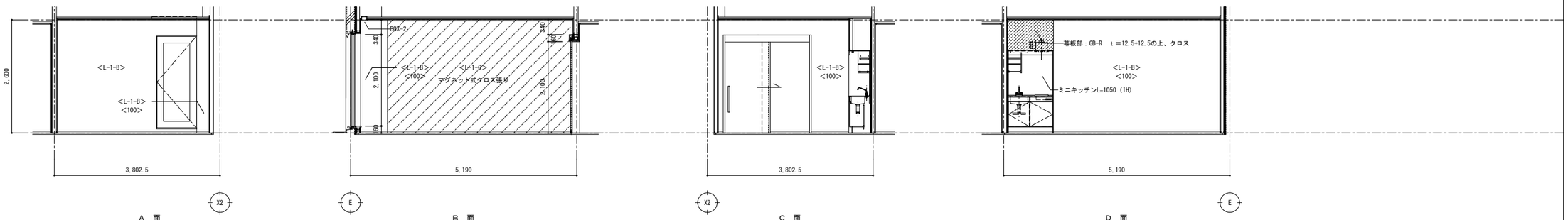


D 面

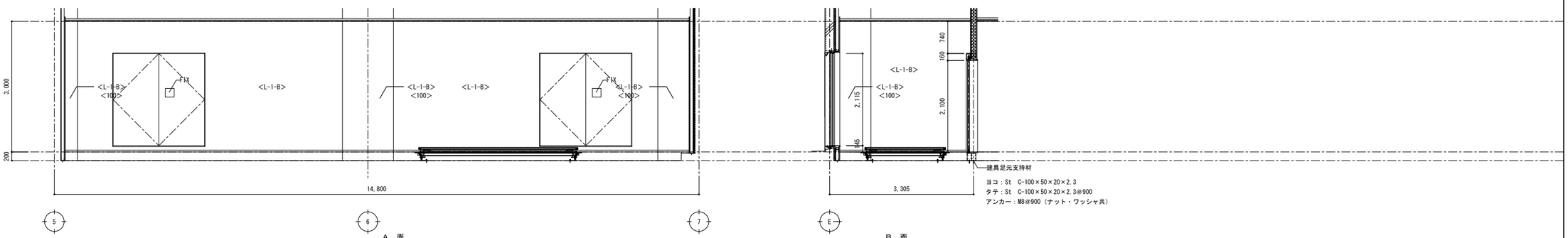
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

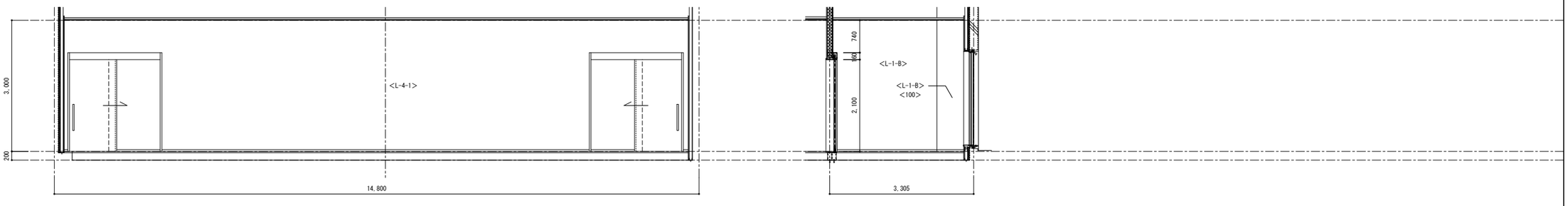
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 2階展開図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺		図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100		A-164

休憩室（男）（女）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	

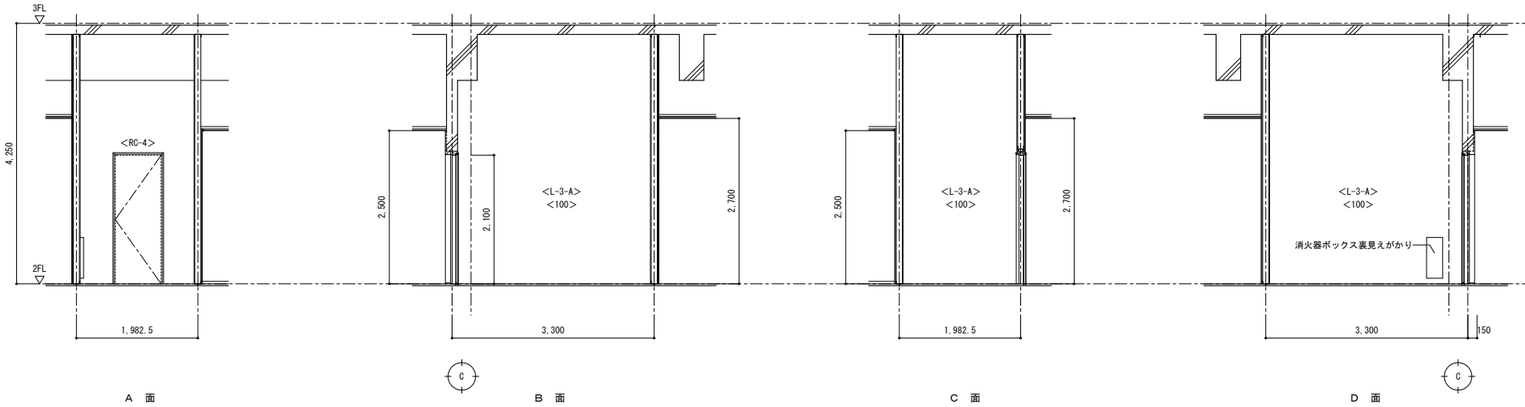


指令センター機械室	
床	<FL-B>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	





EPS（1）	
床	<FL-2-G>
巾木	—
壁	素地 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	スラブ表し
備考	

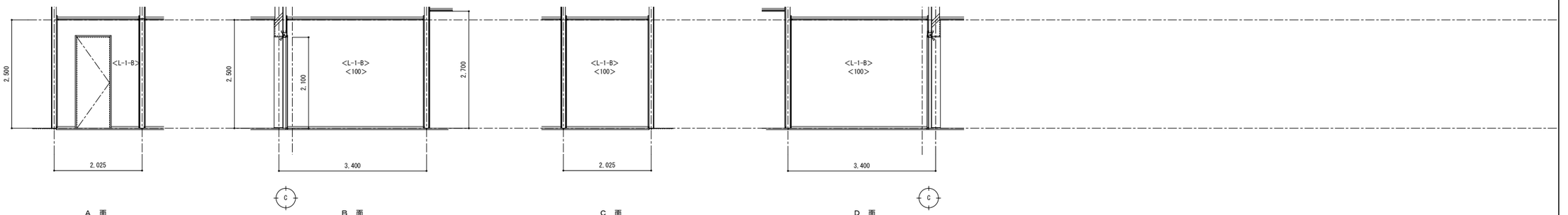


特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

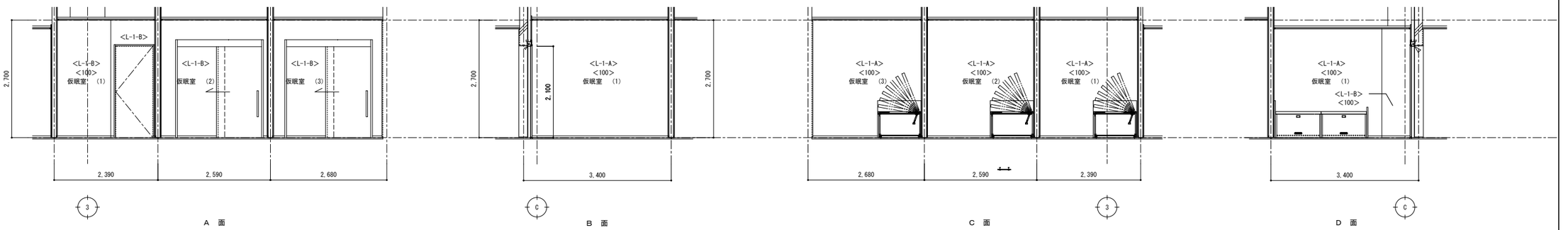
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 2階展開図（3）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-165

倉庫（4）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t＝9.5
備考	



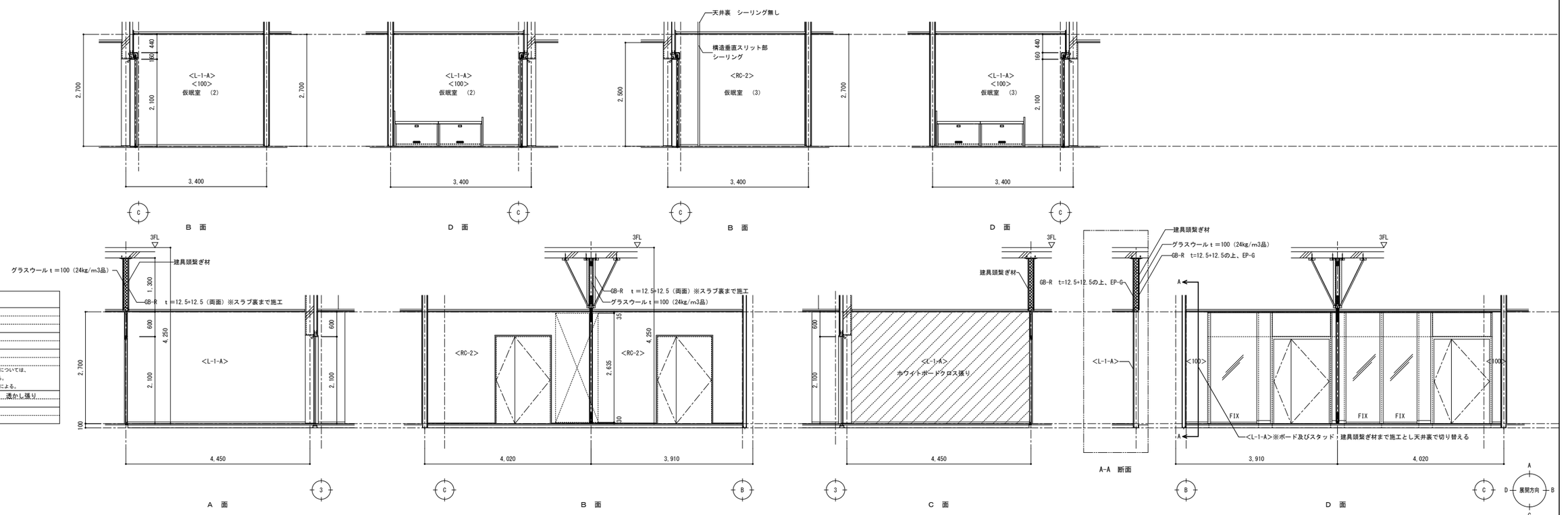
A 面　B 面　C 面　D 面

仮眠室（1）（2）（3）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t＝9.5
備考	



A 面　B 面　C 面　D 面

会議室（1）（2）	
床	<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板 t＝6 透かし張り
備考	



B 面　D 面　B 面　D 面

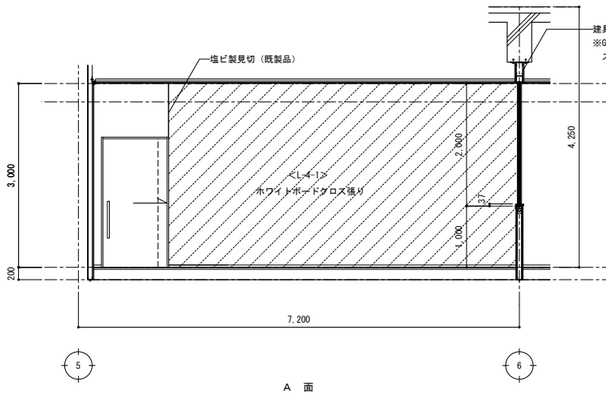
A 面　B 面　C 面　D 面

特記事項

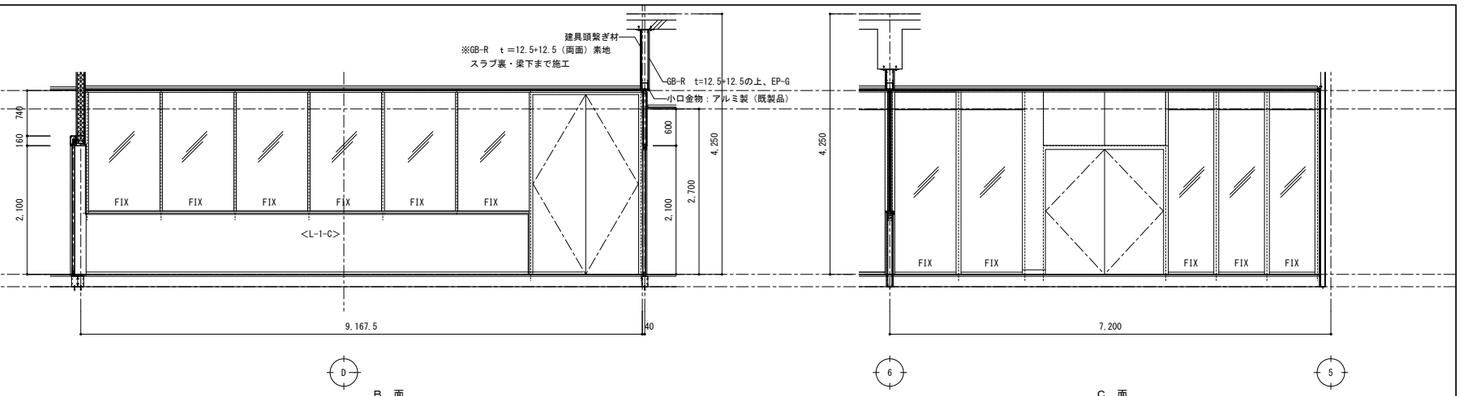
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階展開図（4）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-166

災害情報事務室	
床	<FL-8>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	DR t＝12（GB-R t＝12.5捨張り）
備考	

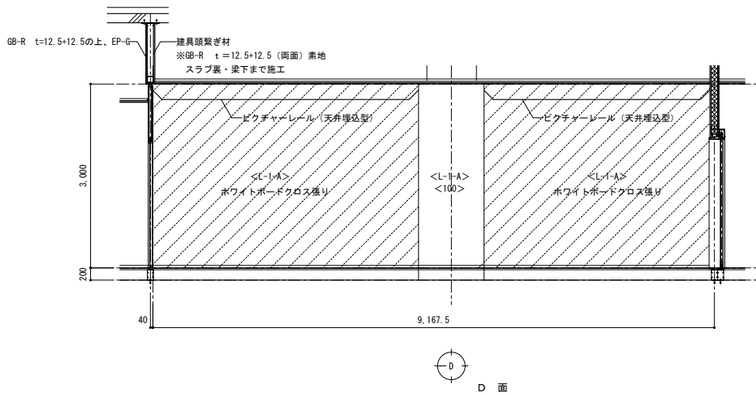


A 面



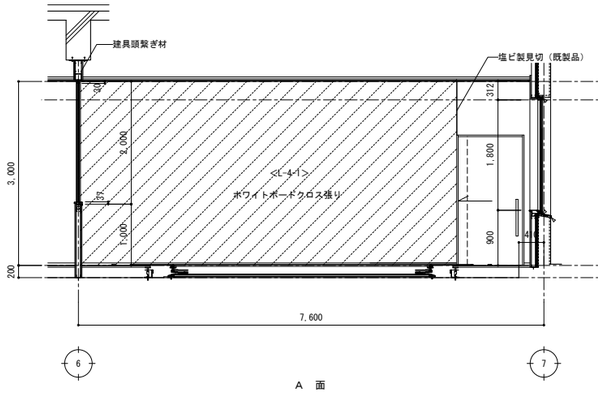
B 面

C 面

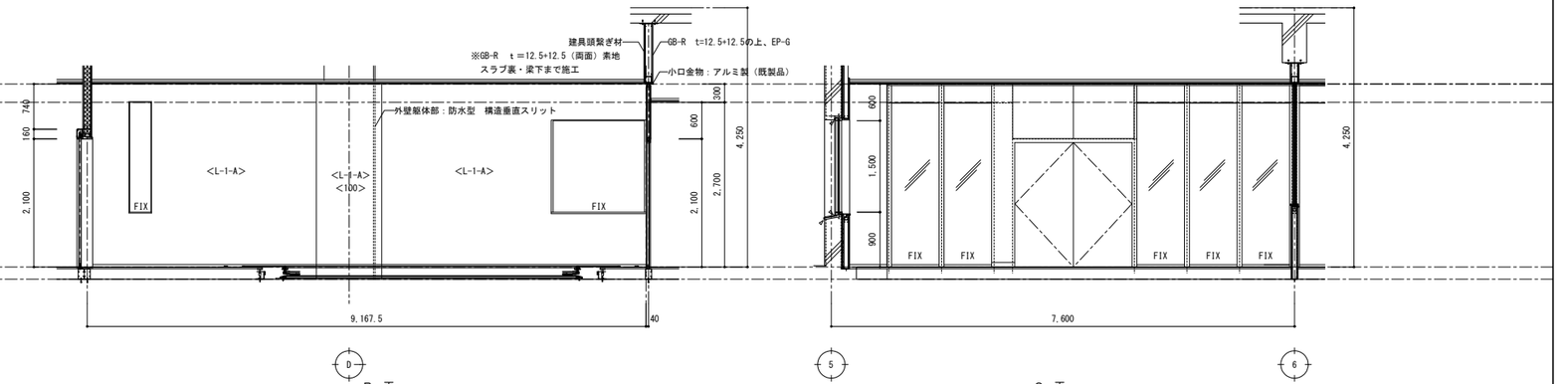


D 面

指令センター	
床	<FL-8> 一部<FL-2-H>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	DR t＝12（GB-R t＝12.5捨張り）
備考	

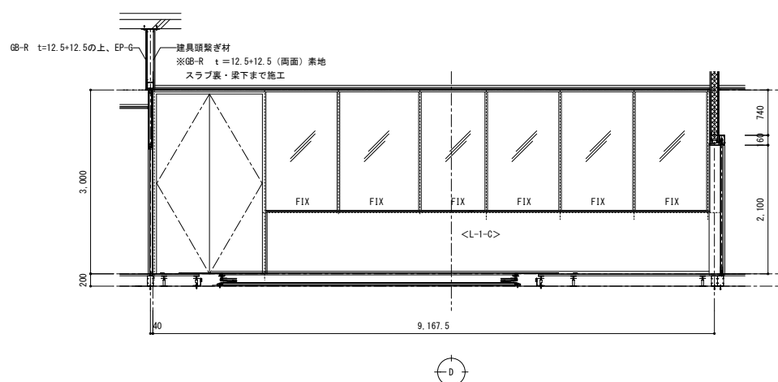


A 面



B 面

C 面

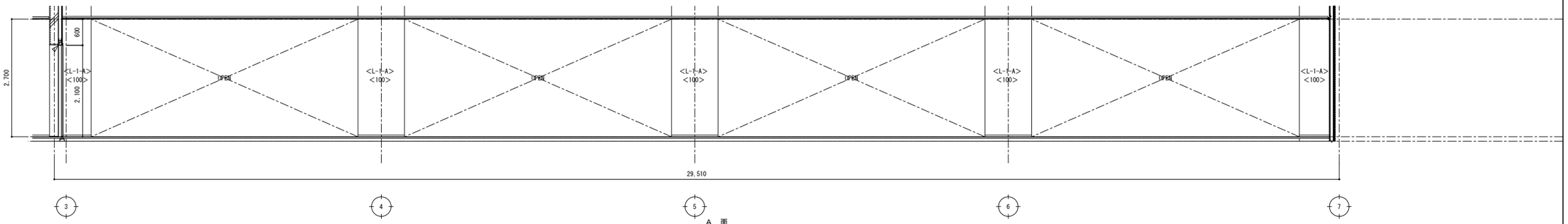


D 面

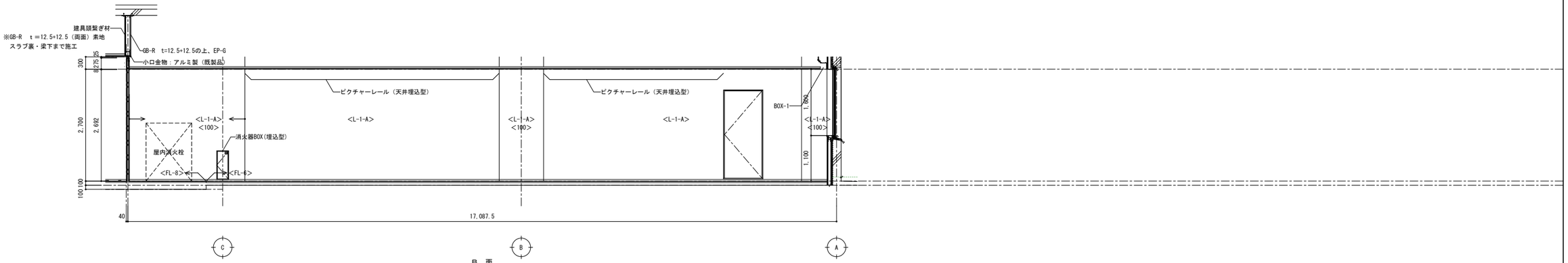
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 2階展開図（5）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-167

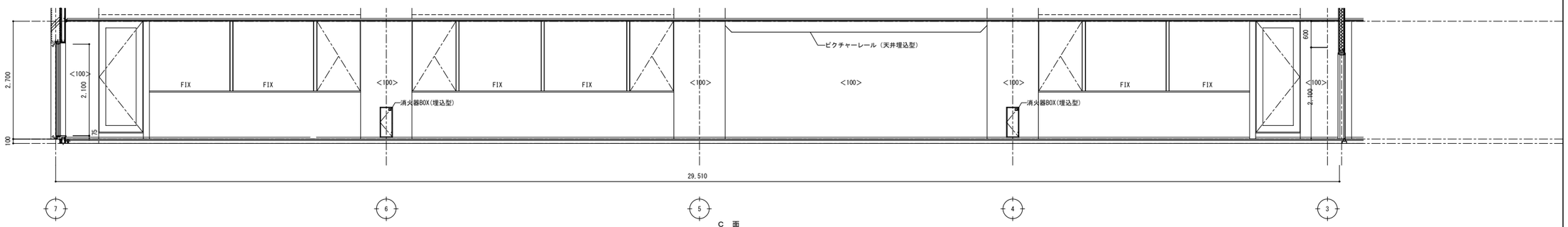
消防課事務室・警防課事務室	
床	<FL-8>・<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t＝12 透かし張り
備考	



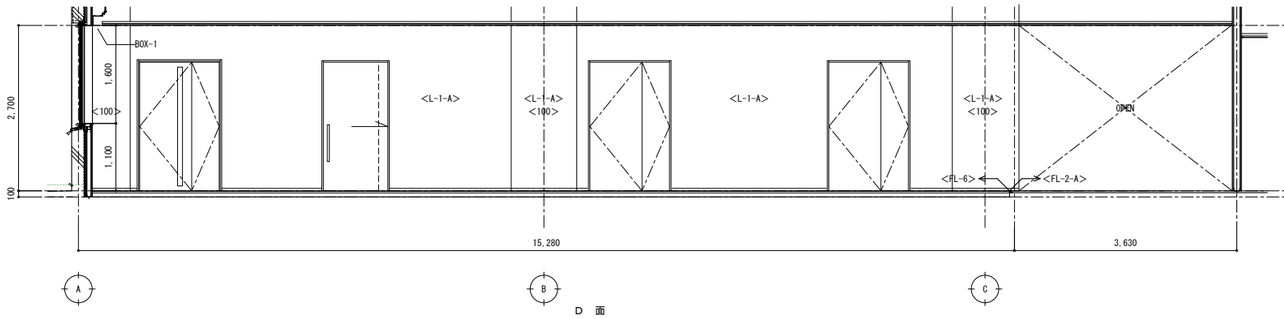
A 面



B 面



C 面

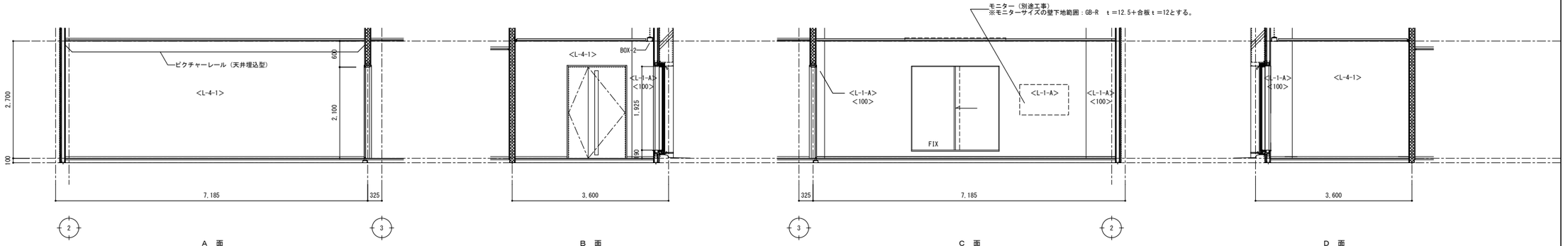


D 面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

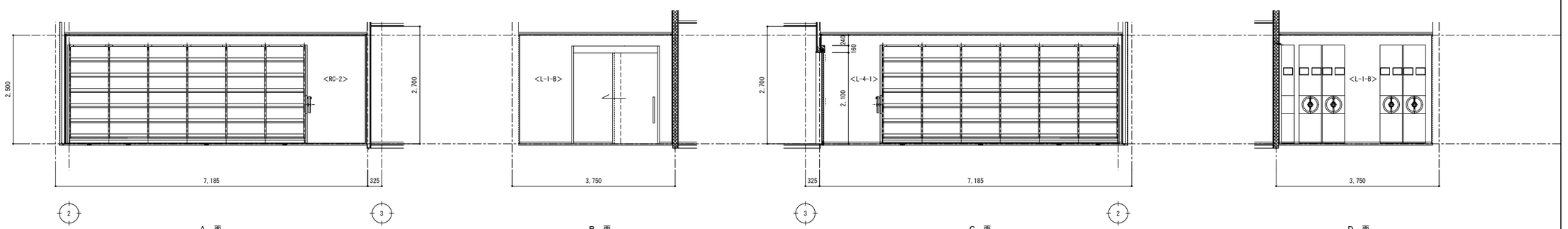
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階展開図（6）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-168

署長室	
床	<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板 t＝6 透かし張り
備考	



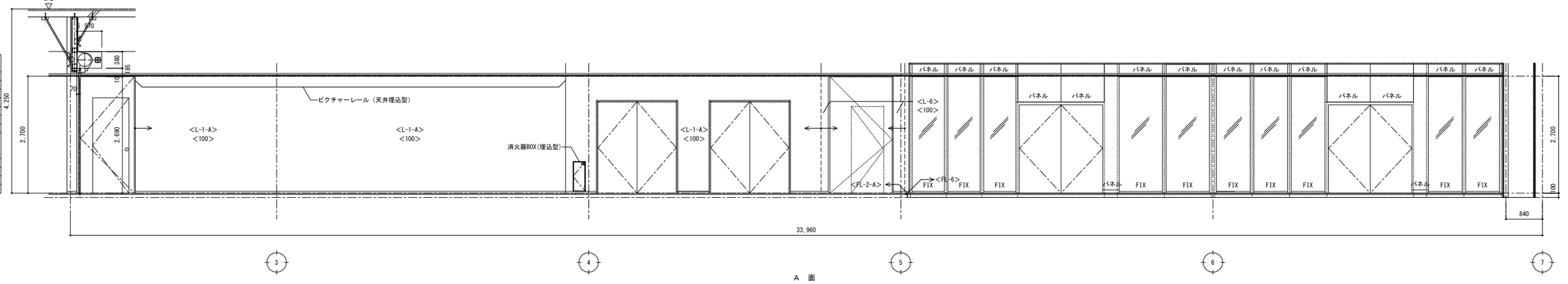
A 面　B 面　C 面　D 面

書庫	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t＝9.5
備考	

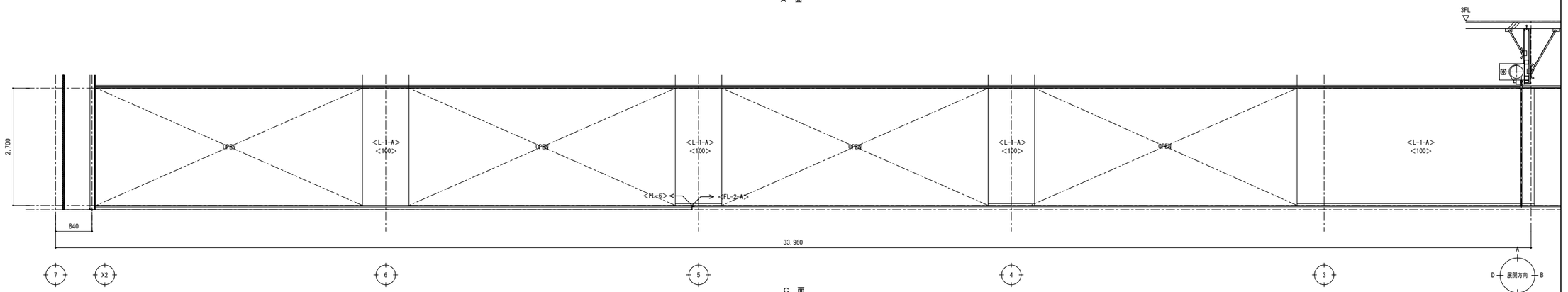


A 面　B 面　C 面　D 面

2階ホール・相談コーナー	
床	<FL-2-A>・<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t＝12 透かし張り 突板練付不燃板 t＝6 透かし張り
備考	



A 面

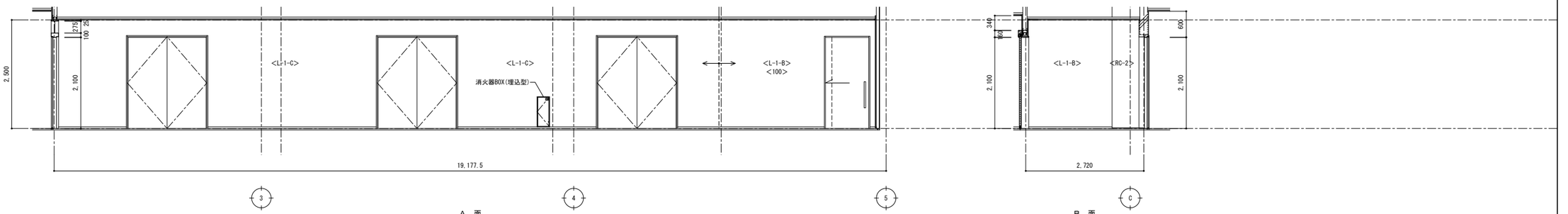


C 面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

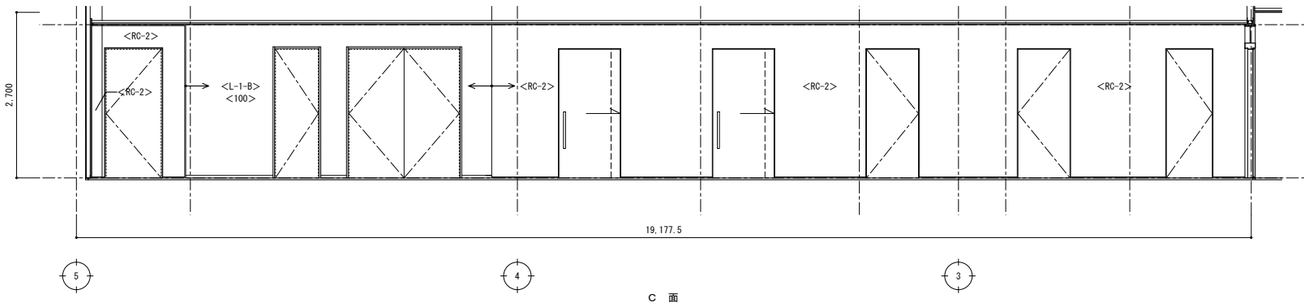
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 2階展開図（7）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-169

廊下（1）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板　t＝6　透かし張り
備考	

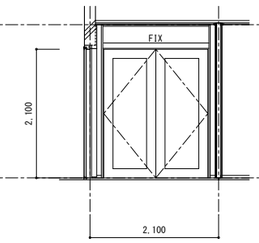


A　面

B　面

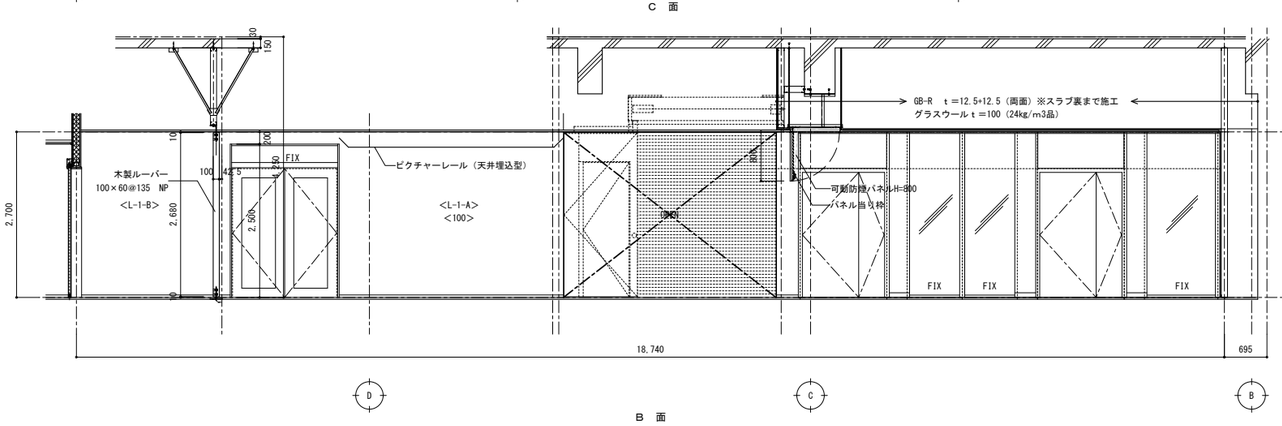


C　面

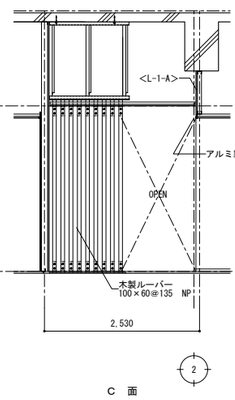


D　面

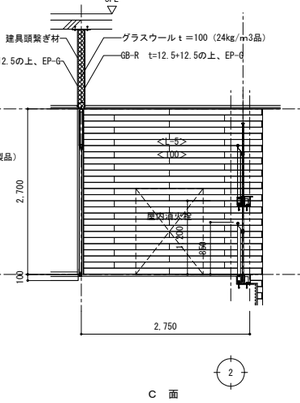
通路	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗料B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板　t＝6　透かし張り
備考	



B　面



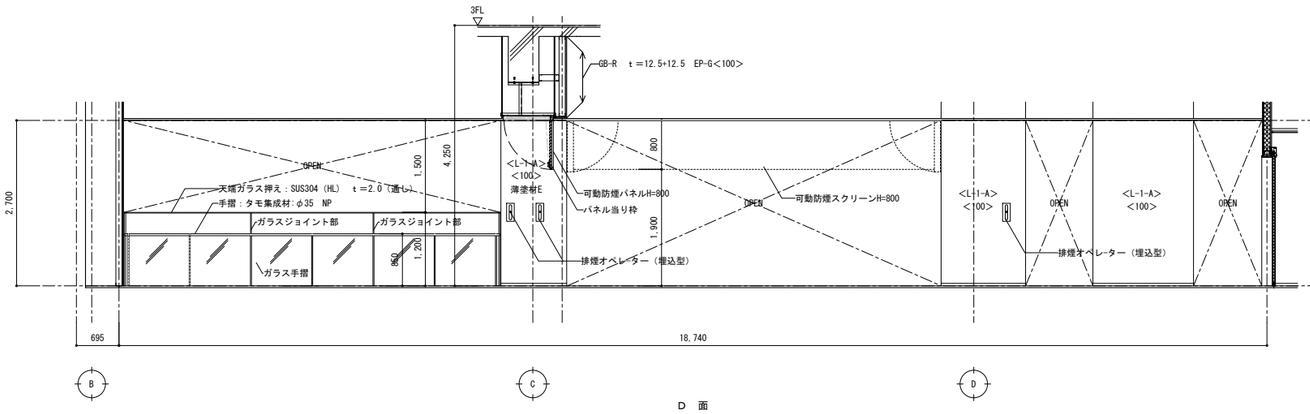
C　面



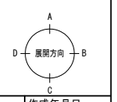
C　面

（多目的便所前）

トイレ前通路（2）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 一部化粧貼タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板　t＝6　透かし張り
備考	



D　面

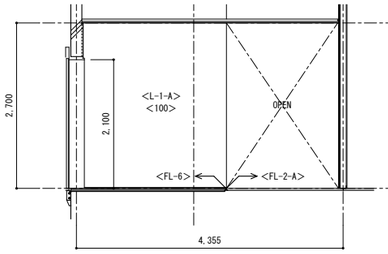


特記事項

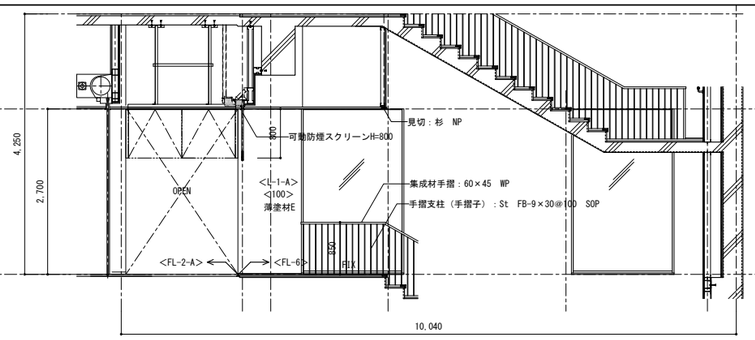
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

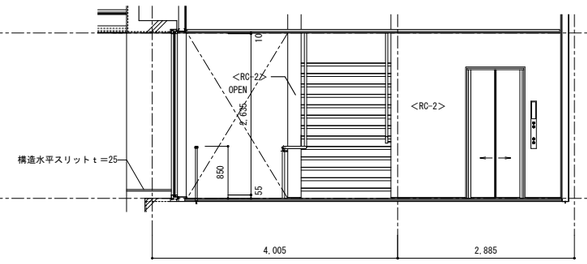
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　2階展開図（8）		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-170

階段室（1）　※EV前	
床	<FL-3>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G <RC-2>部分：保護塗材B 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板　t＝6　透かし張り
備考	



A　面





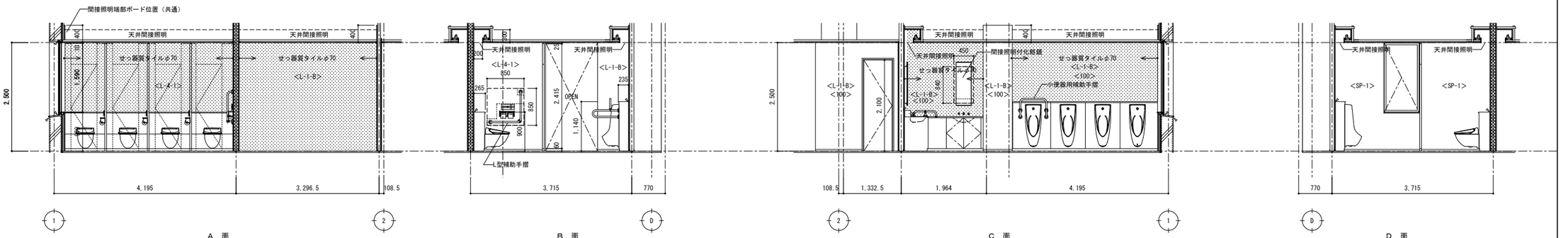
D　面

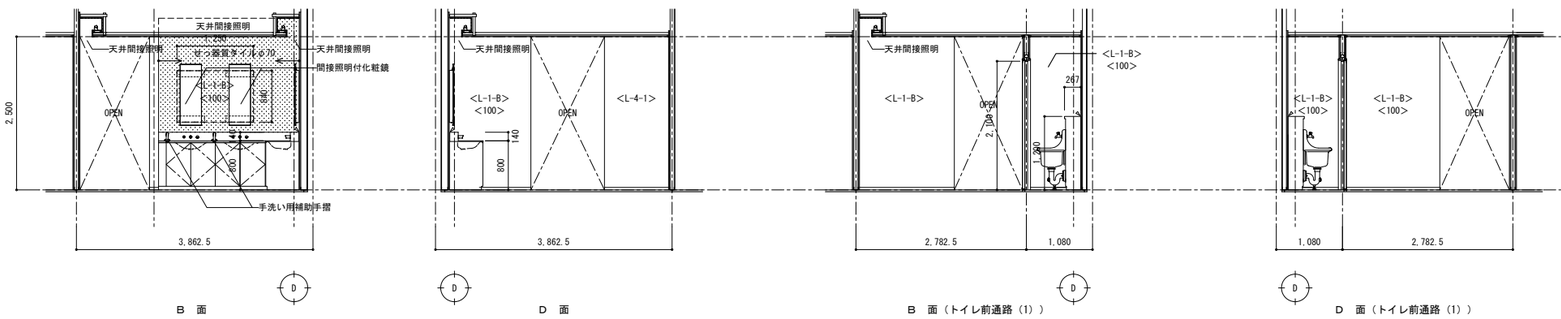
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　2階展開図（9）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-171

男子トイレ

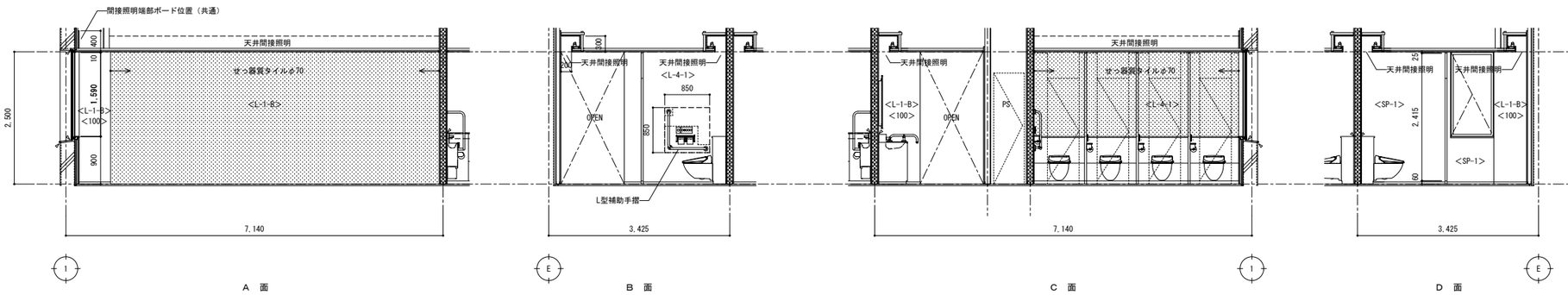
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t＝9.5 EP-G
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）

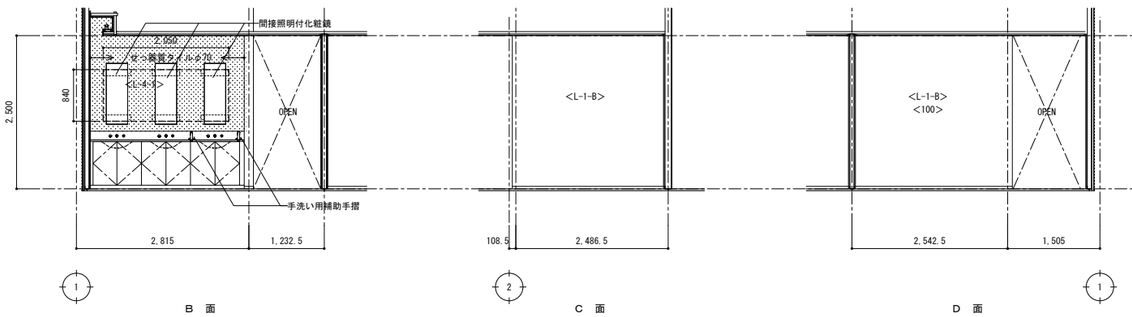




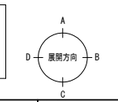
女子トイレ

床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部せっ器質タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t＝9.5 EP-G
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）





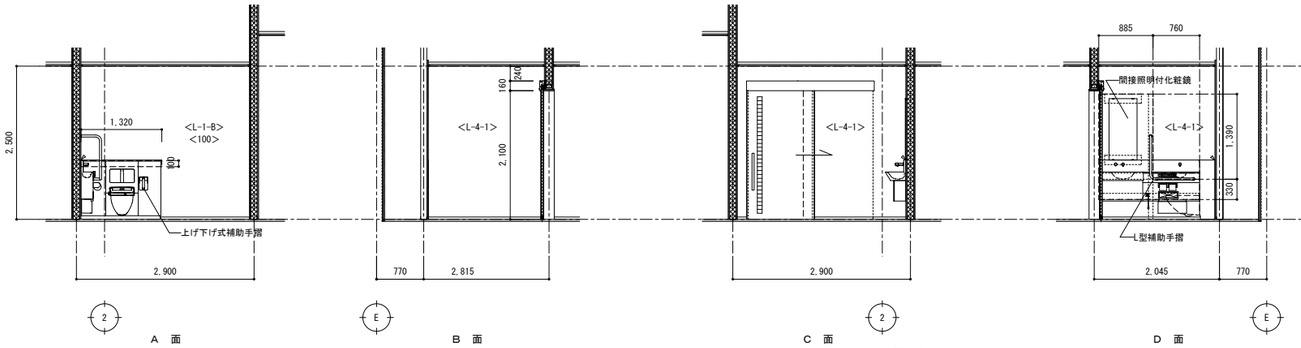
衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S t＝12.5＋耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。



特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

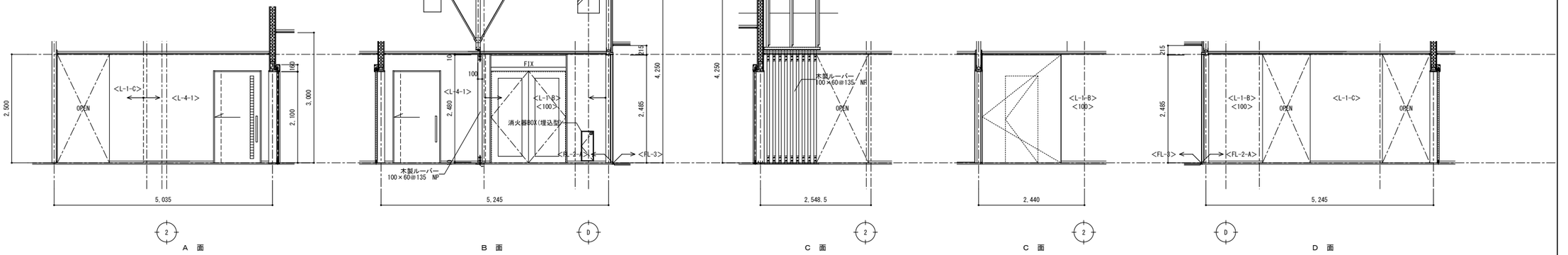
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 3階展開図（1）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-172

多機能トイレ	
床	<FL-2-D>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	トイレユニット：化粧鏡（建築工事） 各補助手摺（建築工事）

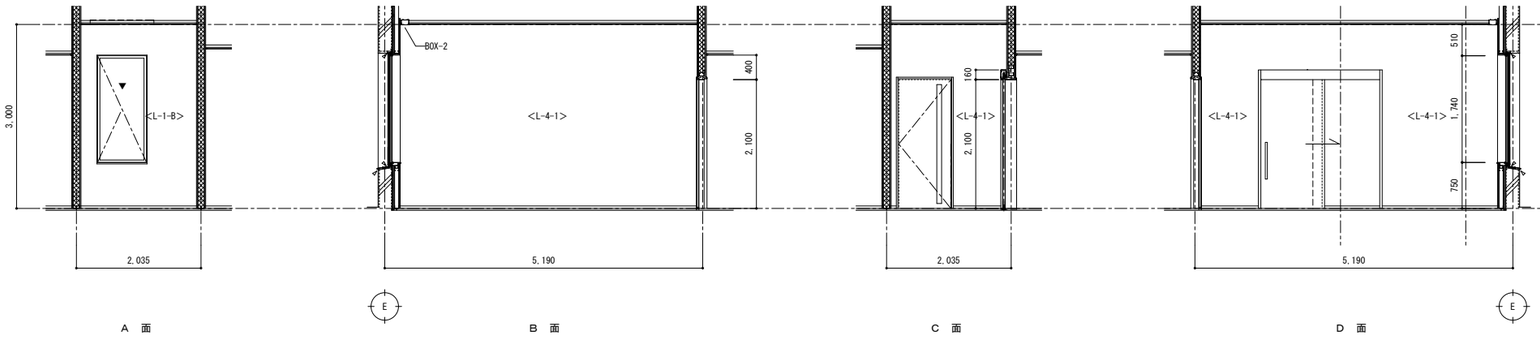


衛生器具取付位置を示す。
取り付け部分のボード面下地補強については、
GB-S t＝12.5+耐水合板 t＝12とし、他との表面不陸は、下地調整する。

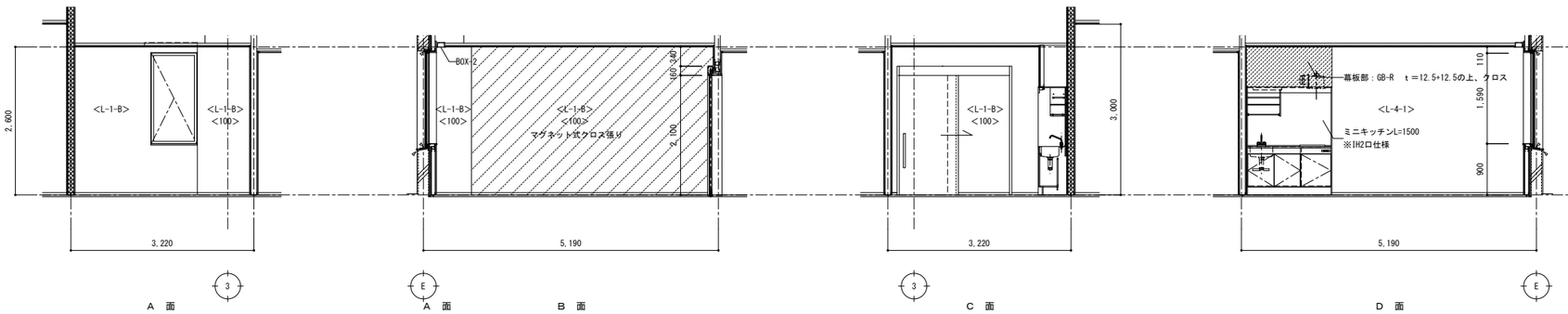
トイレ前通路（2）～廊下（1）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 一部化粧貼タイル 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-P t=9.5 EP-G
備考	

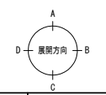


印刷室	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



休憩室（男）（女）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	

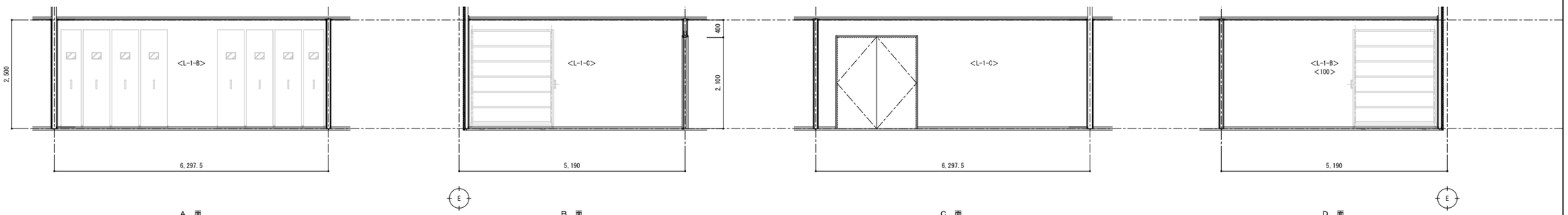




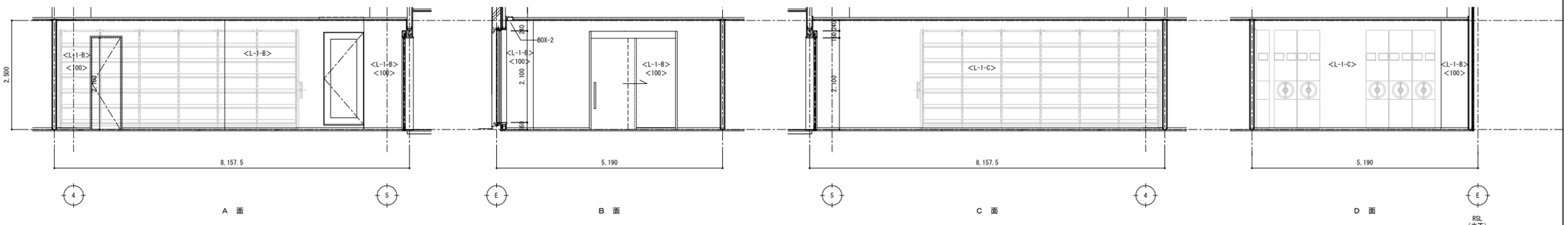
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 3階展開図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-173

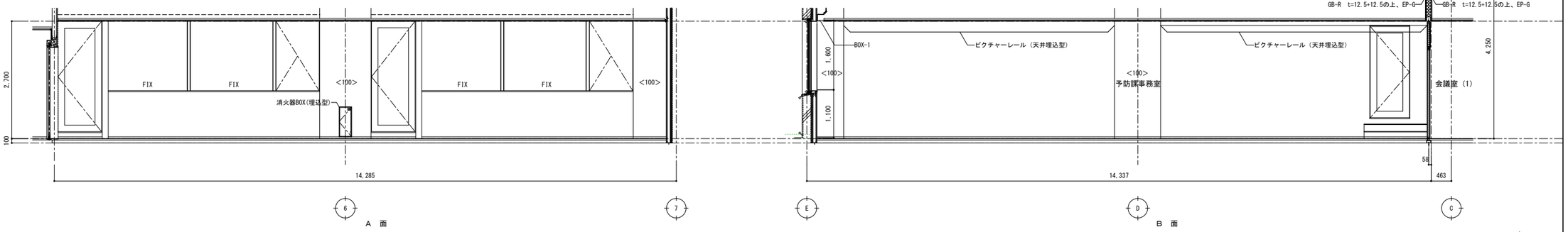
倉庫（1）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t＝9.5
備考	

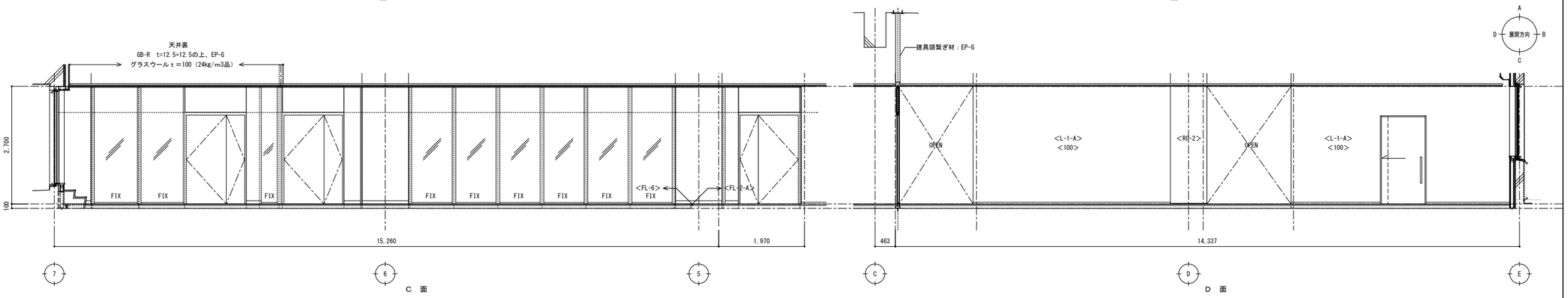


書庫	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC（T）　t＝9.5
備考	



予防課事務室	
床	<FL-6>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t＝12　透かし張り
備考	

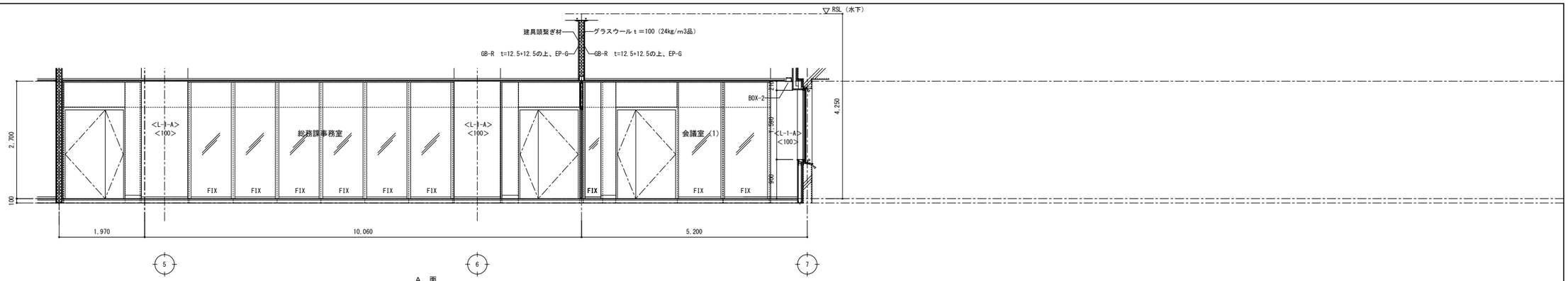




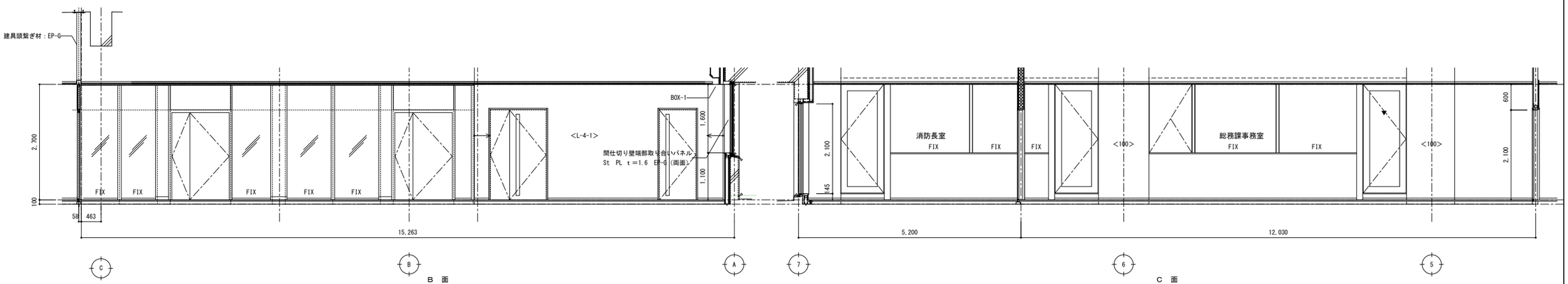
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　3階展開図（3）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-174

総務課事務室	
床	<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	化粧石膏ボード t=12 透かし張り
備考	

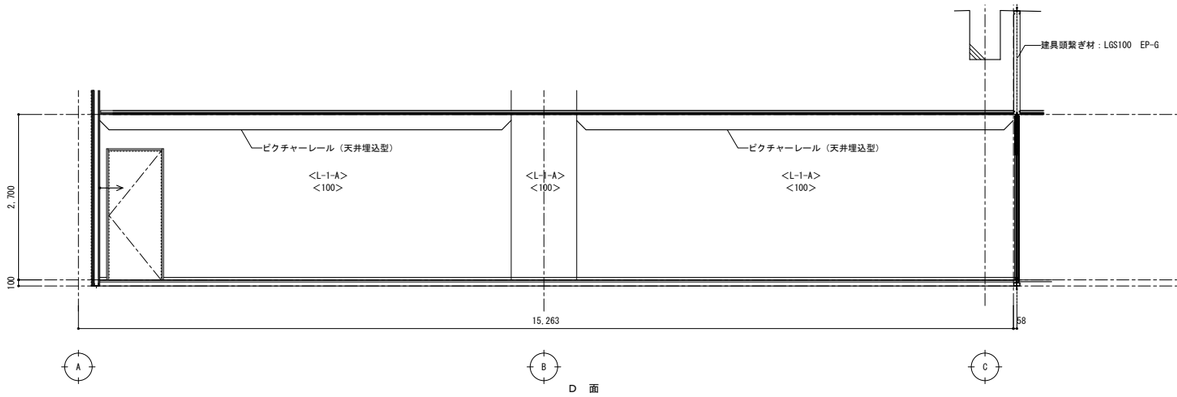


A 面



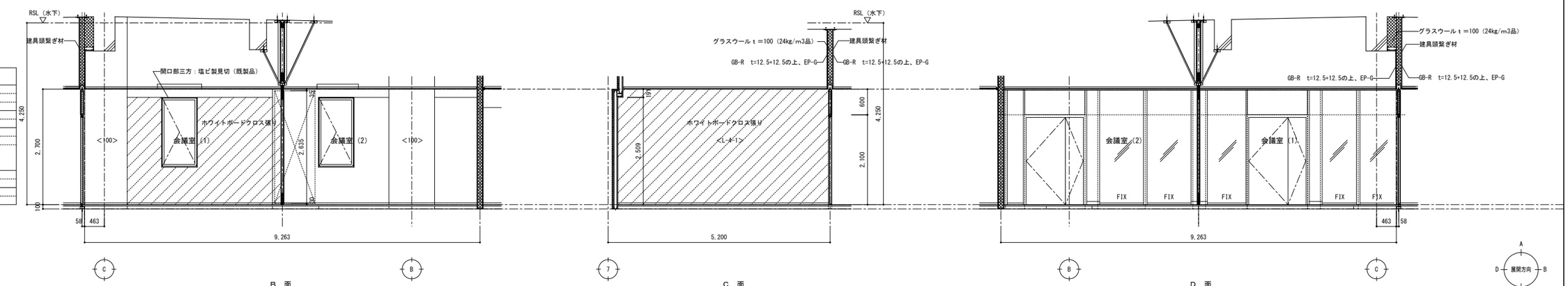
B 面

C 面



D 面

会議室（1）（2）	
床	<FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	突板練付不燃板 t=6 透かし張り
備考	



B 面

C 面

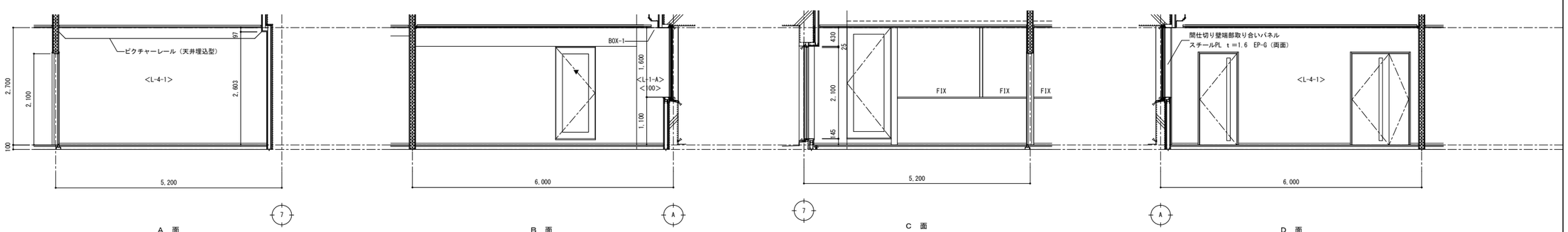
D 面

特記事項

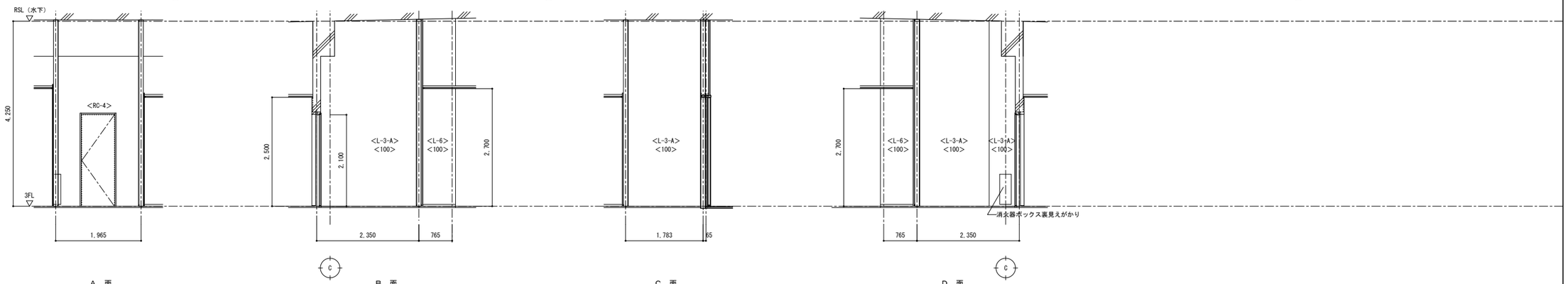
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 3階展開図（4）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-175

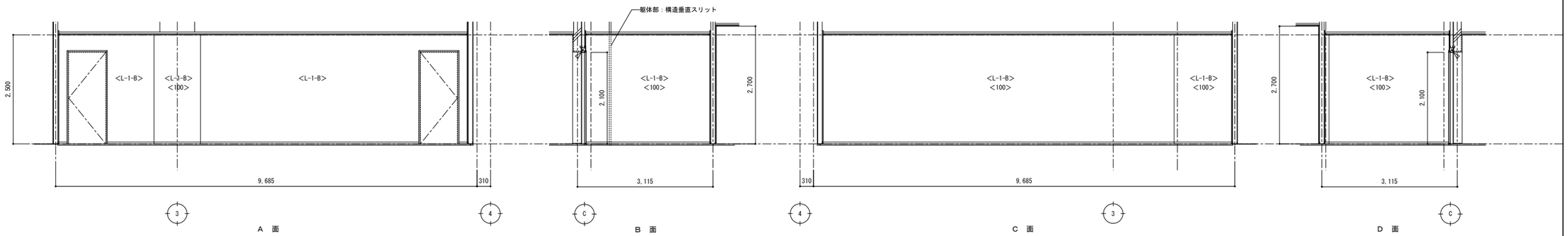
消防長室	
床	<FL-6>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t=12　透かし張り
備考	



EPS（1）	
床	<FL-2-6>
巾木	—
壁	素地 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	スラブ表し
備考	



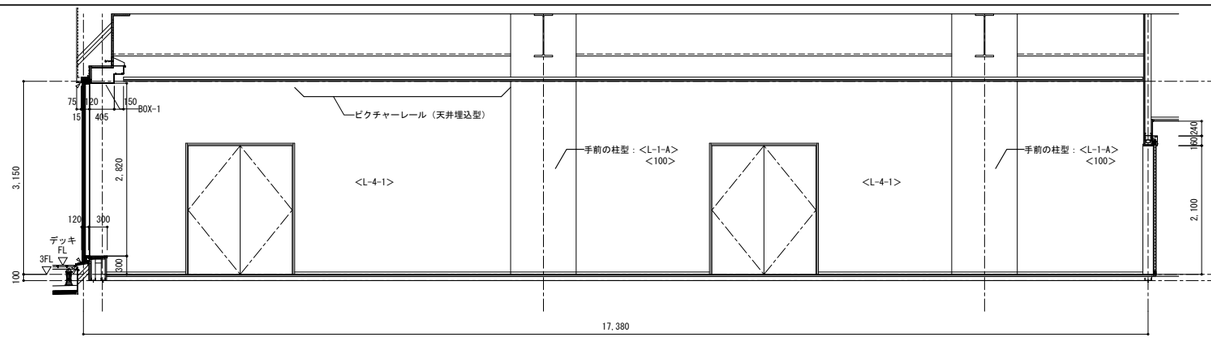
倉庫（2）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB　H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T)　t=9.5
備考	



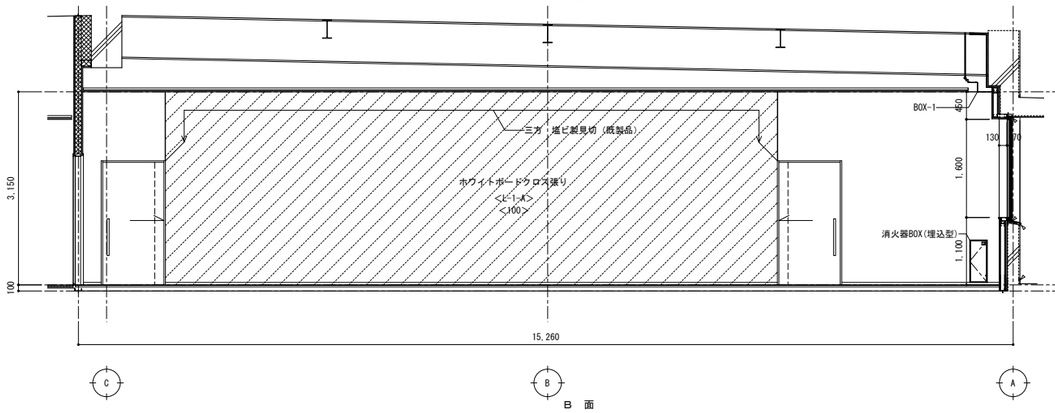
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　3階展開図（5）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-176

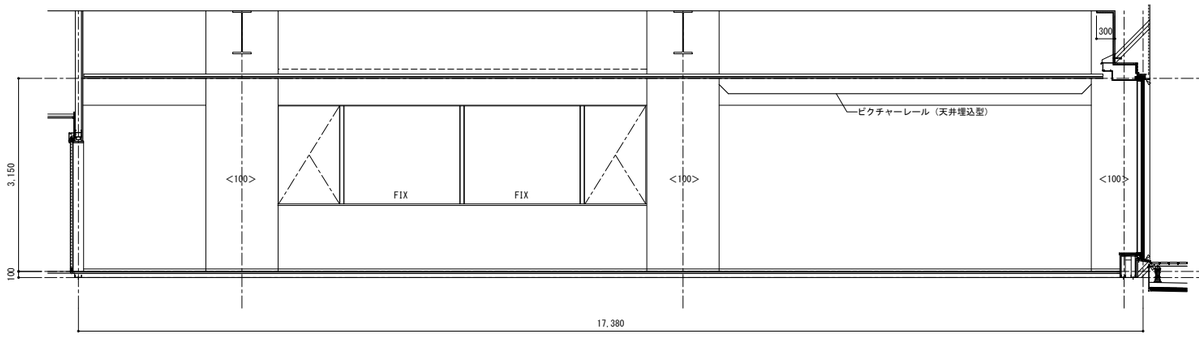
大会議室	
床	<FL-6>
巾木	VB　H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、 特記なき限り<L-1-A>とする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t=12　透かし張り
備考	



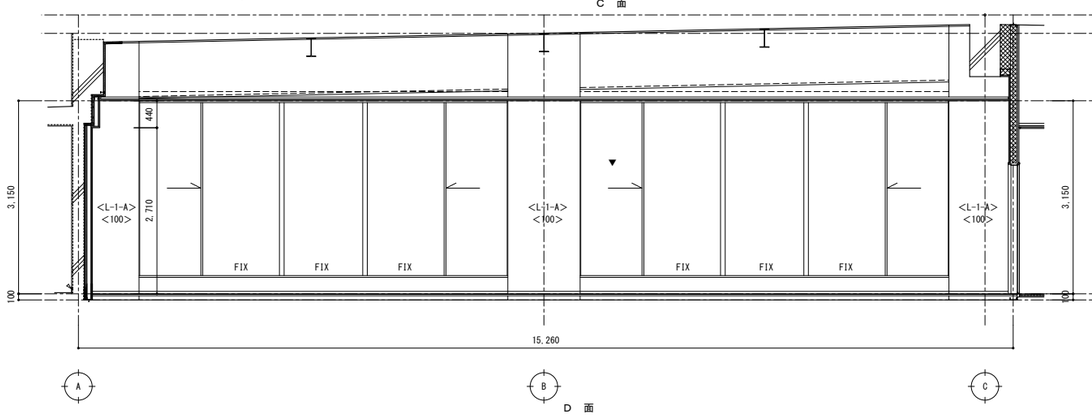
A　面



B　面



C　面



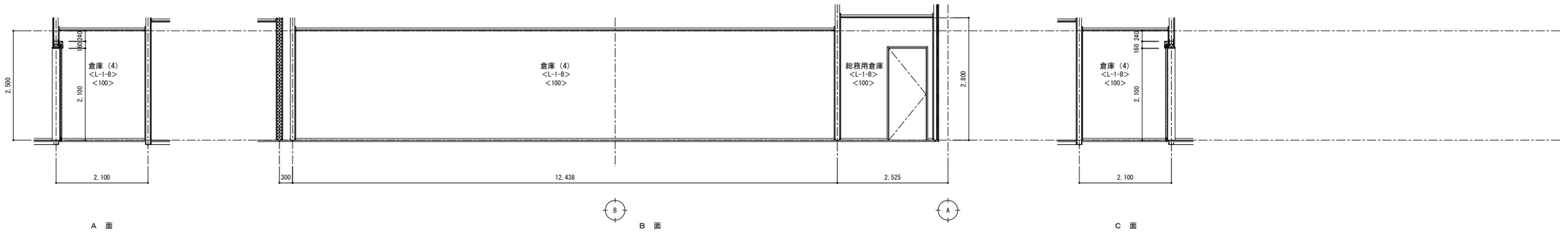
D　面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

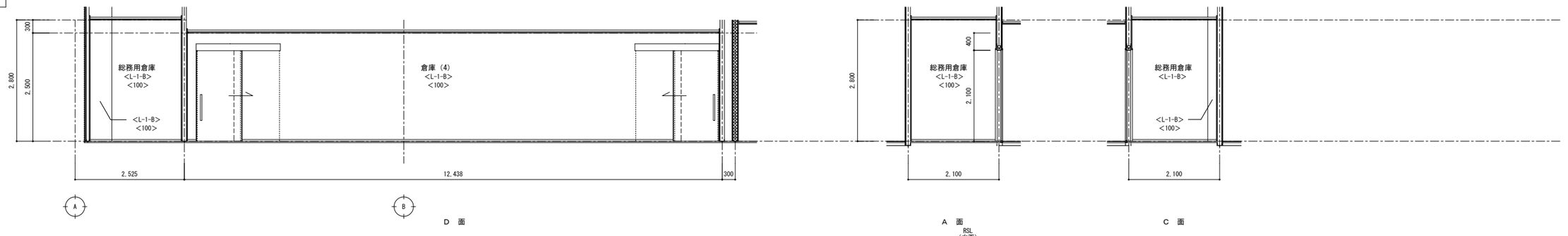
工事名	図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階展開図（6）			2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-177

倉庫（4）	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	

総務用倉庫	
床	<FL-2-C>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	

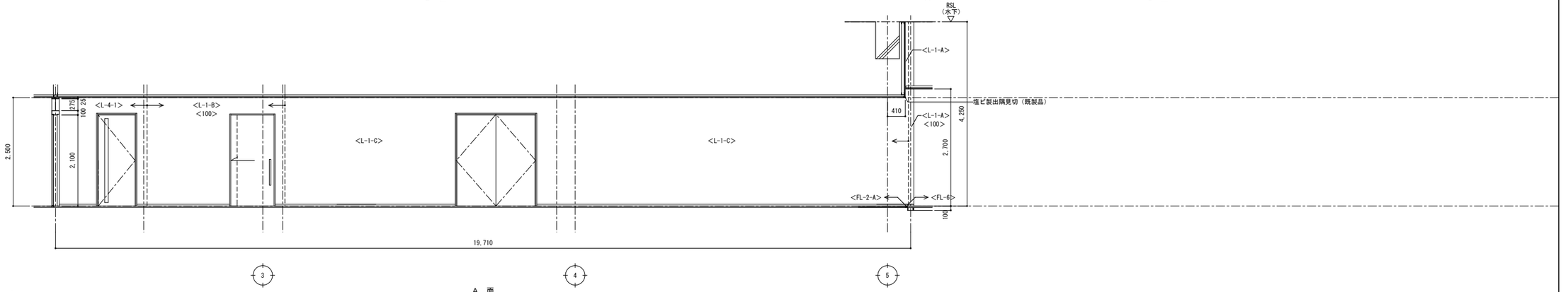


A 面　　B 面　　C 面

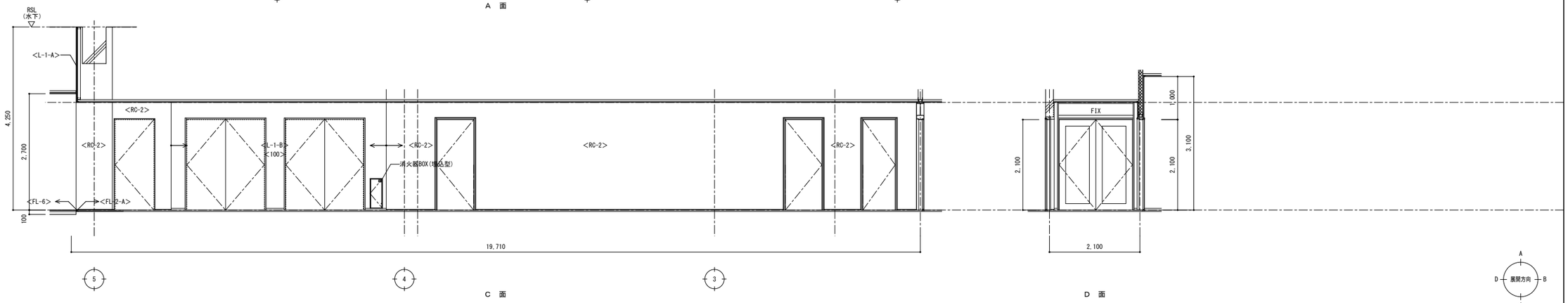


D 面　　A 面　　C 面

廊下（1）	
床	<FL-2-A>
巾木	VB H=40
壁	EP-G 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	GB-NC(T) t=9.5
備考	



A 面

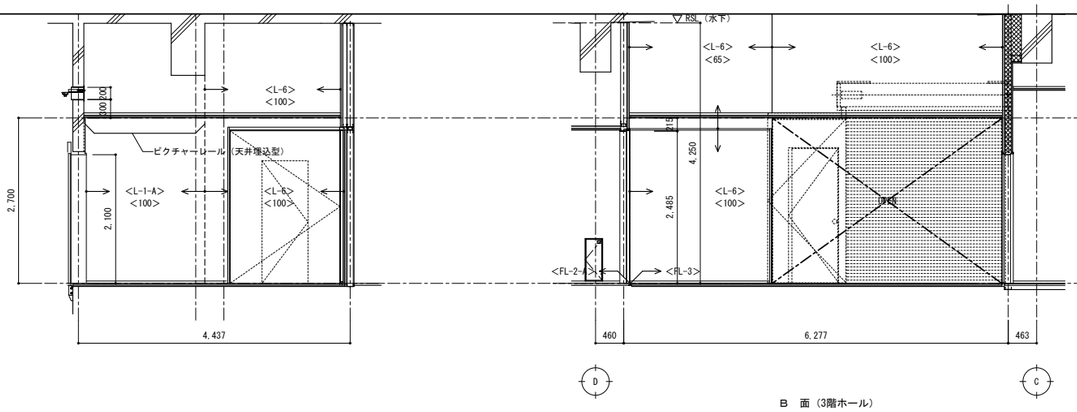


C 面　　D 面

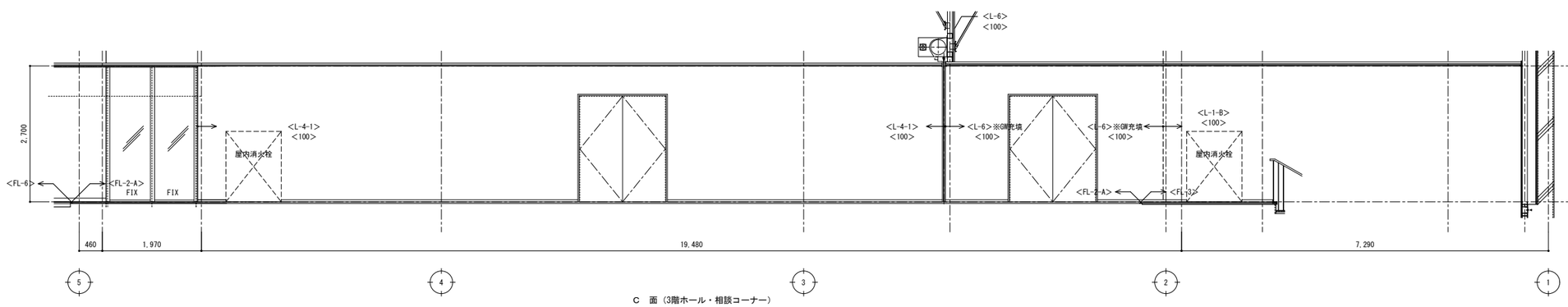
特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階展開図（7）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-178

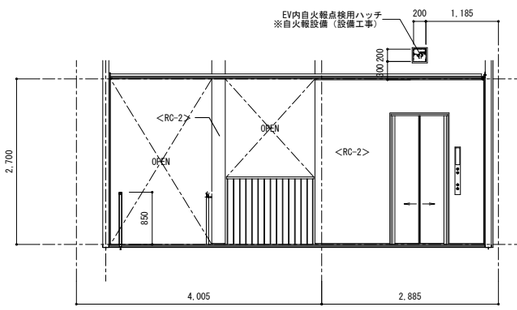
3階ホール・相談コーナー	
床	<FL-2-A> <FL-6>
巾木	VB H=40
壁	クロス 外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り<L-1-A>とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	杉板 t=12 透かし張り DR t=12 (GB-R t=12.5捨張り)
備考	



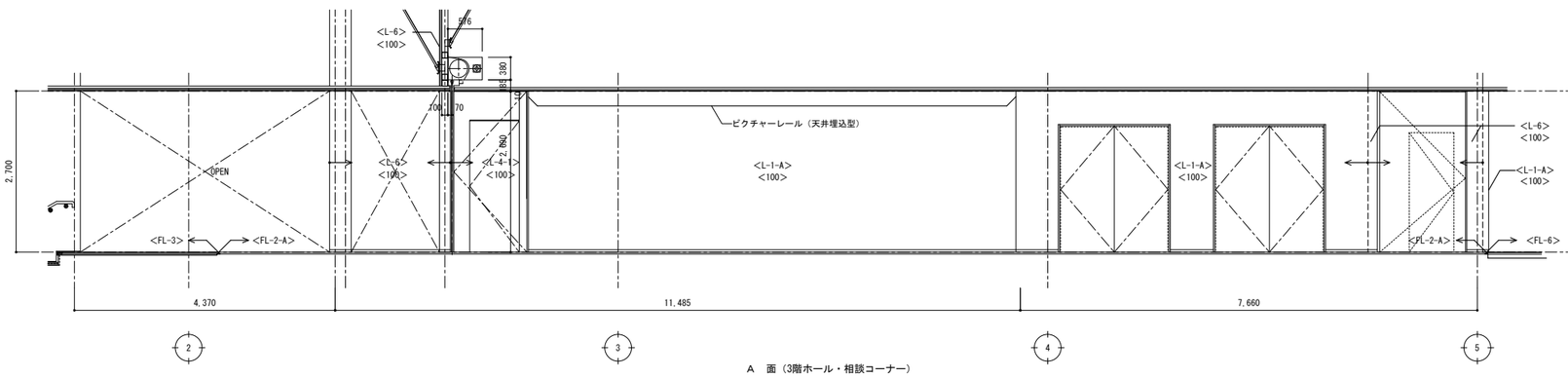
B 面（3階ホール）



C 面（3階ホール・相談コーナー）



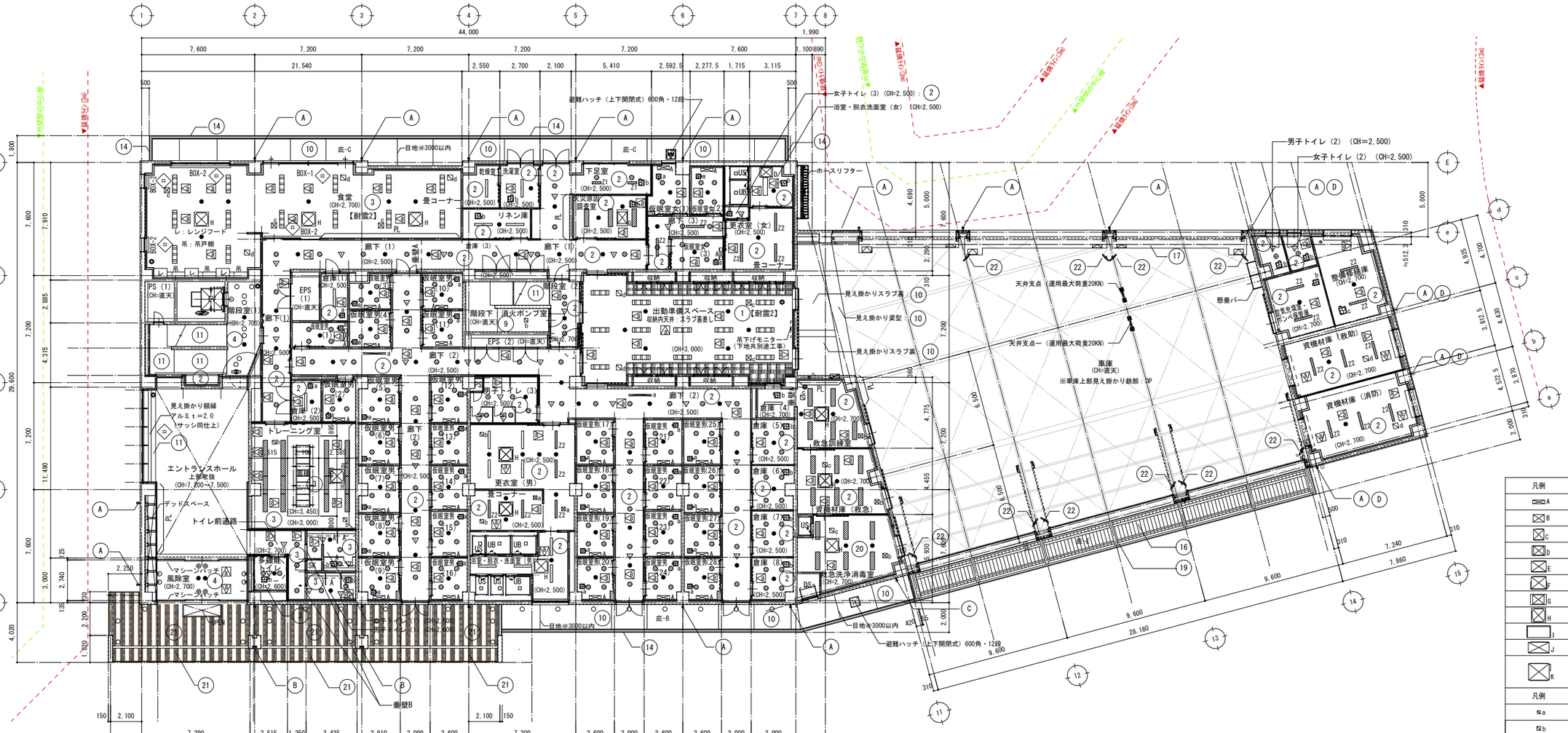
D 面（3階ホール）



A 面（3階ホール・相談コーナー）

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 3階展開図（8）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号 A-179



凡例	仕 様
A	設備用開口 800×250
B	設備用開口 750×500
C	設備用開口 700×700
D	設備用開口 900×650
E	設備用開口 1000×700
F	設備用開口 1000×800
G	設備用開口 1100×700
H	設備用開口 900×900
I	設備用開口 1600×800
J	設備用開口 1400×700
K	設備用開口 1400×1100

凡例	仕 様
a	設備用開口 200×200
b	設備用開口 250×250
c	設備用開口 300×300
d	設備用開口 350×350
e	設備用開口 400×400
f	設備用開口 450×450
g	設備用開口 500×500
h	設備用開口 550×550
a	設備用開口 250×250
b	設備用開口 300×300
c	設備用開口 350×350
a	設備用開口 1500×100
b	設備用開口 2000×100
a	設備用開口 350×350
b	設備用開口 400×400
c	設備用開口 500×500
	設備用開口 300φ

凡例	仕 様
• ○	設備用開口 150φ
○ ○ ◎ ◎ ◐	設備用開口 300φ
◎	設備用開口 500φ
●	設備用開口 100φ
⊕	設備用開口 125φ
⊘	設備用開口 150φ
✪	設備用開口 200φ
	設備用開口 300φ，600×150
	設備用開口 300φ，1200×150

凡例	仕 様
□	設備用開口 200×200
Z1	設備用開口 600×150
	設備用開口 600×300
Z2	設備用開口 1200×150
	設備用開口 1200×300
	設備用開口 1500×150
	設備用開口 3000×400
Z3	設備用開口 1200×50
Z4	設備用開口 1235×100
Z5	設備用開口 1500×50
Z6	設備用開口 1800×50
▽	＊＊＊＊＊＊＊

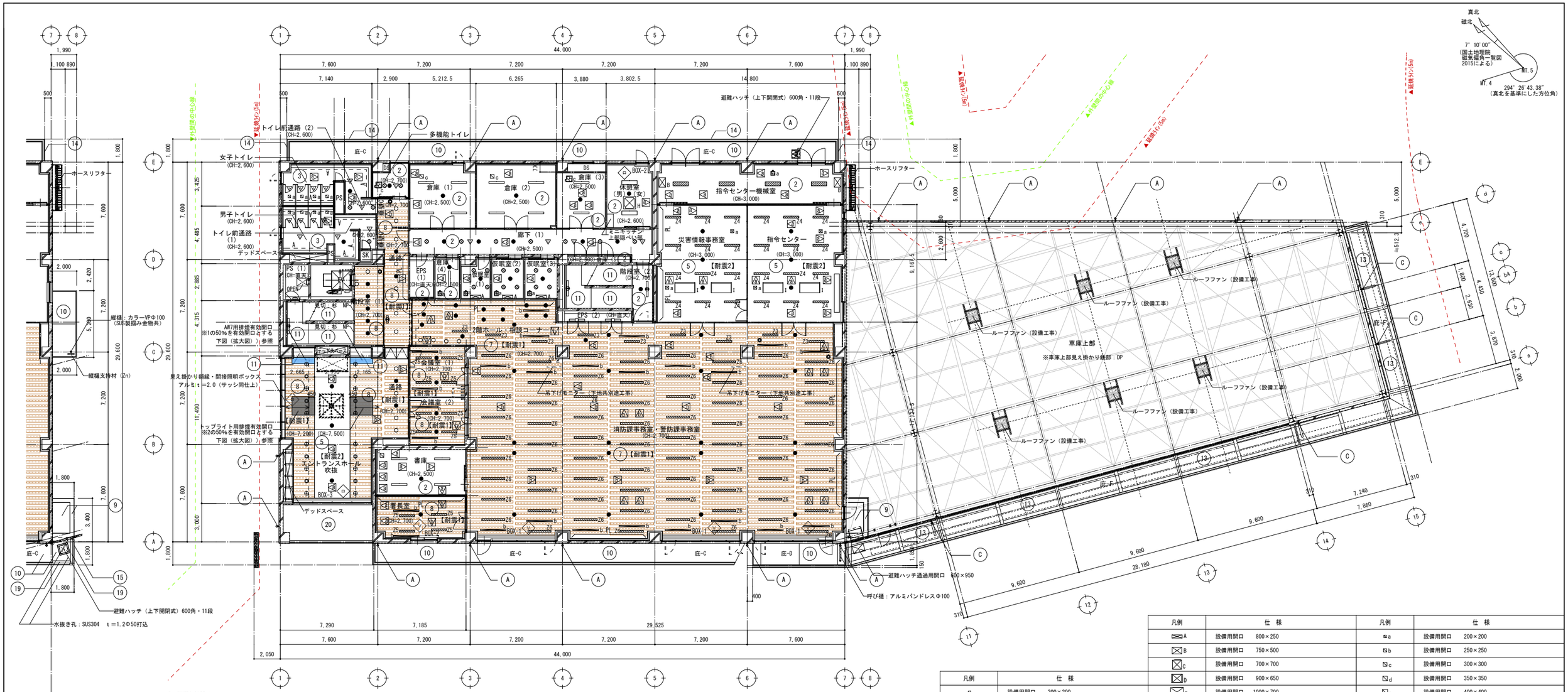
凡例	仕 様	凡例	仕 様	凡例	仕 様
1	GB-NC t=9.5 EP-G	12	アルミ庇（既製品）D=600	22	カーブミラーΦ600（天井吊り金具Φ76.3・H=700・4M12） ※上部鉄骨部より逆え吊材（□-100×100×2.3・BPL200×200×12） ※取付位置及びぴその方法については、監督員と協議の上、決定する
2	GB-NC (T) t=9.5	13	有孔ケイカル板 t=6 EP		
3	GB-P t=9.5 EP-G	14	鼻先PL スチールt=3.2 曲げ加工 Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）	A	縦樋：アルミバンドレス φ140（高強度支持金具）
4	GB-R t=12.5 ＋ DR t=12 EP-G	15	化粧パネル スチール t=3.2 曲げ加工 Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色） ※一部（朱色） 範囲は、部分詳細図による	B	縦樋：アルミバンドレス □100（凹部取付金具）
5	GB-R t=12.5 ＋ DR t=12	16	床用グレーチング（ノンスリップ） t=1.6 W=250 日鐵住金ファインフロアー同等品	C	縦樋：アルミバンドレス φ100（高強度支持金具）
6	GB-S t=9.5 EP-G	17	見えがかりシャッターケース（仕様は建具リストによる）	D	アルミ飾り桝Φ140用 ※縦樋間EXPJ用
7	杉板 t=12 透かし張り	18	見えがかり鉄部 SOP		アルミ製格子ルーバー：40×40×H40（開口率60%） 株式会社ABC商会 イントラセル（シームレスタイプ・ハンガーセル工法）同等品 ルーバー内、天井及び側面三方：GB-NC t=9.5 EP-G CH=3,600 ルーバー内、見え掛かり鋼体部（柱・梁）：RC(B)増打ち無し、下地調整の上、EP-G
8	突板練付不燃板 t=6 透かし張り	19	見えがかり鉄部 Znの上、リン酸処理		
9	RC (B) スラブ表し	20	ケイカル板 t=5 EP-G	垂壁A	ガラス仕様（線入り透明ガラスt=6.8）H=500
10	RC (A)の上、保護塗料A	21	準不燃着色木毛セメント板 t=14 W=300 @600 耐水汚合板 t=5.5捨貼り＋SUS防虫網張（20メッシュ・銀黒） ※LGS耐風下地	垂壁B	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=500
11	RC (A)の上、保護塗料B			デッドスペース	床として利用しない

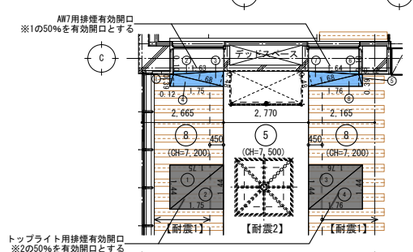
凡例	仕 様		
【耐震1】	躯体天井（水平震度1.0） 森村金属㈱ J-M金具同等品		
【耐震2】	地震対策天井（水平震度1.0） ㈱オクジュー OSシーリング SDタイプ同等品		
	間接照明を示す（シームレス照明 電気工事）		
BOX-1	アルミ製ブラインドボックス t=2.0 W=150 B-2種（ブラック・標準色）		
BOX-2	アルミ製ブラインドボックス（既製品） W=120 B-2種（ブラック・標準色）		
BOX-3	木製ブラインドボックス W=120 NP		
a	天井点検口 600角 （仕上：天井仕上同材とする）	ナカ工業株式会社 ハイハッチMM Ⅱ 同等品	
b	天井点検口 600角 （仕上：天井仕上同材とする）	部分詳細図による	
PL	ピクチャーレール（天井埋込式 ※一部壁埋込式 既製品） 吊りフック（1箇所／m）・吊りワイヤーハンガー（L=1m）共		
R	ロールスクリーン（仕様は特記仕様書による）		
V	バーチカルブラインド（仕様は特記仕様書による）		

特 記 事 項
(1) 天井下地は、鋼製下地とする。内部用・外部用を使い分けること。外部は、SUS製とする。
(2) 耐震天井以外の天井内ふところが大きい場合については、建築工事標準詳細図（最新版）3-21の内容に準じて振れ止めの補強を行う。
(3) 天井廻り縁及び出隅見切については、特記なき限り、塩ビ製（既製品）とする。
(4) 特記のないPS、EPS、DS、EVシャフトは、直天とする。 凡例：(9)
(5) 以下の天井内（隠ぺい部以外）見え掛かり部分の仕上は、EP-G(黒）とする。 ・硬質ウレタンフォーム部・スラブ裏・梁型・LGS下地・ボード面・設備機器関係全般
(6) 各耐震天井の仕様については、部分詳細図による。
(7) 天井開口部下地補強については、建築工事標準詳細図（最新版）3-41・3-42の内容に準ずる。
(8) 杉板t=12透かし張り部 及び 突板練付不燃板t=6透かし張り部 天井内スラブ下は、GWマットt=25とする。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 1階天井伏図	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-180





※1

記号	計算式(m)	面積(㎡)
①	0.12 × 0.39 ÷ 2	0.02
②	1.63 × 0.10 ÷ 2	0.08
③	1.68 × 0.48 ÷ 2	0.40
④	1.75 × 0.39 ÷ 2	0.34
⑤	0.39 × 0.12 ÷ 2	0.02
⑥	0.10 × 1.64 ÷ 2	0.08
⑦	1.68 × 0.48 ÷ 2	0.40
⑧	1.76 × 0.39 ÷ 2	0.34
合計面積		1.68

※2

記号	計算式(m)	面積(㎡)
①	1.75 × 1.44 ÷ 2	1.26
②	1.75 × 1.44 ÷ 2	1.26
③	1.76 × 1.44 ÷ 2	1.27
④	1.76 × 1.44 ÷ 2	1.27
合計面積		5.06

2階天井伏図

※特記なき限り、各仮眠室の天井仕上は、(2)とし、
天井高さは、CH=2,700とする。

排煙有効開口算定　拡大図　A1:1/100 A3:1/200

凡例	仕様
● ◇	設備用開口 150φ
○○◎◎◎	設備用開口 300φ
◎	設備用開口 500φ
●	設備用開口 100φ
⊕	設備用開口 125φ
⊘	設備用開口 150φ
◘	設備用開口 200φ
▭	設備用開口 300φ,600×150
▭	設備用開口 300φ,1200×150

凡例	仕様
▫	設備用開口 200×200
Z1	設備用開口 600×150
▨	設備用開口 600×300
Z2	設備用開口 1200×150
▭	設備用開口 1200×300
▭	設備用開口 1500×150
▭	設備用開口 3000×400
Z3	設備用開口 1200×50
Z4	設備用開口 1235×100
Z5	設備用開口 1500×50
Z6	設備用開口 1800×50
▽	＊＊＊＊＊＊＊

凡例	仕様
A	設備用開口 800×250
B	設備用開口 750×500
C	設備用開口 700×700
D	設備用開口 900×650
E	設備用開口 1000×700
F	設備用開口 1000×800
G	設備用開口 1100×700
H	設備用開口 900×900
I	設備用開口 1600×800
J	設備用開口 1400×700
K	設備用開口 1400×1100

凡例	仕様
a	設備用開口 200×200
b	設備用開口 250×250
c	設備用開口 300×300
d	設備用開口 350×350
e	設備用開口 400×400
f	設備用開口 450×450
g	設備用開口 500×500
h	設備用開口 550×550
⊠a	設備用開口 250×250
⊠b	設備用開口 300×300
⊠c	設備用開口 350×350
a	設備用開口 1500×100
b	設備用開口 2000×100
a	設備用開口 350×350
b	設備用開口 400×400
c	設備用開口 500×500
◘	設備用開口 300φ

凡例	仕様
1	GB-NC t=9.5 EP-G
2	GB-NC (T) t=9.5
3	GB-P t=9.5 EP-G
4	GB-R t=12.5 ＋ DR t=12 EP-G
5	GB-R t=12.5 ＋ DR t=12
6	GB-S t=9.5 EP-G
7	杉板 t=12 透かし張り
8	突板練付不燃板 t=6 透かし張り
9	RC (B) スラブ表し
10	RC (A)の上、保護塗料A
11	RC (A)の上、保護塗料B
12	アルミ庇（既製品）D=600
13	有孔ケイカル板 t=6 EP
14	鼻先PL スチールｔ＝3.2 曲げ加工 Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）
15	化粧パネル スチール t=3.2 曲げ加工 Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色） ※一部（朱色） 範囲は、部分詳細図による
16	床用グレーチング（ノンスリップ） t=1.6 W=250 日鐵住金ファインフロアー同等品
17	見えがかりシャッターケース（仕様は建具リストによる）
18	見えがかり鉄部 SOP
19	見えがかり鉄部 Znの上、リン酸処理
20	ケイカル板 t=5 EP-G
21	準不燃着色木毛セメント板 t=14 W=300 @600 耐水汚合板ｔ＝5.5捨貼り＋SUS防虫網張（20メッシュ・銀黒） ※LGS耐風下地
22	カーブミラーΦ600（天井吊り金具Φ76.3・H=700・4M12） ※上部鉄骨部より逆え吊材（□-100×100×2.3・BPL200×200×12） ※取付位置及びその方法については、監督員と協議の上、決定する
A	縦樋：アルミバンドレス φ140（高強度支持金具）
B	縦樋：アルミバンドレス □100（凹部取付金具）
C	縦樋：アルミバンドレス φ100（高強度支持金具）
D	アルミ飾り桝Φ140用 ※縦樋間EXPJ用
垂壁C	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=600
デッドスペース	床として利用しない

凡例	仕様
【耐震1】	躯体天井（水平震度1.0） 森村金属㈱ J-M金具同等品
【耐震2】	地震対策天井（水平震度1.0） ㈱オクジュー OSシーリング SDタイプ同等品
	間接照明を示す（シームレス照明 電気工事）
BOX-1	アルミ製ブラインドボックス t=2.0 W=150 B-2種（ブラック・標準色）
BOX-2	アルミ製ブラインドボックス（既製品） W=120 B-2種（ブラック・標準色）
BOX-3	木製ブラインドボックス W=120 NP
a	天井点検口 600角 （仕上：天井仕上同材とする） ナカ工業株式会社 ハイハッチMM Ⅱ 同等品
b	天井点検口 600角 （仕上：天井仕上同材とする） 部分詳細図による
PL	ピクチャーレール（天井埋込式 ※一部壁埋込式 既製品） 吊りフック（1箇所/m）・吊りワイヤーハンガー（L=1m）共
α	ロールスクリーン（仕様は特記仕様書による）
V	バーチカルブラインド（仕様は特記仕様書による）

凡例	特記事項
(1)	天井下地は、鋼製下地とする。内部用・外部用を使い分けること。外部は、SUS製とする。
(2)	耐震天井以外の天井内ふとこうが大きい場合については、建築工事標準詳細図（最新版）3-21の内容に準じて振れ止めの補強を行う。
(3)	天井廻り縁及び出隅見切りについては、特記なき限り、塩ビ製（既製品）とする。
(4)	特記のないPS、EPS、DS、EVシャフトは、直天とする。 凡例：(9)
(5)	以下の天井内（隠べい部以外）見え掛かり部分の仕上は、EP-G(黒）とする。 ・硬質ウレタンフォーム部・スラブ裏・梁型・LGS下地・ボード面・設備機器関係全般
(6)	各耐震天井の仕様については、部分詳細図による。
(7)	天井開口部下地補強については、建築工事標準詳細図（最新版）3-41・3-42の内容に準ずる。
(8)	杉板t=12透かし張り部 及び 突板練付不燃板t=6透かし張り部 天井内スラブ下は、GWマットｔ=25とする。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階天井伏図	2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武 / 設計者名 安川 雅巳 / 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 A-181

3階天井伏図

凡例	仕様	凡例	仕様
A	設備用開口　800×250	a	設備用開口　200×200
B	設備用開口　750×500	b	設備用開口　250×250
C	設備用開口　700×700	c	設備用開口　300×300
D	設備用開口　900×650	d	設備用開口　350×350
E	設備用開口　1000×700	e	設備用開口　400×400
F	設備用開口　1000×800	f	設備用開口　450×450
G	設備用開口　1100×700	g	設備用開口　500×500
H	設備用開口　900×900	h	設備用開口　550×550
I	設備用開口　1600×800	a	設備用開口　250×250
J	設備用開口　1400×700	b	設備用開口　300×300
K	設備用開口　1400×1100	c	設備用開口　350×350
		a	設備用開口　1500×100
		b	設備用開口　2000×100
		a	設備用開口　350×350
		b	設備用開口　400×400
		c	設備用開口　500×500
◎			設備用開口　300φ

凡例	仕様
□	設備用開口　200×200
Z1	設備用開口　600×150
	設備用開口　600×300
Z2	設備用開口　1200×150
	設備用開口　1200×300
	設備用開口　1500×150
	設備用開口　3000×400
Z3	設備用開口　1200×50
Z4	設備用開口　1235×100
Z5	設備用開口　1500×50
Z6	設備用開口　1800×50
▽	＊＊＊＊＊＊＊

凡例	仕様
● ○	設備用開口　150φ
○○⊘◎◔	設備用開口　300φ
⊗	設備用開口　500φ
●	設備用開口　100φ
⊕	設備用開口　125φ
⊘	設備用開口　150φ
◎	設備用開口　200φ
	設備用開口　300φ, 600×150
	設備用開口　300φ, 1200×150

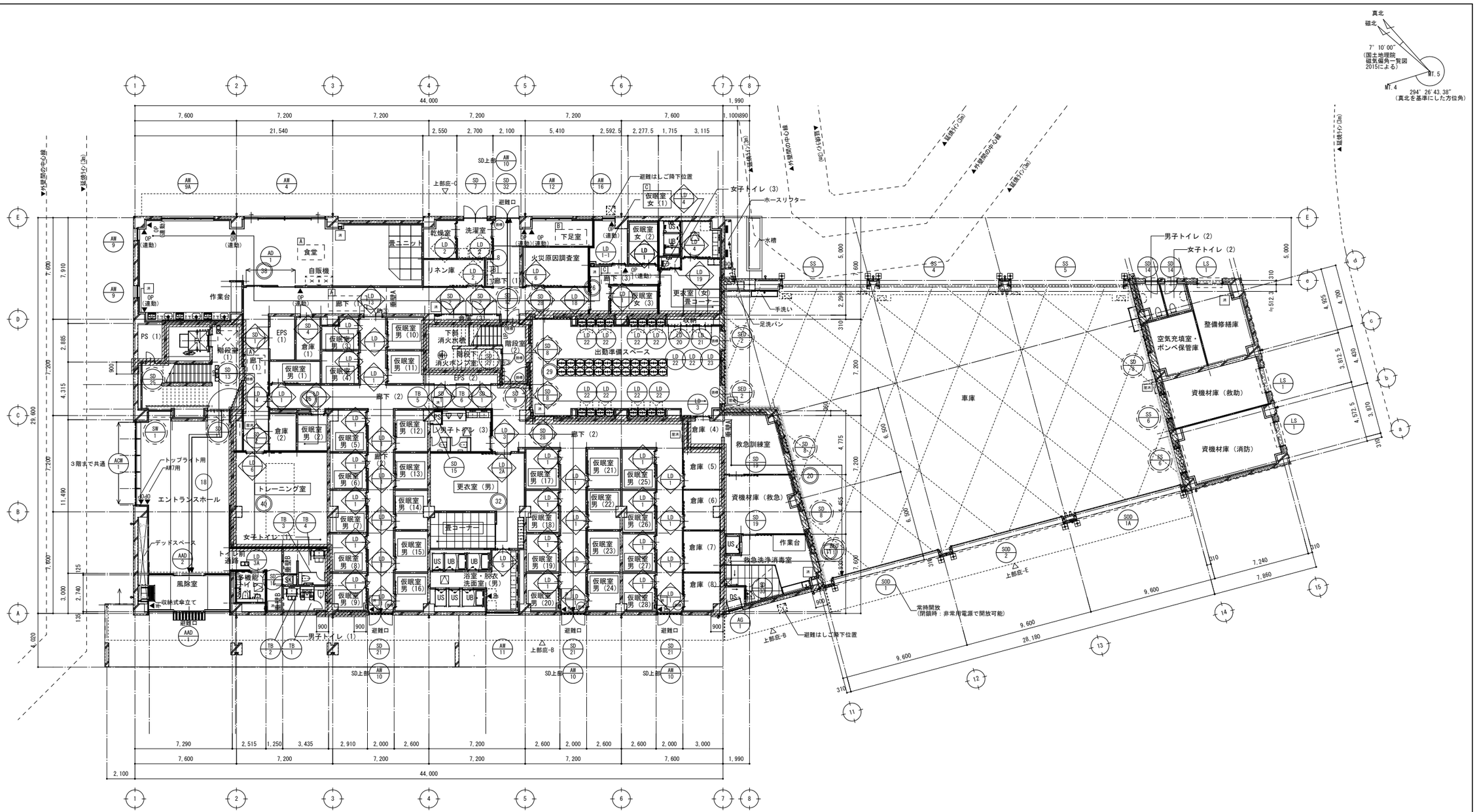
凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
1	GB-NC t＝9.5　EP-G	12	アルミ庇（既製品）D=600	22	カーブミラーΦ600（天井吊り金具Φ76.3・H=700・4M12） ※上部鉄骨部より迎え吊材（□-100×100×2.3・BPL200×200×12） ※取付位置及びその方法については、監督員と協議の上、決定する
2	GB-NC（T）　t＝9.5	13	有孔ケイカル板　t＝6　EP		
3	GB-P t＝9.5　EP-G	14	鼻先PL　スチールｔ＝3.2　曲げ加工　Ｚｎの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）		
4	GB-R t＝12.5　＋　DR t＝12　EP-G	15	化粧パネル　スチール　ｔ＝3.2　曲げ加工　Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色） ※一部（朱色）　範囲は、部分詳細図による	A	縦樋：アルミバンドレス　φ140（高強度支持金具）
5	GB-R t＝12.5　＋　DR t＝12	16	床用グレーチング（ノンスリップ）　ｔ＝1.6　W＝250　日鐵住金ファインフロアー同等品	B	縦樋：アルミバンドレス　□100（凹部取付金具）
6	GB-S t＝9.5　EP-G	17	見えがかりシャッターケース（仕様は建具リストによる）	C	縦樋：アルミバンドレス　φ100（高強度支持金具）
7	杉板　ｔ＝12　透かし張り	18	見えがかり鉄部　SOP	D	アルミ飾り桝Φ140用　※縦樋間EXPJ用
8	突板練付不燃板　ｔ＝6　透かし張り	19	見えがかり鉄部　Znの上、リン酸処理		
9	RC（B）　スラブ表し	20	ケイカル板　ｔ＝5　EP-G	デッドスペース	床として利用しない
10	RC（A)の上、保護塗料A	21	準不燃着色木毛セメント板　ｔ＝14　W＝300　@600 耐水汚合板ｔ＝5.5捨貼り＋SUS防虫網張（20メッシュ・銀黒）　※LGS耐風下地		
11	RC（A)の上、保護塗料B				

凡例	仕様	
【耐震1】	躯体天井（水平震度1.0）　森村金属㈱　J-M金具同等品	
【耐震2】	地震対策天井（水平震度1.0）　㈱オクジュー　OSシーリング　SDタイプ同等品	
A	間接照明を示す（シームレス照明　電気工事）	
BOX-1	アルミ製ブラインドボックス　ｔ＝2.0　W＝150　B-2種（ブラック・標準色）	
BOX-2	アルミ製ブラインドボックス（既製品）　W＝120　B-2種（ブラック・標準色）	
BOX-3	木製ブラインドボックス　W＝120　NP	
a	天井点検口　600角　（仕上：天井仕上同材とする）	ナカ工業株式会社 ハイハッチMMⅡ　同等品
b	天井点検口　600角　（仕上：天井仕上同材とする）	部分詳細図による
PL	ピクチャーレール（天井埋込式　※一部壁埋込式　既製品） 吊りフック（１箇所／ｍ）・吊りワイヤーハンガー（L=1m）共	
◇□	ロールスクリーン（仕様は特記仕様書による）	
◇V	バーチカルブラインド（仕様は特記仕様書による）	

特記事項
(1)　天井下地は、鋼製下地とする。内部用・外部用を使い分けること。外部は、SUS製とする。
(2)　耐震天井以外の天井内ふところが大きい場合については、建築工事標準詳細図（最新版）3-21の内容に準じて振れ止め補強を行う。
(3)　天井廻り縁及び出隅見切については、特記なき限り、塩ビ製（既製品）とする。
(4)　特記のないPS、EPS、DS、EVシャフトは、直天とする。　凡例：⑨
(5)　以下の天井内（隠ぺい部以外）見え掛かり部分の仕上は、EP-G(黒）とする。 ・硬質ウレタンフォーム部・スラブ裏・梁型・LGS下地・ボード面・設備機器関係全般
(6)　各耐震天井の仕様については、部分詳細図による。
(7)　天井開口部下地補強については、建築工事標準詳細図（最新版）3-41・3-42の内容に準ずる。
(8)　杉板t=12透かし張り部 及び 突板練付不燃板t=6透かし張り部 天井内スラブ下は、GWマットｔ=25とする。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階天井伏図	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-182



1階建具案内図

1FL=71.40

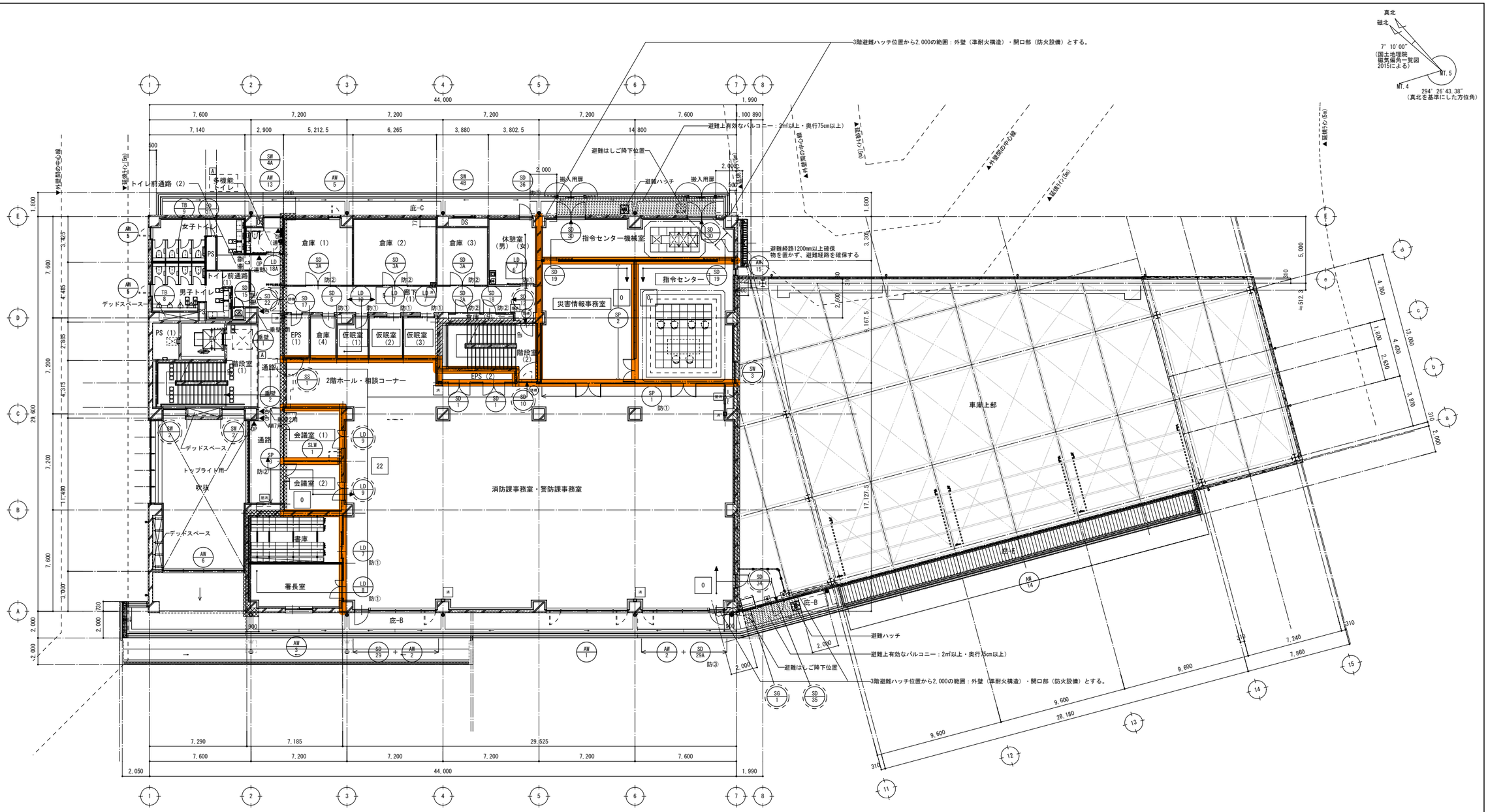
※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	【71.**】	特記以外の床レベルを示す		面積区画範囲を示す	垂壁B	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=500		避難方向（経路）を示す
	LGS壁　特記なき限り65型		床下点検口　600角（防臭・防滴型）		異種用途区画範囲を示す	防①	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	*	避難距離を示す　例：18　階段から屋外出口への歩行距離　≦50m
	LGS壁（グラスウール充填）	MH	鋳鉄製マンホールΦ600（防臭・防滴）	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする	防②	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様（遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	*	避難距離を示す　例：26　居室から屋外出口への歩行距離　≦100m
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事	室名 / 室名	二室一室の部屋を示す 凡例左上の英字が二室一室になる室を示す	防③	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※平成 31年3月29日　告示第 1360 号に準ずる仕様	▲ 手	手動開放装置（埋込型）位置 手動開放装置芯：FL+800以上1500以下とする
▲ OP （連動）	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事				特定防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる		建具上部垂壁H=300+常時閉鎖式不燃建具を示す（自然排煙）
		誘標	誘導標識：建築工事	垂壁A	ガラス仕様（線入り透明ガラス t＝6.8）H=500	デッドスペース	床の用途として利用しない		建具上部垂壁H=300+常時閉鎖式不燃建具を示す（告示）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　1階建具案内図	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-183



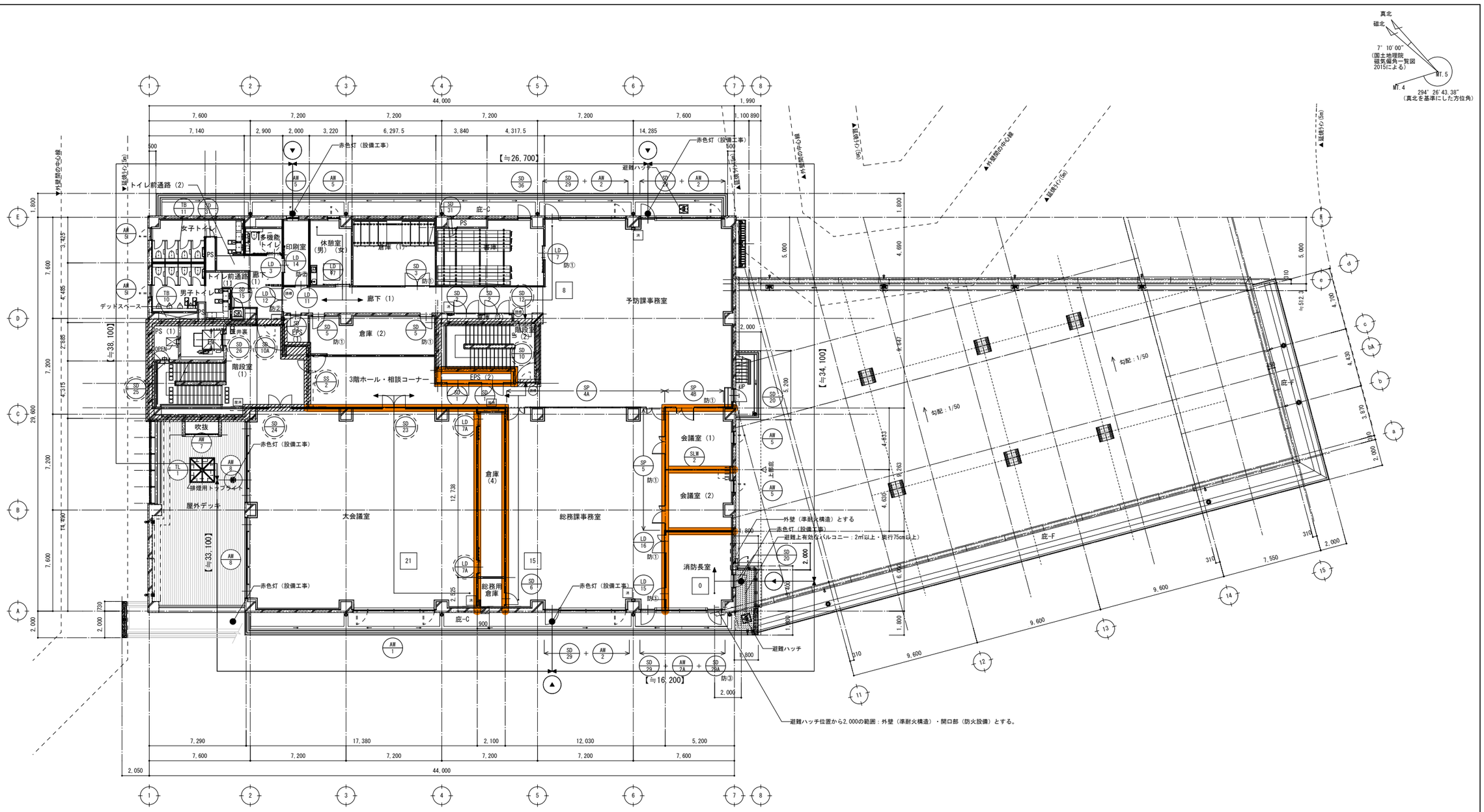
2階建具案内図

（区画避難対象）

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	【71.**】	特記以外の床レベルを示す		面積区画範囲を示す	垂壁C	LGS壁（仕上・下地共不燃材）H=600		避難方向を示す
	LGS壁　特記なき限り65型		床下点検口　600角（防臭・防滴型）		異種用途区画範囲を示す	防①	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	*	重複距離を示す　≦25m
	LGS壁（グラスウール充填）	MH	鋳鉄製マンホールΦ600（防臭・防滴）		避難安全検証法上の区画区画範囲を示す	防②	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様（遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）		避難安全検証法上必要な防煙区画範囲を示す
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする	防③	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※平成 31年3月29日　告示第 1360 号に準ずる仕様		
▲ OP （連動）	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事	室名 室名	二室一室の部屋を示す 凡例左上の英字が二室一室になる室を示す		特定防火設備を示す		
		誘導	誘導標識：建築工事			デッドスペース	床の用途として利用しない		

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　2階建具案内図		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/150 A3:1/300	図面番号：A-184



3階建具案内図

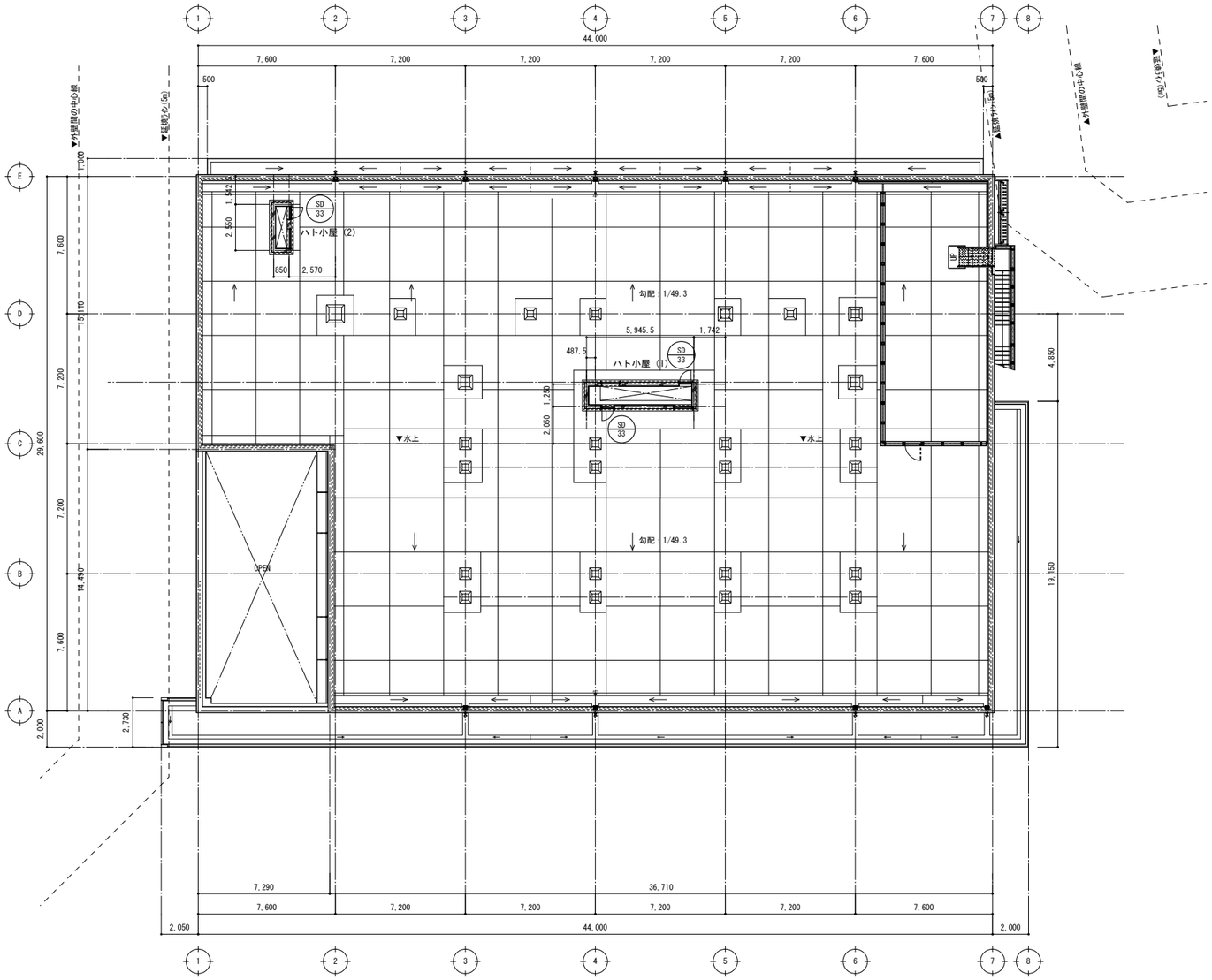
（階避難安全検証法対象）

凡 例	仕 様	凡 例	仕 様	凡 例	仕 様	凡 例	仕 様	凡 例	仕 様
	RC壁	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す	防①	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）		避難安全検証法上必要な防煙区画範囲を示す
	LGS壁　特記なき限り65型	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事		避難方向を示す	防②	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様（遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）		
	LGS壁（グラスウール充填）	誘標	誘導標識：建築工事	*	重複距離を示す　≦25m	防③	防火設備を示す　※告示番号および認定番号については、各建具リストによる ※平成 31年3月29日　告示第 1360 号に準ずる仕様		
OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする	デッドスペース	床の用途として利用しない				※告示番号および認定番号については、各建具リストによる 特定防火設備を示す		
		▲	非常用進入口位置を示す						

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　3階建具案内図	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-185



屋根建具案内図

真北
磁北
7° 10' 00"
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26' 43.38"
（真北を基準にした方位角）

凡例	仕　様
防①	防火設備を示す ※建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）
防②	防火設備を示す ※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）
防③	防火設備を示す ※平成 31年3月29日　告示第 1360 号に準ずる仕様
	特定防火設備を示す

代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原　嘉成		小田　文武		安川　雅巳	
一級建築士 第247426号		一級建築士 第318795号		一級建築士 第322365号	

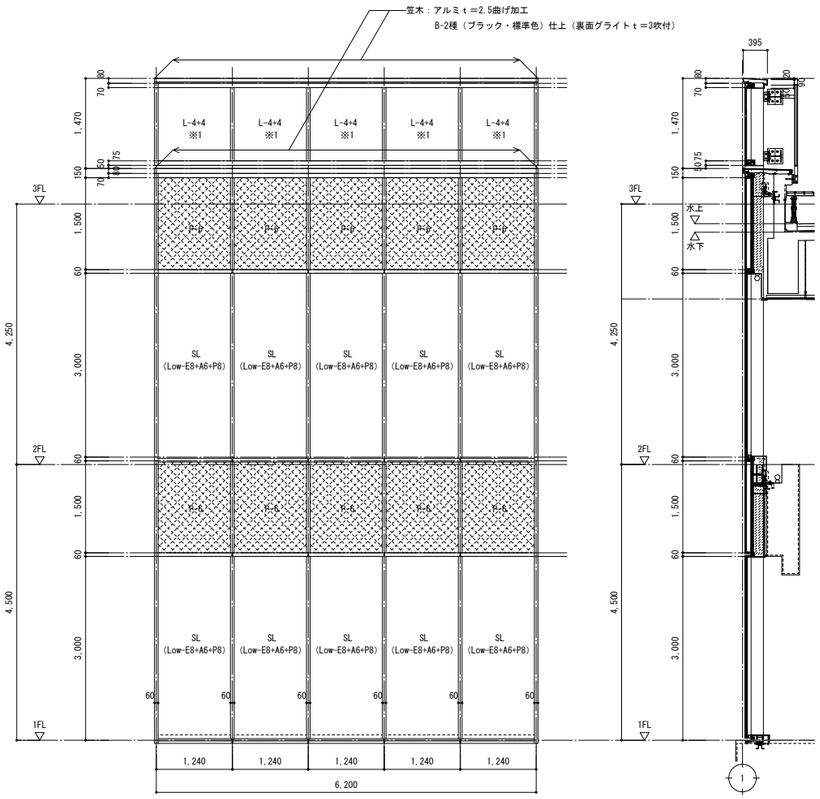
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 屋根建具案内図		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-186

記号・数量	ACW 1	1か所
名　　称	アルミ製　カーテンウォール	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	100＋200（方立）	
建具 ガラス（　）内ランマ	図示　※Low-e部:日射取得型	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	
性　能　等　級	下表	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		

性　能　等　級
◆設計風圧力：2000Pa（S-4）
◆気密性能：A-3
◆水密性能：W-4

内部：耐火ボード（珪酸カルシウム板 t=20）
※ボード裏方立背面：ロックウール吹付ｔ＝20

※1：ラミセーフシェルター同等品



記号・数量	AD 1	1か所
名　　称	アルミ製　引き戸（ランマ排煙窓付）（60度）	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	100	
建具 ガラス（　）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	屋内専用フラットレール、堀込引手（両面）、シリンダー本締錠（サムターン付）、付属金物一式 排煙オペレーター（埋込型）※AW-9と連動（煙感連動及び手動開閉装置付）　※オイレスSL80S・SL88S・110-3S同等品	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製額縁　35×25（両面）　上額縁は食堂側のみ	
性　能　等　級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	1階：食堂 ※排煙窓は食堂側に開く 排煙オペレーター（埋込型・連動仕様） ※廊下（1）側に設置 60度 FIX 排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	

記号・数量	AG 1	1か所
名　　称	アルミ製　ガラリ	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70　ガラリ：横4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	
建具 ガラス（　）内ランマ	－	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	チャンバー：建築工事（ダクト接続：設備工事）、SUS防虫ネット	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	1階：DS	

記号・数量	AAD 1	1か所
名　　称	アルミ製　両引き分け自動扉	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	天井内埋込ドアエンジン（下面点検ハッチ）、スリム框仕様、光センサー（天井埋込）、付属金物一式　手動開放装置（予備電源付・耐熱配線） シリンダー錠（遠隔解錠装置付）：外部、サムターン：内部　非常時：煙感知器連動（設備工事）の上、パニックオープン機構付	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製額縁25×50 ※衝突防止については、サイン図による	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	1階：風除室外部側 ※避難口 天井仕上ライン 手動開放装置（予備電源付・耐熱配線） FIX 手動開放装置高さ（H）：FL+800以上1500以下	

記号・数量	AAD 2	1か所
名　　称	アルミ製　両引き分け自動扉	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	天井内埋込ドアエンジン（下面点検ハッチ）、スリム框仕様、光センサー（天井埋込）、付属金物一式　錠無し 非常時：手動開放装置（予備電源付・耐熱配線）	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製額縁25×50 ※衝突防止については、サイン図による	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	1階：風除室内部側 天井仕上ライン FIX	

記号・数量	AW 1	2か所
名　　称	アルミ製　連窓（はめ殺し＋タテ に出し）	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	SL（Low-E6+A12+P6）	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	タテに出し窓用開閉ハンドル、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、ブリーツ網戸（取付枠金物共）、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製縁板　140×25	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	2階：消防課事務室 ・警防課事務室 3階：大会議室 FIX FL	

記号・数量	AW 2	5か所
名　　称	アルミ製　連窓（はめ殺し＋タテ に出し）　※SD-29またはSD-29A組み合わせ	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	SL（Low-E6+A12+P6）	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	タテに出し窓用開閉ハンドル、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、ブリーツ網戸（取付枠金物共）、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製縁板　140×25	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	SD-29 2階：消防課事務室 ・警防課事務室 3階：総務課事務室 3階：予防課事務室 SD-29A 2階：消防課事務室 ・警防課事務室 3階：総務課事務室 ～消防長室 SDジョイント方立：アルミｔ＝2.0曲げ加工 サッシ同仕上	

記号・数量	AW 2A	1か所
名　　称	アルミ製　連窓（はめ殺し＋タテ に出し）　※SD-29組み合わせ	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	SL（Low-E6+A12+P6）	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	タテに出し窓用開閉ハンドル、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、ブリーツ網戸（取付枠金物共）、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製縁板　140×25	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	3階：消防長室 SDジョイント方立：アルミｔ＝2.0曲げ加工 サッシ同仕上	

記号・数量	AW 3	1か所
名　　称	アルミ製　片引き窓	
R・O・S	o	
仕　　上	B-2種（ブラック・標準色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（　）内ランマ	SL（Low-ET5+A12+T5）	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	クレセント、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、網戸 付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	アルミ製縁板　140×25	
性　能　等　級	A種	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」	2階：署長室 FIX	

共通事項

1．特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。

2．標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。

3．特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。

4．特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。

5．特記のない外部に面するドアの錠は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本錠錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。

6．特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、錠は表示・大型サムターン付引き戸錠とする。

7．特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。

8．特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9．　鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。

10．トーメイガラス　厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。

11．特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。

12．特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。

13．特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。

14．ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。

　又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅱ型とする。

15．特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートレンジ付とする。

16．開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)

17．フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。

18．建具の開き勝手開き角度等は平面図による。

19．マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キーブランについては監督員の指示による。)

20．扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。

21．サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。

　但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)

22．外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、語モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。

23．水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。

24．代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。

25．特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。

　特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。

　堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。

26．LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。

27．戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。

28．カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。

29．内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウール t＝30吹付にて覆う事とする。

30．特記のないDCは、ストップ付とする。

31．SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。

　-ピボットヒンジの仕様-

　1．強度は扉の寸法.重量に見合ったものを使用する。

　2．原則として天井吊(倉庫挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。

　3．扉重量が120kgを越える場合は、倉庫挿入型で建具枠の補強プレート2型にするか床埋込型とする。

　4．FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

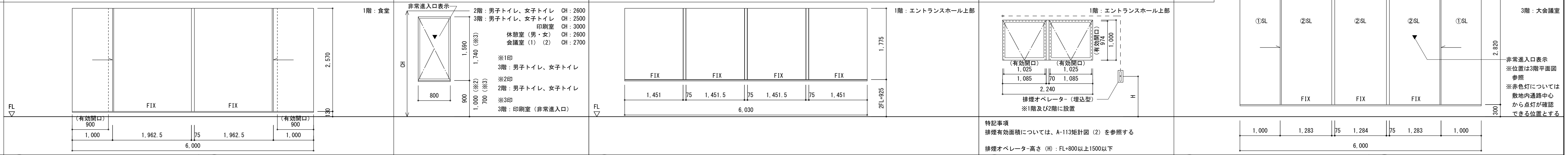
略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス	窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する	
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス	ぜん板・額縁 / カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス						
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス	無　し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イー1（4-51-3)又は共通図	ウー1（4-51-4）	エー1（4-51-5,6）	オー1（4-51-7）
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス						
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス	有　り	―――	イー2（4-52-1）又は共通図	ウー2（4-52-2）	エー2（4-52-3,4）	オー2（4-52-5）
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス						
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス						
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切	HP	熱線吸収フロート板ガラス						
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	W P	木製可動間仕切	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス						
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	可動間仕切	SL	複層ガラス						
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス						
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層						
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸								
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸								

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

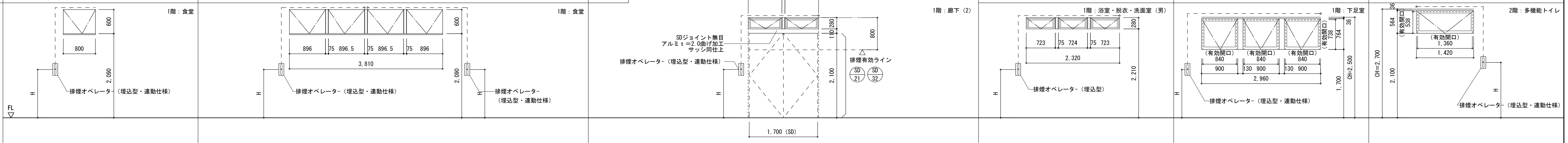
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（1）	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳 / 縮尺：A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号：A-187	

記号・数量	AW 4　1か所	AW 5　9か所	AW 6　1か所	AW 7　1か所	AW 8　2か所
名称	アルミ製　連窓（はめ殺し＋片引き）	アルミ製　タテに出し窓	アルミ製　はめ殺し連窓	アルミ製　外倒し2連排煙窓（60度）	アルミ製　連窓（はめ殺し＋片引き）
R・O・S	O	O	O	O	O
仕上	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）
建具　枠見込・ガラリ	70	70	70	70	70
建具　ガラス（ ）内ランマ	SL（Low-ET8+A12+T8）	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（Low-E6+A12+P6）	①SL（Low-ET5+A12+T5）　②SL（Low-E6+A12+P6）
建具　金物　FH・DC・LH　HC・その他	クレセント、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、網戸、付属金物一式	タテに出し窓用開閉ハンドル、結露抜穴、アルミ製水切　プリーツ網戸（取付枠金物共）、隠し框仕様、付属金物一式	アルミ製水切、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、アルミ製水切、付属金物一式	クレセント、アルミ製水切、隠し框仕様、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—	—	—
備考・窓廻り種別	アルミ製膳板　140×25	アルミ製膳板　140×25　90×25（※1）	木製膳板　170×25　NP	—	木製膳板　140×30　NP
性能等級	A種	A種	A種	A種	A種
形状寸法「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	見図	見図	見図	見図	見図



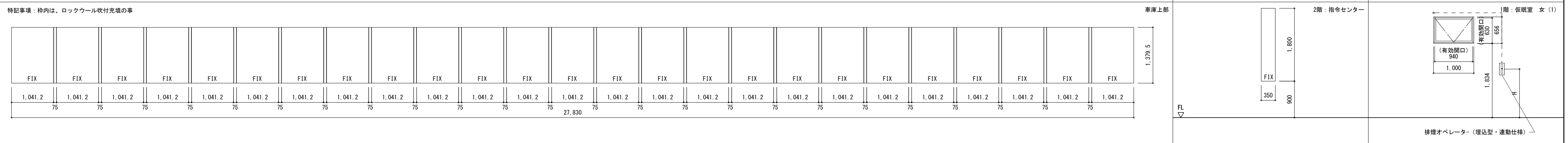
特記事項
排煙有効面積については、A-113矩計図（2）を参照する
排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下

記号・数量	AW 9　2か所	AW 9A　1か所	AW 10　4か所	AW 11　1か所	AW 12　1か所	AW 13　1か所
名称	アルミ製　外倒し排煙窓（60度）	アルミ製　外倒し4連排煙窓（60度）	アルミ製　外倒し2連排煙窓（45度）	アルミ製　外倒し3連排煙窓（60度）	アルミ製　外倒し3連排煙窓（60度）	アルミ製　外倒し排煙窓（60度）
R・O・S	O	O	O	O	O	O
仕上	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）
建具　枠見込・ガラリ	70	70	70	70	70	70
建具　ガラス（ ）内ランマ	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（F6+A12+P6）	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（P6+A12+P6）	SL（P6+A12+P6）
建具　金物　FH・DC・LH　HC・その他	排煙オペレーター（埋込型）、結露抜穴、アルミ製水切　隠し框仕様、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、アルミ製水切、隠し框仕様　付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、結露抜穴、アルミ製水切　隠し框仕様、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、アルミ製水切、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、アルミ製水切、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—	—	—	—
備考・窓廻り種別	アルミ製膳板　140×25	アルミ製膳板　140×25	—	アルミ製膳板　140×25	アルミ製膳板　140×25	アルミ製膳板　140×25
性能等級	A種	A種	A種	A種	A種	A種
形状寸法「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	見図	見図	見図	見図	見図	見図



	AW 9	AW 9A	AW 10	AW 11	AW 12	AW 13
	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下	排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下

記号・数量	AW 14　1か所	AW 15　1か所	AW 16　1か所
名称	アルミ製　はめ殺し連窓	アルミ製　はめ殺し窓	アルミ製　外倒し排煙窓（60度）
R・O・S	O	O	O
仕上	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）
建具　枠見込・ガラリ	70	70	70
建具　ガラス（ ）内ランマ	FL-6	SL（Low-E6+A12+P6）	SL（Low-E6+A12+P6）
建具　金物　FH・DC・LH　HC・その他	アルミ製水切、隠し框仕様、付属金物一式	結露抜穴、アルミ製水切、隠し框仕様、付属金物一式	排煙オペレーター（埋込型）、アルミ製水切、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—
備考・窓廻り種別	ALC用サッシ	アルミ製膳板　140×25	アルミ製膳板　140×25
性能等級	A種	A種	A種
形状寸法「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	特記事項：枠内は、ロックウール吹付充填の事	見図	見図



排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
   また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ（m）
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）ｼｬｯﾀｰ自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
    又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。）
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
    但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、詰モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
    特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
    堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt＝30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
    -ピボットヒンジの仕様-
    1. 強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
    2. 原則として支持吊（沓摺挿入型）とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
    3. 扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
    4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	ＴＢ	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	ＳＰ	可動間仕切り	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	ＷＰ	木製可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	移動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無し	アルミニウム製	木製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木製（断熱材打込み）
無し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イ−1（4-51-3）又は共通図	ウ−1（4-51-4）	エ−1（4-51-5,6）	オ−1（4-51-7）
有り	———	イ−2（4-52-1）又は共通図	ウ−2（4-52-2）	エ−2（4-52-3,4）	オ−2（4-52-5）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（2）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50　A3:1/100	A-188

記号・数量	SD 1　7か所	SD 2　5か所	SD 2A　1か所	SD 3　1か所	SD 3A　3か所	SD 4　1か所	SD 5　3か所	SD 6　1か所
名称	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具　枠見込・ガラリ	160	170	170	135	135	100　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	100	135
建具　ガラス（ ）内ランマ	—	—	—	—	—	—	—	—
建具　金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH・フランス落とし、掘込錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、堀込錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、堀込錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	建築基準法施行令112条19項一号Ａに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	—	建築基準法施行令112条19項一号Ａに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	—
備考・窓廻り種別	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状寸法 「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」	1階：EPS(1)、2階・3階：EPS（2） 	1階：倉庫（2）、倉庫（3） 3階：倉庫（3） 	2階：倉庫（5） 	3階：倉庫（1） 	2階：倉庫（1）（2）（3） 	1階：倉庫（1） 	2階：倉庫（4）、3階：倉庫（2） 	3階：総務用倉庫

記号・数量	SD 7　1か所	SD 8　5か所	SD 9　1か所	SD 10　2か所	SD 10A　1か所	SD 11　1か所	SD 12　3か所	SD 13　1か所
名称	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	鋼製　親子開きフラッシュ扉（くぐり扉付）　※90度開き	鋼製　片開きフラッシュ扉（くぐり扉付）　※90度開き	鋼製　片開きフラッシュ扉（くぐり扉付）　※90度開き	鋼製　片開きフラッシュ扉（くぐり扉付）　※90度以上開き	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具　枠見込・ガラリ	100　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	225	195	190	165	100	100	290
建具　ガラス（ ）内ランマ	F-4	—	—	—	—	—	—	—
建具　金物 FH・DC・LH HC・その他	DC、旗丁番、フランス落とし、レバーハンドル、付属金物一式 テンキー（ホテル）錠（設備工事）	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し）、戸当ゴム テンキー（ホテル）錠（設備工事）、ガイドローラー、 付属金物一式	閉鎖順位調整器、ケースハンドル、付属金物一式 電磁レリーズ（設備工事）、煙感知器連動（設備工事）	ケースハンドル、付属金物一式 電磁レリーズ（設備工事）、煙感知器連動（設備工事）	ケースハンドル、付属金物一式 電磁レリーズ（設備工事）、煙感知器連動（設備工事）	ケースハンドル、付属金物一式 電磁レリーズ（設備工事）、煙感知器連動（設備工事）	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し）、戸当ゴム テンキー（ホテル）錠（設備工事）、ガイドローラー、付属金物一式
防火戸の種類	—	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時開放・煙感知器連動閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時開放・煙感知器連動閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時開放・煙感知器連動閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時開放・煙感知器連動閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号
備考・窓廻り種別	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-47-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-47-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-47-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-22-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状寸法 「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」	1階：洗濯室 	1階：出動準備スペース、救急訓練室、資機材庫（救急） 空気充填室・ボンベ保管庫 	1階：階段室（2） 掘込引手高さ（H）：FL+800以上1500以下	2階：階段室（2） 3階：階段室（2） 掘込引手高さ（H）：FL+800以上1500以下	3階：EVホール 掘込引手高さ（H）：FL+800以上1500以下	1階：階段室（1） 掘込引手高さ（H）：FL+800以上1500以下	1階・2階・3階：階段室（2） 	1階：階段室（1）

記号・数量	SD 14　2か所	SD 15　4か所	SD 16　1か所	SD 17　2か所	SD 18　1か所	SD 19　4か所	SD 20　2か所	SD 21　3か所
名称	鋼製　片開きフラッシュ扉（ガラリ付）	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	鋼製　片開き框扉	鋼製　片開きフラッシュ扉　※ランマAW-10組み合わせ
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具　枠見込・ガラリ	100　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	170	242　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	100	170	242	100	100
建具　ガラス（ ）内ランマ	—	—	—	—	—	—	SL(Low-ET5+A12+T5)	—
建具　金物 FH・DC・LH HC・その他	DC、PH、レバーハンドル、付属金物一式	DC、PH、堀込錠、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ有り） シリンダー鎌錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	DC、PH、堀込錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、堀込錠、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ有り） シリンダー鎌錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	DC、旗丁番、レバーハンドル、付属金物一式	DC、旗丁番、レバーハンドル、付属金物一式 外部：テンキー、内部：サムターン　※ホテル錠（設備工事）
防火戸の種類	—	—	—	—	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	—	—	
備考・窓廻り種別	枠（標4-22-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-22-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる 膳板：SUS304（HL）　130×25	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状寸法 「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」	1階：男子トイレ（2） 1階：女子トイレ（2） 	1階・2階・3階：SK 1階：男子トイレ（3）内PS （ ）内の数字は、 2階・3階SKの寸法とする	1階：空気充填室・ボンベ保管庫 	2階・3階：EPS(1) 	2階：倉庫（5） 	1階：資機材庫（救急）、救急洗浄消毒室 2階：指令センター機械室 	3階：予防課事務室　3階：消防長室 	1階：廊下（2） ※避難口

共通事項

1. 特記のないドアの形状(寸法)は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1~B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、 (4-21-1~4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1~6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、 (4-11-1~3)(4-12-1,2)(4-13-1~3)(4-22-1~5)(4-23-3~5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1~6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置(ストップ付)とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸錠とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠(内部サムターン)とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製(電動)シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製(ふすま、障子を除く)の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製(SUS304 厚1.5)とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備(防火戸)のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。)
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁(下縁)は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、詰モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上(見えがかり)に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076(同等品)、引手ハンドル：ユニオンG-1231(同等品)とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110(同等品)、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック(同等品)
堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック(鍵なし)(同等品)とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53(同等品)、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB(同等品)とする。
28. カードリーダー(別途工事)の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt=30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
-ピボットヒンジの仕様-
1. 強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として支持吊(沓摺挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切り	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	W P	木製可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	移動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

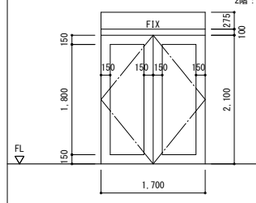
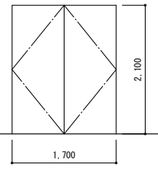
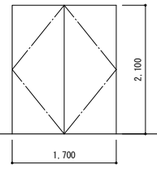
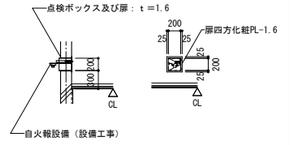
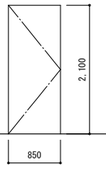
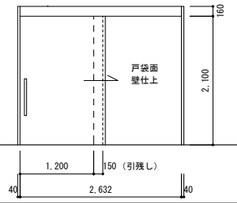
窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

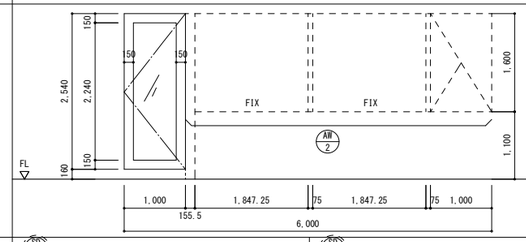
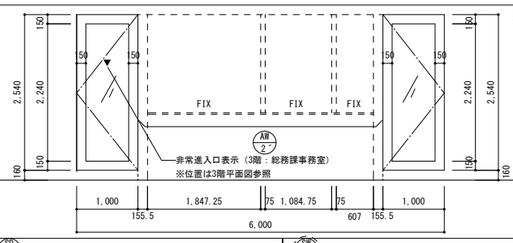
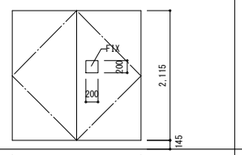
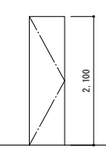
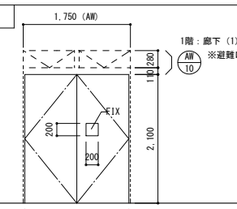
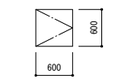
ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
無　し（額縁）	ア (4-51-1,2)	イ－1 (4-51-3)又は共通図	ウ－1 (4-51-4)	エ－1 (4-51-5,6)	オ－1 (4-51-7)
有　り	――――	イ－2 (4-52-1)又は共通図	ウ－2 (4-52-2)	エ－2 (4-52-3,4)	オ－2 (4-52-5)

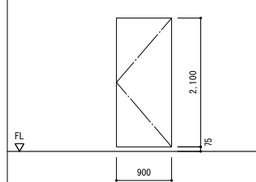
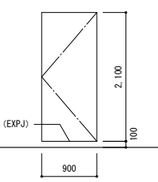
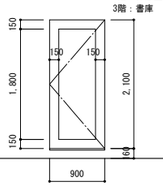
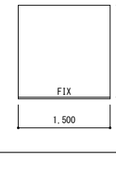
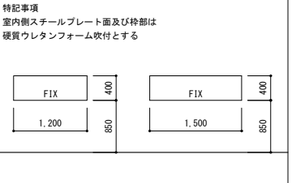
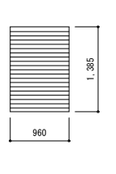
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（3）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-189

記号・数量	SD-22	SD-23	SD-24	SD-25	SD-26	SD-27	SD-28	
	1か所	1か所	1か所	2か所	1か所	1か所	2か所	
名称	鋼製　片開き框扉（ランマはめ殺し窓付）	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開き点検用ボックス	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	
仕上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	170	170	190	100	180	170	185	
建具 ガラス（ ）内ランマ	耐熱強化-8	—	—	—	—	—	—	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、引手ハンドル、付属金物一式 テンキー（ホテル）錠（設備工事）	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、引手ハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、引手ハンドル 付属金物一式	旗丁番、堀込錠、付属金物一式	付属金物一式	DC、PH、堀込錠、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	
防火戸の種類	特定防火設備（常時閉鎖、遮煙付き） CAS-1173同等	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	告示第 1360号に準ずる仕様	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	
備考・窓廻り種別	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-22-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	—	枠（標4-24-3）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	2階：廊下（1） 	3階：大会議室 	3階：大会議室 	1階及び踊場：階段室（1） 	3階：EVホール（天井裏） 	1階：階段室（2） 	1階：出動準備スペース 	

記号・数量	SD-29	SD-29A	SD-30	SD-31	SD-32	SD-33
	SD-29：5か所　SD-29A：2か所		2か所	2か所	1か所	4か所
名称	鋼製　片開き框扉　※AW-2組み合わせ　※AW-2´組み合わせ		鋼製　両開きフラッシュ扉	片開きフラッシュ扉	鋼製　両開きフラッシュ扉　※ランマAW-10A組み合わせ	鋼製　片開きフラッシュ扉
R・O・S	○		○	○	○	○
仕上	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）		フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具 枠見込・ガラリ	125		100	160	100	100
建具 ガラス（ ）内ランマ	T-8　※SD-29AのみNP-6.8		F-4	—	F-4	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（SD-29Aのみストップ無し）、旗丁番、レバーハンドル、付属金物一式		DC、旗丁番（重量用）、堀込錠、付属金物一式	DC、PH、堀込錠、付属金物一式	DC、旗丁番、フランス落とし、レバーハンドル、付属金物一式 外部：テンキー、内部：サムターン　※ホテル錠（設備工事）	旗丁番、レバーハンドル、付属金物一式
防火戸の種類	— ※SD-29Aのみ 告示第 1360号に準ずる仕様		—	—	—	—
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（部分詳細図）に準ずる		枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる 腰板：SUS304（HL） 130×25	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠・くつずり（標4-44-1・4-25-1）に準ずる
性能等級	—		—	—	—	—
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」		SD-29 2階：消防課事務室 ・警防課事務室 3階：総務課事務室 3階：予防課事務室 SD-29A 2階：消防課事務室 ・警防課事務室 3階：総務課事務室 ～消防長室 	2階：指令センター機械室 	2階・3階：女子トイレ内PS 	1階：廊下（1） AW 10 ※避難口 	屋根：ハト小屋（1）（2） 1階：DS 

記号・数量	SD-34	SD-35	SD-36	SW-1	SW-2	SW-3	SW-4A SW-4B	SG-1
	1か所	1か所	2か所	1か所	2か所	1か所	SW-4A：1か所　SW-4B：1か所	1か所
名称	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開き框扉	鋼製　はめ殺し窓	鋼製　はめ殺し窓	鋼製　はめ殺し窓	鋼製　はめ殺し窓（設備用）	鋼製　ガラリ
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具 枠見込・ガラリ	100	100	100	100	100	100	100	100 ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	—	F-6	耐熱強化-8	耐熱強化-8	耐熱強化-8	スチールプレートt＝1.6	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル、付属金物一式	DC（ストップ無し）、桑丁番、レバーハンドル、付属金物一式	DC、旗丁番、レバーハンドル、付属金物一式	スチール押縁（三方）、付属金物一式	スチール押縁（三方）、付属金物一式	スチール押縁（三方）、水切SUS304（HL）、付属金物一式	水切SUS304（HL）、付属金物一式	防火ダンパー（温度ヒューズ付）、付属金物一式
防火戸の種類	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	—	特定防火設備 EA-0492同等	特定防火設備 EA-0492同等	特定防火設備 EA-0492同等	—	特定防火設備 EA0492同等
備考・窓廻り種別	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる 腰板：SUS304（HL） 130×25	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる	枠（標4-43-3）・くつずり（標4-43-3）に準ずる 腰板：SUS304（HL） 130×25	—	—	—	—	チャンバー：建築工事（ダクト接続：設備工事）、SUS防虫ネット
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	2階：消防課事務室・警防課事務室 	2階：車庫 	2階：休憩室（男）（女） 3階：書庫 	1階：階段室（1） 	2階：階段室（1） 	2階：指令センター 	2階：多目機能イレ内DS、倉庫（3）内DS 特記事項 室内側スチールプレート面及び枠部は 硬質ウレタンフォーム吹付とする 	2階：車庫外壁部 

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただし上ドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本錠錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
   また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び換気オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
　又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、Hは法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キーブランについては監督員の指示による。）
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
　但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、語モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
　特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
　堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360～53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt＝30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
　-ピボットヒンジの仕様-
　1. 強度は扉の寸法.重量に見合ったものを使用する。
　2. 床則として支持吊(容積挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
　3. 扉重量が120kgを越える場合は、容積挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
　4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	網押子	W P	木製可動間仕切	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	可動間仕切	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓廻り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 / カーテンボックス取り合い	無し	アルミニウム製	木製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木製（断熱材打込み）
無し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イ-1（4-51-3）又は共通図	ウ-1（4-51-4）	エ-1（4-51-5,6）	オ-1（4-51-7）
有り	———	イ-2（4-52-1）又は共通図	ウ-2（4-52-2）	エ-2（4-52-3,4）	オ-2（4-52-5）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（4）	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳 / 縮尺：A1:1/50 A3:1/100	図面番号：A-190

記号・数量	SED 1	SED 2	LD 1-1	LD 1	LD 2	LD 2A	LD 3	LD 3A
	1か所	2か所	1か所	34か所	3か所	1か所	3か所	1か所
名称	鋼製　片引き自動扉	鋼製　片引き自動扉	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓・排煙窓付）（85度）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（ガラリ付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓付）
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	フッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具 枠見込・ガラリ	225	225	170　※3階倉庫（4）のみ170	170　※3階倉庫（4）のみ170	135　ガラリ：メーカー仕様　※開口率35%	135　ガラリ：メーカー仕様　※開口率35%	135　ガラリ：メーカー仕様　※開口率35%	160・162（タテ枠：木製NP）
建具 ガラス（ ）内ランマ	N-6.8	—	—	—	—	—	—	F-4
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	とって形状：B型、ハンガー引戸（自動扉仕様） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	とって形状：B型、ハンガー引戸（自動扉仕様） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し）、戸当ゴム テンキー（ホテル）錠（設備工事）、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式
防火戸の種類	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号 非常時：煙感知器連動（設備工事）	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号 非常時：煙感知器連動（設備工事）	常時閉鎖式	常時閉鎖式	—	—	—	—
備考・窓廻り種別	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	1階：救急洗浄消毒室 戸袋面 壁仕上 1,200　150（引残し） 40　2,632　40	1階：出勤準備スペース 戸袋面 壁仕上 1,200　150（引残し） 40　2,632　40	40（25）　15　1,320　15 1階：仮眠室（女） 85度 排煙オペレーター （埋込型・連動仕様） 850　150（引残し） 排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下 25　1,965	1階：仮眠室 850　150（引残し） 25　1,965	1階：乾燥室、洗濯室、リネン庫 1,000　150（引残し） 25　2,265	1階：更衣室（男） 1,000　150（引残し） 25　2,265	1階：男子トイレ（3）、出勤準備スペース 3階：多機能トイレ 900　150（引残し） 25　2,065	1階：多機能トイレ タテ枠：木製NP 900　150（引残し） 25　2,065

記号・数量	LD 4	LD 5	LD 6	LD 7 / LD 7A	LD 8	LD 9	LD 10	LD 11
	3か所	1か所	2か所	5か所 / 2か所	1か所	2か所	1か所	1か所
名称	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（ガラリ付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	軽量鋼製　親子開きフラッシュ扉（スリット窓付）	軽量鋼製　親子開きフラッシュ扉	軽量鋼製　片開きフラッシュ扉（スリット窓付）	軽量鋼製　片開きフラッシュ扉（スリット窓付）
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○	○
仕上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具 枠見込・ガラリ	135　※更衣室（女）のみ170	135 ※更衣室（女）のみ170　ガラリ：メーカー仕様　※開口率35%	135　※トレーニング室のみ170	100（2階：仮眠室（2）、（3）） 255（2階：休憩室（男・女）、書庫、3階：休憩室（男・女）・書庫）	170	100	100	170
建具 ガラス（ ）内ランマ	F-4	—	F-4	—	N-6.8	—	—	F-4
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル テンキー（ホテル）錠（設備工事）、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖） 特定防火設備（常時閉鎖） 告示2564号	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	特定防火設備（常時閉鎖）告示2564号	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	—
備考・窓廻り種別	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（框4-24-4）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（框4-24-4）・くつずり（框4-31-1）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—	—
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	1階：廊下（2）、更衣室（女） 浴室・脱衣・洗面室（女） 850　150（引残し） 25　1,965	1階：浴室・脱衣・洗面室（男） （引残し）150　850 1,905　25	1階：トレーニング室、火災原因調査室 1,200　150（引残し） 25　2,625	2階：仮眠室（2）、（3）、休憩室（男・女）、書庫 3階：倉庫（4）、書庫 850　150（引残し） 40　1,932　40	2階：著長室 850 1,300	2階：会議室（1）、（2） 850 1,300	2階：仮眠室（1） 850	3階：印刷室 850

記号・数量	LD 12	LD 13	LD 14	LD 15	LD 16	LD 17	LD 18
	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
名称	軽量鋼製　両開き框扉（ランマはめ殺し窓付）	軽量鋼製　親子開きフラッシュ扉（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	軽量鋼製　親子開きフラッシュ扉（スリット窓付）	軽量鋼製　片開きフラッシュ扉（スリット窓付）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸
R・O・S	○	○	○	○	○	○	○
仕上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）
建具 枠見込・ガラリ	170	100	255	170	170	100（2階：仮眠室（2）、（3）） 255（2階：休憩室（男・女）、書庫）	273・170
建具 ガラス（ ）内ランマ	耐熱強化-8	N-6.8	—	N-6.8	N-6.8	—	F-4
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、引手ハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC（ストップ無し）、PH、レバーハンドル 付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） シリンダー錠錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し）、戸当ゴム テンキー（ホテル）錠（設備工事）、ガイドローラー、付属金物一式
防火戸の種類	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	※平成 31年3月29日　告示第 470 号に準ずる仕様	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様 （遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様 （常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）	—	—
備考・窓廻り種別	枠（框4-24-4）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（部分詳細図）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（框4-24-4）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	枠（框4-24-4）・くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる	くつずり（框4-31-1）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	—	—
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	3階：廊下（1） FIX 150　150　150　150 1,700	1階：廊下（1） 850 1,300	3階：印刷室 850　150（引残し） 40　1,932　40	3階：消防長室 850 1,300	3階：消防長室 850	3階：休憩室（男・女） 850　150（引残し） 40　1,932　40	1階：廊下（2） 1,200　150（引残し） 40（25）　2,665　40

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの錠は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本錠錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、錠は表示・大型サムターン付引き戸錠とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
   また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付記による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
　又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートレンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。)
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
　但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部建出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、語モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
　特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
　堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウール t=30枕付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。

-ピボットヒンジの仕様-

1. 強度は扉の寸法.重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として支持吊(吾摺挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、吾摺挿入型で建具枠の補強プレート2型にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	障子	W P	木製可動間仕切	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	可動間仕切	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 / カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
無　し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イー1（4-51-3）又は共通図	ウー1（4-51-4）	エー1（4-51-5,6）	オー1（4-51-7）
有　り	———	イー2（4-52-1）又は共通図	ウー2（4-52-2）	エー2（4-52-3,4）	オー2（4-52-5）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（5）	2023/03

NEJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-191

記号・数量	LD 18A　1か所	LD 19　1か所	LD 20　1か所	LD 21　1か所	LD 22　10か所 ／ LD 23　1か所	TB 1　1か所	TB 2　1か所	TB 3　1か所
名　称	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸（スリット窓・排煙窓付）（85度）	軽量鋼製　片引きハンガーフラッシュ戸	軽量鋼製　両開きフラッシュ扉	軽量鋼製　片開きフラッシュ扉	軽量鋼製 両開きフラッシュ扉 ／ 軽量鋼製 片開きフラッシュ扉	トイレブース	トイレブース（隔て壁）	トイレブース
R・O・S	O	O	O	O	O		O	O
仕　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする
建具 枠見込・ガラリ	273・170	135	160	160	160		40	40
建具 ガラス（ ）内ランマ	F-4	—	—	—	—		—	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し）、戸当ゴム 表示錠、ガイドローラー、付属金物一式	引手ハンドル、自閉式ハンガー引戸（ストップ無し） 表示錠、戸当ゴム、ガイドローラー、付属金物一式	DC、PH、フランス落とし、レバーハンドル 付属金物一式	DC、PH、レバーハンドル、付属金物一式	丁番、分電盤錠、付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式	SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式
防火戸の種類	—	—						
備考・窓廻り種別	くつずり（標4-31-1）に準ずる	くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-4）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-4）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	四方枠（標4-24-4）に準ずる			
性能等級	—	—	—	—	—			

形状寸法

「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」

排煙オペレータ-高さ（H）：FL+800以上1500以下

記号・数量	TB 4　1か所	TB 5　1か所	TB 6　1か所	TB 7	TB 8　1か所
名　称	トイレブース（隔て壁）	トイレブース	トイレブース（隔て壁）	欠番	トイレブース
R・O・S	O	O	O		O
仕　上	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする		木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする
建具 枠見込・ガラリ	40	40	40		40
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	—	—		—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け、SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式	SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 付属金物一式		スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け、SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール、中心吊グレビティヒンジ、 付属金物一式
防火戸の種類					
備考・窓廻り種別					
性能等級					

形状寸法

「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」

記号・数量	TB 9　1か所	TB 10　1か所	TB 11　1か所
名　称	トイレブース	トイレブース	トイレブース
R・O・S	O	O	O
仕　上	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする
建具 枠見込・ガラリ	40	40	40
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	—	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け、SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール、中心吊グレビティヒンジ、 付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け、SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール、中心吊グレビティヒンジ、 付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け、SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール、中心吊グレビティヒンジ、 付属金物一式
防火戸の種類			
備考・窓廻り種別			
性能等級			

形状寸法

「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1~B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、　(4-21-1~4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1~6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、　(4-11-1~3)(4-12-1,2)(4-13-1~3)(4-22-1~5)(4-23-3~5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1~6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ（m）
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。）
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、詰モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt=30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
-ピボットヒンジの仕様-
1. 強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として支持吊（沓摺挿入型）とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切り	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	W P	木製可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	移動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

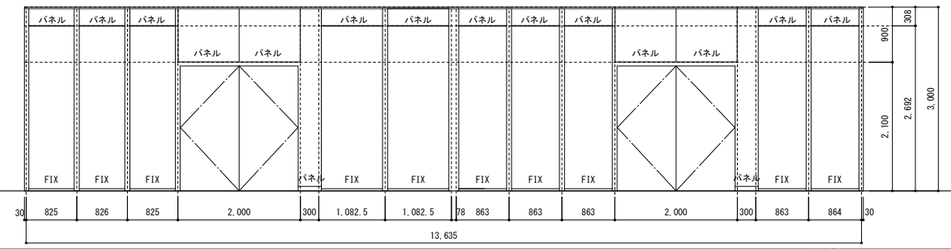
窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

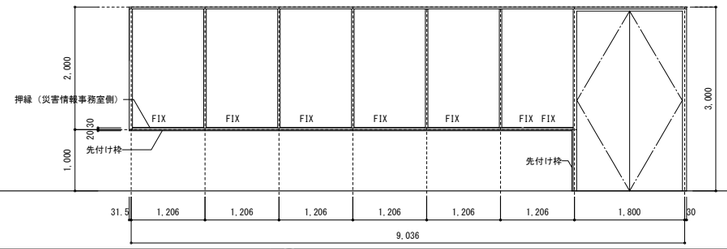
ぜん板・額縁 ／ カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
無　し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イ－1（4-51-3)又は共通図	ウ－1（4-51-4）	エ－1（4-51-5,6）	オ－1（4-51-7）
有　り	———	イ－2（4-52-1)又は共通図	ウ－2（4-52-2）	エ－2（4-52-3,4）	オ－2（4-52-5）

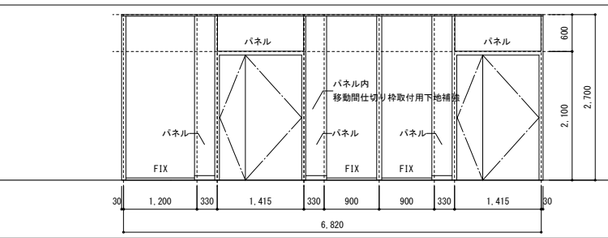
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

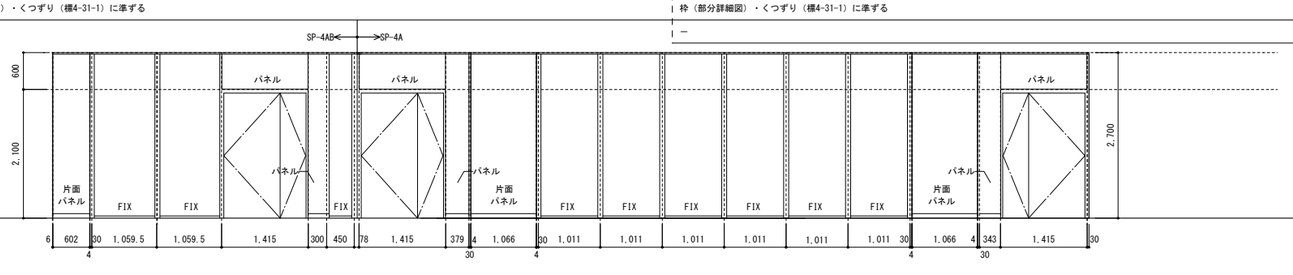
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（6）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-192

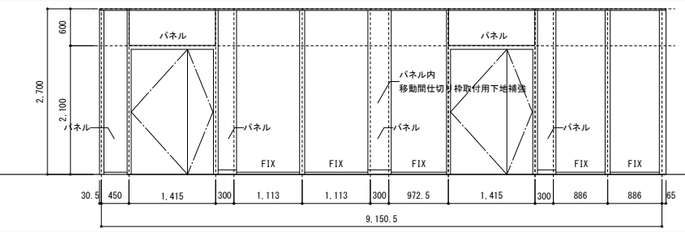
記号・数量	SP 1	1か所
名　　称	鋼製　可動間仕切り	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	耐熱強化ガラス（マイボウカ同等品） t＝8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル、テンキー、内部ホテル錠、付属金物一式	
防火戸の種類	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）　※全面ガラス部：EB-1916・親子開き扉部：EB-2523・パネル部(スチールパネルt=0.8)：告示1360号	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		2階：災害情報事務室、指令センター

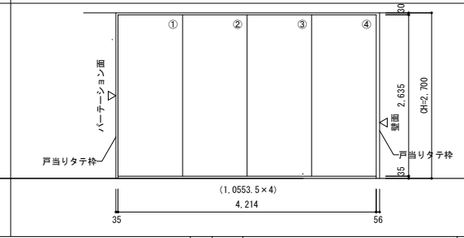
記号・数量	SP 2	1か所
名　　称	鋼製　可動間仕切り（通電調光窓）	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	P-10　※調光フィルム貼り（通電時透明）	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC、PH、レバーハンドル、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		3階：災害情報事務室 ※本建具姿図は、災害情報事務室側から見た図とする。

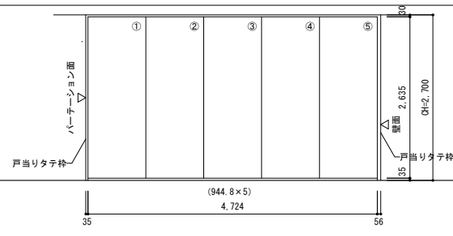
記号・数量	SP 3	1か所
名　　称	鋼製　可動間仕切り	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	耐熱強化ガラス（マイボウカ同等品） t＝8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル、付属金物一式	
防火戸の種類	※建築基準法施行令112条19項二号に準ずる仕様（遮煙、常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）　※全面ガラス部：EB-1916・親子開き扉部：EB-2523・パネル部(スチールパネルt=0.8)：告示1360号	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		2階：会議室（1）～（2）

記号・数量	SP 4A	1か所　※下図の範囲とする
名　　称	鋼製　可動間仕切り	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC、PH、フランス落とし、レバーハンドル、テンキー、内部ホテル錠、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		3階：総務課事務室

記号・数量	SP 4B	1か所　※下図の範囲とする
名　　称	鋼製　可動間仕切り	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル、テンキー、内部ホテル錠、付属金物一式	
防火戸の種類	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）　※全面ガラス部：EB-1916・親子開き扉部：EB-2523・パネル部(スチールパネルt=0.8)：告示1360号	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	

記号・数量	SP 5	1か所
名　　称	鋼製　可動間仕切り	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	70	
建具 ガラス（ ）内ランマ	T-8	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（ストップ無し）、PH、フランス落とし、レバーハンドル、付属金物一式	
防火戸の種類	建築基準法施行令112条19項一号Aに準ずる仕様（常時閉鎖又は、煙感知器連動閉鎖）　※全面ガラス部：EB-1916・親子開き扉部：EB-2523・パネル部(スチールパネルt=0.8)：告示1360号	
備考・窓廻り種別	枠（部分詳細図）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		3階：会議室（1）～（2）

記号・数量	SLW 1	1か所
名　　称	移動間仕切	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	80	
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	アルミハンガーレール、上下シールゴム、壁内グラスウール充填、戸当りタテ枠：スチールt＝1.2（本体同色焼付仕上） 天井裏レール支持用鋼製下地（グラスウール充填仕様）、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		2階：会議室（1）、（2）

記号・数量	SLW 2	1か所
名　　称	移動間仕切	
R・O・S	O	
仕　　上	アクリル系焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	80	
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	アルミハンガーレール、上下シールゴム、壁内グラスウール充填、戸当りタテ枠：スチールt＝1.2（本体同色焼付仕上） 天井裏レール支持用鋼製下地（グラスウール充填仕様）、付属金物一式	
防火戸の種類	－	
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	
性 能 等 級	－	
形状 寸法 「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」		3階：会議室（1）、（2）

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの錠は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本錠錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、錠は表示・大型サムターン付引き戸錠とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
   また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント指の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付記による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
　又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートレンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)
17. フラッシュ戸は、特記のない限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。)
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの開閉(下縁)は結露受皿付きとする。
　但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、語モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
　特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
　堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット京及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウール t＝30校付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
　-ピボットヒンジの仕様-
　1. 強度は扉の寸法.重量に見合ったものを使用する。
　2. 原則として支持吊(吾摂挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
　3. 扉重量が120kgを越える場合は、吾摂挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
　4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	障子	W P	木製可動間仕切	HWP	熱線吸収線入り型板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	可動間仕切	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 / カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
無　し（額縁）	ア (4-51-1,2)	イー1 (4-51-3)又は共通図	ウー1 (4-51-4)	エー1 (4-51-5,6)	オー1 (4-51-7)
有　り	———	イー2 (4-52-1)又は共通図	ウー2 (4-52-2)	エー2 (4-52-3,4)	オー2 (4-52-5)

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（7）	2023/03
NEC JEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳 / 縮尺：A1:1/50 A3:1/100 / 図面番号：A-193	

記号・数量	LS/1　(LS/1 3か所)	SS/1　1か所	SS/2　1か所	SS/3　1か所
名称	軽量　バランス式シャッター（手動）	重量　ポストレスシャッター（袖扉付）	重量　ポストレスシャッター（袖扉付）	重量　シャッター（電動・高強度仕様）
R・O・S	O	O	O	O
仕上	シャッターケース（天井内隠蔽・錆止めグレー色）、スラット：カラー鋼板ｔ＝0.8 座板・ガイドレール：SUS304（HL）、座板・三方枠：SUS304（HL）ｔ＝2.0	シャッターケース（角ケース・錆止めグレー色）、スラット：スチールｔ＝1.6（錆止めグレー系色） 座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL）、扉及び枠：スチールｔ＝1.6の上、EP-G	シャッターケース（角ケース・錆止めグレー色）、スラット：スチールｔ＝1.6（錆止めグレー系色） 座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL）、扉及び枠：スチールｔ＝1.6の上、EP-G	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・指定色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・指定色）、座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL） 三方枠及び室内側化粧枠：SUS304ｔ＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）
建具　枠見込・ガラリ	—	—	—	—
建具　ガラス（)内ランマ	—	—	—	—
建具　金物　FH・DC・LH　HC・その他	シャッターケース（天井内隠蔽・錆止めグレー系色）、可動式耐風フック、手掛、専用錠 付属金物一式	電磁レリーズ、煙感連動設備（設備工事）、手動閉鎖装置、手動開閉用ハンドル、急降下停止装置 付属金物一式	電磁レリーズ、煙感連動設備（設備工事）、手動閉鎖装置、手動開閉用ハンドル、急降下停止装置 付属金物一式	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式
防火戸の種類	—	特定防火設備（遮煙付き）　CAS-1165同等品	特定防火設備（遮煙付き）　CAS-1065同等品	—
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	枠・下地・取合い壁区画の仕様等は、部分詳細図に準ずる	枠・下地・取合い壁区画の仕様等は、部分詳細図に準ずる	部分詳細図に準ずる
性能等級	—	—	—	—

形状寸法

「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」

1階：整備修繕庫、資機材庫（救助）、資機材庫（消防）

2階：相談コーナー

3階：相談コーナー

1階：車庫

記号・数量	SS/4　1か所	SS/5　1か所	SOD/1　SOD/1A　SOD/2　SOD-1：1か所　SOD-1A：1か所　SOD-2：1か所
名称	重量　シャッター（電動・高強度仕様）	重量　シャッター（電動・高強度仕様）	スライディングオーバードア（電動）
R・O・S	O	O	O
仕上	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・指定色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・指定色）、 座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL）、三方枠及び室内側化粧枠：SUS304ｔ＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・指定色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・指定色）、 座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL）、三方枠及び室内側化粧枠：SUS304ｔ＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	ドアパネル材：アルミフッ素樹脂系焼付塗装（3部艶・指定色）、ガイドレール・ジャムアングル：SUS304（HL）、水切（専用品）、 三方枠：SUS304　ｔ＝2.0焼付塗装（3部艶・指定色）、水平レール補強材：SUS304（HL）　L50×50×6、レール吊り材：L-40×40×3.2（Zn）
建具　枠見込・ガラリ	—	—	—
建具　ガラス（)内ランマ	—	—	—
建具　金物　FH・DC・LH　HC・その他	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式	３点式押釦（キーBOX付・露出型・乾式）、一斉開釦及び個別開釦設置、３点式リモコン（送信機 3個/台）、障害物感知装置（光電管）、付属金物一式 緊急地震速報受信時ドア全台一斉開仕様、救急出動信号受信時SOD-1開仕様、SOD-1A・SOD-2：水圧開放スイッチ付、　ワイヤー切れ落下防止装置付、手動操作用チェーンホイスト付
防火戸の種類	—	—	—
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	部分詳細図に準ずる	部分詳細図に準ずる
性能等級	—	—	—

形状寸法

「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」

1階：車庫

1階：車庫

1階：車庫

共通事項

1．特記のないドアの形状(寸法)は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2．標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1~B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3．特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1~4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1~6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4．特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1~3)(4-12-1,2)(4-13-1~3)(4-22-1~5)(4-23-3~5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1~6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5．特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6．特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置(ストップ付)とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7．特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8．特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠(内部サムターン)とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9．鋼製(電動)シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10．トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11．特記のない扉見込みは、鋼製・木製(ふすま、障子を除く)の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12．特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製(SUS304 厚1.5)とする。
13．特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14．ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15．特記のない防火設備(防火戸)のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16．開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)
17．フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18．建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19．マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。)
20．扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21．サッシの額縁(下縁)は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)
22．外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、詰モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上(見えがかり)に十分注意する。
23．水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24．代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25．特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076(同等品)、引手ハンドル：ユニオンG-1231(同等品)とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110(同等品)、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック(同等品)とする。
堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック(鍵なし)(同等品)とする。
26．LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27．戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53(同等品)、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB(同等品)とする。
28．カードリーダー(別途工事)の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29．内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt=30吹付にて覆う事とする。
30．特記のないDCは、ストップ付とする。
31．SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
-ピボットヒンジの仕様-
1．強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
2．原則として支持吊(沓摺挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3．扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4．FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切り	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	W P	木製可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	移動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無し	アルミニウム製	木製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木製（断熱材打込み）
無し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イ－1（4-51-3)又は共通図	ウ－1（4-51-4）	エ－1（4-51-5,6）	オ－1（4-51-7）
有り	———	イ－2（4-52-1)又は共通図	ウ－2（4-52-2）	エ－2（4-52-3,4）	オ－2（4-52-5）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　建具リスト（8）	2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳　縮尺：A1:1/50　A3:1/100	図面番号：A-194

記号・数量	TL 1　※建具リスト 兼 部分詳細図　　1か所
名称	ステンレス製トップライト（排煙用）
R・O・S	O
仕上	HL
建具 枠見込・ガラリ	—
建具 ガラス（ ）内ランマ	NP-6.8
建具 金物 FH·DC·LH HC·その他	SUS304（HL）水切、付属金物一式
防火戸の種類	—
備考・窓廻り種別	排煙用オペレーター（埋込型）
性能等級	—

形状寸法

「標準型建具の場合(4-01-1)の形状番号を明記」

1階：エントランスホール上部

排煙有効面積（単位：m）

① 0.3×1.6×4か所
=1.920㎡

② 1.36×1.36
≒1.849㎡

③ 5.060÷2（ルーバー開口50%）
≒2.530㎡

※③の排煙有効開口は、天井伏図を参照する

上記より、②の1.849㎡を排煙有効面積とする

断面図（A-A）　A1：1/20　A3：1/40

枠伏図　A1：1/20　A3：1/40

※水抜穴位置 ▼
（計12ヶ所）

平面図　A1：1/20　A3：1/40

記号・数量	垂壁 1　　1か所
名称	可動防煙スクリーン
R・O・S	—
仕上	S
建具 枠見込・ガラリ	—
建具 ガラス（ ）内ランマ	—
建具 金物	防煙垂壁当たり枠（スチール t =1.6曲げ加工）の上、EP-G、付属金物一式、煙感知器連動
防火戸の種類	NM-1861
備考・窓廻り種別	排煙用オペレーター（埋込型）
性能等級	—

2階：EVホール

排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下

記号・数量	垂壁 2　　1か所
名称	可動防煙パネル
R・O・S	—
仕上	S
建具 枠見込・ガラリ	—
建具 ガラス（ ）内ランマ	—
建具 金物	防煙垂壁当たり枠（スチール t =1.6曲げ加工）の上、EP-G、付属金物一式、煙感知器連動
防火戸の種類	NM-1861
備考・窓廻り種別	排煙用オペレーター（埋込型）
性能等級	—

2階：EVホール

排煙オペレーター高さ（H）：FL+800以上1500以下

記号・数量	SS 6　　2か所
名称	重量シャッター（電動）
R・O・S	O
仕上	シャッターケース（天井内隠蔽・錆止めグレー色）、スラット：カラー鋼板 t =1.6 座板・ガイドレール：SUS304（HL）、座板・三方枠：SUS304（HL）t =2.0
建具 枠見込・ガラリ	—
建具 ガラス（ ）内ランマ	—
建具 金物	シャッターケース（天井内隠蔽・錆止めグレー系色）、可動式耐風フック、手掛、専用錠 付属金物一式
防火戸の種類	特定防火設備（遮煙付き） 令第112号第19項2号 告示2564号
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる
性能等級	—

1階：資機材庫（救助）
1階：資機材庫（消防）

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号 4-01 による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が (4-01-1)A-1~B-8 及び寸法等が標準仕様書
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、 (4-21-1~4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1~6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、 (4-11-1~3)(4-12-1,2)(4-13-1~3)(4-22-1~5)(4-23-3~5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1~6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ（m）
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。）
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22. 外壁面の建具については特記なき限り、枠内は、詰モルタル充填とする。また露出部は、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
堀込引手：ユニオンULS-2840ブラック（鍵なし）（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt=30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。
31. SD及びLDについては、特記のない限り不燃仕様とする。
-ピボットヒンジの仕様-
1. 強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として支持吊(沓摺挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製 三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製 三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	TB	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	SP	可動間仕切り	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	WP	木製可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	移動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		
TL	トップライト						

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

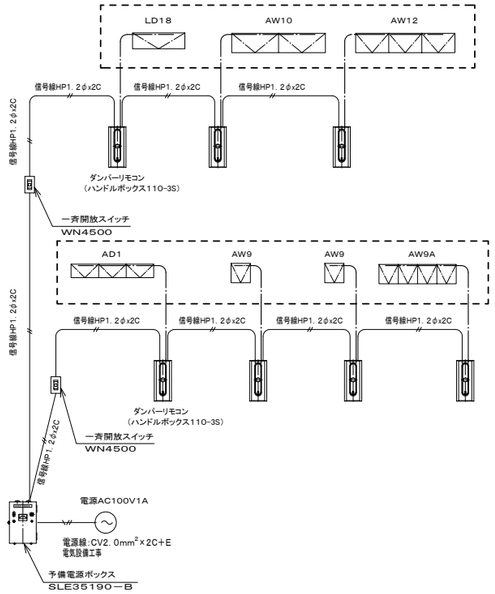
ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無し	アルミニウム製	木製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木製（断熱材打込み）
無し（額縁）	ア (4-51-1,2)	イ－1 (4-51-3)又は共通図	ウ－1 (4-51-4)	エ－1 (4-51-5,6)	オ－1 (4-51-7)
有り	―――	イ－2 (4-52-1)又は共通図	ウ－2 (4-52-2)	エ－2 (4-52-3,4)	オ－2 (4-52-5)

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

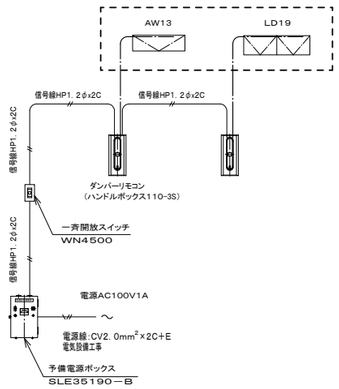
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 建具リスト（9）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-195

特記事項
オイレスECO株式会社　同等品



1階　配線系統図



2階　配線系統図

＜排煙オペレーターシステム仕様＞

システム概略
本オペレーターシステムは、停電時も予備電源からの電源供給により下記操作をおこなうことが可能です。

「開放操作」
1　一斉開放スイッチにて、該当するすべてのダンパーリモコンが順次作動します。
2　いずれかのダンパーリモコンを手動開放すると、そのダンパーリモコンのみが作動します。
※作動信号、ＤＣ２４Ｖ（０．３Ａ）a接点連続信号

「復帰時」
一斉開放スイッチの押しボタンを復帰させた後、各ダンパーリモコンのハンドルにて手動回転閉鎖します。

配線基準
1）電線の耐熱基準
「新・排煙設備技術指針１９８７年度版」
「防災設備に関する指針２００４年度版」とします。
2）配線の一般基準事項
「電気設備技術基準」とします。

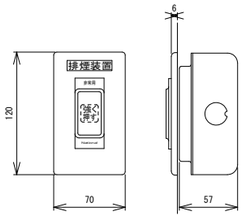
＜施工区分＞

施　工　内　容	建築工事	電気設備工事
窓廻り排煙装置の供給取付	○	
ダンパーリモコンの供給取付	○	
予備電源の供給取付	○	
一斉開放スイッチの供給取付	○	
排煙装置への電源線の結線		○
排煙装置への信号線の結線		○
排煙窓（オペレーター）の調整	○	
電源盤（AC100V）		○
電源線の配管・通線		○
信号線の配管・通線		○
ジョイントボックスの供給取付		○

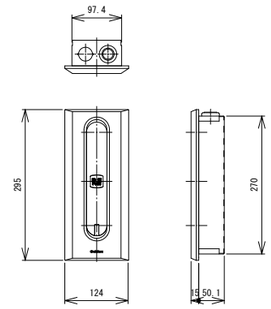
＜記号＞

記　号	名　　称
	電源（1φ2W　AC100V）
	ハンドルBOX110－3S（SLA82620－C）
	予備電源ボックス（SLE35190－B）
	一斉開放スイッチ（WN4500）
	ジョイントボックス（別途工事）
	電源線（2C）CV線使用＋E
	信号線（φ1. 2）HP線使用（別途工事）

※　電源線の太さは、電圧降下を考慮の上決定して下さい。（±5%以下）
（電気設備工事）

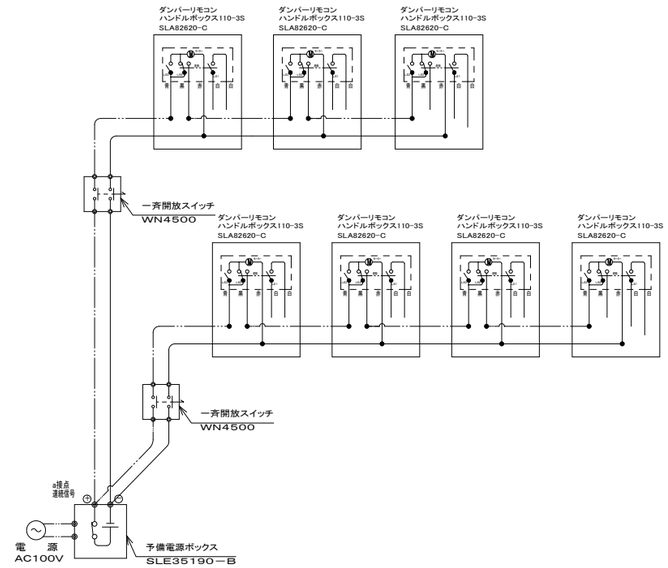


一斉開放スイッチ図　A1:1/3
ＷＮ４５００　A3:1/6

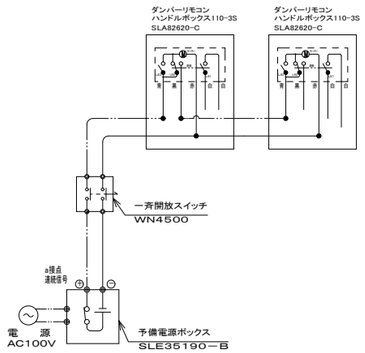


ダンパーリモコン・ハンドルＢＯＸ１１０－３Ｓ図　A1:1/3
（ＳＬＡ８２６２０－Ｃ）　A3:1/6

特記事項
オイレスECO株式会社　同等品



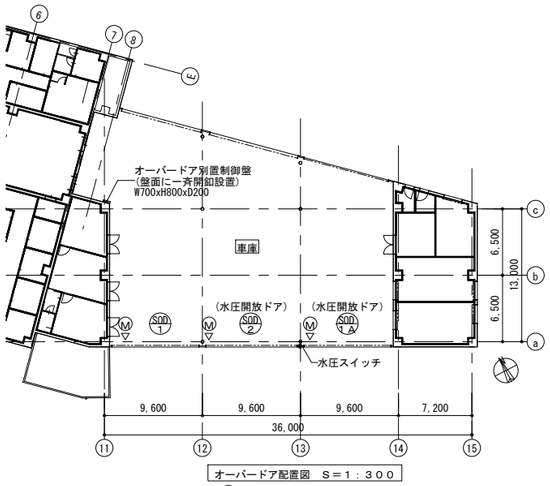
1階　回路図



2階　回路図

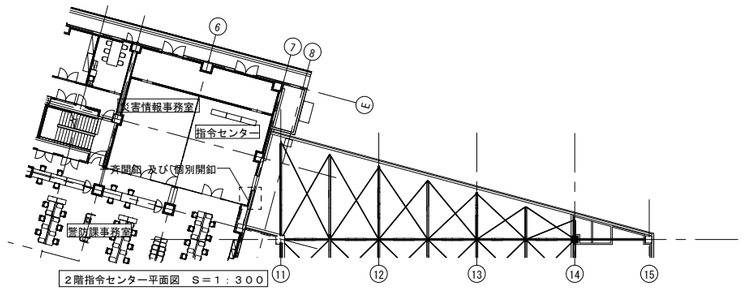
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】排煙オペレーター図	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/2 A3:1/4	A-196

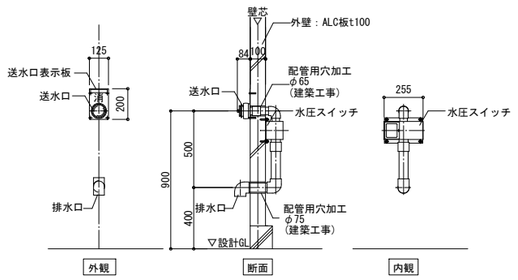


オーバードア配置図　Ｓ＝１：３００

※　Ⓜ：オーバードア用電動オペレーター位置を示す。



２階指令センター平面図　Ｓ＝１：３００



水圧スイッチ詳細図　S=1:20

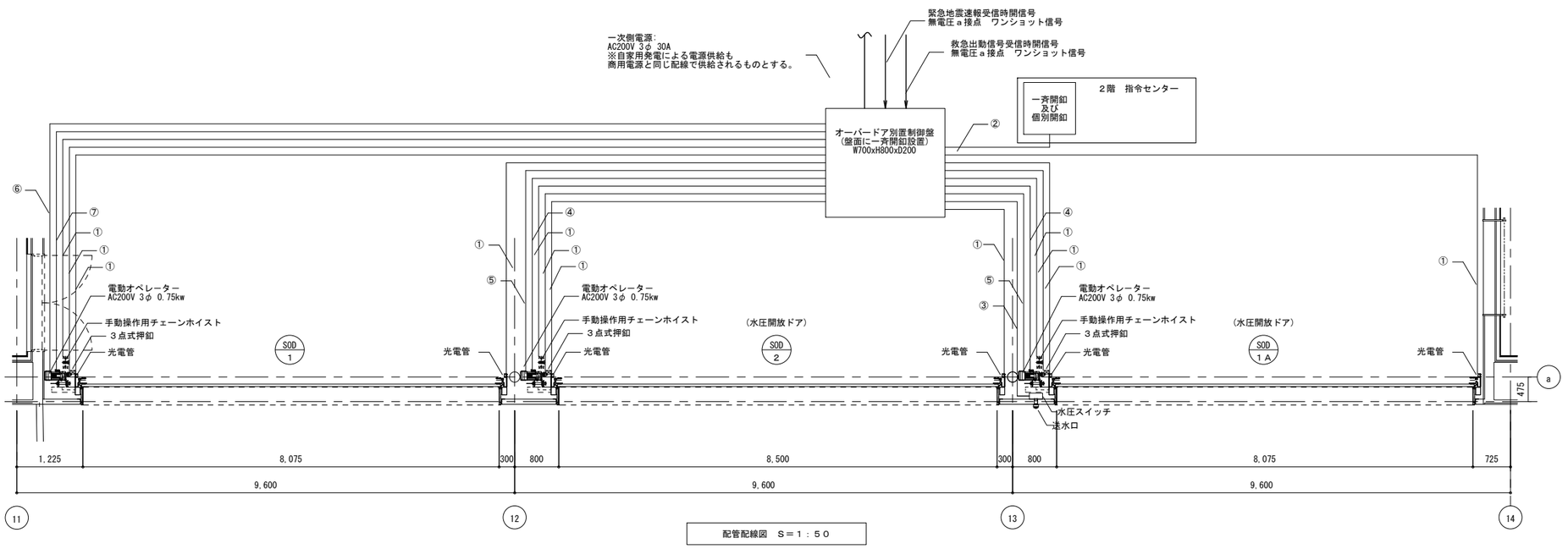
<< 制御仕様 >>
・各ドアごとに３点式押釦、３点式リモコン設置
・一斉開釦及び個別開釦の設置　※取付位置をご指示ください。
・オーバードア別置制御盤面に「３台一斉開釦」設置
・手動操作用チェーンホイスト設置
・障害物感知装置（光電管）
　※開動作中に光軸を遮るとドア停止
・緊急地震速報の受信によりドア全台一斉開
・救急出動信号の受信によりＳＯＤ－１全開
・消防隊による注水により水圧スイッチから信号が発信されると、全開状態にないＳＯＤ－１Ａ、２は開動作を開始し全開停止します。
　※ただし、商用電源がダウンし自家用発電からの電源も供給されていない間は動きません。
　　自家用発電が立ち上がったのち、水圧スイッチへの注水作業が必要です。

<< 二次側配管配線 >>
①：ＥＭ－ＥＣＴＦ０．７５－４Ｃ（φ１９）
②：ＥＭ－ＥＣＴＦ１．２５－１０Ｃ（φ３１）
③：ＦＰ－Ｃ１．２－２Ｃ（φ２５）
④：ＦＰ－Ｃ１．２－６Ｃ（φ２５）
⑤：ＦＰ－Ｃ２．０－４Ｃ（φ２５）
⑥：ＥＭ－ＣＥＥ１．２５－６Ｃ（φ２５）
⑦：ＥＭ－ＣＥ２．０－４Ｃ（φ２５）
　※本図に記載の配管・配線は全て別途電気工事

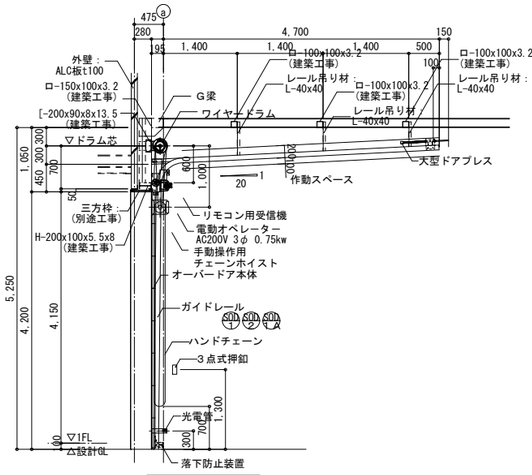
オーバードアー仕様書

（ドア No）	（Wo X Ho）	（WD X HD）	（収納形式）	（パネルタイプ）	（操作方式）	（台数）
ＳＯＤ－１	８０７５ X ４２００	８１２５ X ４２２８	ＨＴ	アルミ(#3900)	電動式	1
ＳＯＤ－２	８５００ X ４２００	８５５０ X ４２２８	ＨＴ	アルミ(#3900)	電動式	1
ＳＯＤ－１Ａ	８０７５ X ４２００	８１２５ X ４２２８	ＨＴ	アルミ(#3900)	電動式	1

枠　材		アルミ Ａ－６００５Ｃ　Ｔ５処理　特殊押出形材 表面処理・・陽極酸化塗装複合被膜（ＪＩＳ　Ｈ８６０２）
ドアパネル材 （アルミパネル）		アルミ（ＪＩＳ　Ｈ４００１）Ａ－３００４Ｐ　０．８ｔ　表面加工：フラット or エンボス 塗装：表～白色（ポリエステル系樹脂焼付塗装）　裏～サービスコート
水　切		ウェザーストリップ（ドア最下部）、アルマシール（2方）
ガイドレール		ステンレス（ＳＵＳ３０４ＨＬ）　ｔ＝３．０　　３インチレール
ジャムアングル		ステンレス（ＳＵＳ３０４ＨＬ）　ｔ＝３．０
水平レール補強材		Ｌ－５０ｘ５０　ステンレス（ＳＵＳ３０４ＨＬ）
レール吊り材		Ｌ－４０ｘ４０ｘ３．２　溶融亜鉛めっき鋼板
操作回路	一次電源	ＡＣ２００Ｖ、３φ　３０Ａ（別途電気工事）　※オーバードア制御盤へ供給
	オペレーター	Ｊ－１７０Ｂ　　７５０Ｗ／台
	二 次 側	配管配線（別途電気工事）
	押　釦	３点式押釦（キーＢＯＸ付・露出型・乾式） 一斉開釦及び個別開釦設置　※取付位置をご指示ください。 オーバードア別置制御盤盤面に一斉開釦設置
	その他	３点式リモコン（送信機 3個/台）
		障害物感知装置（光電管）
		オーバードア別置制御盤（盤面に一斉開釦設置）
		緊急地震速報受信時ドア全台一斉開仕様
		救急出動信号受信時ＳＯＤ－１開仕様
		ＳＯＤ－１Ａ、２：水圧開放仕様
＜備　考＞		耐風圧仕様：１４３５ N/㎡
		ワイヤー切れ落下防止装置付
		明り窓：透明アクリル板３．０ｔ Ｗ５９０ｘＨ１４０
		手動操作用チェーンホイスト付
		レール奥行き寸法注意　ドアプレス穴加工位置は矩計図参照



配管配線図　Ｓ＝１：５０

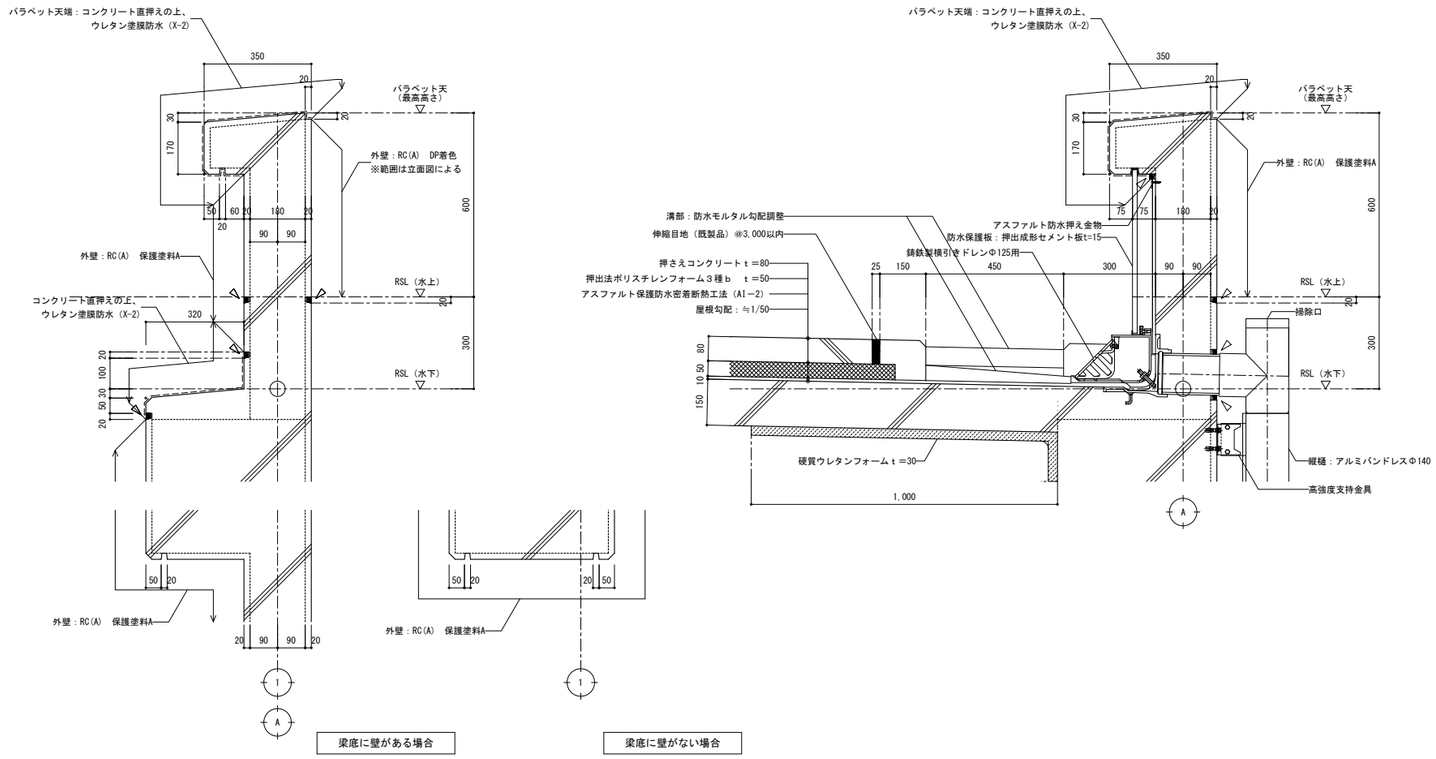


矩計図　Ｓ＝１：５０

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）室】 オーバースライダー配管配線図		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-197

外０１　屋根・パラペット（RC）　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

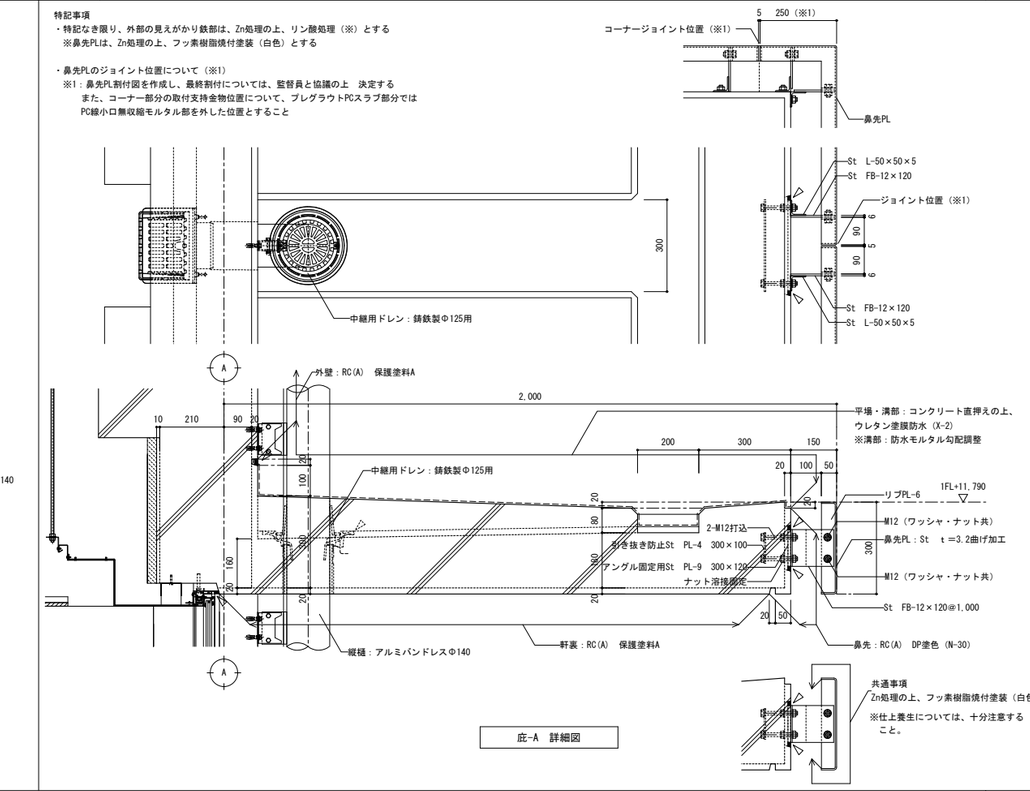


外０２　庇-A（D）　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理（※）とする
　※鼻先PLは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする

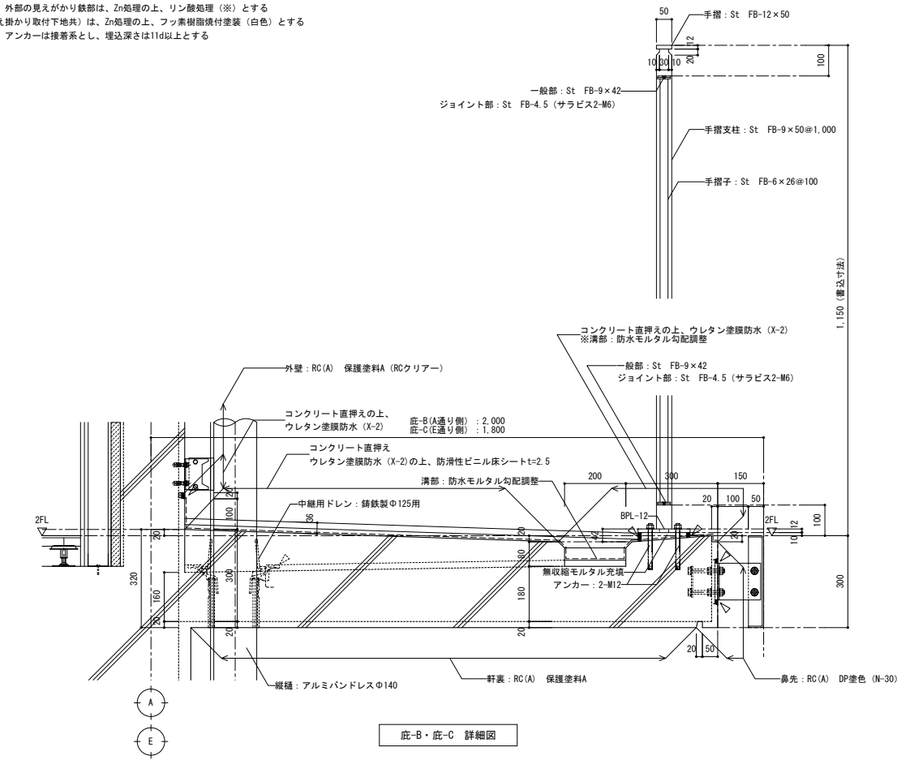
・鼻先PLのジョイント位置について（※1）
　※1：鼻先PL割付図を作成し、最終割付については、監督員と協議の上　決定する
　　また、コーナー部分の取付支持金物位置について、プレグラウトPCスラブ部分では
　　PC線小口無収縮モルタル部を外した位置とすること



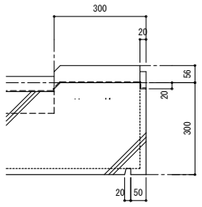
外０３　庇-B（C）　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

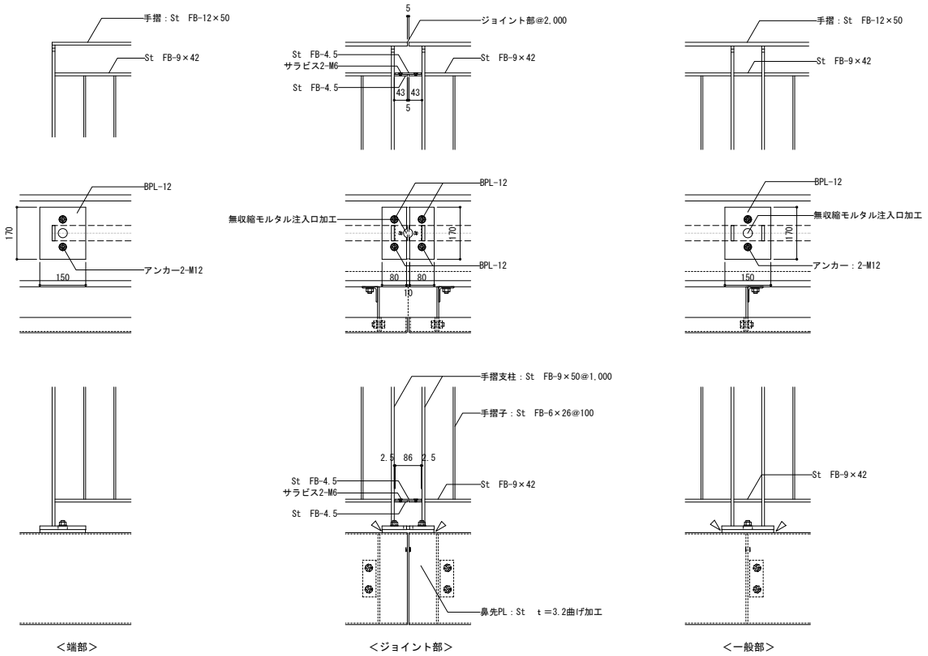
特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理（※）とする
　※鼻先PL（見え掛かり取付下地共）は、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



庇-B・庇-C　詳細図



端部で庇が終わる部分



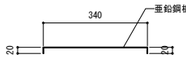
手摺廻り　平面詳細・立面図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部1）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-198

外０４　屋根・パラペット（S）・庇-F　詳細図

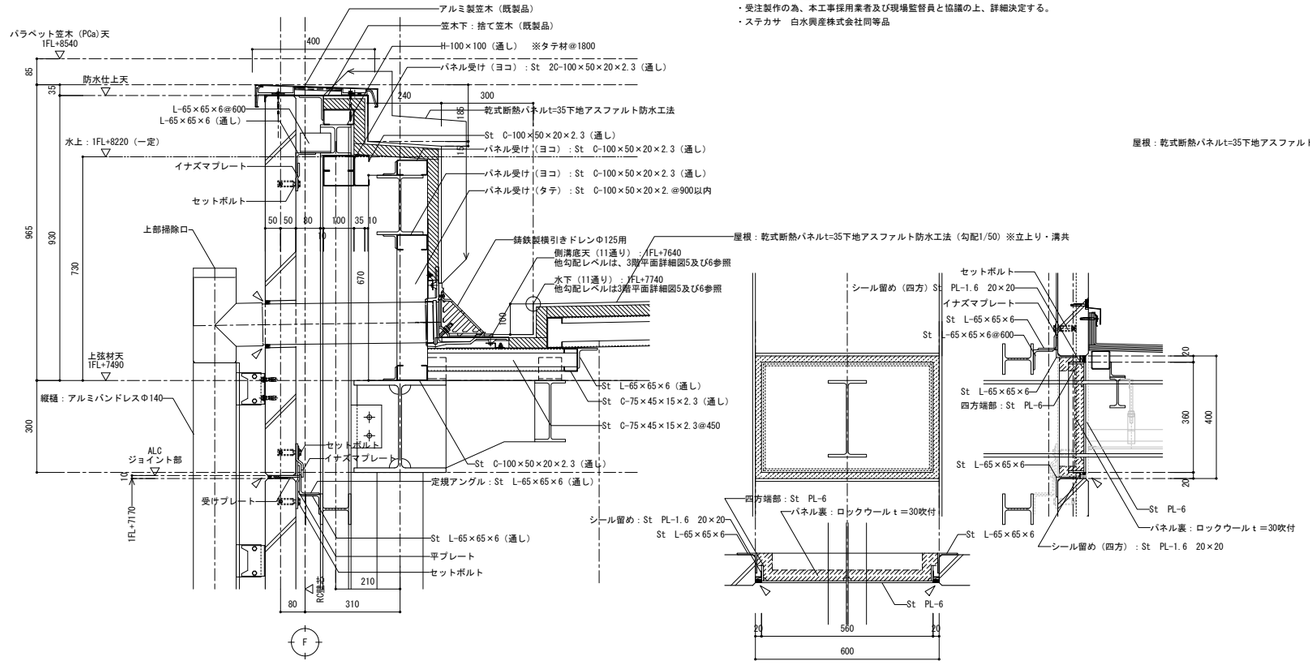
A1:1/10
A3:1/20

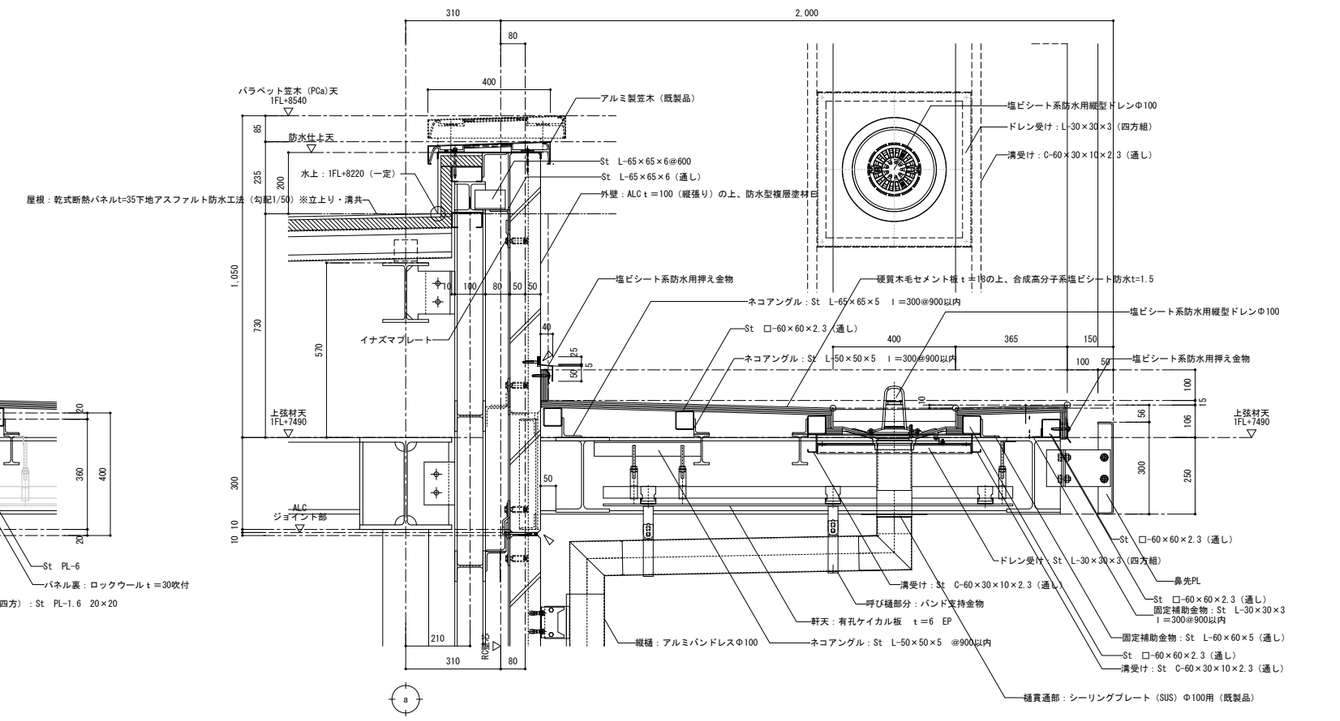
特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理（※）とする
※鼻先PLは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする



捨て笠木寸法図

特記事項
・定尺2m以内で重ね継ぎ（重ね幅50以上）
・受注製作の為、本工事採用業者及び現場監督員と協議の上、詳細決定する。
・ステカサ　白水興産株式会社同等品

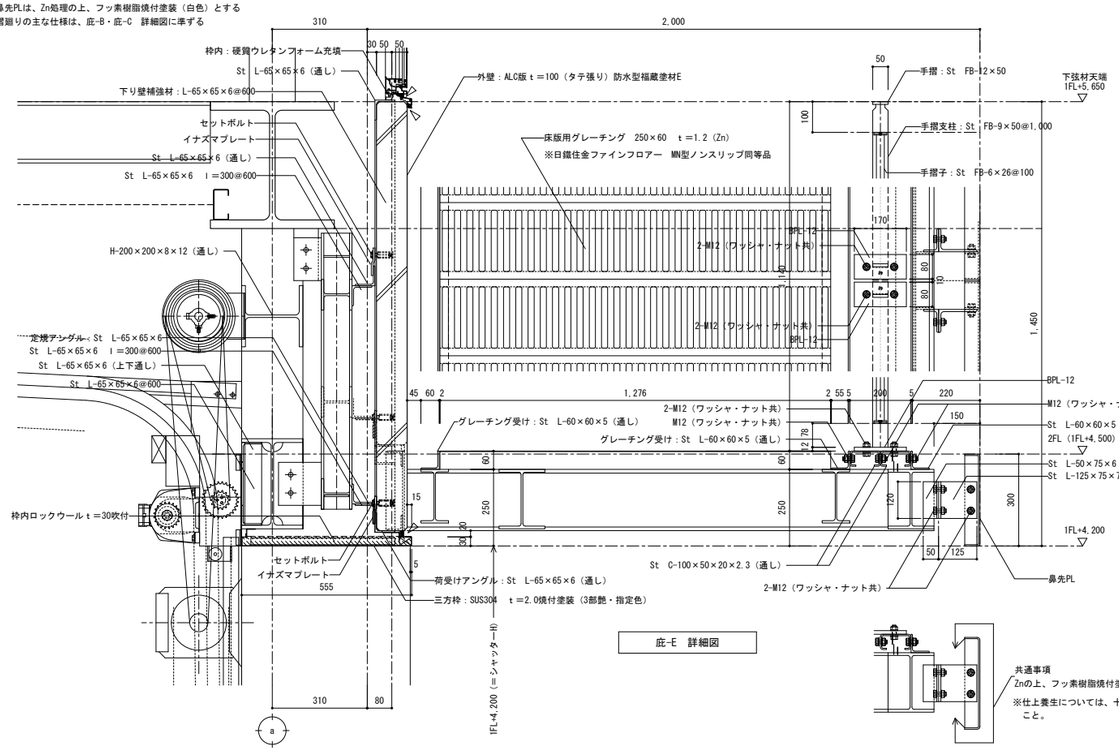




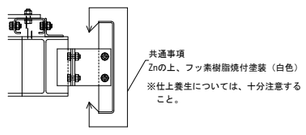
外０５　庇-E　詳細図

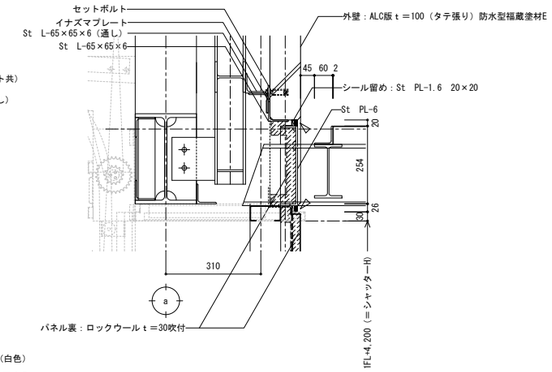
A1:1/10
A3:1/20

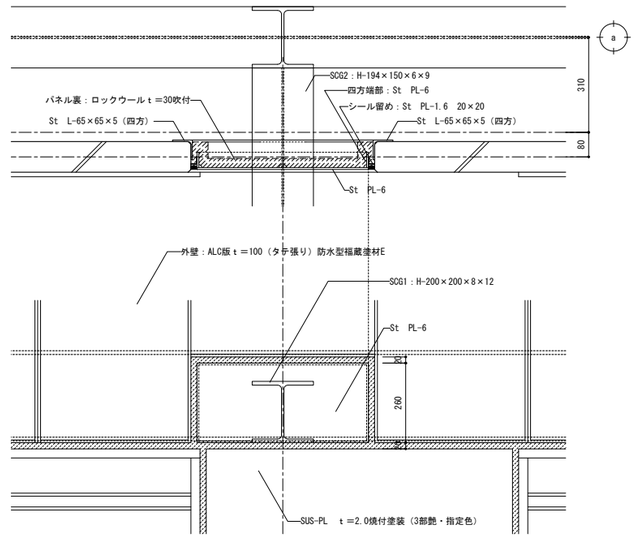
特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理（※）とする
※鼻先PLは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・手摺廻りの主な仕様は、庇-B・庇-C　詳細図に準ずる



庇-E　詳細図



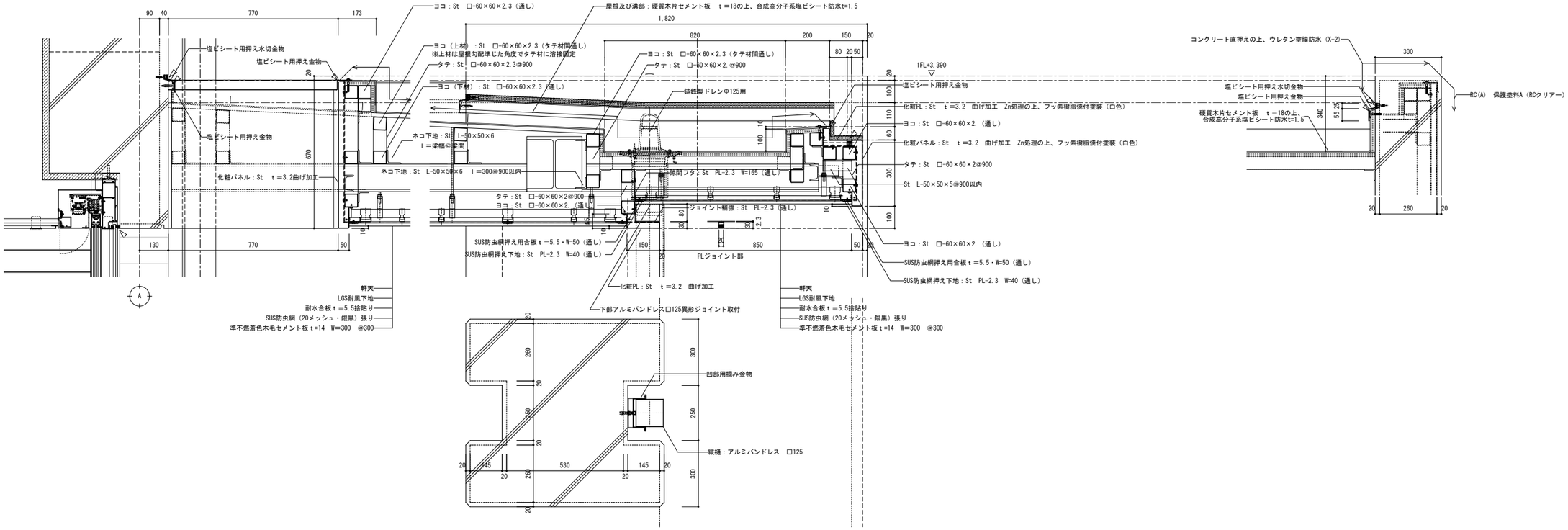




工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部2）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-199

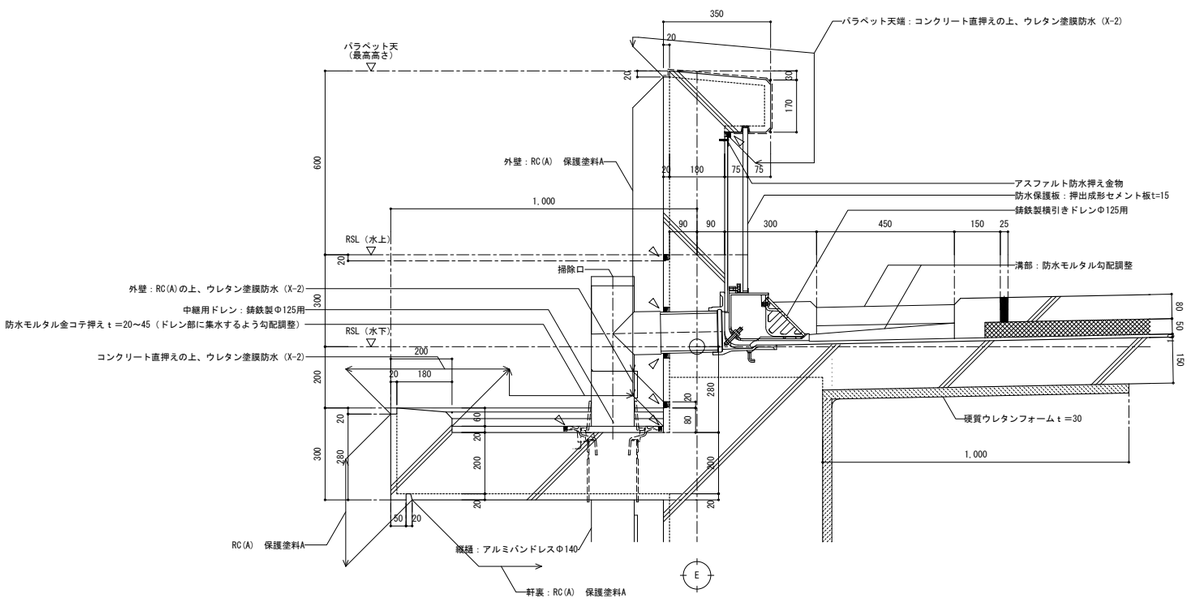
外０６　庇　詳細図１（エントランス前）　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理とする



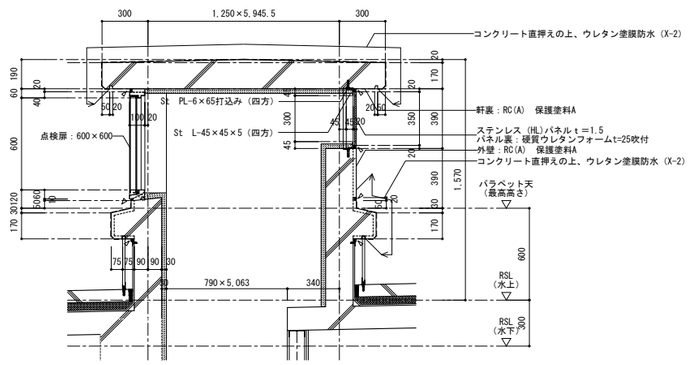
外０７　庇　詳細図２（屋根面E通り）　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・書き込みのない仕上等は、外０１による

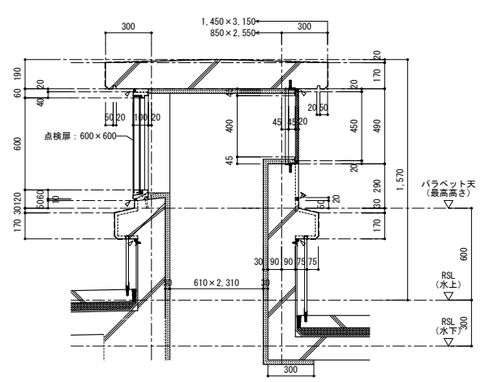


外０８　ハト小屋　詳細図　A1:1/20 A3:1/40

特記事項
・ハト小屋内、硬質ウレタンフォームt=30吹付
・点検扉枠内、詰モルタル充填（四方）
・ハト小屋（2）の外部仕上は、ハト小屋（1）　詳細図の内容に準ずる



ハト小屋（1）　詳細図

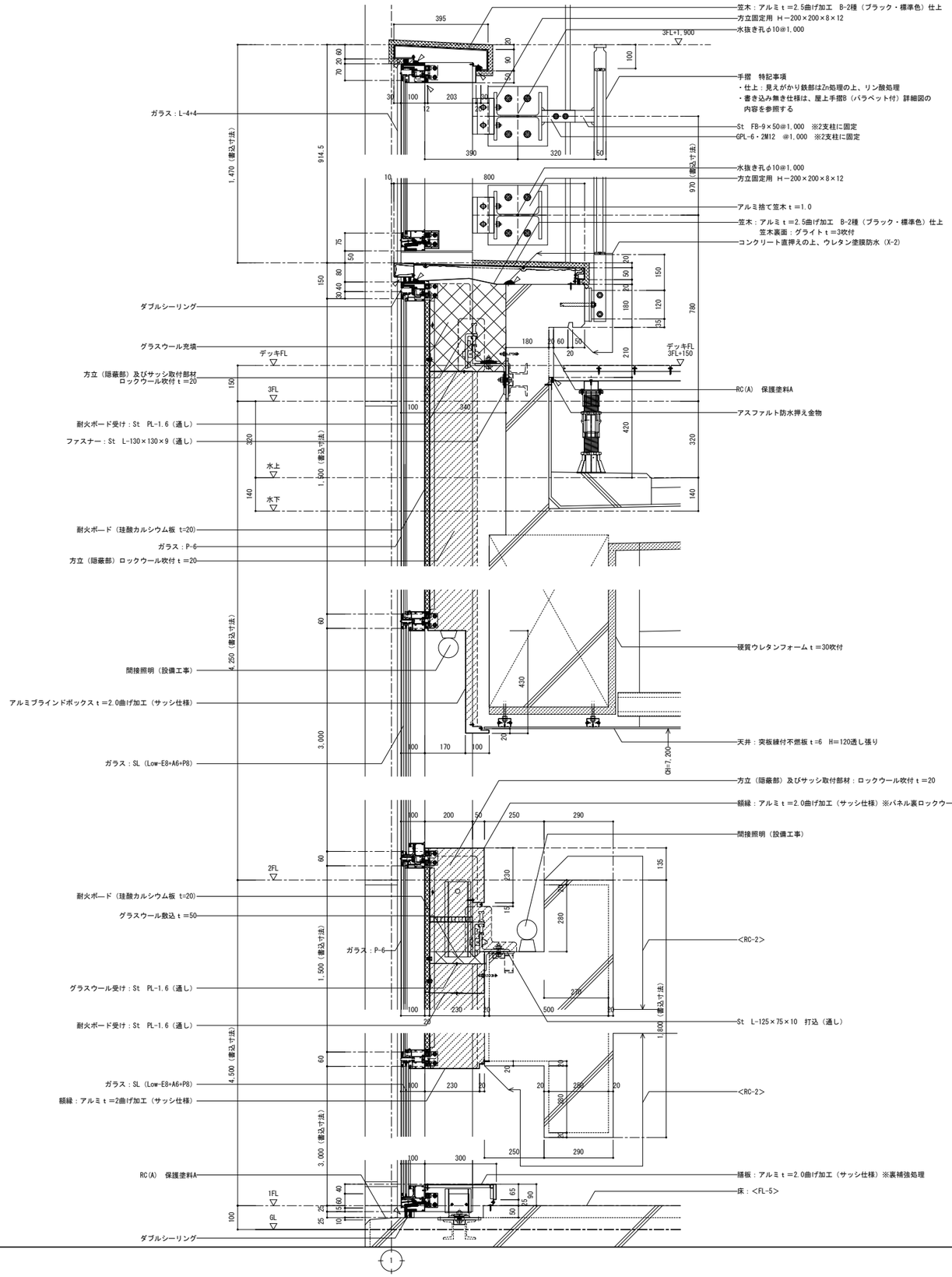


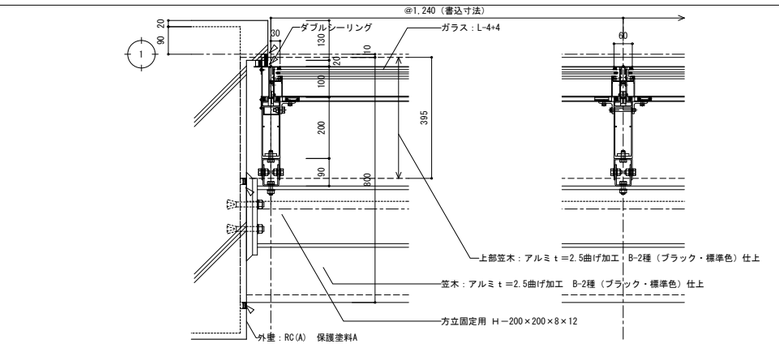
ハト小屋（2）　詳細図

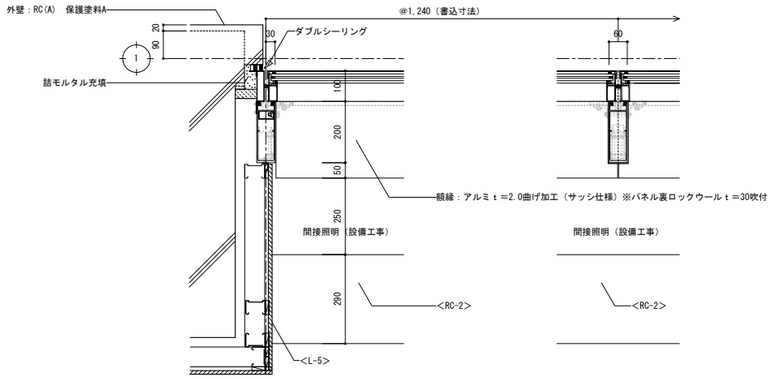
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部3）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:各記 A3:各記	図面番号：A-200

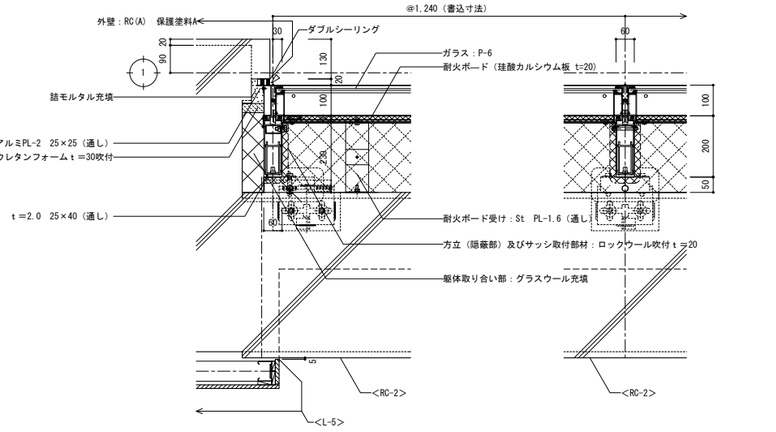
外０９ | カーテンウォール　詳細図 | ACW 1

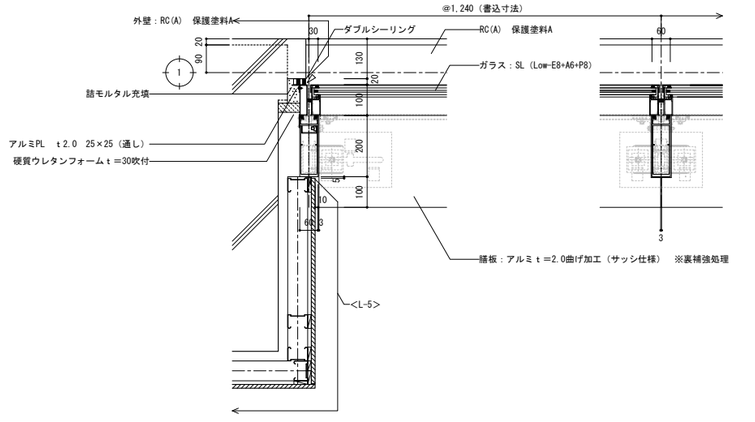
A1:1/10
A3:1/20











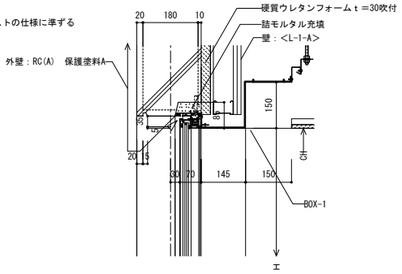
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部4）	2023/03

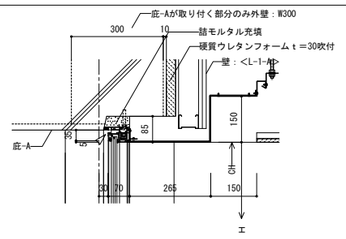
管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-201

NEWJEC 株式会社ニュージェック

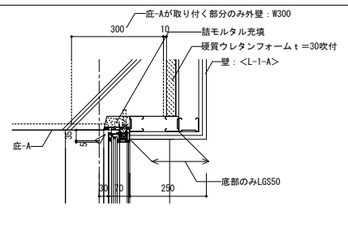
外１０　外部アルミサッシ　詳細図　AW 1　AW 2　SD 29　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・各建具の仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる

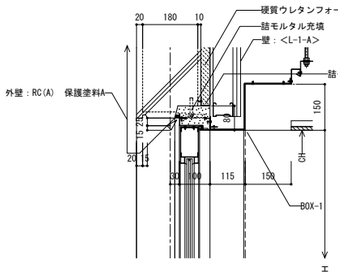


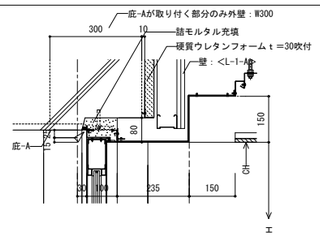


庇-Aが取りつく天井付けサッシ部分（3階）

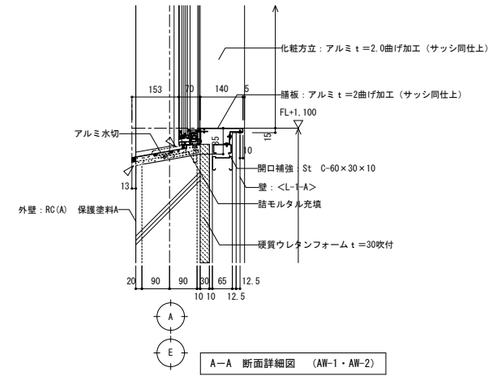


庇-Aが取りつく垂れ壁有り部分（3階）

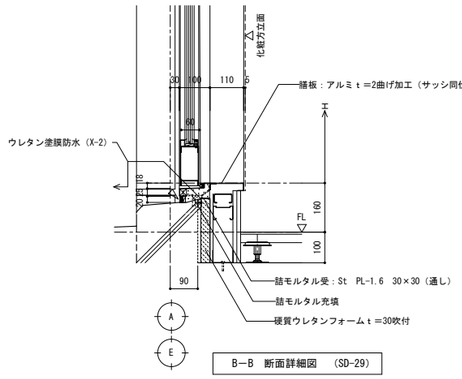




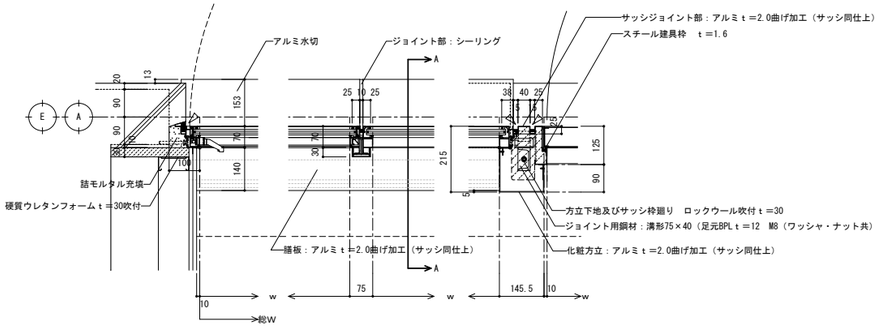
庇-Aが取りつく天井付けサッシ部分（3階）

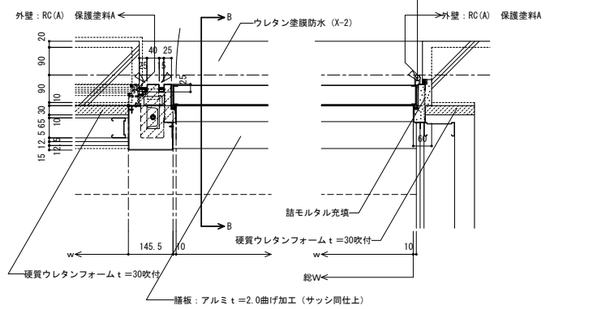


A－A　断面詳細図　(AW-1・AW-2)



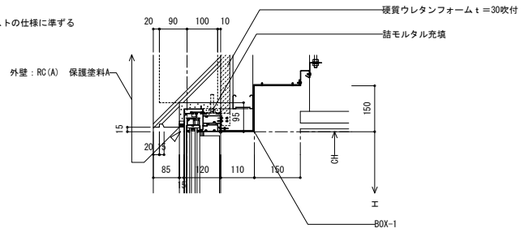
B－B　断面詳細図　(SD-29)

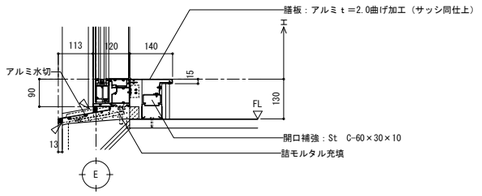




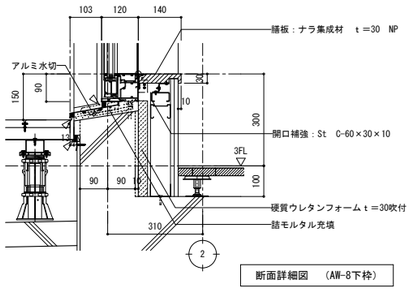
外１１　外部アルミサッシ　詳細図　AW 4　AW 8　A1:1/5 A3:1/10

特記事項
・各建具の仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる

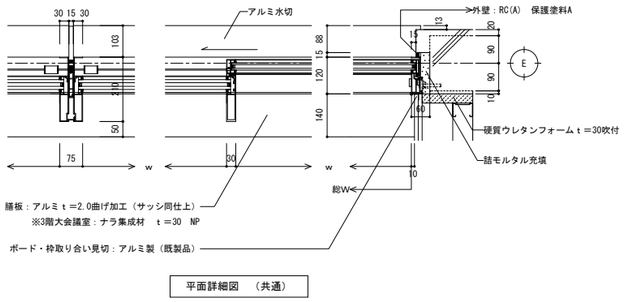




断面詳細図　(AW-4)



断面詳細図　(AW-8下枠)



平面詳細図　（共通）

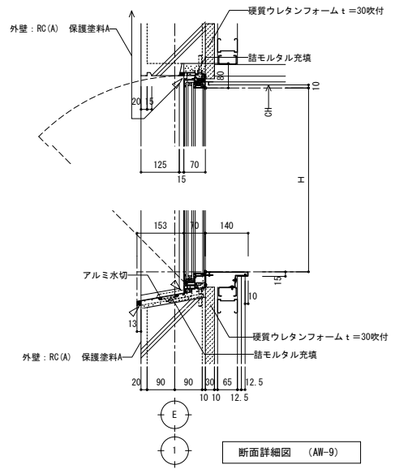
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部5）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-202

外１２　外部アルミサッシ　詳細図

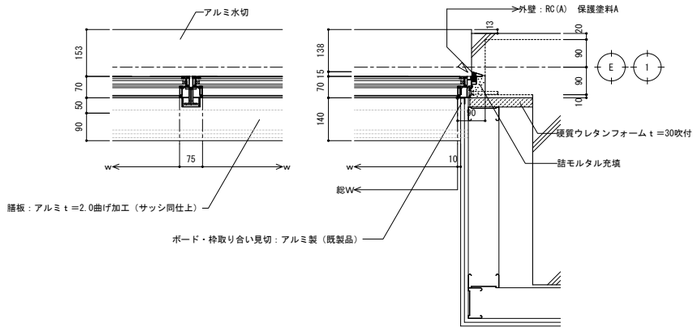
AW 9　AW 11

A1:1/5
A3:1/10

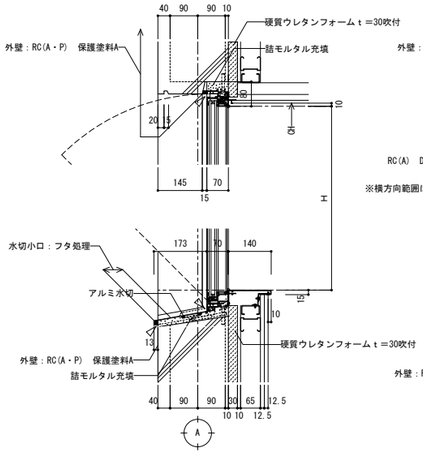
特記事項
・AWの仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる



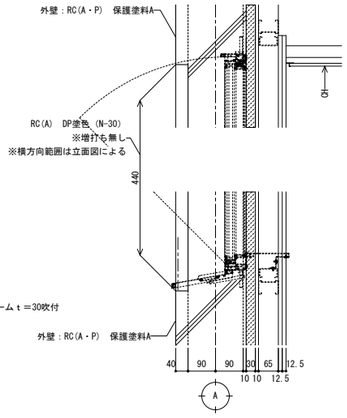
断面詳細図　(AW-9)



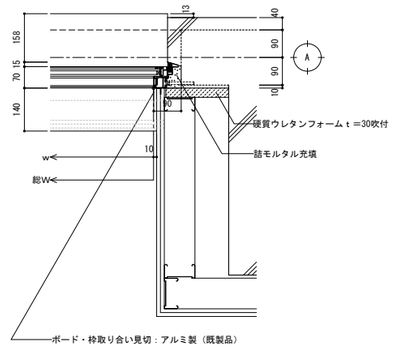
平面詳細図　(AW-9)



断面詳細図　(AW-11)



断面詳細図　(AW-11取り合い躯体)



平面詳細図　(AW-11)

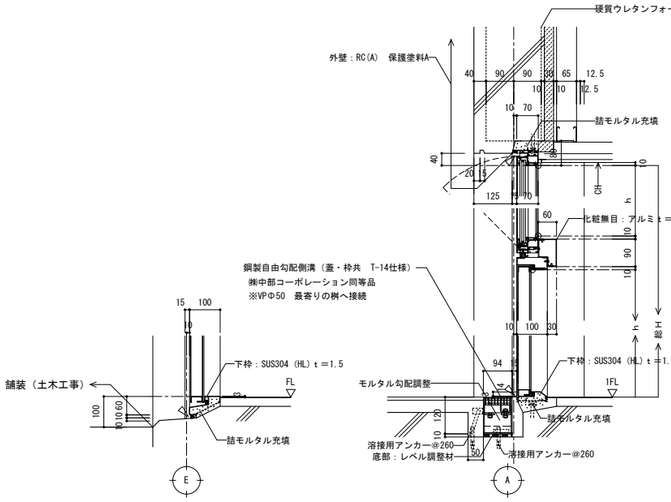
外１３　外部スチール扉（ランマアルミ排煙窓）　詳細図

SD 21　AW 10　1階　廊下（2）

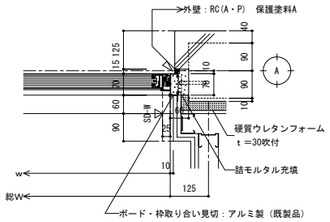
SD 32　AW 10　1階　廊下（1）

A1:1/10
A3:1/20

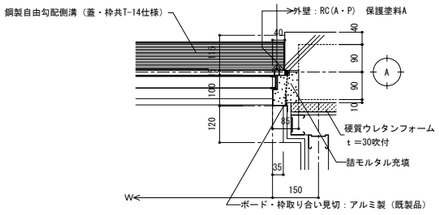
特記事項
・各建具の仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる



断面詳細図　(下部SD-32)　断面詳細図　(下部SD-21　上部AW10)



平面詳細図　(上部AW-10)



平面詳細図　(下部SD-21)

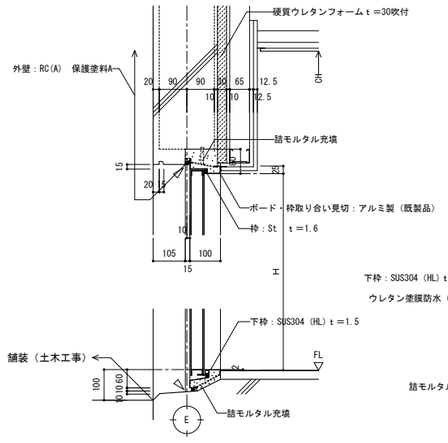
外１４　外部スチール扉　詳細図

SD 7　1階　洗濯室

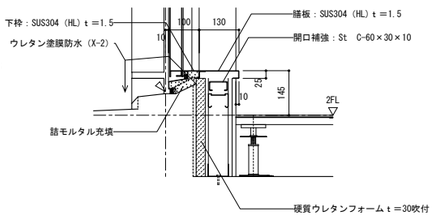
SD 30　2階　指令センター機械室

A1:1/10
A3:1/20

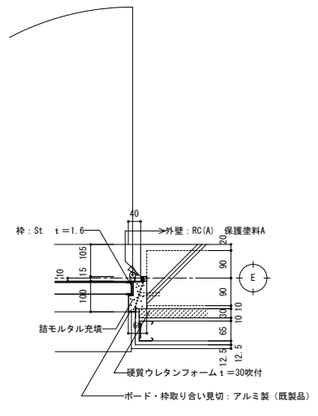
特記事項
・各建具の仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる



断面詳細図　(SD-7)



断面詳細図　(SD-30下枠)

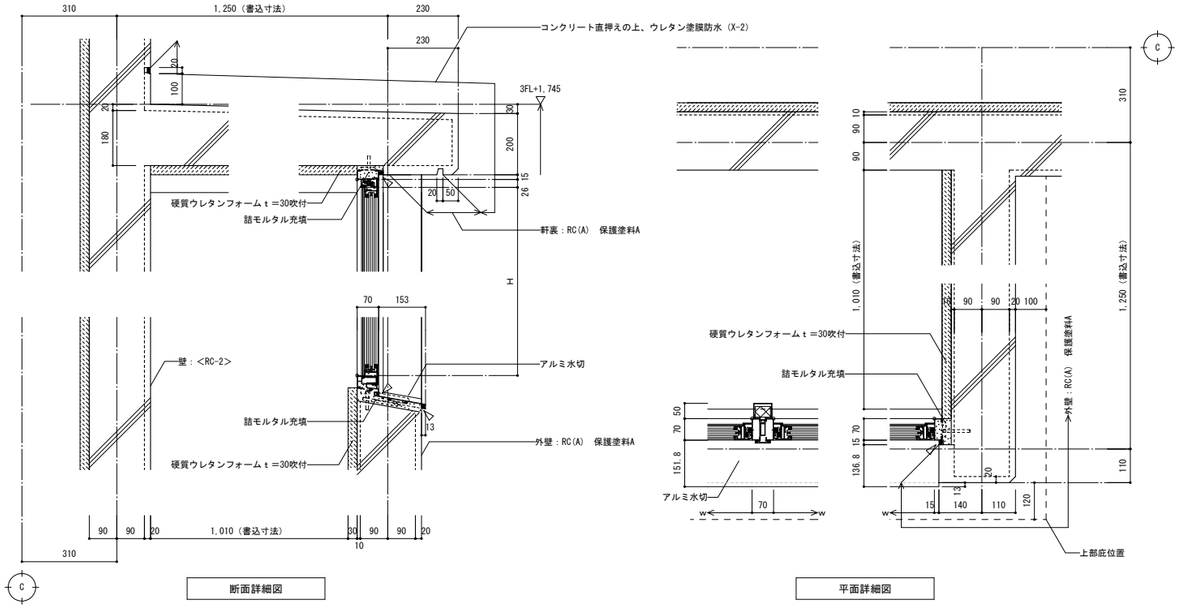


平面詳細図　(共通)

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部6）		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名		縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳		A1:各記 A3:各記	A-203

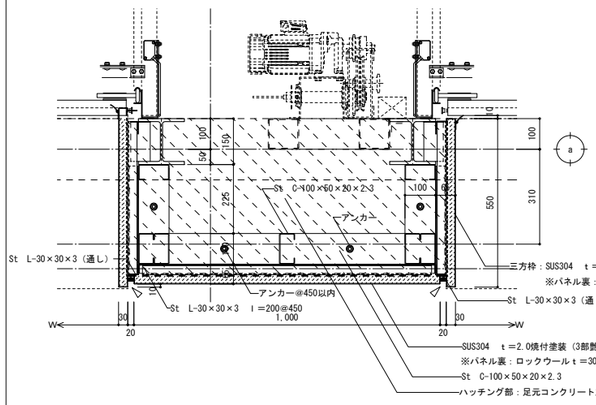
外１５　外部アルミサッシ　詳細図　(AW 7)　A1:1/10 A3:1/20

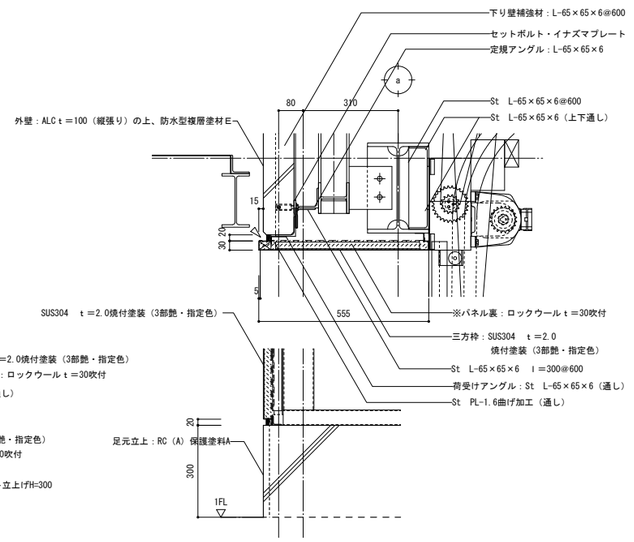
特記事項
・AWの仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる



断面詳細図　　平面詳細図

外１６　シャッター枠廻り　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

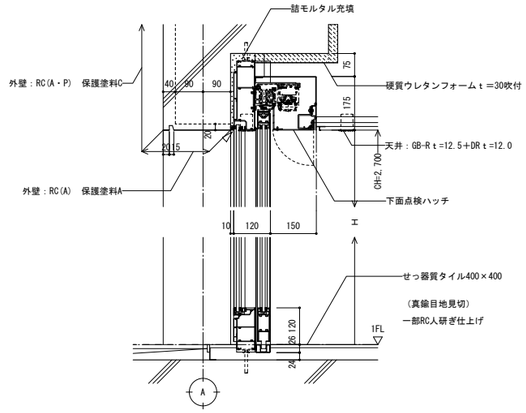




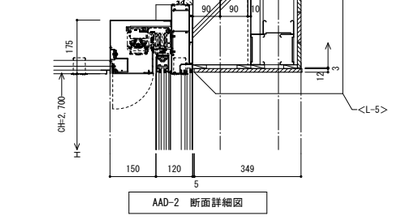
スライディングオーバードア廻り　詳細図

外１７　自動扉　詳細図　(AAD 1)(AAD 2)　A1:1/10 A3:1/20

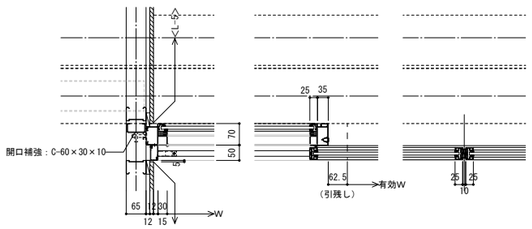
特記事項
・AADの仕上は、該当する建具リストの仕様に準ずる



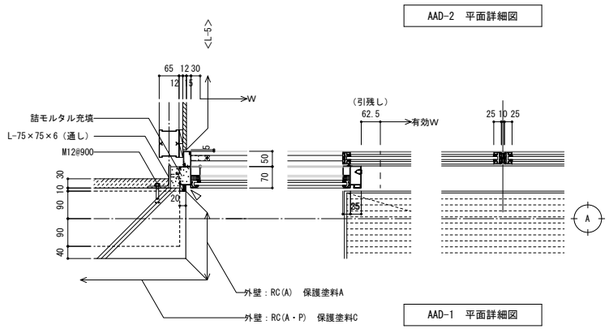
AAD-1　断面詳細図



AAD-2　断面詳細図

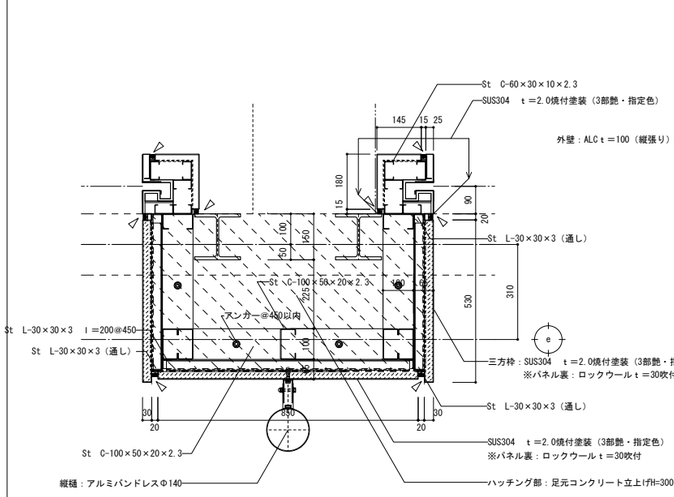


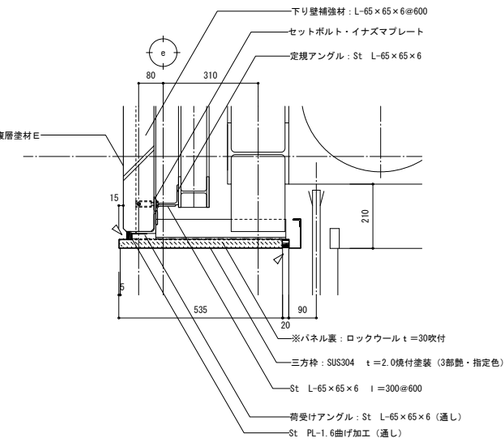
AAD-2　平面詳細図



AAD-1　平面詳細図

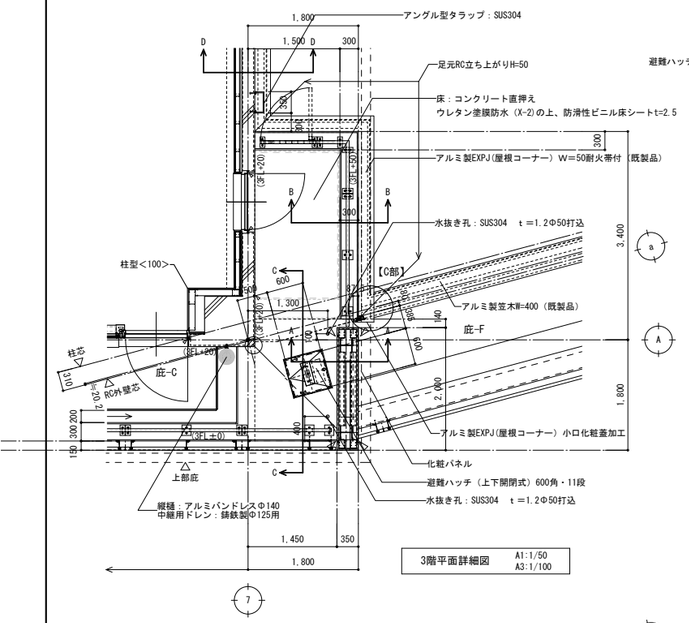
重量シャッター廻り　詳細図

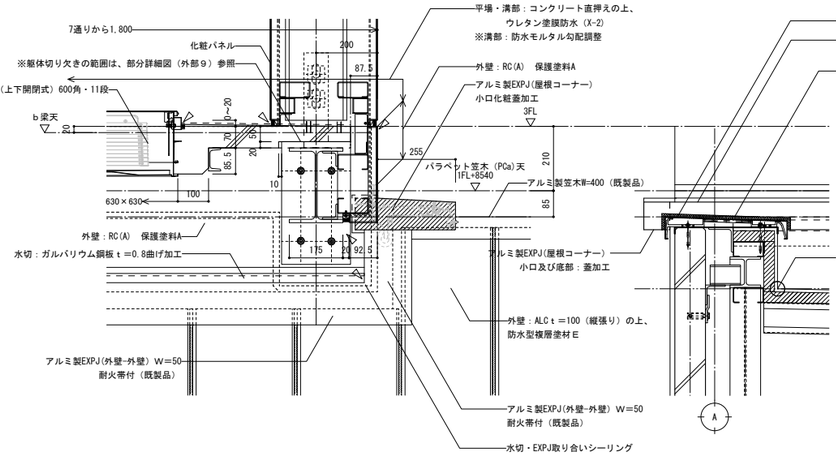




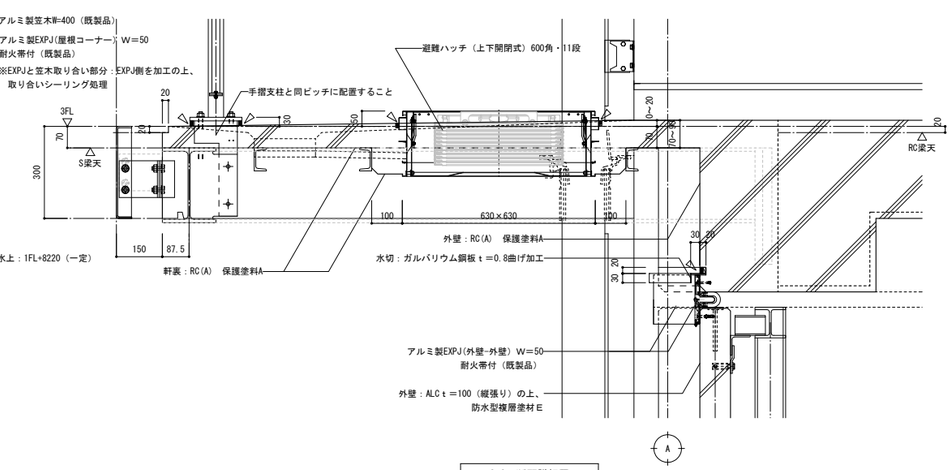
重量シャッター廻り　詳細図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部7）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-204

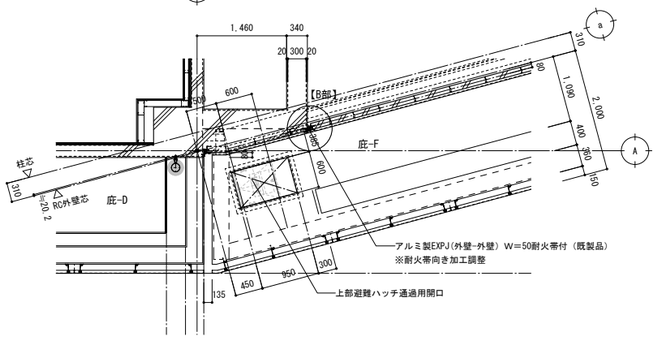




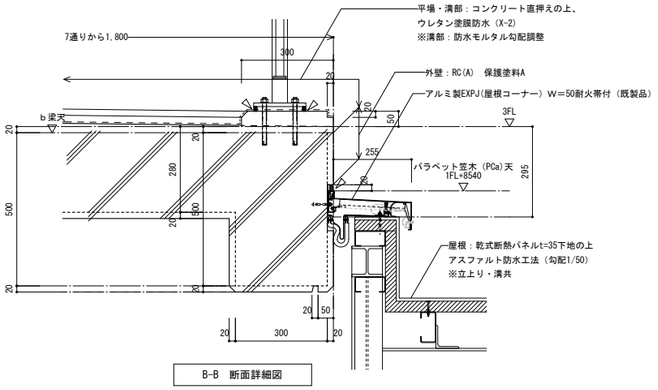
A-A　断面詳細図



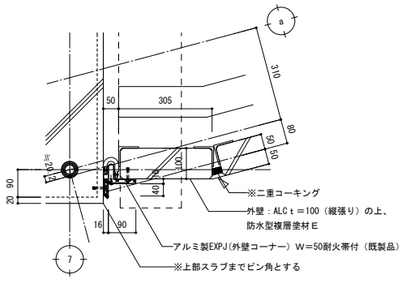
C-C　断面詳細図



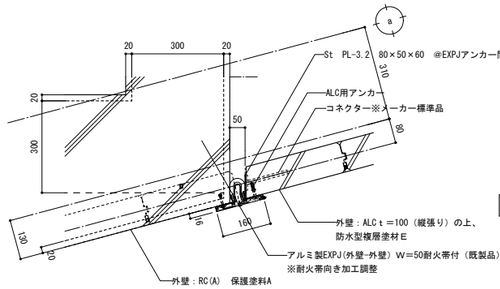
庇-Dレベル　平面詳細図　A1:1/50 A3:1/100



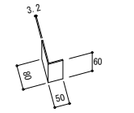
B-B　断面詳細図



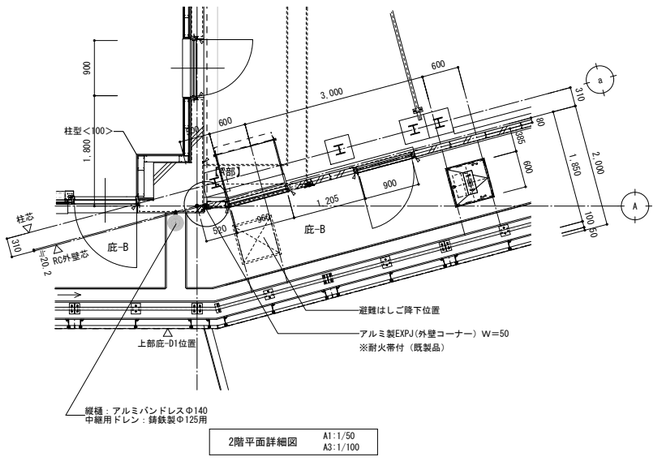
【A部】　詳細図



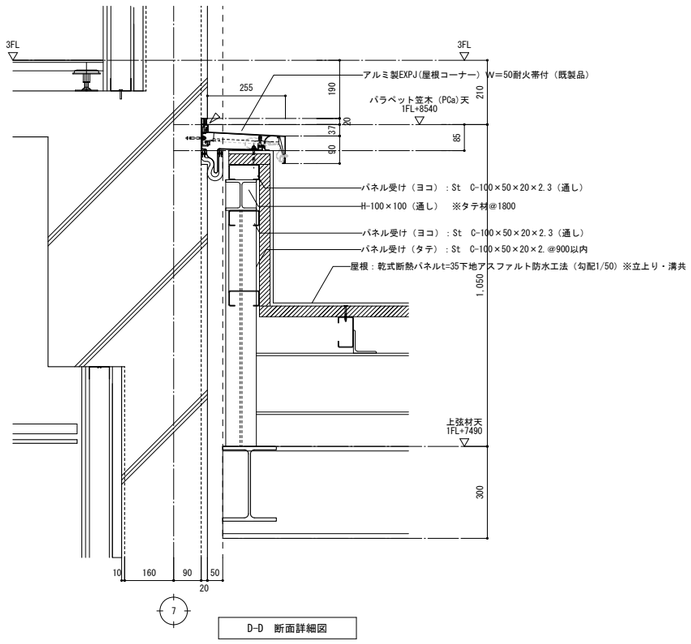
【B部】　詳細図



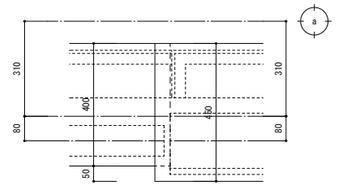
スチールPL　詳細図

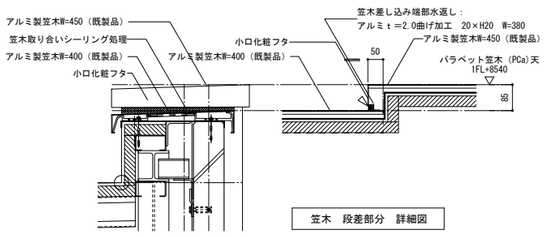


2階平面詳細図　A1:1/50 A3:1/100

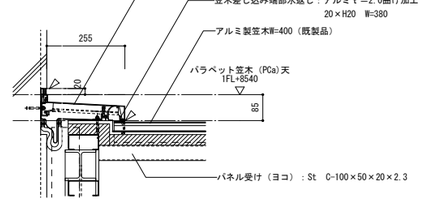


D-D　断面詳細図





笠木　段差部分　詳細図

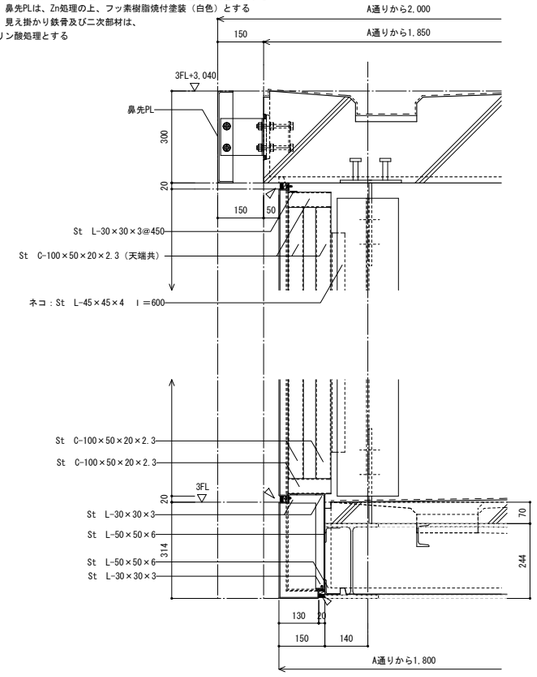


【C部】　詳細図

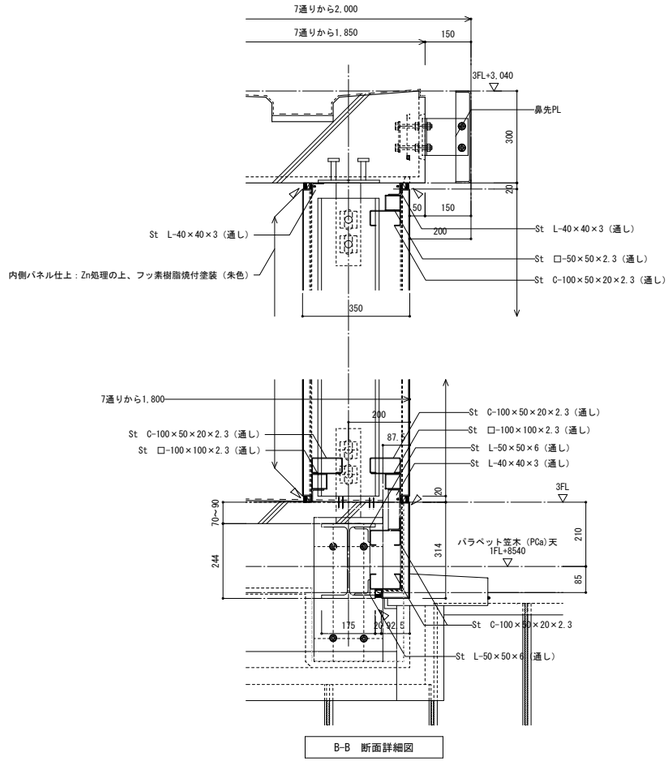
特記事項
・笠木：井上商事株式会社　シルバーライン（SL）　同等品
・EXPJ：井上商事株式会社　Sシリーズ　同等品
・避難ハッチ：ナカ工業株式会社　　タスカール　SPC600タイプ　同等品

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部8）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-205

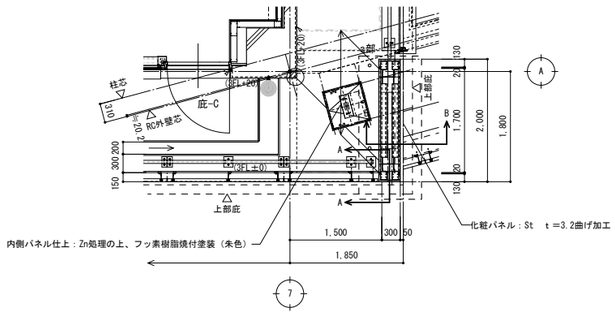
特記事項
・特記なき限り、化粧パネルは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・特記なき限り、鼻先PLは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・特記なき限り、見え掛かり鉄骨及び二次部材は、
Zn処理の上、リン酸処理とする



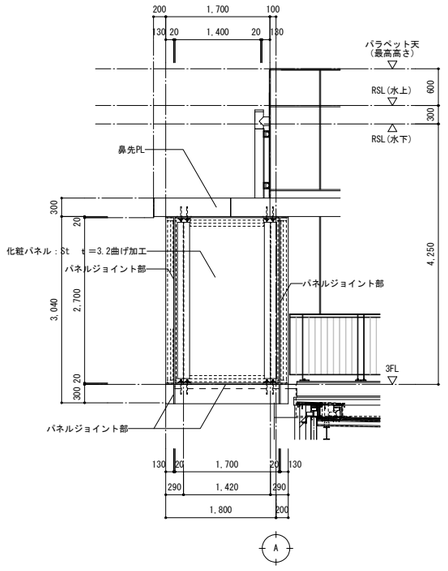
A-A 断面詳細図



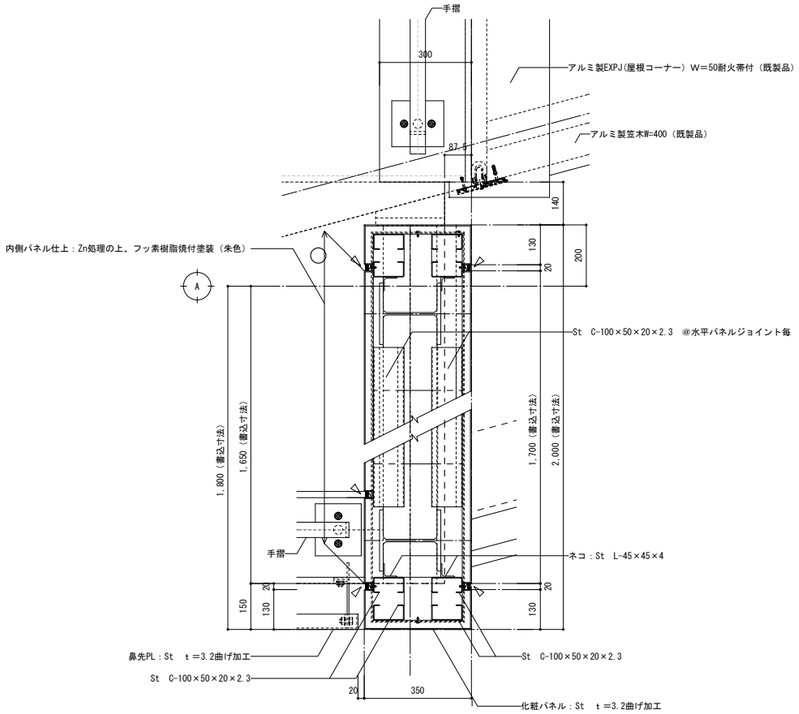
B-B 断面詳細図



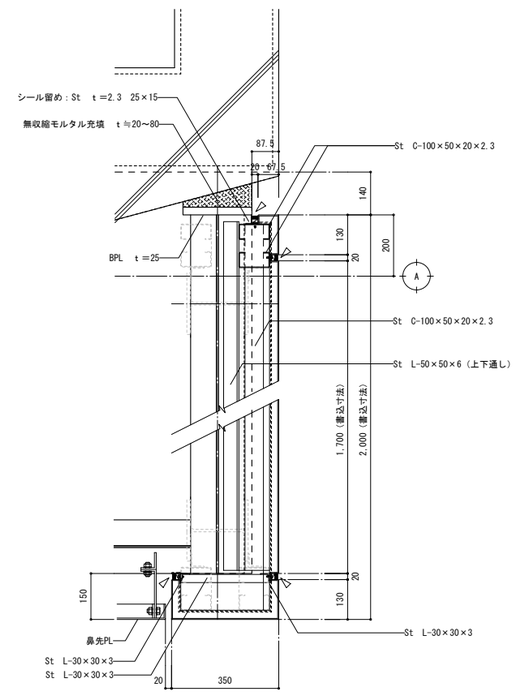
平面詳細図　A1:1/50 A3:1/100



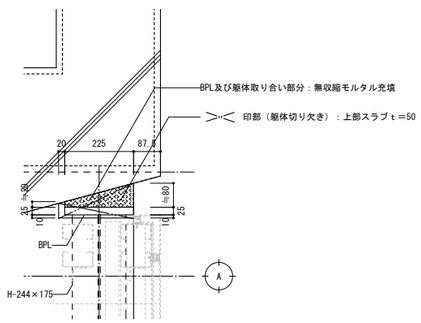
立面図　A1:1/50 A3:1/100



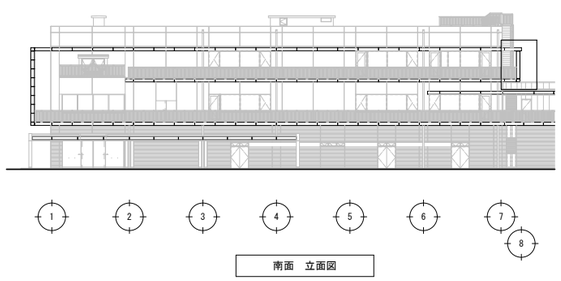
a部 平面詳細図



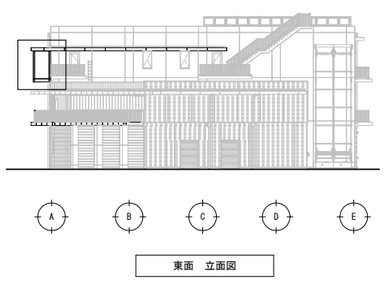
a部 平面詳細図（S部）



BPLと躯体の取り合い図（見上げ）



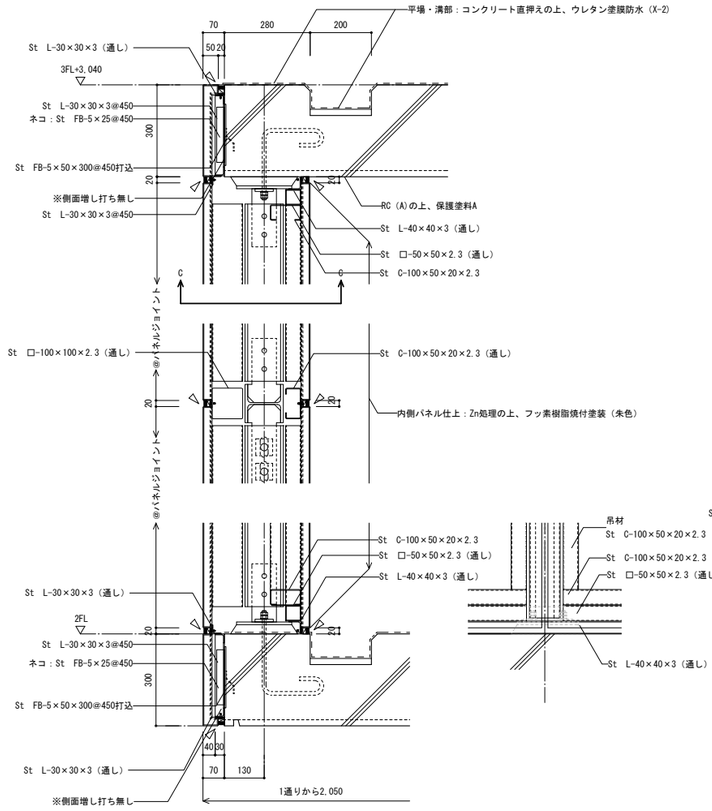
南面 立面図

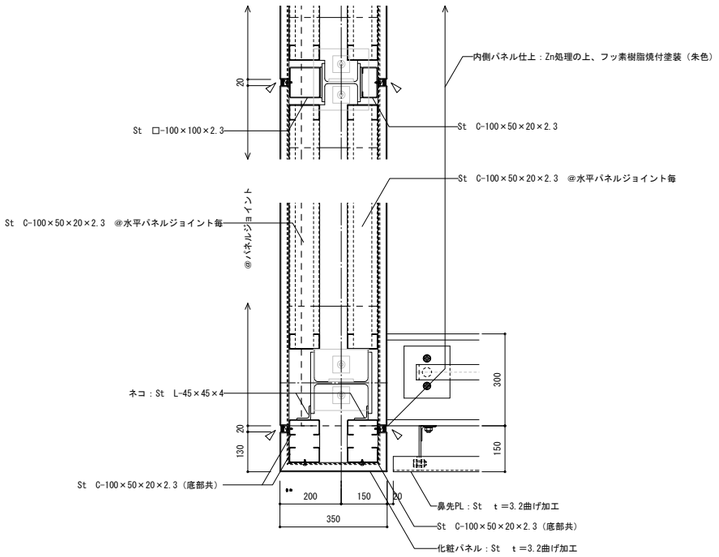


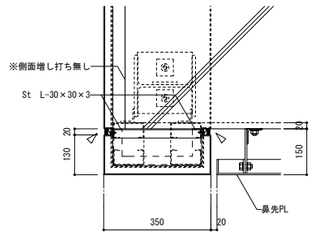
東面 立面図

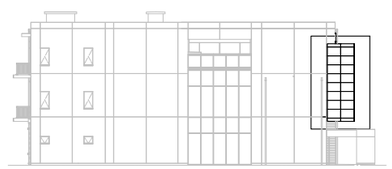
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部9）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-206

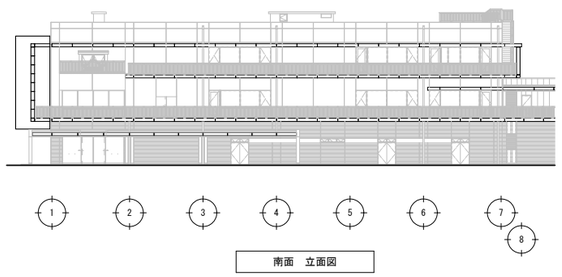
特記事項
・特記なき限り、化粧パネルは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・特記なき限り、鼻先PLは、Zn処理の上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする







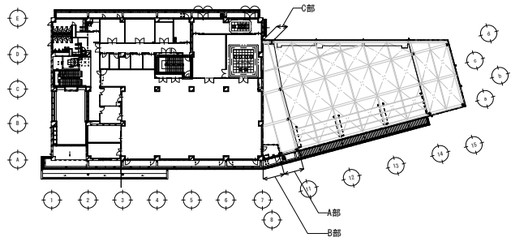


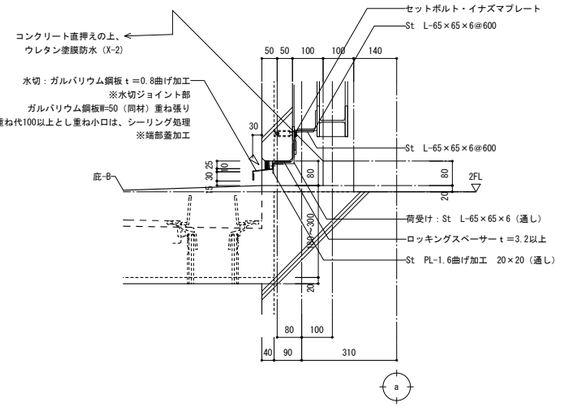


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部10）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-207

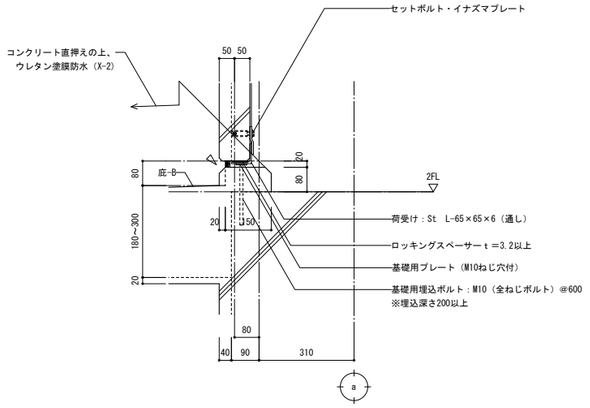
外２１　ALC版　下部クリアランス廻り詳細図

A1:1/10
A3:1/20

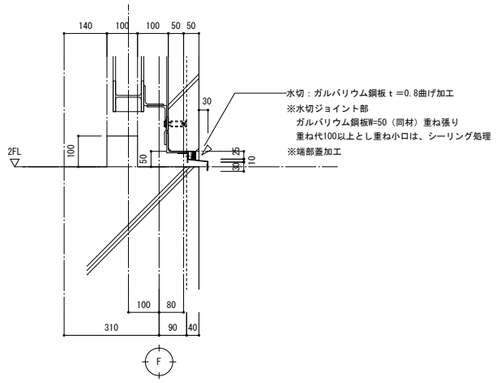




A部　詳細図



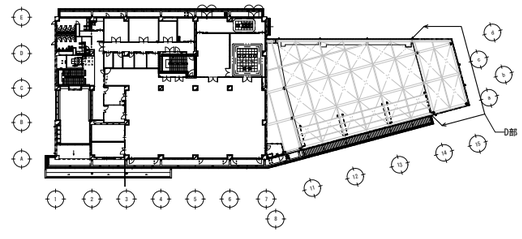
B部　詳細図

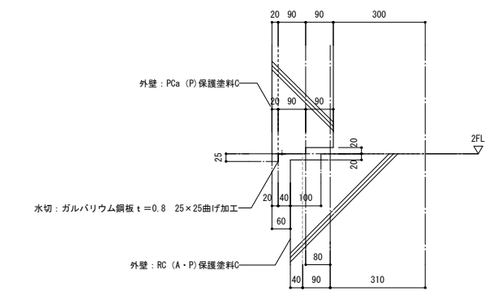


C部　詳細図

外２２　PCa版　下部クリアランス廻り詳細図

A1:1/10
A3:1/20



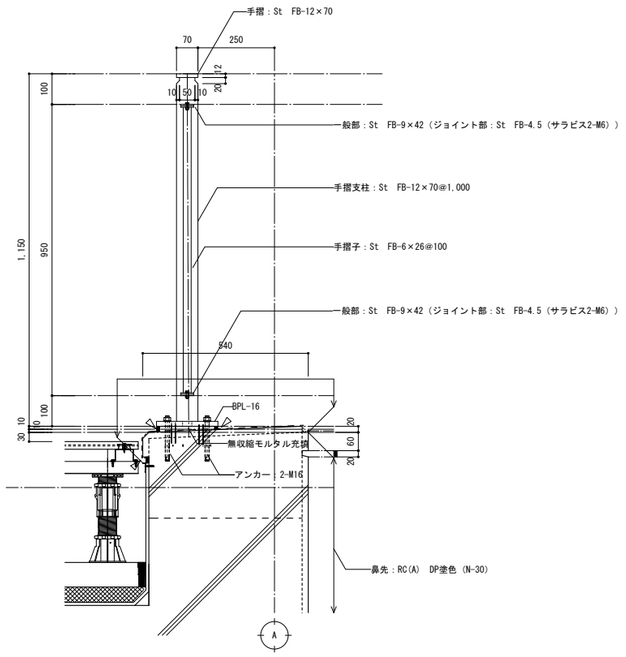


D部　詳細図

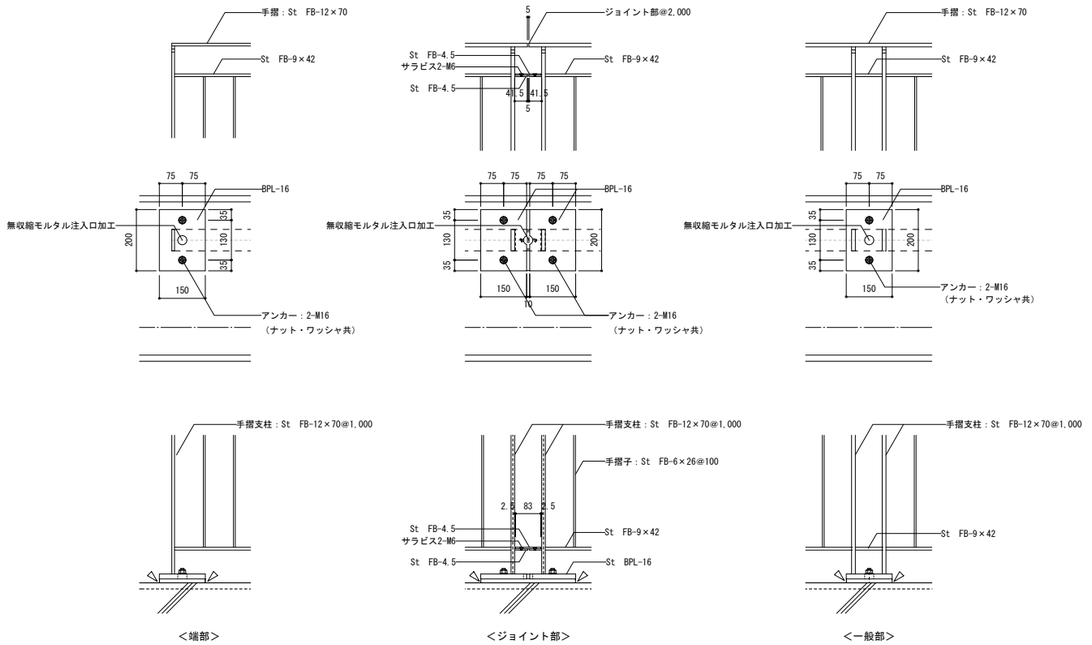
外２３　屋外デッキ　A通り手摺　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理とする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



手摺廻り　断面詳細図



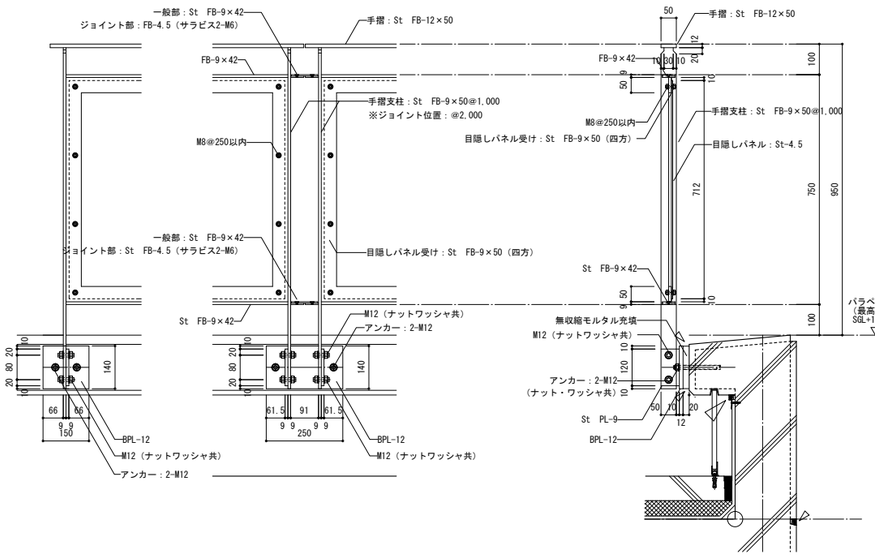
手摺廻り　平面詳細・立面図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部11）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:各記 A3:各記	図面番号：A-208

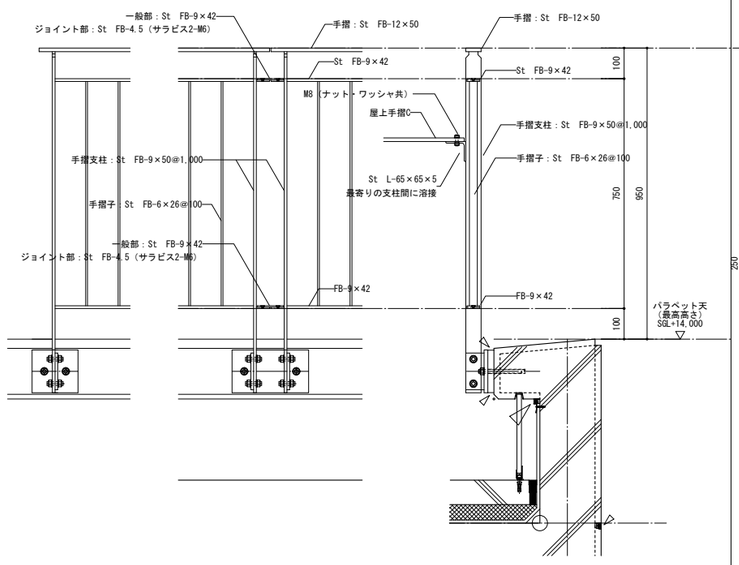
外２４　屋上手摺A・B（パラペット付）　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理とする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



屋上手摺A　詳細図



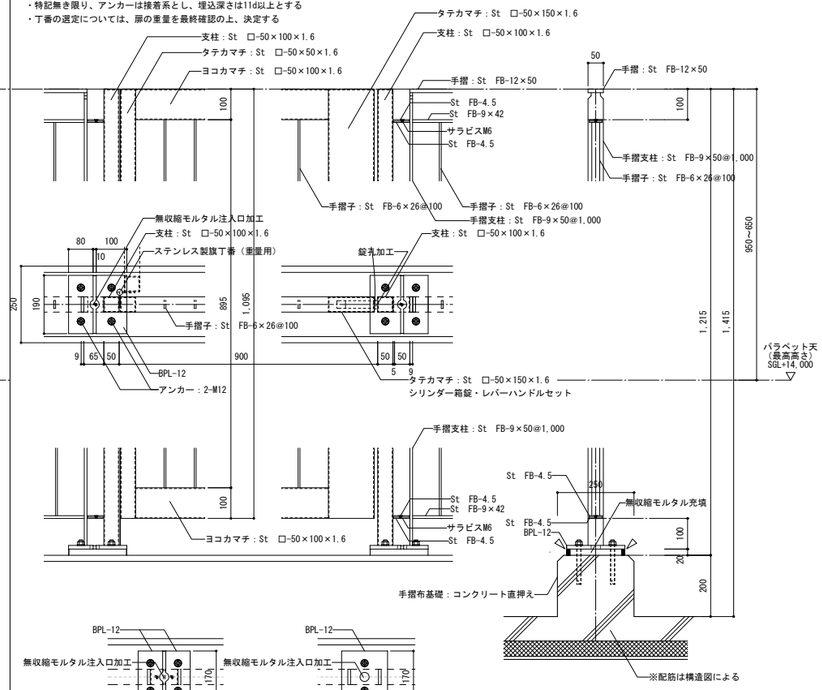
屋上手摺B　詳細図

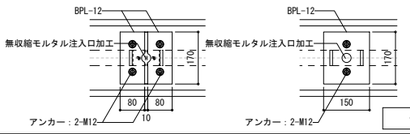
特記事項：書き込みのない仕様（寸法共）については左図同様とする

外２５　屋上手摺C　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理とする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする
・丁番の選定については、扉の重量を最終確認の上、決定する



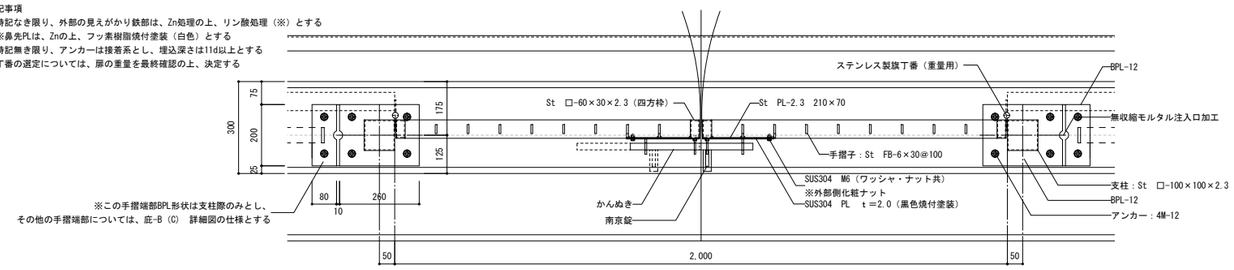


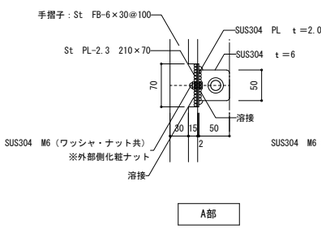
一般部足元詳細図

外２６　搬入扉　詳細図

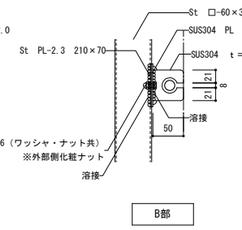
A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理（※）とする
※鼻先PLは、Znの上、フッ素樹脂焼付塗装（白色）とする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする
・丁番の選定については、扉の重量を最終確認の上、決定する

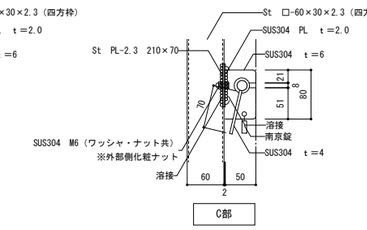




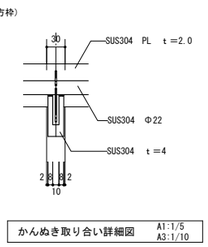
A部



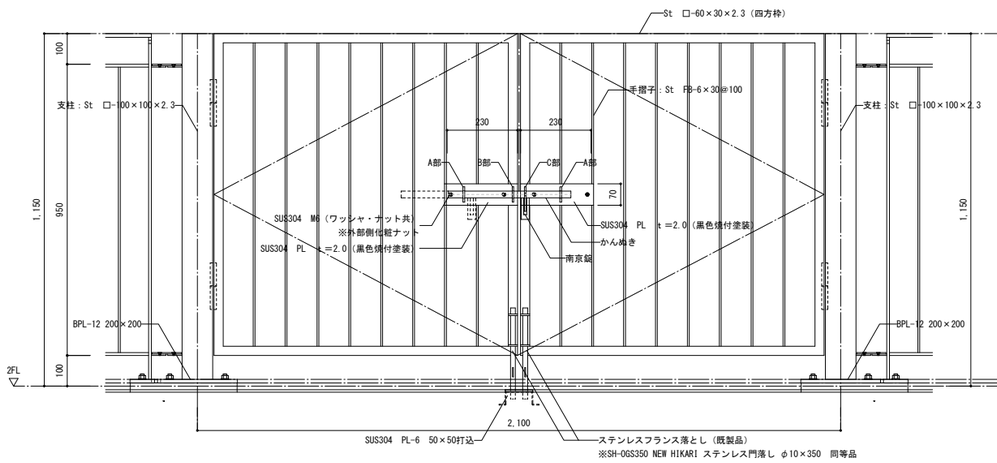
B部

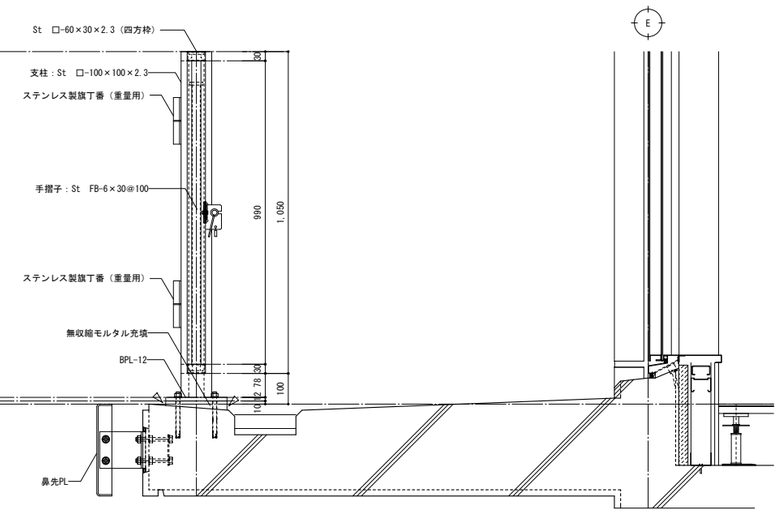


C部



かんぬき取り合い詳細図　A1:1/5　A3:1/10



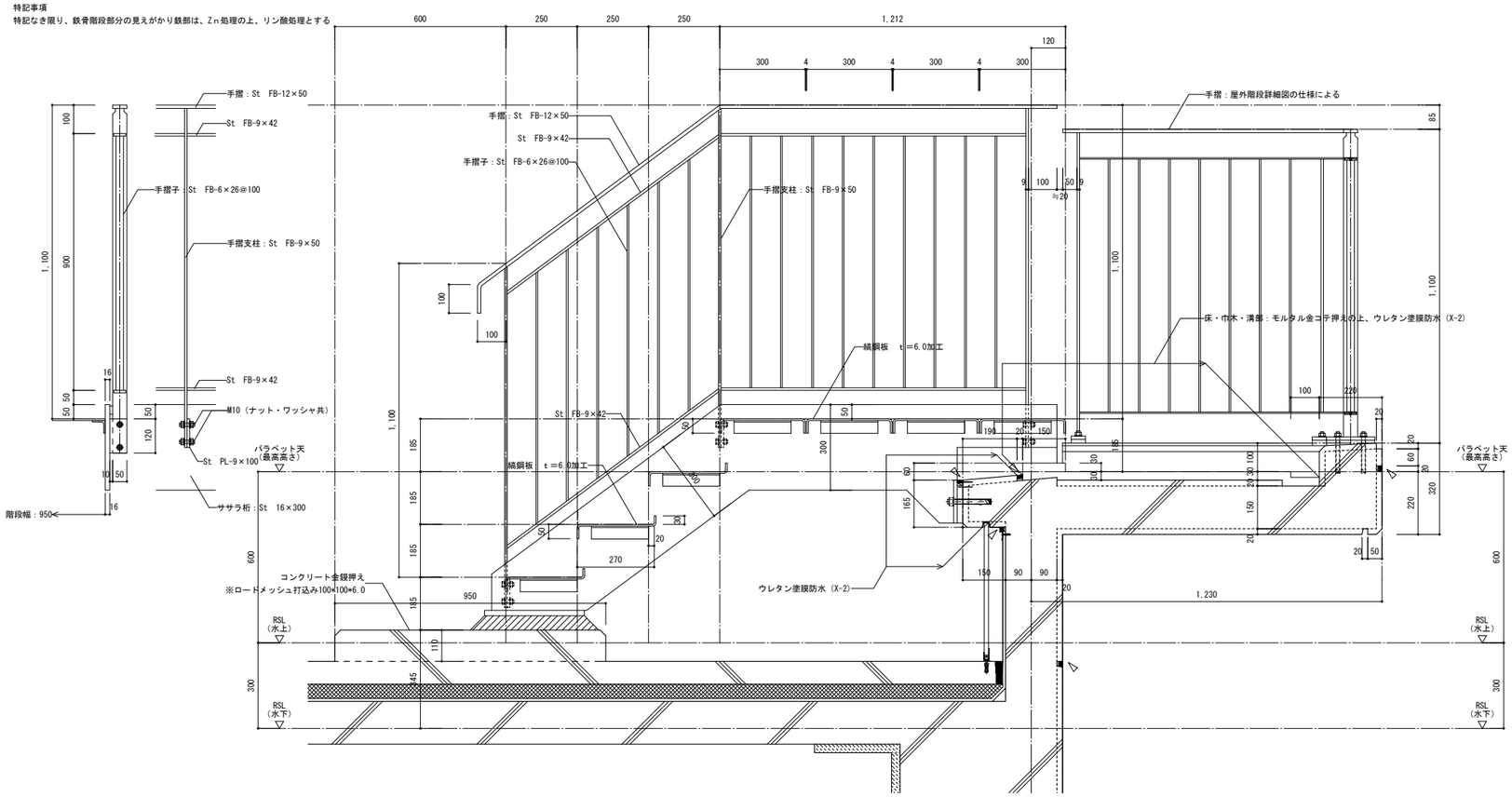


工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部12）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-209

外２７　屋上鉄骨階段　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
特記なき限り、鉄骨階段部分の見えがかり鉄部は、Zn処理の上、リン酸処理とする



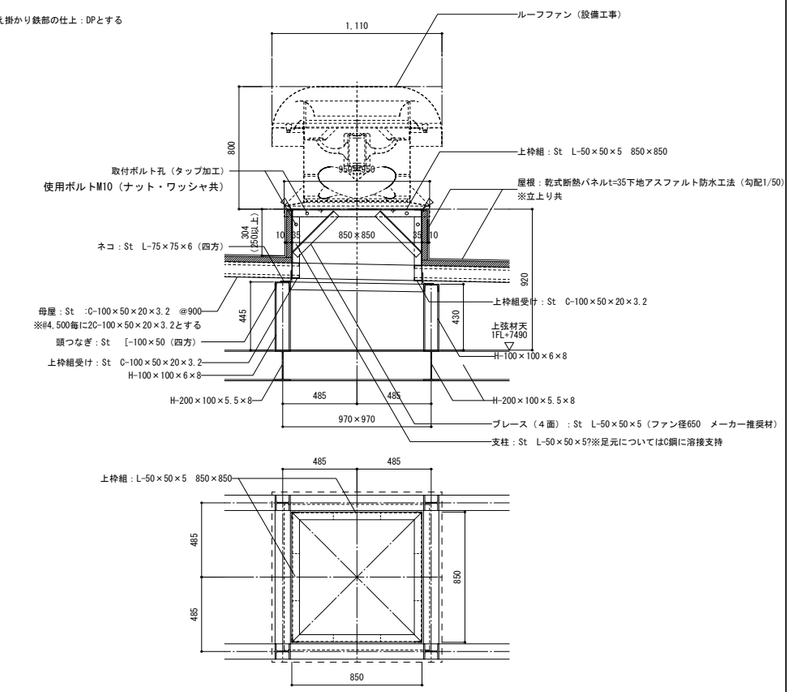
屋上鉄骨階段　詳細図

外２８　ルーフファン　架台詳細図

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
ルーフファン：株式会社　鎌倉製作所　RF-650N　同等品
鋼製架台組：ファン径650　メーカー推奨材　St　L-50×50×5使用
使用ボルト：メーカー推奨材

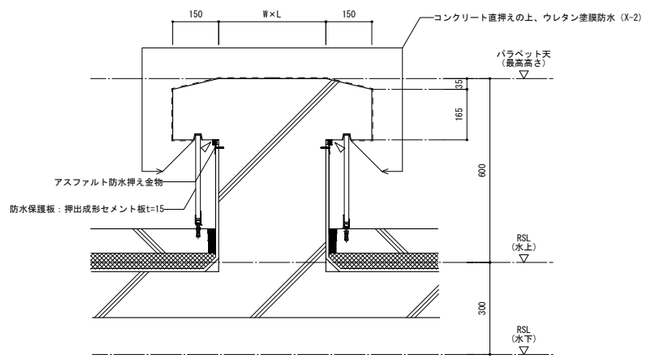
※見え掛かり鉄部の仕上：DPとする



外３０　設備基礎　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・配筋は構造図による



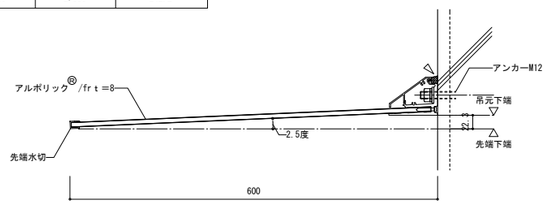
外２９　アルミ庇（既製品）　詳細図

A1:各記
A3:各記

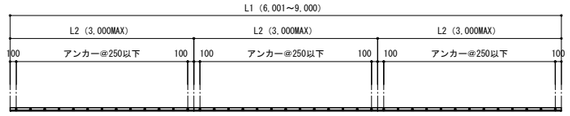
特記事項
アルフィン株式会社　AP-60　同等品

3分割タイプ

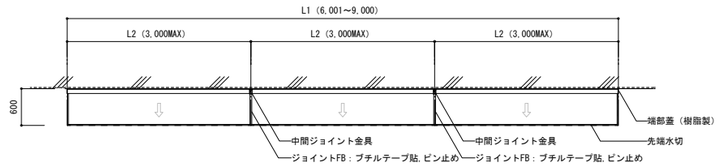
庇仕様	L1	L2	ボルトピッチ
L=6,750・D=600	6,750	2,250	227.7
L=7,140・D=600	7,140	2,380	242.2



庇　断面詳細図　A1:1/5 A3:1/10



吊元正面図（アンカーピッチ図）　A1:1/50 A3:1/100

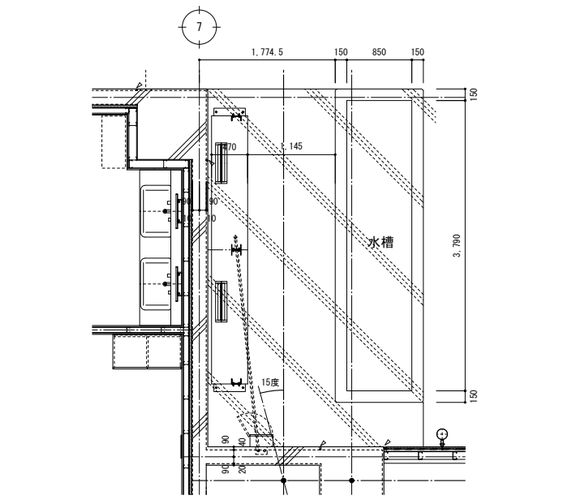


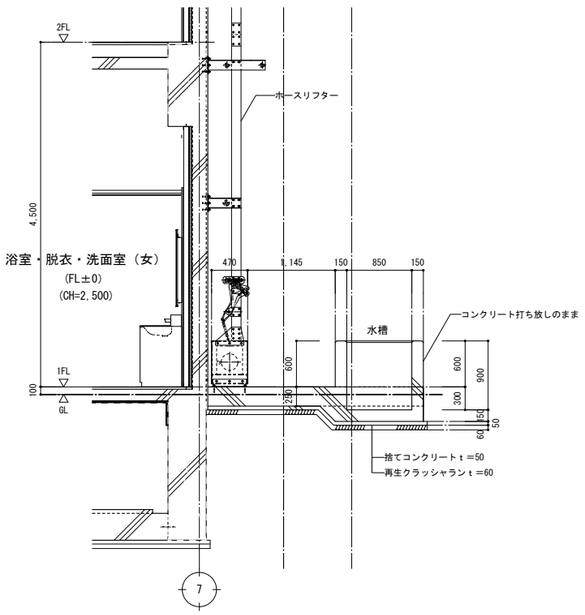
ジョイント部　平面図　A1:1/50 A3:1/100

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部13）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-210

外３１　ホースリフター廻り　詳細図　A1:1/40 A3:1/80

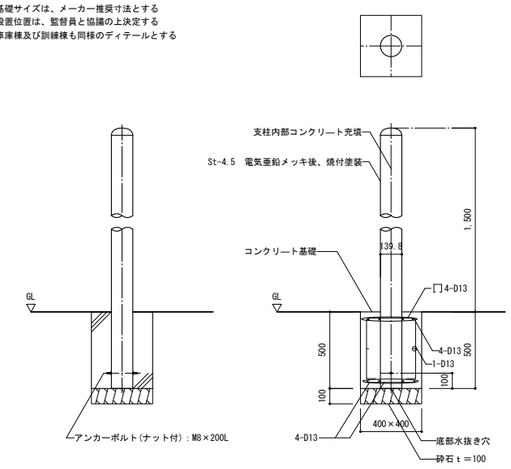
特記事項
・ホースリフターのベース基礎配筋及び水槽廻りの配筋については、構造図による



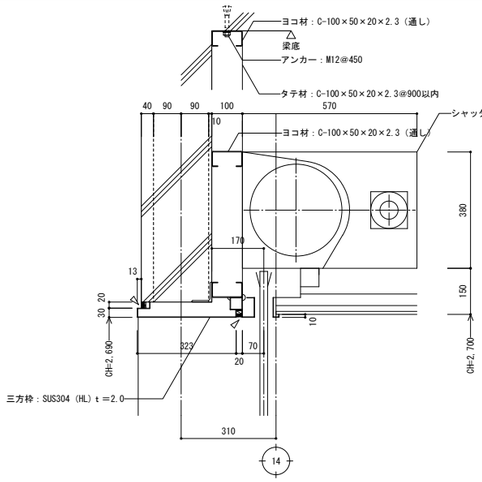


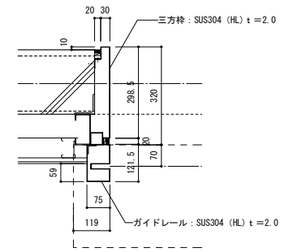
外３２　ガードポスト　詳細図　A1:1/20 A3:1/40

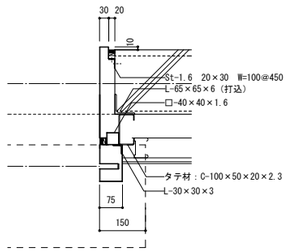
特記事項
・株式会社サンポール　FPA−14UH　コンクリート充填仕様同等品
・基礎サイズは、メーカー推奨寸法とする
・設置位置は、監督員と協議の上決定する
・車庫棟及び訓練棟も同様のディテールとする



外３３　シャッター枠廻り　詳細図　A1:1/10 A3:1/20







工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（外部14）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-211

内０１　壁　リスト

A1:1/5
A3:1/10

下地	凡例	仕　様		詳細番号	壁材の表面仕上材 （下記の仕上以外は図示による）	特記番号
ＬＧＳ下地	<L-1-※>	GB-RまたはGB-SまたはGB-F　t＝12.5+12.5の上、各仕上		b	クロス・不燃メラミン化粧板・化粧ケイカル板 EP-G・薄塗材E	(1) (2) (3) (4) (5)
	<L-2-※>	GB-F　t＝12.5+12.5の上、各仕上		b	EP-G	(1) (2)
	<L-3-＊>	GB-S　t＝12.5　の上、各仕上		c	化粧ケイカル板	(1) (2) (3) (4) (5)
	<L-4-1>	GB-RまたはGB-S　t＝12.5+12.5（両面張り）の上、各仕上 （壁内：グラスウール充填　t＝100（24kg/m3品））		a-1	クロス EP-G・せっ器質タイル	(1) (2) (7)
	<L-4-2>	GB-F　t＝12.5+12.5　／　GB-RまたはGB-S　t＝12.5+12.5の上、各仕上 （壁内：グラスウール充填　t＝100（24kg/m3品））		a-2	クロス EP-G・せっ器質タイル	(1) (2) (8)
	<L-4-3>	GB-F　t＝21+21　／　杉羽目板ｔ＝12（タテ木胴縁下地）の上、各仕上 （壁内：グラスウール充填　t＝100（24kg/m3品））		a-3	EP-G・杉羽目板部：NP	(1) (2) (8)
	<L-4-4>	GB-S　t＝12.5+12.5　／　杉羽目板ｔ＝12（タテ木胴縁下地）の上、各仕上 （壁内：グラスウール充填　t＝100（24kg/m3品））		a-4	クロス・薄塗材E せっ器質タイル	(1) (2) (8)
	<L-4-5>	GB-F　t＝21+21　／　GB-S　t＝12.5+12.5の上、各仕上 （壁内：グラスウール充填　t＝100（24kg/m3品））		a-5	EP-G	(1) (2) (8)
	<L-5>	杉羽目板ｔ＝12（タテ木胴縁下地）の上、NP		g		
	<L-6>	GB-F　t＝21+21（片面張り）　の上、各仕上		f	EP-G	
ＳＰ下地	<SP-1>	GB-S　t＝12.5+12.5の上、各仕上	※ボード天井+400止メ	h	EP-G	
	<SP-2>	GB-S　t＝12.5+12.5の上、各仕上	※ボード天井+100止メ	i	クロス	
ＲＣ下地	<RC-1>	ＲＣ（Ａ）杉型枠仕様の上、各仕上	※特記無き限り、増打ち20	d	保護塗料B	(9)
	<RC-2>	ＲＣ（Ａ）の上、各仕上	※特記なき限り、増打ち20	d	保護塗料B	(9)
	<RC-3>	ＲＣ（Ｂ）の上　各仕上	※特記なき限り、増打ち20	d	薄塗材E	(9)
	<RC-4>	ＲＣ（Ｂ）の上　各仕上	※特記なき限り、増打ち無し	e	素地	

特記事項

（１）　LGSスタッド間隔は、ボード二重張りの場合：@450、一重張りの場合：@300とする。

（２）　外壁に面する室内壁及び特記なき限り、LGS下地は、65型とする。　室内柱廻り及び遮音壁は、100型とし、その他100型を使う場合は、＜100＞　と明記する。

（３）　LGS下地及びボードの範囲は、次の仕分けとする。

<L-＊-A>　＿ボード及びLGS下地：梁下及びスラブ裏まで施工
<L-＊-B>　＿ボード：天井+100止め（間接照明内天井+100止め）　LGS下地：梁下及びスラブ裏まで施工
<L-＊-C>　＿ボード及びLGS下地：天井止メ

（４）　外壁に面する室内壁及び柱型については、特記なき限り　　<L-1-B>　　とする。スタッドがスラブ裏又は梁下に届かない場合は、65型を100型に変えて使用する。

（５）　特記のないPS・EPS内のLGS壁については　<L-3-A>　　とし、RC壁については、　　<RC-4>　　とする。

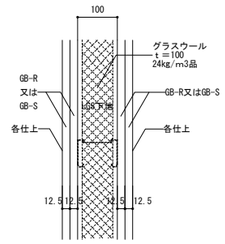
（６）　水廻り諸室については、GB-R　を　GB-S　に読み替える。※仕上表に準ずる。

（７）　<L-4-1>　は、ボード両面張り壁の為、平面詳細図では２室のどちらか側へ記号を表記し、展開図においては、２室のどちらにも記号を表記する。
その為、積算時の二重計上には十分注意すること。

（８）　<L-4-2>～<L-4-5>　は、両面張りの壁であるが、部屋により壁仕上げが異なるため、仕上表を確認の上、壁を構成すること。
また、平面詳細図では２室のどちらか側へ記号を表記し、展開図においては、２室のどちらにも記号を表記する。その為、積算時の二重計上には十分注意すること。

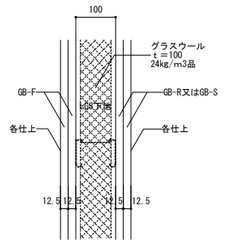
（９）　コンクリート打放し面のセパ割については、施工割付図を作成し、監督員と協議の上、決定するものとする。

a



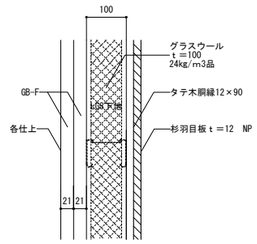
-1

特記事項
ボード及びLGS下地共梁下及びスラブ裏まで施工



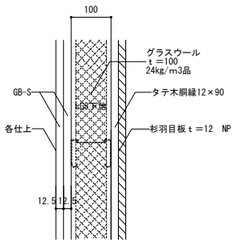
-2

特記事項
ボード及びLGS下地共梁下及びスラブ裏まで施工



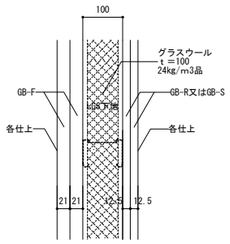
-3

特記事項
ボード・合板及びLGS下地共梁下及びスラブ裏まで施工
※杉板は天井まで施工
※杉板張りの詳細はｇによる



-4

特記事項
ボード・合板及びLGS下地共梁下及びスラブ裏まで施工
※杉板は天井まで施工
※杉板張りの詳細はｇによる

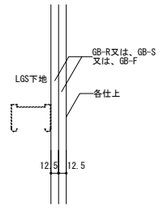


-5

特記事項
ボード・合板及びLGS下地共梁下及びスラブ裏まで施工

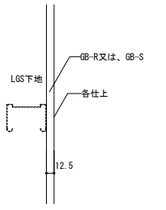
平面

b



平面

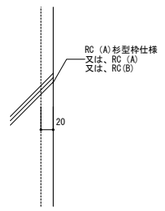
c



平面

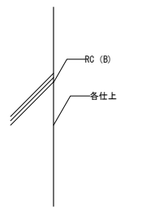
d

特記事項
増打厚さが異なる場合は、図中の書込数値による。



平面

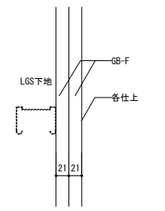
e



平面

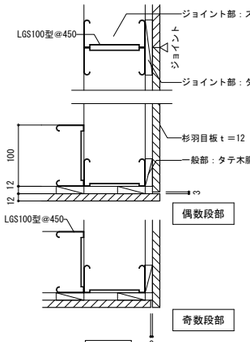
f

特記事項
吉野石膏㈱　Sウォール（標準仕様）同等品
※FP060NP-0007



平面

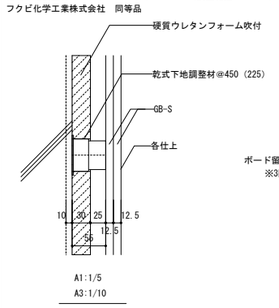
g



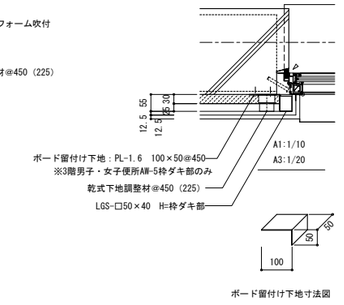
特記事項
杉板の張り方については、監督員と協議の上、最終決定する。
また、ジョイント部分のスタッド配置等を含め
施工図及び板割付図を作成の上、監督員の承認を得ること。

h

特記事項
乾式下地調整材：スクリューパッキンSP-N39（調整範囲39～57mm）
フクビ化学工業株式会社　同等品



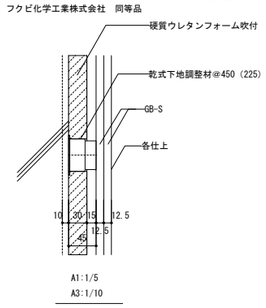
A1:1/5
A3:1/10



ボード留付け下地寸法図

i

特記事項
乾式下地調整材：スクリューパッキンSP-N39（調整範囲39～57mm）
フクビ化学工業株式会社　同等品

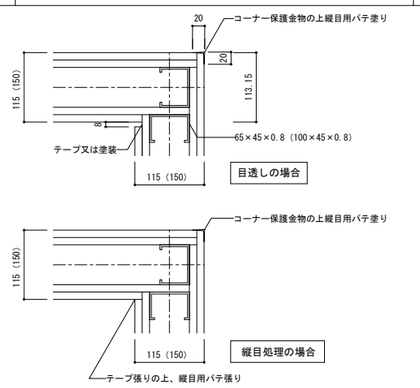


A1:1/5
A3:1/10

@450

内０２　壁（出隅・入隅）取り合い詳細図　（2-24-3）

A1:1/5
A3:1/10

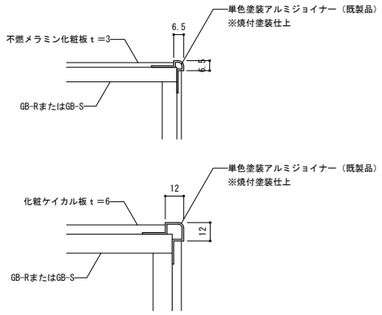


内０３　壁・天井　出隅見切　詳細図

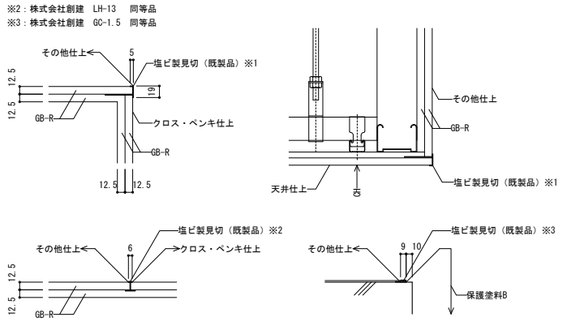
A1:各記
A3:各記
A1:1/5
A3:1/10

特記事項
アイカ工業株式会社　同等品

A1:1/2
A3:1/4



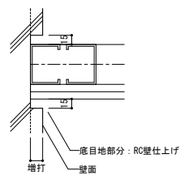
特記事項
※1：株式会社創建　FTK-13　同等品
※2：株式会社創建　LH-13　同等品
※3：株式会社創建　GC-1.5　同等品



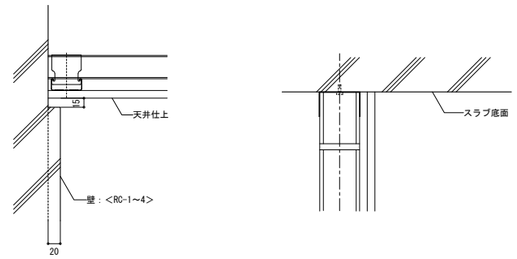
内０４　各RC面とボードの取り合い

A1:1/5
A3:1/10

特記事項
各居室・階段室・廊下以外は、底目地しない
間仕切り壁の両側にスリットがある場合は、端部でのボード
留めの為、スタッドは、ダブルで入れること



壁部　詳細図



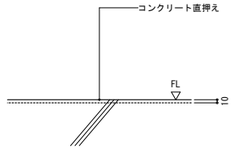
壁・天井取り合い　詳細図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部1）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-212

内０５　床　リスト

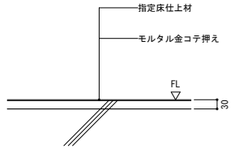
凡例：<FL-1-*>　A1:1/10 A3:1/20

-A　防塵塗料



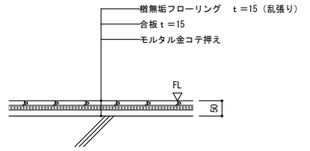
凡例：<FL-2-*>　A1:1/10 A3:1/20

-A　ビニル床タイル　t＝3.0
-B　ビニル床タイル（木目）　t＝3.0
-C　ビニル床シート　t＝2.0
-D　ビニル床シート　t＝2.0（消臭・抗菌・防滑仕様）
-E　衝撃吸収塩ビシート　t＝4.0
-F　防塵塗料
-G　指定仕上なし
-H　TC　t＝7.8

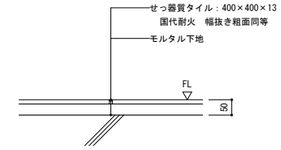


凡例：<FL-3>　A1:1/10 A3:1/20

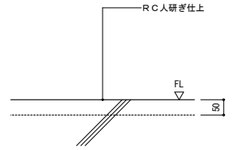
特記事項
フローリング及び合板については、釘・接着剤併用とする。



凡例：<FL-4>　A1:1/10 A3:1/20

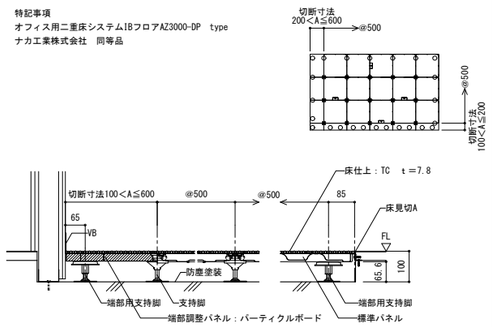


凡例：<FL-5>　A1:1/10 A3:1/20



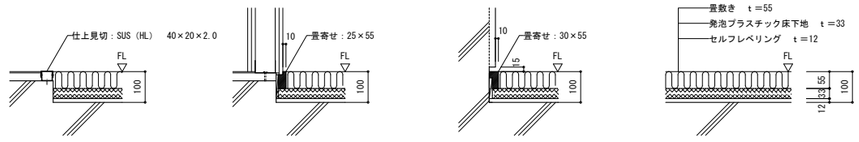
凡例：<FL-6>　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
オフィス用二重床システムIBフロアAZ3000-DP　type
ナカエ工業株式会社　同等品



凡例：<FL-7>　A1:1/10 A3:1/20

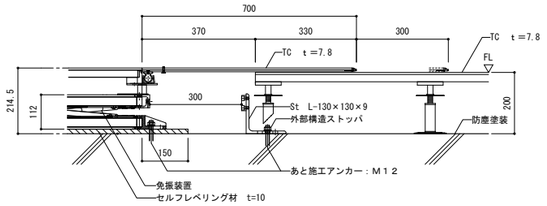
特記事項
・発泡プラスチック床下地：油化三昌建材株式会社　ネダフォーム同等品



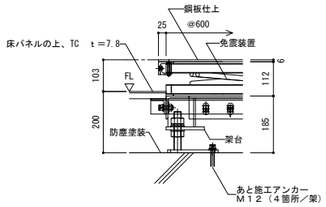
凡例：<FL-8>　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
THK株式会社　同等品
※免振床・架台の配置及び可動範囲については、平面詳細図による。

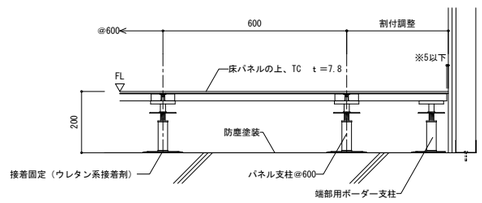
免震装置特記仕様
免震装置は社団法人電子情報技術産業協会ＪＥＩＴＡ　ＩＴ－１００４Ｂ「情報システムに簡易免震装置を選定するにあたって考慮するべき事項」の項目を全て満たした機器であること
・最大許容変位を超えても上下が分離しないものを選定し、スラブ・免震装置・サーバーラックは全て固定可能であること。ワイヤーやベルトでの固定は不可とする。
・支承部は押込方向と同等の引抜荷重を構造上受けることが可能であること
・設置階・搭載質量等条件に合わせ免震周期や減衰力のチューニングが可能であること。
・減衰力・復元力を有すること。
・回転方向の変位を拘束しており偏心荷重に対しても性能に影響を与えない構造であること
・ウィスカ対策が施されていること（指令センター機械室のみ）
・免震装置の最大応答変位内に収まり、且つ応答加速度が２５０ｇａｌ以下と証明する時刻歴応答解析報告書を提出すること。免震装置への入力波は免震装置設置階の床応答波とし、
入力地震波は標準三波（Ｅｌ　Ｃｅｎｔｒｏ　ＮＳ、Ｔａｆｔ　ＥＷ、Ｈａｃｈｉｎｏｈｅ　ＮＳ）を５０ｋｉｎｅに基準化した波形及び
告示波（極稀）の神戸位相（兵庫県南部地震　ＪＭＡ　Ｋｏｂｅ　ＮＳ）の４波とする。入力方向は建物本体の短辺方向及び長辺方向とする。
・指令センター機械室と指令センターに使用する免震装置は同等性能品であること



指令センター免振装置　詳細図

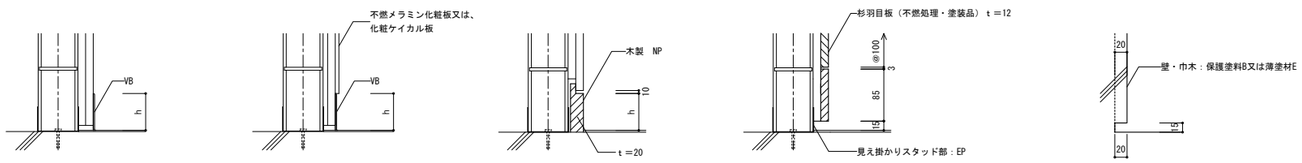


指令センター機械室免振装置　詳細図

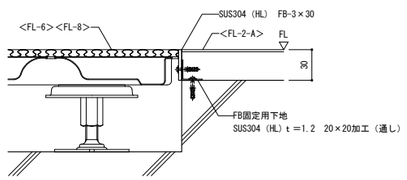


免振装置取合い床組　詳細図

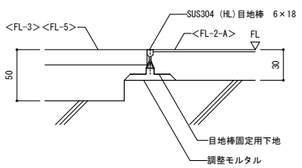
内０６　巾木　詳細図　A1:1/5 A3:1/10



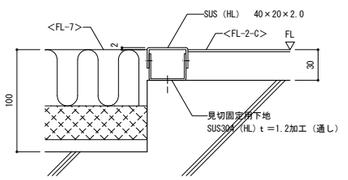
内０７　床見切A　詳細図　A1:1/3 A3:1/6



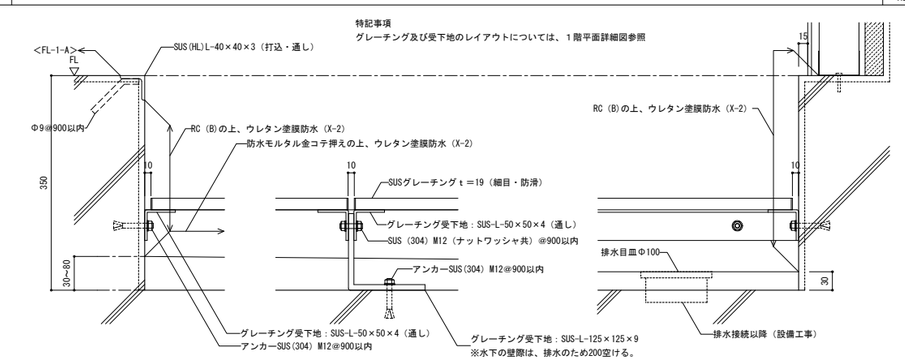
内０８　床見切B　詳細図　A1:1/3 A3:1/6



内０９　床見切C　詳細図　A1:1/3 A3:1/6



内１０　グレーチング敷き　詳細図　A1:1/5 A3:1/10

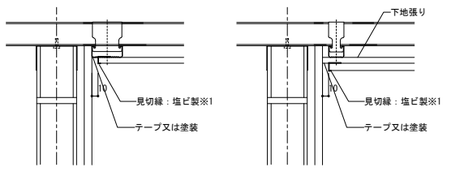


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部2）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：各記 A3：各記	A-213

内１１　天井見切　詳細図　A1:1/5 A3:1/10

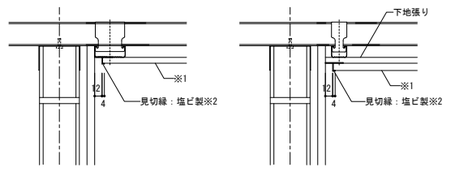
仕上表（見切り棚）に表記がない場合　(3-11-5、-6)

特記事項
※1：TSC-9、TSC-12（㈱創建同等品）



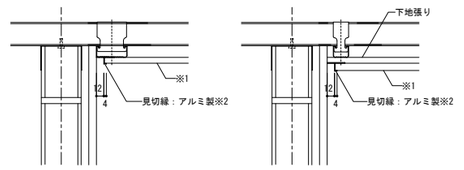
仕上表（見切り棚）に塩ビ製の表記がある場合　(3-11-7、-8)

特記事項
※1：天井仕上が、DRまたはGB-NC(T)の場合による
※2：TVC-9、TVC-12（㈱創建同等品）



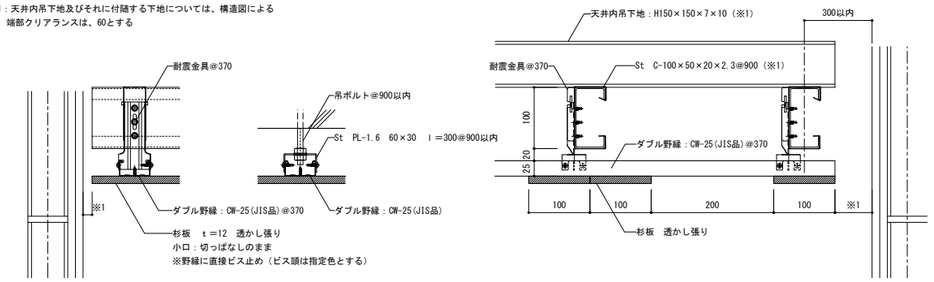
仕上表（見切り棚）にアルミの表記がある場合　(3-11-11、-12)

特記事項
※1：天井仕上が、DRまたはGB-NC(T)以外の場合による
※2：ATV-1209、ATV-1212（㈱創建同等品）



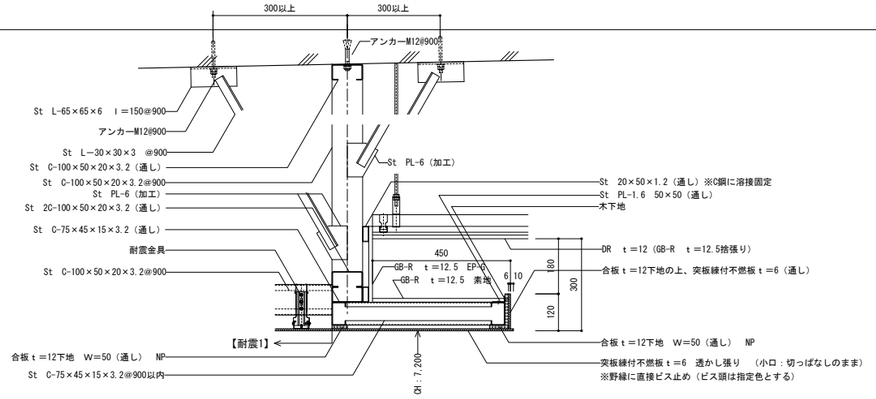
内１２　耐震天井【耐震1】詳細図　（杉板　透かし張り）　A1:1/5 A3:1/10

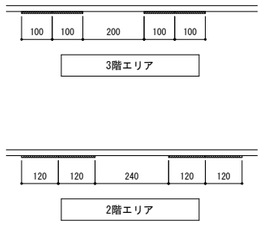
特記事項
・躯体天井（水平度1.0）　森村金属株式会社　J-M金具同等品
・天井割付によって壁際等のクリアランス寸法が変化するため、必ず天井割付図を作成し、監督員の協議の上、承諾を得る
・天井内、見え掛かり鉄部：EP-G（色調は監督員の指示による）
・天井開口率は、50%以上とする
※1：天井内吊下地及びそれに付随する下地については、構造図による
　端部クリアランスは、60とする



内１３　天井　突板練付不燃板　透かし張り　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

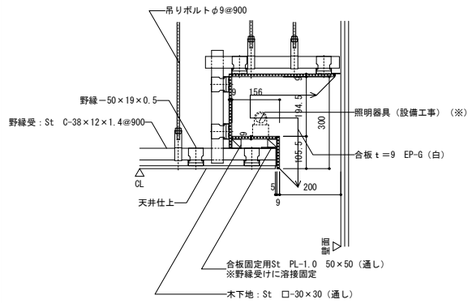
特記事項
・天井内、見え掛かり鉄部
　EP-G（色調は監督員の指示による）
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、
　埋込深さは11d以上とする



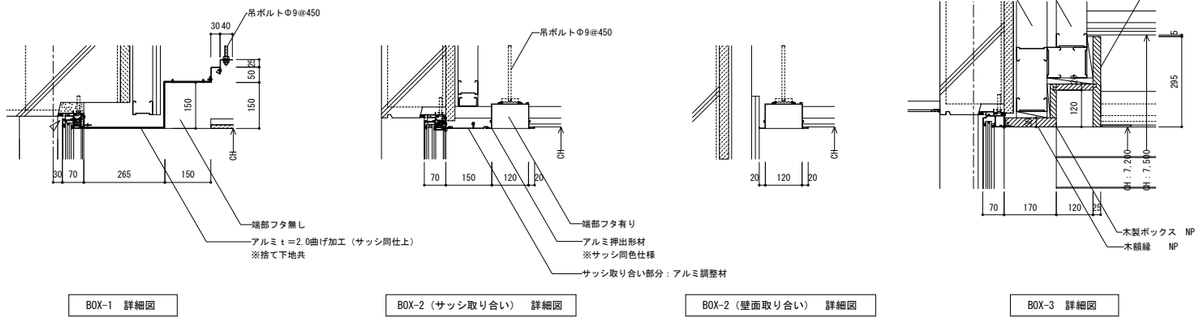


内１４　天井間接照明詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
※各便所内にて壁タイル仕上部分については、照明器具を上向きに取りつける



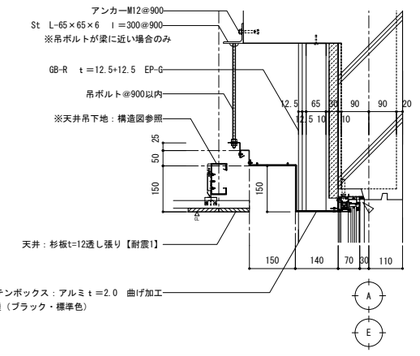
内１５　ブラインドボックス　詳細図１　A1:1/10 A3:1/20

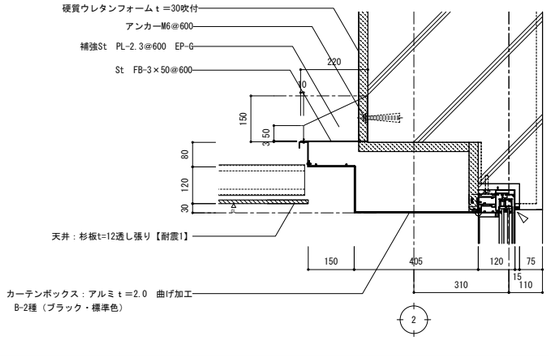


BOX-1　詳細図　／　BOX-2（サッシ取り合い）　詳細図　／　BOX-2（壁面取り合い）　詳細図　／　BOX-3　詳細図

内１６　ブラインドボックス　詳細図２　A1:1/10 A3:1/20

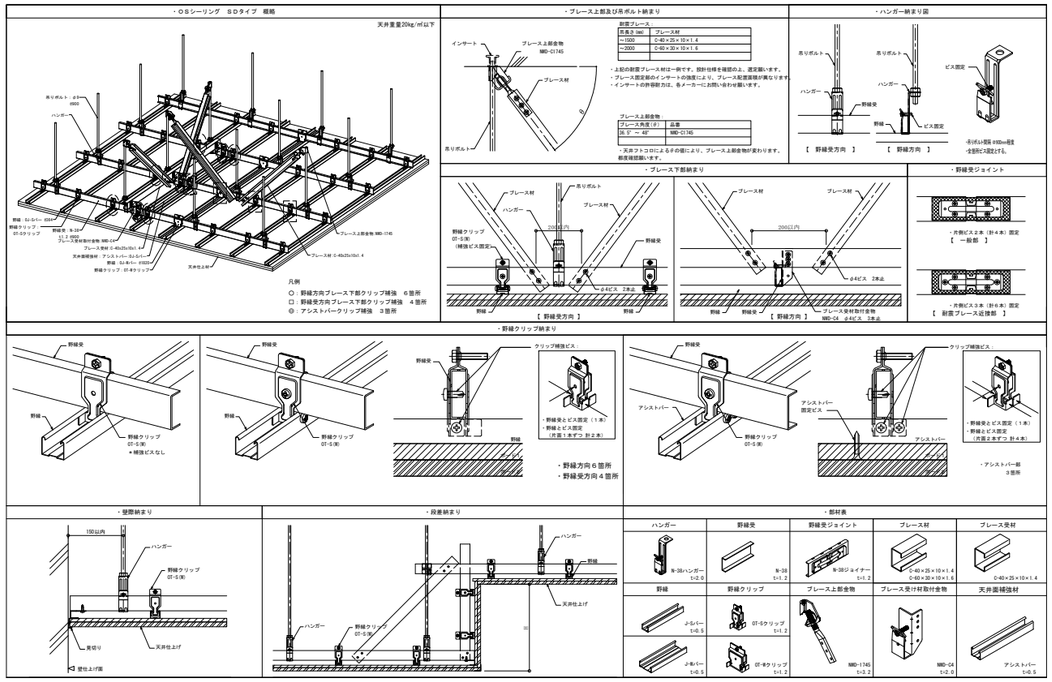
特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし
　埋込深さは11d以上とする





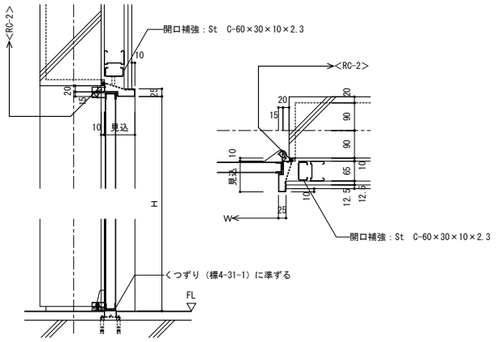
内１７　耐震天井【耐震2】　参考詳細図　A1:NON A3:NON

特記事項
・株式会社オクジュー　OSシーリング　SDタイプ（※）同等品
　※SDタイプ：（19形）簾間なし仕様・天井重量　20kg/㎡以下
・告示第771号の対応外
・必ず天井割付図を作成し、監督員の協議の上、承諾を得る

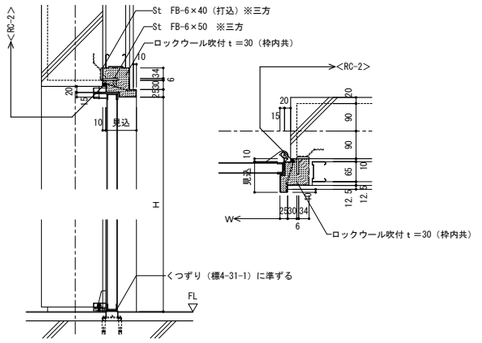


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部3）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-214

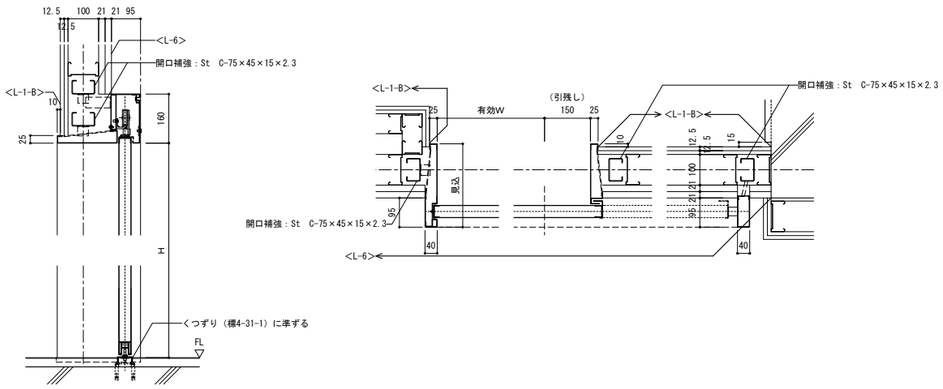
内１８　鋼製開き扉枠　詳細図　SD 4　A1:1/10 A3:1/20



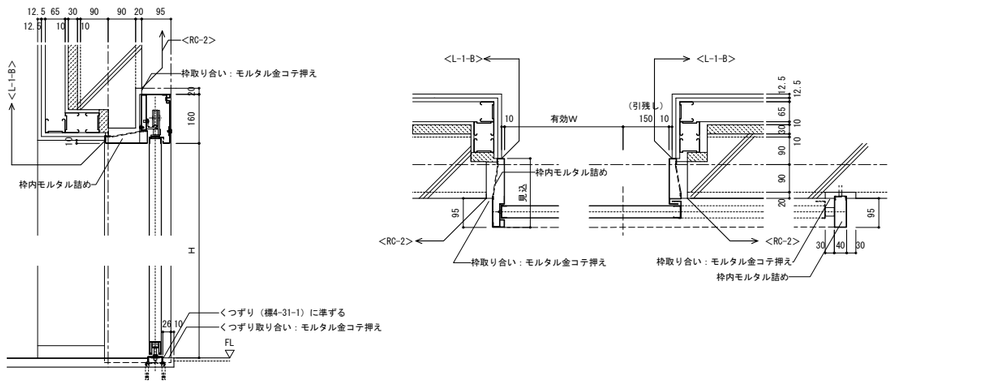
内１９　鋼製開き扉枠　詳細図　SD 5　A1:1/10 A3:1/20



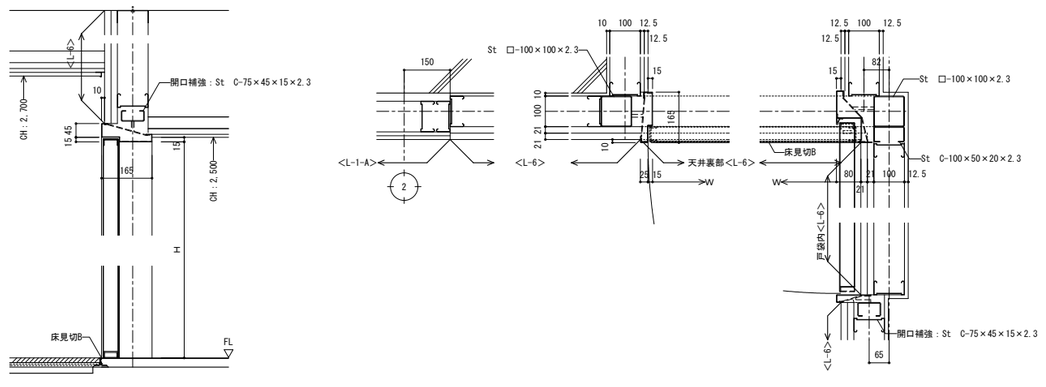
内２０　鋼製片引き戸枠（特定防火設備）　詳細図　SD 8　A1:1/10 A3:1/20



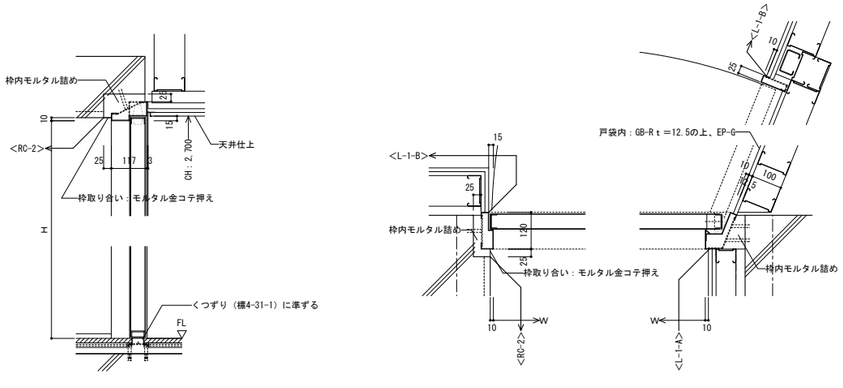
内２１　鋼製片引き戸枠（特定防火設備）　詳細図　SD 8A　A1:1/10 A3:1/20



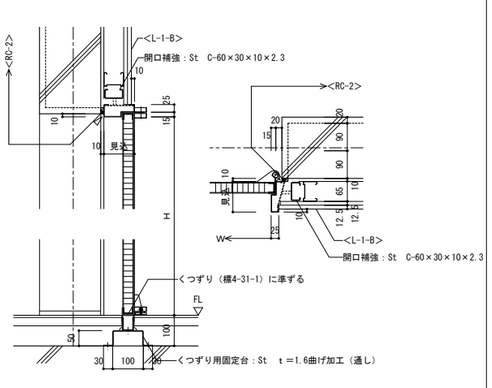
内２２　鋼製防火扉枠　詳細図　SD 10A　A1:1/10 A3:1/20



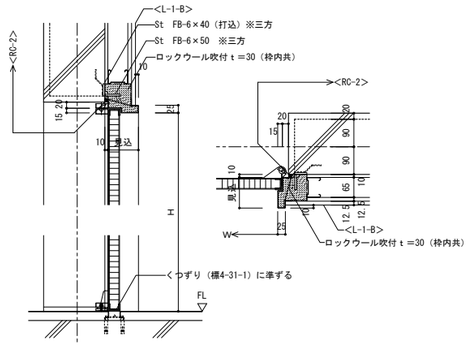
内２３　鋼製防火扉枠　詳細図　SD 11　A1:1/10 A3:1/20



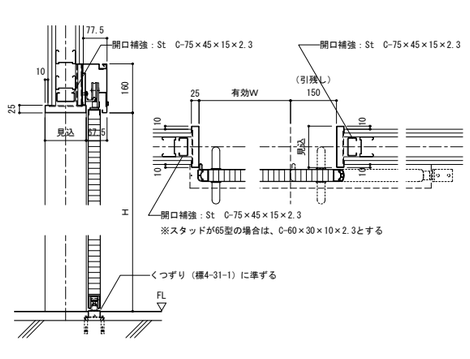
内２４　軽量鋼製開き扉枠　詳細図　LD 9　A1:1/10 A3:1/20



内２５　軽量鋼製開き扉枠　詳細図　LD 10　LD 13　A1:1/10 A3:1/20

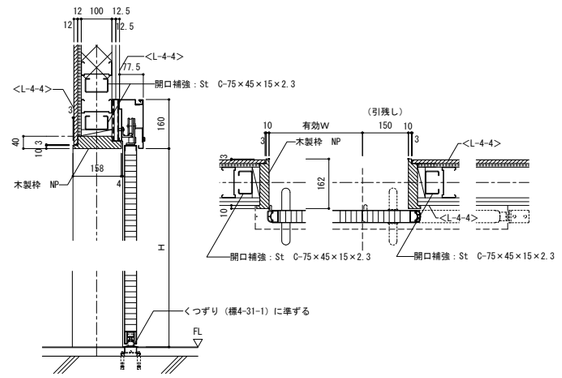


内２６　軽量鋼製片引き扉枠（戸袋無し）　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

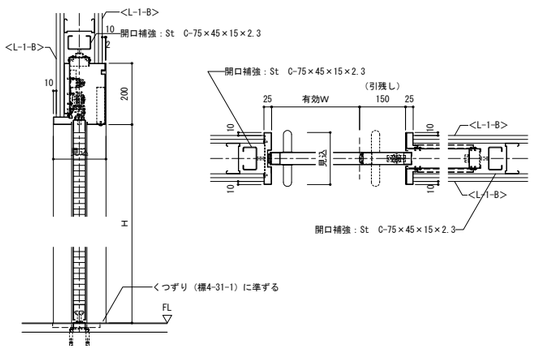


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部4）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-215

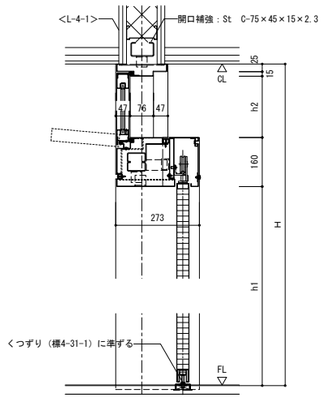
内２７　軽量鋼製片引き扉枠（木製枠・戸袋無し）　詳細図　LD 3A　A1:1/10 A3:1/20



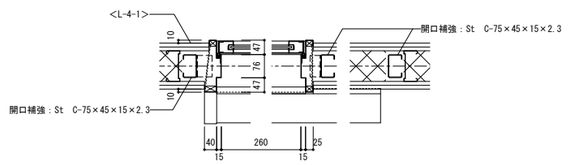
内２８　軽量鋼製片引き扉枠（間仕切り内納まり）　詳細図　LD 5　A1:1/10 A3:1/20



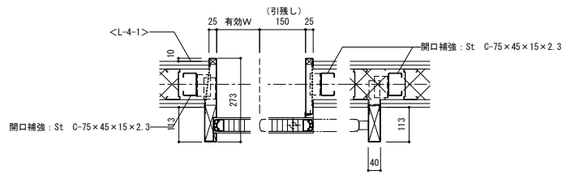
内２９　軽量鋼製片引き扉枠（間仕切り内納まり）　詳細図　LD 18　A1:1/10 A3:1/20



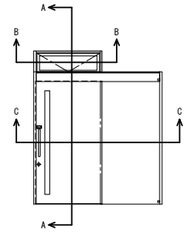
A-A　詳細図



B-B　詳細図

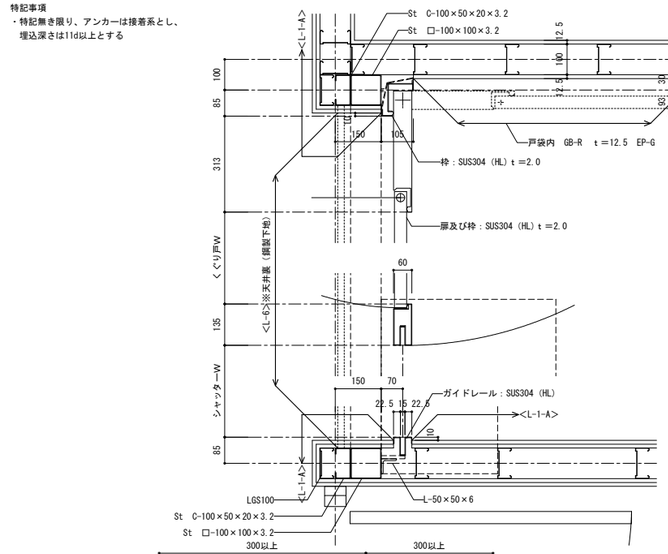


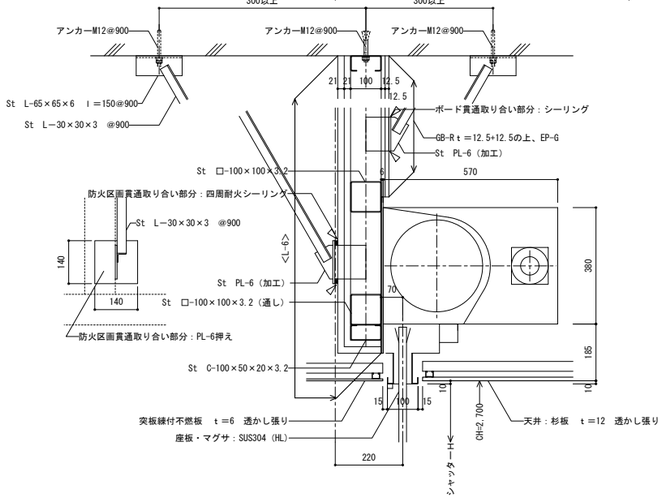
C-C　詳細図

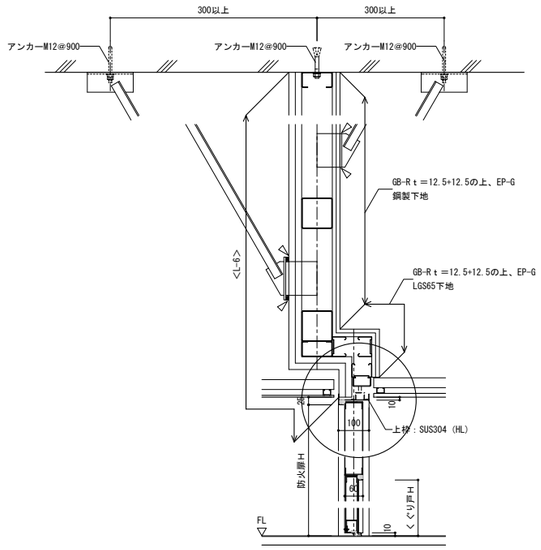


内３０　重量　ポストレスシャッター（袖扉付）　詳細図　SS 1　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、
　埋込深さは11d以上とする



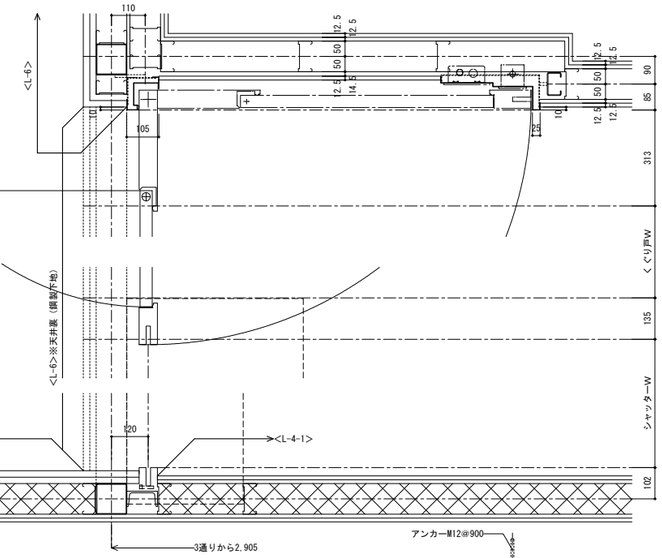


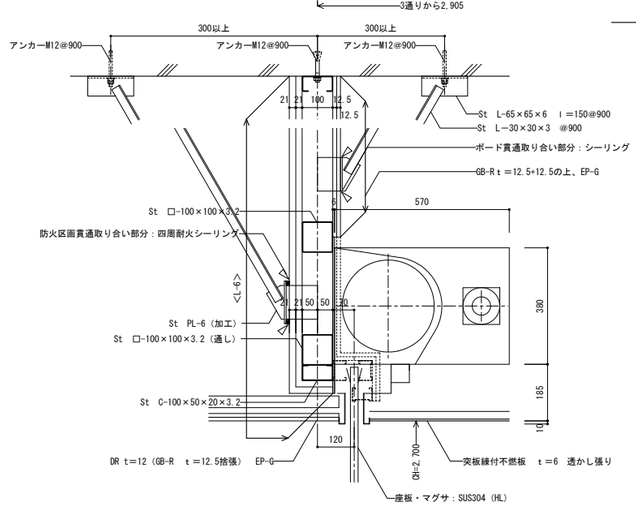


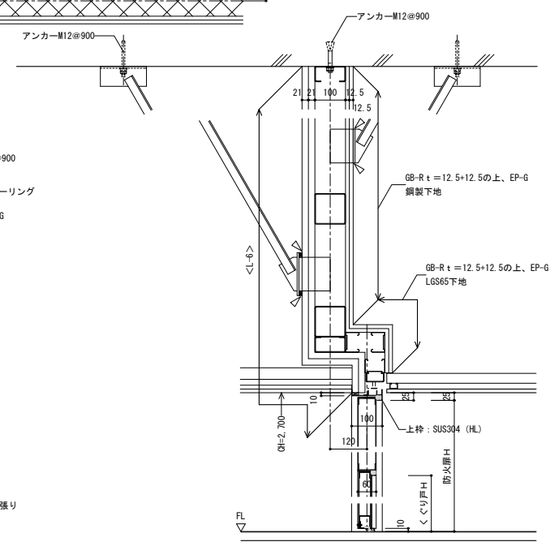
内３１　重量　ポストレスシャッター（袖扉付）　SS 2　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、
　埋込深さは11d以上とする

・特記無き限り、二次下地部材は、
　左図の仕様に準ずる







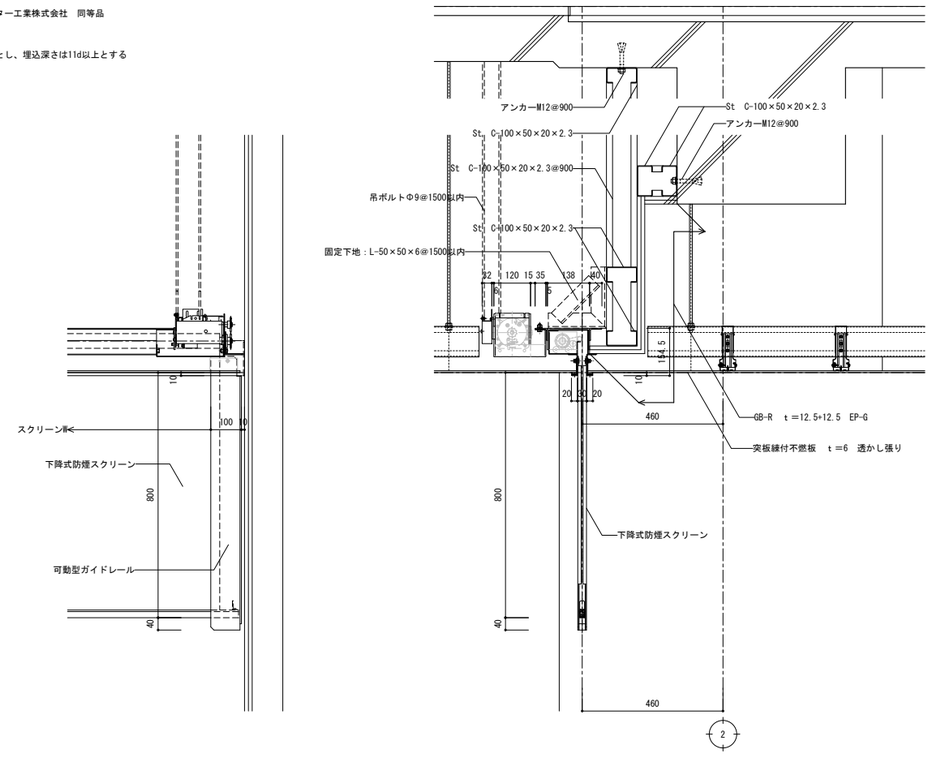
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部5）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-216

内３２　可動防煙スクリーン　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
防煙スクリーン（BSM4）三和シャッター工業株式会社　同等品

・天井内下地鉄部：Zn
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする

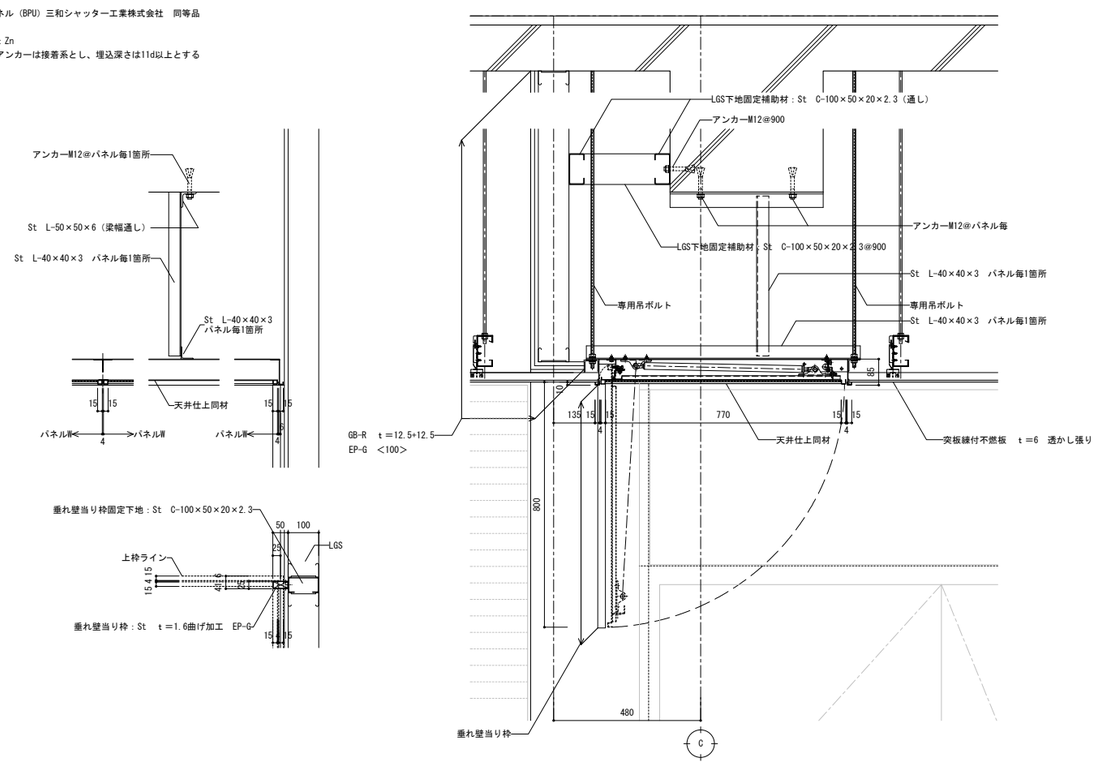


内３３　可動防煙パネル　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
スチール製防煙パネル（BPU）三和シャッター工業株式会社　同等品

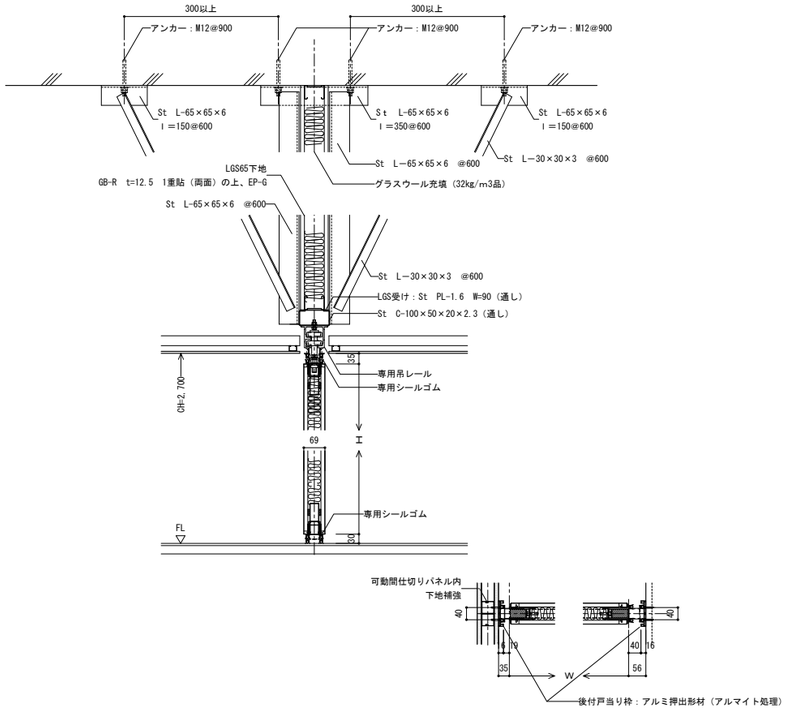
・天井内下地鉄部：Zn
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



内３４　移動間仕切り　吊下地詳細図

A1:1/10
A3:1/20

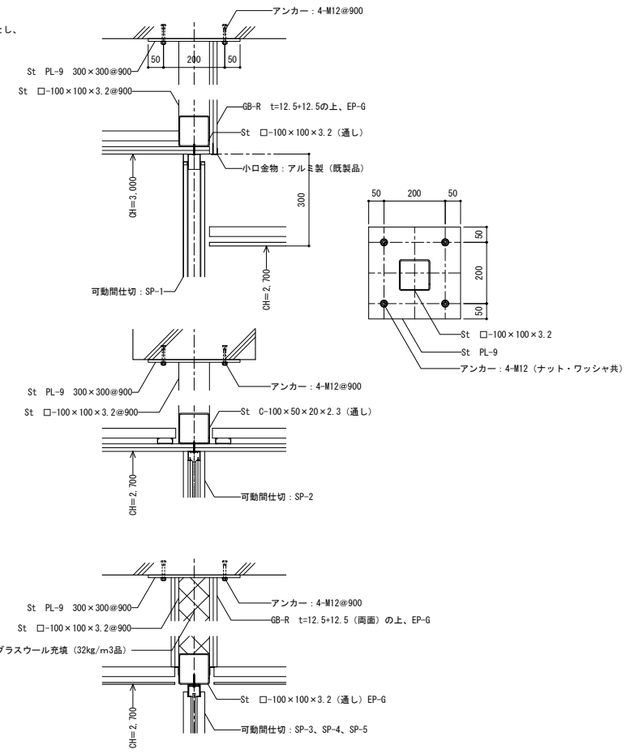
特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする
・上部スラブ面への下地固定については、スラブ勾配及び梁位置によって、取付位置が変わるものとする
・天井内、見え掛かり鉄部は、下地調整の上、EP-Gとする



内３５　建具（可動間仕切）　頭繋ぎ材　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

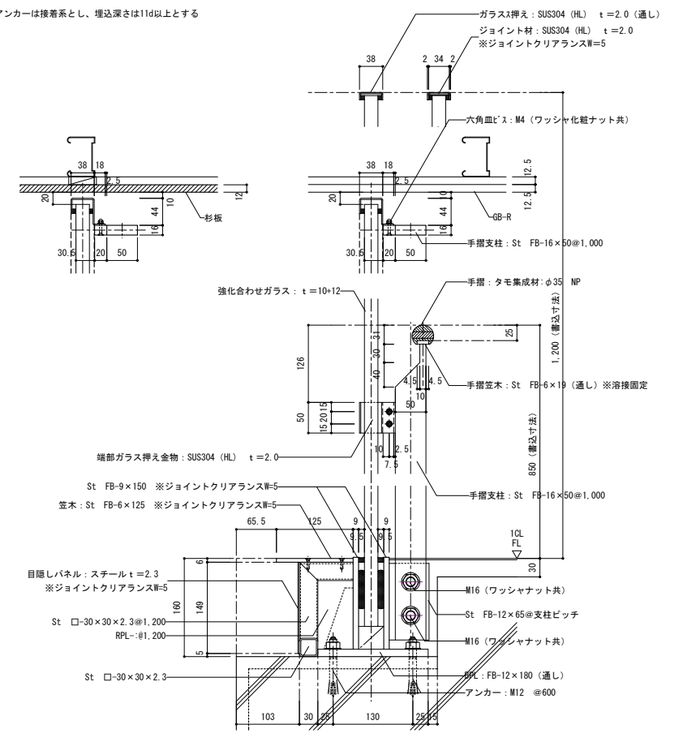
特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、
　埋込深さは11d以上とする



内３６　ガラス手摺　詳細図

A1:1/5
A3:1/10

特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする

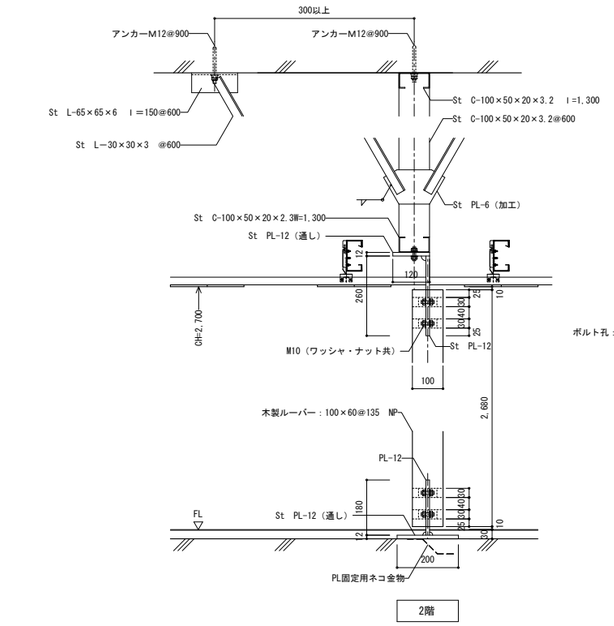


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部6）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1：各記 A3：各記	図面番号：A-217

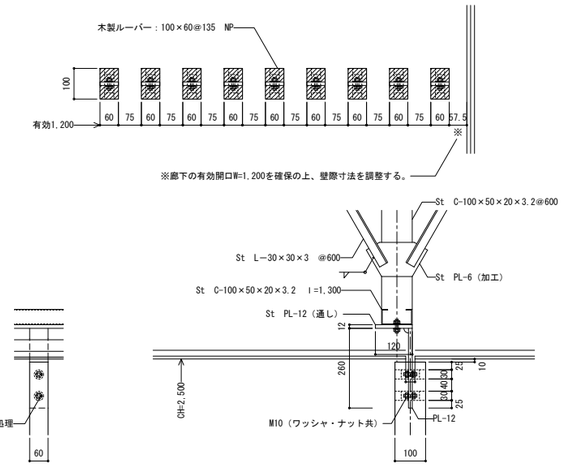
内３７　木ルーバー　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・上部スラブ面への下地固定については、スラブ勾配及び梁位置によって、取付位置が変わるものとする
・２階天井内外、見え掛かり鉄部は、下地調整の上、EP-Gとする
・３階天井内、見え掛かり鉄部は、錆止めまでとし、それ以外の見え掛かり鉄部は、EP-Gとする
・木ルーバーは、ナラ集成材とする
・耐震天井の吊下地は、構造図による
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



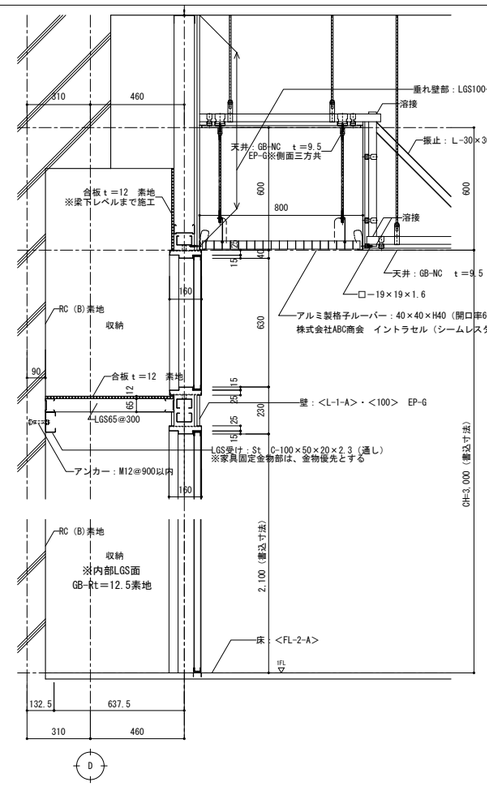
2階

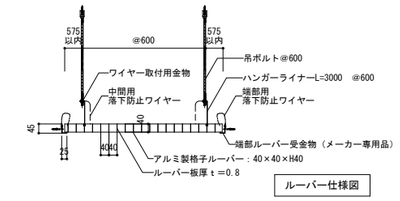


3階

内３８　壁面収納　詳細図

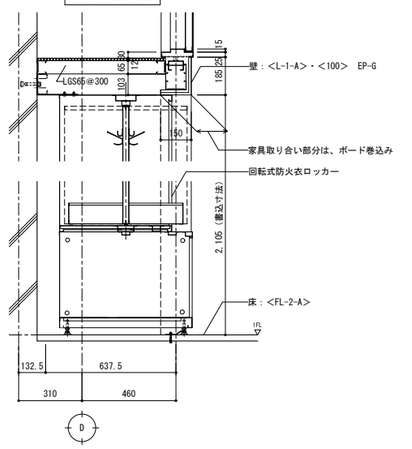
A1:1/15
A3:1/30





ルーバー仕様図

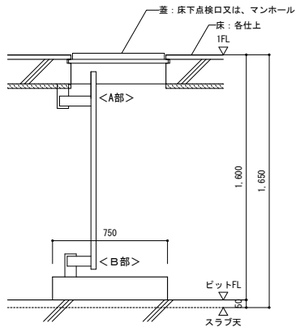
上部は左図共通



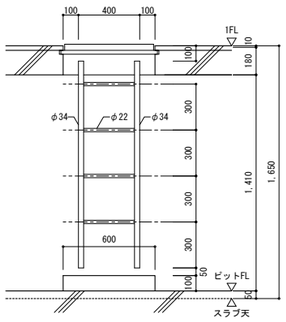
内３９　ピット内及びタラップ　詳細図

A1:1/各記
A3:1/各記

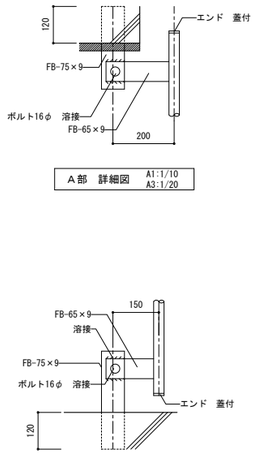
特記事項
・材質は全てステンレスとする
・消火水槽のFLは、1FL-1,650



断面詳細図　A1:1/20 A3:1/40

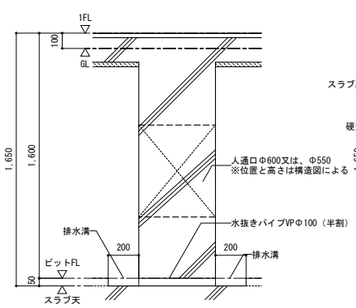


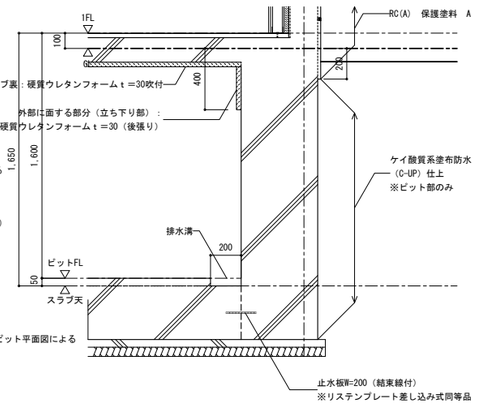
正面図　A1:1/20 A3:1/40

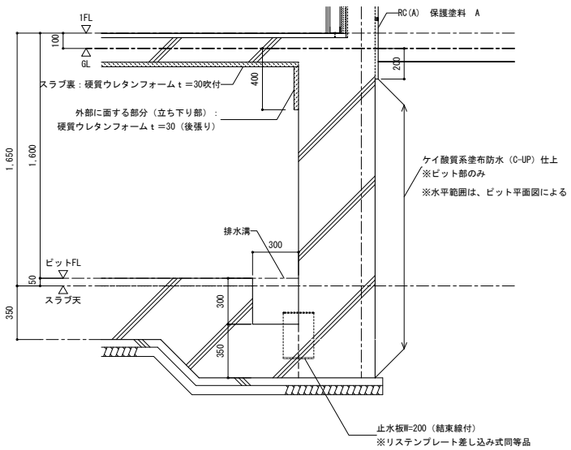


A部　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

B部　詳細図　A1:1/10 A3:1/20







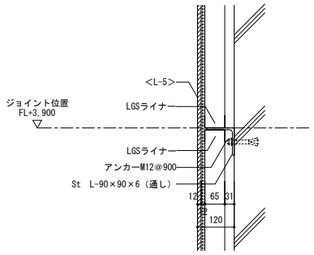
ピット周り　詳細図　A1:1/20 A3:1/40

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部7）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:各記 A3:各記	A-218

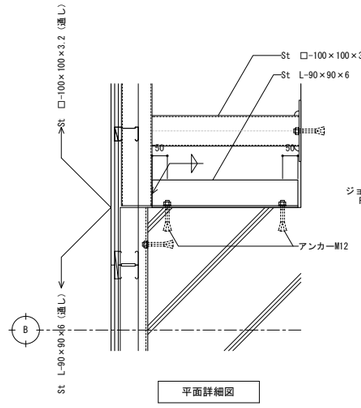
内４０　壁下地中間ジョイント部　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

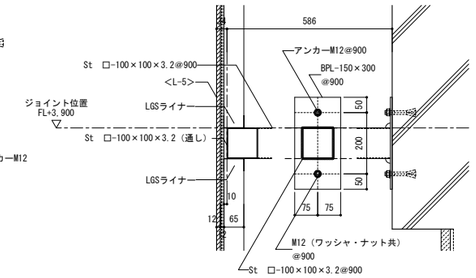
特記事項
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d以上とする



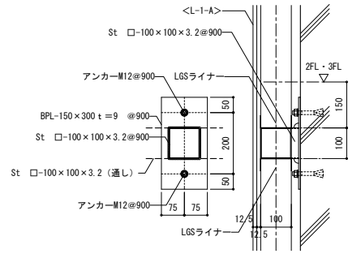
断面詳細図



平面詳細図



断面詳細図



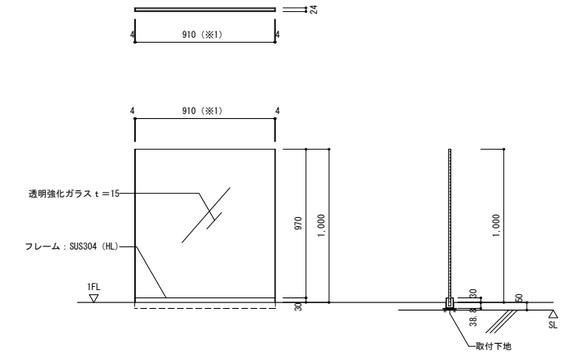
断面詳細図

エントランスホール

内４１　自動扉ガード（既製品）詳細図

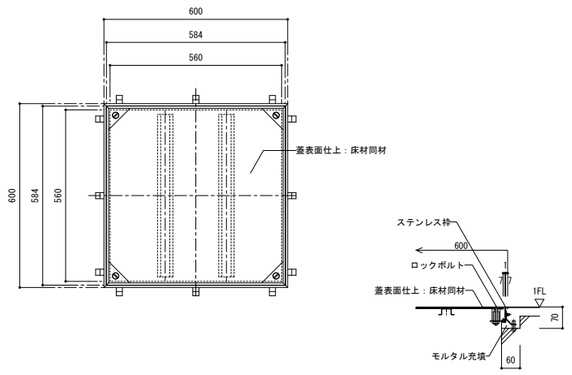
A1:1/20
A3:1/40

特記事項
フィックスサイドガードZero-S（露出仕様）　フルテック株式会社同等品
※1：600≦W≦1500



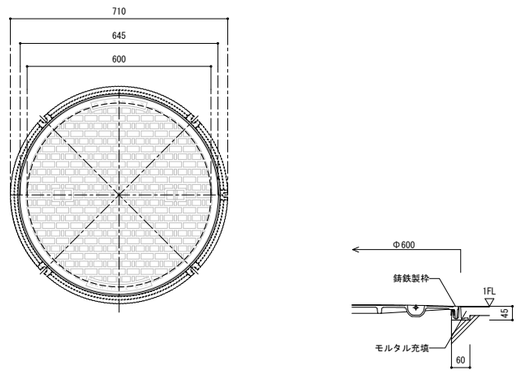
内４２　床下点検口（SUS製枠・防水・防臭型）　詳細図

A1:1/10
A3:1/20



内４３　マンホール（防水・防臭型）　詳細図

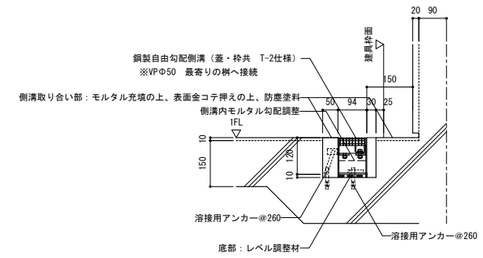
A1:1/10
A3:1/20



内４４　鋼製自由勾配側溝　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

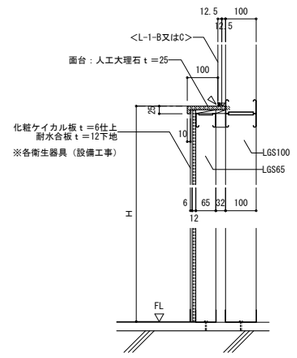
特記事項
株式会社中部コーポレーション同等品



内４５　ライニング　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

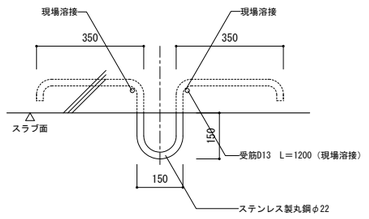
特記事項
ライニング高さについては、各展開図の寸法による



内４６　２ｔフック　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

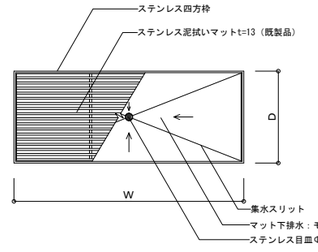
特記事項
・設置位置については、監督員と協議の上、決定する。
・フックのセット位置は、鉄筋の必要かぶりを確保の上、決定する。



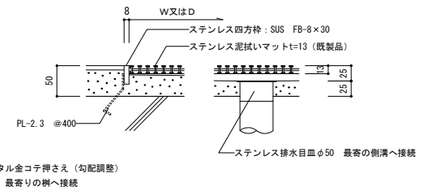
内４７　ステンレス泥拭いマット　詳細図

A1：各記
A3：各記

特記事項
ステンレス泥拭いマット：2,400×600



マット平面図　A1:NON　A3:NON



詳細図　A1:1/5　A3:1/10

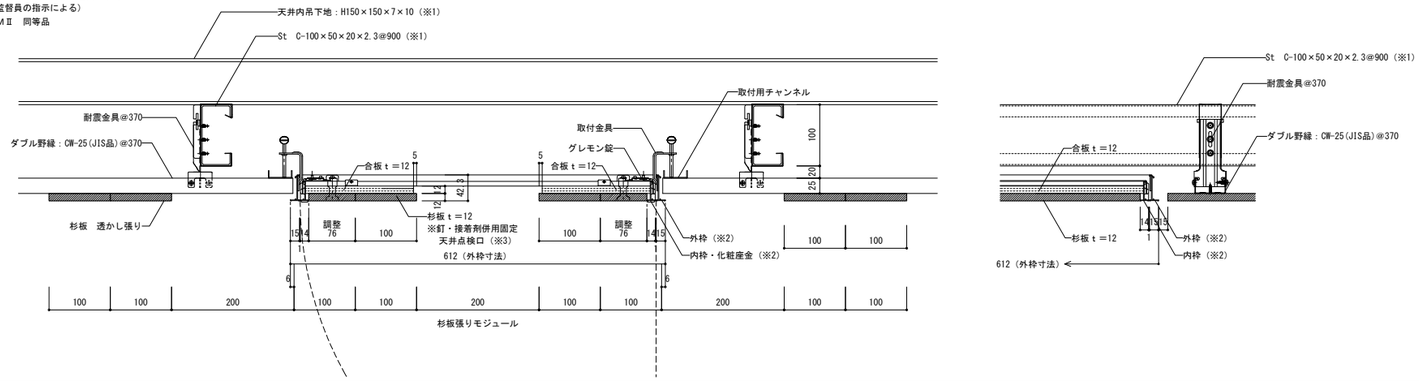
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部8）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-219

内４８　天井点検口（耐震天井【耐震1】杉板　透かし張り部）　詳細図

A1:1/5
A3:1/10

特記事項
・躯体天井（水平震度1.0）　森村金属㈱　J-M金具同等品
・天井割付によって壁際等のクリアランス寸法が変化するため、必ず天井割付図を作成し、監督員と協議の上、承諾を得る
・天井内、見え掛かり鉄部及び点検口取り合い金物：EP-G（色調は監督員の指示による）
・天井開口率は、50%以上とする
・天井点検口の設置については、右図を参照の上、決めること
　また天井割付図に位置を落とし込み、監督員と協議の上、承諾を得る

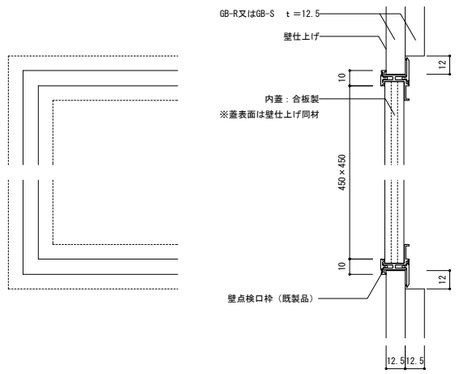
※1：天井内吊下地及びそれに付随する下地については、構造図による
※2：天井点検口外枠・内枠：特注色（監督員の指示による）
※3：ナカエ工業株式会社　ハイハッチMMⅡ　同等品



内４９　壁点検口　詳細図

A1:1/2
A3:1/4

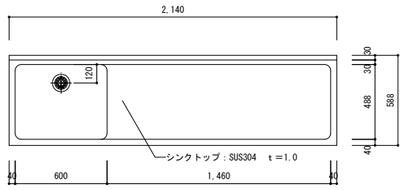
特記事項
・壁点検口枠W-10　フクビ化学工業株式会社　同等品
・取付位置は、各展開図による

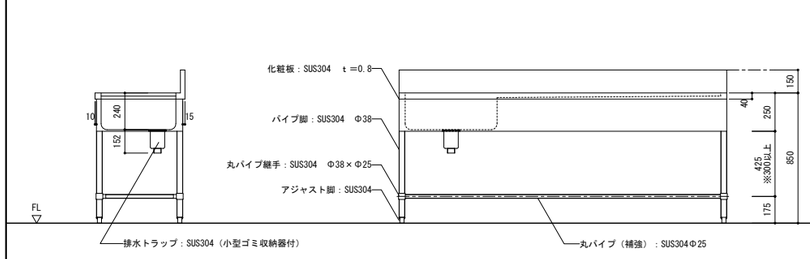


内５０　一槽右水切り付シンク　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
ホーコス株式会社　同等品
仕様
1. 材質：SUS304
2. 仕上：HL(シンクトップ・化粧板)
3. オーバーフロー無し
4. 丸パイプ補強：3辺補強（正面無し）
5. すのこ：無し
6. 排水トラップ目皿SUS製
7. 接続配管：塩ビパイプ（アダプターのみ付属）
8. ジャバラホース（塩ビ）：無し
9. 給排水設備（機器及び接続共）：設備工事

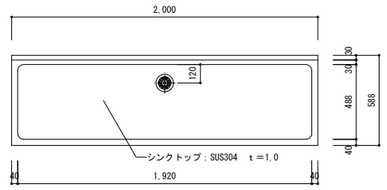


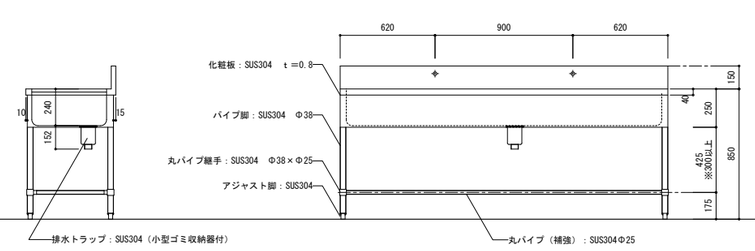


内５１　手洗い（一槽シンク）　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
ホーコス株式会社　同等品
仕様
1. 材質：SUS304
2. 仕上：HL(シンクトップ・化粧板)
3. オーバーフロー無し
4. 丸パイプ補強：3辺補強（正面無し）
5. すのこ：無し
6. 排水トラップ目皿SUS製
7. 接続配管：塩ビパイプ（アダプターのみ付属）
8. ジャバラホース（塩ビ）：無し
9. 給排水設備（機器及び接続共）：設備工事

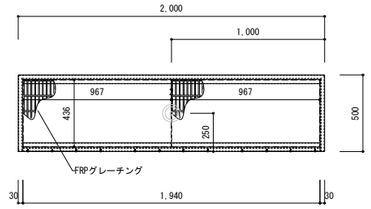


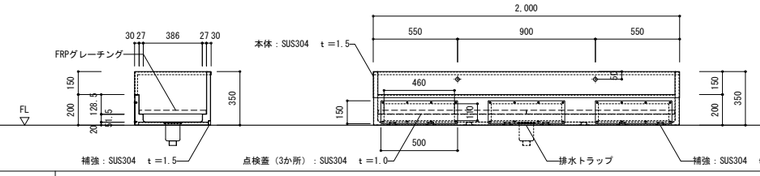


内５２　足洗いパン　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
ホーコス株式会社　同等品
給排水設備（機器及び接続共）：設備工事

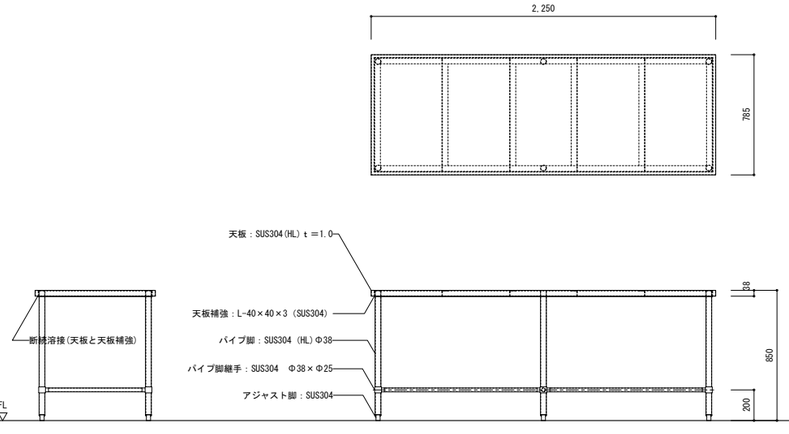




内５３　作業台　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

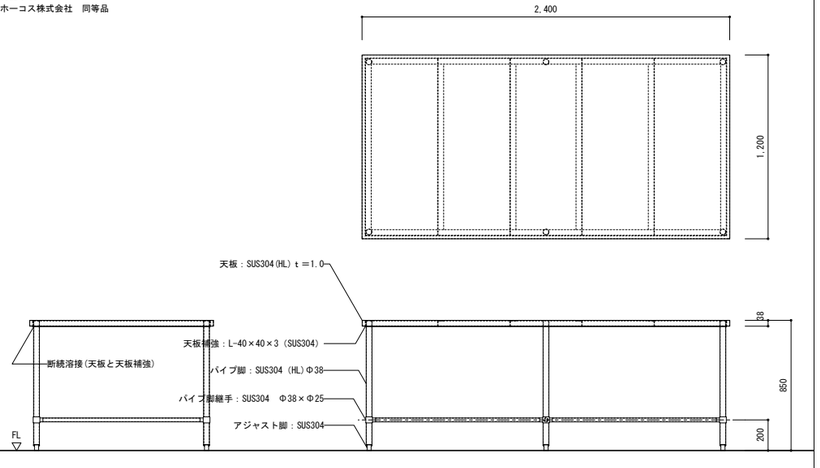
特記事項
ホーコス株式会社　同等品



内５４　作業台　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

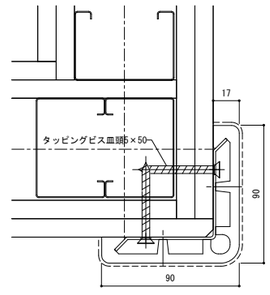
特記事項
ホーコス株式会社　同等品

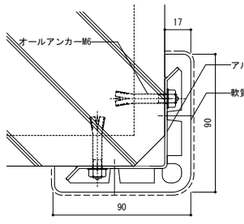


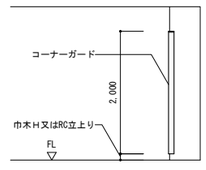
内５５　コーナーガード　詳細図

A1:1/2
A3:1/4

特記事項
・ナカエ工業株式会社　NPC90-90タイプ同等品
・車庫棟及び訓練棟も同様のディテールとする
　※下地取付に際して、必要に応じて両面テープ併用とする
　※ALC面への取付については、ALC用アンカーを使用し、必要に応じて接着剤併用とする
　※コーナーガード最上部エンドキャップ付き







工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部9）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:各記 A3:各記	図面番号：A-220

■サインリスト

凡例	番号	サイン名称	取付	合計	外部	1階	2階	3階	車庫棟	訓練棟	備　考
	EX 01	壁面 施設名称-1（南外壁） (記)	［壁付］	1	1	-	-	-	-	-	*外壁 3階レベル
	EX 02	壁面 施設名称-2（建物入口） (記)	［壁付］	1	1	-	-	-	-	-	
	EX 03	防火水槽標識	［自立］	2	2	-	-	-	-	-	
	EX 04	外部自立 施設名称サイン-1 (記)	［自立］	1	1	-	-	-	-	-	
	EX 05	外部自立 施設名称サイン-2 (記)	［自立］	1	1	-	-	-	-	-	
	EX 06	駐車場サイン-1（来庁者）	［路面ペイント］	11	11	-	-	-	-	-	
	EX 07	駐車場サイン-2（公用車）	［路面ペイント］	8	8	-	-	-	-	-	
	EX 08	駐車場サイン-3（車椅子・インターホン）	［自立］	2	2	-	-	-	-	-	
	EX 09	駐輪場サイン	［自立］	1	1	-	-	-	-	-	
	IN 01	フロア案内★A	［壁付］	3	-	1	1	1	-	-	
	IN 02	階数表示★A	［壁付］	2	-	1	1	-	-	-	*1～2F，2～3F 各1カ所
	IN 03	窓口サイン★B	［天吊］	8	-	-	6	2	-	-	
	IN 04	自動ドア表示	［ガラス付］	-	-	-	-	-	-	-	
●●●●●	IN 05	衝突防止サイン ［単位:m］	［ガラス付］	65	-	17	28	20	-	-	
	IN 06	EV前点字付 階数表示 (点)	［壁付］	3	-	1	1	1	-	-	
	IN 07	職員エリア 突出室名サイン	［突出］	1	-	1	-	-	-	-	
	IN 08	職員エリア 壁付室名サイン	［壁付］	16	-	12	2	2	-	-	
□	IN 09	壁付室名サイン ★A	［壁付］	9	-	3	3	3	-	-	
◪	IN 10	在空付室名サイン★A	［壁付］	4	-	-	2	2	-	-	
⊥	IN 11	突出室名サイン★A	［突出］	11	-	1	5	5	-	-	
△	IN 12	BY室名サイン	［扉付］	90	-	32	18	16	5	19	
◆	IN 13	職員エリア 仮眠室サイン	［壁付］	34	-	31	3	-	-	-	
	IN 14a	職員エリア 階数表示a	［扉付］	3	-	1	1	1	-	-	
	IN 14b	職員エリア 階数表示b（踊り場）	［壁付］	2	-	1	1	-	-	-	
	IN 15	手すり点字 (点)	［手摺付］	16	-	4	8	4	-	-	
	IN 16	多目的トイレ (点)	［壁付］	1	-	1	-	-	-	-	
	IN 17	立入禁止床サイン	［床付］	2	-	-	1	1	-	-	
	IN 18	立入禁止サイン	［扉付］	3	-	1	1	1	-	-	
	IN 19	職員エリア 標語サイン	［壁付］	1	-	1	-	-	-	-	

(記)：屋外広告物　(点)：点字サイン　★A：一般来館者に対する内部サイン（木＋柿渋塗装）　★B：一般来館者に対する 窓口サイン（木ベース+インクジェットプリント）

■書体/ピクトグラム

◆書体：たづがね角ゴシック

あいうえお　かきくけこ　さしすせそ　たちつてと　なにぬねの
はひふへほ　まみむめも　やゆよ　ん

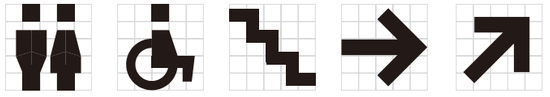
アイウエオ　カキクケコ　サシスセソ　タチツテト　ナニヌネノ
ハヒフへホ　マミムメモ　ヤユヨ　ン

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

会議室　　書庫

◆アクセントとしての数字（階数表示・窓口番号など）

◆ピクトグラム　矢印



凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様
	RC壁		オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71, **】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　サインリスト・書体・ピクト		2023/03
NEC JEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺		図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：– A3：–		A-221

階数表示 IN 02

手すり点字 IN 15 ×4

フロア案内 IN 01

EV前点字付階数表示 IN 06 ×6

職員エリア表示 IN 18

職員エリア突出室名サイン IN 07

職員エリア階数表示b IN 14b

職員エリア壁付室名 IN 08

職員エリア階数表示a IN 14a

職員エリア壁付室名 IN 08 ×2

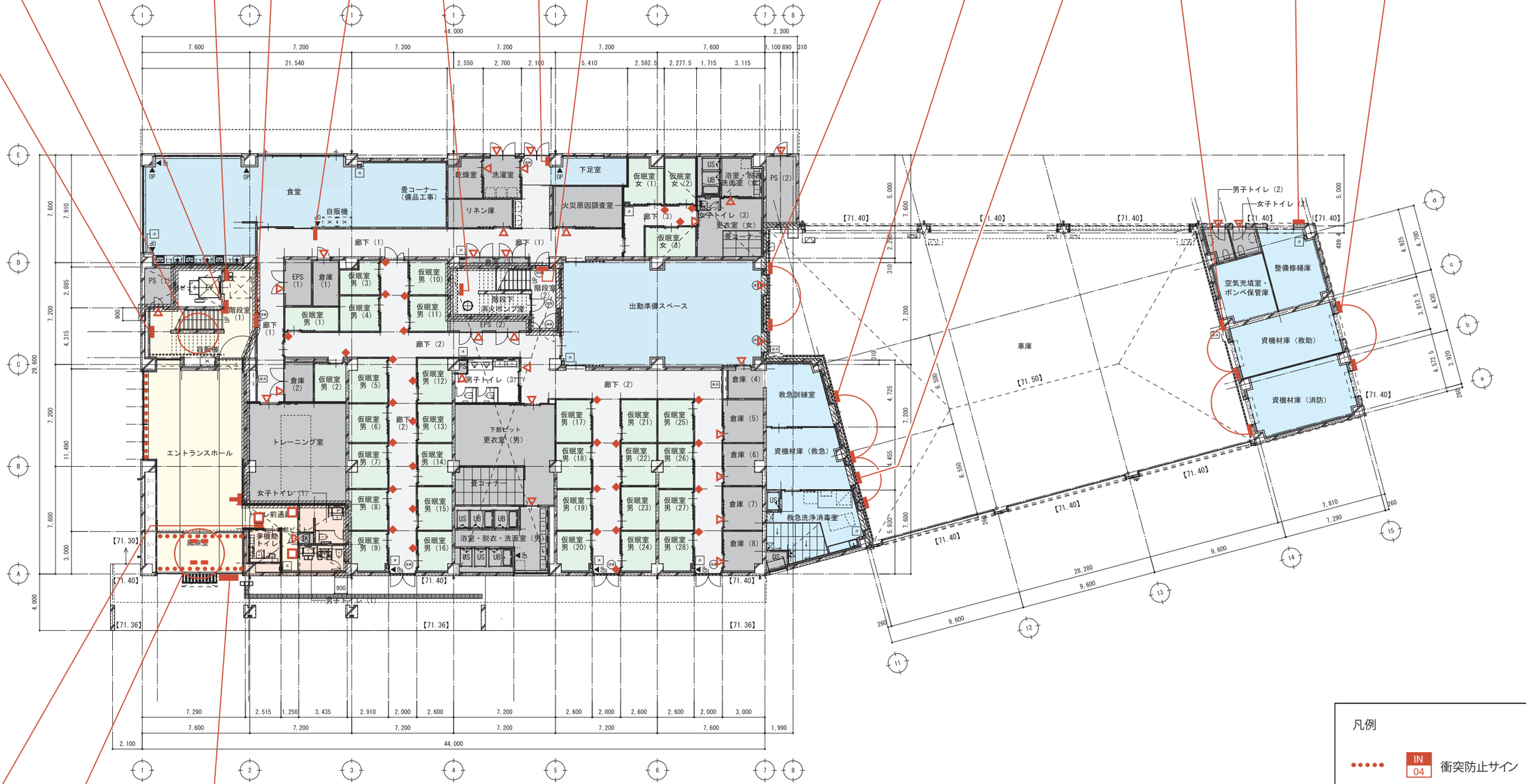
職員エリア壁付室名 IN 08 ×3

職員エリア標語サイン IN 19

職員エリア壁付室名 IN 08 ×3

職員エリア壁付室名 IN 08

職員エリア壁付室名 IN 08 ×2



多目的トイレサイン IN 16

自動扉サイン IN 05 ×4

壁面施設名称-2（建物入口） EX 02

1階平面図

1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

凡例

- IN 04 衝突防止サイン
- IN 09 壁付室名サイン
- IN 11 突出室名サイン
- IN 12 BY室名サイン
- IN 13 職員エリア 仮眠室サイン

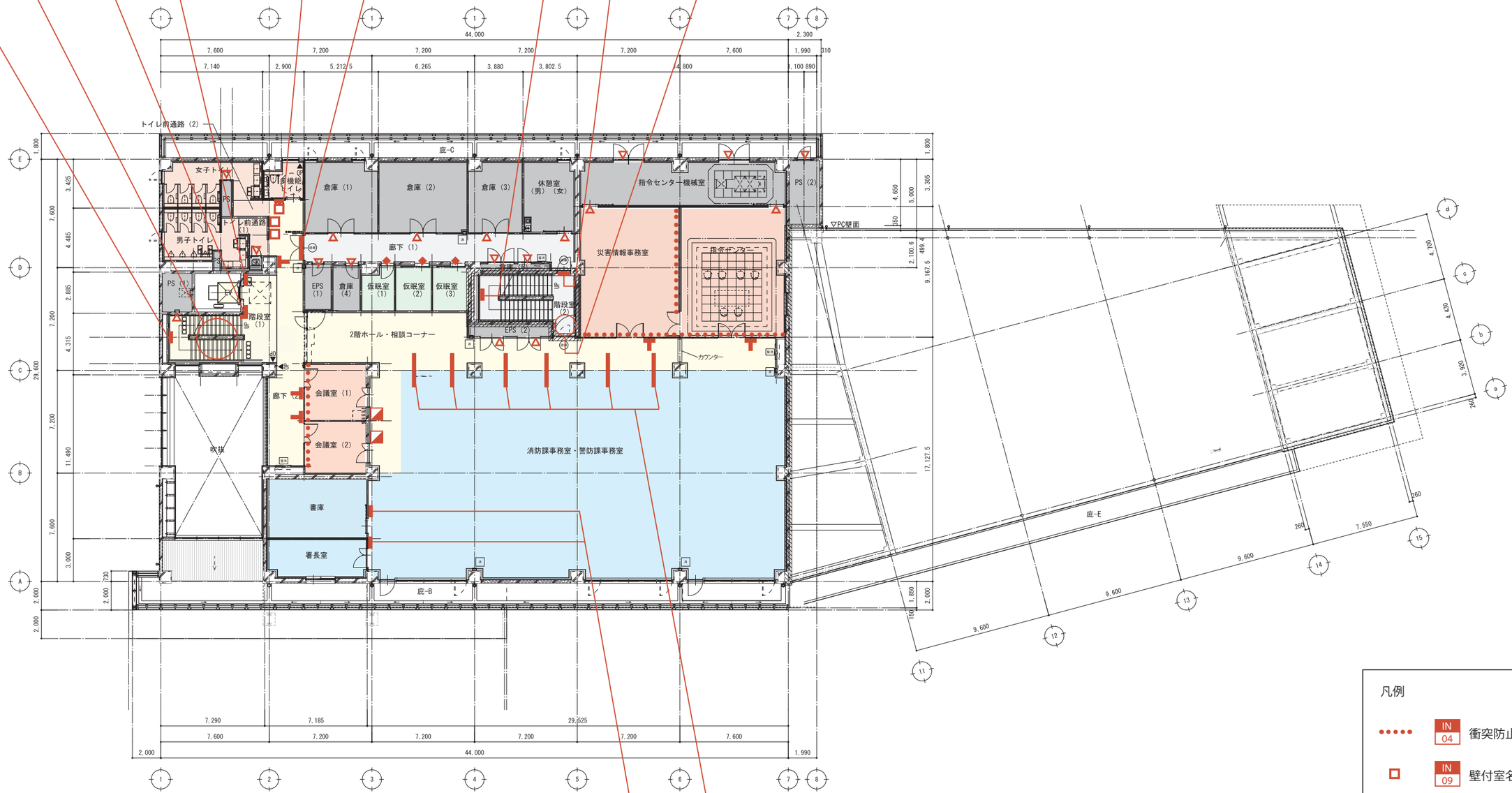
一般来館エリア
- ：通路
- ：部屋

職員専用エリア
- ：通路
- ：部屋
- ：仮眠室
- ：その他（倉庫など）

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	OP	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71.**】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 1階　サイン配置図		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：1/150 A3：1/300	図面番号 A-222

階数表示 IN 02
手すり点字 IN 15 ×8
フロア案内 IN 01
EV前点字付階数表示 IN 06
多目的トイレサイン IN 16
職員エリア表示 IN 18
職員エリア階数表示b IN 14b
職員エリア階数表示a IN 14a
立入禁止床サイン IN 17



×2 IN 08 職員エリア壁付室名
×6 IN 03 窓口サイン

2階平面図

一般来館エリア
- ：通路
- ：部屋

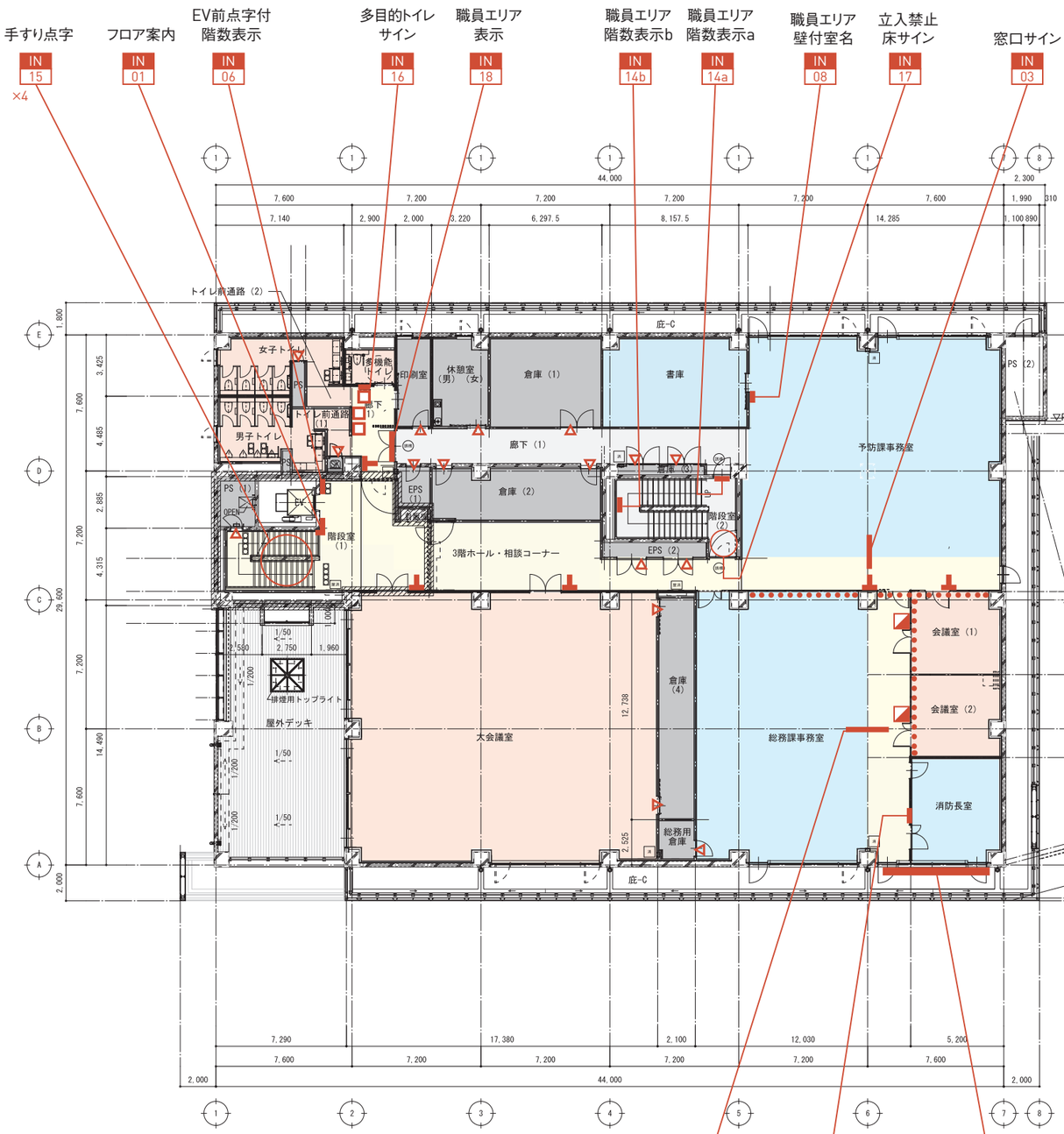
職員専用エリア
- ：通路
- ：部屋
- ：仮眠室
- ：その他（倉庫など）

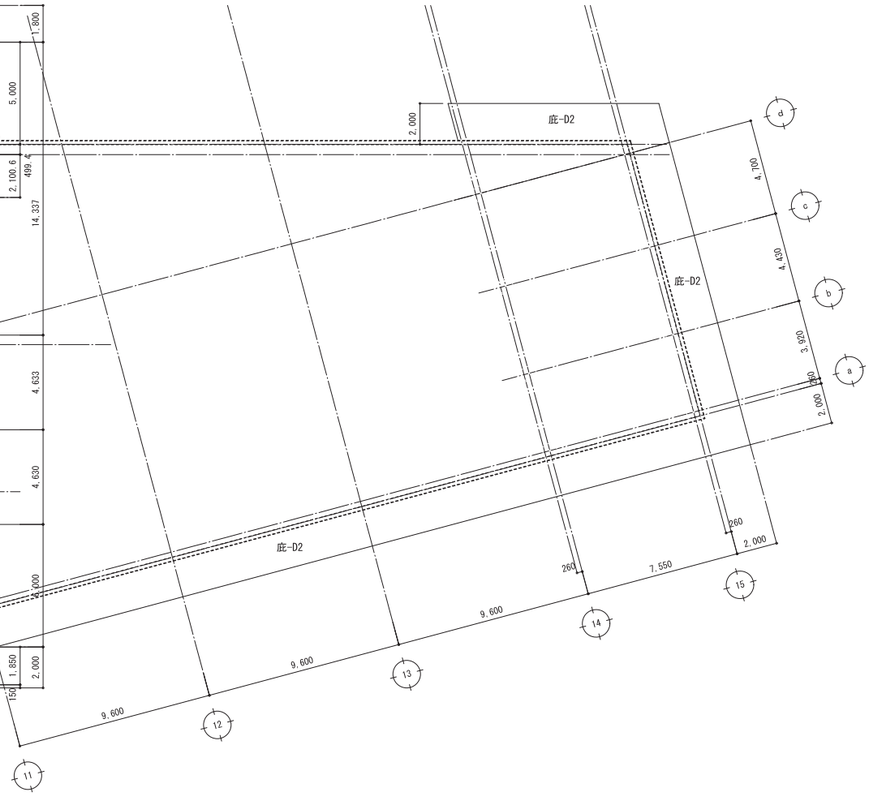
凡例
- IN 04 衝突防止サイン
- IN 09 壁付室名サイン
- IN 10 在空付室名サイン
- IN 11 突出室名サイン
- IN 12 BY室名サイン
- IN 13 職員エリア 仮眠室サイン

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	0F	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内消火栓	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71,**】	特記以外の床レベルを示す。	消火器	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消火器	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事				
				誘導標識	誘導標識：建築工事				

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 2階　サイン配置図	2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武 / 設計者名 安川　雅巳 / 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 A-223

手すり点字 IN 15 ×4
フロア案内 IN 01
EV前点字付階数表示 IN 06
多目的トイレサイン IN 16
職員エリア表示 IN 18
職員エリア階数表示b IN 14b
職員エリア階数表示a IN 14a
職員エリア壁付室名 IN 08
立入禁止床サイン IN 17
窓口サイン IN 03





3階平面図

IN 03 窓口サイン
IN 08 職員エリア壁付室名
EX 01 壁面施設名称-1（南外壁）

一般来館エリア
- ：通路
- ：部屋

職員専用エリア
- ：通路
- ：部屋
- ：仮眠室
- ：その他（倉庫など）

凡例
- IN 04 衝突防止サイン
- IN 09 壁付室名サイン
- IN 11 突出室名サイン
- IN 12 BY室名サイン
- IN 13 職員エリア 仮眠室サイン

凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様
	RC壁	OP	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71, **】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 3階　サイン配置図		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図面番号 A-224

駐車場サイン-1（来庁者）
EX 06 ×7
駐車場サイン-2（公用車）
EX 07 ×8
駐車場サイン-1（来庁者）
EX 06
駐輪場サイン
EX 09
駐車場サイン-3（車椅子）
EX 02
EX 03 防火水槽サイン
EX 05 外部自立 施設名称サイン-2
（訓練センター）

車庫棟
GL=63.3
1FL=63.3
1FL=GL±0
建物最高高さ=11.40m

消防本庁（署）棟
GL=71.3
1FL=71.4
1FL=GL+100
建物最高高さ=14m

訓練棟
GL=63.15
1FL=63.30
1FL=GL+150
建物最高高さ=18.35m

スロープ
幅　：130cm
長さ：200cm
・勾配：1/25
車椅子使用者用
【駐車施設】

スロープ
・幅　：130cm
・長さ：200cm
・勾配：1/20

EX 03 防火水槽サイン
EX 04 外部自立 施設名称サイン-1
（相楽中部消防組合消防本部　※ルビ付）
駐車場サイン-3（インターホン）
EX 08
マンホール天
71.950
KBM.1 H=71.662

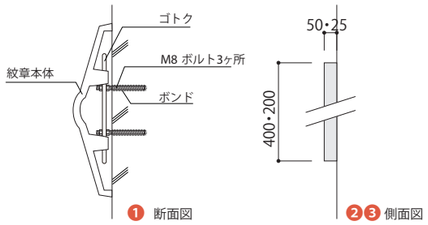
凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様
	RC壁	FL	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71.**】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

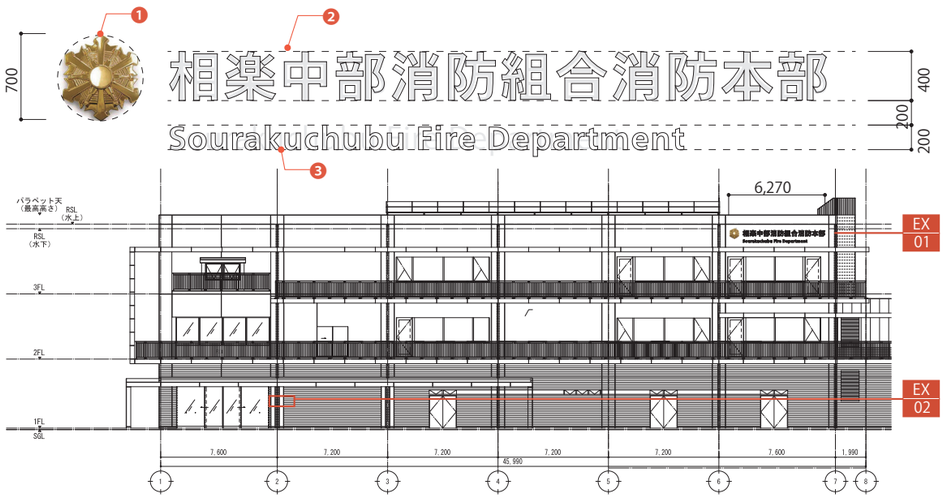
工事名	相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	図面の名称	【消防本庁（署）棟】　外構　サイン配置図
		作成年月日	2023/03
NEC JEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/150　A3:1/300
			図面番号：A-225

EX 01 施設名称-1（南外壁）［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25,1/200 (A1) 1/50,1/400 (A3)

1. 消防紋章（関西型）7号
   セラミックス　φ700
2. 文字
   D50 SUS箱文字加工　焼付塗装仕上
3. 文字
   D25 SUS箱文字加工　焼付塗装仕上

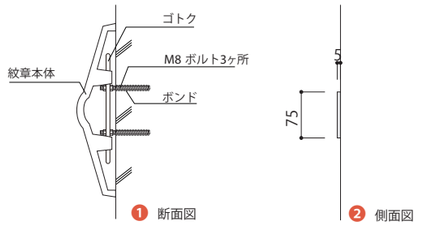


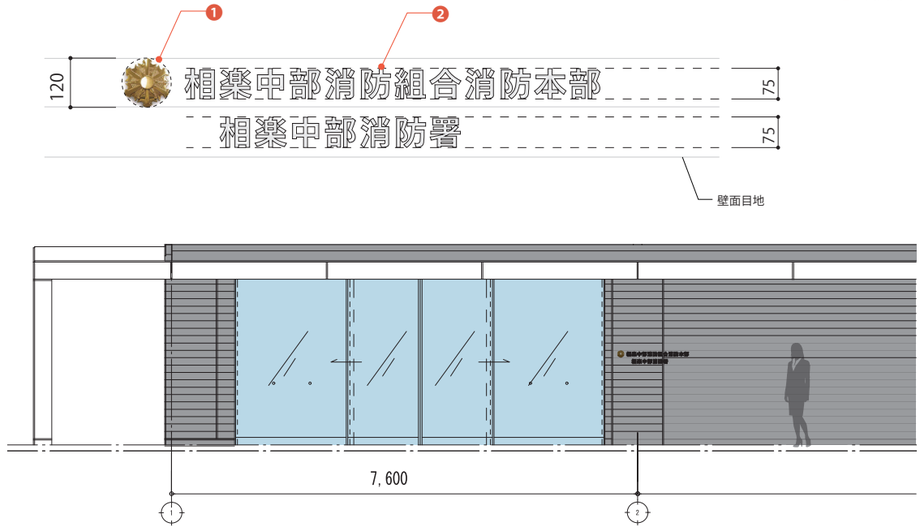


EX 02 施設名称-2（建物入口）［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/5,1/12.5,1/50 (A1) 1/10,1/25,1/100 (A3)

1. 消防紋章（関西型）0号
   セラミックス　φ120
2. 文字
   5t SUS切文字加工　焼付塗装仕上

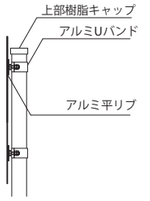


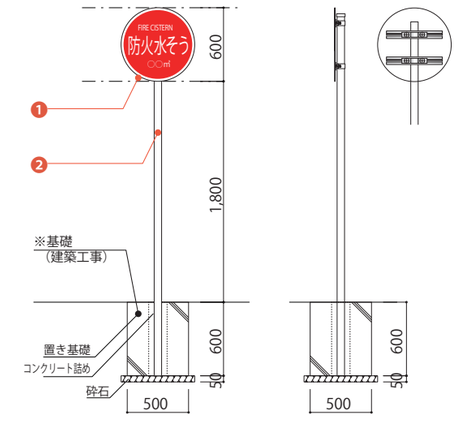


EX 03 防火水槽標識［自立］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25 (A1) 1/50 (A3)

1. 表示面
   アルミ板 t=2.0　反射塩ビフィルム貼
   地色：赤　文字：白
2. 支柱
   St Φ60.5 x 3.2　焼付塗装仕上

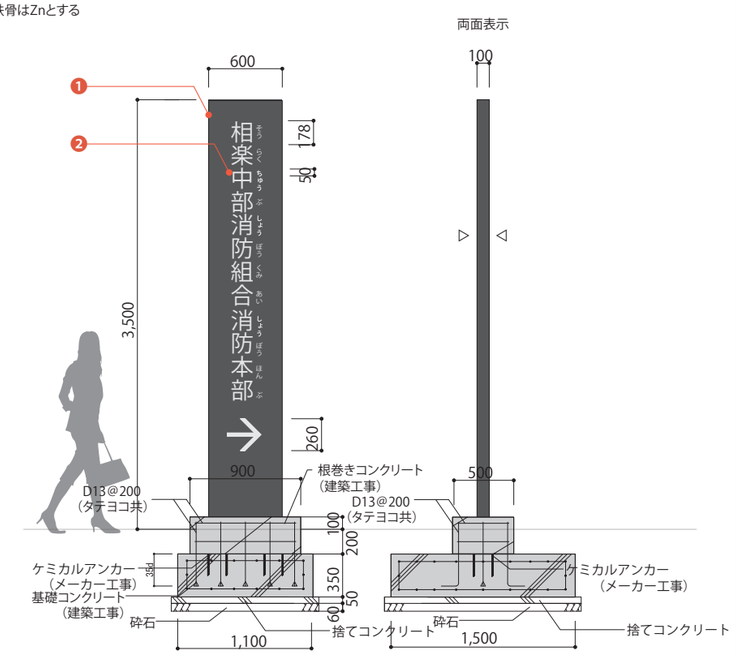




EX 04 外部自立 施設名称サイン-1　※ルビ付［自立］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25 (A1) 1/50 (A3)

1. 本体：SUS304 PL-1.5加工
   焼付塗装仕上
2. 表示：塩ビシート切文字貼
   ※基礎（建築工事）
   ※下地鉄骨はZnとする

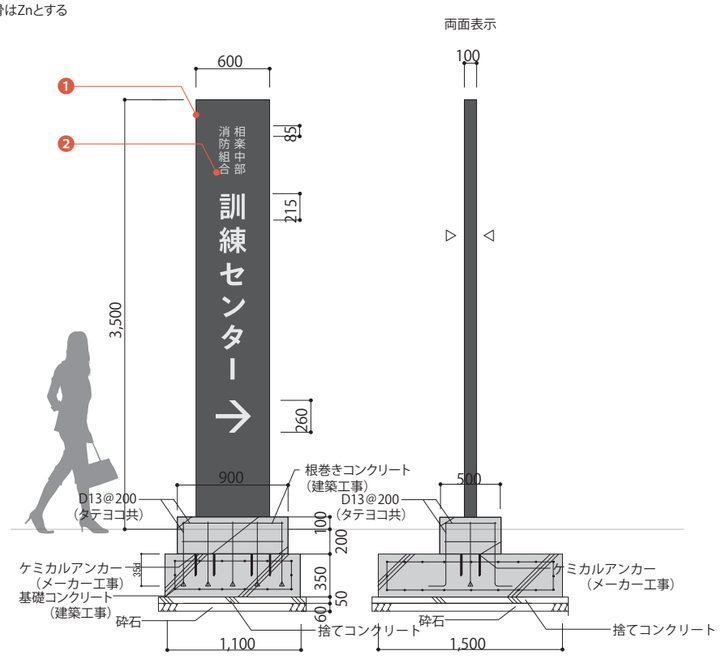


EX 05 外部自立 施設名称サイン-2［自立］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25 (A1) 1/50 (A3)

1. 本体：SUS304 PL-1.5加工
   焼付塗装仕上
2. 表示：塩ビシート切文字貼
   ※基礎（建築工事）
   ※下地鉄骨はZnとする

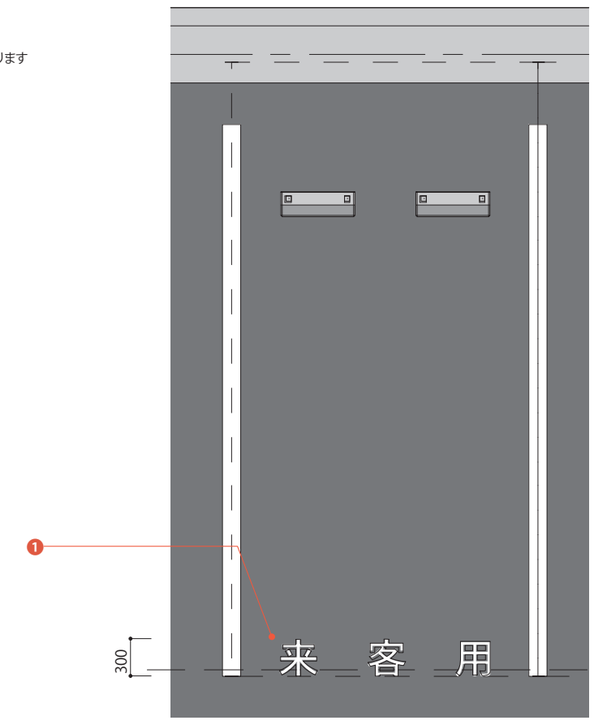
平板載荷試験により長期地耐力20kN,短期地耐力40kNを確認すること。



EX 06 駐車場サイン-1（来庁者用）［路面ペイント］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25 (A1) 1/50 (A3)

1. 路面ペイント
   ※路面ペイントの
   書体は実際と異なります



凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	OP	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71, **】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

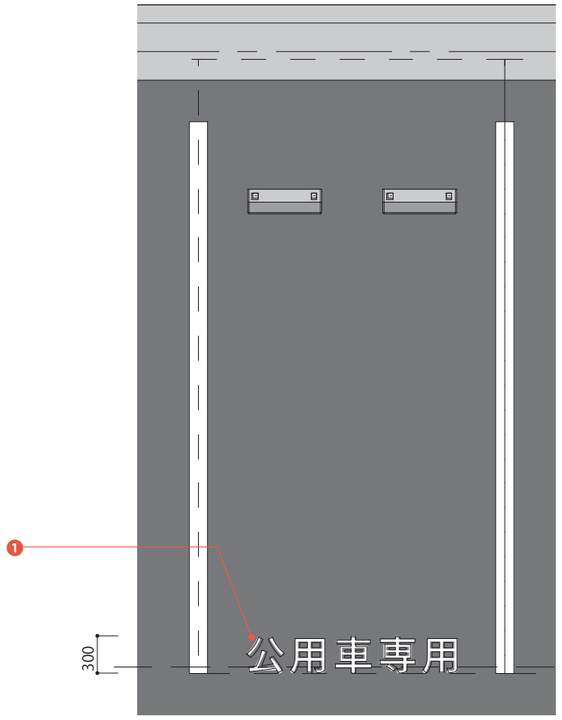
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　サイン意匠図－1		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：図示 A3：図示	A-226

EX 07 駐車場サイン-2（公用車）［路面ペイント］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25（A1） 1/50（A3）

❶ 路面ペイント

※路面ペイントの
書体は実際と異なります



EX 08 駐車場サイン-3（車椅子・インターホン）［自立］

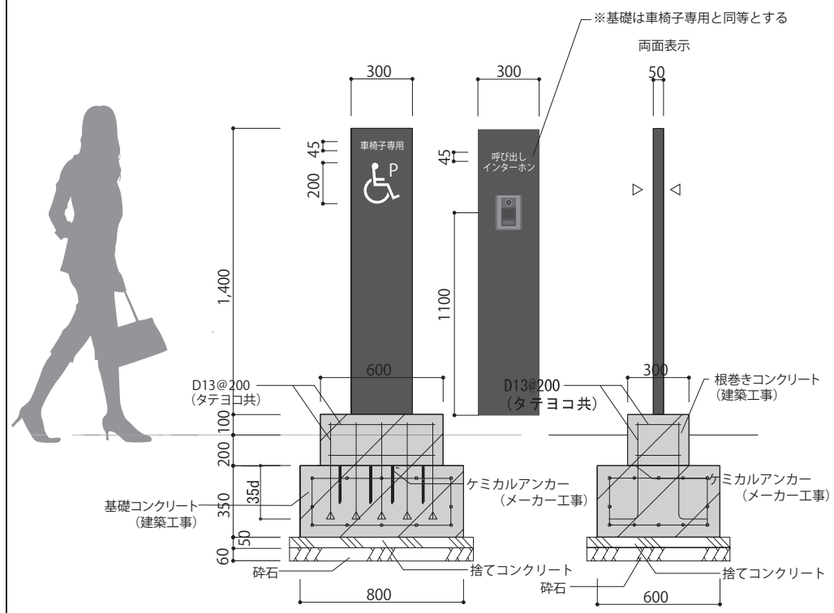
凡例 | 員数 - | SCALE 1/15（A1） 1/30（A3）

❶ 本体：SUS304 PL-1.5加工
焼付塗装仕上

❷ 表示：塩ビシート切文字貼

※基礎（建築工事）
※下地鉄骨はZnとする

平板載荷試験により長期地耐力20kN,短期地耐力40kNを確認すること。



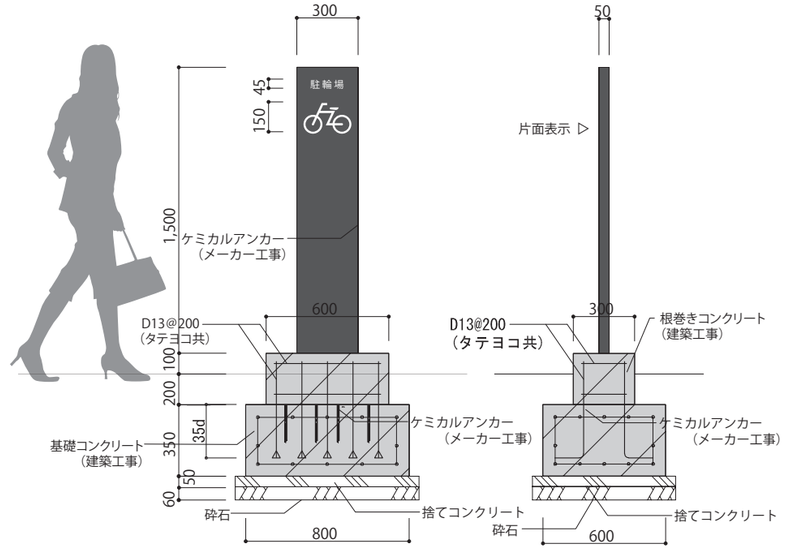
EX 09 駐輪場サイン［自立］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25（A1） 1/50（A3）

❶ 本体：SUS304 PL-1.5加工
焼付塗装仕上

❷ 表示：塩ビシート切文字貼

※基礎（建築工事）
※下地鉄骨はZnとする



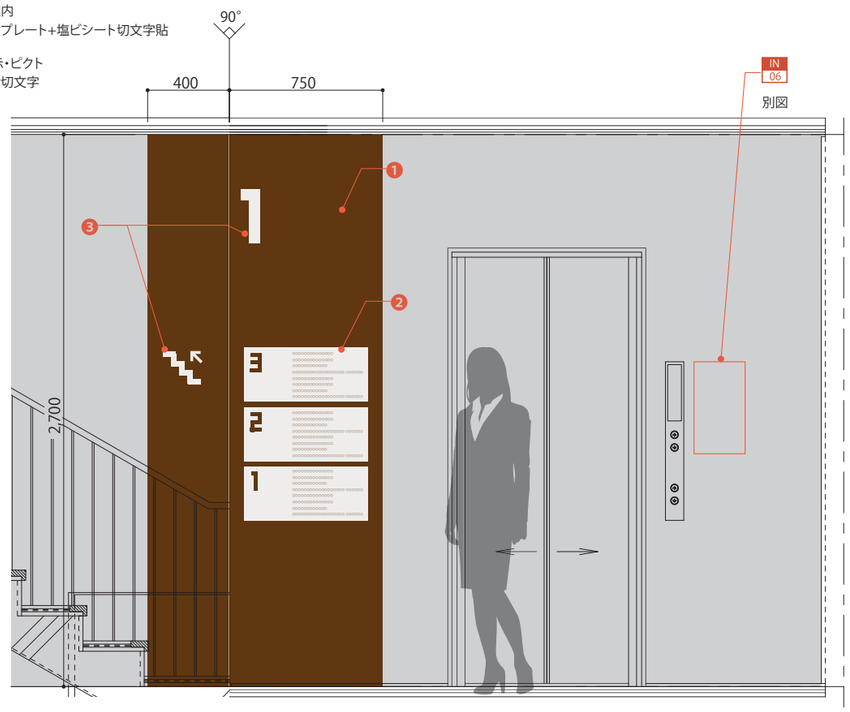
IN 01 フロア案内 ★A［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/15（A1），1/30（A3）

❶ 本体
木材 加工 柿渋塗装

❷ フロア案内
ABS樹脂プレート+塩ビシート切文字貼

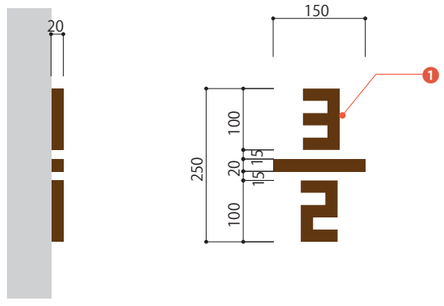
❸ 階数表示・ピクト
ABS樹脂切文字

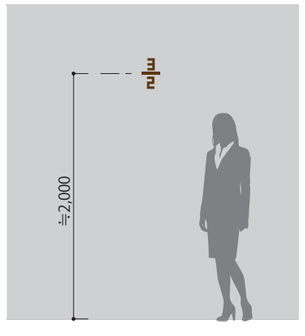


IN 02 階数表示 ★A［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/5,1/25（A1） 1/10,1/50（A3）

❶ 木材 加工 柿渋塗装





［階段 踊り場］

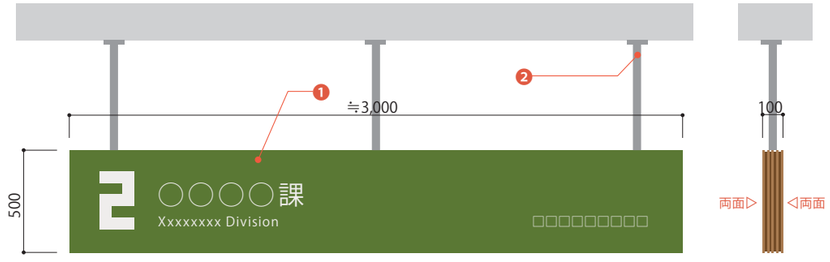
IN 03 窓口サイン ★B［天吊］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/15,1/30（A1） 1/50,1/100（A3）

❶ 本体
木材 加工 柿渋コーティング
表示
インクジェット出力シート貼り

※窓口により色分け

❷ ST加工 塗装仕上



※レイアウトは
実際の表示内容による

※設置位置は要現地確認

凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁		オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71.**】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

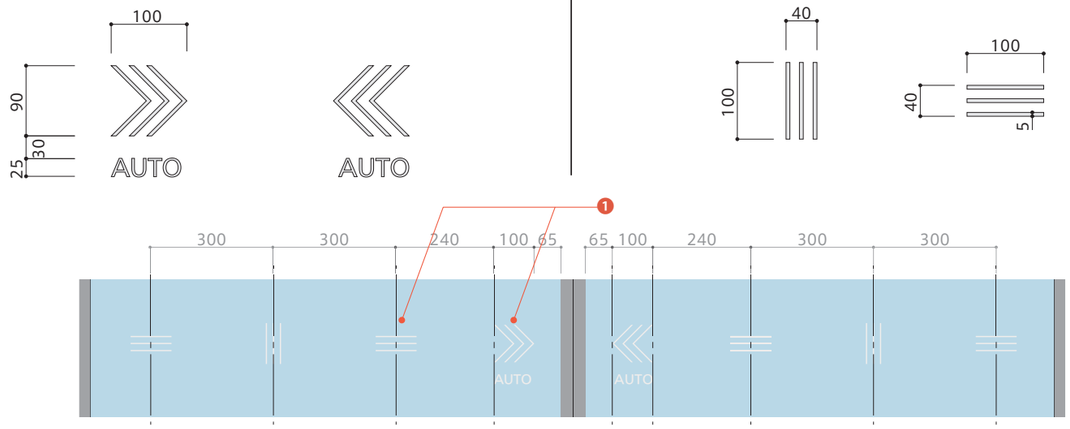
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】 サイン意匠図-2	2023/03

NEC JEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：図示 A3：図示	A-227

IN 04 自動ドア表示 ［ガラス付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/4,1/7.5(A1) 1/8,1/15(A3)

❶ 塩ビシート切文字　裏貼り



IN 05 衝突防止サイン ［ガラス付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/4,1/7.5(A1) 1/8,1/15(A3)

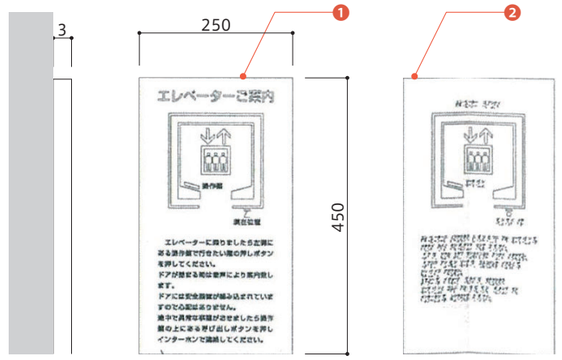
❶ 塩ビシート切文字　裏貼り

IN 06 EV前点字付 階数表示 ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 2/1,1/5(A1) 1/1,1/10(A3)

❶ 表示面
アルミ複合板 t=3.0　インクジェット出力小口巻込貼

❷ 点字
UV点字印刷

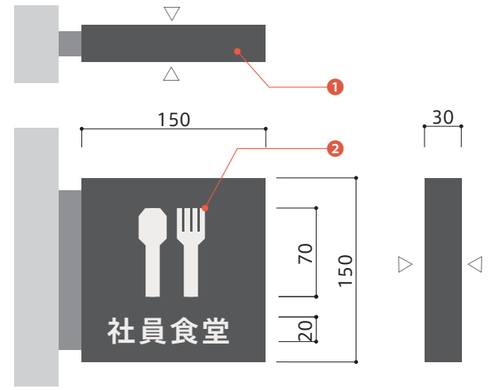


IN 07 職員エリア 突出室名サイン ［突出］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 本体
カラーマットアクリル加工
（ブラケットST角パイプ塗装仕上）

❷ 表示
塩ビシート切文字貼

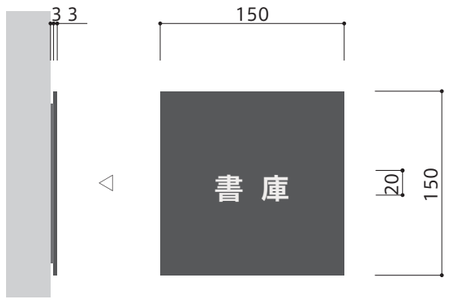


IN 08 職員エリア 壁付室名サイン ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 本体
カラーマットアクリル板（捨板/アルミ複合板）

❷ 表示
塩ビシート切文字貼

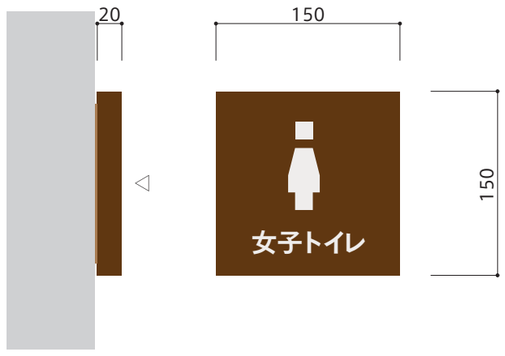


IN 09 壁付室名サイン ★A ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 本体
木材 加工 柿渋塗装（捨板/アルミ複合板）

❷ 表示
エッチング色差し（白）

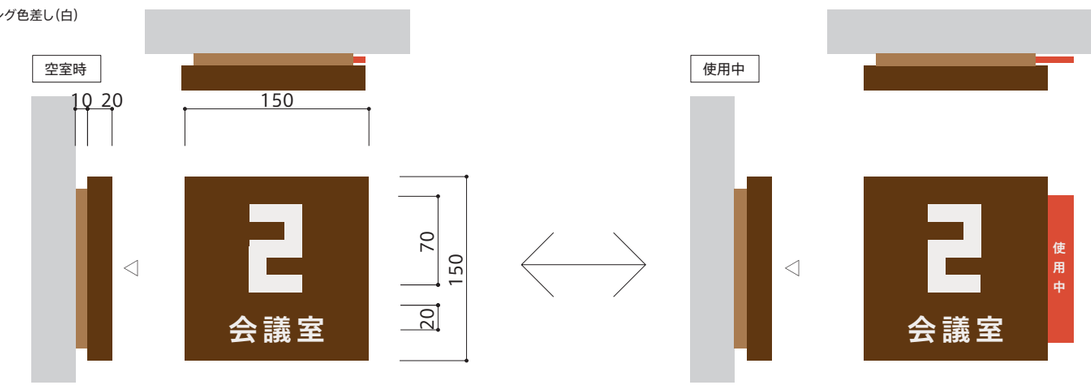


IN 10 在空付室名サイン ★A ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 本体・使用プレート（赤）
木材 加工 柿渋塗装

❷ 表示
エッチング色差し（白）

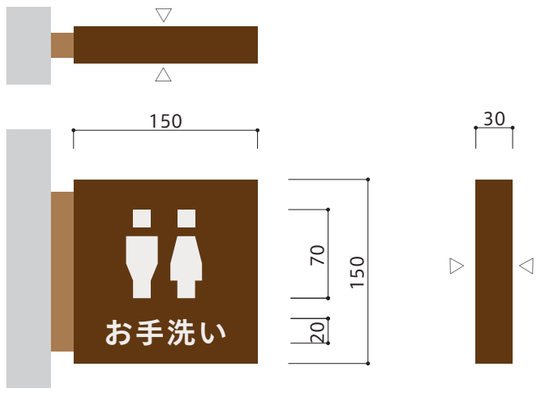


IN 11 突出室名サイン ★A ［突出］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 本体
木材 加工 柿渋塗装
（ブラケットST角パイプ塗装仕上）

❷ 表示
エッチング色差し（白）



IN 12 BY室名サイン ［扉付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/1.5(A1) 1/3(A3)

❶ 表示
塩ビシート切文字貼（扉直貼）

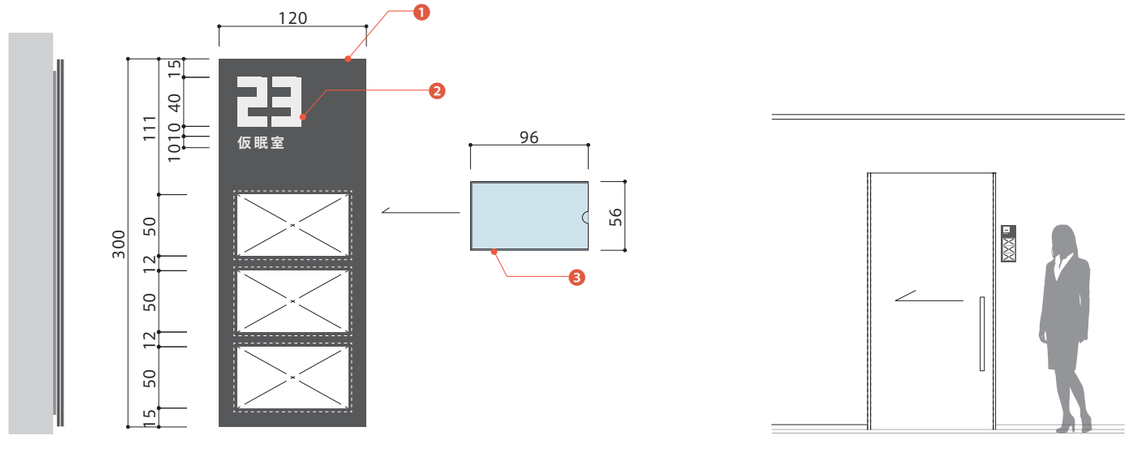
IN 13 職員エリア 仮眠室サイン ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/2.5,1/25(A1) 1/5,1/50(A3)

❶ 本体
アクリル3t加工

❷ 表示
塩ビシート切文字貼

❸ 名札
透明アクリル1t加工
※本体側面よりスライド差込



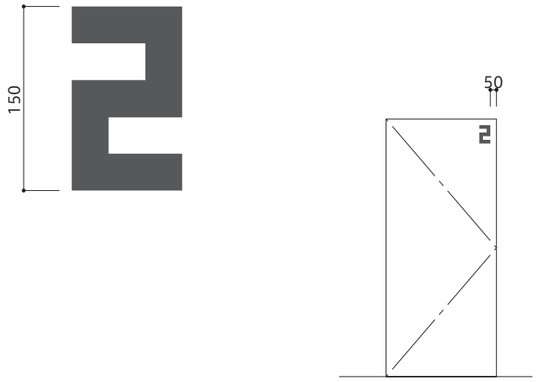
凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁		オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。		屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71,**】	特記以外の床レベルを示す。		消火器BOX（埋込型）　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）				消火器BOX（床置型）　※消火器：建築工事				
					誘導標識：建築工事				

工事名	相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	図面の名称	【消防本庁（署）棟】　サイン意匠図-3
		作成年月日	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名	安川　雅巳
		縮尺	A1：図示 A3：図示
		図面番号	A-228

IN 14a 職員エリア 階数表示a ［扉付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/2.5,1/25(A1) 1/5,1/50(A3)

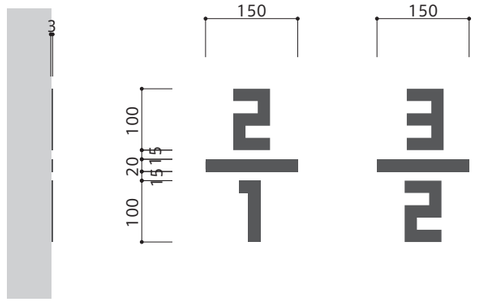
❶ 表示
塩ビシート切文字鉄扉直貼)



IN 14b 職員エリア 階数表示b(踊り場) ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/5(A1) , 1/10(A3)

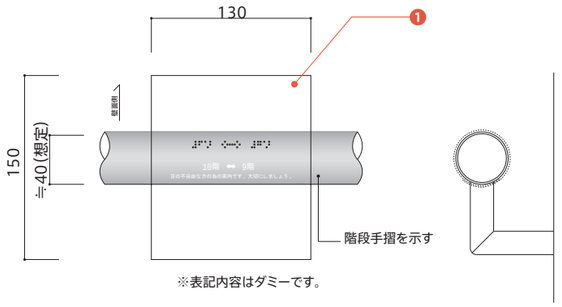
❶ 表示
カラーマットアクリル 切文字貼



IN 15 手すり点字 ［手摺付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/2.5(A1) 1/5(A3)

❶ 粘着塩ビ・フィルム(透明)貼
シルク印刷(白)+UV点字加工



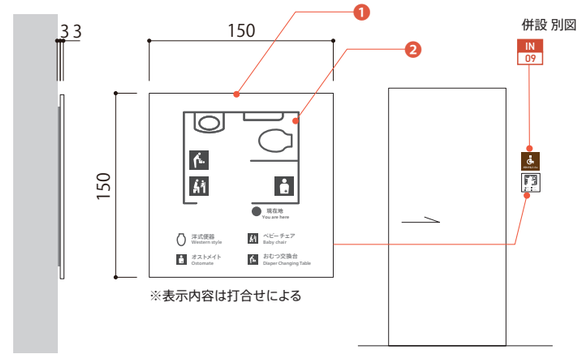
※表記内容はダミーです。

IN 16 多目的トイレ案内サイン ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 2/1,1/7.5(A1) 1/1,1/15(A3)

❶ 本体
透明アクリル3t　四周糸面取り

❷ 表示
裏面よりインクジェット出力シート貼
表面 UV点字印刷

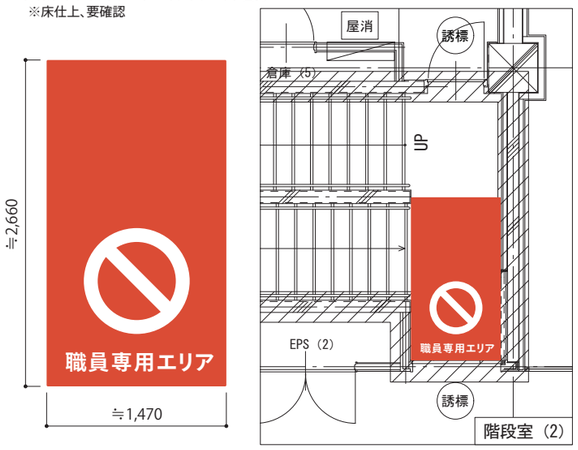


※表示内容は打合せによる

IN 17 立入禁止床サイン ［床付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/25,1/50(A1) 1/50,1/100(A3)

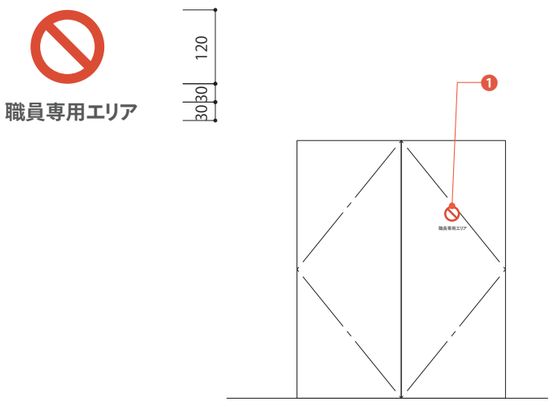
❶ 表示
床用グラフィックシート　インクジェット出力
※床仕上、要確認



IN 18 立入禁止サイン ［扉付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/5,1/25(A1) 1/10,1/50(A3)

❶ 表示
塩ビシート切文字



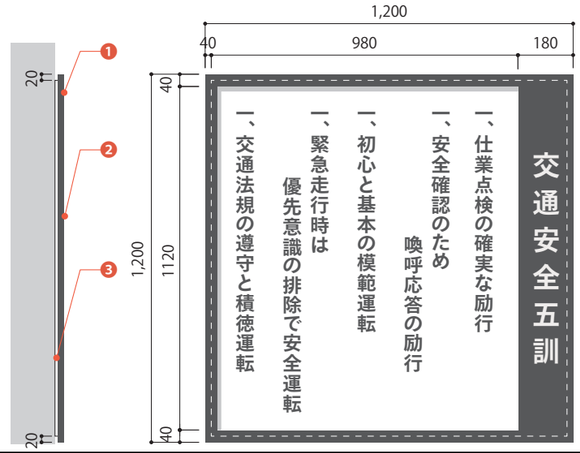
IN 19 職員エリア 標語サイン ［壁付］

凡例 | 員数 - | SCALE 1/5,1/25(A1) 1/10,1/50(A3)

❶ 本体(フレーム)
カラーマットアクリル 抜き加工

❷ 表示
塩ビシート切文字

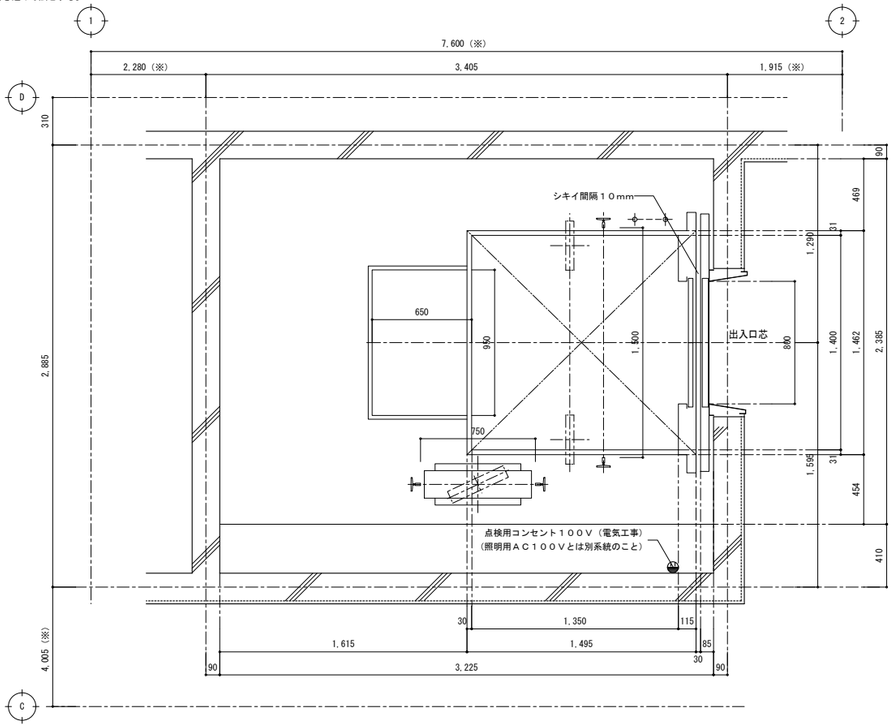
❸ 捨板
アルミ複合板



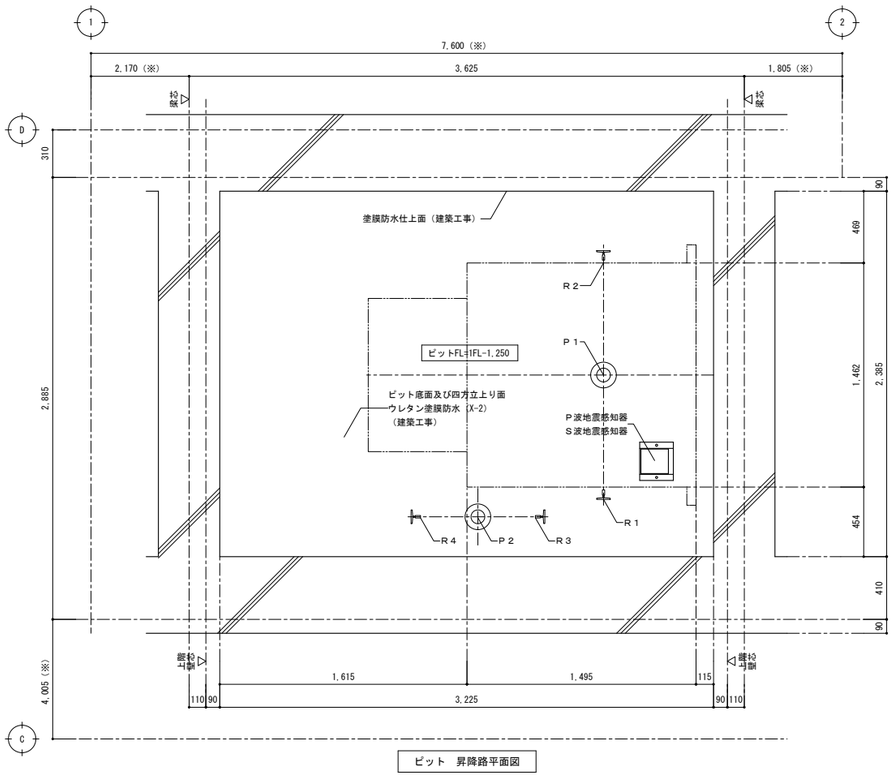
凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様
	RC壁	OP	オペレーターハンドル位置　ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする。	屋内	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事		面積区画範囲を示す。		
	LGS壁　特記なき限り65型	【71, **】	特記以外の床レベルを示す。	消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事		異種用途区画範囲を示す。		
	LGS壁（グラスウール充填）			消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事				
				誘導	誘導標識：建築工事				

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　サイン意匠図－4		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：図示 A3：図示	A-229

特記事項
※印の寸法は、書き込み寸法とする。



1階　昇降路平面図



ピット　昇降路平面図

除外工事事項

建築工事関係

１．　昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は５ｃｍ　辺り３８０Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
２．　各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
３．　乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
４．　昇降路頂部にエレベーター機器搬重用のフック設置工事
（　　ｋＮ）／台
５．　通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から１２５mm以下）
６．　ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
７．　ピット床下部使用の場合の建築対策工事
８．　ピットが深い場合の埋め戻し・浅い場合のはつり工事
９．　段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
１０．昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（２００mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
１１．その他建築に関する工事

設備工事関係

１．　動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
（繋ぎ込み工事含む）
２．　インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
（０．９φ×１０本）／台
３．　火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
４．　遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
５．　エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
６．　建設設備連動に必要な接点供給工事
７．　ピット内点検用コンセント設備工事
（照明用ＡＣ１００Ｖとは別系統のこと）
８．　昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成２０年国土交通省告示第１４５４号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
９．　かご内ＴＶカメラがある場合、かご内ＴＶカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・５Ｃ－２Ｖ同軸ケーブル
１０．かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合３線式とすること）
１１．昇降路の換気設備工事（平成１２年建設省告示１４１３号第１第三号ニにより昇降路内温度を４０℃以下に保つ必要があります）
発熱量　エレベーター駆動部（　　８７W／　台）
＋エアコン（　　－　W／　含）
１２．据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
＊やむを得ず仮設電源を本設電源と同等仕様で供給不可の場合は、以下の仮設電源仕様にて支給願います。
（1台当たり）
⇒機種がAXIEZ（積載量１０００kg以下）、
AXIEZ-LINKsの場合・・・
単相２００Ｖ、７．５kVA、ブレーカー容量５０A以上
機種がAXIEZ（積載量１０００kg超）の場合・・・
三相２００Ｖ、１５kVA、ブレーカー容量１２５A以上
機種が上記以外の場合・・・
三相２００Ｖ、１５kVA、ブレーカー容量１２５A以上
１３．監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

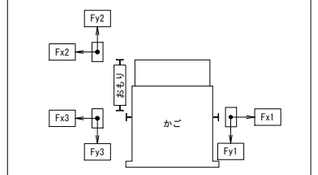
ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げとする（建築工事）

図面は塗膜防水仕上後の
有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は
仕上厚を考慮して下さい。

注意事項

１．　昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
２．　コンクリート強度は２１Ｎ／mm　以上のこと　２
３．　電源電圧の変動は＋５%～－１０%以内、電圧不平衡率５%以内のこと
４．　本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
（１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０%・日平均９５%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（２）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
５．　（１）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（２）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと
６．　昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
７．　昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
（建築基準法施行令第１２９条の２の４第１項第三号）
８．　遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
９．　輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は２５０ｋｇ以下とすること
１０．換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
１１．エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
１２．エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１m以上分離する
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
１３．乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
１４．乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
１５．製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110.2130、
JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021.1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重



Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２	Ｆｘ３	Ｆｙ３
８．２９	６．１６	６．４６	１２．９２	１４．７５	１７．０７

（単位：ｋＮ）

レール下端部荷重（長期荷重）

Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
３．６	２３．４	４３．４	１８．８

ピット荷重（短期荷重）

Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
７５．２	６２．９

乗場遮煙ドア設置上の条件

・乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。
（無電圧ａ接点、接点電圧ＤＣ２４Ｖ）

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、２４時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
１．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廻下等）に設置する。
２．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

エレベーター仕様要項

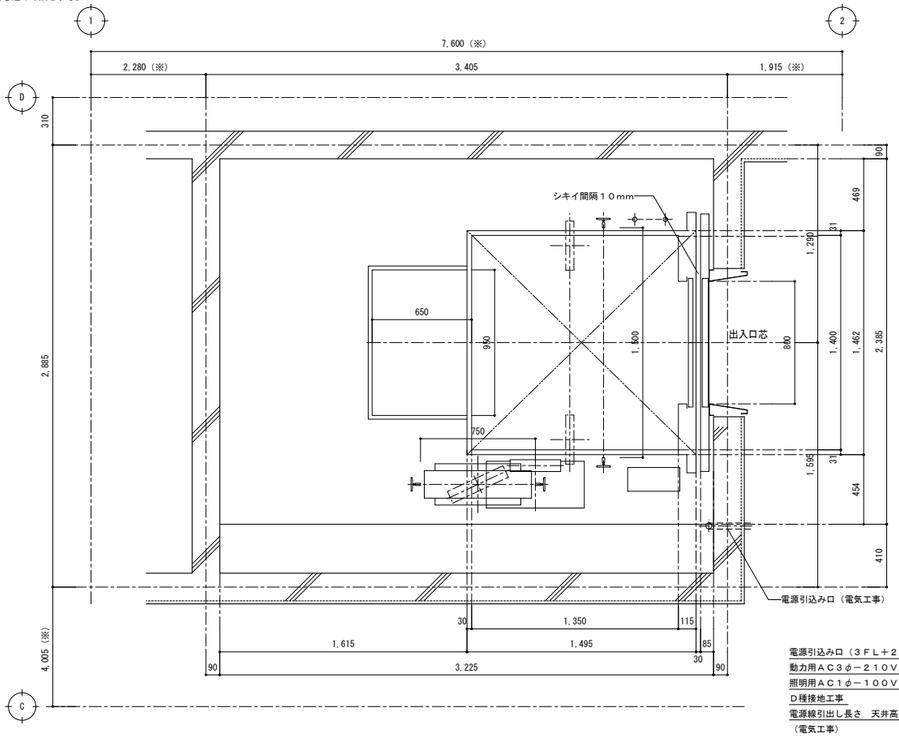
基本仕様	仕様項目	０１号機
	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用（福祉対応）
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（１Ｃ－２ＢＣ）
	積載量（定員）	７５０ｋｇ（１１名）
	定格速度	４５m／ｍｉｎ
	戸開方式	２枚戸両引き（ＣＯ）
	出入口幅×高さ	８００mm×２１００mm
	かご内法間口×奥行×高さ	１４００mm×１３５０mm×２３００mm
	トランク内法間口×奥行×高さ	９５０mm×６５０mm×１０００mm
	出入口方式	一方向出入口
	停止数	３停止（１－３階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
その他	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＳ１４（２０１４年度告示対応）
	戸閉走行保護装置（ＵＣＭＰ）	適用（２００９年度改正基準法対応）
	セーフティシュー	片側（マルチビームドアセンサー付き）
	敷居間隔	１０mm
	かご呼び取消し機能	あり
福祉対応	車いす仕様	あり：制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	点字名板	あり：接着式
	音声アナウンス	あり：かご内４ヵ国語アナウンス （通常時：日・英、緊急時：日・英・中・韓）
	聴覚障がい者対応仕様	あり：かご内インターホン押出応答灯
管制運転	地震時管制運転	あり：Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	火災時管制運転	あり：火報信号連動式
	停電時自動着床装置（ＭＥＬＤ）	あり
	ピット冠水時管制運転	あり
乗場	三方枠	大枠実広形、鋼板化粧シート貼（１－３階） 枠幅：１３０mm～３５０mm
	幕板	なし
	戸	鋼板化粧シート貼（１－３階）
	戸目地	あり：ステンレスヘアライン仕上（１－３階）
	遮煙機能	あり：特定防火設備（認定番号：ＣＡＳ－０５１９）（１－３階）
	敷居	アルミ製（１－３階）
	乗場インジケーター	押釦一体　ステンレスヘアライン仕上（１－３階）
	乗場ボタン（一般・車いす）	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ） 抗ウイルス・抗菌コート（１－３階）
	乗場インジ運行表示灯	休止表示
	乗場休止スイッチ	あり：１Ｆ乗場インジケーター組込み
かご	天井	ＣＬ２：ダウンライト（白色ＬＥＤ）　天井面材：化粧鋼板
	壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン仕上
	出入口上板	化粧鋼板
	戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル２mm（三菱標準タイル）
	敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	一般用：袖壁取付・車いす用：両側面取付
	かご操作盤フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
	かごボタン（一般・車いす）	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ） 抗ウイルス・抗菌コート
	インジケータータイプ	一般用：かご内液晶インジケーター（１０．１インチ） 車いす用：ドットＬＥＤ（橙色）
	液晶インジケーター表示言語	平常時（日・英）、注意喚起（日・英／中・韓切替） 緊急時（日・英・中・韓）
	換気装置	ヘルスエアー（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
	手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	鏡	ステンレス鏡面枠なし３分割（５７０mm×１４００mm）
	壁保護幕	あり：磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
	床保護マット	あり
特記	気配りドアセンサ	あり
	センシングドアシステム	あり：　ＴＯＦセンサ
	インターホン型式	２４Ｖ型
	乗場インターホンボックス	あり：ステンレスヘアライン仕上（埋め込み形）・１箇所
	無電圧Ａ接点支給	エレベーター安全回路動作時・閉込時 インターホンボタン押下時一括
	かご室スピーカー	あり　：　３線式（非常放送兼用）
	かご内防犯カメラ	あり（カラー一式）
	同上乗場液晶モニター	１５インチ露出形・１箇所
	映像分配器	あり
	高調波対策種類	標準：ノイズフィルター対策（ｋｉ＝３．４）
	おもり非常止装置	なし
	荷役	総重量：２５０ｋｇまで
	フェッシャープレート	なし
	レール支持方式	１レール２ブラケット（標準）
	揚重ビーム手配	エレベーター工事（据付後撤去不要）
	煙感知器点検口スイッチ	なし

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
第247426号	第318795号	第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　ＥＶ詳細図（1）	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/20 A3:1/40	A-230

特記事項
※印の寸法は、書き込み寸法とする。

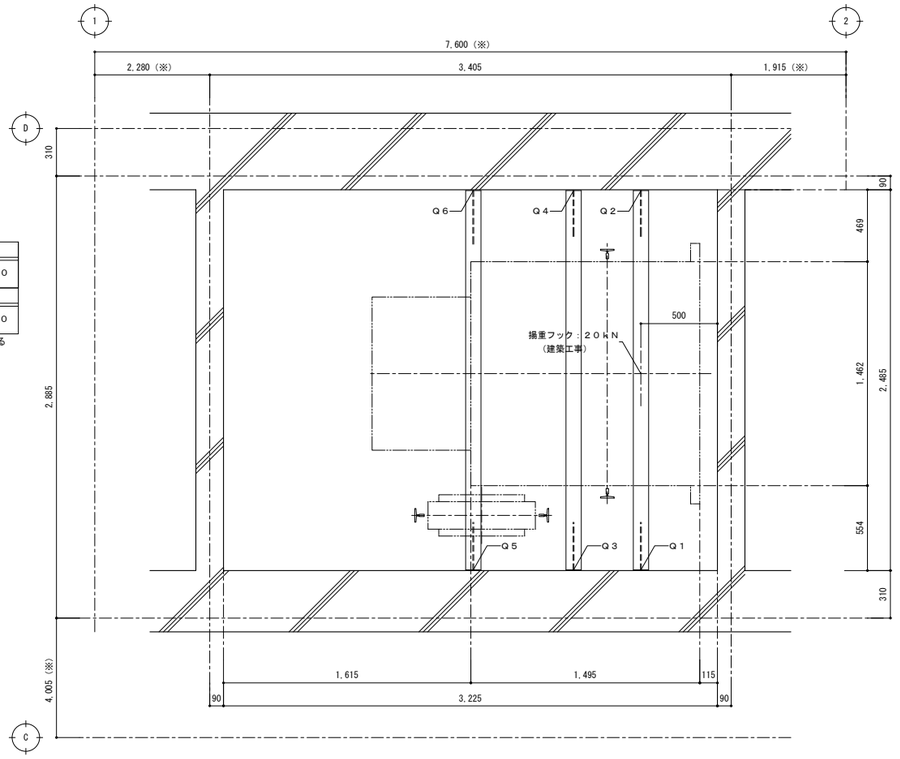


3階　昇降路平面図

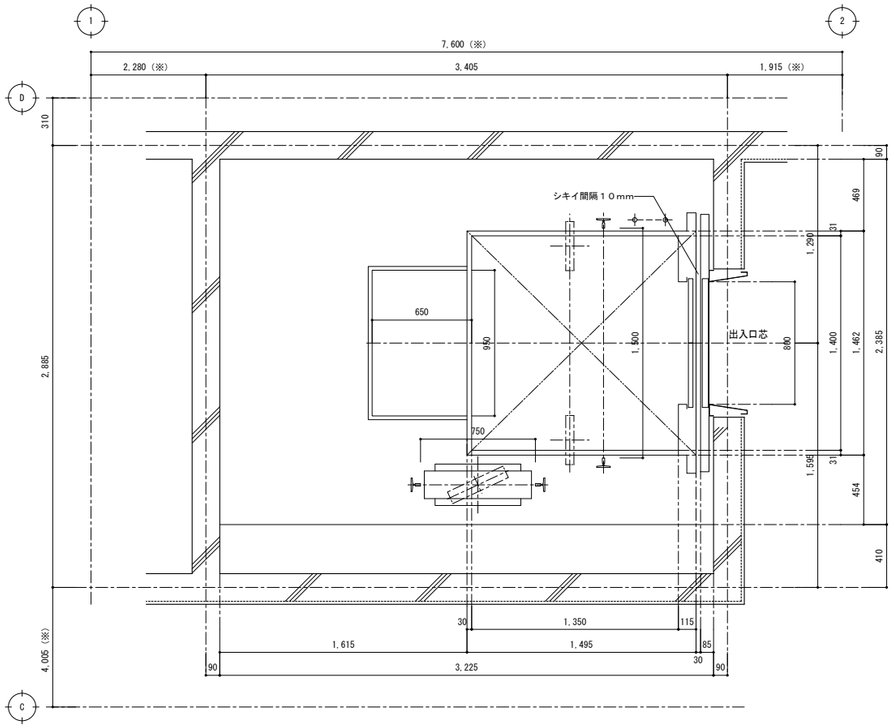
揚重ビームに掛かる荷重

Q１（ｋN）	Q２（ｋN）	Q３（ｋN）
８．０	３．０	８．０
Q４（ｋN）	Q５（ｋN）	Q６（ｋN）
１１．０	１６．０	１１．０

Q１～Q６はＥＶ据付時に作用する



頂部（3FL+3,000）　昇降路平面図



2階　昇降路平面図

部材記号	名　称	部　材	工事区分
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事

電源引込み口（３ＦＬ＋２８００）
動力用ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
照明用ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ
Ｄ種接地工事
電源線引出し長さ　天井高さ＋３５００mm
（電気工事）

動力電源設備（ＣＶＴ電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 動作時間（＊）	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２１０　Ｖ ６０　Ｈｚ	３．８ｋW	４ｋVA	４０ＡＴ	１００　mA以上 ０．２　秒以上	８１ｍまで　８mm² １４０ｍまで　１４mm² ２１４ｍまで　２２mm²	３．５　mm²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　６０Ｈｚ（設備容量１ｋVA／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）　　（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容		機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量Ｐｉ（kVA）	回路分類細分Ｎｏ.	６パルス換算係数（Ｋｉ）	６パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%）							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ（標準）	０１号機 AXIEZ-LINKs(750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	DCリアクトル追加（Ki=1.8相当）					~~33~~	~~1.8~~	~~8.6~~	~~25~~	~~30~~	~~13~~	~~8.4~~	~~5~~	~~4.7~~	~~3.2~~	~~3~~	~~2.2~~

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量（mA）＝ $\dfrac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋVA）}}{\text{受電電圧（ｋV）}\times\sqrt{3}}\times 10^{3}$ ×各次数毎の発生率Ｉｎ（%）×機器最大稼働率ｋ（%）

動力幹線がＩＶ線の場合
昇降路内はブリカ配管
（金属製可とう電線管）
施工をお願いします。

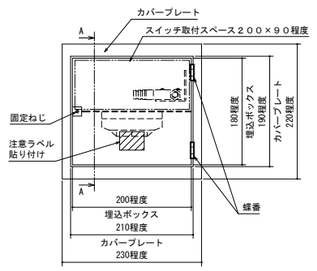
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
第247426号	第318795号	第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　ＥＶ詳細図（２）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/20 A3:1/40	A-231

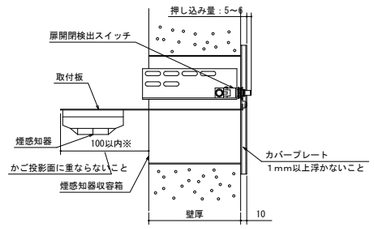
特記事項
※印のす法は、書き込みす法とする。

（注）煙感知器・点検口ボックス

煙感知器（別途工事）
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか
（１）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｂ
（２）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
（３）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
（４）パナソニック　ＢＶ９５３５１（ＢＯＸ）＋ＢＶ９５３８１Ｈ（扉）
②以下２項目を満足する点検口　下図「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。



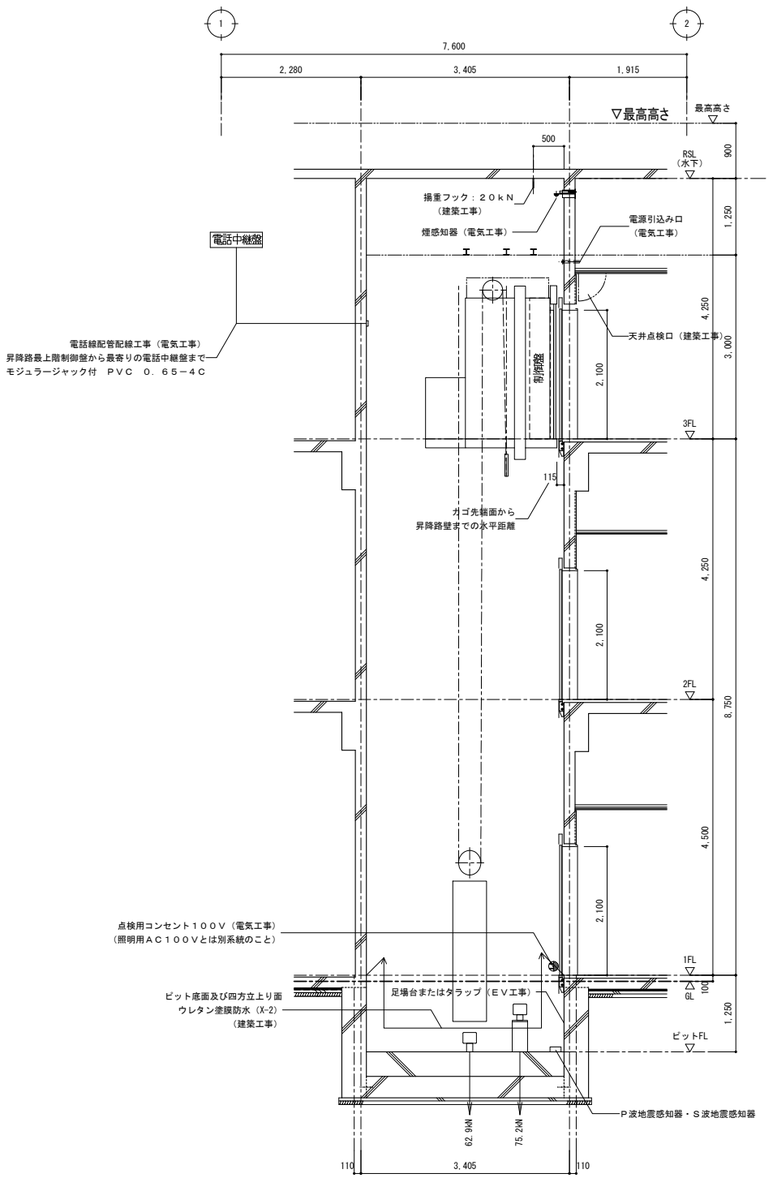
煙感知器・点検ボックス（参考例）



※Ｂ形枠の場合は３０以内

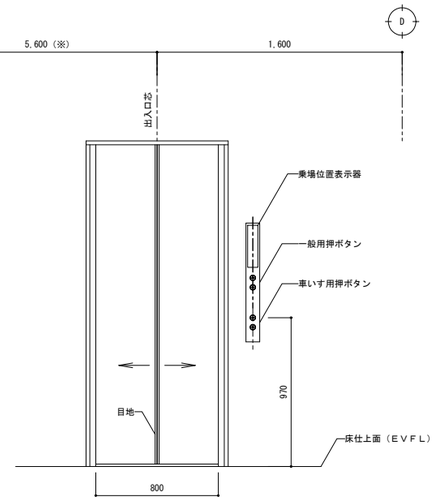
矢視Ａ－Ａ

部材記号	名　称	部　材	工事区分
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	ＥＶ工事



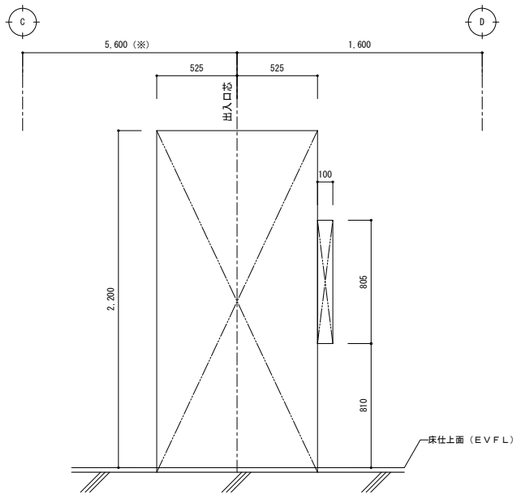
昇降路　断面図

A1:1/50
A3:1/100



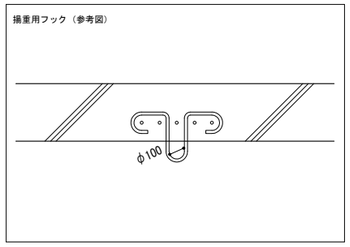
1～3階　乗場正面図

A1:1/20
A3:1/40



1～3階　乗場穴あけ図

A1:1/20
A3:1/40



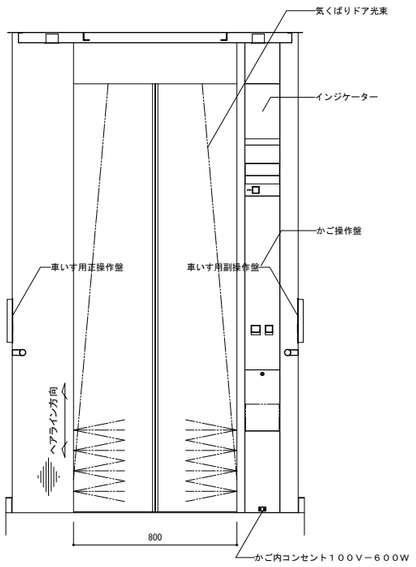
昇降路内の温度は４０℃以下とする

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げとする（建築工事）

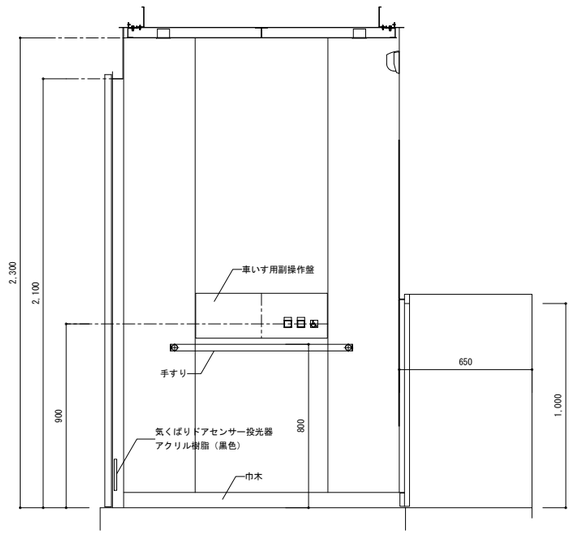
図面は塗膜防水仕上後の
有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は
仕上厚を考慮して下さい。

代表となる設計者		その他の設計者		その他の設計者	
宮原　嘉成		小田　文武		安川　雅巳	
第247426号		第318795号		第322365号	

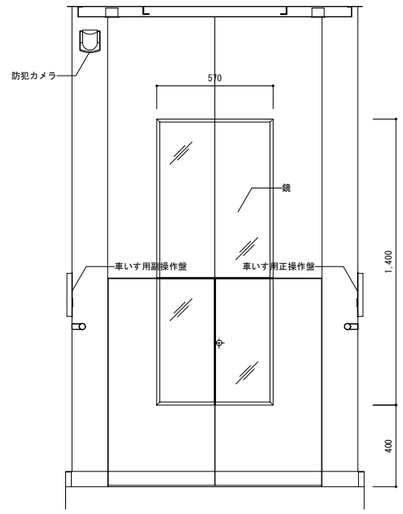
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　ＥＶ詳細図（３）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-232



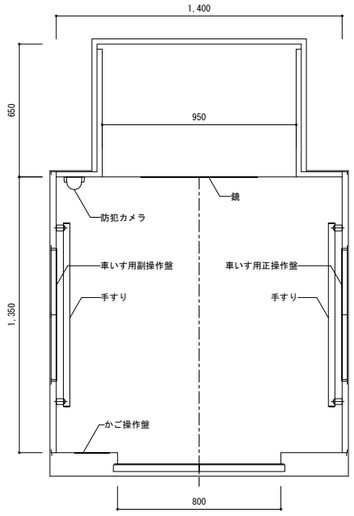
かご室正面図



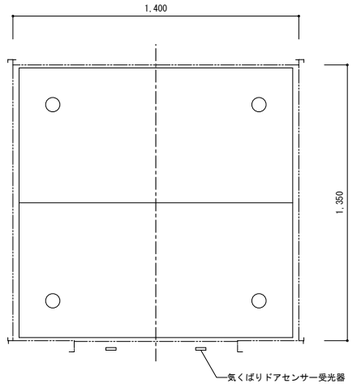
かご室側面図



かご室背面図



かご室平面図



天井伏図

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
第247426号	第318795号	第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】　ＥＶ詳細図（4）	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/15 A3:1/30	A-233

仕 様 書

：アーキテクチュラルコンクリート
気乾比重　2.3 t/m^3 （鉄筋込　2.4 t/m^3 ）

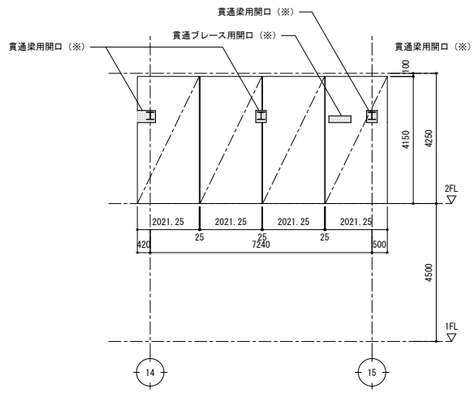
■ 許容応力度　　コンクリート：設計基準強度Fc=30 N/mm^2（300 kgf/cm^2 ）
脱型強度Fc'=15 N/mm^2（150 kgf/cm^2 ）

■ 仕上げ　　外装：ウォータージェット

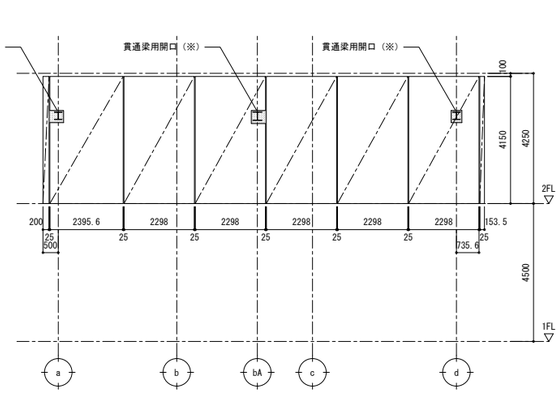
■ 基本的な条件　　許容誤差は水平±25mm, 垂直±10mmとする。

設 計 条 件		P C 部 材 に 対 す る 条 件 設 定
性能項目	内　　要	
耐風圧性能	最大風圧力 建設省告示第1458号及び1454号より （最高部高さ　8.54m） V0（基準風速）　＝32m/s 地表面粗度区分　Ⅲ 正圧　149.5kgf/m^2　（1465N/m^2 ） 負圧　-93.5kgf/m^2　（-915.9N/m^2 ）	1.最大風荷重時に於いて版及びファスナー共に主要構造部分 の破損・脱落が無いこと 2.水平　k=0.8に於いてPCパネルに生じるクラック幅が 無開口パネルは0.2mm以下（開口版は0.1mm以下）である事 正圧　119.6kgf/m^2（1172N/m^2） 負圧　-74.8kgf/m^2（-732.7N/m^2）
層間変位 追従性能	1/100部材の損傷・脱落不可 1/300　シール切れ不可	主要部材の破損・脱落が無いこと シール材含め各部材に問題の無いこと
耐震性能	主要部材の破損が無い事 水平　k =1.0 鉛直　k =0.5	1.最大地震荷重時に於いて版及びファスナー共に主要構造部分 の破損・脱落が無いこと 2.水平　k=0.5に於いてPCパネルに生じるクラック幅が 無開口パネルは0.2mm以下（開口版は0.1mm以下）である事
水密性能	シール方式（非等圧工法） （1次側：シーリング） （2次側：内部環状ガスケット）	1次シール:不定形シーリング 2次シール:耐火シリコンスポンジガスケット 雨水が進入した時,コンクリートの水返し及び環状ガスケットにより 速やかに外部に排水する様にする事。
耐火性能	合成耐火：1時間	1.パネル厚さは15cm以上とすること 2.取付ファスナー廻りは、耐火被覆のこと

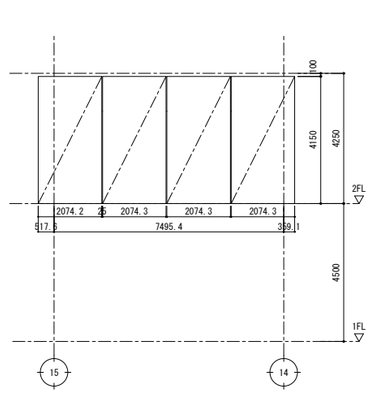
特記事項
※開口寸法及び納まりは、【消防本庁（署）棟】　ＰＣ版詳細図（2）内、
左下図"梁貫通部パネル基本詳細図"を参照のこと。



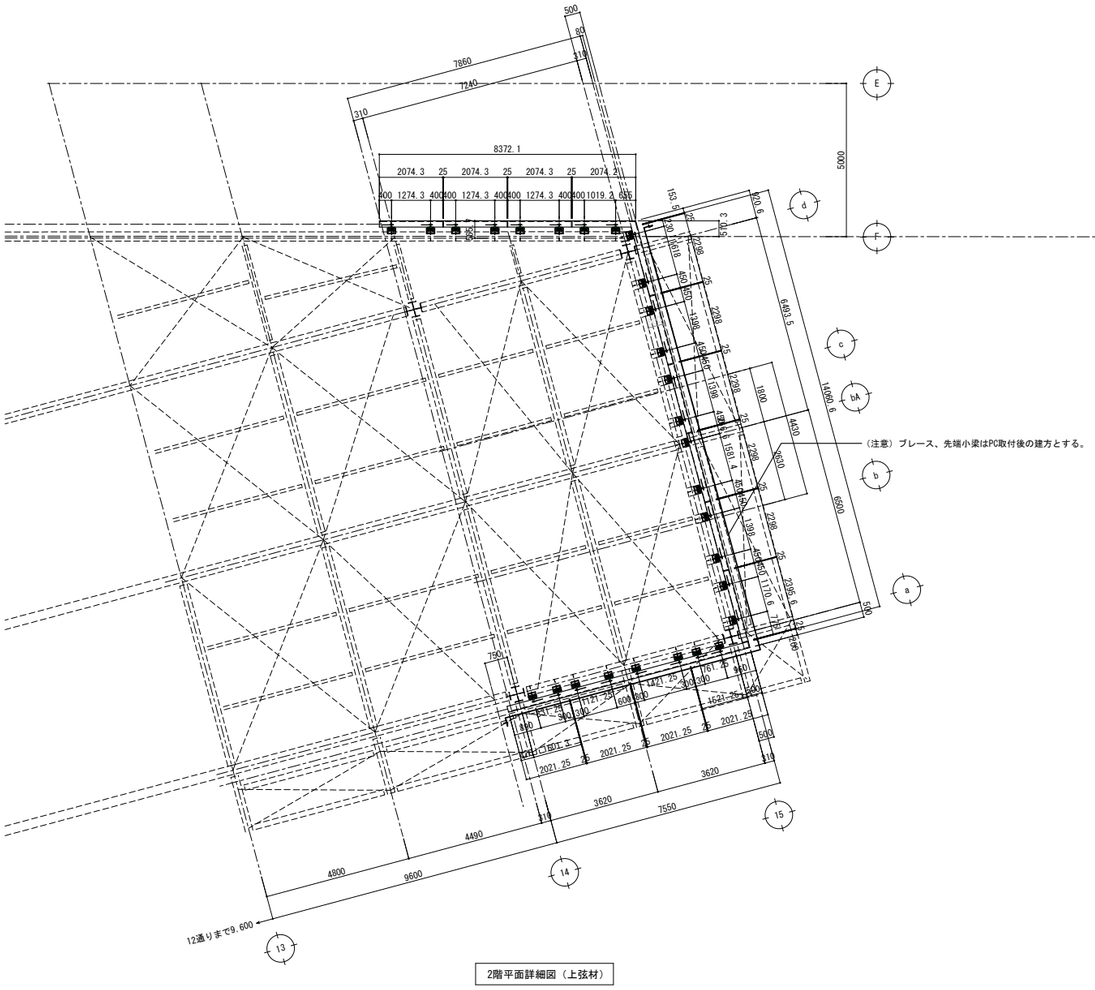
南立面図



東立面図

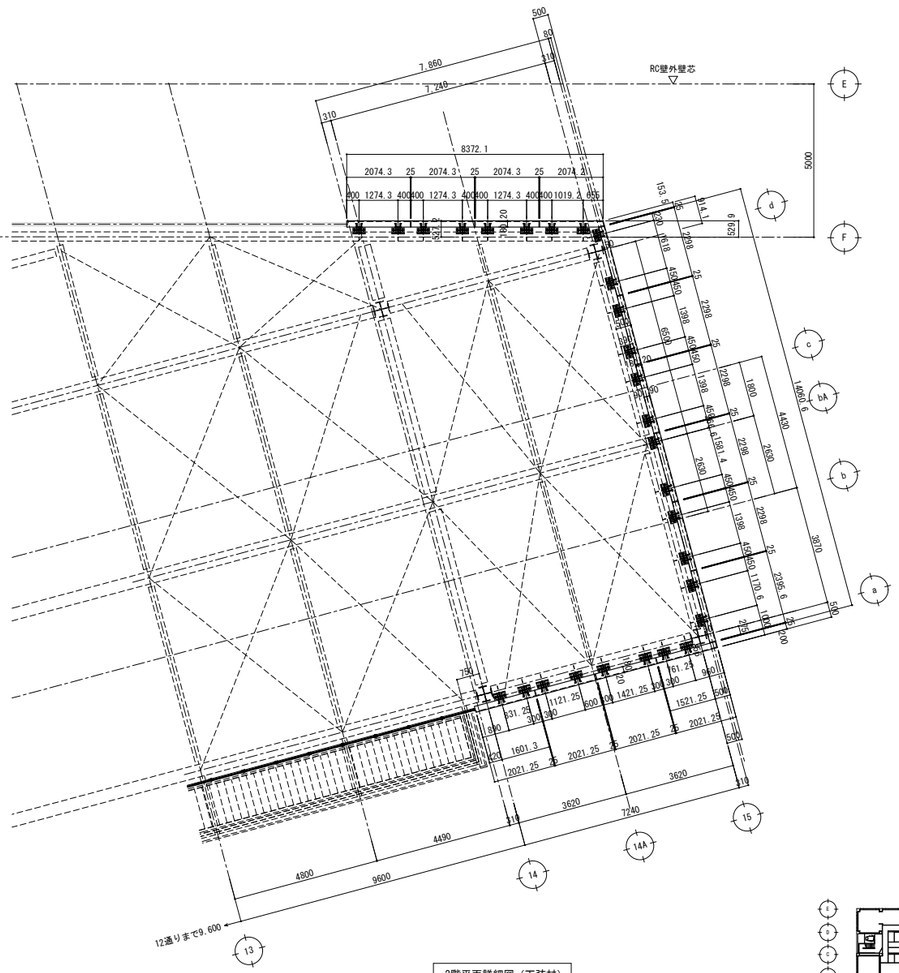


北立面図

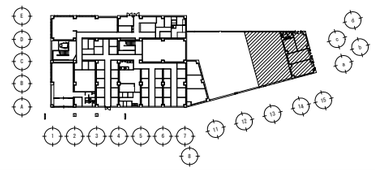


（注意）ブレース、先端小梁はPC取付後の建方とする。

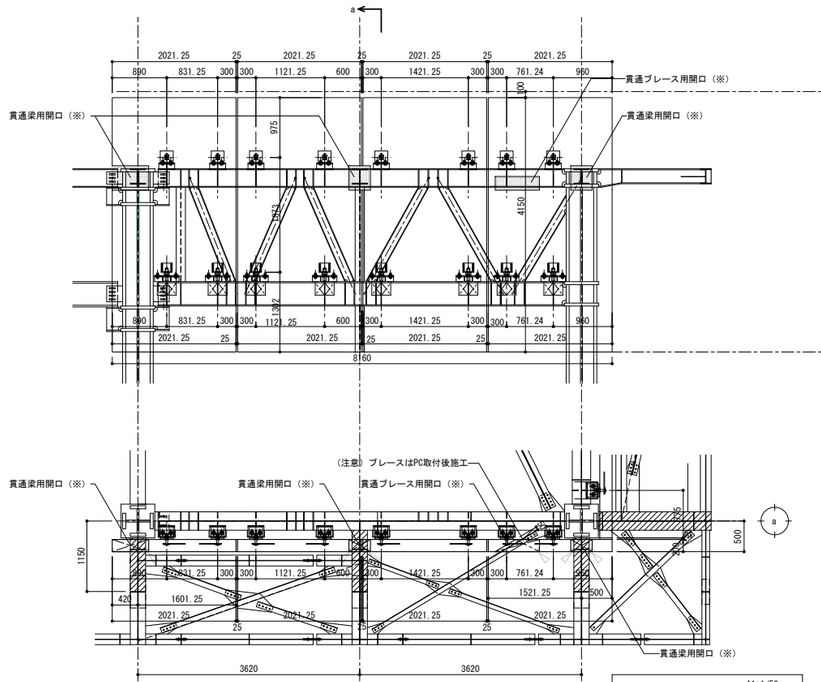
2階平面詳細図（上弦材）



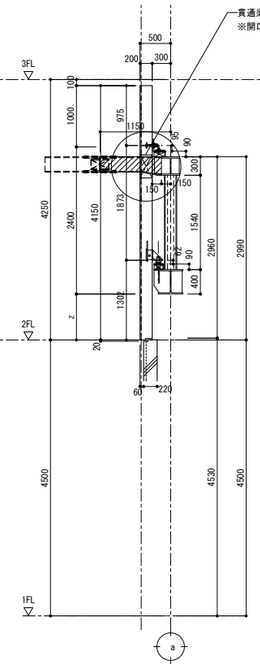
2階平面詳細図（下弦材）



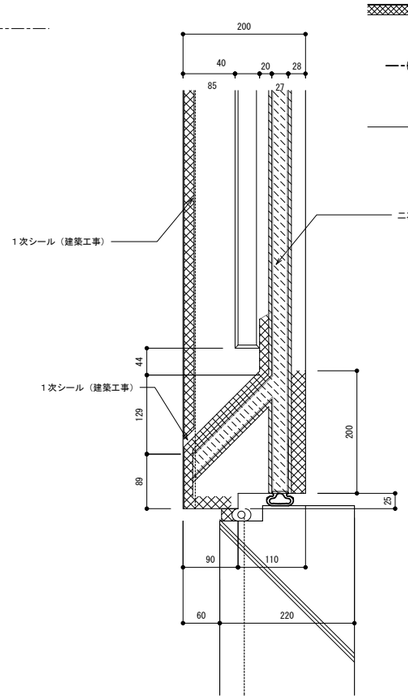
工事名			図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】　ＰＣ版詳細図（1）			2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名		縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳		A1:1/100 A3:1/200	A-234

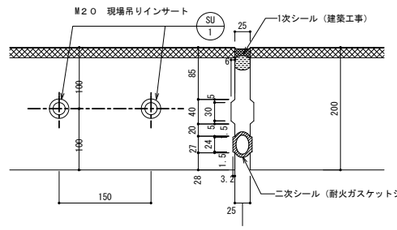


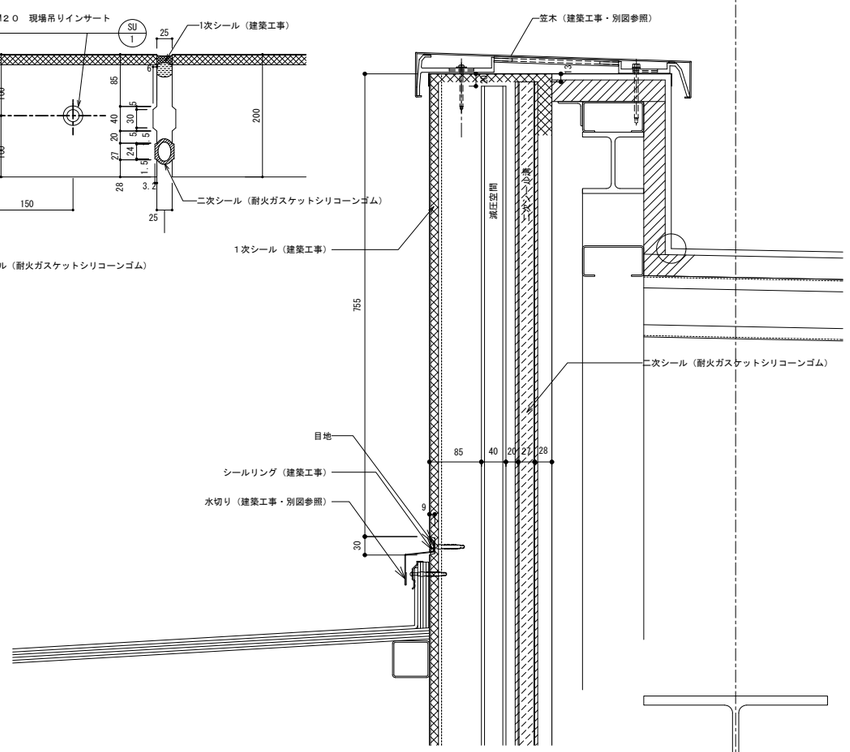
3階部分　平面割付図　A1:1/50 A3:1/100



a部　断面図　A1:1/50 A3:1/100







2階部分　平面割付図　A1:1/50 A3:1/100

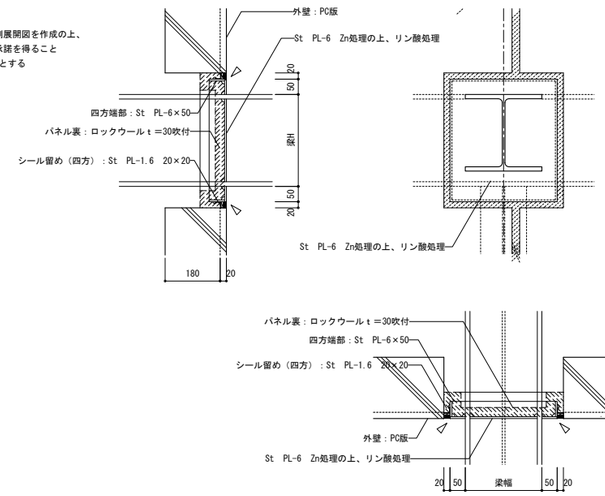
【施工順番】
① ▨ ハッチング部梁取付
②PC版取付
③ブレース、先端小梁取付

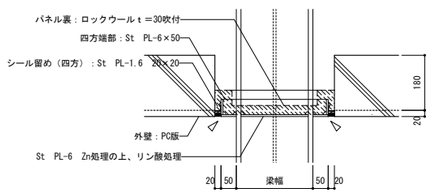
部分詳細図　A1:1/5 A3:1/10

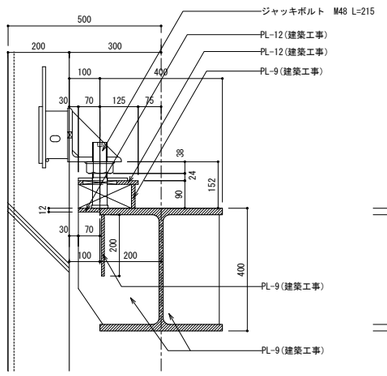
梁貫通部パネル基本詳細図

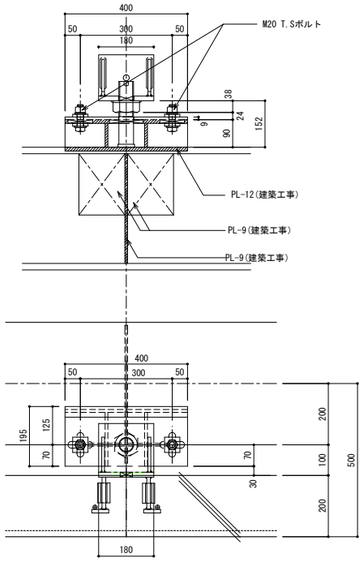
A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・パネル廻りは、建築工事
・パネルの形状（サイズ）については、PC割展開図を作成の上、
　構造及びPCメーカーと協議し、監督員の承諾を得ること
・L型ブレース貫通部についても、右図参照とする



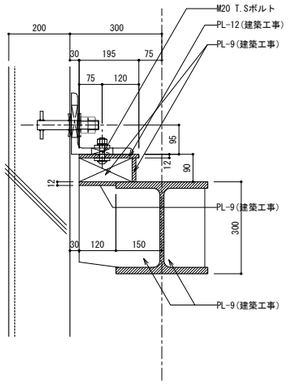


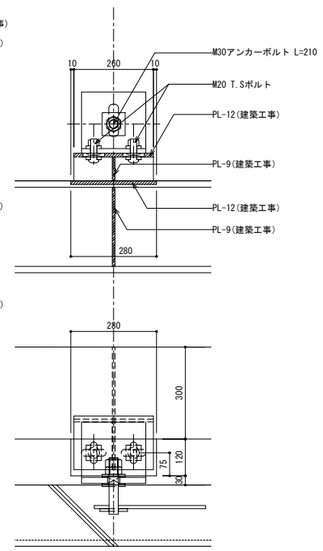




部分詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・PL-9及びPL-12等の建築工事詳細については
　構造図による
各取り合いについては、必ず施工図を作成し、
　おさまりについては十分確認・調整の上、監督員の承諾を得ること





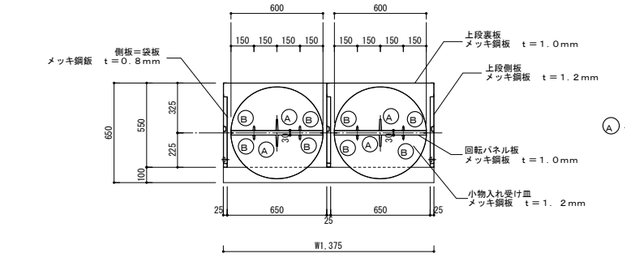
部分詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・PL-9及びPL-12等の建築工事詳細については
　構造図による
各取り合いについては、必ず施工図を作成し、
　おさまりについては十分確認・調整の上、監督員の承諾を得ること

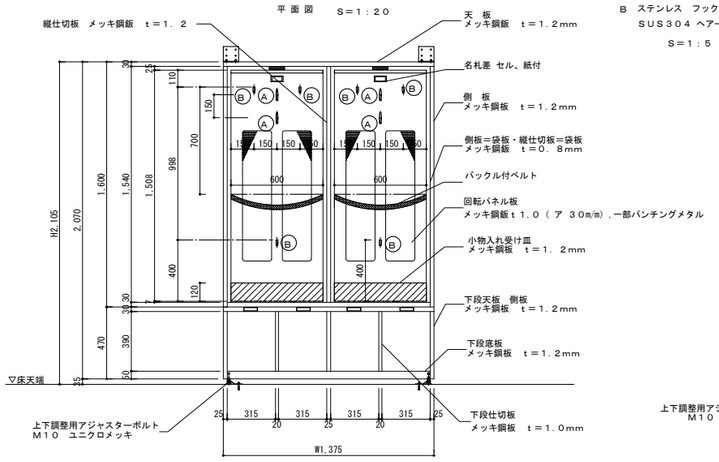
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】　ＰＣ版詳細図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-235

K01 回転式防火衣ロッカー 詳細図【出動準備スペース】

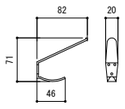
A1:1/20
A3:1/40



平 面 図 S＝1：20

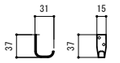


正 面 図



Ⓐ ステンレス 帽子掛け 各面４ヶ所
SUS304 ヘアーライン

S＝1：5



Ⓑ ステンレス フック
SUS304 ヘアーライン

S＝1：5

※ 回転式防火衣ロッカー

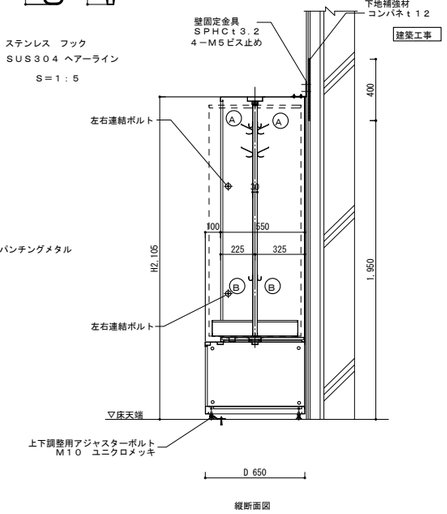
・ＲⅡ－1型 2連式（４人用）

・寸 法：W1375×D650×H2105

・塗 装：粉体焼付塗装

製作台数 ・・・ ２０ 台

※可動フック１面に３個付



縦断面図

K02 仮眠室 収納付ベッド 詳細図【１階、２階仮眠室】

A1:1/30
A3:1/60

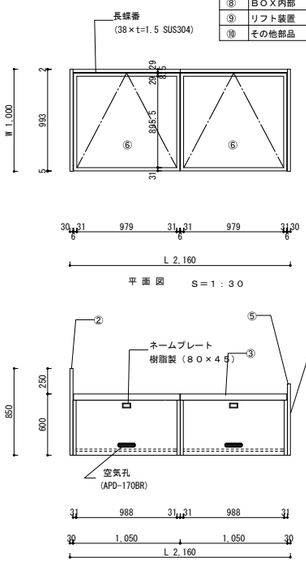
※仮眠室 収納付木製ベット（２交替用）

記号	名 称	仕 様
①	ヘッドボード	耐摩耗化粧合板（フラッシュ構造）
②	ヘッドボード小口	パネフリバンド
③	天板四方枠	耐摩耗化粧合板（フラッシュ構造） 小口 メラミン化粧板
④	フットボード	耐摩耗化粧合板（フラッシュ構造）
⑤	フットボード小口	パネフリバンド
⑥	タタミ表	合成樹脂表 t＝３５
⑦	タタミ芯	インシュレーションボード・スチロール・備長炭シート
⑧	ＢＯＸ内部	白ポリ化粧合板仕上（フラッシュ構造）
⑨	リフト装置	ガスダンパー（１ヶ所×２本 計４本）
⑩	その他部品	空気孔（樹脂製）・ネームプレート・アジャスター

・寸 法：W1000×L2160×H600

製作台数 ・・・ ３４ 台

・１階 仮眠室 ３１台
・２階 仮眠室 ３台



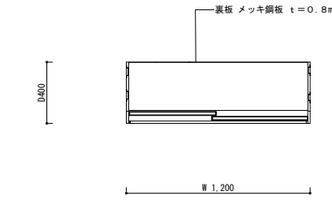
平 面 図 S＝1：30

正 面 図

断 面 図

K03 引違庫 詳細図【資機材庫（救急）】

A1:1/20
A3:1/40



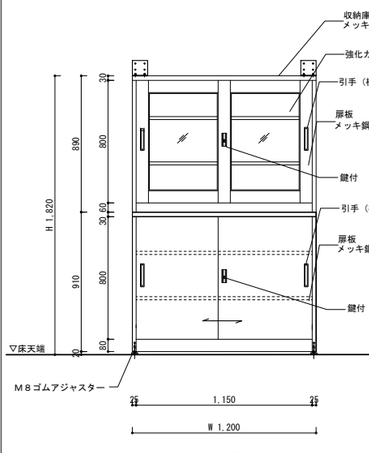
平 面 図 S＝1：20

※ 引違庫

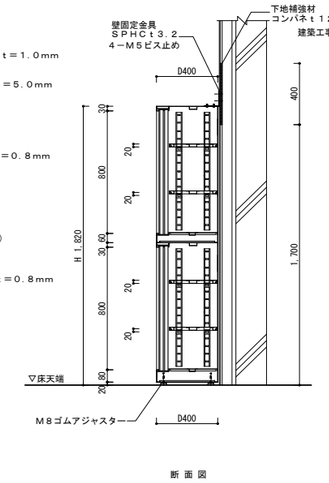
・寸 法：W1200×D400×H1820

・塗 装：粉体焼付塗装

製作台数 ・・・ ５ 台



正 面 図

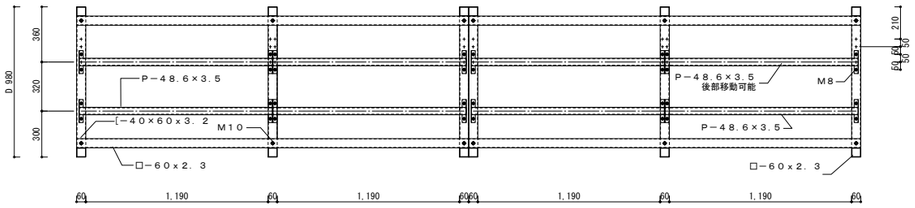


断 面 図

K04 タイヤ収納棚 詳細図【整備修繕庫】

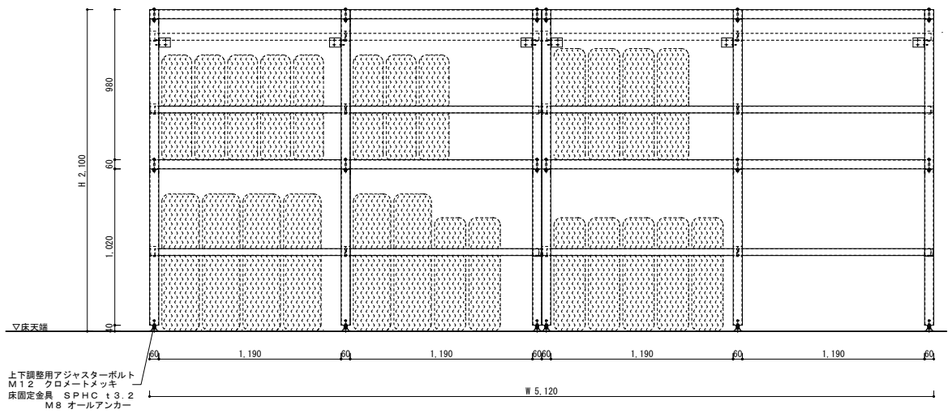
A1:1/20
A3:1/40

【整備修繕室 K－４A】

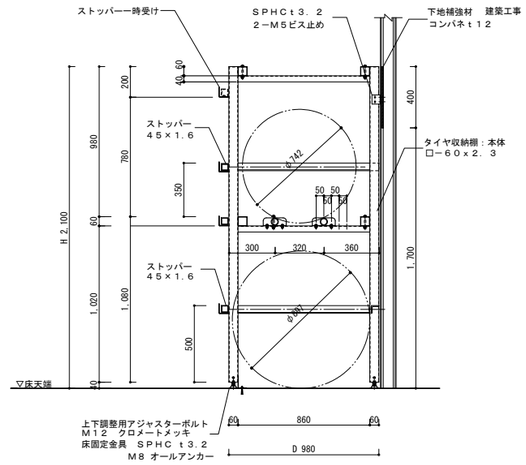


平 面 図 S＝1：20

※タイヤ収納棚
・４連式二段タイプ：K－４A
・寸法：W5120×D980×H2100
・塗装：粉体焼付塗装
・制作台数１台



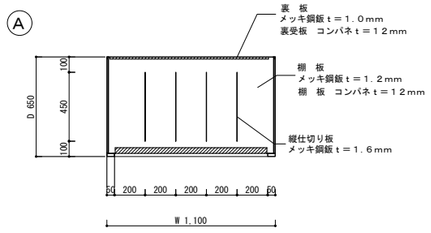
正 面 図 S＝1：20



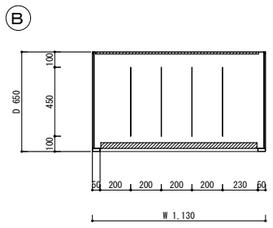
断 面 図 S＝1：20

工事名			図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【消防本庁（署）棟】 家具図（１）			2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名		縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳		A1:各記 A3:各記	A-236

K０５　ボンベ収納棚 詳細図【空気充填室・ボンベ保管庫】　A1:1/20 A3:1/40



平 面 図 S＝１：２０



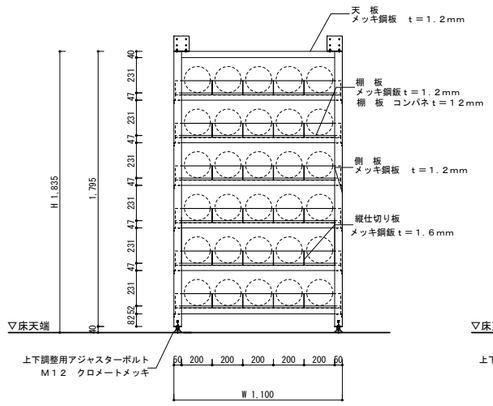
平 面 図 S＝１：２０

※ボンベ収納棚 Ａ
- 寸法：Ｗ１１００×Ｄ６５０×Ｈ１８３５
- 空気呼吸器用ボンベ収納本数：５本×６段＝３０本／１台
- 塗装：粉体焼付塗装

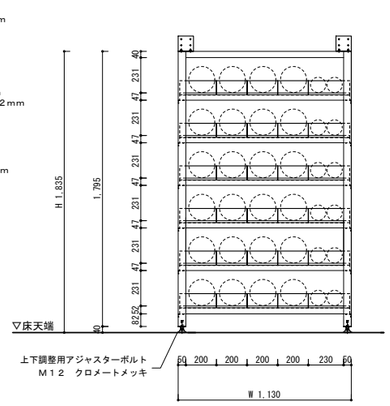
製作台数 ・・・ １ 台

※ボンベ収納棚 Ｂ
- 寸法：Ｗ１１３０×Ｄ６５０×Ｈ１８３５
- 空気呼吸器用ボンベ収納本数：４本×６段＝２４本
- 酸素ボンベ（２Ｌ）収納本数：２本×６段＝１２本
- 塗装：粉体焼付塗装

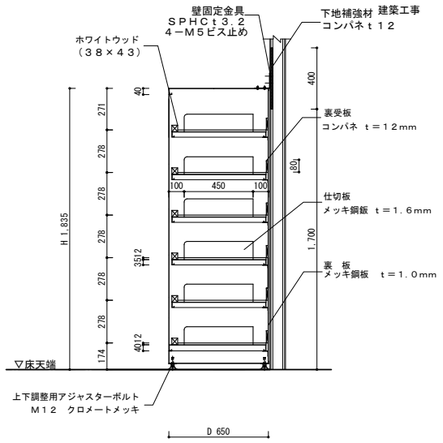
製作台数 ・・・ ２ 台



正 面 図

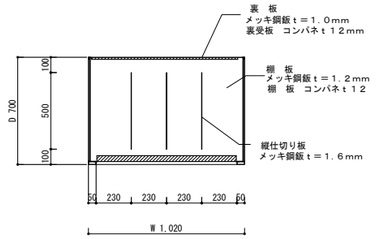


正 面 図



断 面 図

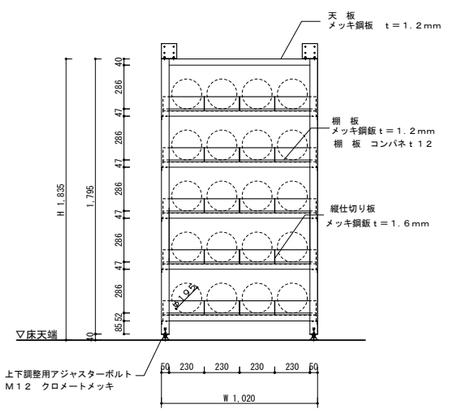
K０６　潜水用ボンベ収納棚 詳細図【空気充填室・ボンベ保管庫】　A1:1/20 A3:1/40



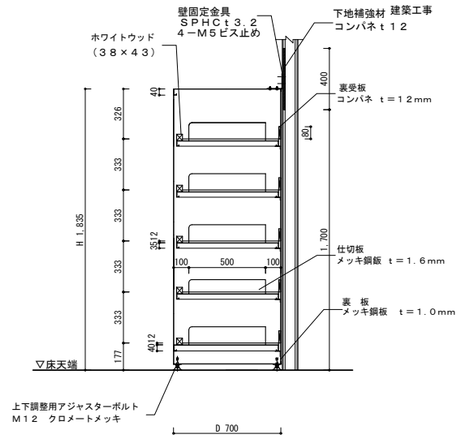
平 面 図 S＝１：２０

※潜水用ボンベ収納棚
- 寸法：Ｗ１０２０×Ｄ７００×Ｈ１８３５
- ボンベ収納本数：４本×５段＝２０本
- 塗装：粉体焼付塗装

製作台数 ・・・ １ 台



正 面 図

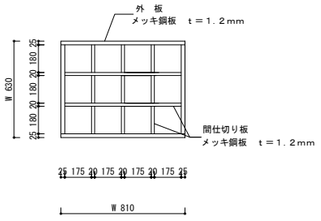


断 面 図

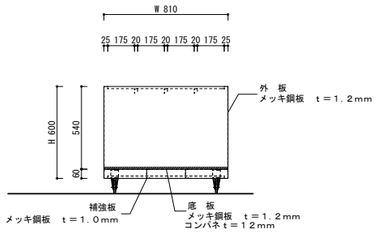
K０７　救急用酸素ボンベ収納棚 詳細図【空気充填室・ボンベ保管庫、資機材庫（救急）】　A1:1/20 A3:1/40

※救急用酸素ボンベ収納棚
- 寸法：Ｗ８１０×Ｄ６３０×Ｈ６００
- 酸素ボンベ（１０Ｌ）収納本数：１２本
- 塗装：粉体焼付塗装

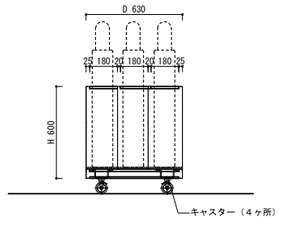
製作台数 ・・・ ２ 台



平 面 図 S＝１：２０

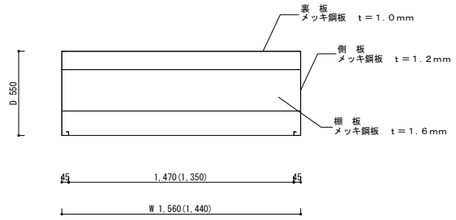


正 面 図



断 面 図

K０８　消防ホース収納棚 詳細図【資機材庫（救助）】　A1:1/20 A3:1/40



平 面 図 S＝１：２０

※ 消防ホース収納棚

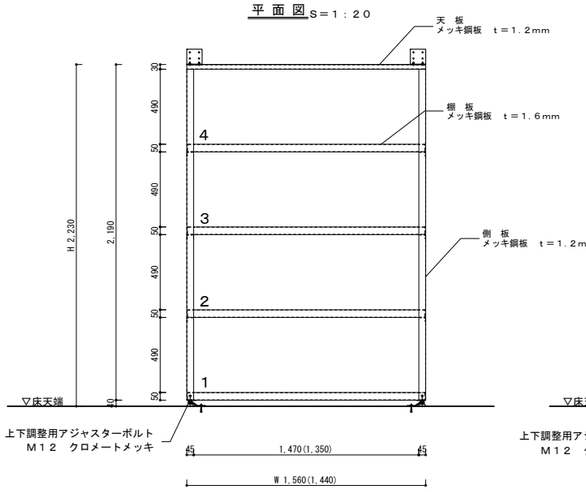
Ⓐ
- 寸 法：Ｗ１５６０×Ｄ５５０×Ｈ２２３０
- ホース収納棚：１３本×４段＝５２本／１台

製作台数 ・・・ ２ 台

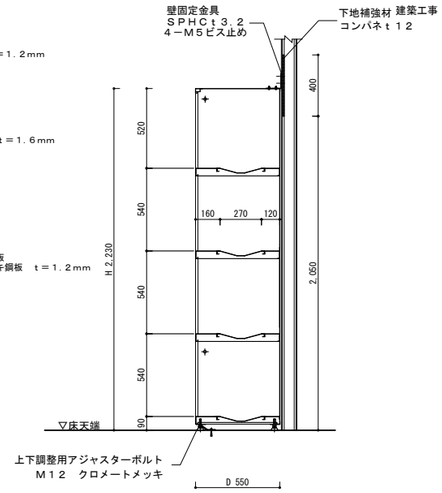
Ⓑ
- 寸 法：Ｗ１４４０×Ｄ５５０×Ｈ２２３０
- ホース収納棚：１２本×４段＝４８本／１台

製作台数 ・・・ ３ 台

- 塗 装：粉体焼付塗装



正 面 図

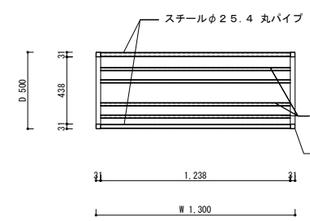


断 面 図

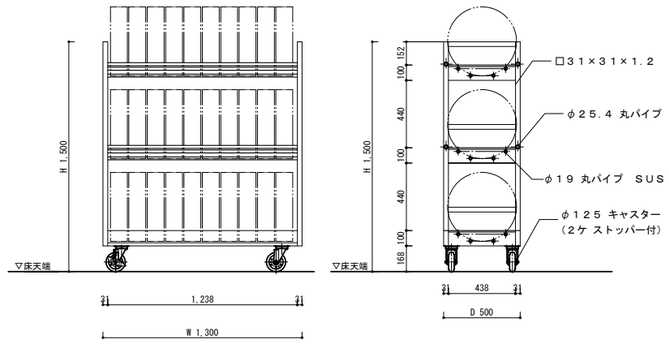
K０９　ホース運搬ラック 詳細図【資機材庫（救助）】　A1:1/20 A3:1/40

※ホース運搬ラック
- 寸法：Ｗ１３００×Ｄ５００×Ｈ１５００
- 塗装：粉体焼付塗装

製作台数 ・・・ １ 台



平 面 図 S＝１：２０



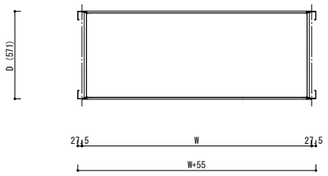
正 面 図　　断 面 図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 家具図（２）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-237

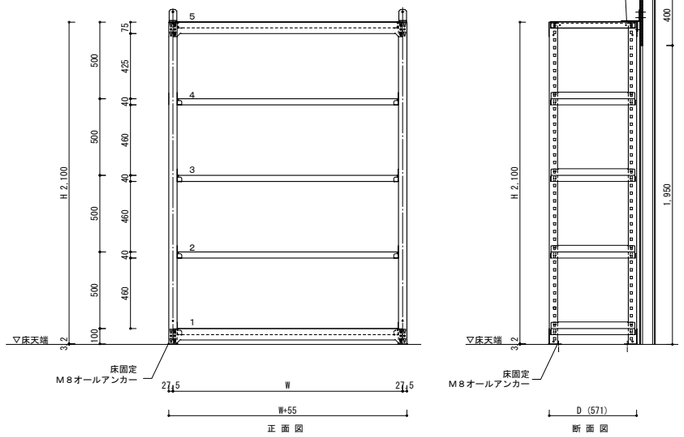
K１０　中量ラック 詳細図

A1:1/20
A3:1/40

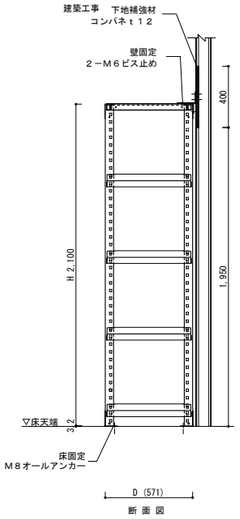
基本型



平 面 図　Ｓ＝１：２０

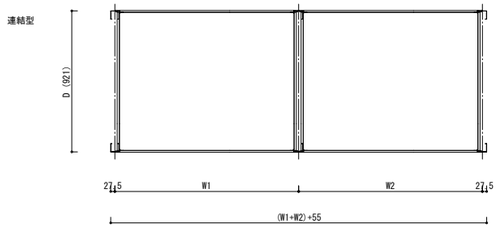


正 面 図

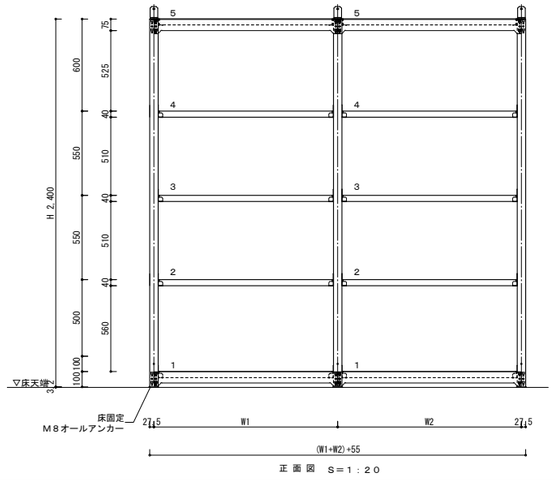


断 面 図

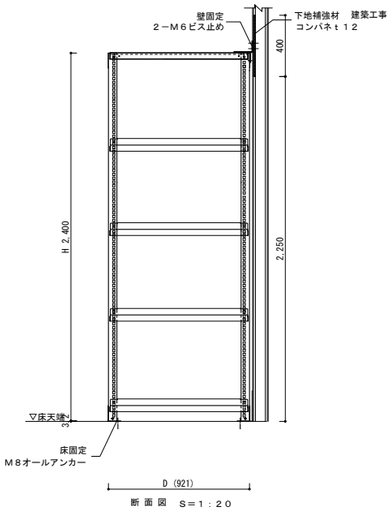
連結型



平 面 図　Ｓ＝１：２０



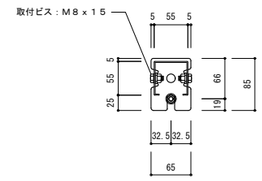
正 面 図　Ｓ＝１：２０

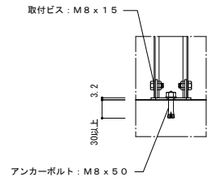


断 面 図　Ｓ＝１：２０

中量ラック				
荷　重	３００ｋｇ／段			
塗　装	本体　粉体塗装（35～40μｍ）　サングレー			
室　名		寸　法	段　数	台　数
庁舎１階 倉　庫（４）	①	Ｗ１２００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	基本　１台
	②	Ｗ　９００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	連結　１台
倉　庫（資機材庫）	③	Ｗ１５００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	基本　２台
	④	Ｗ１５００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	連結　２台
空気充填室・ボンベ保管庫	⑥	Ｗ　９００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	基本　１台
整備修繕庫	⑦	Ｗ１５００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	基本　１台
資機材庫（消防）	⑧	Ｗ１５００×Ｄ９２１×Ｈ２４００	天地５段	基本　１台
	⑨	Ｗ１５００×Ｄ９２１×Ｈ２４００	天地５段	連結　２台
資機材庫（救助）	⑩	Ｗ１８００×Ｄ９２１×Ｈ２４００	天地５段	基本　１台

制作台数　１２台



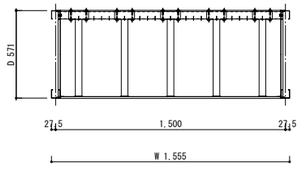


床固定詳細図　Ｓ＝１：５

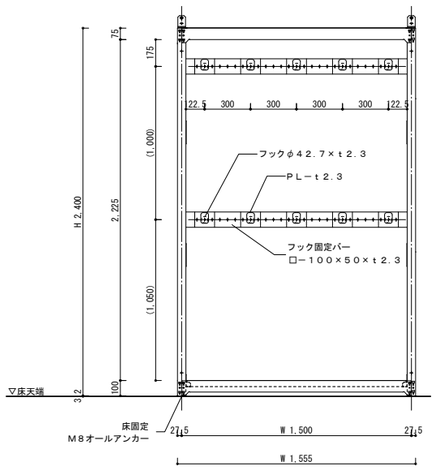
K１１　ロープラック 詳細図【資機材庫（消防）】

A1:1/20
A3:1/40

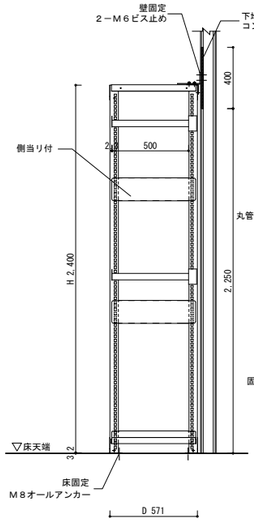
ロープ ラック			
塗　装	本体　粉体塗装（35～40μｍ）　サングレー		
室　名	寸法	段数	台数
資機材庫（救助）	Ｗ１５００×Ｄ５７１×Ｈ２４００	天地２段	基本　１台
特　記	ロープ掛けバー、側当り付		



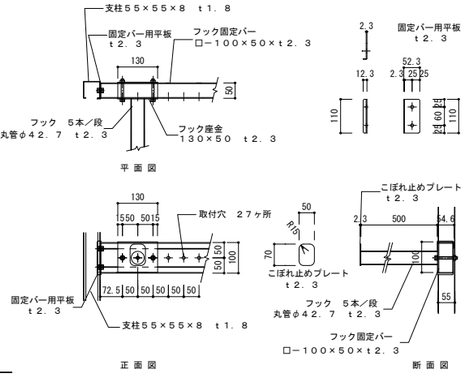
平 面 図　Ｓ＝１：２０



正 面 図



断 面 図

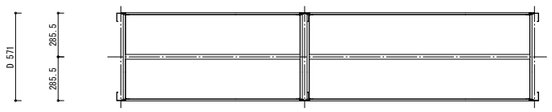


フック詳細図　A1:1/10　A3:1/20

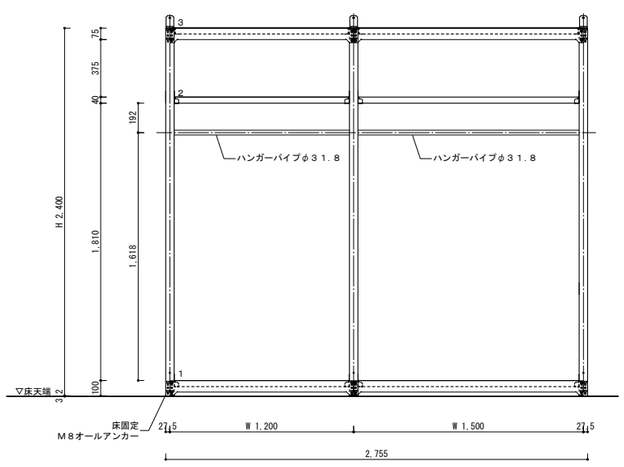
K１２　アクアラングラック 詳細図【資機材庫（救助）】

A1:1/20
A3:1/40

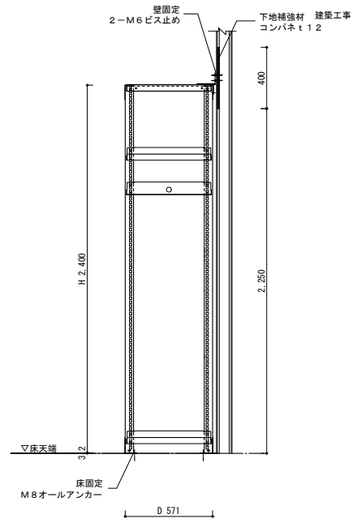
アクアラング ラック			
荷　重	３００ｋｇ／段		
塗　装	本体　粉体塗装（35～40μｍ）　サングレー		
室　名	寸法	段数	台数
資機材庫（消防）	Ｗ１２００×Ｄ５７１×Ｈ２４００	天地３段	基本　１台
	Ｗ１５００×Ｄ５７１×Ｈ２４００	天地３段	連結　１台
特　記	ハンガーパイプ付		



平 面 図　Ｓ＝１：２０



正 面 図

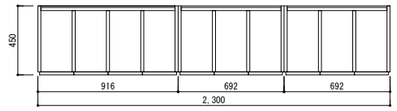


断 面 図

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 家具図（３）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-238

K１３　1階 男子更衣室（畳コーナ横）　ブライベートロッカー

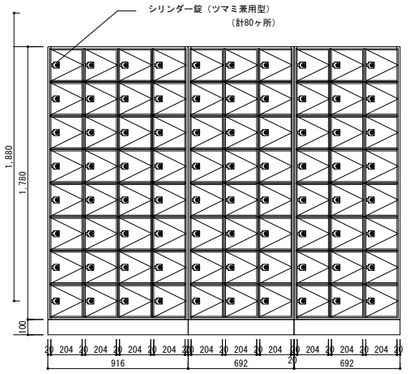
A1:1/20
A3:1/40

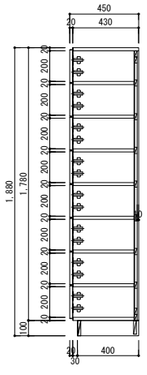


10列x8段=80人用

品名	ブライベートロッカー	品番	TK-R1.ZZ

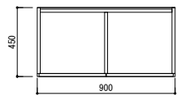
仕　様	
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼
背 板	樹脂コート化粧MDF貼
開 戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番（キャッチ付1/無し1） シリンダー錠（ツマミ兼用型）
台 輪	ポリ合板貼





K１４　１階　女子更衣室　ブライベートロッカー

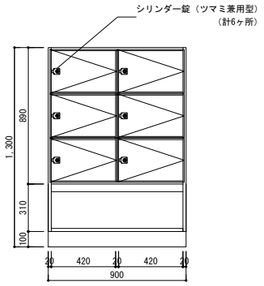
A1:1/20
A3:1/40

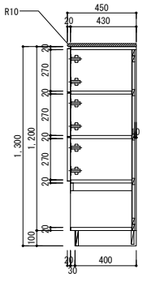


2列x3段=6人用

品名	ブライベートロッカー	品番	TK-R1.ZZ

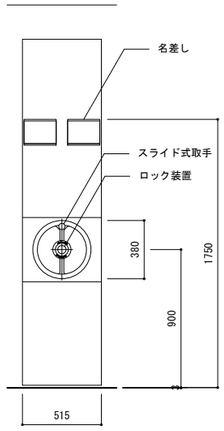
仕　様	
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼
背 板	樹脂コート化粧MDF貼
開 戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付) シリンダー錠（ツマミ兼用型）
台 輪	ポリ合板貼

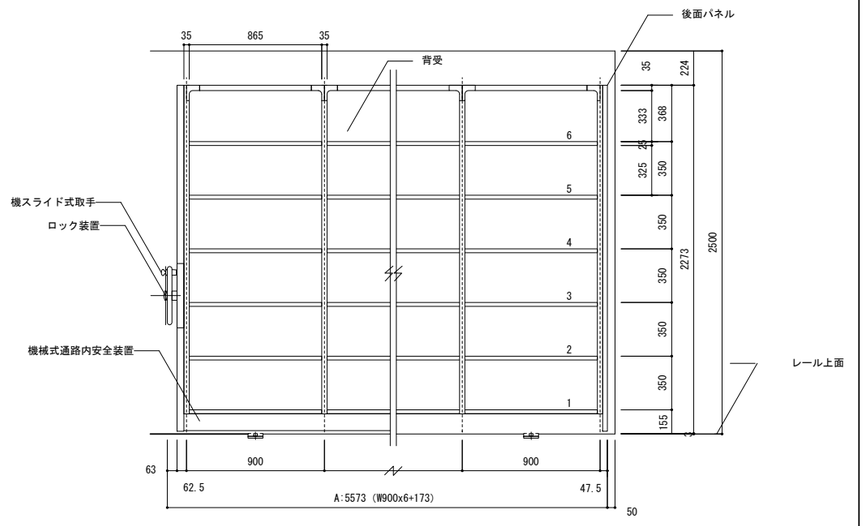




K１６　書庫　Aタイプ

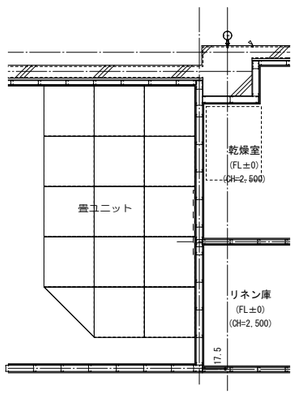
A1:1/20
A3:1/40



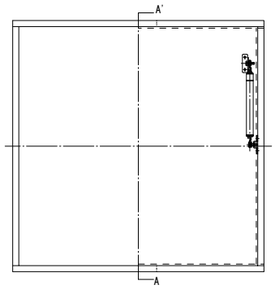


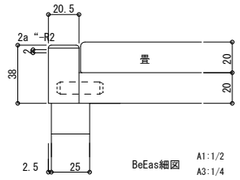
K１５　畳ユニット

A1:1/20
A3:1/40

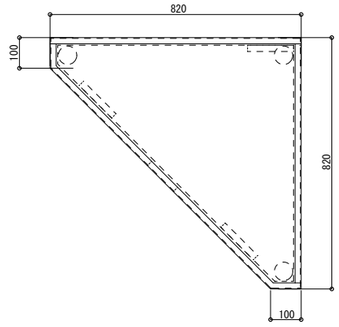


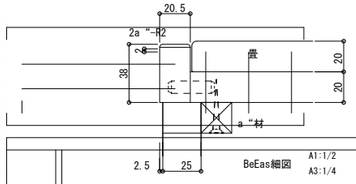
レール上面



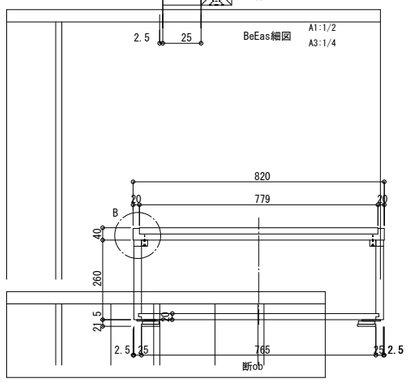


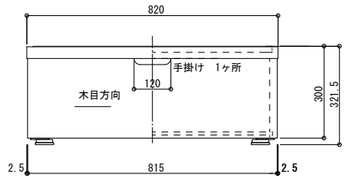
BeEas細図　A1:1/2　A3:1/4

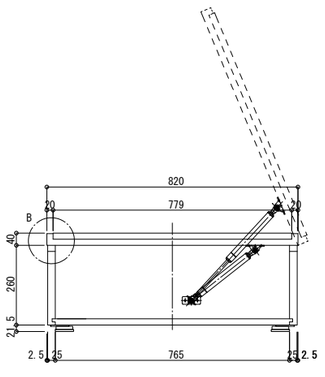




BeEas細図　A1:1/2　A3:1/4



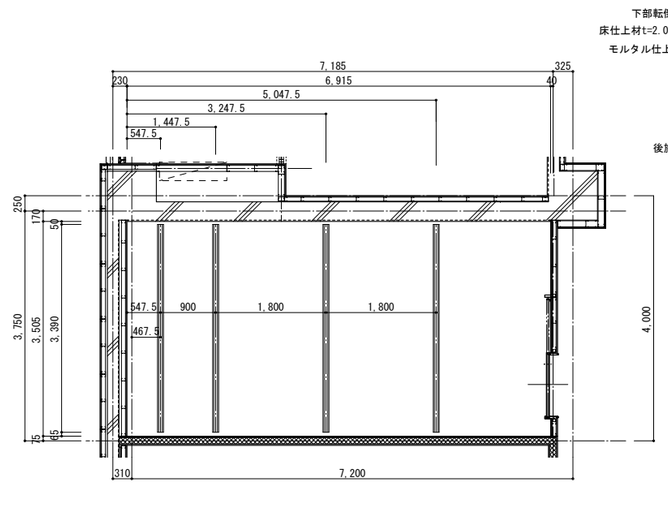


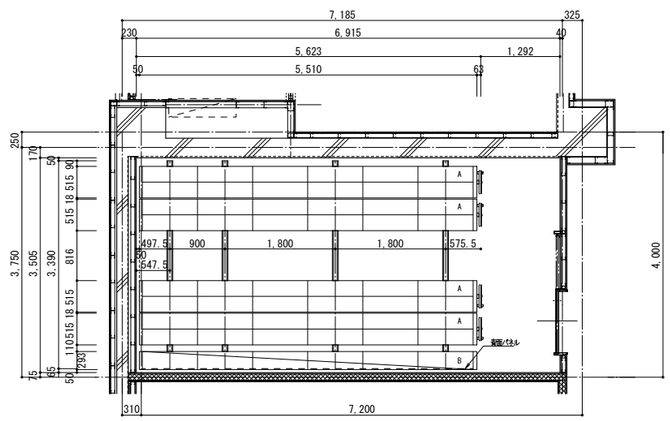


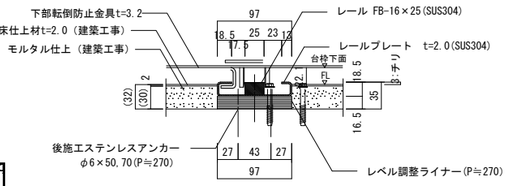
A-A' 断ob

K１７　書架　（書庫2階）

A1:1/50
A3:1/100







レール間床仕上面は図面寸法より高くならないよう打設願います。
＊（台枠下面とのクリアランス保持のため）

埋込レール詳細図　S＝1／4

数量表

	型　式	台　数	延 連 数	延 段 数
A	可動 複式6連 有効6段 AKZ 376- 257MMR／M2S4	4	48	288
B	固定 単式6連 有効6段 AKZ 376- 257S1R／02	1	6	36
	合　計	5 台	54 連	324 段

ハンドル式移動棚 仕様

附属品	：	後面パネル・背受（単式は背面パネル）
安全装置	：	下部転倒防止金具・※1 免震装置（ロック解除装置・エンドストッパー接触防止装置・
	：	エンドストッパー接近防止機能）・※2 機械式通路内安全装置・
	：	※3 傾斜スライド棚（固定棚の5～6段目）
操作	：	円形ハンドル（?380）スライド式取手付、センターロック方式
台枠	：	溶接構造、支柱落し込み式
車輪	：	機械構造用炭素鋼（φ118）
車輪軸	：	磨棒鋼（φ25）、両車輪軸（駆動、従動軸）共に通し軸
駆動方式	：	中間シャフトを介する後輪駆動方式
レール	：	埋込レール（FB-16x25・レールプレート 共に SUS304）
棚構造	：	天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造（耐震ガセット方式）
棚板	：	可動式（側受兼用棚受式）で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	：	形状は□-35x30、但し、中支柱（前面パネル部）の形状は、□-40×40
		複柱式（単式棚は2本柱、複式棚は3本柱）
棚板耐荷重		40kg／段（等分布荷重）
間口耐荷重		450kg／複式1連 ・ 300kg／単式1連
塗装	：	ホワイト系色（SSS-00）～ 前面パネル・後面パネル・棚本体　<メーカー標準>
	：	グレー系色（SMG-10）～ 台枠　<メーカー標準>
	：	シルバー系色（SP-570）～ ハンドル部パネル　<メーカー標準>
	：	アクリル系樹脂塗装（静電塗装）及び、ポリエステル系樹脂塗装（粉体塗装）
	：	JIS K5651 2種2号（同等以上）
塗布剤	：	ハンドル部に消臭・抗菌・防汚・防カビ・抗ウイルス機能を発揮する液体を塗布
製作	：	ISO9001　及び　ISO14001　認証取得工場

※1 免震装置 説明
ロック解除装置とは
ロック装置がロック状態時に、震度5弱以上の揺れが発生した場合、自動的にロックが解除され、
車輪が拘束された状態から自由に回転できる状態にする装置とします。

エンドストッパー接触防止装置とは
常にレールのエンドストッパーと棚の間に、適当なスペースを自動的に作る装置で、地震時に
エンドストッパーにより棚が押されて走ることを防止するものとします。

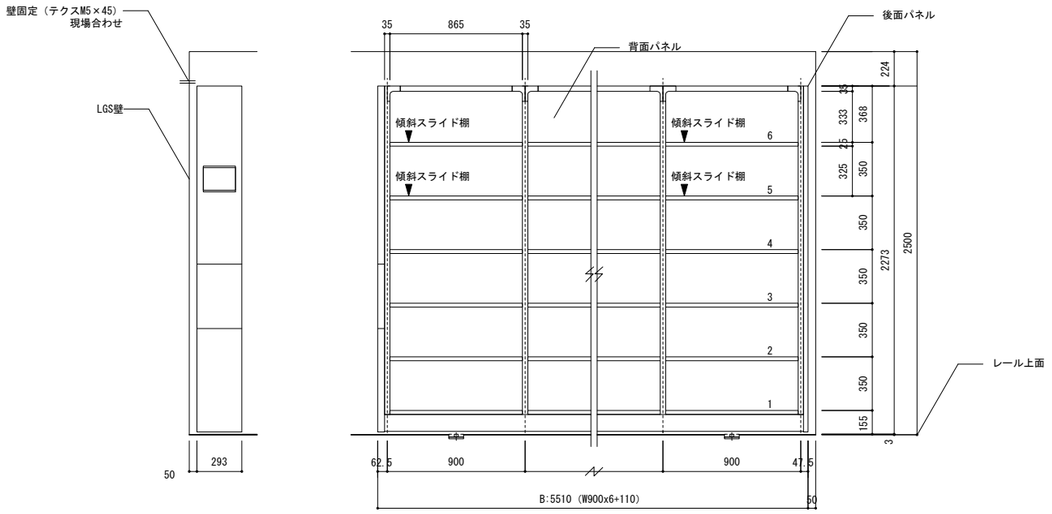
エンドストッパー接近防止機能とは
地震発生中、棚がレールのエンドストッパーに接近しないよう、中央部へ返げる機構とします。

※2 機械式通路内安全装置 説明
可動棚における台枠前の両面に装備される安全装置のことで、追加つつある棚を機械的に急停止させ、
安全状態になると自動復帰するもので、開きつつある棚は停止させない構造のものとします。

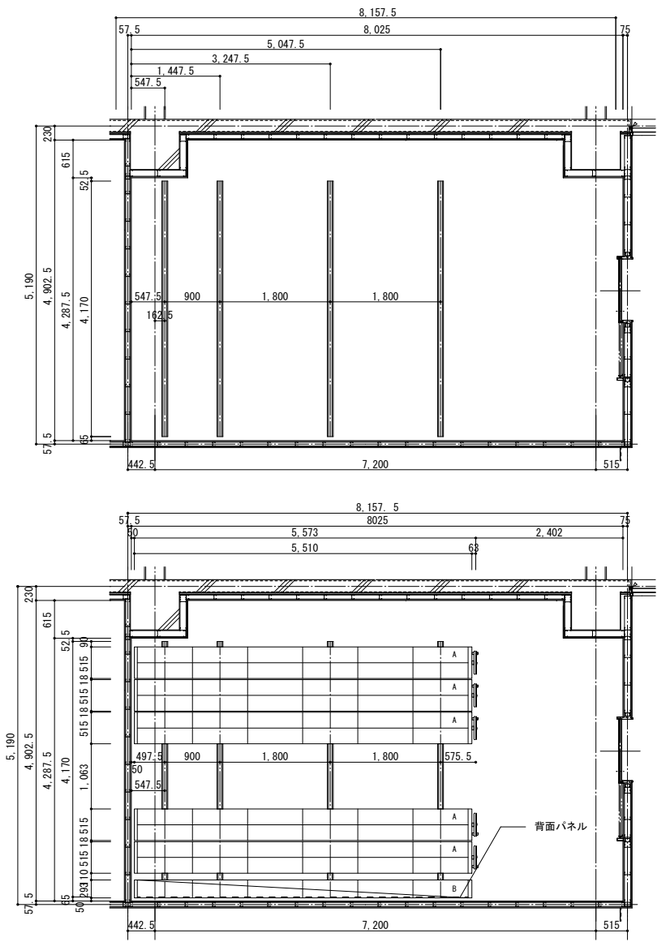
※3 傾斜スライド棚 説明
震度5程度の地震時において棚板をスライド傾斜させることにより、図書資料等の収納物の落下を
軽減する落下軽減システムとします。
棚板スライド傾斜後は棚板の両端を手で押すことにより、元の状態へ復旧できる構造とします。
収納有効開口寸法には影響を及ぼさない構造とします。

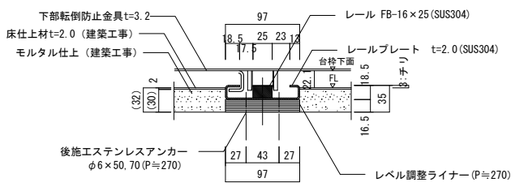
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 家具図（４）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-239

K１８　書庫　Bタイプ　　A1:1/20 A3:1/40



K１９　書架　（書庫3階）　　A1:1/50 A3:1/100





レール間床仕上面は図面寸法より高くならないよう打設願います。
＊（台枠下面とのクリアランス保持のため）

埋込レール詳細図　S=1／4

数量表

	型　　式	台　数	延 連 数	延 段 数
A	可動 複式6連 有効6段 AKZ 376- 257MMR／M2S4	5	60	360
B	固定 単式6連 有効6段 AKZ 376- 257SIR／D2	1	6	36
	合　　計	6 台	66 連	396 段

ハンドル式移動棚 仕様

附属品	：	後面パネル・背受（単式は背面パネル）
安全装置	：	下部転倒防止金具・※1 免震装置（ロック解除装置・エンドストッパー接触防止装置・
	：	エンドストッパー接近防止機能）・※2 機械式通路内安全装置・
	：	※3 傾斜スライド棚（固定棚の5~6段目）
操作	：	円形ハンドル（?380）スライド式取手付、センターロック方式
台枠	：	溶接構造、支柱落し込み式
車輪	：	機械構造用炭素鋼（φ118）
車輪軸	：	磨棒鋼（φ25）、両車輪軸（駆動、従動軸）共に通し軸
駆動方式	：	中間シャフトを介する後輪駆動方式
レール	：	埋込レール（FB-16x25・レールプレート 共に SUS304）
棚構造	：	天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造（耐震ガセット方式）
棚板	：	可動式（側受兼用棚受式）で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	：	形状はコ-35x30、但し、中支柱（前面パネル部）の形状は、口-40×40
		複柱式（単式棚は2本柱、複式棚は3本柱）
棚板耐荷重:		40kg／段（等分布荷重）
間口耐荷重:		450kg／複式1連　・ 300kg／単式1連
塗装	：	ホワイト系色（SSS-00）～ 前面パネル・後面パネル・棚本体　<メーカー標準>
	：	グレー系色（SMG-10）～ 台枠　<メーカー標準>
		シルバー系色（SP-570）～ ハンドル部パネル　<メーカー標準>
	：	アクリル系樹脂塗装（静電塗装）及び、ポリエステル系樹脂塗装（粉体塗装）
	：	JIS K5651 2種2号（同等以上）
塗布剤	：	ハンドル部に消臭・抗菌・防汚・防カビ・抗ウイルス機能を発揮する液体を塗布
製作	：	ISO9001　及び　ISO14001　認証取得工場

※1 免震装置 説明
ロック解除装置とは
ロック装置がロック状態時に、震度5弱以上の揺れが発生した場合、自動的にロックが解除され、
車輪が拘束された状態から自由に回転できる状態にする装置とします。

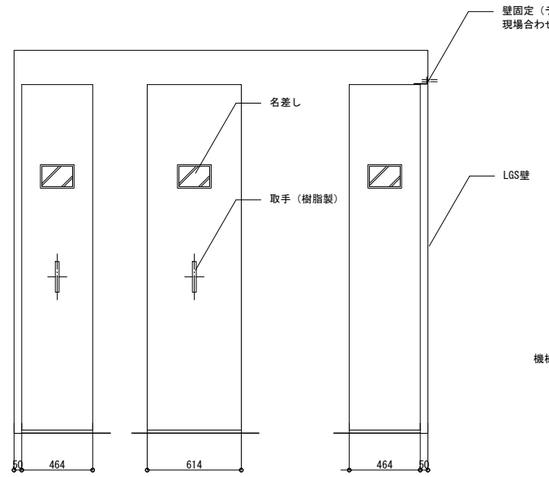
エンドストッパー接触防止装置とは
常にレールのエンドストッパーと棚の間に、適当なスペースを自動的に作る装置で、地震時に
エンドストッパーにより棚が押されて走ることを防止するものとします。

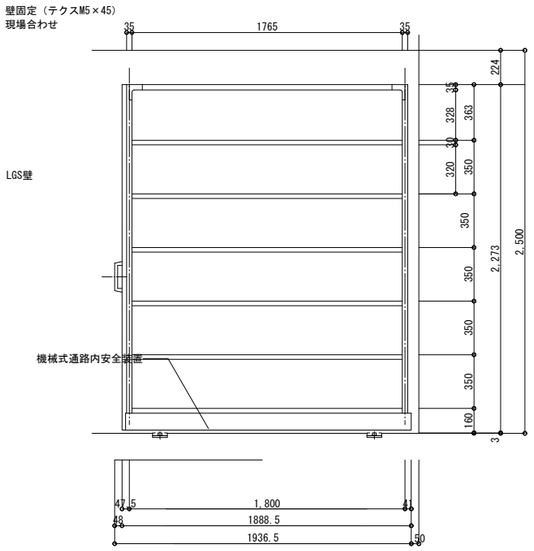
エンドストッパー接近防止機能とは
地震発生中、棚がレールのエンドストッパーに接近しないよう、中央部へ逃げる機構とします。

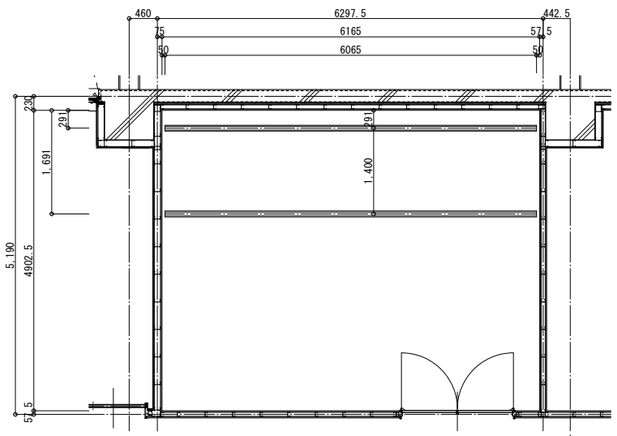
※2 機械式通路内安全装置 説明
可動棚における台枠部の両面に装備される安全装置のことで、迫りつつある棚を機械的に急停止させ、
安全状態になると自動復帰するもので、開きつつある棚は停止させない構造のものとします。

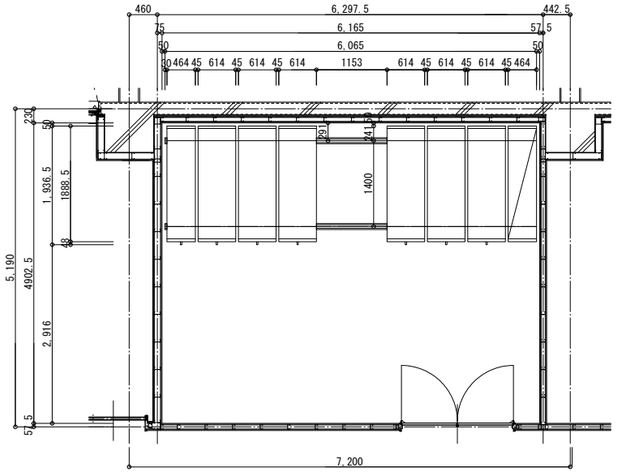
※3 傾斜スライド棚 説明
震度5程度の地震時において棚板をスライド傾斜させることにより、図書資料等の収納物の落下を
軽減する落下軽減システムとします。
棚板スライド傾斜後は棚板の両端を手で押すことにより、元の状態へ復旧できる構造とします。
収納有効間口寸法には影響を及ぼさない構造とします。

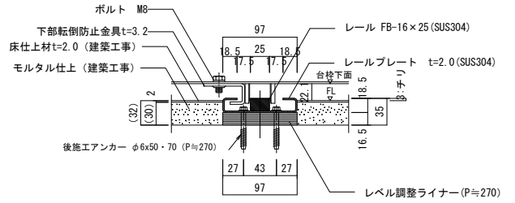
K２０　書架　（倉庫3階）　　A1:1/50 A3:1/100











レール間床仕上面は図面寸法より高くならないよう打設願います。
＊（台枠下面とのクリアランス保持のため）

埋込レール詳細図　S=1／4

数量表

	型　　式	台　数	延 連 数	延 段 数
A	可動 単式1連 有効6段 KSU 671- DD7SMR／S4	6	6	36
B	可動 単式1連 有効6段 KSU 671- 457SMR／S4	1	1	6
C	固定 単式1連 有効6段 KSU 671- 457SIR	1	1	6
	合　　計	8 台	8 連	48 段

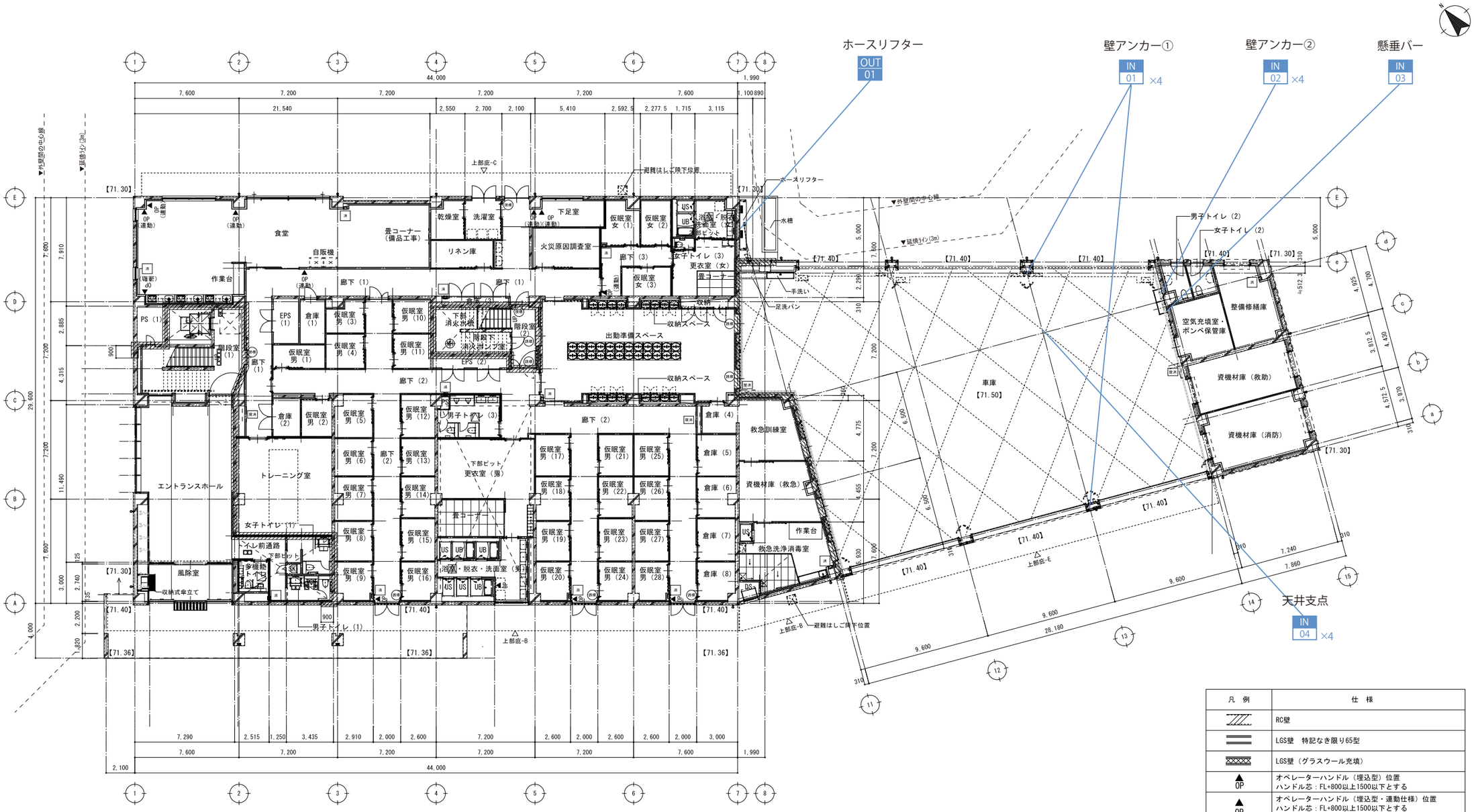
DD=棚板奥行 D570mm

手引き式移動棚 仕様

安全装置	：	下部転倒防止金具 ・ ※ 機械式通路内安全装置
操作	：	手引き式（樹脂製大型取手付）
台枠	：	溶接構造、支柱落し込み式
車輪	：	機械構造用炭素鋼（φ118）
車輪軸	：	磨棒鋼（φ25）、両車輪軸共に通し軸
レール	：	埋込レール（FB-16x25・レールプレート 共に SUS304）
棚構造	：	天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造（耐震ガセット方式）
棚板	：	25mmピッチ可動式（側受兼用棚受式）
支柱	：	コ-35x30、複柱式（単式棚は2本）
棚板耐荷重:		100kg／段（等分布荷重）
間口耐荷重:		300kg／単式1連
塗装	：	ホワイト系色（SSS-00）～ 前面パネル・棚本体　<メーカー標準>
	：	グレー系色（SMG-10）～ 台枠　<メーカー標準>
	：	アクリル系樹脂塗装（静電塗装）及び、ポリエステル系樹脂塗装（粉体塗装）
	：	JIS K5651 2種2号（同等以上）
塗布剤	：	取手部に消臭・抗菌・防汚・防カビ・抗ウイルス機能を発揮する液体を塗布
製作	：	ISO9001　及び　ISO14001　認証取得工場

※ 機械式通路内安全装置 説明
可動棚における台枠部の両面に装備される安全装置のことで、迫りつつある棚を機械的に急停止させ、
安全状態になると自動復帰するもので、開きつつある棚は停止させない構造のものとします。

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 家具図（５）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-240



1階平面図

1FL=71.40

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、71.30とする。

番号	消防訓練金物名称	取付	合計	庁舎1階	庁舎2階
IN 01	壁アンカー①	［壁付］	8	8	-
IN 02	壁アンカー②	［壁付］	4	4	-
IN 03	懸垂バー	［壁付］	1	1	-
IN 04	天井支点	［梁付］	4	-	4
OUT 01	ホースリフター	［壁付］	1	1	-

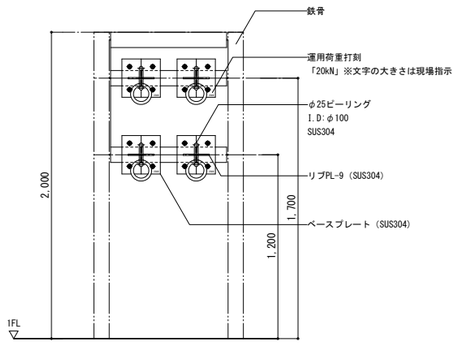
凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	LGS壁（グラスウール充填）
▲ OP	オペレーターハンドル（埋込型）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
▲ OP （連動）	オペレーターハンドル（埋込型・連動仕様）位置 ハンドル芯：FL+800以上1500以下とする
【71.**】	特記以外の床レベルを示す
	床下点検口　600角（防臭・防滴型）
錆	錆鉄製マンホールΦ600（防臭・防滴）
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(埋込型)　※消火器：建築工事
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
誘標	誘導標識：建築工事
	面積区画範囲を示す
	異種用途区画範囲を示す

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【消防本庁（署）棟】消防訓練金物キープラン	2022/06

管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOIEC 株式会社ニュージェック 小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-241

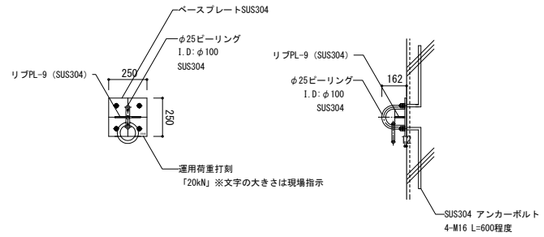
IN 01	壁アンカー①	個数：4	A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN

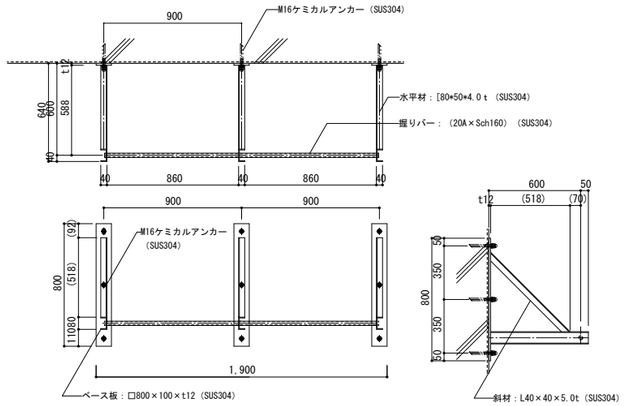


IN 02	壁アンカー②	個数：4	A1:1/20 A3:1/40

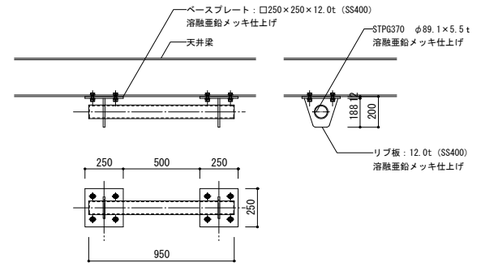
運用最大荷重：20KN



IN 03	懸垂バー	個数：1	A1:1/20 A3:1/40



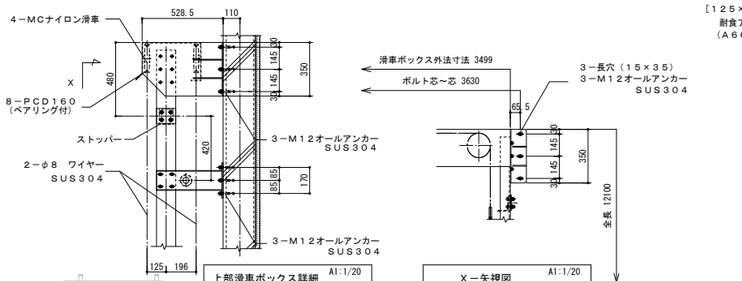
IN 04	天井支点	個数：4	A1:1/20 A3:1/40



***	***	A1:- A3:-

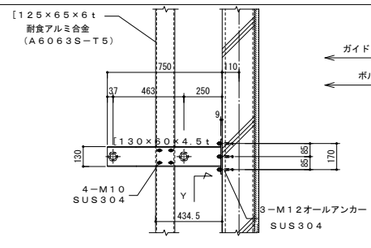
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 消防訓練金物図（１）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-242

OUT 01	ホースリフター　詳細図	個数：1	A1:各記 A3:各記

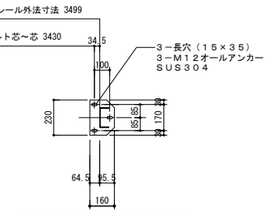


上部滑車ボックス詳細　A1:1/20 A3:1/40

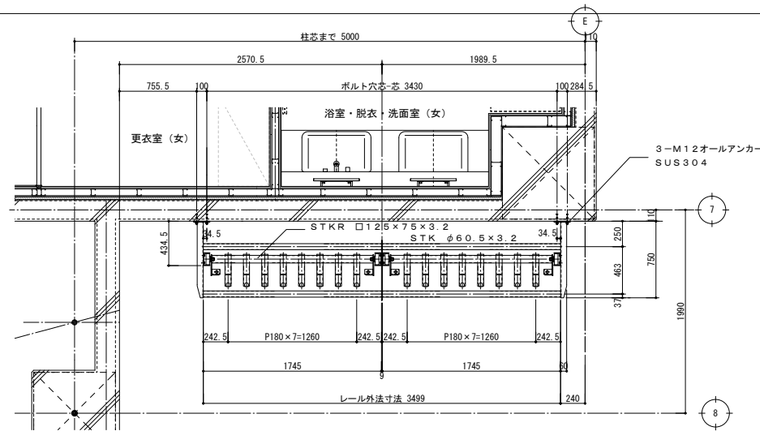
X－矢視図　A1:1/20 A3:1/40



レールブラケット詳細　A1:1/20 A3:1/40



Y－矢視図　A1:1/20 A3:1/40



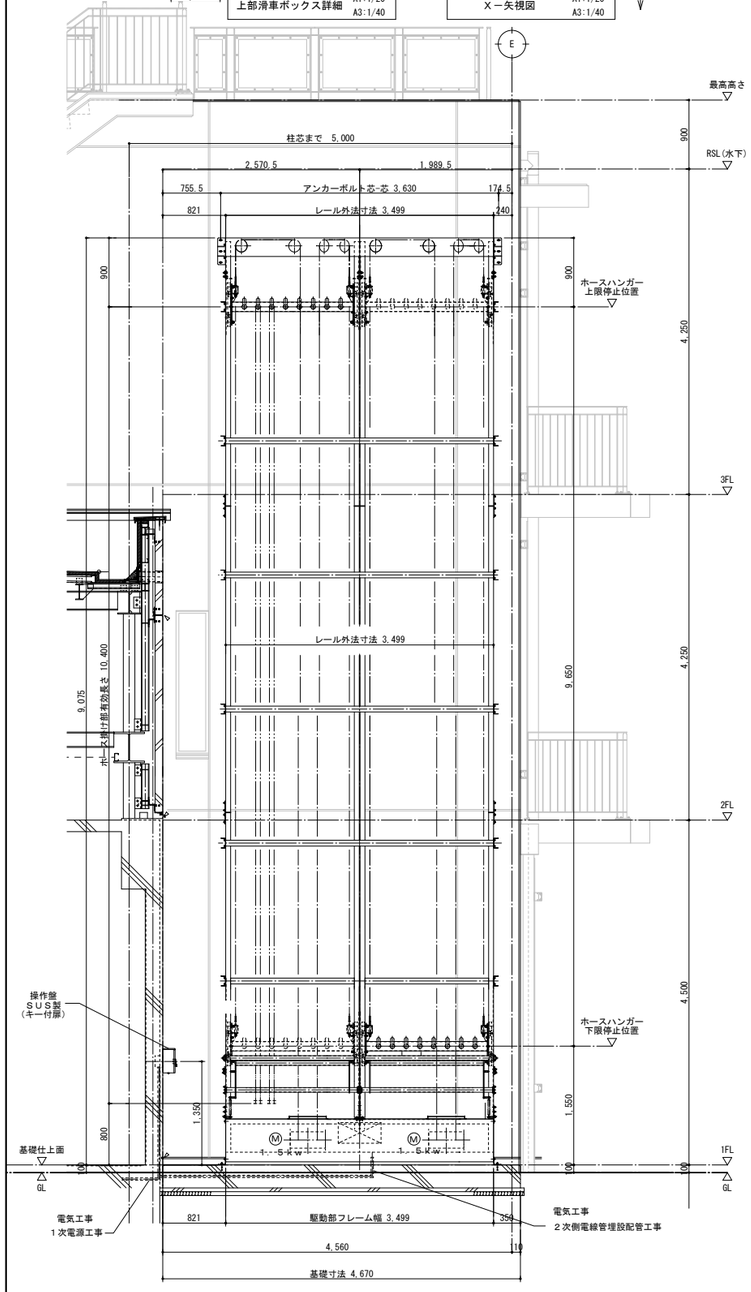
ハンガー及びレールブラケット平面図　A1:1/30 A3:1/60

仕様概略

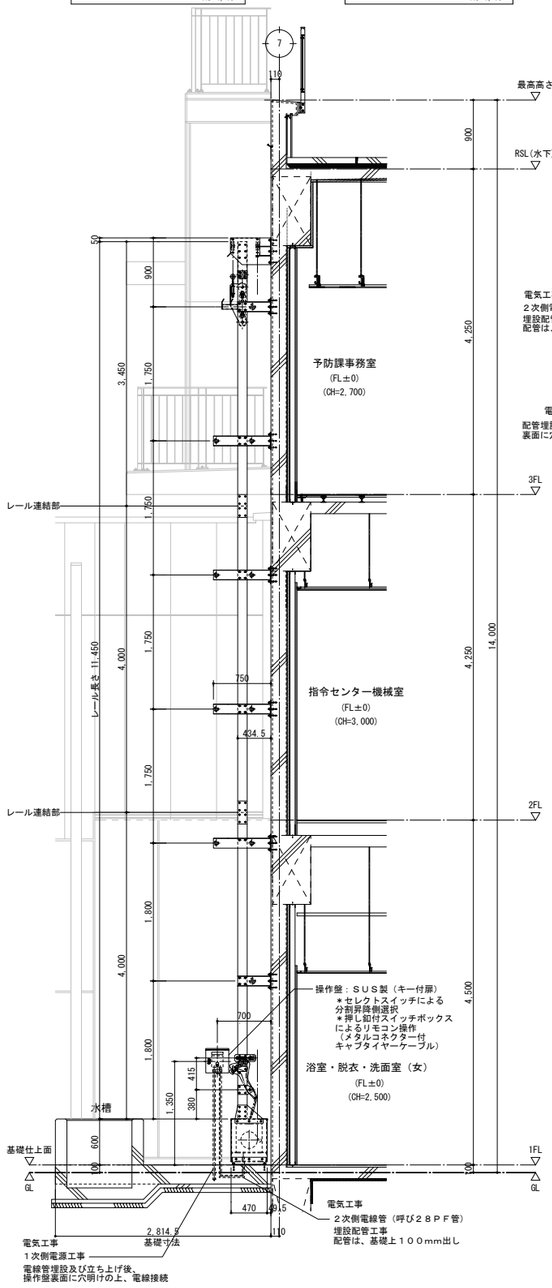
項目	仕様
型式	ＦＨＤ３２０（分割昇降型）
台数	１基
外形寸法	３４９９Ｗ×１２１００Ｈ
ホース収容本数	８本×２×２列　計３２本
巻上能力	Ｍａｘ４００ｋｇ×２
昇降速度	８．３ｍ／ｍｉｎ　　６０ＨＺ
電動機	１．５ＫＷサイクロ減速機ブレーキ付　２台
電源	２２０Ｖ　３相　６０ＨＺ
操作回路電源	ＡＣ　２４Ｖ
各部材質及び防錆処理	
ガイドレール	耐蝕アルミ合金 A6063S-T5
ガイドローラ	ＭＣナイロン 軸SUS304
レールブラケット	ＳＳ材　溶融亜鉛メッキ
ホースハンガー	同上
ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛ﾒｯｷ,外板SUS
同上内部機器	生地のまま
吊りワイヤー	２×φ８－２列　　ステンレスワイヤー
ボルト類	ｵｰﾙｱﾝｶｰ共全てSUS304

建築工事
１）基礎工事

電気工事
１）１次電源工事
２）２次側埋設配管工事

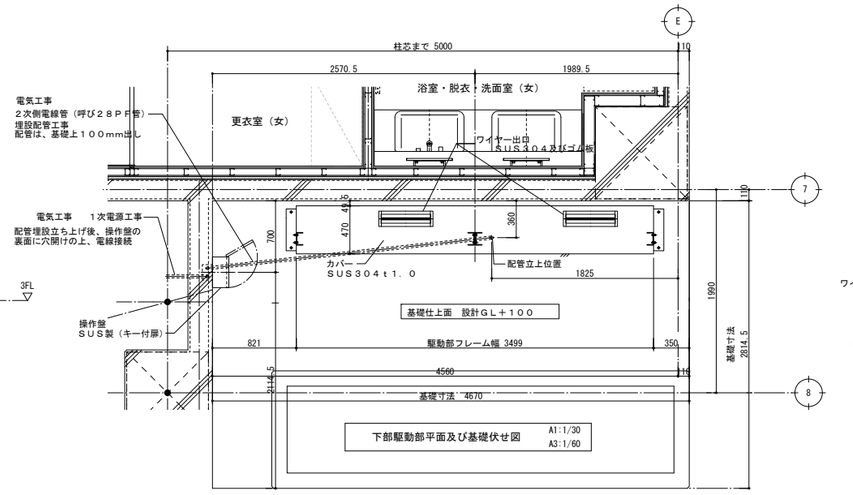


正面図

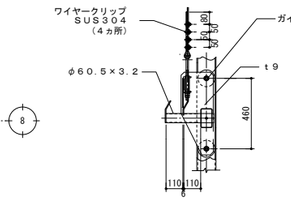


側面図

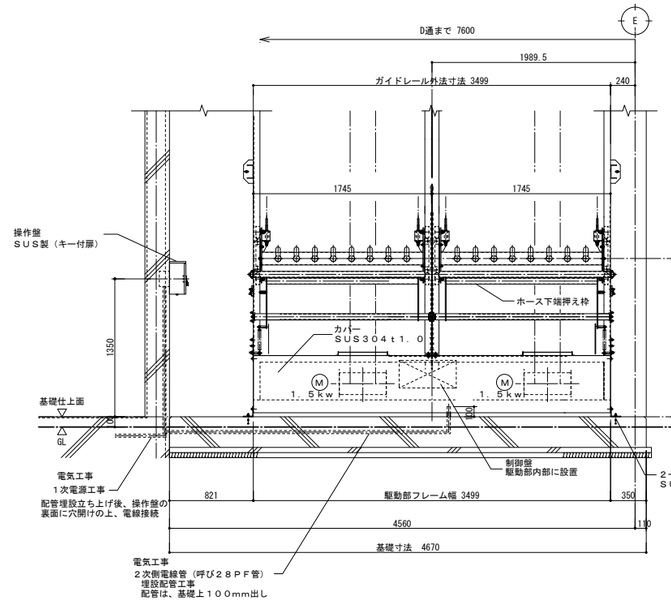
ホースリフター　ＦＨＤ３２０（分割昇降式）組立図　A1:1/40 A3:1/80



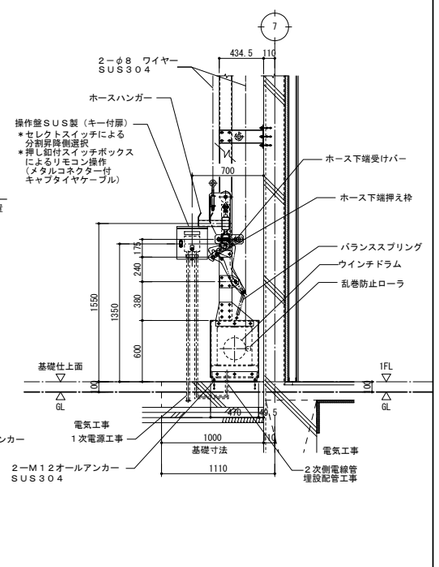
下部駆動部平面及び基礎伏せ図　A1:1/30 A3:1/60



ホースハンガー詳細図　A1:1/20 A3:1/40



下部駆動部正面図　A1:1/30 A3:1/60



下部駆動部側面図　A1:1/30 A3:1/60

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【消防本庁（署）棟】 消防訓練塔物図（２）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-243

外部仕上表

区分	床	腰	外壁	屋上取合い	屋根	屋上パラペット	庇 上端	庇 はな	庇 下端	備考
車庫棟	RC直押えの上防塵塗料	RC (A)保護塗料A	ALC t＝100 縦張り 防水型複層塗材Ｅ		アスファルト保護防水密着断熱工法（AI-2）	コンクリート直押えの上塗膜防水(X-2)防滑仕様	コンクリート直押えの上塗膜防水(X-2)防滑仕様	RC (A)保護塗料A	RC (A)保護塗料A	スチール製タラップZn
			RC (A)保護塗料A		押さえコンクリートｔ＝80 (D10@200)	目地切	目地切			竪坑
					立上り部乾式保護板t=15					屋外階段、手すり、ステージは全てZn処理の上DP
										縦樋：SGP管-100A Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS @1,200）
					最上階：溶融55%AL-Zn合金メッキ鋼板					
					t=0.8カラー折板葺き（山高160程度ハゼ）					
					無機質断熱材裏張30分耐火					

内部仕上表 （1）

階	室名	区分	床	巾木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
1階	車庫	C	コンクリート直押えの上防塵塗装	RC(B)の上防塵塗装	ALC素地(シーラー処理)	—			RC(B) 素地			直天	コーナーガード
		(-10)	(@3000程度目地切り)	H=100	RC(B) 素地								中量ラック
													露出鉄部は全てZn処理とする
		S											
	倉庫	C	コンクリート直押えの上防塵塗装	RC(B)の上防塵塗装	ALC素地(シーラー処理)	—			RC(B) 素地			直天	コーナーガード
		(-10)	(@3000程度目地切り)	H=100	RC(B) 素地								中量ラック
													露出鉄部は全て Zn処理とする
		S											
	油庫	C	コンクリート直押えの上防塵塗装	RC(B)の上防塵塗装	ALC素地(シーラー処理)	—			RC(B) 素地			直天	コーナーガード
		(-10)	(@3000程度目地切り)	H=100	RC(B) 素地								中量ラック
													露出鉄部は全てZn処理とする
		S											
2階	ネット収納庫	C	保護コンクリートt=80上防塵塗装	-	ALC素地(シーラー処理)	—			RC(B) 素地			直天	露出鉄部は全てZn処理とする
		(-80)	(@3000程度目地切り)		RC(B) 素地								
		S											
3階	訓練ステージ	C	保護コンクリートt=80上防塵塗装	-	ALC素地(シーラー処理)	—			RC(B) 素地			直天	露出鉄部は全てZn処理とする
		(-80)	(@3000程度目地切り)		RC(B) 素地								
		S											

内部仕上表

階	室名	区分	床	巾木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）

特記なき限り、内装材（床・壁・天井）は化学汚染物質F☆☆☆☆若しくは規制対象外商品とする。
区分に記載の（-※）は、SL天端レベル（FLからの下がり寸法）を示す。

材料記号

記号	内容	記号	内容
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	GB-R	石膏ボード
CL	クリアラッカー塗り	GB-P	化粧吸音用穴あき石膏ボード
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料		現場塗装品（ニュータイガートーン同等）
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-S	シージング石膏ボード
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-F	強化石膏ボード
EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	GB-NC	不燃積層石膏ボード（模様なし）
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	GB-NC（T）	不燃積層石膏ボード（トラバーチン模様）
OS	オイルステイン塗り	GB-Ｄ（W）	化粧石膏ボード（杉柾模様）
DP	耐候性塗料塗り（フッ素）	DR	ロックウール化粧吸音板
WP	外部用木材保護塗料塗り	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板
NP	内部用木材保護自然塗料塗り	FK-P	吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
LGS	軽量鉄骨	PF	ポリスチレンフォーム保温板
ＲＣ（ ）	床：標準仕様書表6.2.5による	D	アクリル樹脂焼付塗装
	壁、天井：コンクリート打放し（種別）	MB	メラミン樹脂化粧板
	［（ ）の記載がない場合はコンクリート打ちの	SP	内装薄塗材E
	のままとする］	SUS（HL）	ステンレスヘアライン
ＲＣ（Ａ・杉）	コンクリート打放し A種 杉小幅板本実型枠	SUS（B）	ステンレスバイブレーション
ＲＣ（Ａ・Ｐ）	超高圧ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ意匠工法	GWマット	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾏｯﾄ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ（黒） 32Kg/m3
保護塗料Ａ	水性無機高分子塗料塗り（外壁用）	VB	ビニル巾木
保護塗料Ｂ	水性無機高分子塗料塗り（室内用）	TC	タイルカーペット
保護塗料Ｃ	シリカ系複合保護材	免震FAF	免震フリーアクセスフロア
薄塗材Ｅ	内外装薄塗材Ｅ		

仕上げ 不燃・準不燃番号

GB-R（石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ12.5以上 ――――――――――	NM－８６１９
GB-S（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ12.5 ―――――――――	NM－９６３９
GB-S（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ9.5 ―――――――――	QM－０８９８
GB-NC（不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ9.5 ―――――――――	NM－０４４１
GB-D（化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ9.5 ―――――――――――――	NM－１８６４
クロス（下地不燃） ―――――――――――――	NM－０３０２
ＥＰ、ＥＰ－Ｇ、ＮＡＤ、ＳＯＰ（下地不燃） ―――	NM－８５８５
ＥＰ、ＥＰ－Ｇ、ＮＡＤ、ＳＯＰ（下地準不燃） ――	QM－９８１６
杉板張りｔ＝15（不燃） ――――――――――	NM－０９１７
合板ｔ＝12（不燃） ――――――――――	NM－１５９６
GB-P（化粧吸音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ｔ9.5 ――――――――	QM－９８２２

共通事項
◎ 区分 Ｃ：コンクリート下地及びコンクリートブロック下地等 Ｓ：軽量鉄骨下地等
◎ 室名の前に（VOC２４）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（２４時間）及び確認を所定の箇所数行う
室名の前に（VOC８）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（８時間）及び確認を所定の箇所数行う
◎ 特記なき場合の床仕上げ下地は、石張り部・タイル張り部・階段部（踊り場共）・屋上防水部・フリーアクセスフロア・OAフロア部分を除きコンクリート直押え仕上げ（1-01-3, 1-01-4）のうえ、仕上げ材とする

適用事項 ※特記のない限り下記による

巾木
※ 巾木の高さはH=40（特記なき限り、東りVBはスタイル巾木同等）とする

壁
※ 壁紙張りの石膏ボードは、突付けＶ目地工法のうえパテ処理とする
※ 塗装仕上げの石膏ボードは、継目処理工法（テーパー付きボード）とする
※ 壁取り合い（２－２４－３、６）の見切縁はアルミ製とする

天井
※ ロックウール吸音板張りは下地張り（GB-R厚さ12.5）を行う
※ 天井壁紙張り及び塗装下地の石膏ボードの目地処理は突き付けＶ目地工法のうえパテ処理とする

天井取合い
※ 特記なき限り天井取合いは、壁一天井（3-11-3,7又は4,8）見切縁は DR、GB-NC（T）仕上げ箇所のみに取り付け、
※（ 塩ビ製 フクビF12同等 ）とする 見切縁の無い場合は、3-11-1,2,5,6による
※ 壁一天井（３－１１－９～１２）突き付け目地はアルミ製とする
※ 下がり壁（3-12-1）GB-R厚さ１２．５（テーパー付）継目処理工法、見切縁はアルミ製（既製品）とする

乾式二重床
※ 乾式二重床（1）：水廻り・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・耐水合板捨張りｔ＝12の上、各仕上
※ 乾式二重床（2）：縁甲板の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・合板捨張りｔ＝12の上、仕上
※ 乾式二重床（3）：畳の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20の上、仕上

断熱
※ 屋根：押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ ｔ＝50（標：9-2-2-ｈ）
※ 外壁：硬質ウレタンフォームA種Ｉ（難燃）吹付ｔ＝30（標：19-9-3）
※ 土間下：押出ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込ｔ＝25（標：7-01-2）

準耐火建築物 耐火リスト （法2条九の三、ロー２）

	要求耐火性能	設計仕様		要求耐火性能	設計仕様
柱	不燃材	RC・鉄骨	屋根	不燃材	RC造 折板(大臣認定NM-8697)
梁	不燃材	RC・鉄骨	床	耐火	RC造(t=170mm)(H12建告第1399号)
外壁	延焼のおそれのある部分にあっては防火構造				
					ALC(t=100mm)(H12建告第1399号)
階段	不燃材	鉄骨			
柱	令70条 耐火被覆	SC1柱 □-250*250*9 t=2.75(１時間耐火) FP060CN-9401 SP1柱 □-125*125*6 t=3.50(１時間耐火) FP060CN-9401			

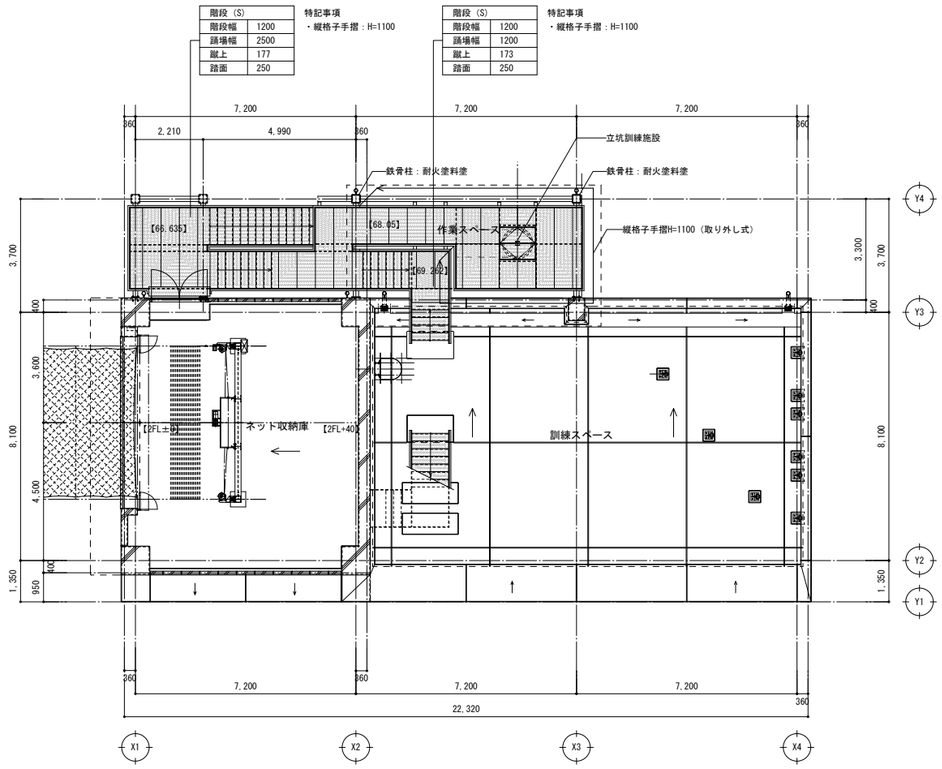
防火区画の仕様

異種用途区画	ALC t=100mm (H12建告第1399号) 床:RC(t=170mm) (H12建告第1399号)

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

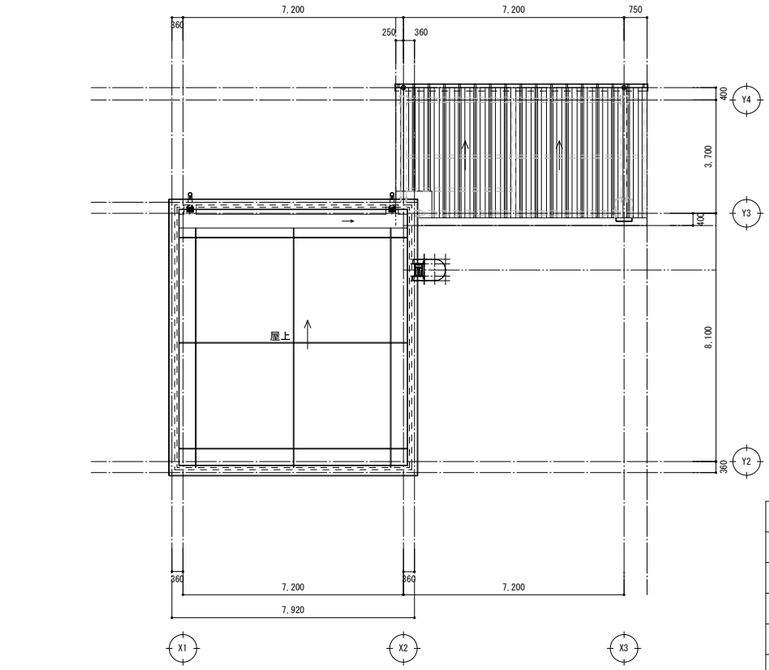
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】 仕上表	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:- A3:-	A-301

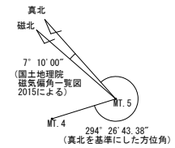


1.5階・2階平面図

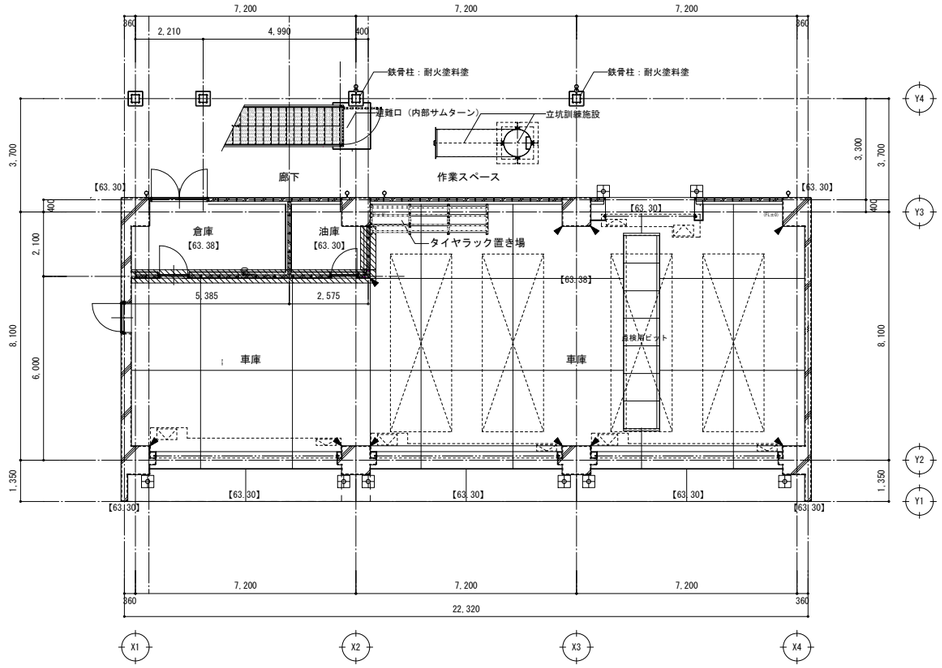
1.5FL=66.80



屋上・屋根平面図



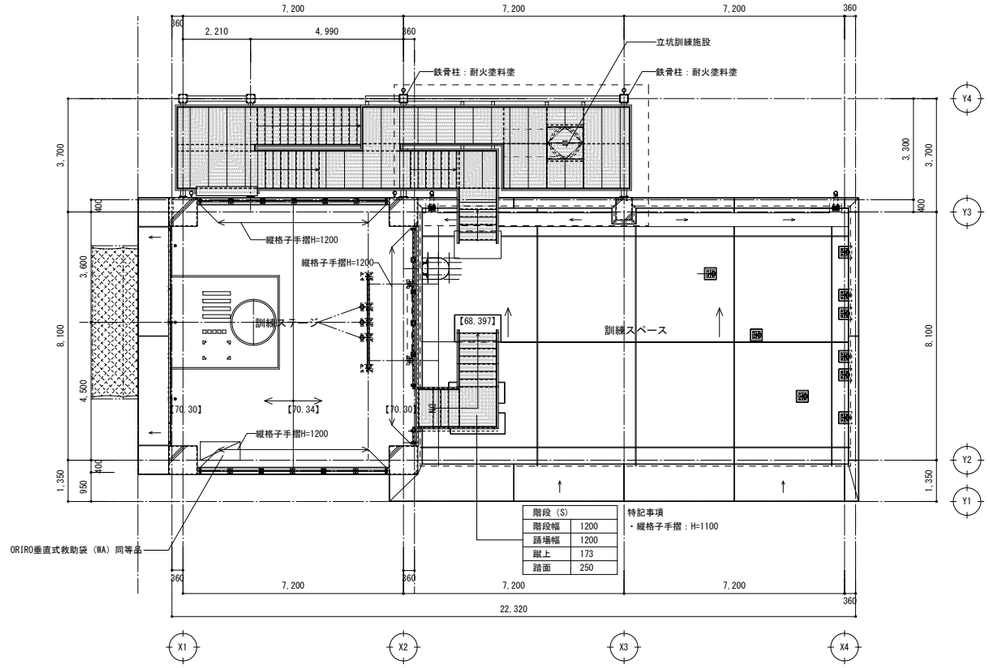
凡　例	仕　様
	RC壁
	ALC壁　t＝100　縦張り
【63.**】	特記以外の床レベルを示す
	異種用途区画範囲を示す
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	コーナーガード
	ガードポスト（基礎共）



1階平面図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.30とする。



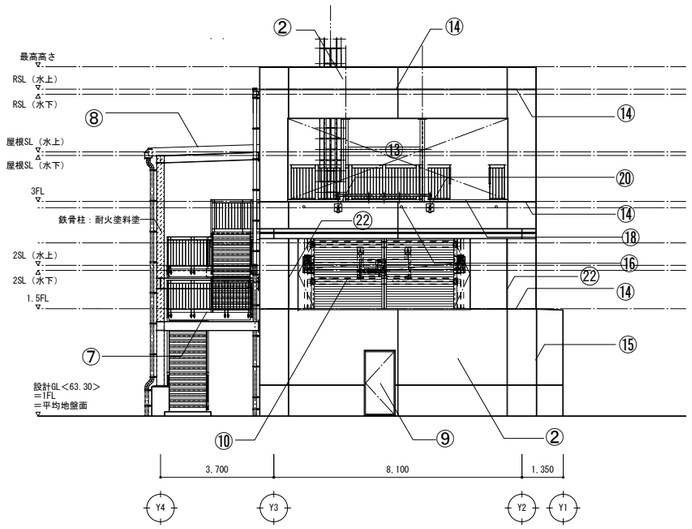
2階・3階平面図

3FL=70.3

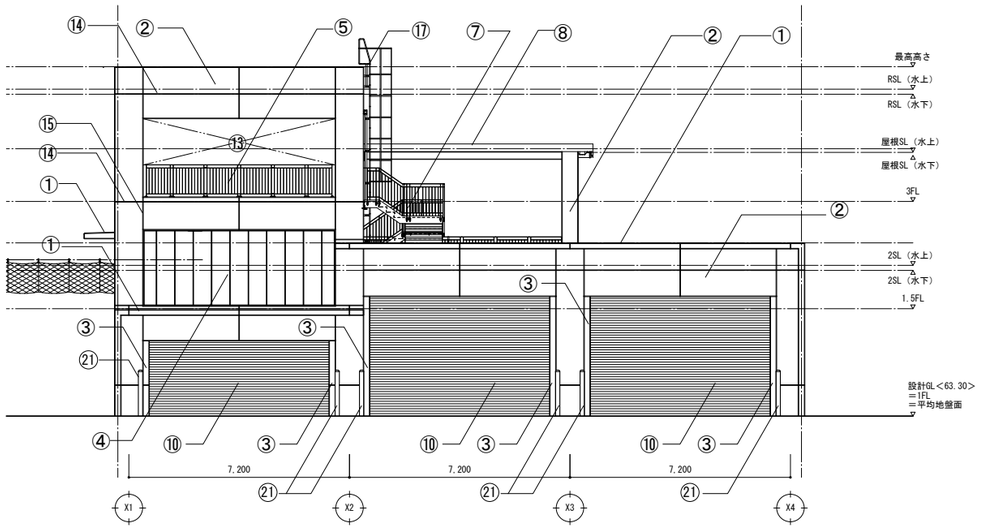
特記事項
※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております
※3階は、四方手摺により十分に開放されており、
　代替進入口は十分に確保されている

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

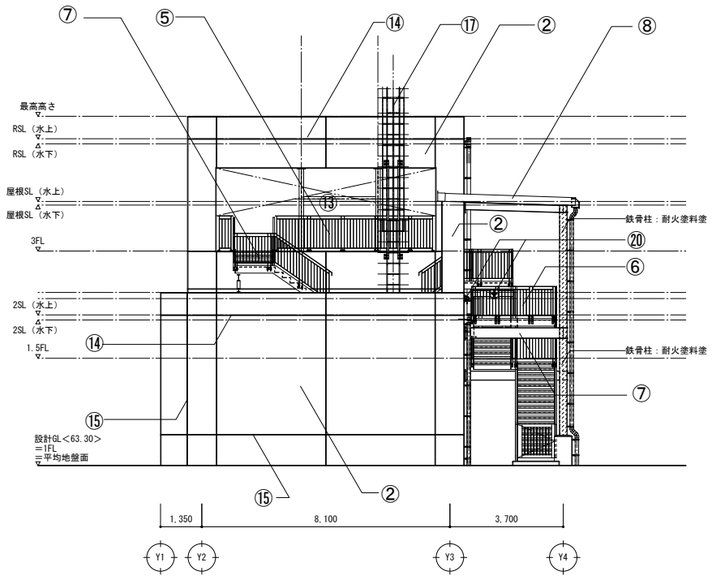
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】　各階平面図		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/100 A3:1/200	図面番号：A-302



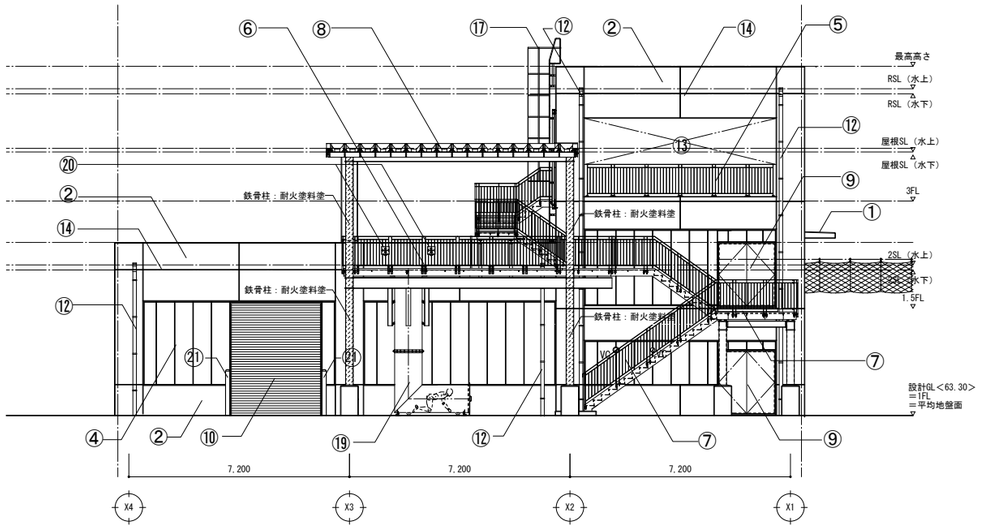
西面　立面図



南面　立面図



東面　立面図



北面　立面図

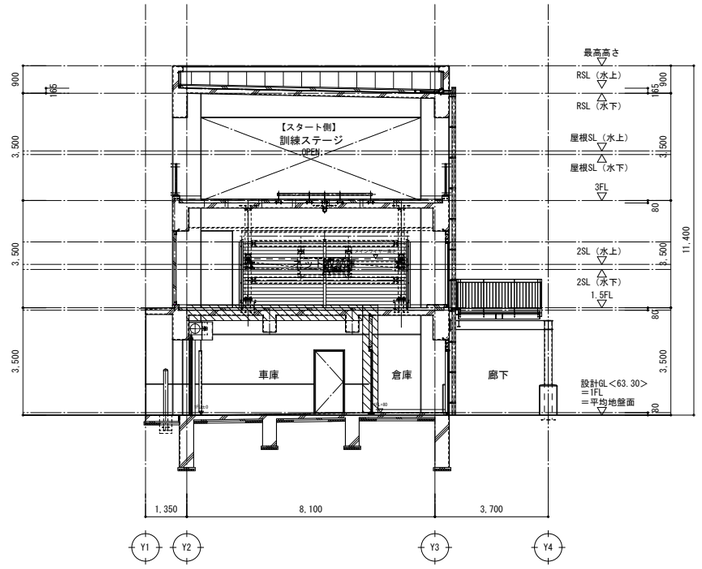
特記事項
※縦格子手摺は、十分に開放性を確保しております
※階段踊場部分の手摺は、H＝1100以上とし、各手摺高さは平面図による

記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト
①	パラペット天端・庇天端・面台：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑦	屋外階段：　手摺・床材・構造材共　鉄部は、Zn処理の上、DP	⑬	開口部	⑲	訓練用：竪坑訓練施設　竪坑本体　SUS304　HL仕上げ　900φ	φVC	ベンドキャップ（設備工事）※ALC板の開口：200φ-建築工事
②	外壁　A：RC(A)　保護塗料　A	⑧	屋外階段屋根：　折板 H160 働き幅500・ガルバリウム鋼板ｔ＝0.8・勾配-3//100	⑭	打継ぎ目地（標：2-02-8）	⑳	訓練用：SUSマルカン（壁付け型）SUS19φ　内径100　壁面アンカーボルト止	φVC	ベンドキャップ（設備工事）※ALC板の開口：150φ-建築工事
③	外壁　B：RC(A)　DP（着色）	⑨	鋼製建具：鋼板　DP塗	⑮	ひび割れ誘発目地（標：2-02-9）	㉑	ガードポスト（基礎共）		
④	外壁　C：ALC板ｔ＝100　W＝600　縦張　防水型複層塗材E	⑩	シャッター：カラー鋼板	⑯	床排水口：VP６０φ	㉒	防水型　構造垂直スリットW＝30※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品		
⑤	縦格子手摺：　St・FBは、Zn処理の上DP　接着系アンカー固定	⑪	縦樋　：SGP管-80A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑰	SUS製（HL）タラップ：W＝400				
⑥	縦格子手摺：　St・FBは、Zn処理の上DP　取外し式	⑫	縦樋　：SGP管-100A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑱	ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物　SUS304（HL）Φ60.5（抜け防止ヒゲ付）				

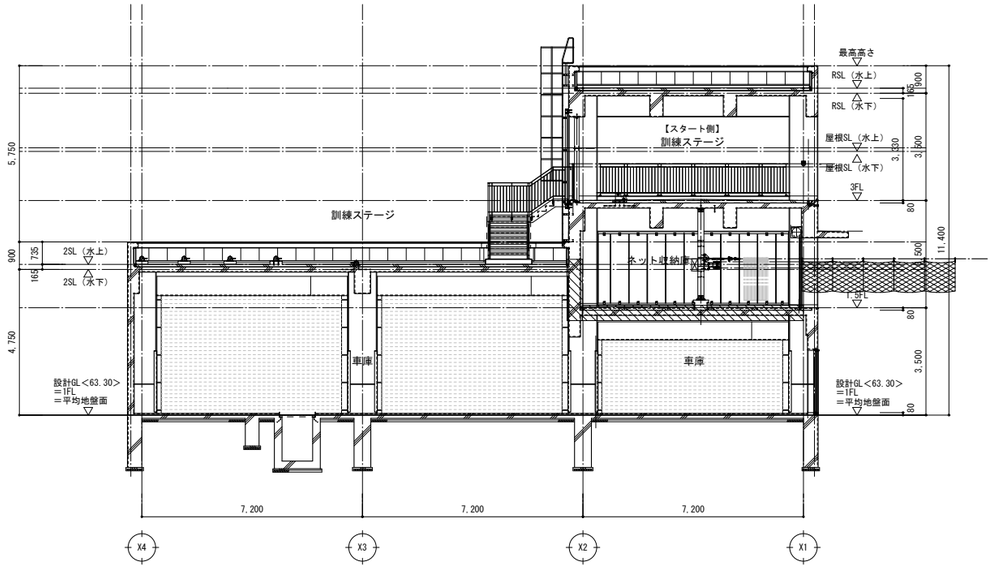
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　立面図	2023/03

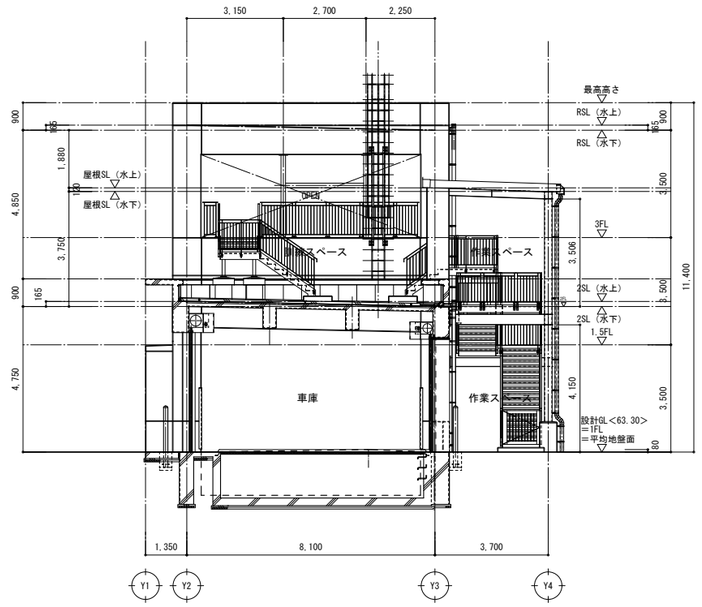
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-303



X～X　断面図

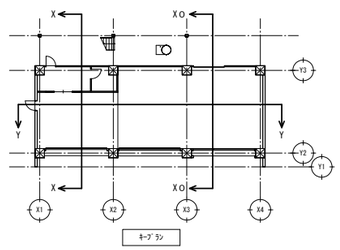


Y～Y　断面図



XO～XO　断面図

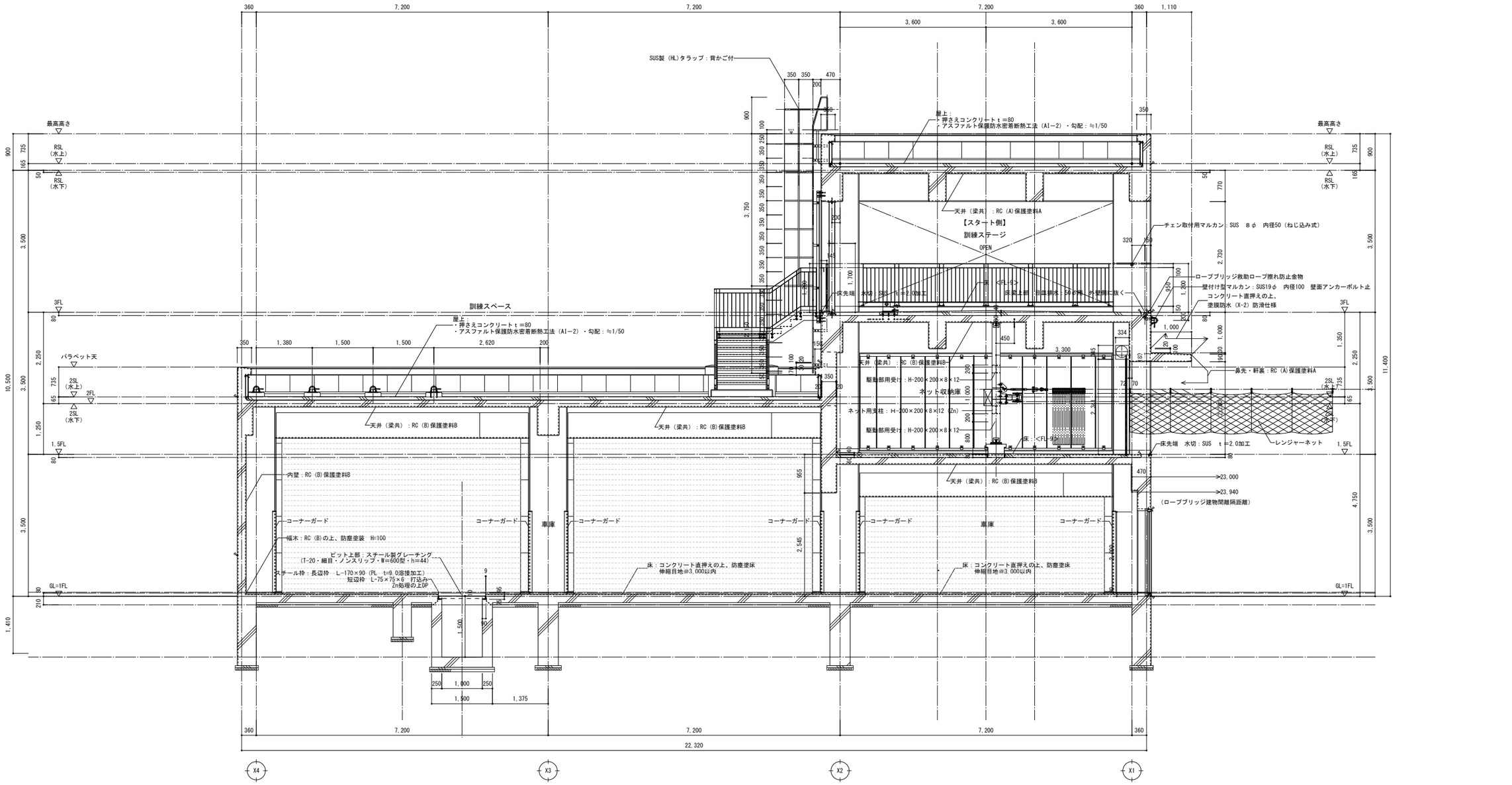
凡　例	仕　様
	異種用途区画範囲を示す



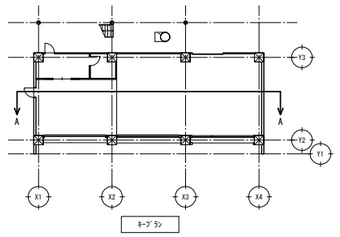
キープラン

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　断面図		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/150 A3:1/300	A-304



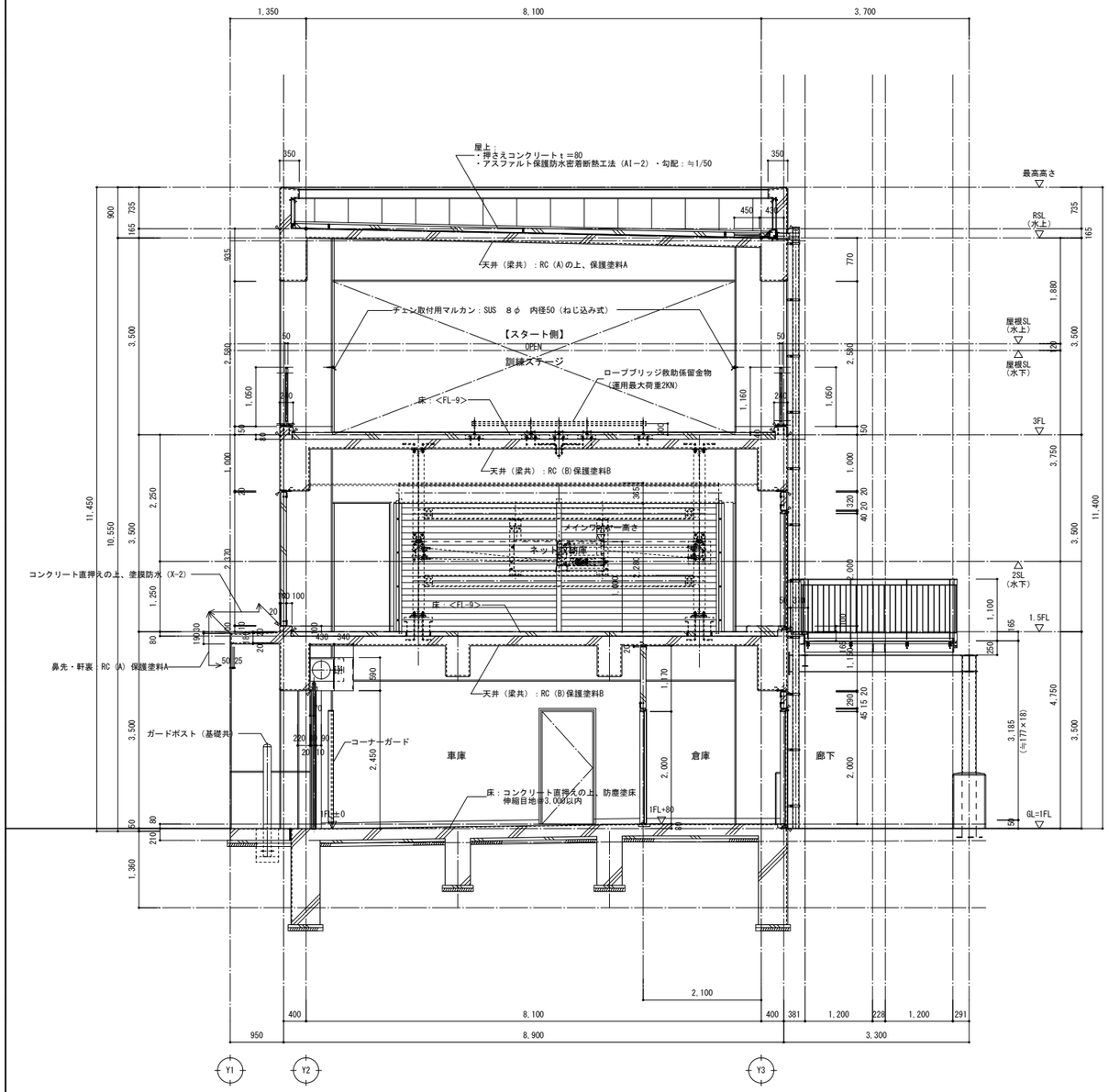
A-A　断面詳細図



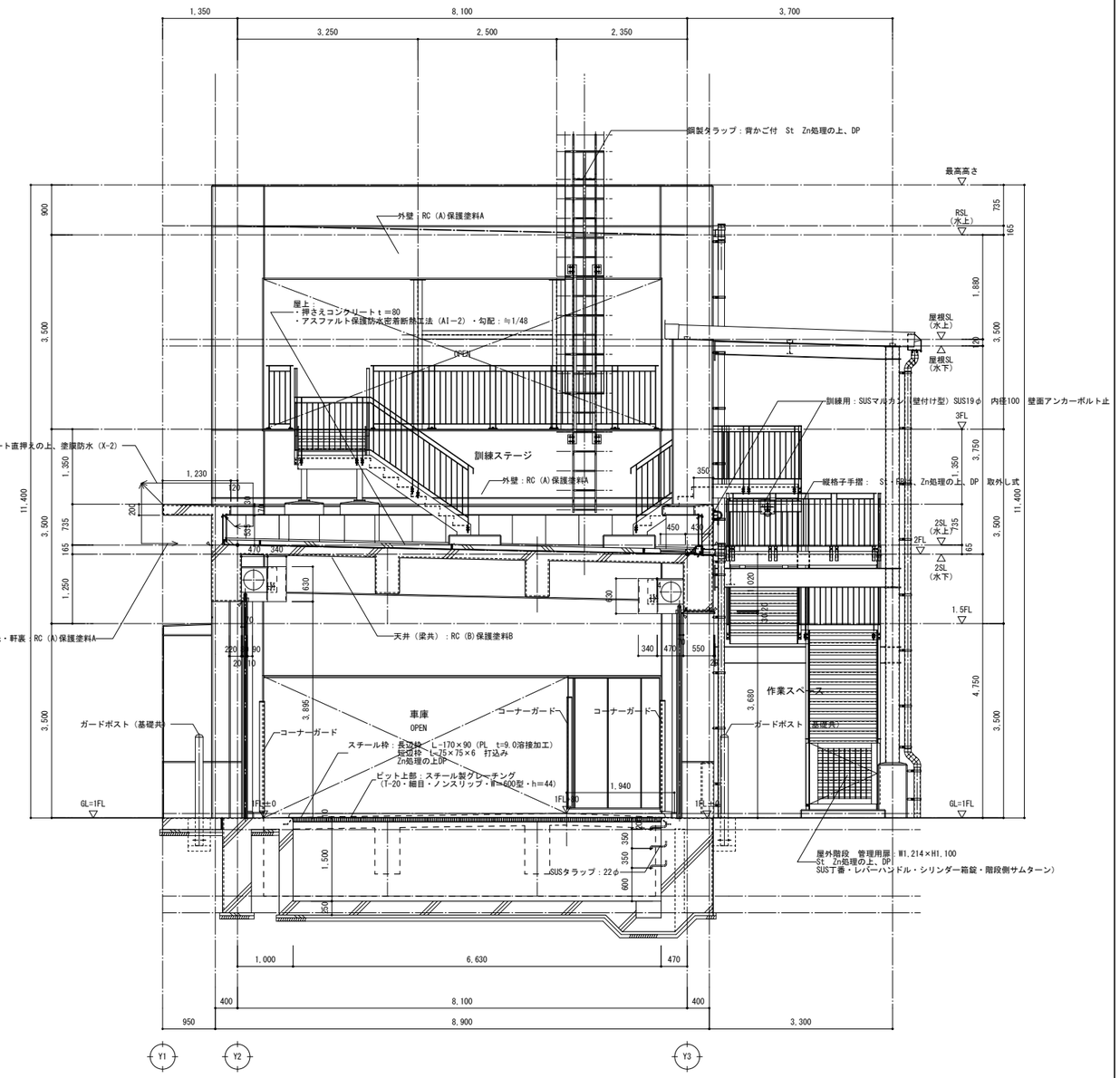
キープラン

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

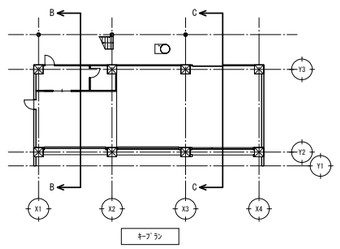
工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】矩計図（1）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺 / 図面番号
NEXJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100 / A-305



B-B　断面詳細図



C-C　断面詳細図

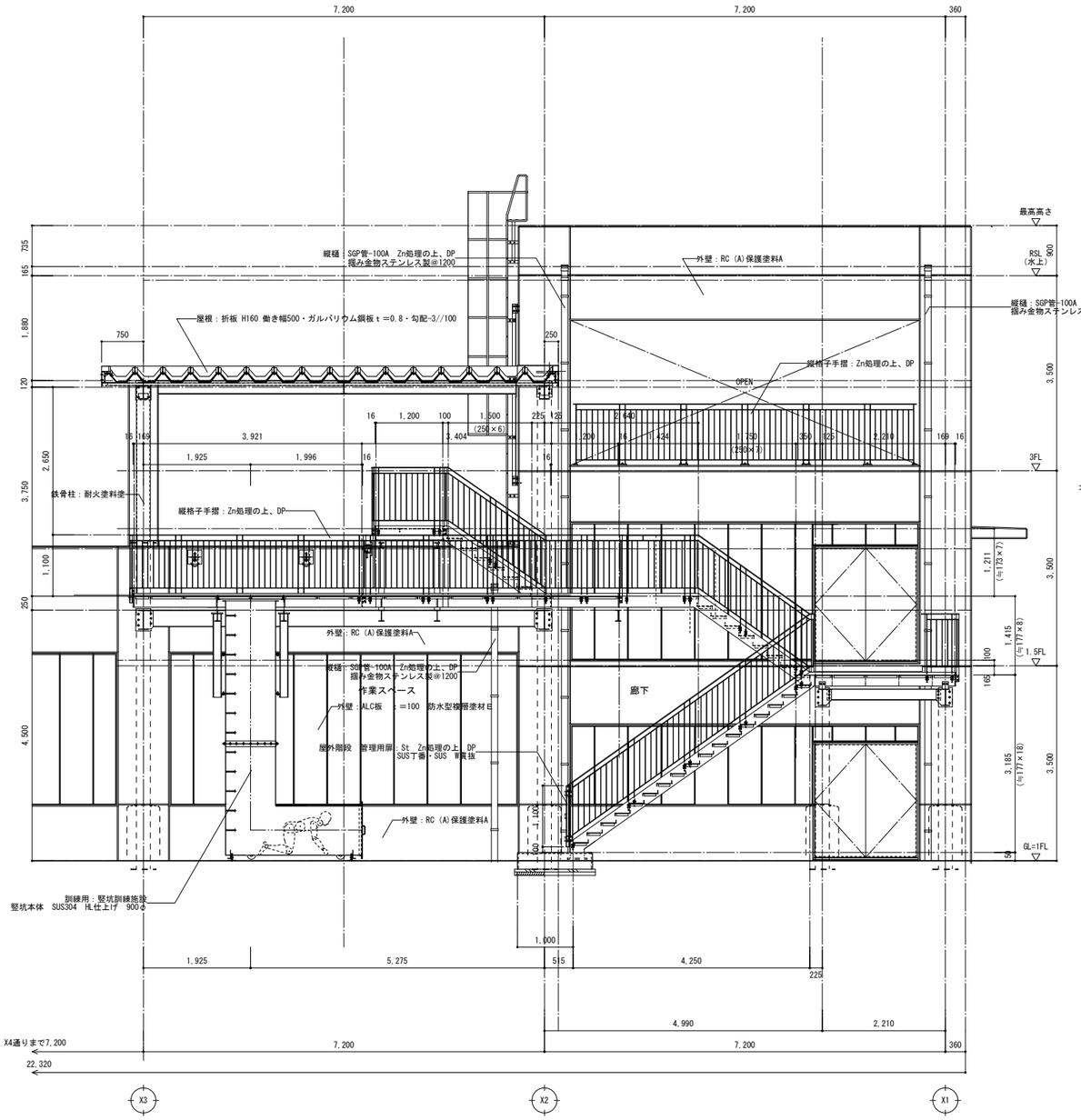


キープラン

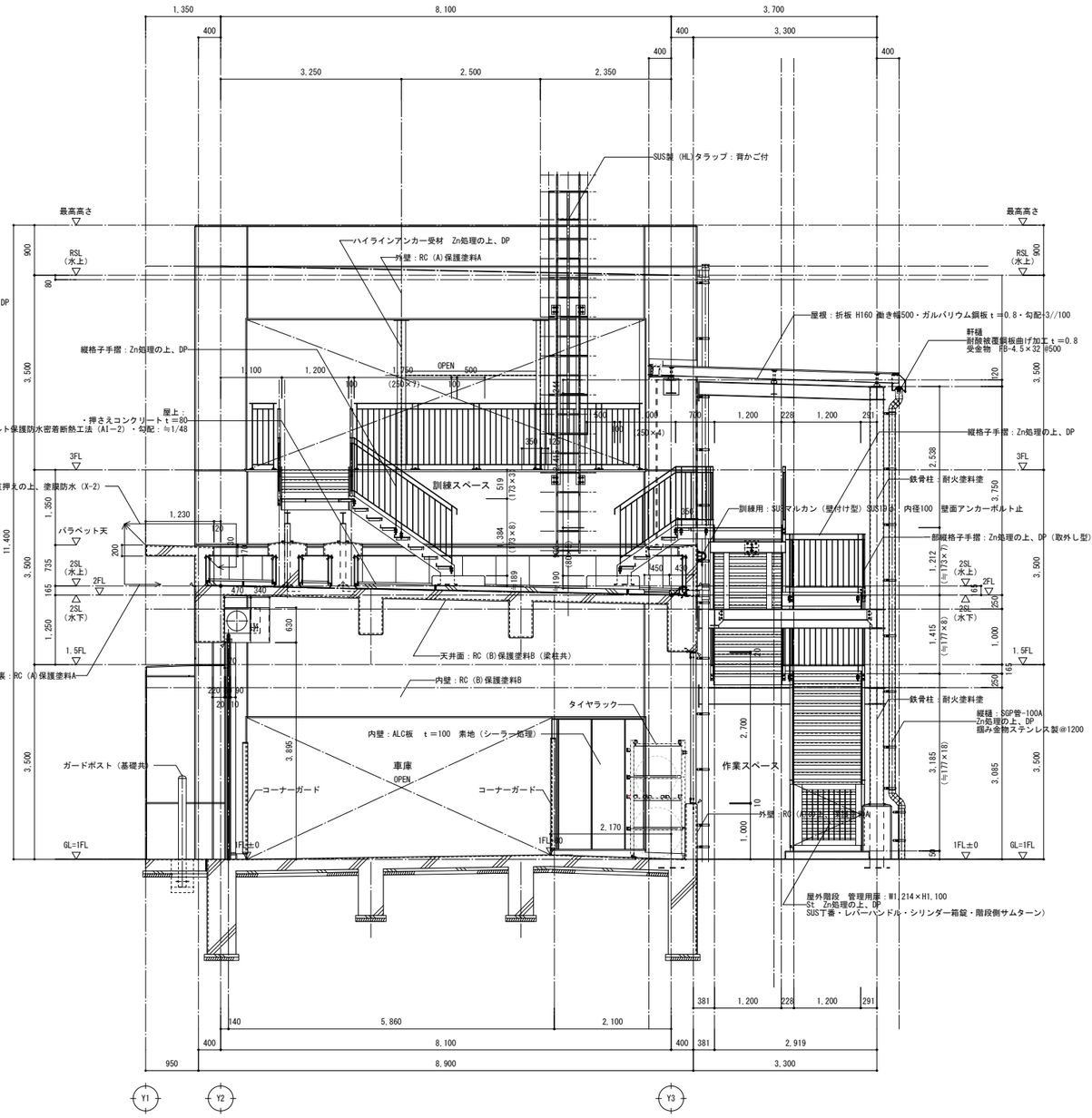
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　矩計図（2）	2023/03

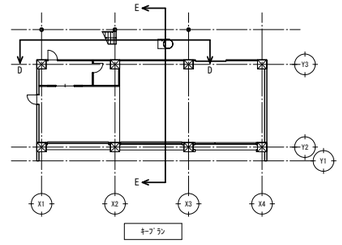
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-306



C-C　断面詳細図



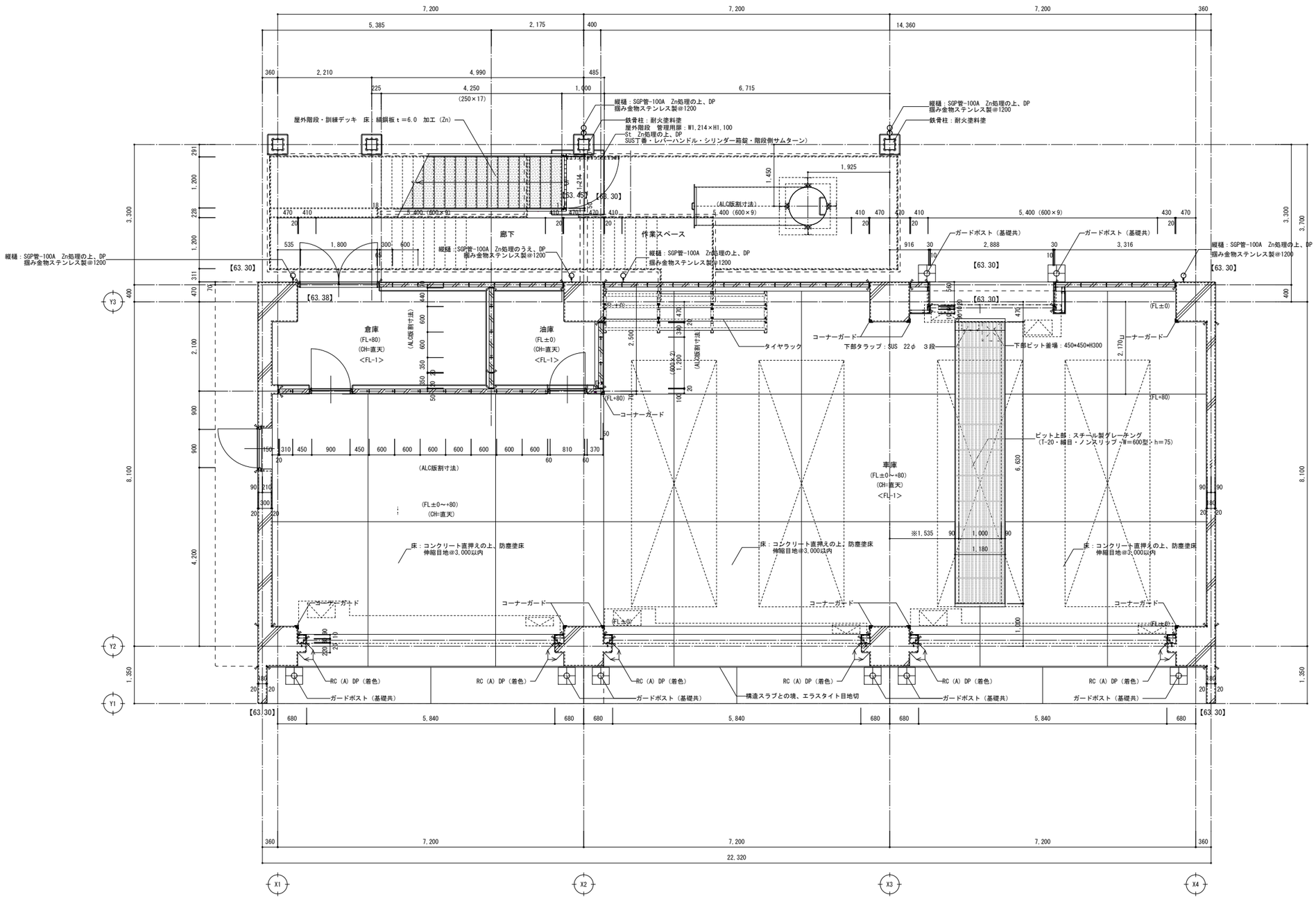
E-E　断面詳細図



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　矩計図（3）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEXJEC　株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-307



1階平面詳細図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.30とする。

真北
磁北
7° 10' 00"
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26' 43.38"
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	ALC壁　ｔ＝100　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
【63.**】	特記以外の床レベルを示す。
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）

特記事項

・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する

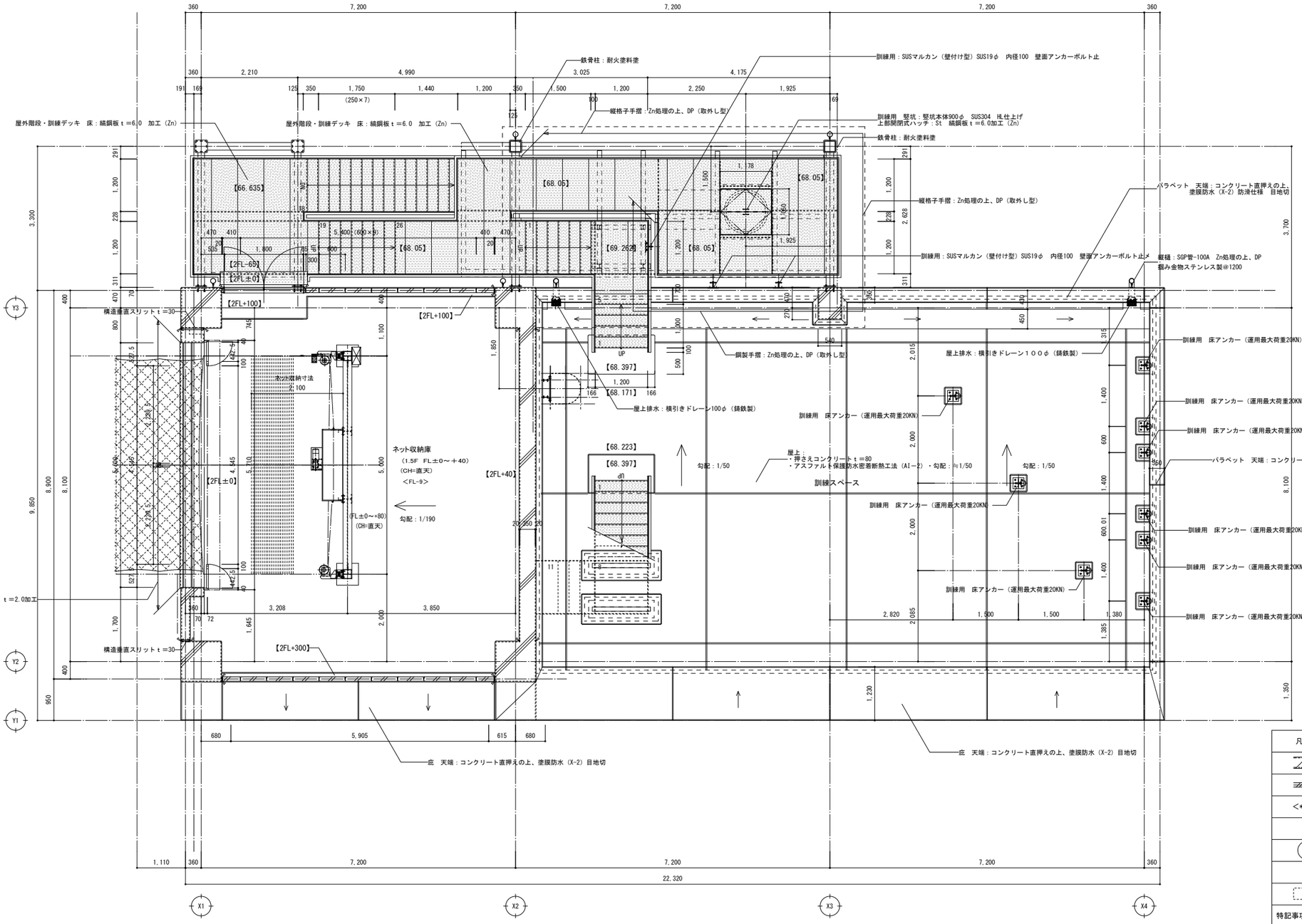
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする

A
B
C
D
展開方向

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　1階平面詳細図	2023/03

NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-308



2階平面詳細図

1.5FL=66.80～66.84

真北
磁北
7° 10′00″
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′43.38″
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	ALC壁　ｔ＝100　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）

特記事項

・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する

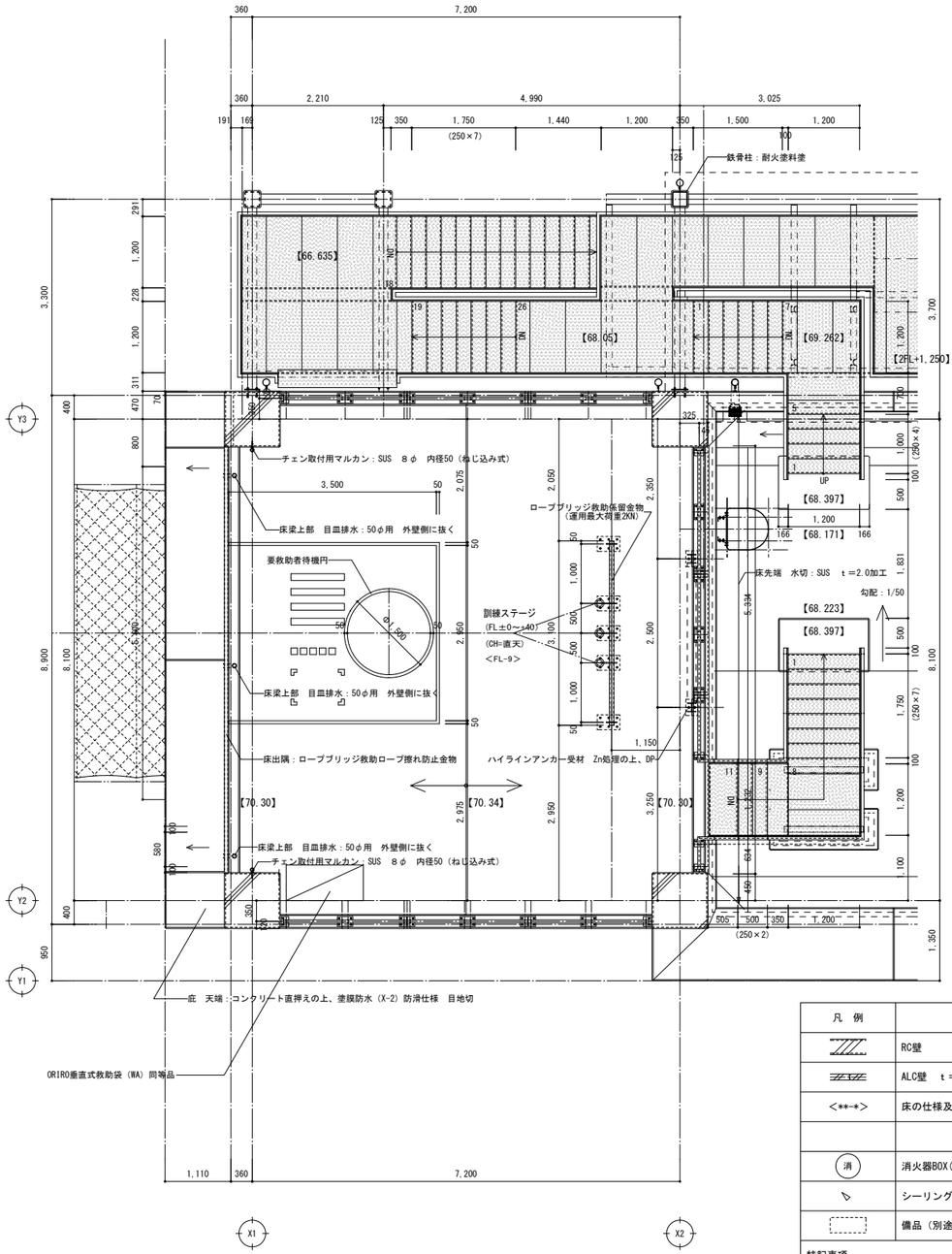
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする

A
D　展開方向　B
C

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　2階平面詳細図	2023/03

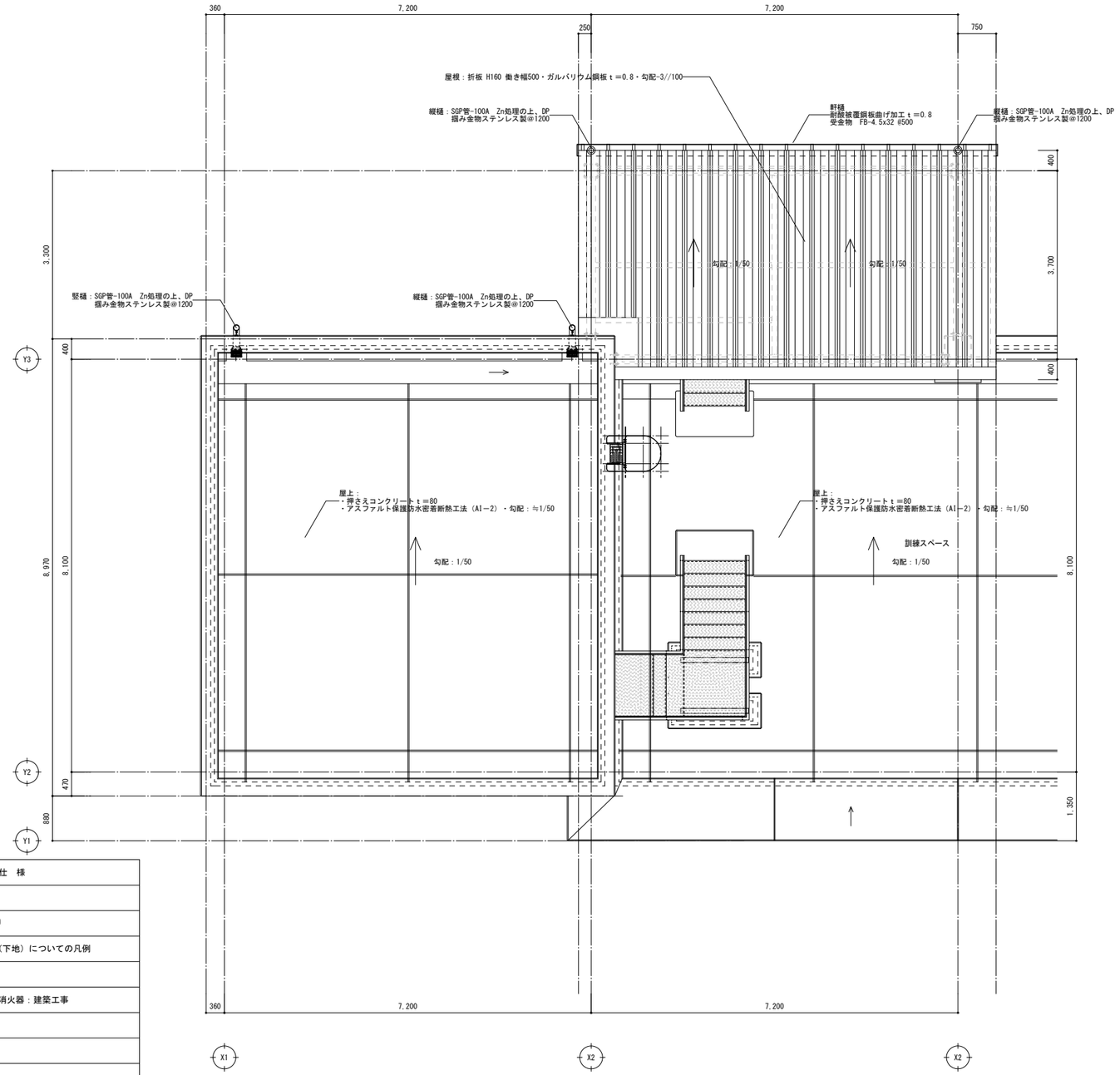
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-309



3階平面詳細図

3FL=70.3

凡　例	仕　様
	RC壁
	ALC壁　t＝100　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする	



屋上平面詳細図

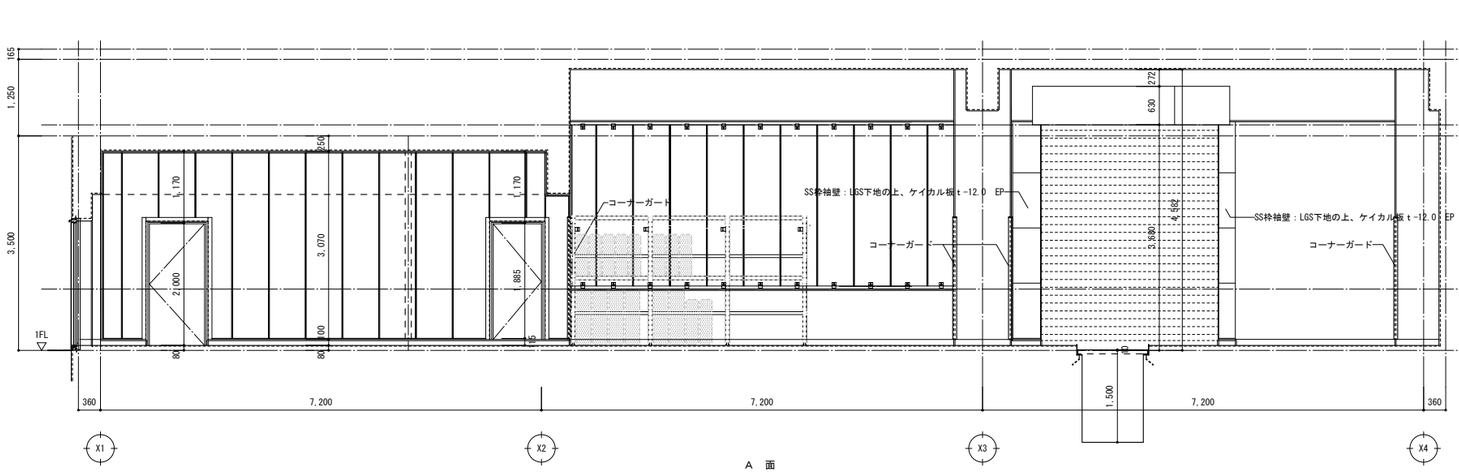
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　3階・屋上平面詳細図	2023/03

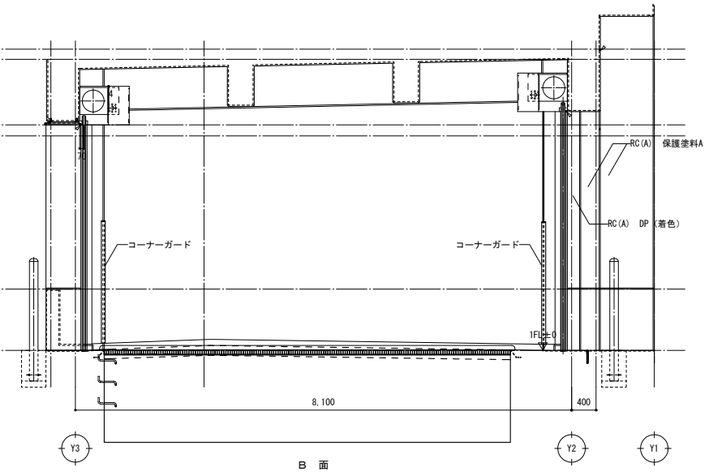
管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-310

NEWJEC　株式会社ニュージェック

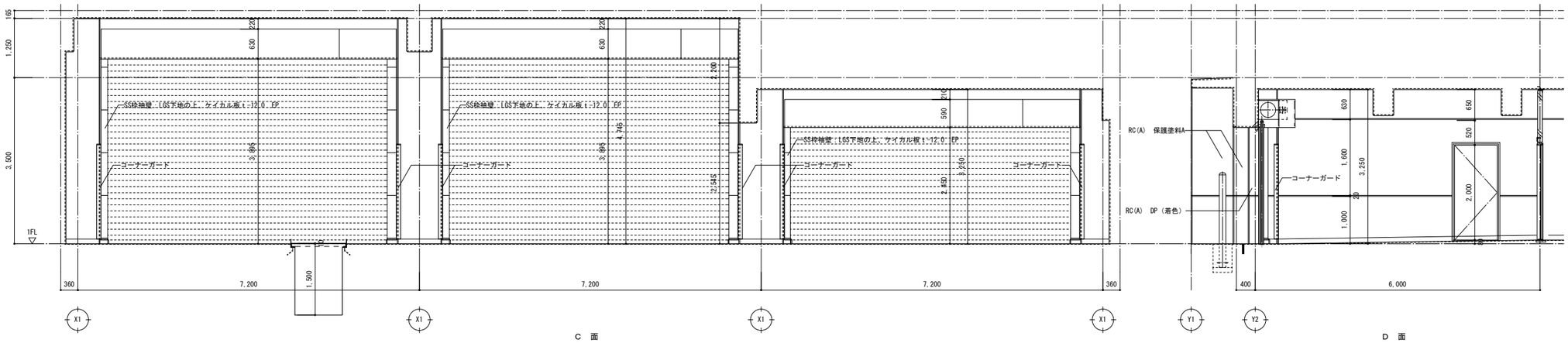
車庫	
床	<FL-1>
巾木	防塵塗装 H=100
壁	ALC板：下地処理（シーラー塗） 金物-錆止めの上、SOP 室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、 特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）保護塗料Ｂとする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	RC（B)保護塗料B
備考	点検用ピット：RC（B)防塵塗床



A 面



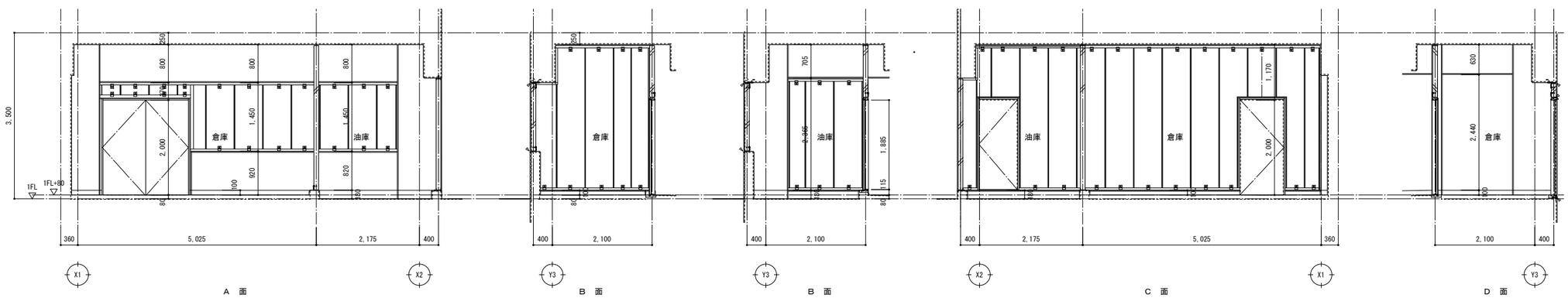
B 面



C 面

D 面

倉庫・油庫	
床	<FL-1>
巾木	防塵塗装 H=100（※油庫H=180）
壁	ALC板：下地処理（シーラー塗） 金物-錆止めの上、SOP 室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、 特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）保護塗料Ｂとする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	RC（B)保護塗料B
備考	



A 面

B 面

B 面

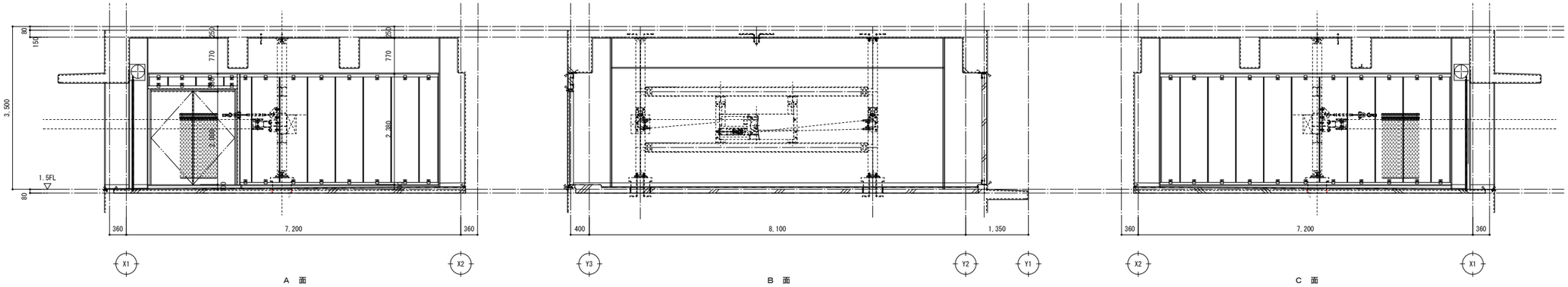
C 面

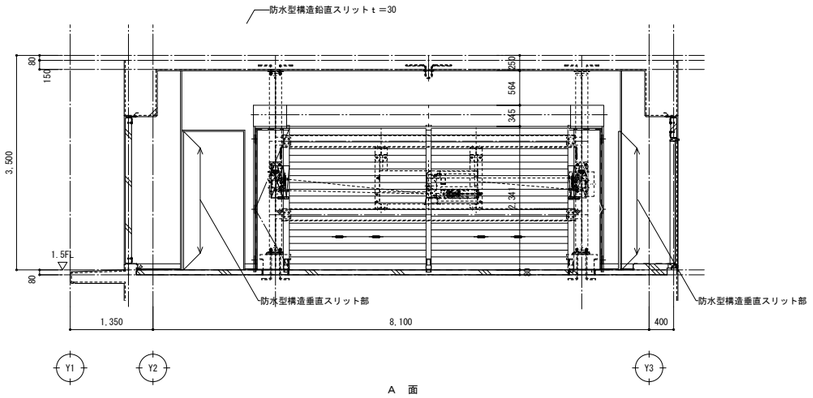
D 面

特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

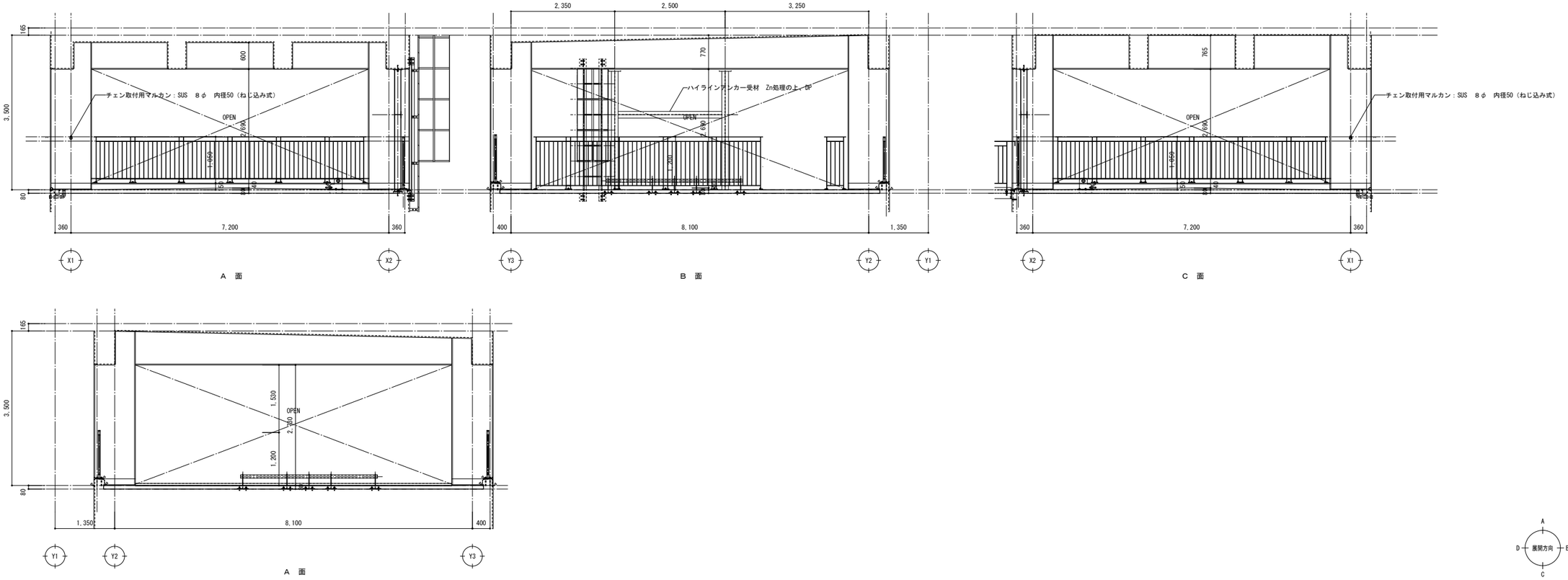
工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【車庫棟】 1階展開図		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-311

ネット収納庫	
床	<FL-9>
巾木	防腐塗装 H=100
壁	ALC板：下地処理（シーラー塗） 金物：錆止めの上、SOP 室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、 特記なき限り、RC（B）保護塗料Bとする。 仕上が異なる場合は書き込みによる。
天井	RC（B）保護塗料B
備考	



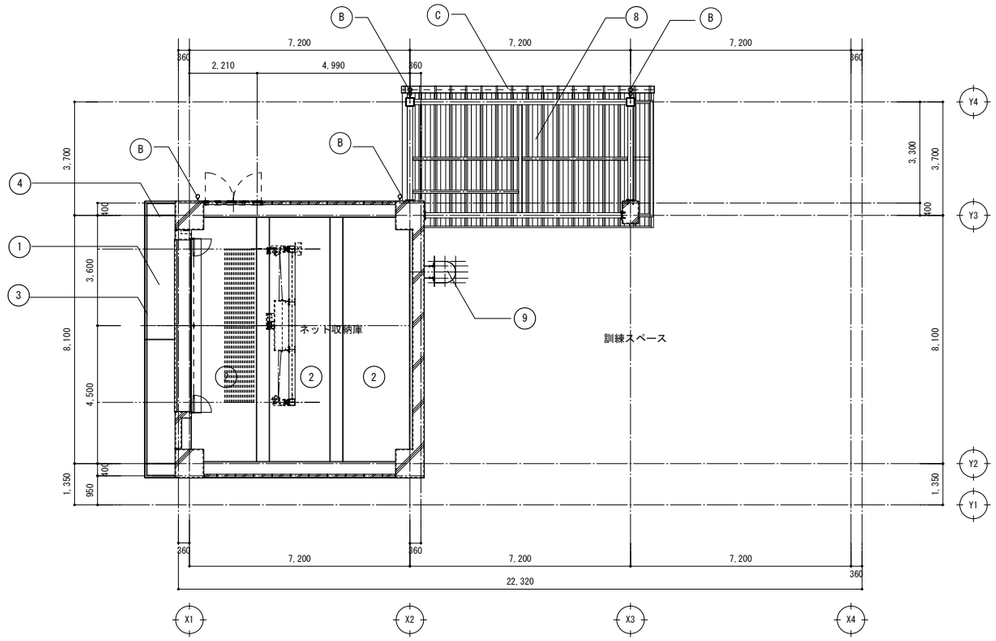


訓練ステージ	
床	<FL-9>
巾木	防腐塗装 H=150
壁	RC（A）保護塗料A
天井	RC（A）保護塗料A
備考	手摺他：鉄部Zn処理の上、DP

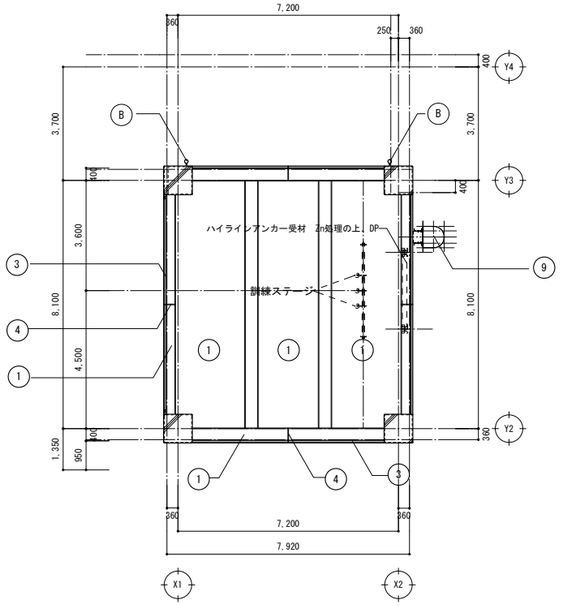


特記事項
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

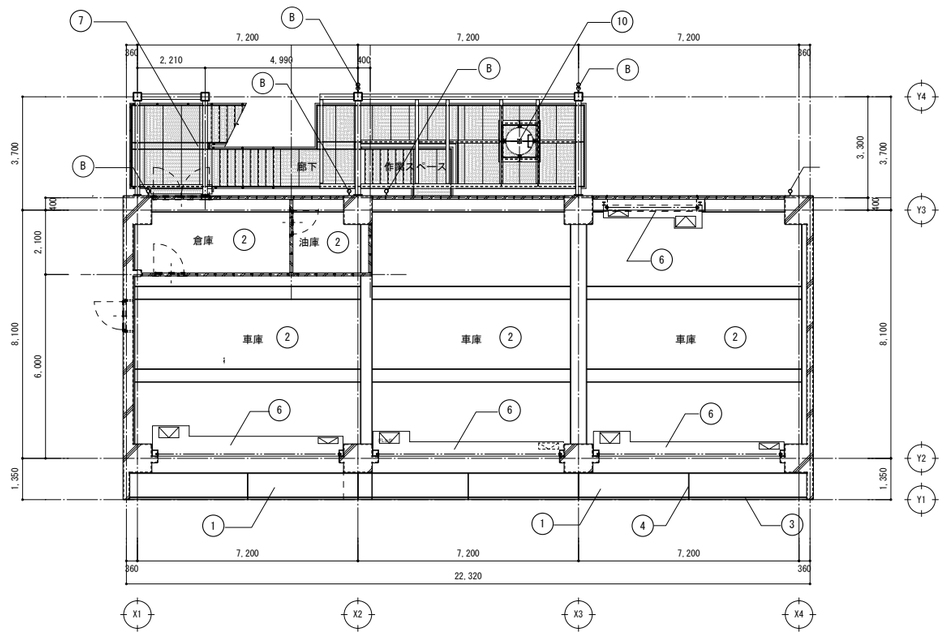
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】 2階・3階展開図		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-312



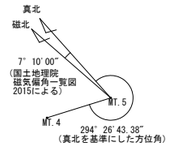
1.5階・2階天井伏せ図



3階　天井伏せ図

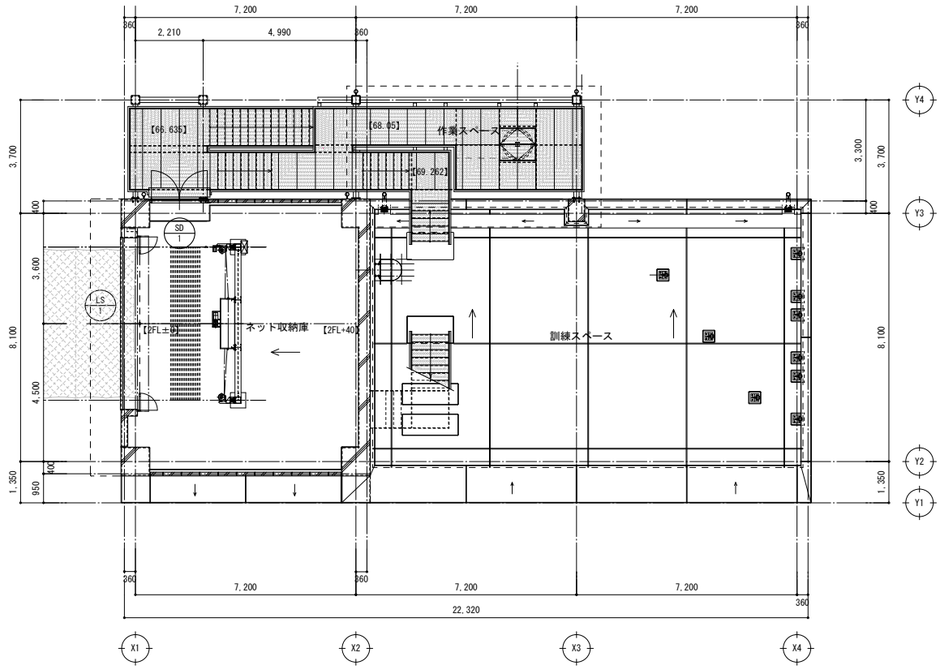


1階　天井伏せ図



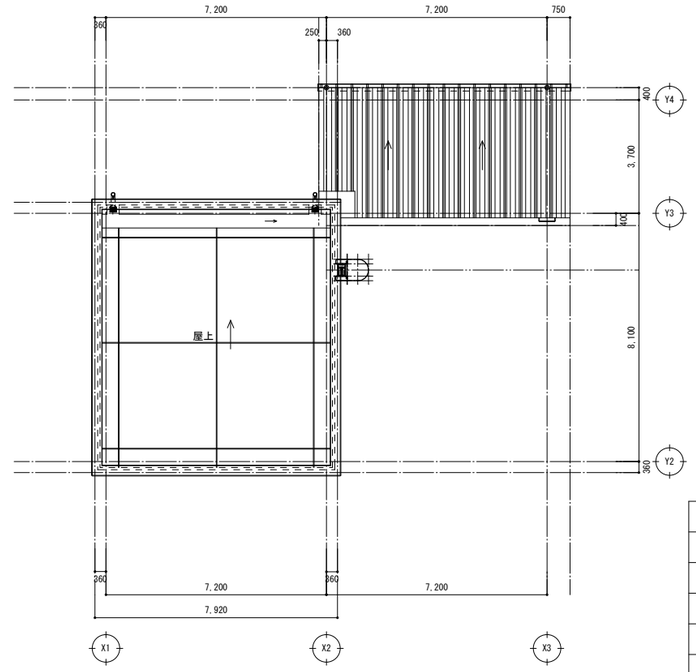
凡例	仕　様	凡例	仕　様	凡例	仕　様	特　記　事　項
1	RC（A）保護塗料A　※見え掛かり梁型共	9	SUS製（HL）タラップ：背かご付	A	縦樋：SGP管80A・Zn処理の上、DP　掴み金物ステンレス製@1200	(1)　直天部分（スラブ裏・梁型）の仕上げは、特記なき限り　2　とする。
2	RC（B）保護塗料B　※見え掛かり梁型共	10	訓練用　立坑：竪坑本体９００φ　SUS304　HL仕上　上部開閉式ハッチ：St　縞鋼板ｔ＝6.0加工（Zn処理の上、DP）	B	縦樋：SGP管100A・Zn処理の上、DP　掴み金物ステンレス製@1200	
3	水切目地　20×20			C	軒樋：耐酸被覆鋼板曲げ加工　ｔ＝0.8・W230・H120/170　受金物　FB-4.5x32 @500	
4	化粧目地　20×10　@3000					
5	シャッターケース（露出型）見え掛かり　カラー鋼板　ｔ－0.4加工					
6	シャッターケース（露出型）見え掛かり　ボンデ鋼板　ｔ－1.2加工　DP					
7	屋外階段（訓練デッキ）：St　Zn処理の上　DP					
8	屋外訓練デッキ屋根：折板 H160 働き幅500・ガルバリウム鋼板ｔ＝0.8・勾配-3//100（無機質断熱材裏張30分耐火）					

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】　天井伏図		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-313

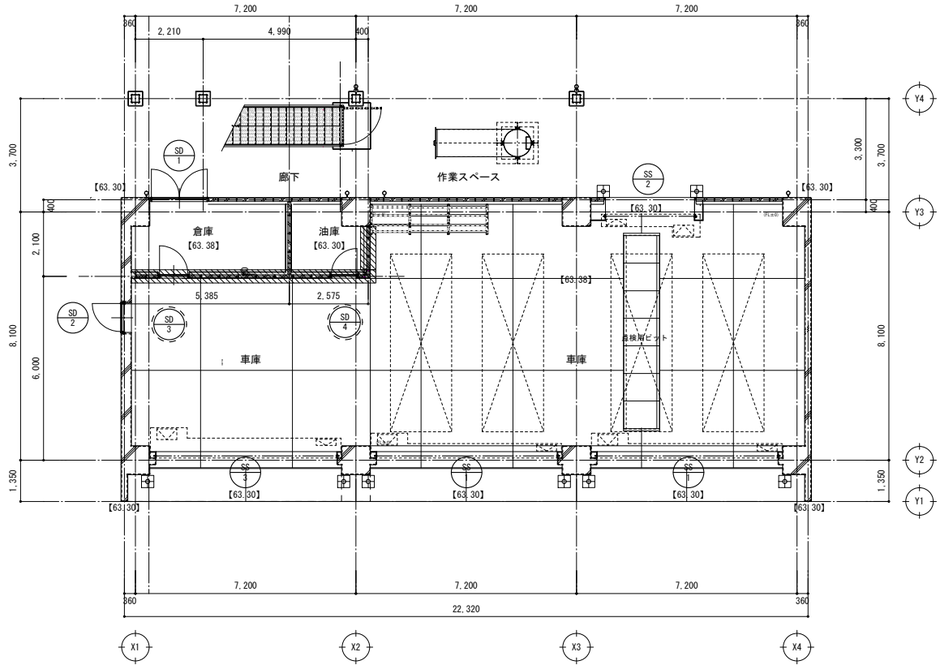


1.5階・2階建具案内図

1.5FL=66.80



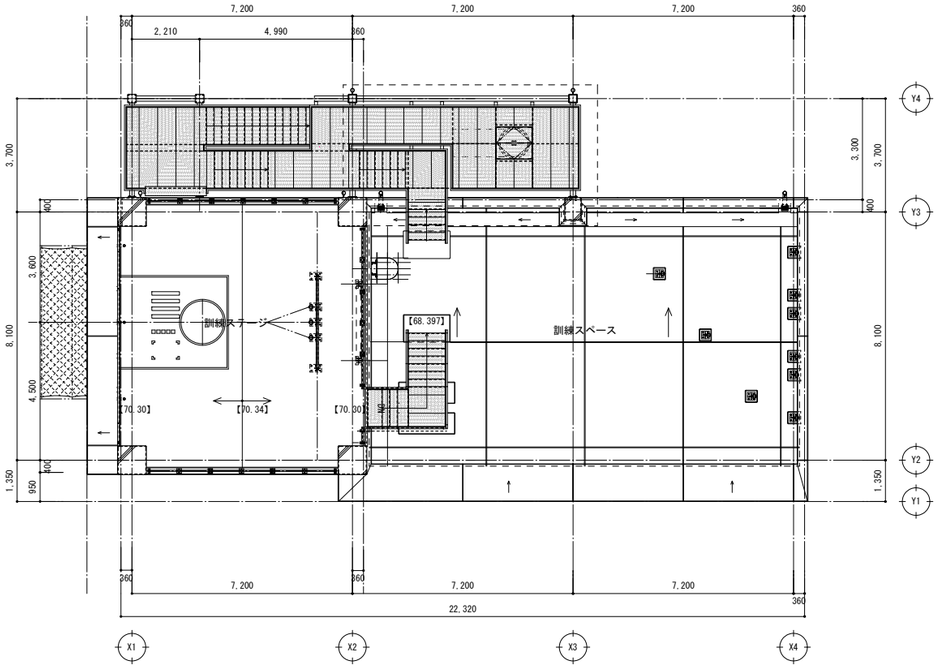
屋上・屋根建具案内図



1階建具案内図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.30とする。



2階・3階建具案内図

3FL=70.3

真北
磁北
7° 10' 00"
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26' 43.38"
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	ALC壁　t＝100　縦張り
【63.**】	特記以外の床レベルを示す
	異種用途区画範囲を示す
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事

凡例	仕　様
	特定防火設備を示す

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

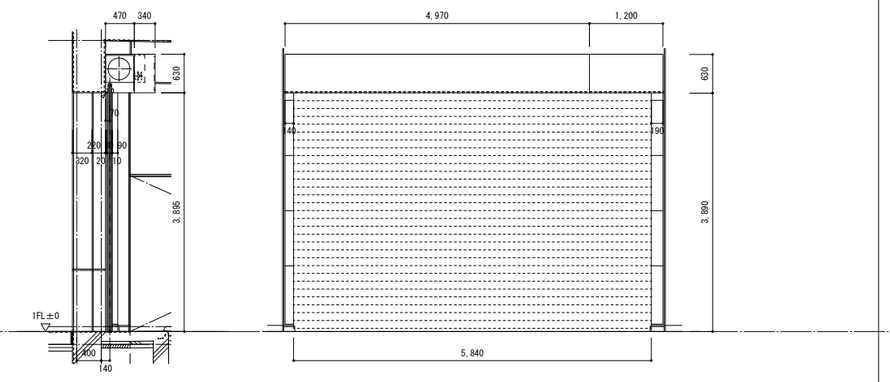
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　各階建具案内図	2023/03

NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-314

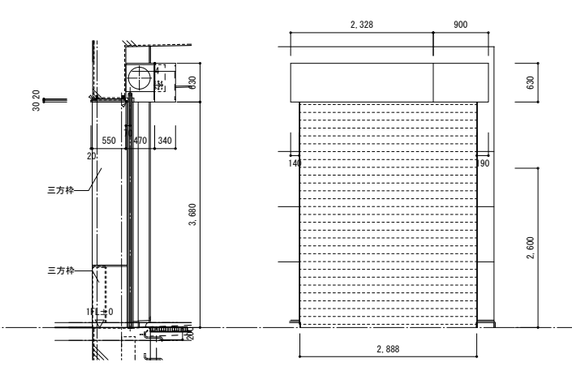
記号・数量	SS 1 2ヶ所	SS 2 1ヶ所	SS 3 1ヶ所	
名　　称	重量　シャッター（電動・高強度仕様）	重量　シャッター（電動・高強度仕様・水圧開放型）	重量　シャッター（電動・高強度仕様）	
R・O・S	O	O	O	
仕　　上	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・黒色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・黒色）、座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL） 焼付塗装（3部艶・指定色）	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・黒色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・黒色） 座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL）　三方枠及び室内側化粧枠：SUS304ｔ＝2.0　焼付塗装（3部艶・指定色）	シャッターケース（角ケース・露出型：DP（3部艶・黒色）、スラット：スチールｔ＝1.6　DP（3部艶・黒色）、座板・ガイドレール・マグサ：SUS304（HL） 焼付塗装（3部艶・指定色）	
建具 枠見込・ガラリ	—	—	—	
建具 ガラス（　）内ランマ	—	—	—	
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式、水圧開放スイッチ付	手動開閉用ハンドル、急降下停止装置、開閉操作ボックス（埋込型）、障害物検知装置（地震対策標準仕様） 付属金物一式	
防火戸の種類	—	—	—	
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる	部分詳細図に準ずる	部分詳細図に準ずる	
性　能　等　級	—	—	—	

形　状
寸　法
「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」

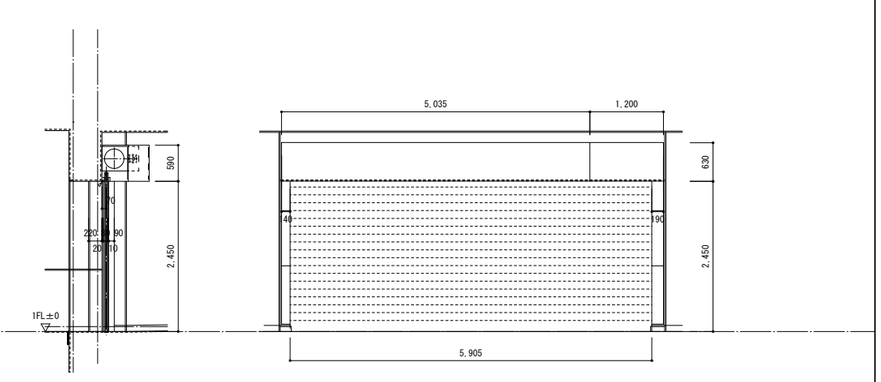
1階：車庫



1階：車庫



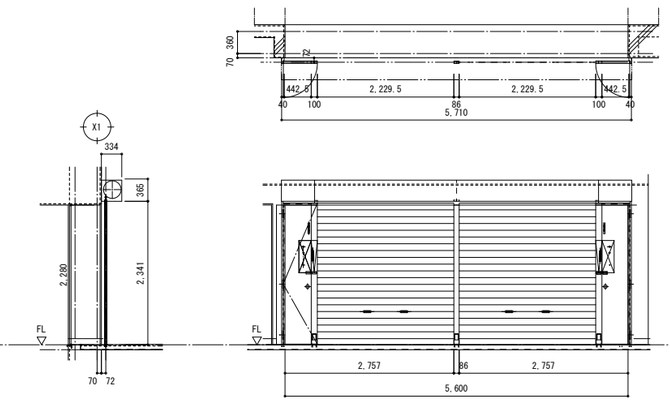
1階：車庫



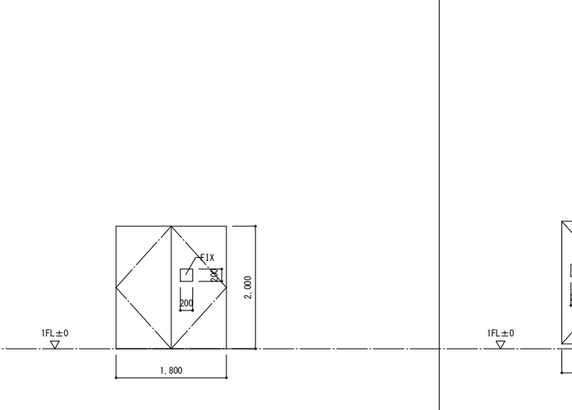
記号・数量	LS 1 1か所	SD 1 2か所	SD 2 1か所	SD 3 1か所	SD 4 1か所
名　　称	軽量　バランス式シャッター（手動・両袖扉付）	鋼製　　両開きフラッシュ扉	鋼製　　片開きフラッシュ扉	鋼製　　片開きフラッシュ扉	鋼製　　片開きフラッシュ扉
R・O・S	O	O	O	O	O
仕　　上	シャッターケース（露出型）、スラット：カラー鋼板ｔ＝0.8、袖扉：鋼板ｔ＝1.6加工　DP 座板・ガイドレール・取り外し式中柱：SUS304（HL）	DP	DP	DP	DP
建具 枠見込・ガラリ	別紙　部分詳細図による	120	100	120	120
建具 ガラス（　）内ランマ	—	F-4	F-4	—	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	手掛、専用錠、付属金物一式 別紙　部分詳細図による。	DC（固定）、丁番、フランス落とし、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（ストップ無し）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号	特定防火設備（常時閉鎖）　告示2564号
備考・窓廻り種別	別紙　部分詳細図に準ずる	枠（標4-42-1）に準ずる	枠（標4-42-2）に準ずる	枠（標4-25-1）・袖摺（4-31-4）に準ずる	枠（標4-25-1）・袖摺（4-31-4）に準ずる
性　能　等　級		—	—	—	—

形　状
寸　法
「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」

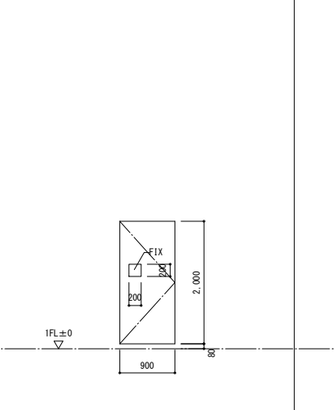
1.5階：ネット収納庫



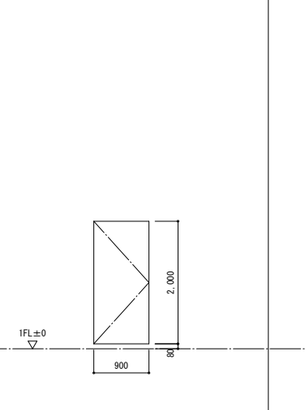
1階：倉庫
2階：ネット収納庫



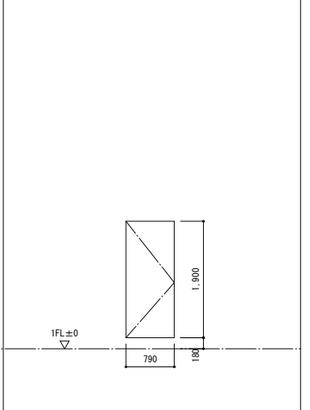
1階：車庫



1階：倉庫



1階：油庫



共通事項

1．特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2．標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1~B-8　及び注等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3．特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1~4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1~6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4．特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1~3)(4-12-1,2)(4-13-1~3)(4-22-1~5)(4-23-3~5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1~6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5．特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6．特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7．特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8．特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
　また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9．　鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10．トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11．特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12．特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13．特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14．ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
　又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15．特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16．開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17．フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18．建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19．マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。）
20．扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21．サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
　但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22．外壁建具については、詰モルタル充填とする。また露出部については、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23．水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24．代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25．特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等）とする。
　特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
26．LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27．戸当りは、床付：ユニオンUT-360-S3（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28．カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29．内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウール＝30吹付にて覆う事とする。
30．特記のないDCは、ストップ付とする。

-ピボットヒンジの仕様-
1．強度は扉の寸法.重量に見合ったものを使用する。
2．扉則として支持吊（容摺挿入型）とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3．扉重量が120kgを超える場合は、容摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4．FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	T B	トイレブース	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	S P	可動間仕切	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	W P	木製可動間仕切	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	SLW	可動間仕切	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	特防	特定防火設備	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	防	防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	常開	常時開放戸		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

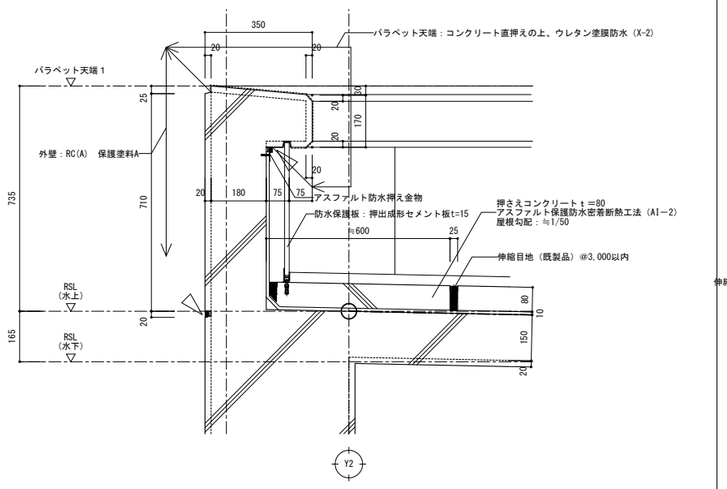
ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
無　し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イー1（4-51-3）又は共通図	ウー1（4-51-4）	エー1（4-51-5,6）	オー1（4-51-7）
有　り	———	イー2（4-52-1）又は共通図	ウー2（4-52-2）	エー2（4-52-3,4）	オー2（4-52-5）

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　建具リスト		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-315

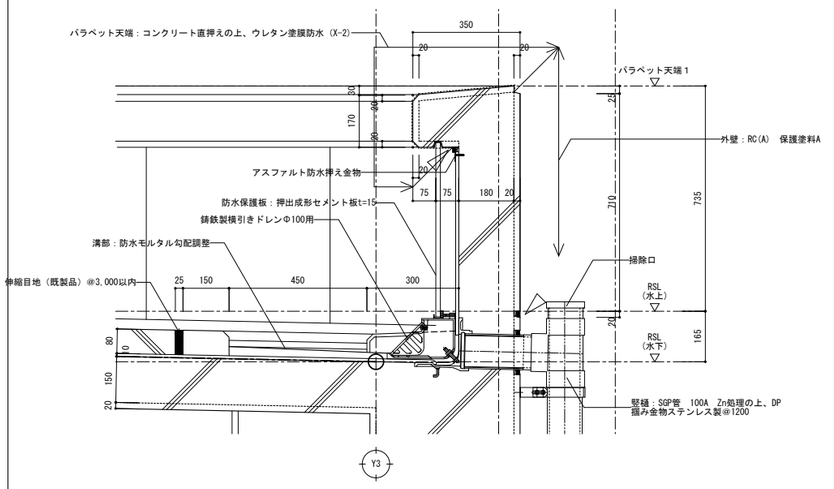
外０１　パラペット　詳細図（水上側）

A1:1/10
A3:1/20



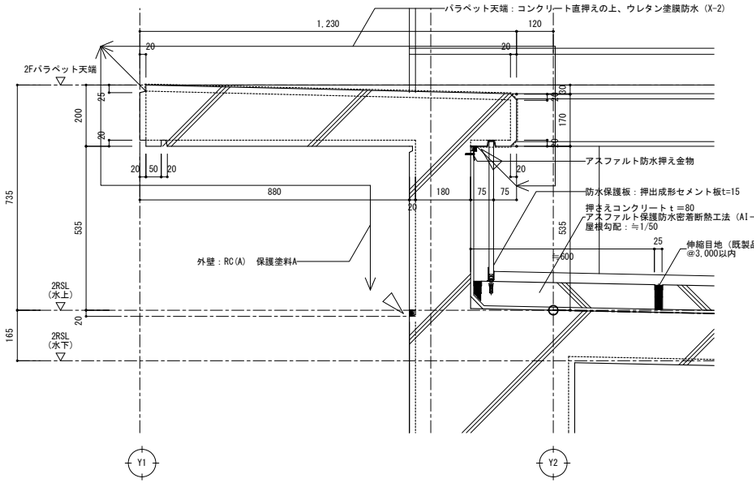
外０２　パラペット　詳細図（水下側）

A1:1/10
A3:1/20



外０３　パラペット　詳細図（２階Y1通り側）

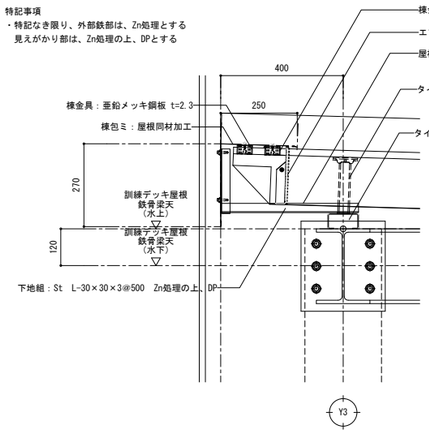
A1:1/20
A3:1/40



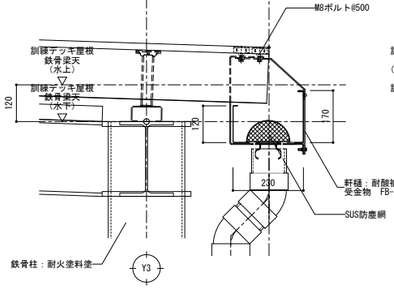
外０４　折板屋根　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

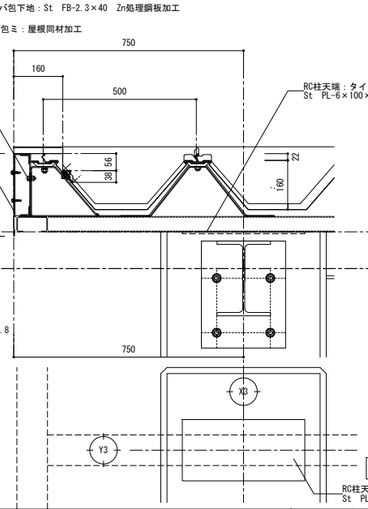
特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする



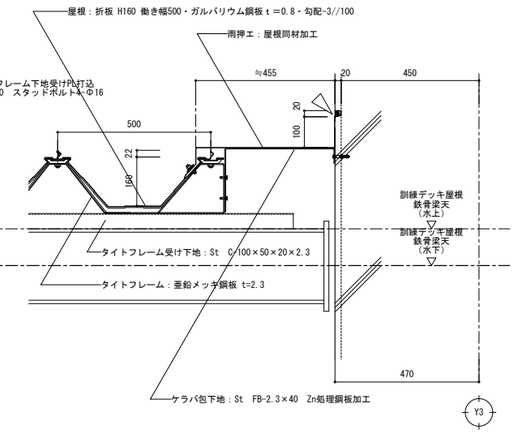
A—A　断面詳細図



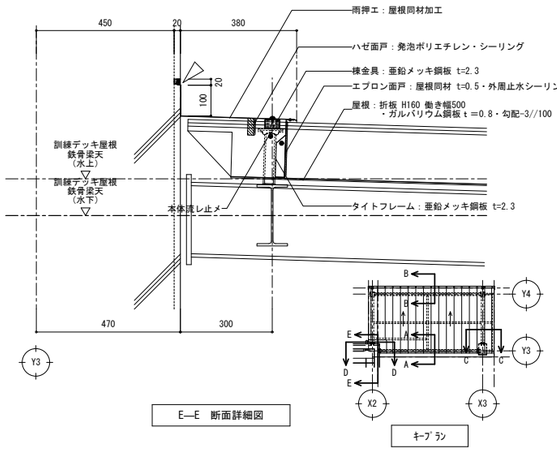
B—B　断面詳細図



C—C　断面詳細図



D—D　断面詳細図



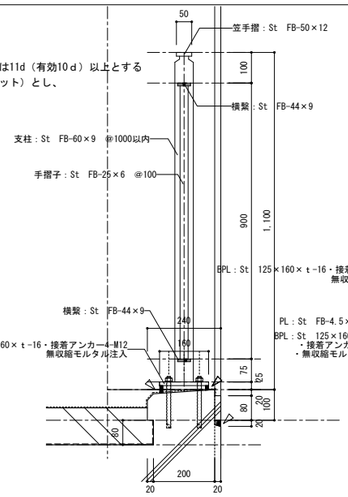
E—E　断面詳細図

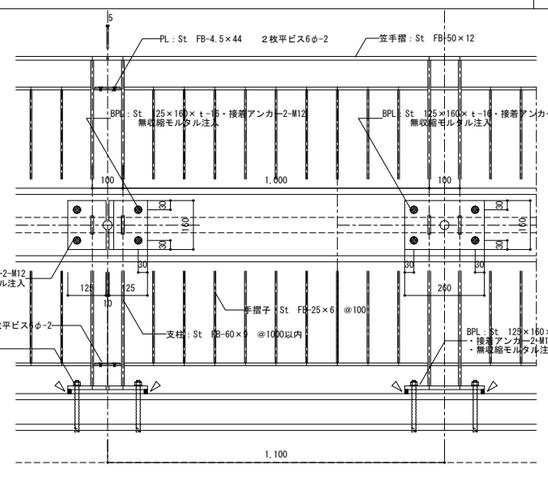
キープラン

外０５　ネット収納庫（固定式）手摺　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは11d（有効10ｄ）以上とする
　また、接着系アンカー全ネジボルト（先端45度カット）とし、
　材質は、SS400同等以上とする

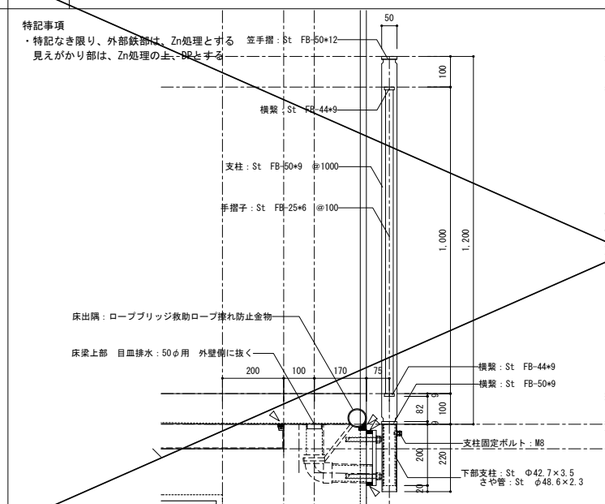


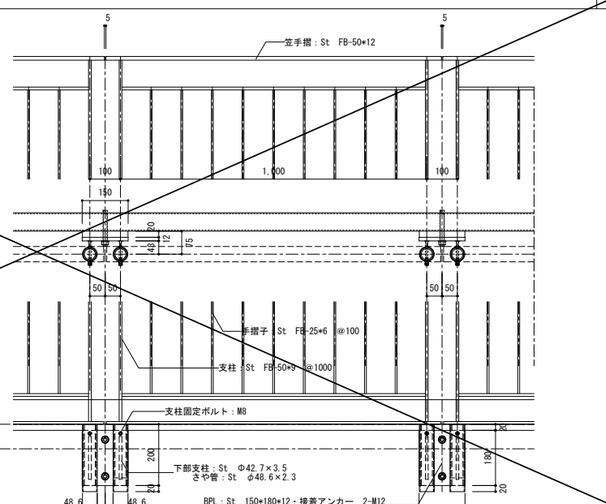


外０６　ネット収納庫（着脱式）手摺　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする　笠手摺：St　FB-50*12
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする

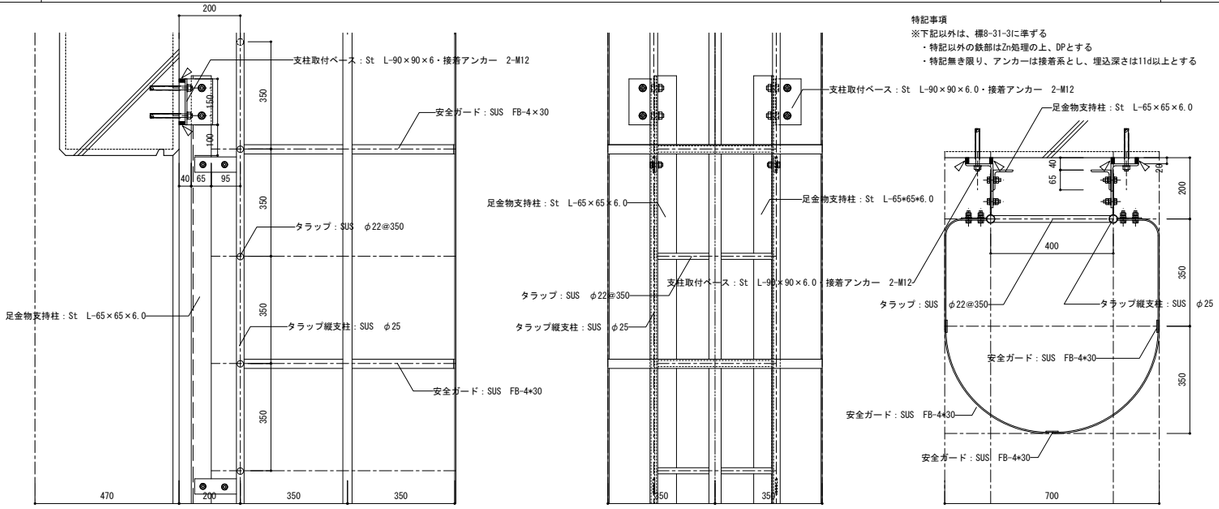




工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【車庫棟】　部分詳細図（外部1）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武		安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-316

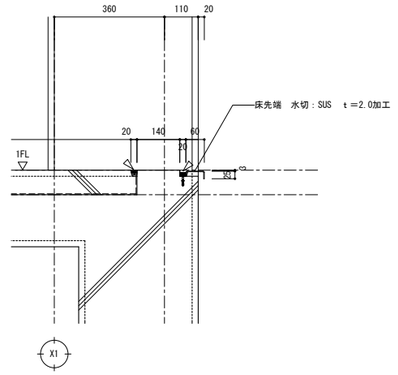
外０７　SUS製(HL)タラップ　支持金物　詳細図

A1:1/10
A3:1/20



外０８　床先端水切　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

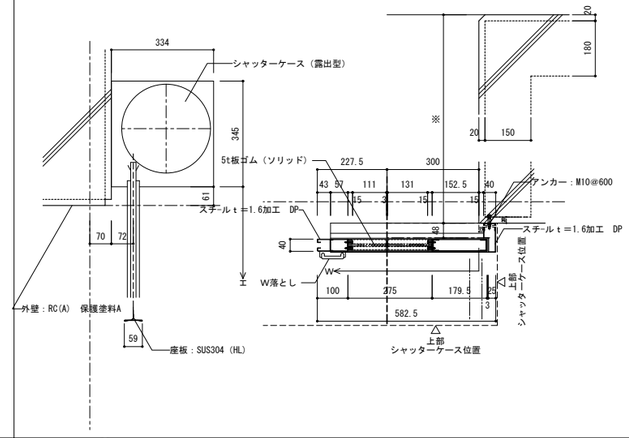


外０９　軽量バランスシャッター　詳細図

LS 1

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる
・鋼板加工部：ポンデ鋼板の上、DPとする
※下記以外は、参考詳細図による

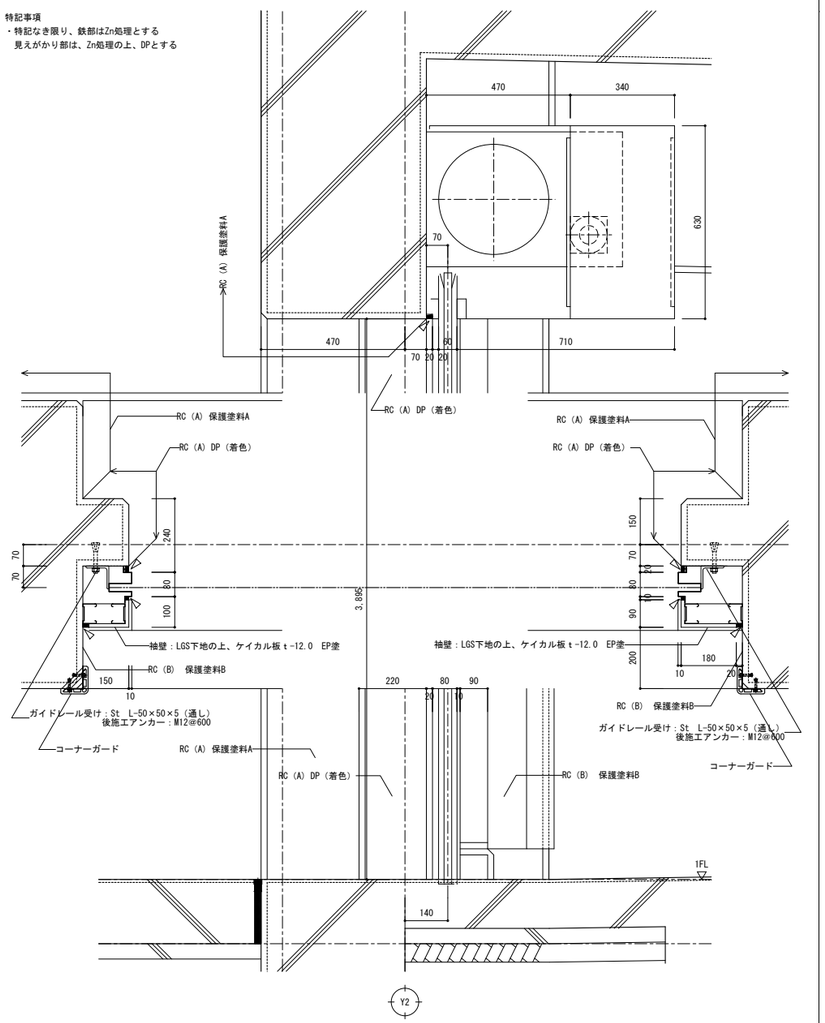


外１０　重量シャッター　詳細図

SS 1　SS 3

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、鉄部はZn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする

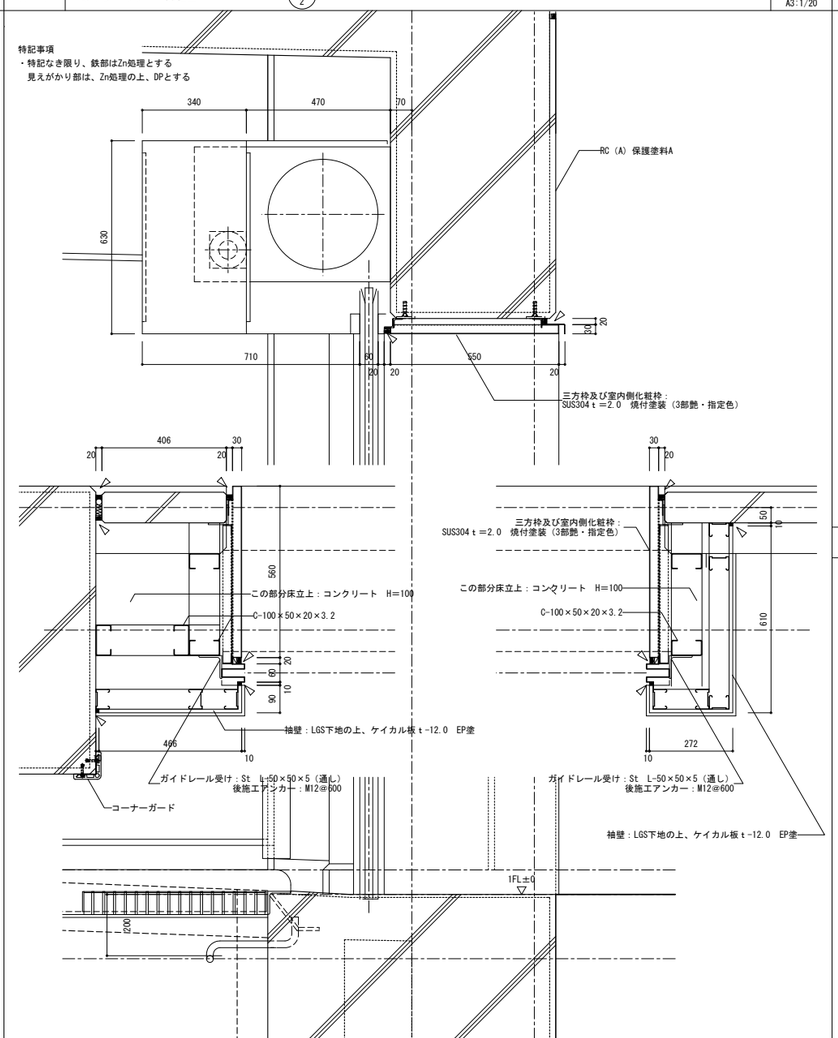


外１１　重量シャッター　詳細図

SS 2

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、鉄部はZn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする

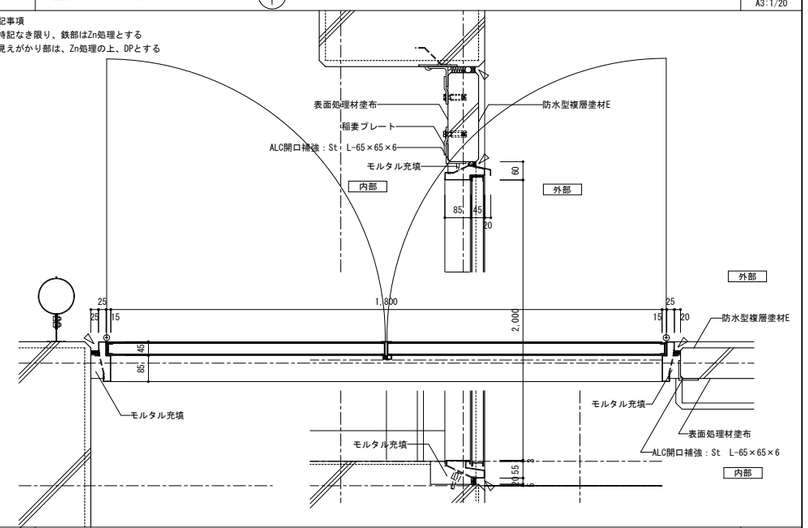


外１２　鋼製建具取付　詳細図

SD 1

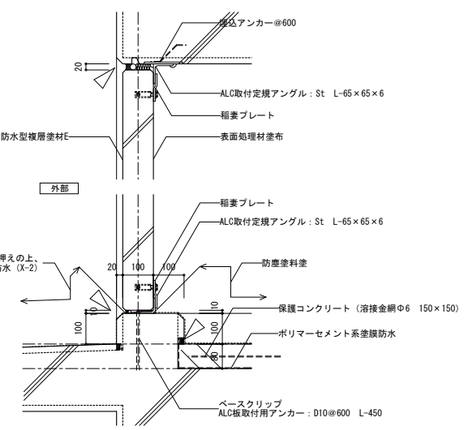
A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、鉄部はZn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする



外１３　外壁　ALC板取付　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

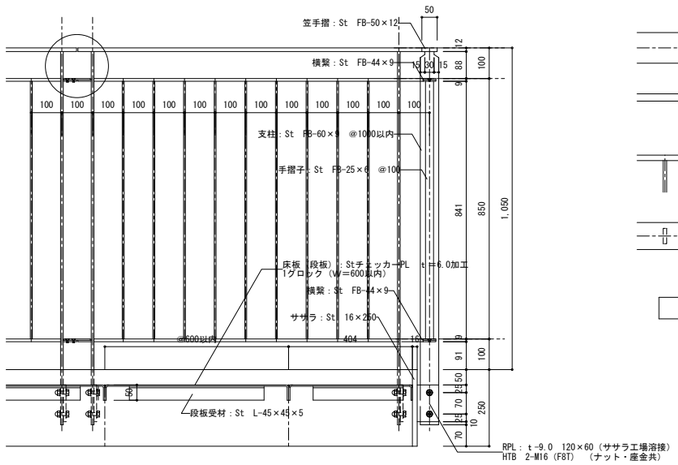


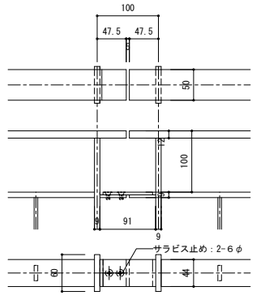
工事名		図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】　部分詳細図（外部2）	2023/03
管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC　株式会社ニュージェック　小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-317

外１４　屋外階段手摺　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする

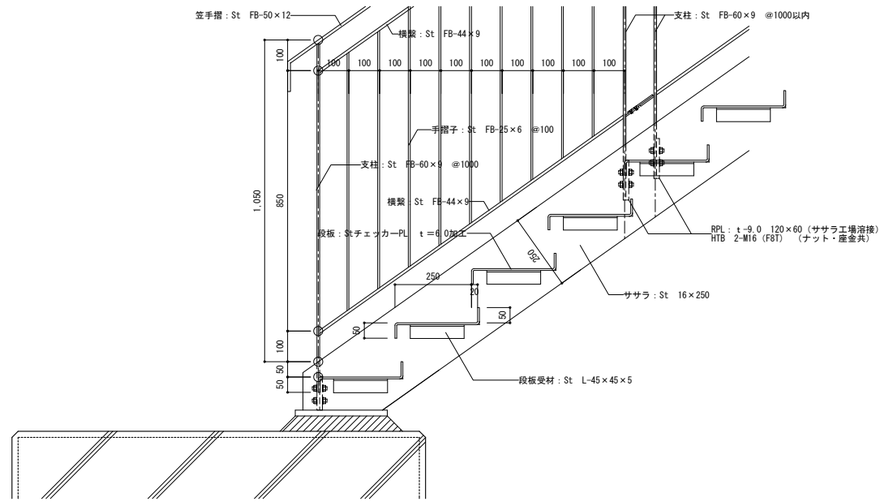




接続部分詳細図 1/5

外１５　屋外階段部分　詳細図

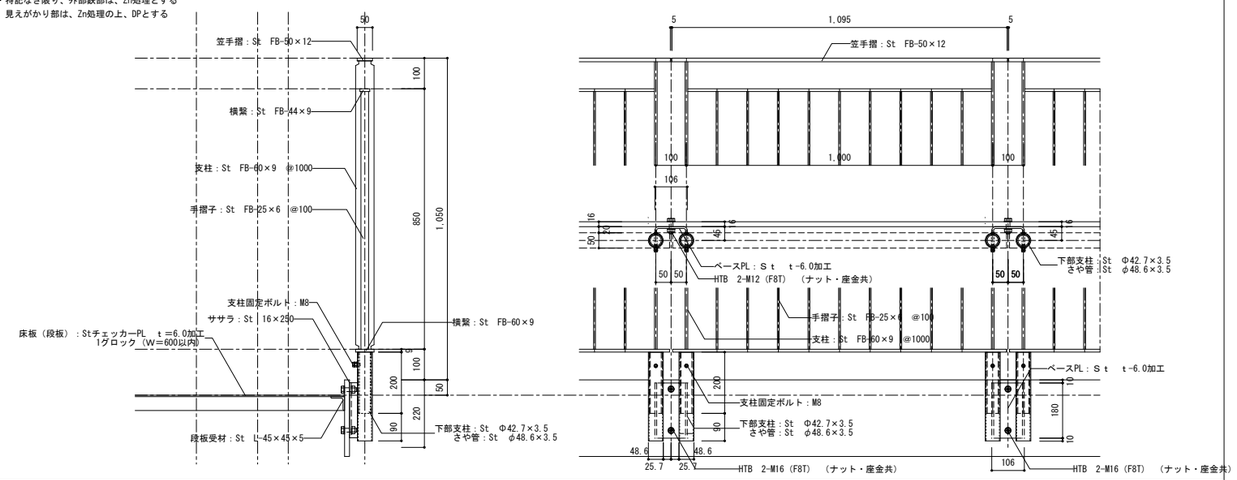
A1:1/10
A3:1/20



外１６　屋外階段（着脱式）手摺　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

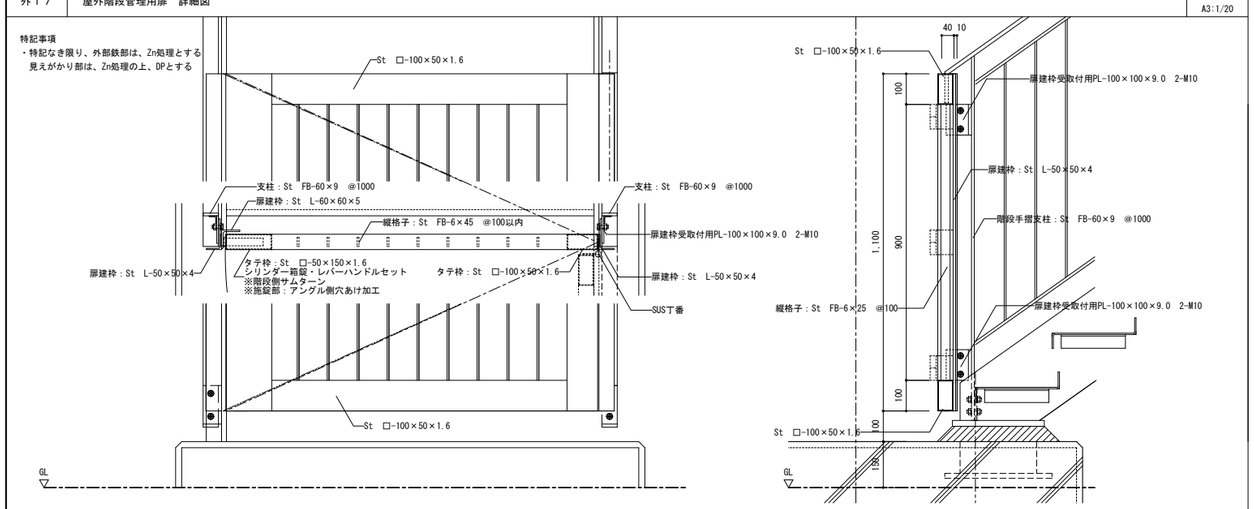
特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする



外１７　屋外階段管理用扉　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

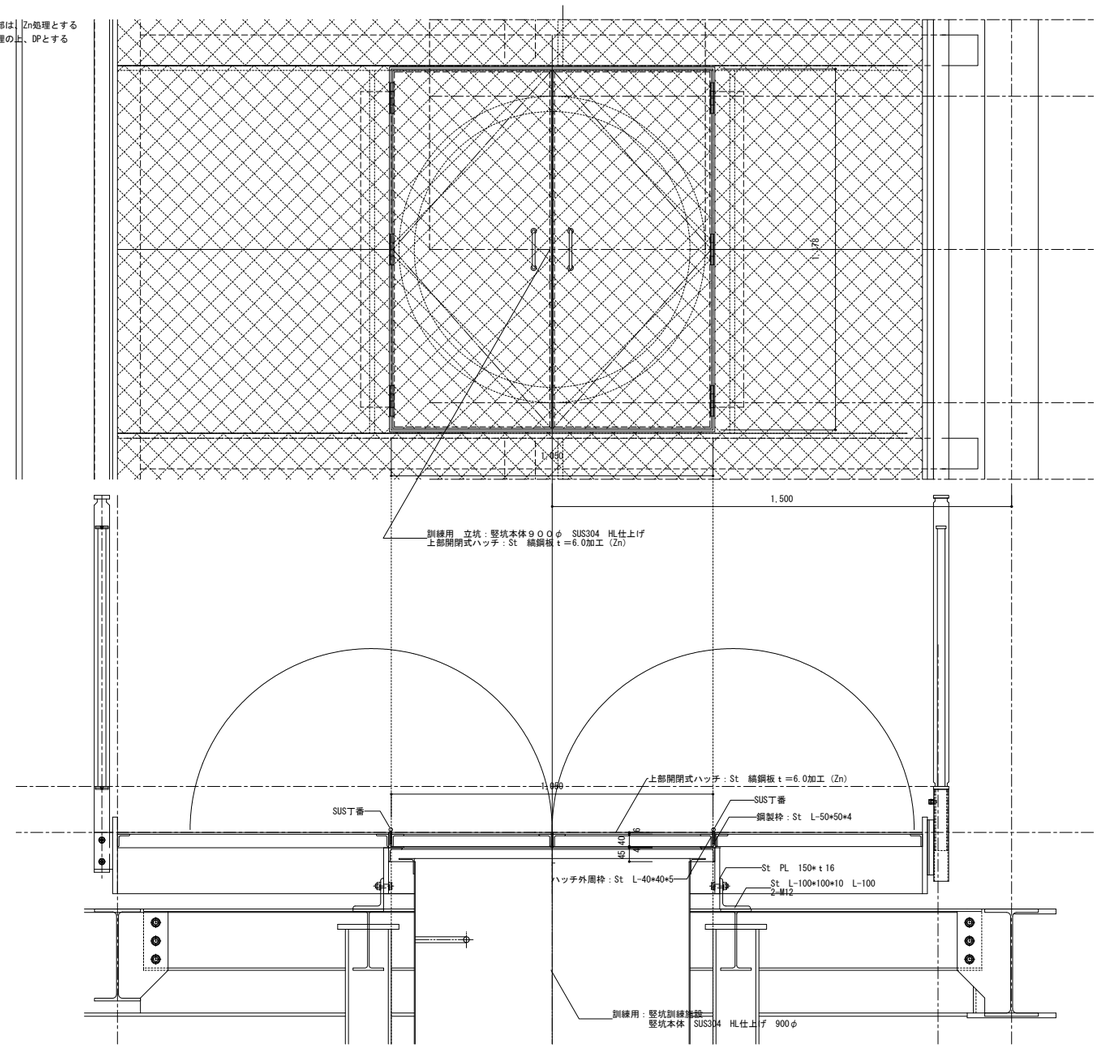
特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする



外１７　訓練用：竪坑訓練施設　床ハッチ詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見えがかり部は、Zn処理の上、DPとする

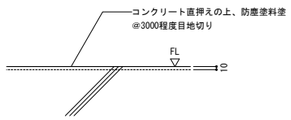


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】　部分詳細図（外部３）		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：各記 A3：各記	A-318

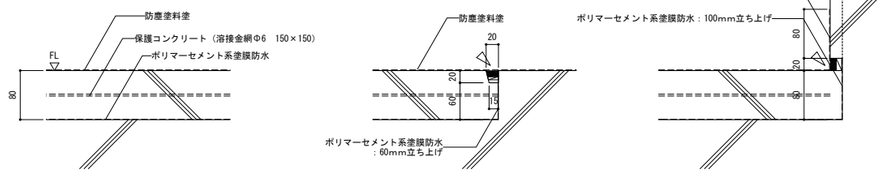
内０１　床　リスト

A1:1/5
A3:1/10

凡例：　<FL-1>

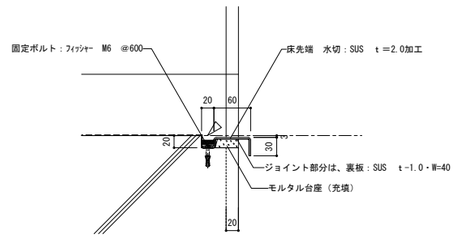


凡例：　<FL-9>



内０２　床端部　水切詳細図

A1:1/5
A3:1/10



内０３　壁　リスト

A1:1/5
A3:1/10

下地	凡例	仕　様	詳細番号	壁材の表面仕上材 （下記の仕上以外は図示による）	特記番号
RC下地	<RC-3>	ＲＣ（Ａ）の上　各仕上	a	保護塗料A	(1)
	<RC-5>	ＲＣ（Ｂ）の上　各仕上	a	保護塗料B	(1)
ALC板下地	<AL-1>	ALC板　ｔ＝100　縦張の上　各仕上	b	表面処理（シーラー塗布）	

特記事項

(1)　原則：室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）保護塗料B（増し打ち20）とする。※３階訓練ステージは、外部壁適用とする。（保護塗料A）

a

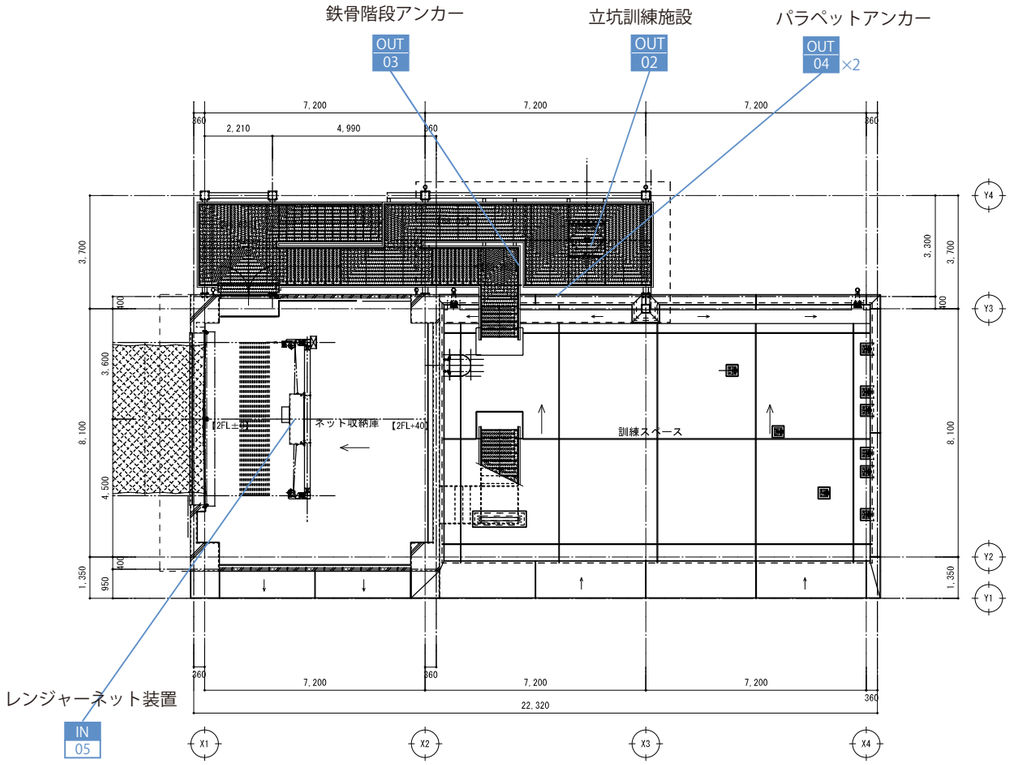
特記事項
・増打厚さが異なる場合は、図中の書込数値による

b

特記事項
・ALC板取付用金物：見え掛かり部分は、錆止めの上、SOP塗とする

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】　部分詳細図（内部1）	2023/03

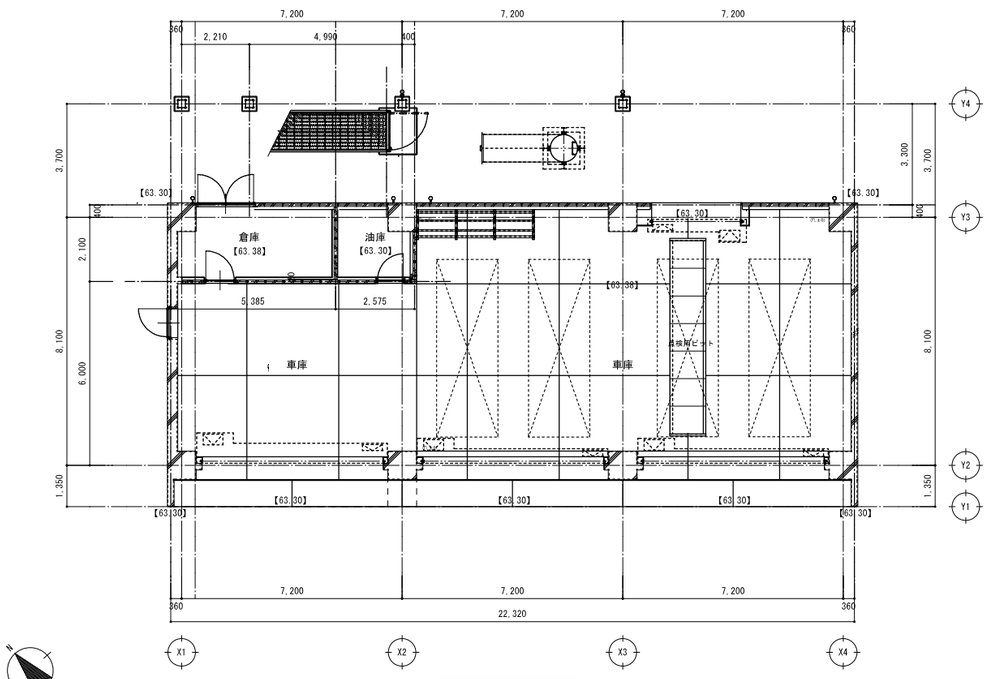
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-319



1．５階・２階平面図

1.5FL=66.80

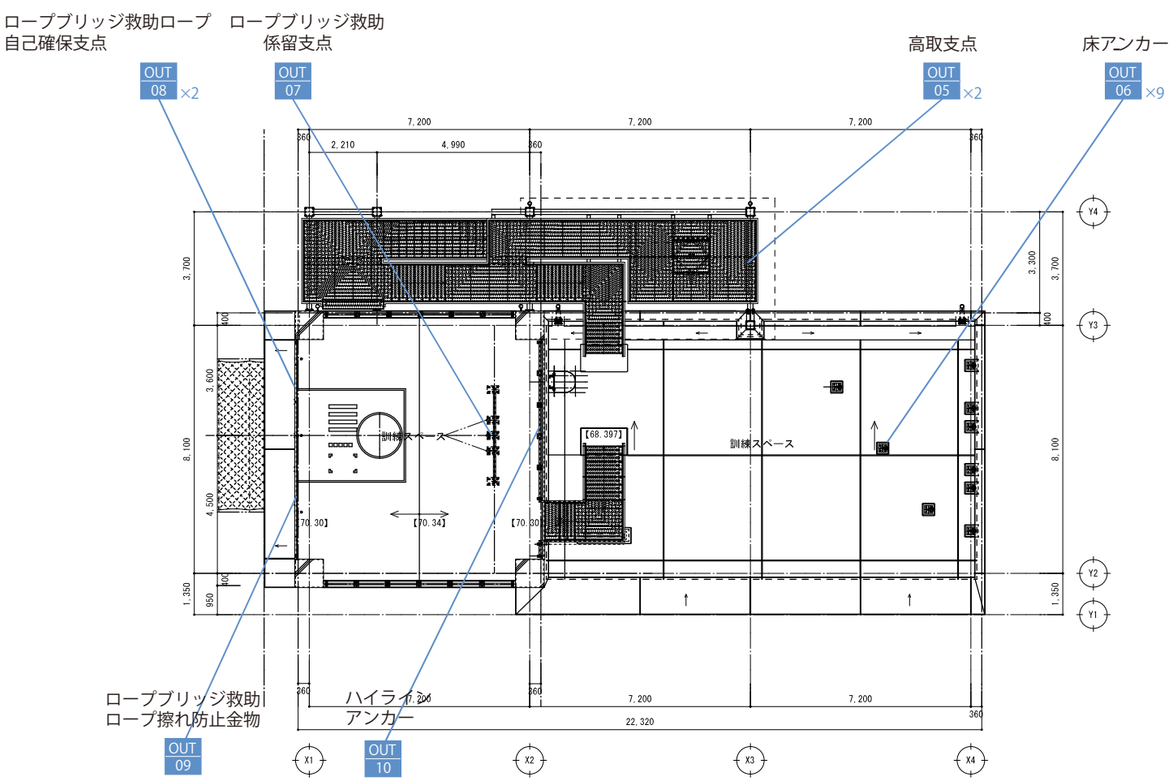
番号	消防訓練金物名称	取付	合計	車庫棟1.5階	車庫棟2階	車庫棟3階
IN 05	レンジャーネット装置	［壁付］	1	1	-	-
OUT 02	立坑訓練施設	［壁付］	1	-	1	-
OUT 03	鉄骨階段アンカー	［壁付］	1	-	1	-
OUT 04	パラペットアンカー	［梁付］	2	-	2	-
OUT 05	高取支点	［床付］	2	-	2	-
OUT 06	床アンカー	［床 付］	9	-	9	-
OUT 07	ロープブリッジ救助係留支点	［床付］	1	-	-	1
OUT 08	ロープブリッジ救助用自己確保支点	［壁付］	2	-	-	2
OUT 09	ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物	［地面付］	1	-	-	1
OUT 10	ハイラインアンカー	［地面付］	1	-	-	1



１階平面図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.30とする。



２階・３階平面図

3FL=70.3

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】 消防訓練金物キープラン		2022/06
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 A-320

K21	タイヤ収納棚 詳細図【車庫棟車庫】	A1:1/20 A3:1/40

【車庫棟車庫 K－4B】

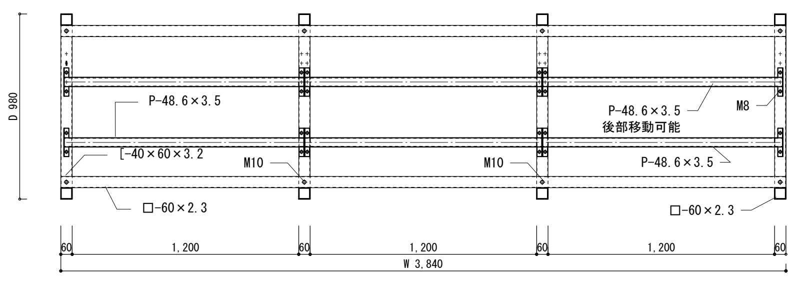
※タイヤ収納棚

・3連式2段タイプ K－4B

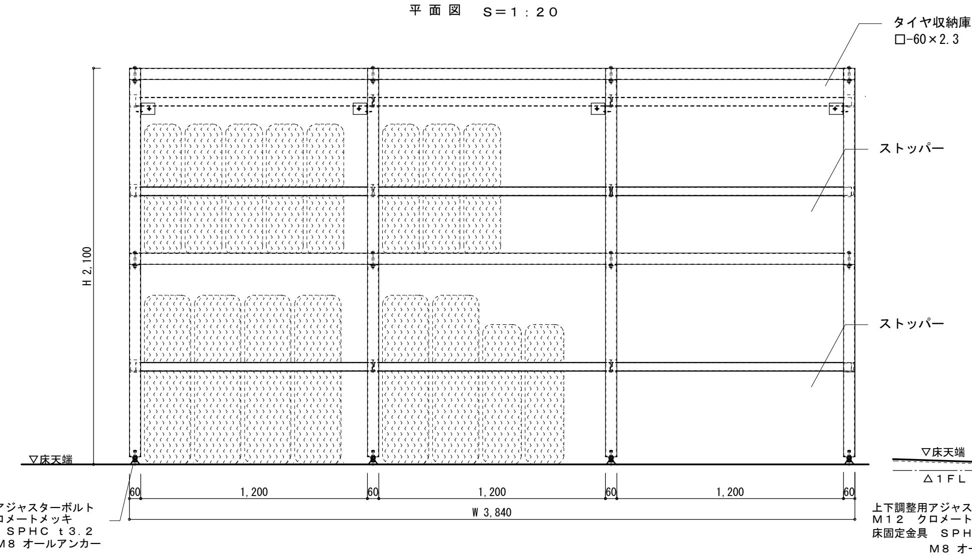
・寸 法：W3840×D980×H2100

・塗 装：粉体焼付塗装

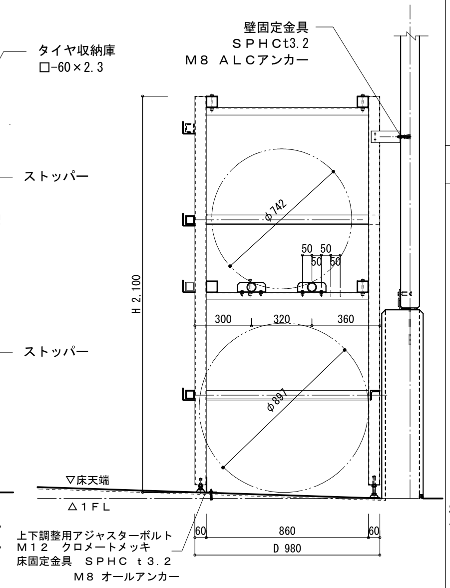
製作台数 ・・・ 1 台



平 面 図 S＝1：20



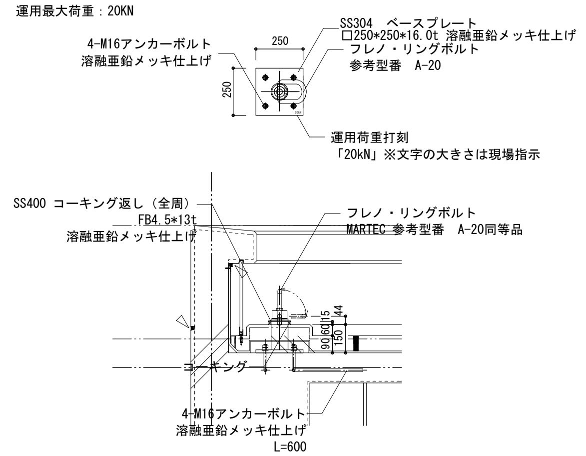
正 面 図 S＝1：20



断 面 図 S＝1：20

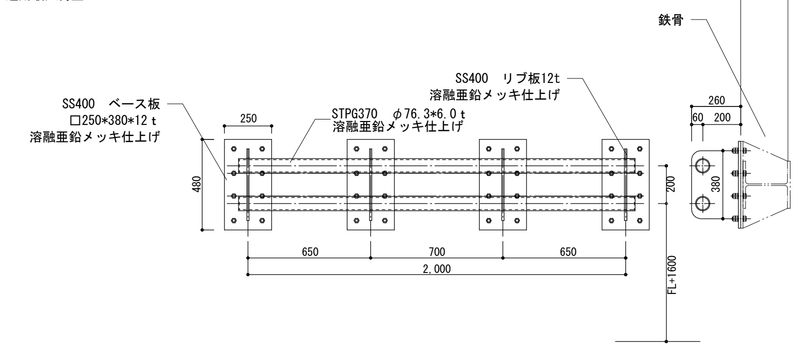
OUT 06	床アンカー	個数：9	A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN



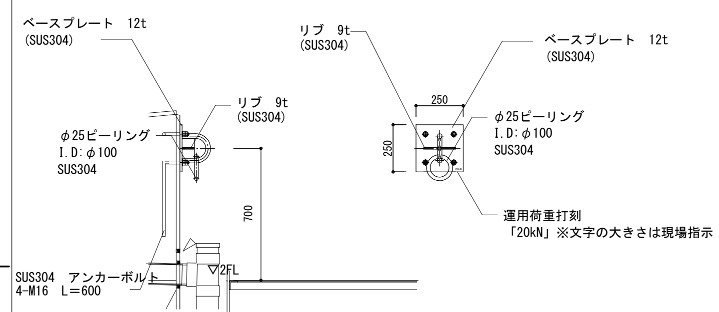
OUT 10	ハイラインアンカー	個数：1	A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN



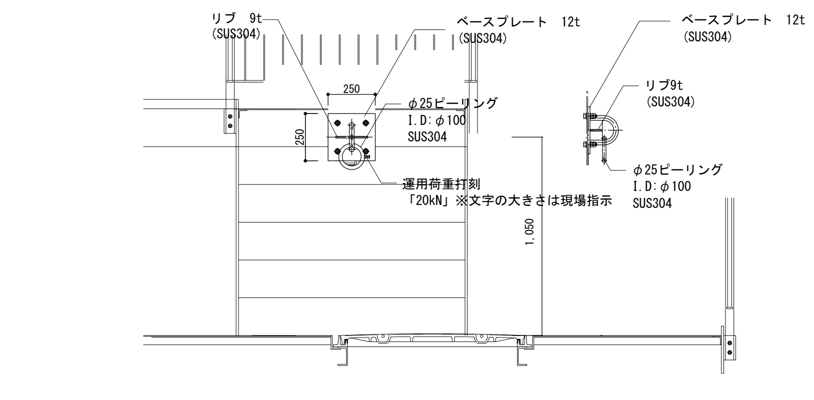
OUT 04	パラペットアンカー	個数：2	A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN



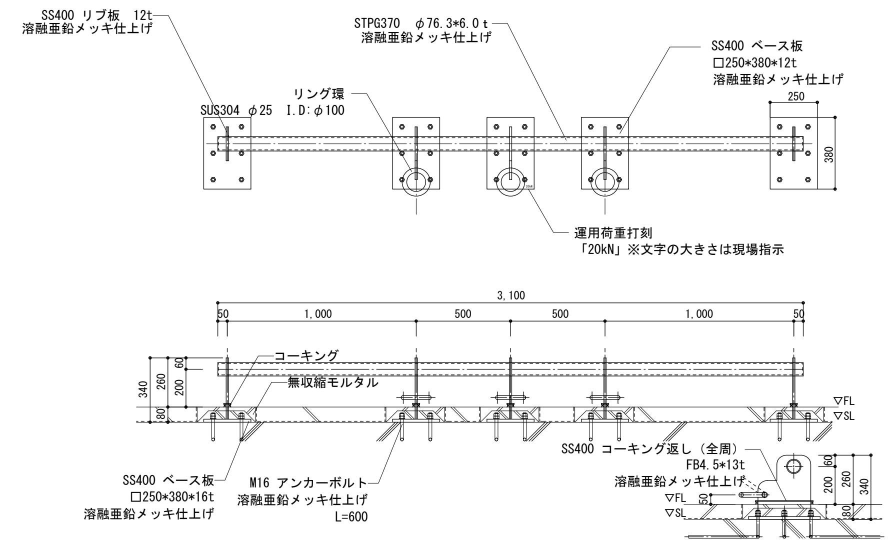
OUT 03	鉄骨階段アンカー	個数：1	A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN

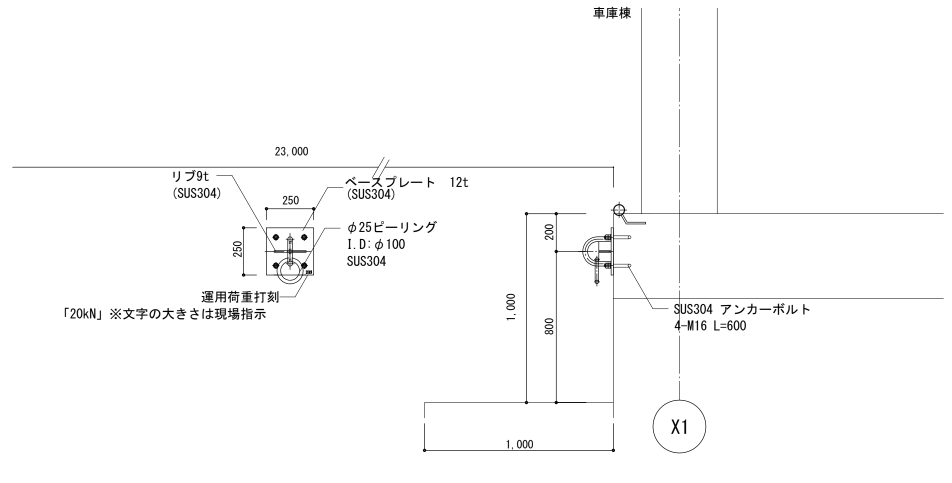


OUT 07	ロープブリッジ救助係留支点	個数：1	A1:1/20 A3:1/40

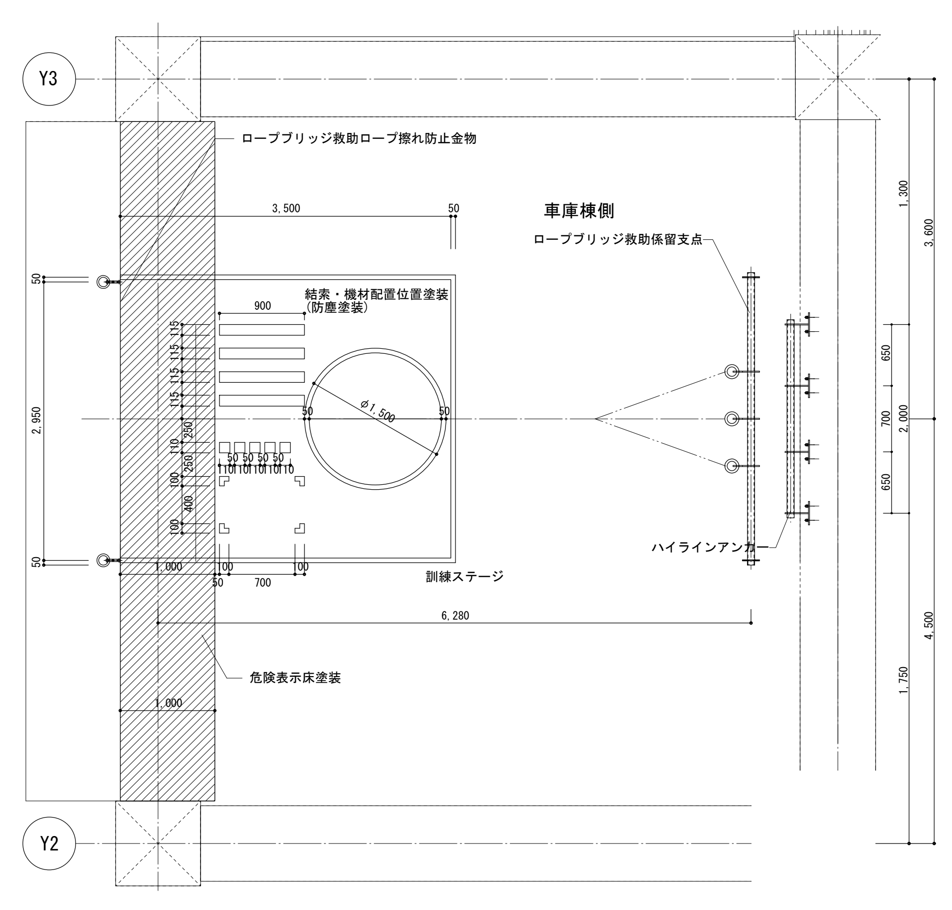
運用最大荷重：20KN



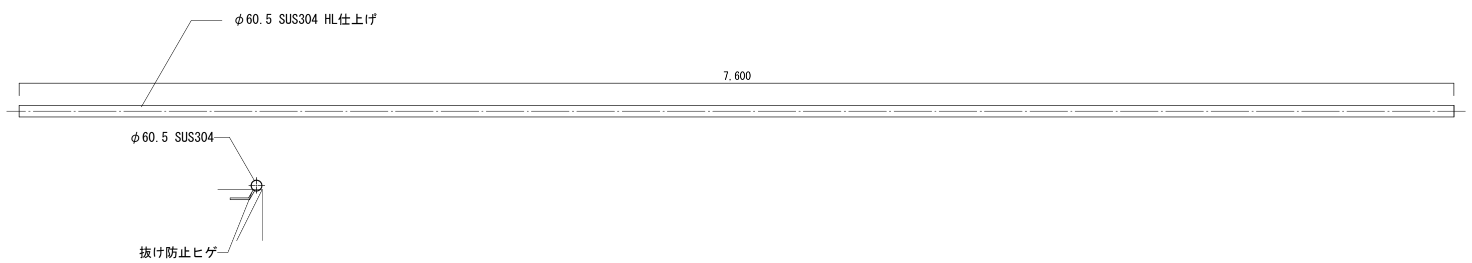
OUT 08	ロープブリッジ救助用自己確保支点	個数：2	A1:1/20 A3:1/40



-	ロープブリッジ救助係留支点・ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物・ハイラインアンカー平面図	-	A1:1/40 A3:1/80



OUT 09	ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物	個数：1	A1:1/20 A3:1/40



工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【車庫棟】 消防訓練金物図（1）	2023/03

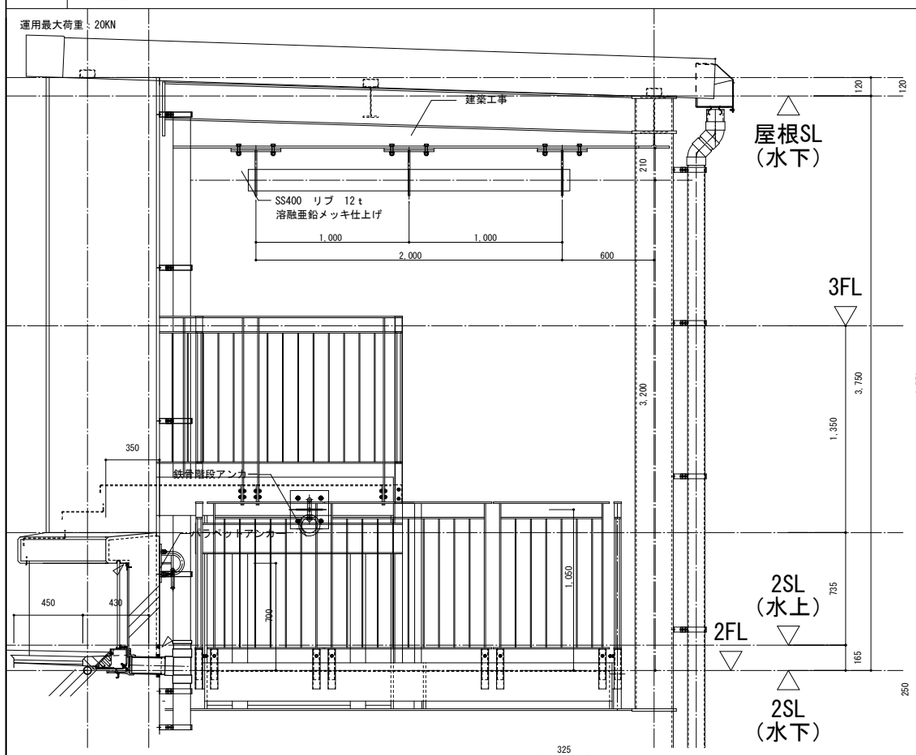
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1:各記 A3:各記	A-321

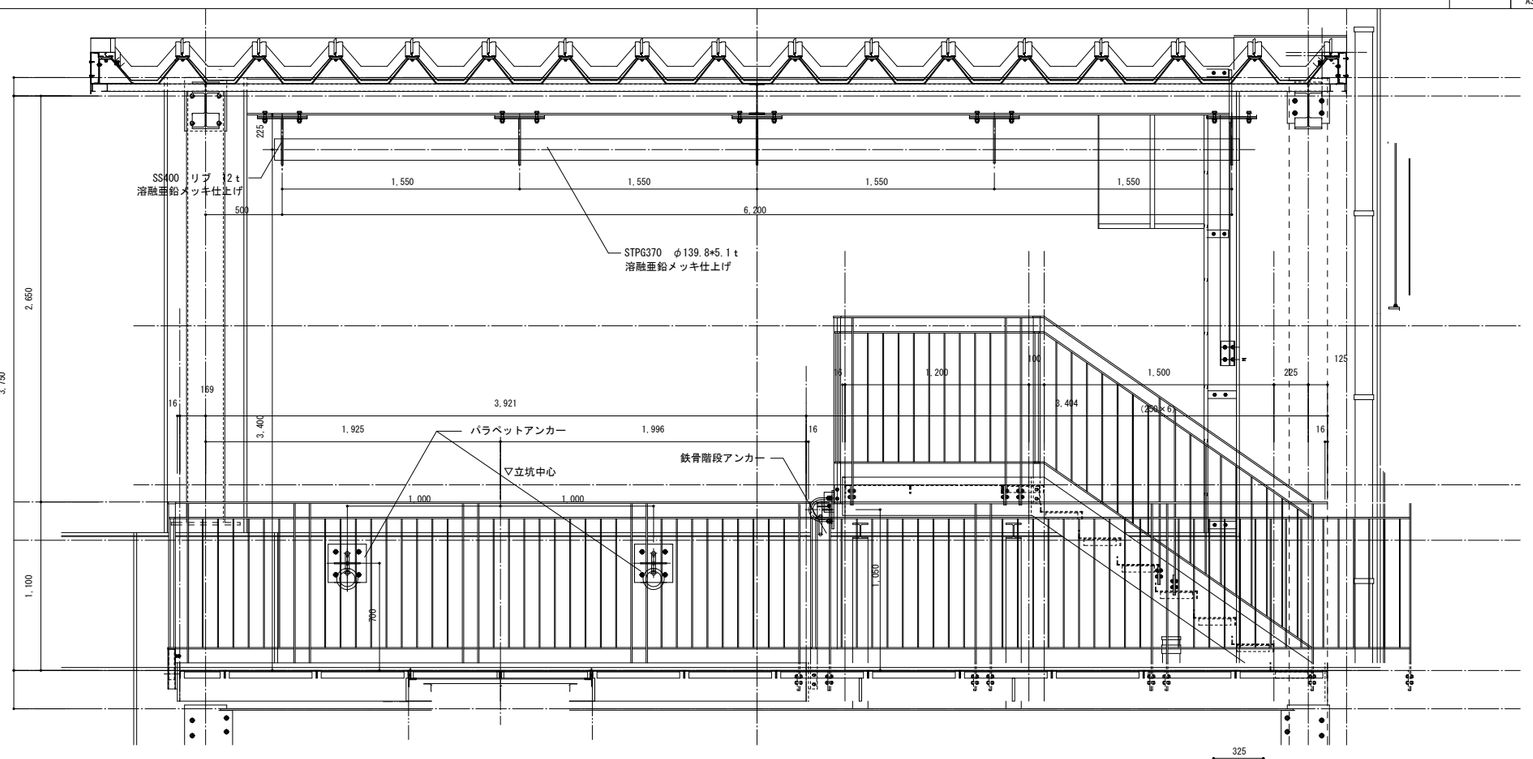
OUT 05　高取支点

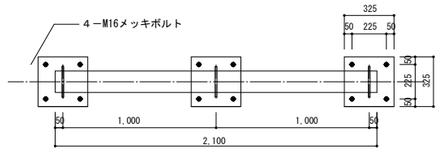
個数：2

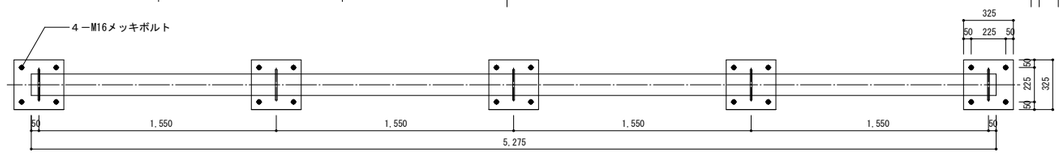
A1：1/20
A3：1/40

運用最大荷重：20KN





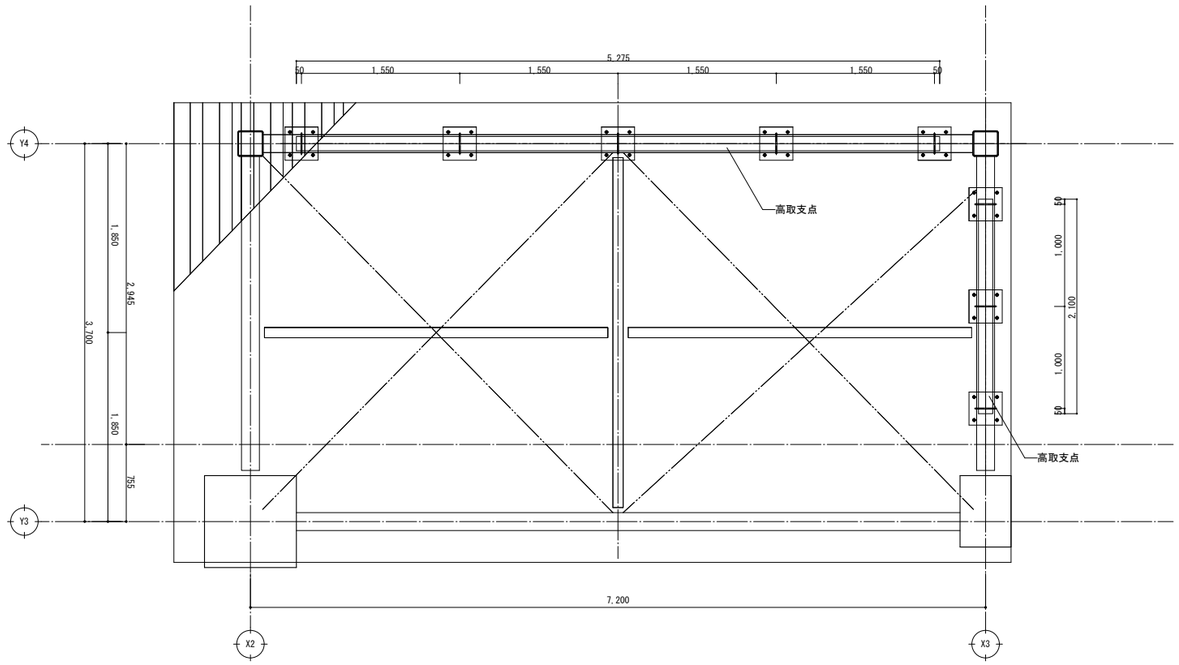




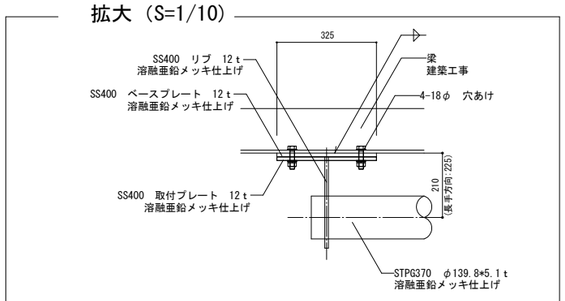
OUT 05　高取支点　平面図

個数：2

A1：1/30
A3：1/60

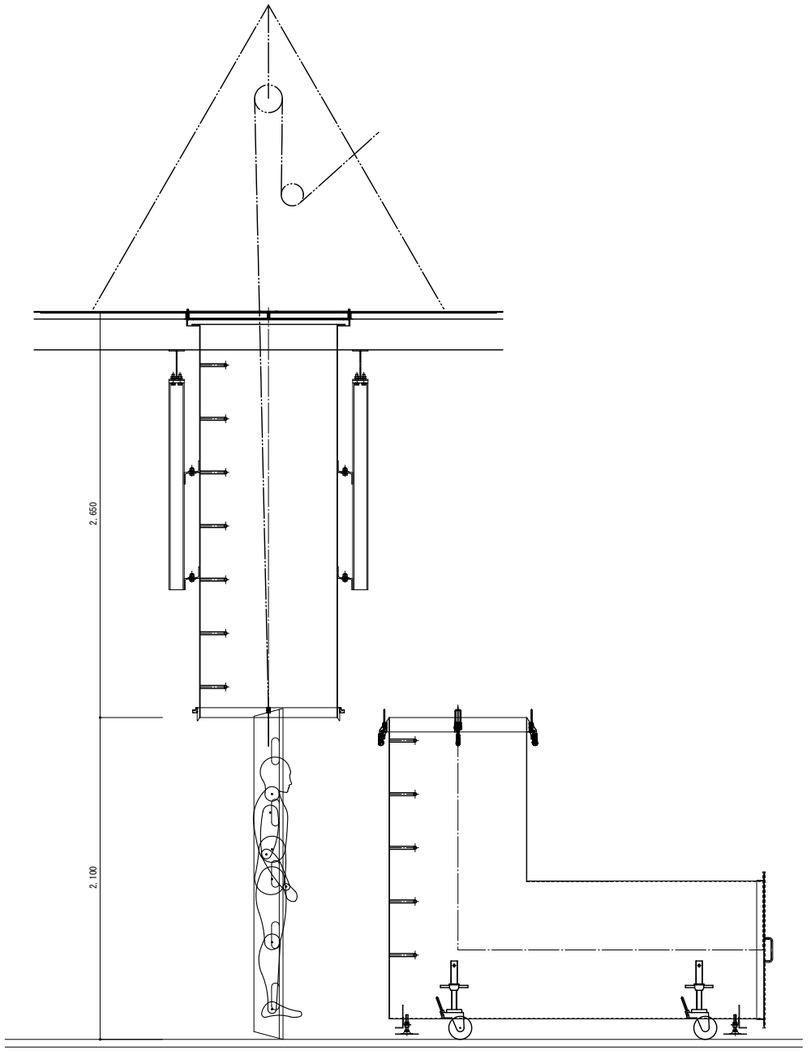


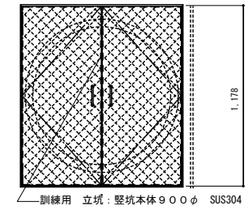
拡大（S=1/10）



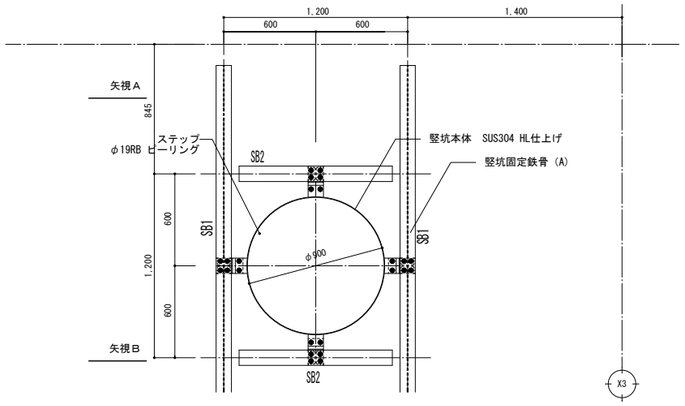
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】　消防訓練金物図（２）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：各記 A3：各記	A-322

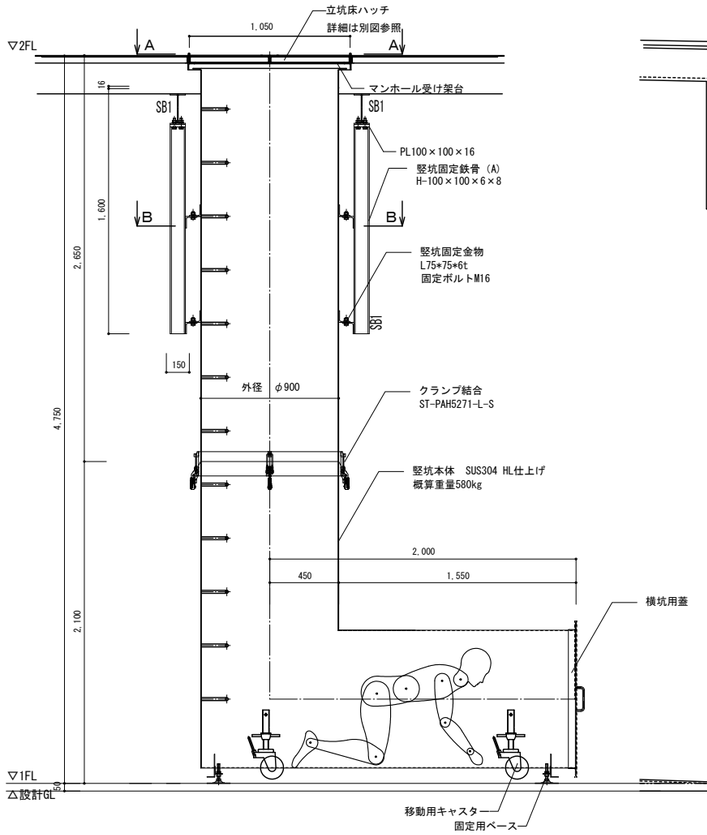
OUT 02	立坑訓練施設	個数：1	A1：1/20 A3：1/40

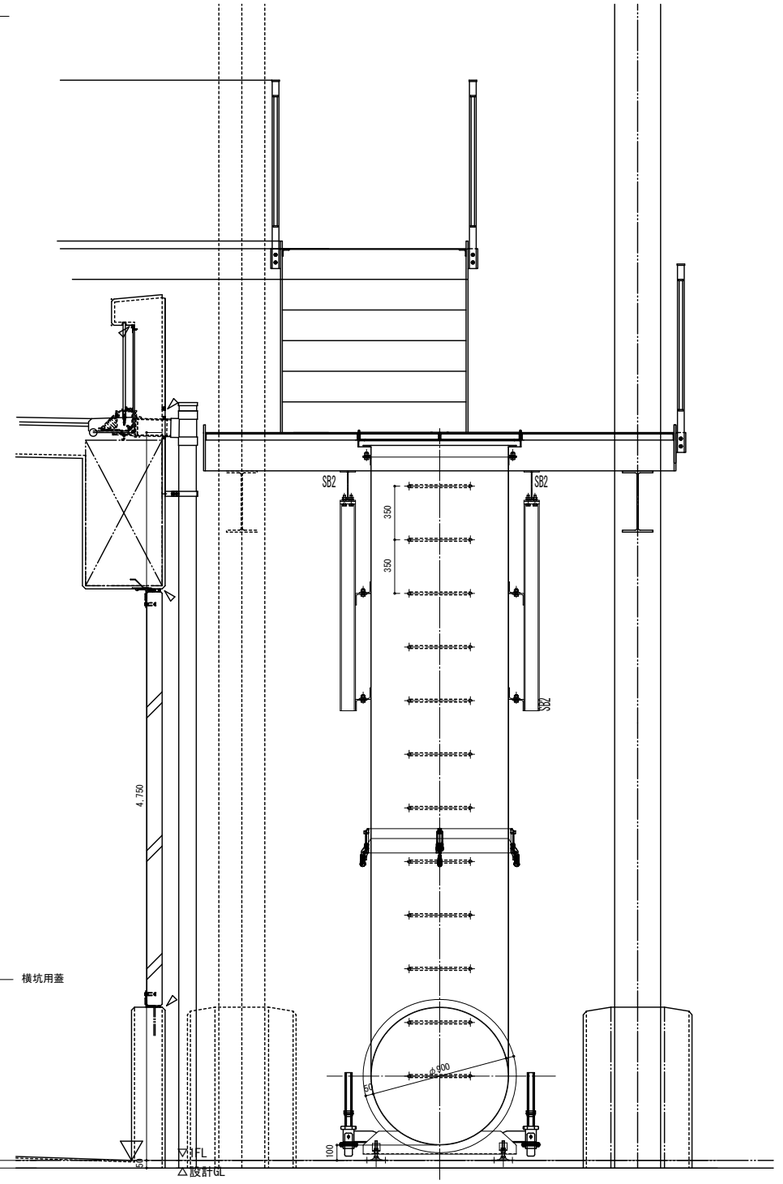




訓練用　立坑：竪坑本体９００φ　SUS304　HL仕上げ
上部開閉式ハッチ：St　縞鋼板ｔ＝6.0加工（Zn）

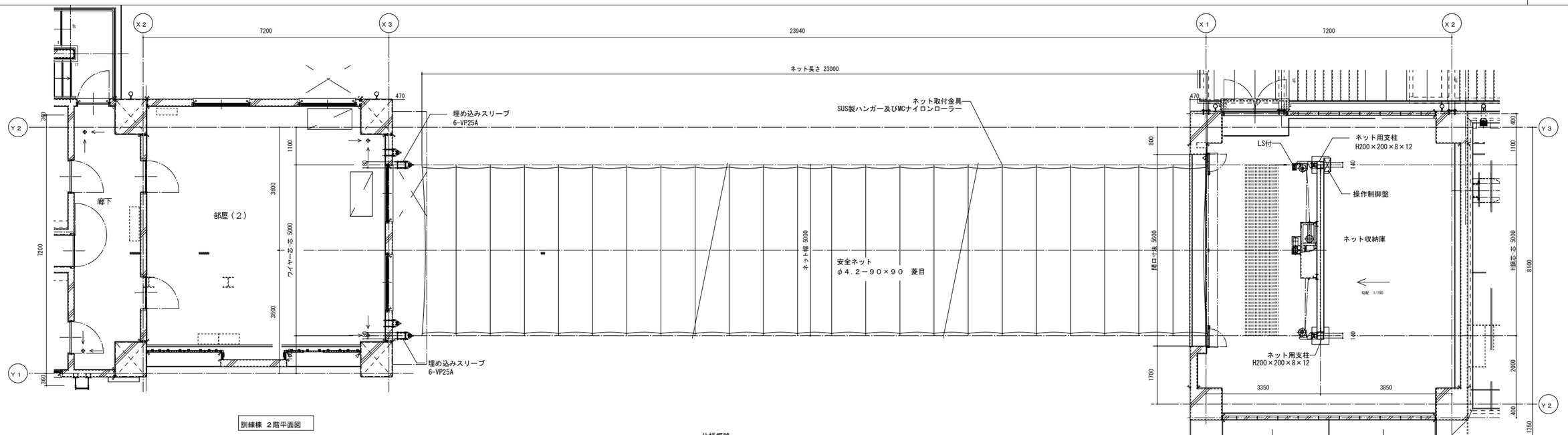






工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】 消防訓練金物図（３）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-323

IN 05	レンジャーネット装置	個数：1	A1：1/60 A3：1/120



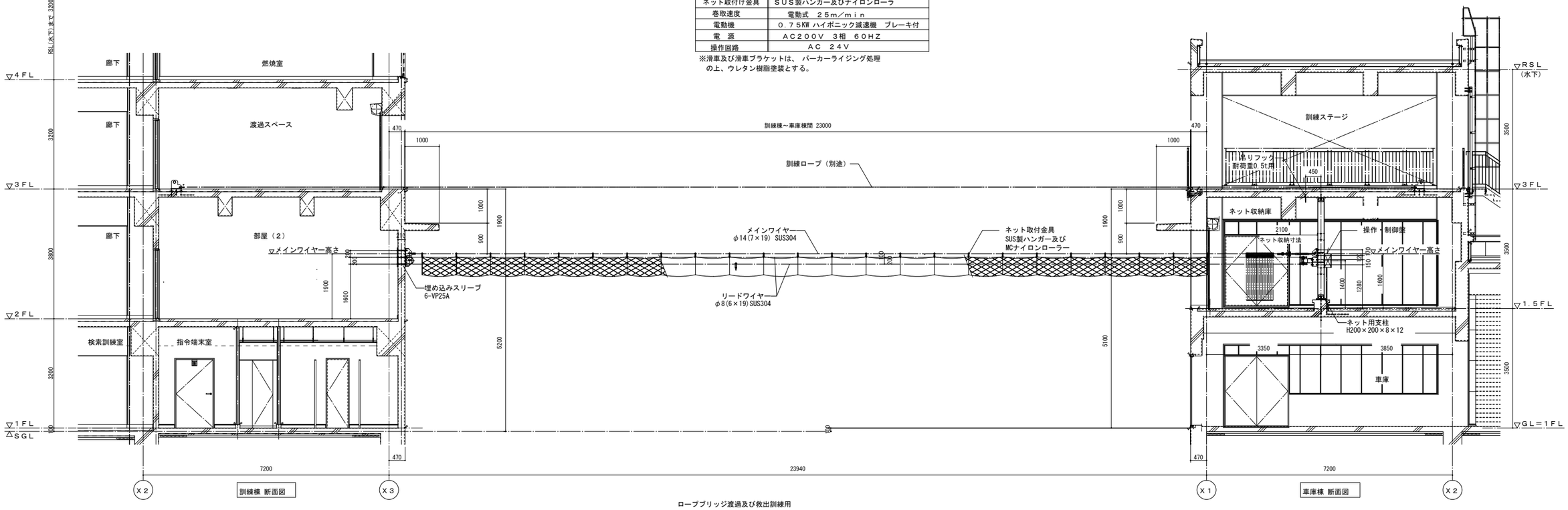
訓練棟 2階平面図

車庫棟 2階平面図

仕様概略

型式		ＲＳＮ−ＭＷ型（１基）
メインワイヤー		φ１４(7×19) ＳＵＳ３０４
リードワイヤー		φ８(6×19) ＳＵＳ３０４
ネット	幅×長さ	５０００Ｗ×２３０００Ｌ
	材質	ナイロン
	網糸	φ４．２ 黄色 （引張強さ ０．３４ｔ以上）
	網地	９０×９０ 菱形無結節
	縁ロープ	φ１２ ナイロン製 （引張強さ ２．９５ｔ）
	筋ロープ	φ６ ナイロン製 （引張強さ ０．８２ｔ）
ネット取付け金具		ＳＵＳ製ハンガー及びナイロンローラ
巻取速度		電動式 ２５ｍ／ｍｉｎ
電動機		０．７５ＫＷ ハイポニック減速機 ブレーキ付
電 源		ＡＣ２００Ｖ ３相 ６０ＨＺ
操作回路		ＡＣ ２４Ｖ

※滑車及び滑車ブラケットは、 パーカーライジング処理
の上、ウレタン樹脂塗装とする。



訓練棟 断面図

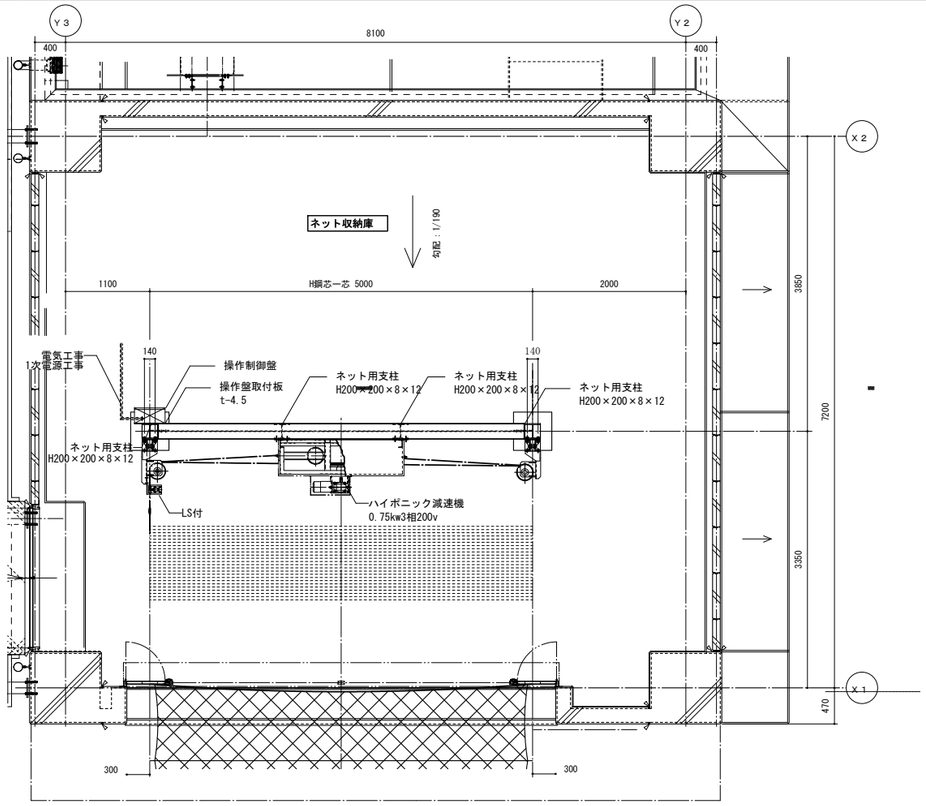
車庫棟 断面図

ロープブリッジ渡過及び救出訓練用

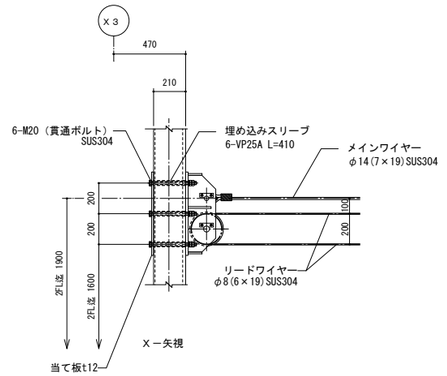
レンジャーネット装置（電動式）配置図 Ｓ＝１：６０

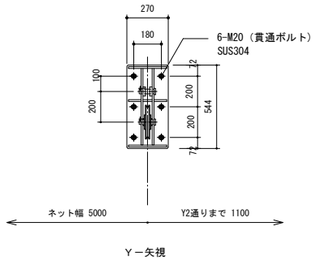
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【車庫棟】 消防訓練金物図（４）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-324

IN 05	レンジャーネット装置詳細図	個数：1	A1:1/20 A3:1/40

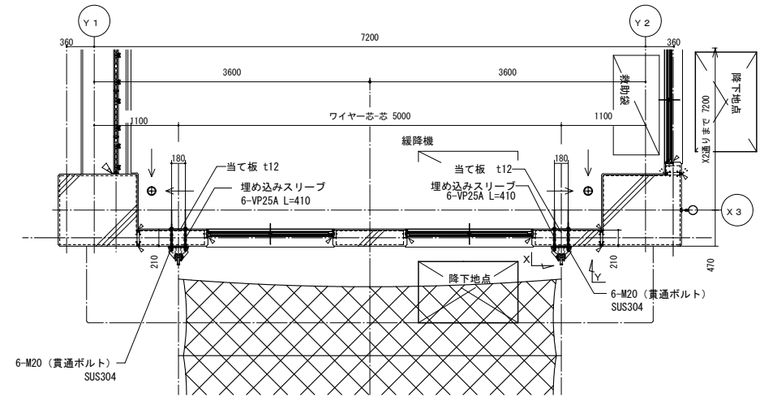


車庫棟 ２階 駆動部 平面詳細図　　Ｓ＝１：４０

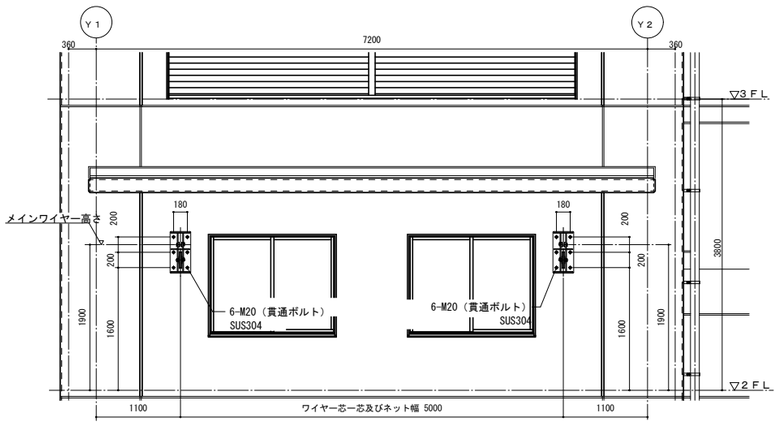




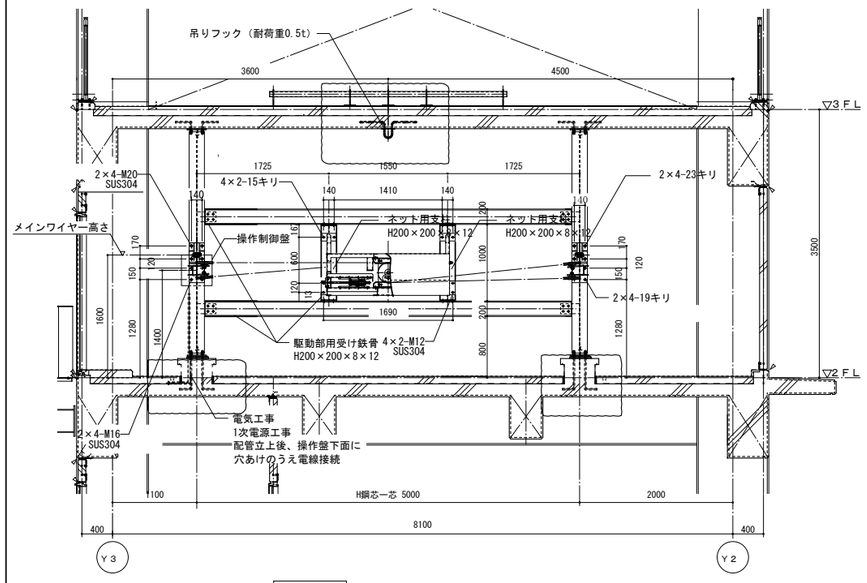
滑車ブラケット詳細図　　Ｓ＝１：２０



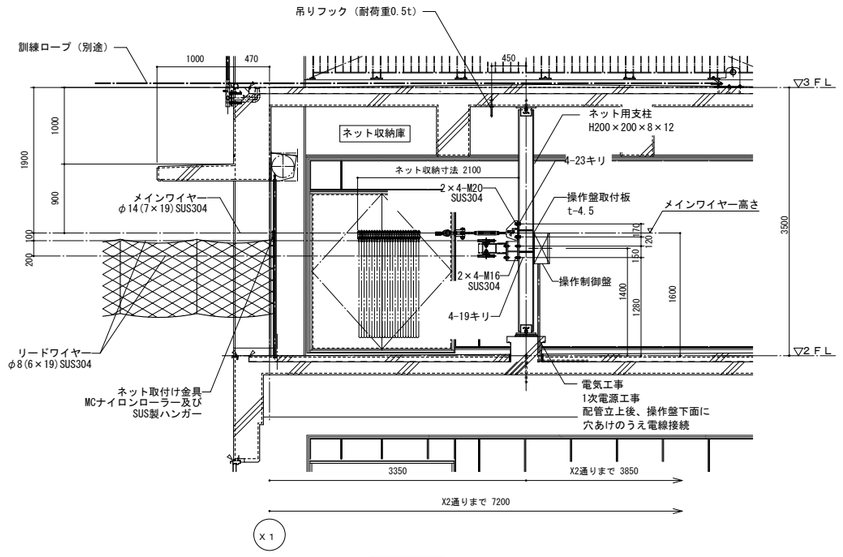
訓練棟 ２階 従動部 平面詳細図　　Ｓ＝１：４０



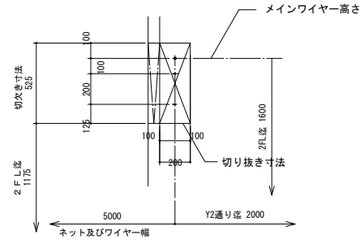
訓練棟 ２階 従動部 正面詳細図　　Ｓ＝１：４０



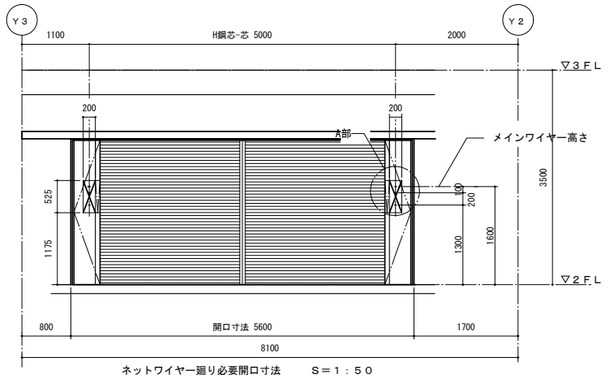
車庫棟 ２階 駆動部 正面詳細図　　Ｓ＝１：４０



車庫棟 ２階 駆動部 断面詳細図　　Ｓ＝１：４０



Ａ部　必要開口寸法詳細　　Ｓ＝１：２０



ネットワイヤー廻り必要開口寸法　　Ｓ＝１：５０

工事名			図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【車庫棟】 消防訓練金物図（５）			2023/03
	管理技術者名		設計者名		縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武		安川 雅巳		A1:各記 A3:各記	A-325

外部仕上表

区分	床	腰	外壁	屋上取合い	屋根	屋上パラペット	庇 上端	庇 はな	庇 下端	備考
訓練棟	RC直押えの上防塵塗料	RC (A)保護塗料A	RC (A)保護塗料A		アスファルト保護防水密着断熱工法 (A I ー2)	ウレタン塗膜防水 (X-2)	ウレタン塗膜防水 (X-2)	RC (A) 保護塗料A	RC (A) 保護塗料A	ステンレス製訓練用タラップ
			押出成型セメント板 t=60 W=600		押さえコンクリート t ＝80 (D10@200)					屋上設備架台、手摺はすべてZnの上DP
			フッ素樹脂工場焼付塗装品		立上り部乾式保護板t=15					縦樋：カラーVP
										ステンレス製車止めポールH=950φ200
					バルコニー：ウレタン塗膜防水 (X-2) の上					
					屋外用ノンスリップ塩ビシート t ＝2.5					

内部仕上表 （1）

階	室名	区分	床	巾木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
1階	倉庫	C	RC直押えの上防塵塗装	防塵塗装	RC (B) 素地	—	RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	コーナーガード
		(-10~-100)	（@3000程度目地切り）										中量ラック
		S			LGS	EP−G							
	トイレ	C	RC直押えの上防塵塗装	防塵塗装	RC (B) 素地	EP−G							
		(-10)	（@3000程度目地切り）										
		S			GB-St=12.5+化粧ケイカル板t=6	—			GB-NC (T) t ＝9.5	塩ビ製		2,500	
	検索訓練室	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S			LGS	EP−G							
	司令端末室	C	RC直押えの上防塵塗装	防塵塗装	RC (B) 素地	—	RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	
		(-80)	（@3000程度目地切り）										
		S			LGS	EP−G							
2階	濃煙熱気室	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
	部屋（1）	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
	部屋（2）	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	垂直式救助袋
		(-80)	保護コンクリートt=80		押出成型セメント板 t=60 W=600								緩降機D型
			防塵塗装		フッ素樹脂工場焼付塗装品								受信機
		S											アンプ
													排水目皿
	廊下	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
			保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											

内部仕上表

階	室名	区分	床	巾木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	見切り	塗装	天井高	備考（詳細）
3階	渡過スペース (準)	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	やぐら
		(-80)	保護コンクリートt=80										ロープブリッジ救助係留金物
			防塵塗装										ロープブリッジ救助
		S											要救助者待機円
													引揚救助やぐら
													排水目皿
	部屋（1）（2） (不)	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
	廊下	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
4階	部屋（1）（2） (不)	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
	燃焼室	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80		押出成型セメント板 t=60 W=600								
			防塵塗装		フッ素樹脂工場焼付塗装品								
		S											
	廊下	C	ポリマーセメント系塗膜防水	防塵塗装	RC (B) 素地		RC (B) 素地		RC (B) 素地			直天	排水目皿
		(-80)	保護コンクリートt=80										
			防塵塗装										
		S											
共通	階段	C	ポリマーセメント系塗膜防水		RC (A)保護塗料A	保護塗料A	RC (A)保護塗料A	保護塗料A	RC (A)保護塗料A		保護塗料A		段鼻タイル
		(-80)	モルタルt=30										
		S											

特記なき限り、内装材（床・壁・天井）は化学汚染物質F☆☆☆☆若しくは規制対象外商品とする。
区分に記載の（-※）は、SL天端レベル（FLからの下がり寸法）を示す。

(準) 内装準不燃
(不) 下地仕上不燃

材料記号

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	GB-R	石膏ボード
CL	クリアラッカー塗り	GB-P	化粧吸音用穴あき石膏ボード
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料		現場塗装品（ニュータイガートーン同等）
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-S	シージング石膏ボード
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	GB-F	強化石膏ボード
EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	GB-NC	不燃積層石膏ボード（模様なし）
UC	ウレタン樹脂ウニス塗り	GB-NC (T)	不燃積層石膏ボード（トラバーチン模様）
OS	オイルステイン塗り	GB-D (W)	化粧石膏ボード（杉柾模様）
DP	耐候性塗料塗り（フッ素）	DR	ロックウール化粧吸音板
WP	外部用木材保護塗料塗り	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板
NP	内部用木材保護自然塗料塗り	FK-P	吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
LGS	軽量鉄骨	PF	ポリスチレンフォーム保温板
RC（ ）	床：標準仕様書表6.2.5による	D	アクリル樹脂焼付塗装
	壁、天井：コンクリート打放し（種別）	MB	メラミン樹脂化粧板
	[（ ）の記載がない場合はコンクリート打ちの	SP	内装薄塗材E
	のままとする]	SUS (HL)	ステンレスヘアライン
RC（A・杉）	コンクリート打放し A種 杉小幅板本実型枠	SUS (B)	ステンレスバイブレーション
RC（A・P）	超高圧ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ意匠工法	GWマット	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾏｯﾄ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ（黒） 32Kg/m3
保護塗料A	水性無機高分子塗料塗り（外壁用）	VB	ビニル巾木
保護塗料B	水性無機高分子塗料塗り（室内用）	TC	タイルカーペット
保護塗料C	シリカ系複合保護材	免震FAF	免震フリーアクセスフロア
薄塗材E	内外装薄塗材E		

仕上げ 不燃・準不燃番号

GB-R（石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t12.5以上 ーーーーーーーー	NM−8619
GB-S（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t12.5 ーーーーーーーー	NM−9639
GB-S（ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t9.5 ーーーーーーーー	QM−0898
GB-NC（不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t9.5 ーーーーーーーー	NM−0441
GB-D（化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t9.5 ーーーーーーーーーー	NM−1864
クロス（下地不燃） ーーーーーーーーーー	NM−0302
EP、EP−G、NAD、SOP（下地不燃） ーーー	NM−8585
EP、EP−G、NAD、SOP（下地準不燃） ーー	QM−9816
杉板張りt＝15（不燃） ーーーーーーーーーー	NM−0917
合板t＝12（不燃） ーーーーーーーーーー	NM−1596
GB-P（化粧吸音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）t9.5 ーーーーーーーー	QM−9822
保護塗料A ーーーーーーーーーーーーーーーーーー	NM−1428

共通事項

◎ 区分 C：コンクリート下地及びコンクリートブロック下地等 S：軽量鉄骨下地等
◎ 室名の前に（VOC２４）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（２４時間）及び確認を所定の箇所数行う
室名の前に（VOC８）×（ ）箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（８時間）及び確認を所定の箇所数行う
◎ 特記なき場合の床仕上げ下地は、石張り部・タイル張り部・階段部（踊り場共）・屋上防水部・フリーアクセスフロア・0Aフロア部分を除きコンクリート直押え仕上げ（1-01-3、1-01-4）のうえ、仕上げ材とする

適用事項 ※特記のない限り下記による

巾木
※ 巾木の高さはH=40（特記なき限り、東リVBはスタイル巾木同等）とする

壁
※ 壁紙張りの石膏ボードは、突付けＶ目地工法のうえパテ処理とする
※ 塗装仕上げの石膏ボードは、継目処理工法（テーパー付きボード）とする
※ 壁取り合い（２－２４－３、６）の見切縁はアルミ製とする

天井
※ ロックウール吸音板張りは下地張り（GB-R厚さ12.5）を行う
※ 天井壁紙張り及び塗装下地の石膏ボードの目地処理は突き付けＶ目地工法のうえパテ処理とする

天井取合い
※ 特記なき限り天井取合いは、壁一天井（3-11-3,7又は4,8）見切縁は DR、GB-NC（T）仕上げ箇所のみに取り付け、
※（ 塩ビ製 フクビF12同等 ）とする 見切縁の無い場合は、3-11-1,2,5,6による
※ 壁一天井（３－１１－９～１２）突き付け目地はアルミ製とする
※ 下がり壁（3-12-1）GB-R厚さ１２．５（テーパー付）継目処理工法、見切縁はアルミ製（既製品）とする

乾式二重床
※ 乾式二重床（1）：水廻り・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・耐水合板捨張りｔ＝12の上、各仕上
※ 乾式二重床（2）：縁甲板の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20・合板捨張りｔ＝12の上、仕上
※ 乾式二重床（3）：畳の場合・樹脂束・パーティクルボードｔ＝20の上、仕上

断熱
※ 屋根：押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ ｔ＝50（標：9-2-2-h）
※ 外壁：硬質ウレタンフォーム4種Ⅰ（難燃）吹付ｔ＝30（標：19-9-3）
※ 土間下：押出ポリスチレンフォーム３種ｂ数込ｔ＝25（標：7-01-2）

杉小幅板本実型枠について
※杉板はW=100の本実板貼・焼杉浮造仕様とする。 製材・乾燥後石灰水によりアク抜きを行うこと。
※杉板の表裏は剥離材を2回塗布後、コンクリート打設まで1週間以上の養生期間を設けること。
※杉板は普通型枠に比べて水分による収縮が大きいため日除け養生や散水養生を適宜行うこと。
※工事着工後、すみやかに試験打ちを行い設計者および監督職員と仕上がり状態についての協議を行う事。
※型枠用杉板は開伐材を使用し、転用は行わない。

超高圧ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ意匠工法について
※工事着工後、すみやかにモックアップを作成し設計者および監督職員と仕上がり状態についての協議を行う事。

化粧打放し面の補修について
※化粧打放し面にて、ジャンカ・気泡・型枠のはらみ・打継ぎでの大幅な色違い・面木や目地棒の入れ忘れ コールジョイントによる色変わり・著しい黒ずみ・部分的なテカリ等については、これを 下記仕様同等以上にて補修を行う。 パネルの目違いについては、現地にて設計者及び監督職員と協議する。収縮によるヘアラックやピンホールについては、これを許容する。
※補修については、打放し特有の肌合いを損なわず、割付けライン・セパ穴・木目を立体的に復元できる工法（ランデックスコートFCコート同等以上）とし、設計者および監督職員の承諾を得ること。

その他特記事項
※拡散質タイル400×400：国代耐火アゴラグランデ同等 ※拡散質タイル210×60×13：国代耐火 幅抜き組張同等 ※拡散質タイル70φ：国代耐火 0zBRICK同等
※クロス：東リ 環境素材コレクション（防汚・抗菌）同等 ※超高圧超高圧ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ意匠工法：OSHIROX OXハイブリッドピーリング工法同等
※水性無機高分子塗料塗り：大日技研工業（株）ランデックスコート(NM1428)同等※シリカ系複合保護材：OSHIROX 含侵シリカ+低汚染トップ複合コーティング同等
※ＮＰ：内部木仕上（床除く）については、内部自然系木材保護塗料（オスモ・フロアクリア2回塗同等）とする。
※ＮＰ：フローリング塗装については、土足用ＵＣ（ＪＡＳＳ18M−301合格品）（オスモ・フロアクリア3回塗同等）とする。
※金属屋根Ａ：フッ素樹脂鋼板ｔ＝0.4（粘接着工法一文字葺260×1200）裏貼り特殊ブチルゴムシートｔ＝4.0
断熱材：両面炭酸カルシウム紙張変性スレートフォーム板ｔ＝30、野地板：高密度木毛木片セメント板ｔ＝20
下地材：専用プライマー（ブチルゴム系接着剤）の上、ポリオレフィン系補強層入り非加硫ブチルゴムシートｔ＝1.0
※トイレブース：小松ウォール 一体型シート巻アールエッジ型同等、アイカ メラフロントブース同等
※ビニル床タイルｔ＝3.0：東リ ルミナス同等 ※ビニル床シートｔ＝2.0：東リ マチュアNM同等 ※タイルカーペット：東リGA-100T同等
※ビニル床シートｔ＝2.0（消臭）：東リ 消臭トワレNM同等 ※内外装薄塗材E：アイカジョリパUP-00シリーズ同等
※水性モルタル調塗装：カラーワークス VALPAINT同等 ※レバーハンドル：ユニオン UL1076（抗ウイルスシリーズ）

耐火リスト		要求時間	要求耐火性能	設計仕様
柱		1時間耐火	RC造（H12建告1399号）	RC造
			鉄骨造 耐火塗料塗（1時間耐火認定）	鉄骨造 発泡性耐火塗料塗t=2.75（FP060CN-9472同等）
梁		1時間耐火	RC造（H12建告1399号） 鉄骨造 （1時間耐火）	RC造 鉄骨造 ロックウール吹付被覆（FP060BM-9408）
			鉄骨造 耐火塗料塗（1時間耐火認定）	鉄骨造 発泡性耐火塗料塗t=2.75（FP060CN-9472同等）
壁	外壁（耐力壁）	1時間耐火	RC造 厚み70mm以上（H12建告1399号）	RC造 厚み15cm以上 押出成形セメント板（非耐火）
	間仕切り壁（耐力壁）		RC造 厚み70mm以上（H12建告1399号）	RC造 厚み15cm以上
床		1時間耐火	RC造 厚み70mm以上（H12建告1399号）	RC造 厚み15cm以上
屋根		３０分耐火	RC造（H12建告1399号）	RC造
			金属屋根 （30分耐火認定）	金属屋根Ａ（FP030RF-9064同等）
階段		３０分耐火	RC造 （H12建告1399号）	RC造
バルコニー		３０分耐火	RC造 （H12建告1399号）	RC造

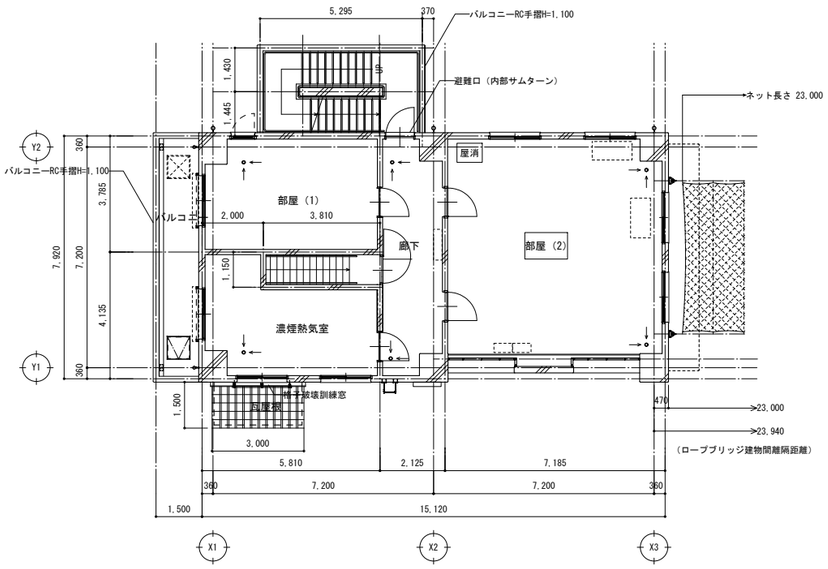
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 仕上表	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:－ A3:－	A-401

屋外階段（RC）2F～3F	
階段幅	1200※
踊場幅	1200※
蹴上	190
踏面	250

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする

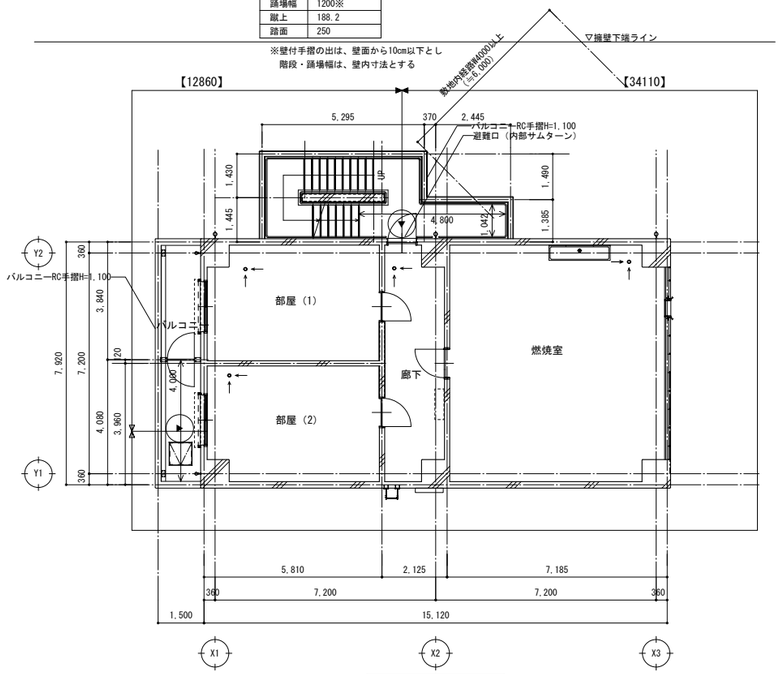


2階平面図

2FL=66.50

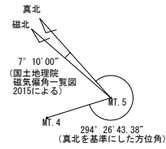
屋外階段（RC）4F～屋上	
階段幅	1200※
踊場幅	1200※
蹴上	188.2
踏面	250

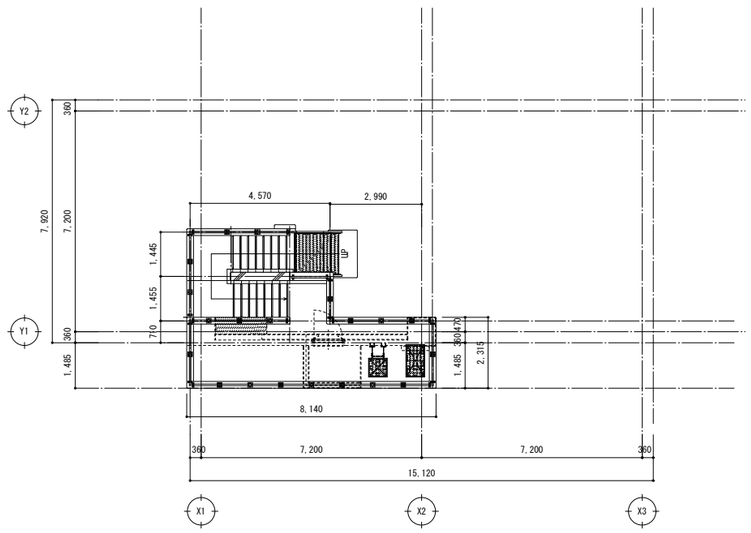
※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする



4階平面図

4FL=73.50



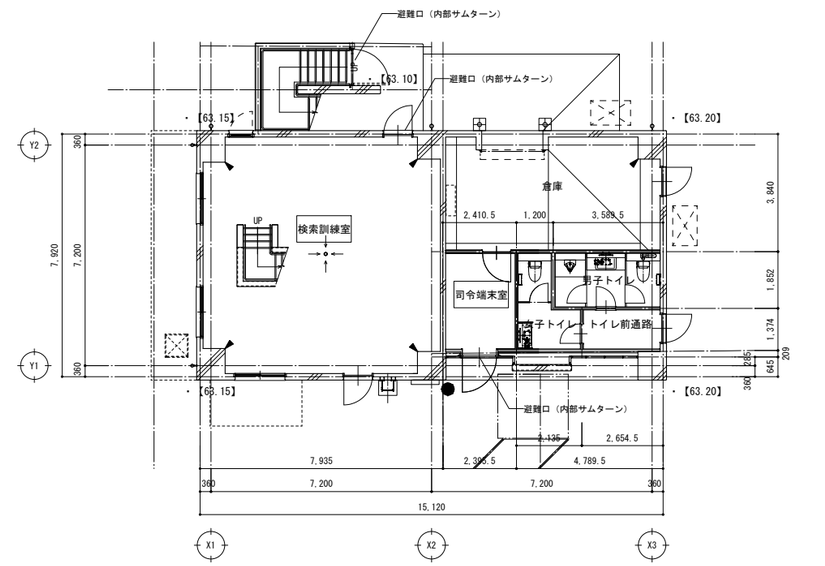


最上部　平面図

凡　例	仕　様	凡　例	仕　様
	RC壁	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
	LGS壁　特記なき限り65型	消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	押出成形セメント板t=60　縦張り		コーナーガード
【63.**】	特記以外の床レベルを示す		ガードポスト（基礎共）
▲	非常用進入口位置を示す	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする

屋外階段（RC）1F～2F	
階段幅	1200※
踊場幅	1200※
蹴上	188.2
踏面	250

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする



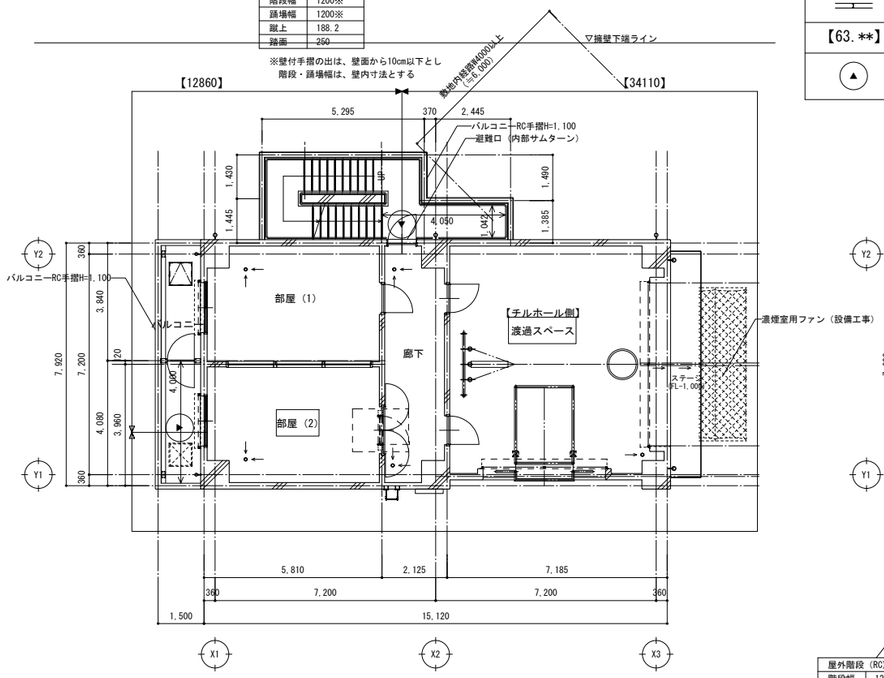
1階平面図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.15とする。

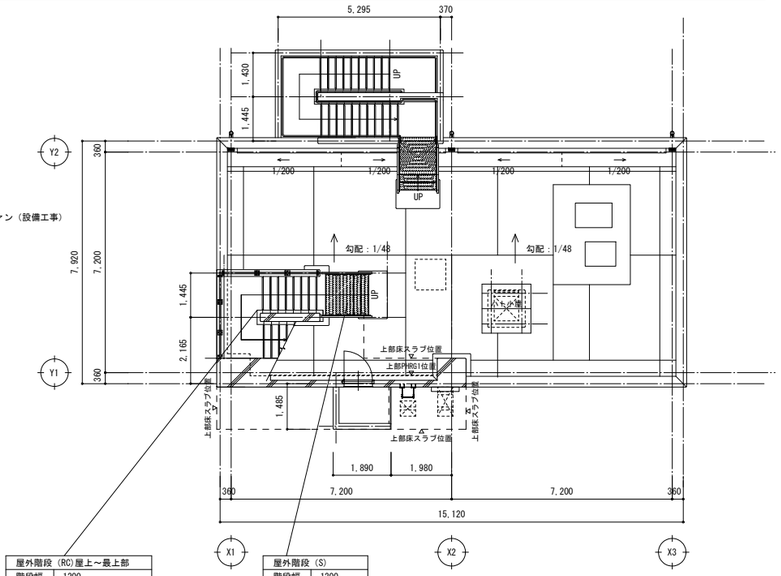
屋外階段（RC）3F～4F	
階段幅	1200※
踊場幅	1200※
蹴上	188.2
踏面	250

※壁付手摺の出は、壁面から10cm以下とし
階段・踊場幅は、壁内寸法とする



3階平面図

3FL=70.30



屋外階段（RC）屋上～最上部	
階段幅	1200
踊場幅	1200
蹴上	185
踏面	250

特記事項
・縦格子手摺：H=1150

屋外階段（S）	
階段幅	1200
踊場幅	—
蹴上	185
踏面	250

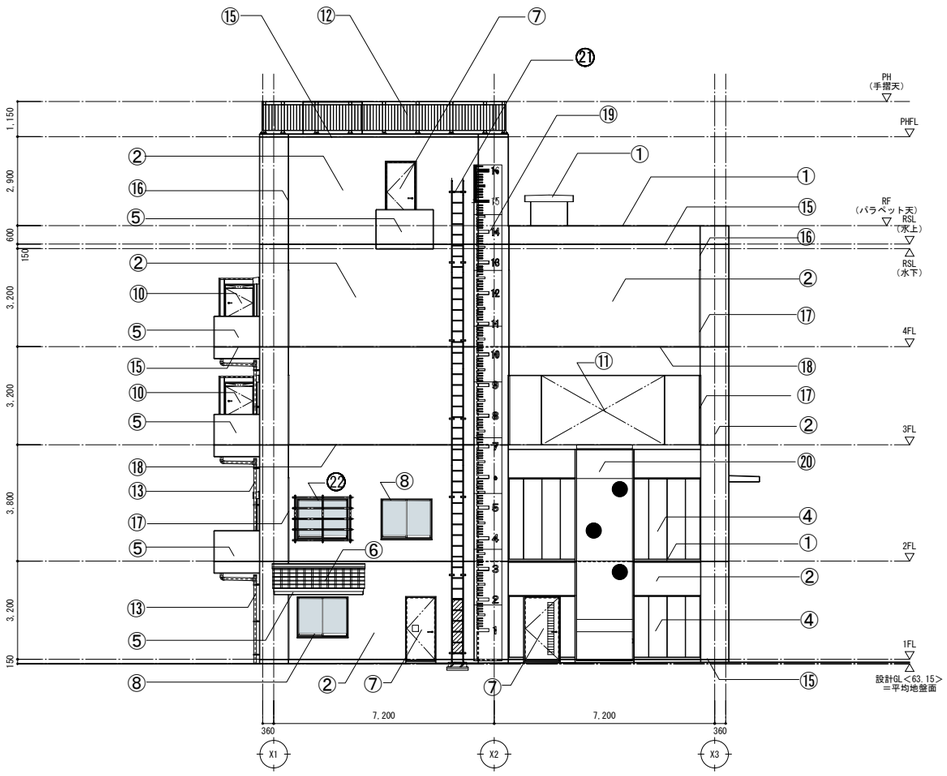
特記事項
・縦格子手摺：H=1100

屋上　平面図

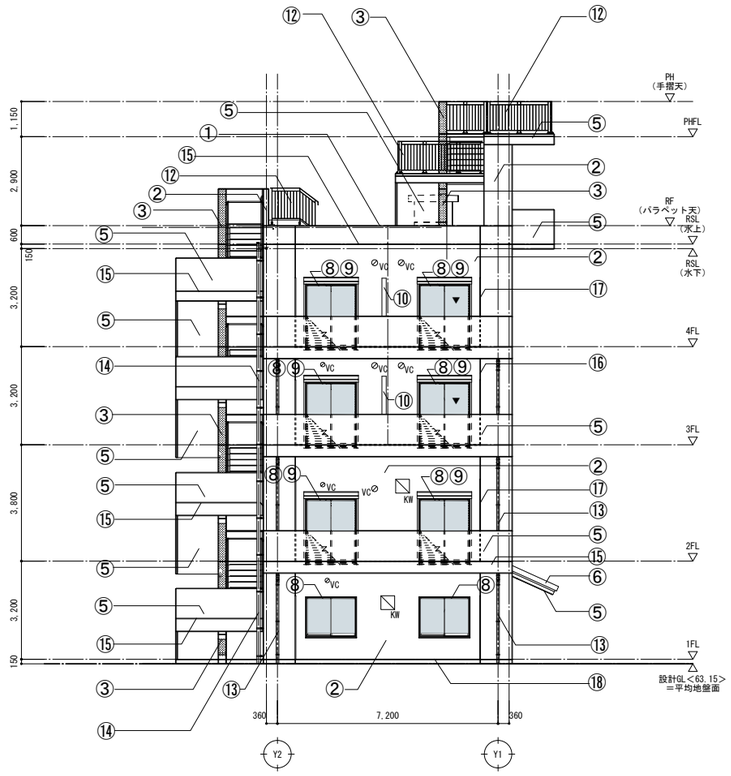
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　平面図	2023/03

NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-402



南面　立面図

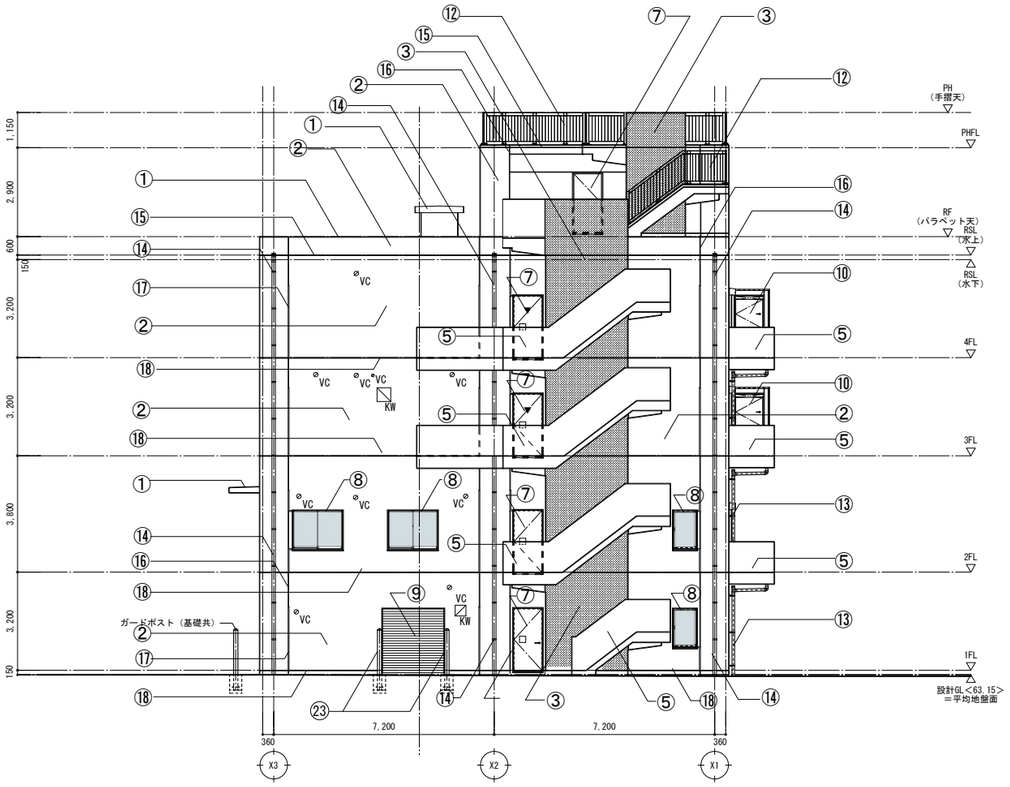


西面　立面図

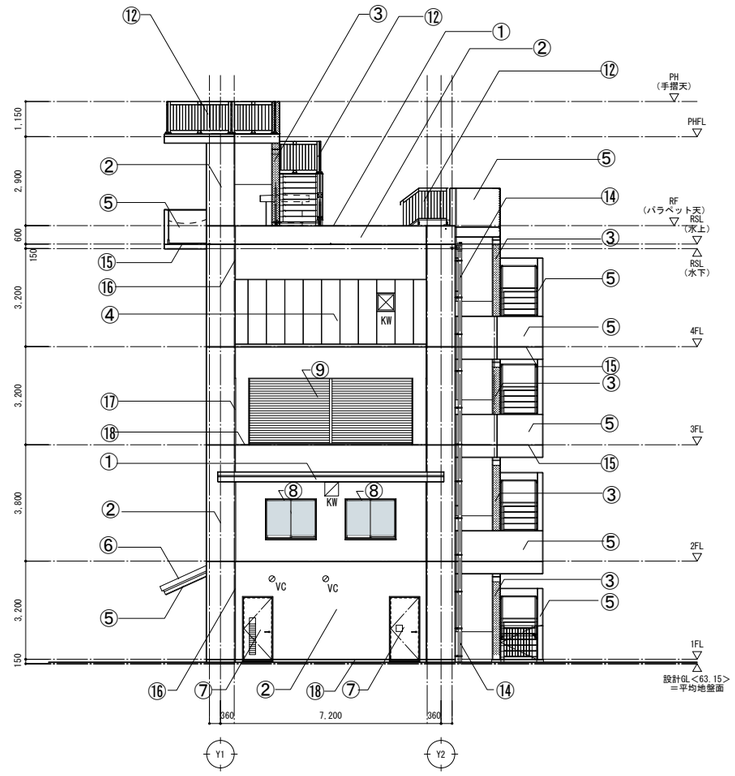
記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト
①	パラペット天端・庇天端・面台：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑦	鋼製建具：鋼板　DP塗	⑬	縦樋　：SGP管-80A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑲	ロープ登はん用目盛板：耐水合板の上、ウレタン塗装（St下地）	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：（設備工事） ※換気扇・ウエザーカバ取付用四方枠及び、開口補強：建築工事
②	外壁　A：RC(A)　保護塗料　A	⑧	アルミサッシ：カラー（黒）	⑭	縦樋　：SGP管-100A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑳	引揚救助降下板（障害突破引揚救助）	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：特記なき限り450角（設備工事） ※開口及び、開口補強のみ建築工事
③	外壁　B：RC(A)　DP塗	⑨	軽量バランスシャッター：カラー鋼板	⑮	打継ぎ目地（標：2-02-8）	㉑	はしご登はん：St　Zn処理	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：特記なき限り350角（設備工事） ※開口及び、開口補強のみ建築工事
④	外壁　C：押出成形セメント板ｔ＝60　W＝600　フッ素樹脂（工場塗装品・内面-素地）	⑩	隔て板扉：鋼板　DP塗	⑯	ひび割れ誘発目地（標：2-02-9） ※構造スリット設置連続目地部分は、W＝30とする。	㉒	窓：ルーバー破壊訓練施設（窓格子付）	VC	ベンドキャップ（設備工事）・スリーブ開口（建築工事）※サイズは設備図面による
⑤	RC手摺壁　庇-軒先・妻・軒裏　：RC(A)　保護塗料	⑪	開口部	⑰	防水型　構造垂直スリット　W＝30※岡部㈱スリットン：HW-RW型同等品 ・階段スラブ部分は、階段特殊加工品	㉓	ガードポスト（基礎共）	▼	非常進入口位置を示す（専用表示シール張り）
⑥	庇屋根　：樹脂繊維混入セメント瓦葺き	⑫	縦格子手摺：　St　FBは、Zn処理の上、リン酸処理	⑱	防水型　構造水平スリットW＝25※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品				

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　立面図（1）	2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武 / 設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/100　A3:1/200 / 図面番号：A-403



北面　立面図



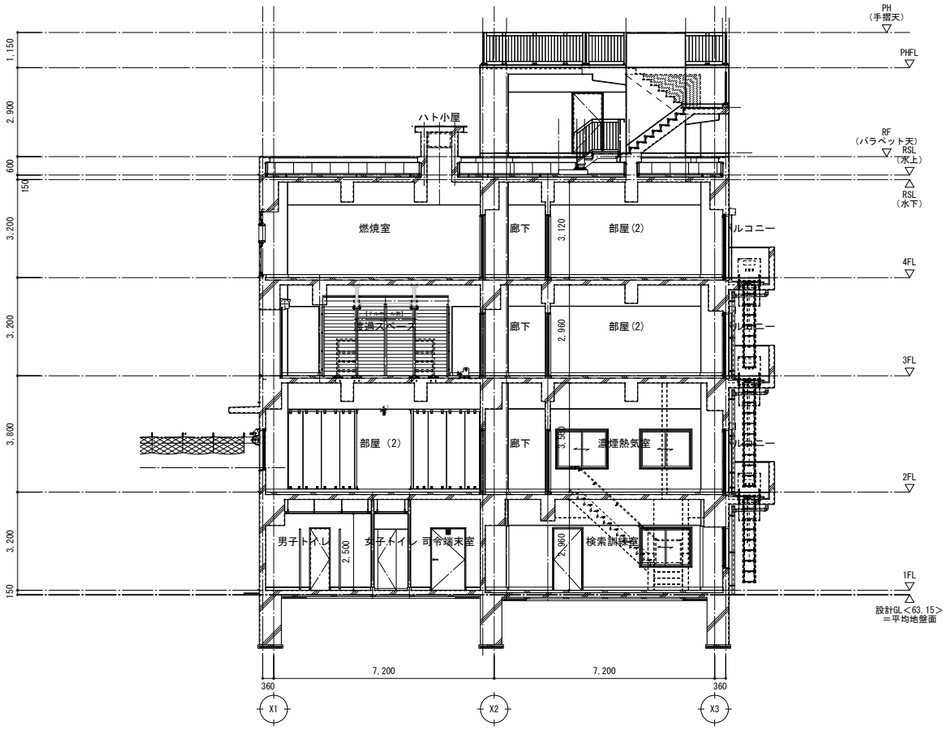
東面　立面図

記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト	記号	仕上リスト
①	パラペット天端・庇天端・面台：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）	⑦	鋼製建具：鋼板　DP塗	⑬	縦樋　：SGP管-80A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑲	ロープ登はん用目盛板：耐水合板の上、ウレタン塗装（St下地）	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：（設備工事） ※換気扇・ウエザーカバ取付用四方枠及び、開口補強：建築工事
②	外壁　A：RC(A)　保護塗料　A	⑧	アルミサッシ：カラー（黒）	⑭	縦樋　：SGP管-100A　Zn処理の上、DP（掴み金物：SUS　@1,200）	⑳	引揚救助降下板（障害突破引揚救助）	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：特記なき限り450角（設備工事） ※開口及び、開口補強のみ建築工事
③	外壁　B：RC(A)　DP塗	⑨	シャッター：カラー鋼板	⑮	打継ぎ目地（標：2-02-8）	㉑	はしご登はん：St　Zn処理	KW	換気扇＋ウエザーカバ取付：特記なき限り350角（設備工事） ※開口及び、開口補強のみ建築工事
④	外壁　C：押出成形セメント板ｔ＝60　W＝600　フッ素樹脂（工場塗装品・内面-素地）	⑩	隔て板扉：鋼板　DP塗	⑯	ひび割れ誘発目地（標：2-02-9） ※構造スリット設置連続目地部分は、W＝30とする。	㉒	窓：ルーバー破壊訓練施設（窓格子付）	VC	ベンドキャップ（設備工事）・スリーブ開口（建築工事）※サイズは設備図面による
⑤	RC手摺壁　庇-軒先・妻・軒裏　：RC(A)　保護塗料	⑪	開口部	⑰	防水型　構造垂直スリット　W＝30※岡部㈱スリットン：HW-RW型同等品 ・階段スラブ部分は、階段特殊加工品	㉓	ガードポスト（基礎共）	▼	非常進入口位置を示す（専用表示シール張り）
⑥	庇屋根　：樹脂繊維混入セメント瓦葺き	⑫	縦格子手摺：　St　FBは、Zn処理の上、リン酸処理	⑱	防水型　構造水平スリットW＝25※岡部㈱スリットン：A2-F型同等品				

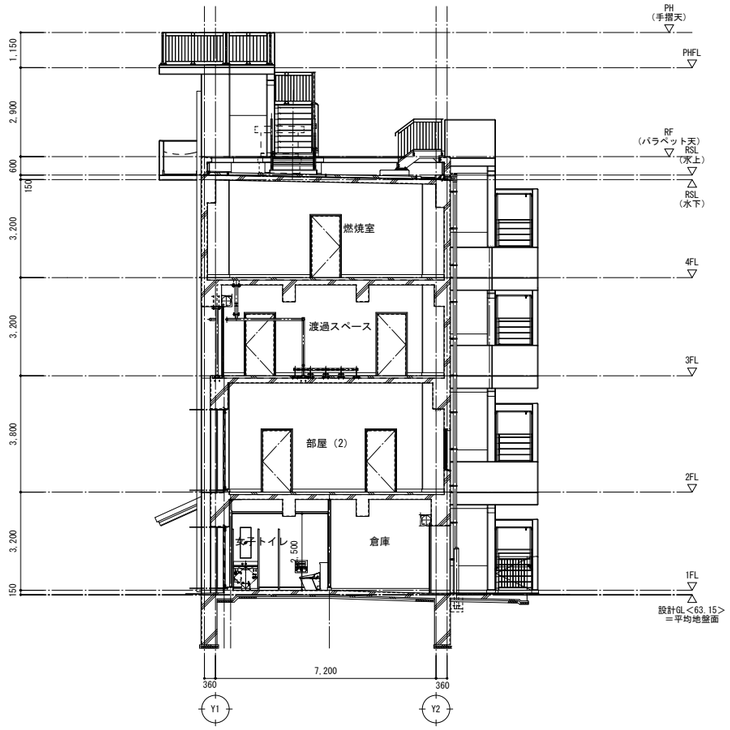
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　立面図（2）	2023/03

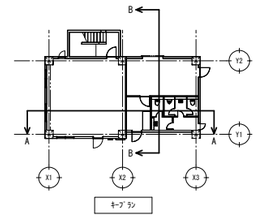
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-404



A～A　断面図



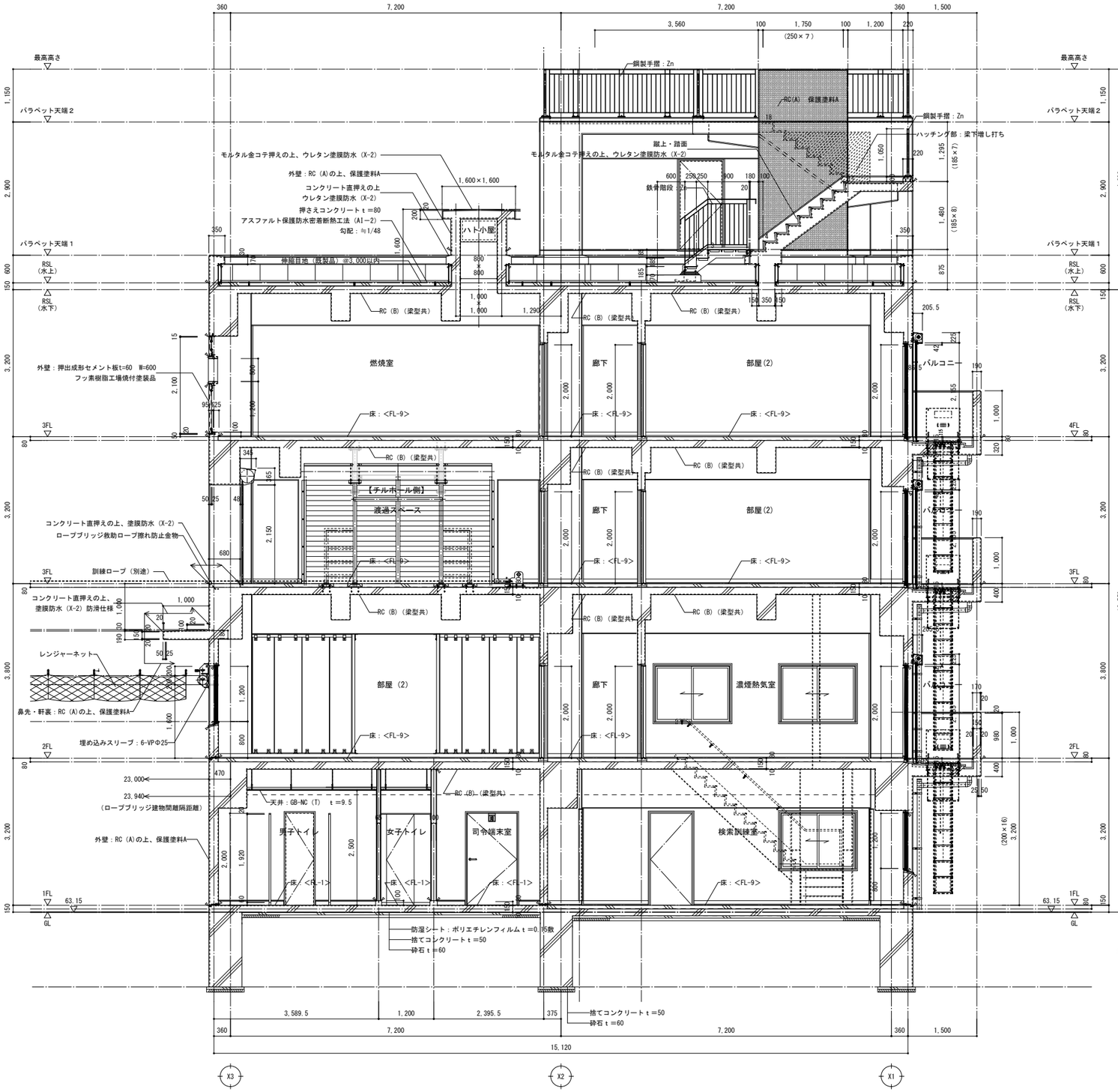
B～B　断面図



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

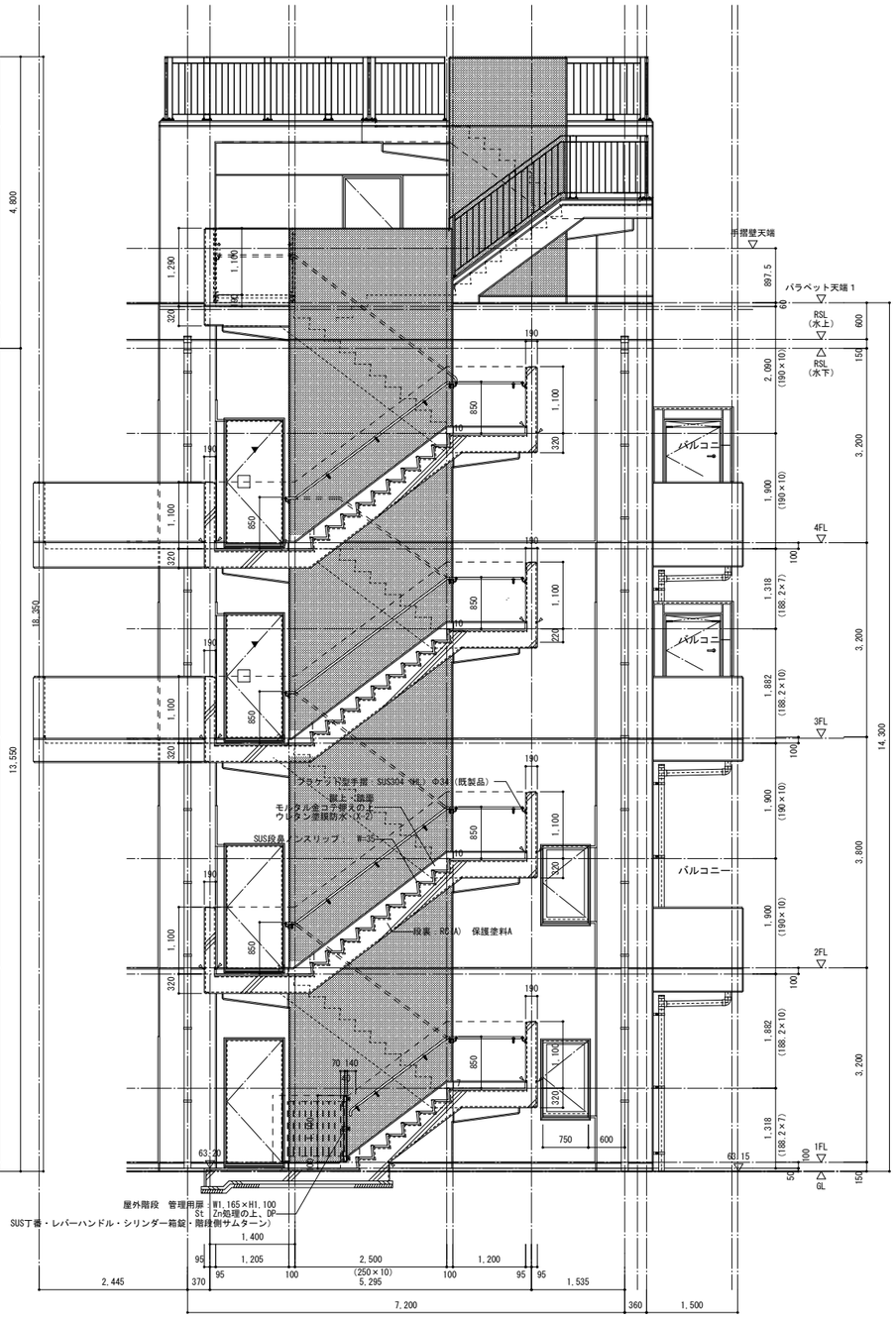
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 断面図	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-405



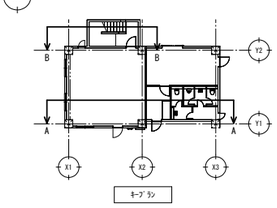
A-A 断面詳細図

1FL＝63.15



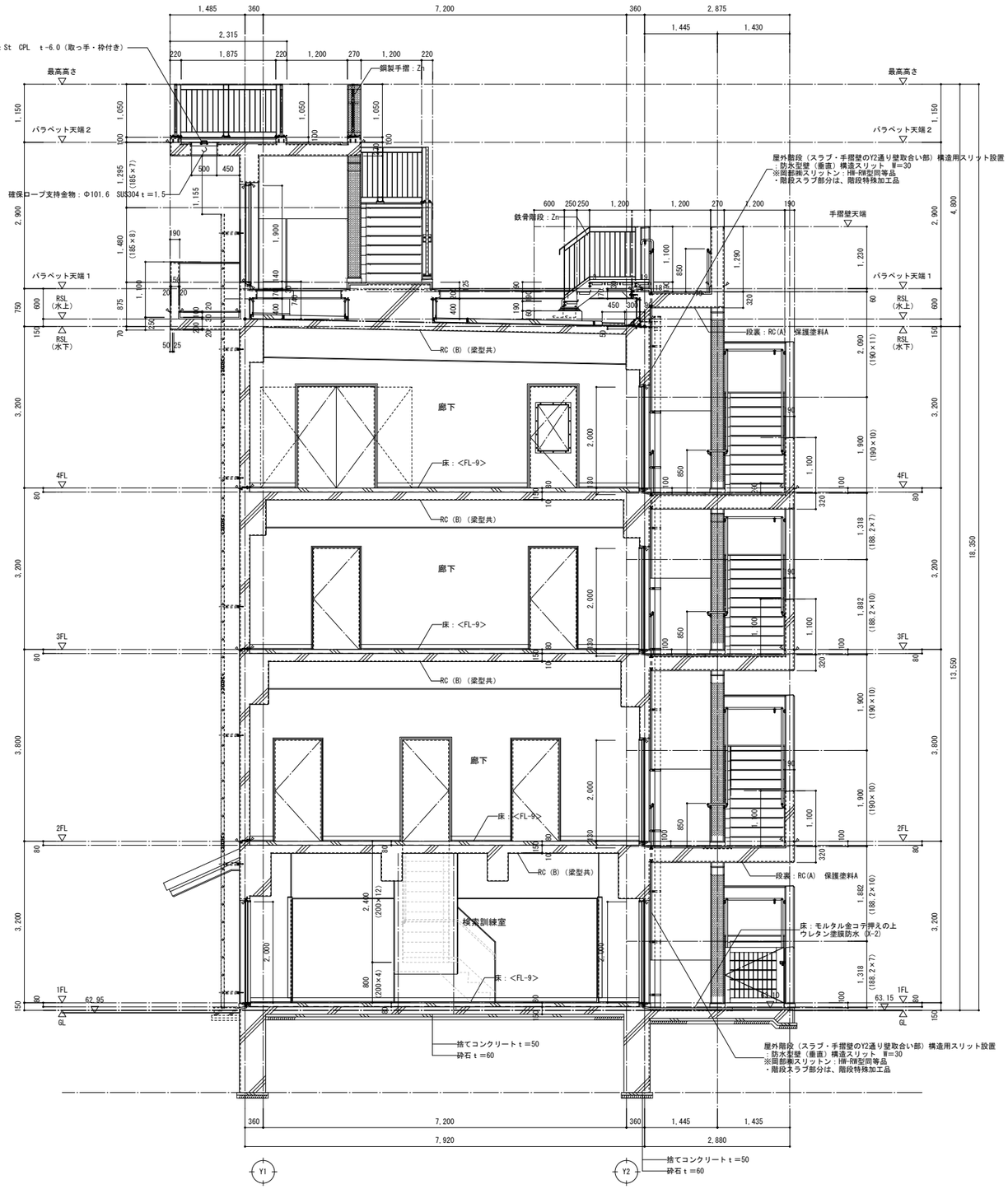
B-B 断面詳細図

1FL＝63.15



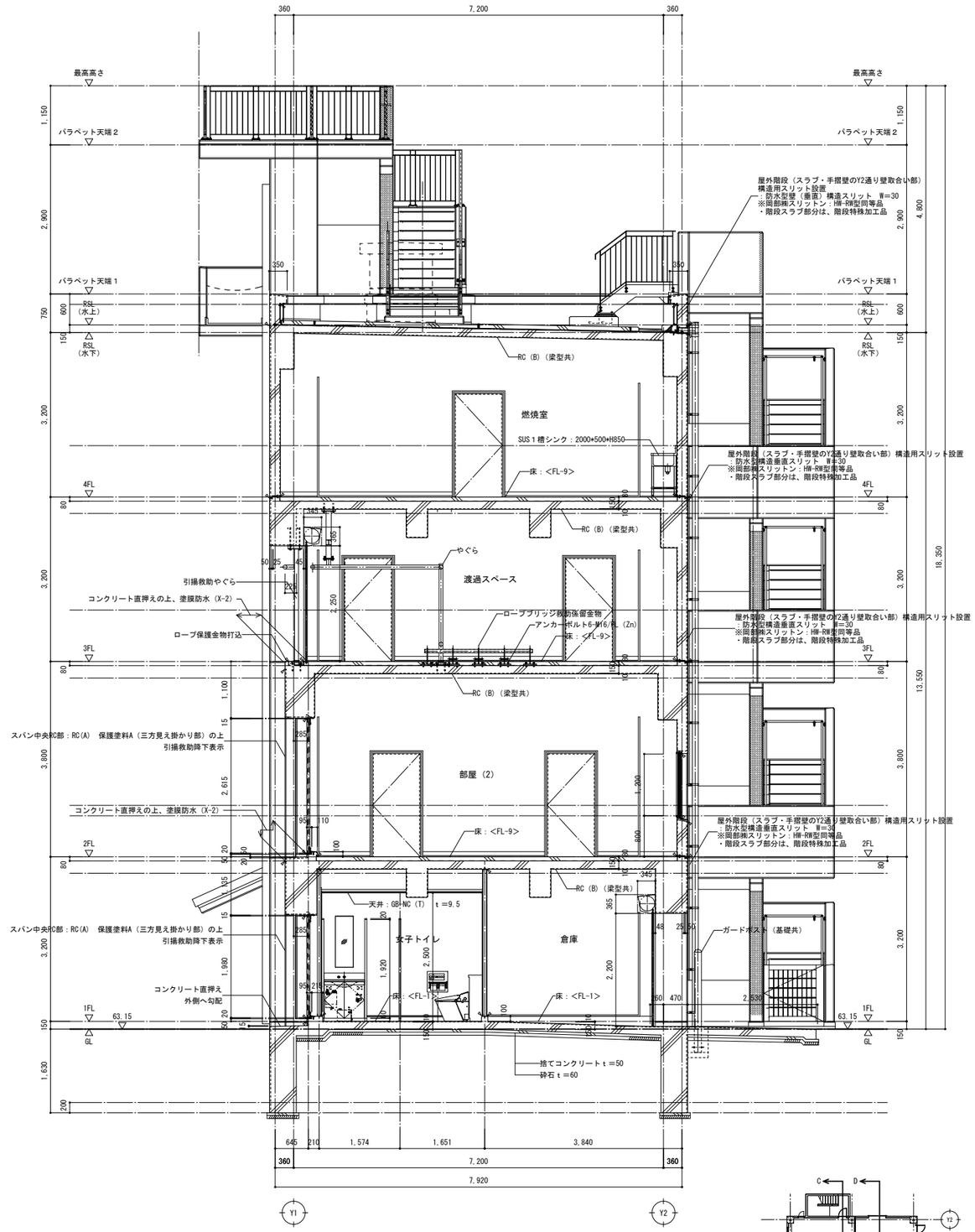
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 矩計図（1）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺 / 図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100 / A-406



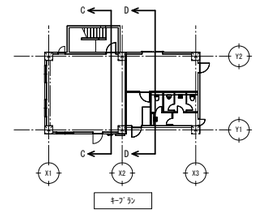
C-C 断面詳細図

1FL＝63.15



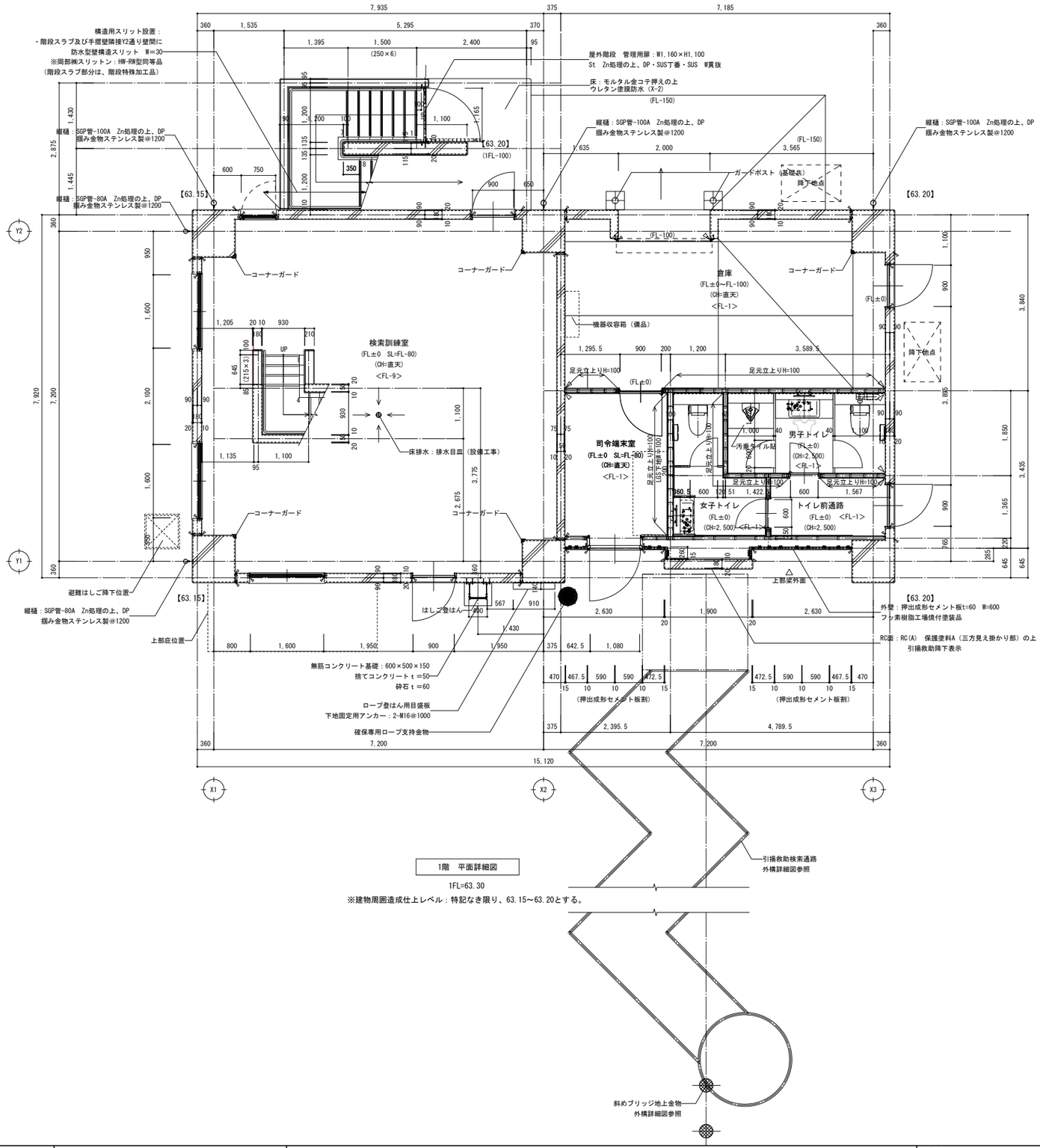
D-D 断面詳細図

1FL＝63.15



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

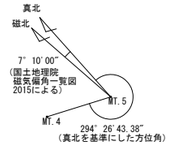
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】 矩計図（2）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田 文武	設計者名 安川 雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-407



1階　平面詳細図

1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.15～63.20とする。



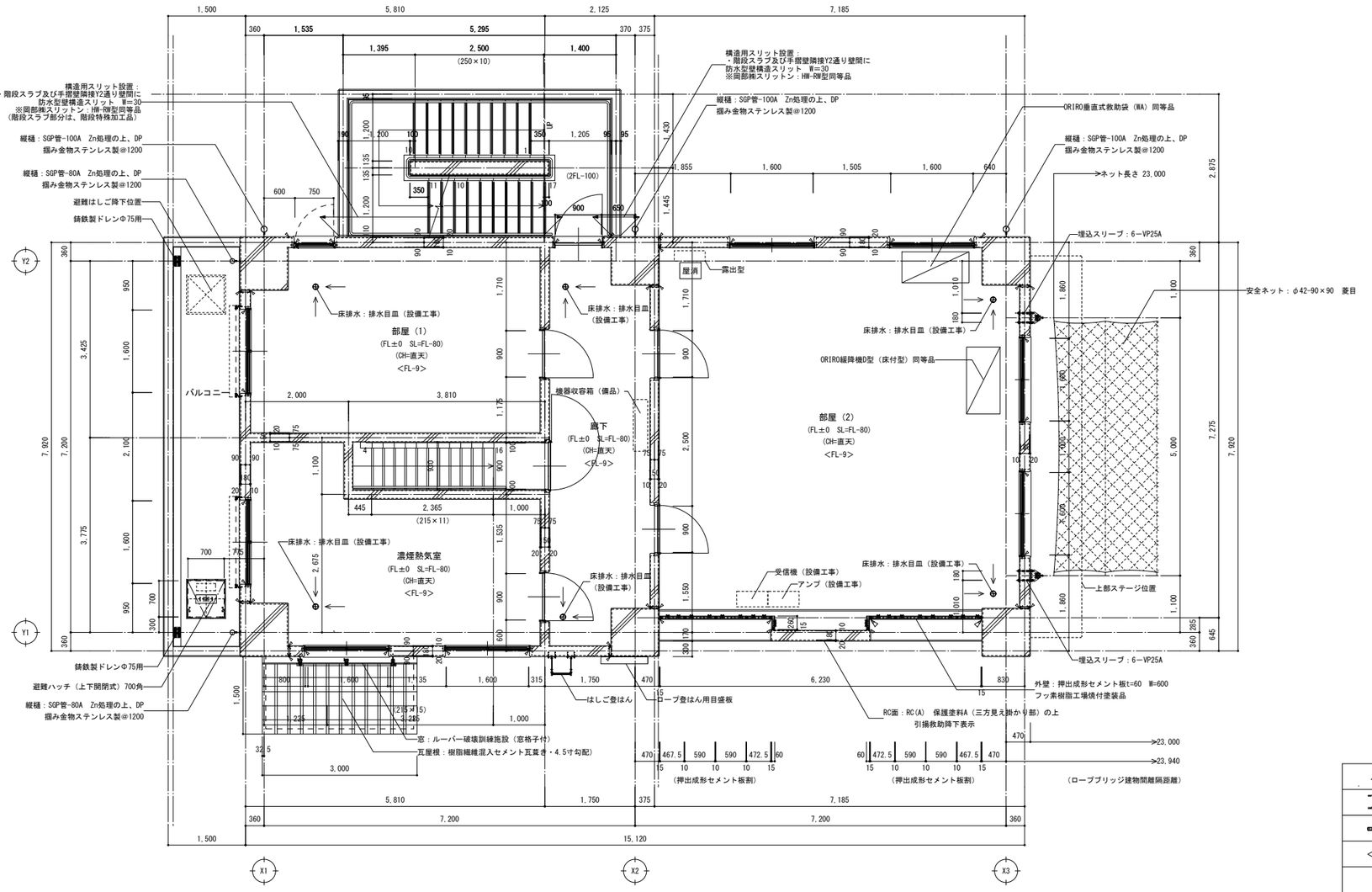
凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	押出成形セメント板t=60　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
【63.**】	特記以外の床レベルを示す。
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）

特記事項

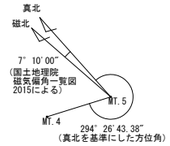
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び
　部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる
　また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　1階平面詳細図（1）		2023/03
NEC JEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-408



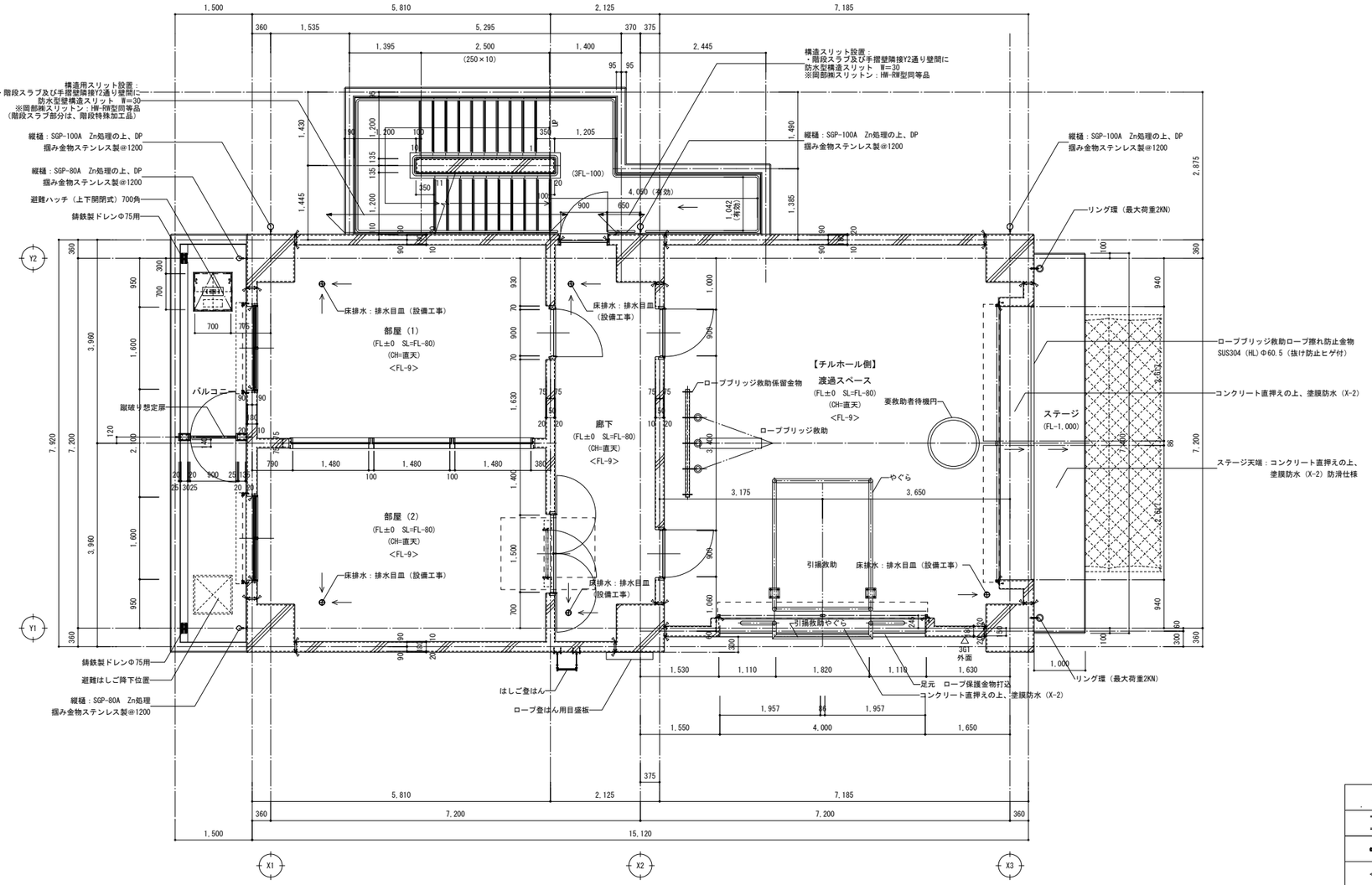
2階　平面詳細図



凡　例	仕　様
	RC壁
	押出成形セメント板t=60　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする	

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　2階平面詳細図		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-409



3階　平面詳細図

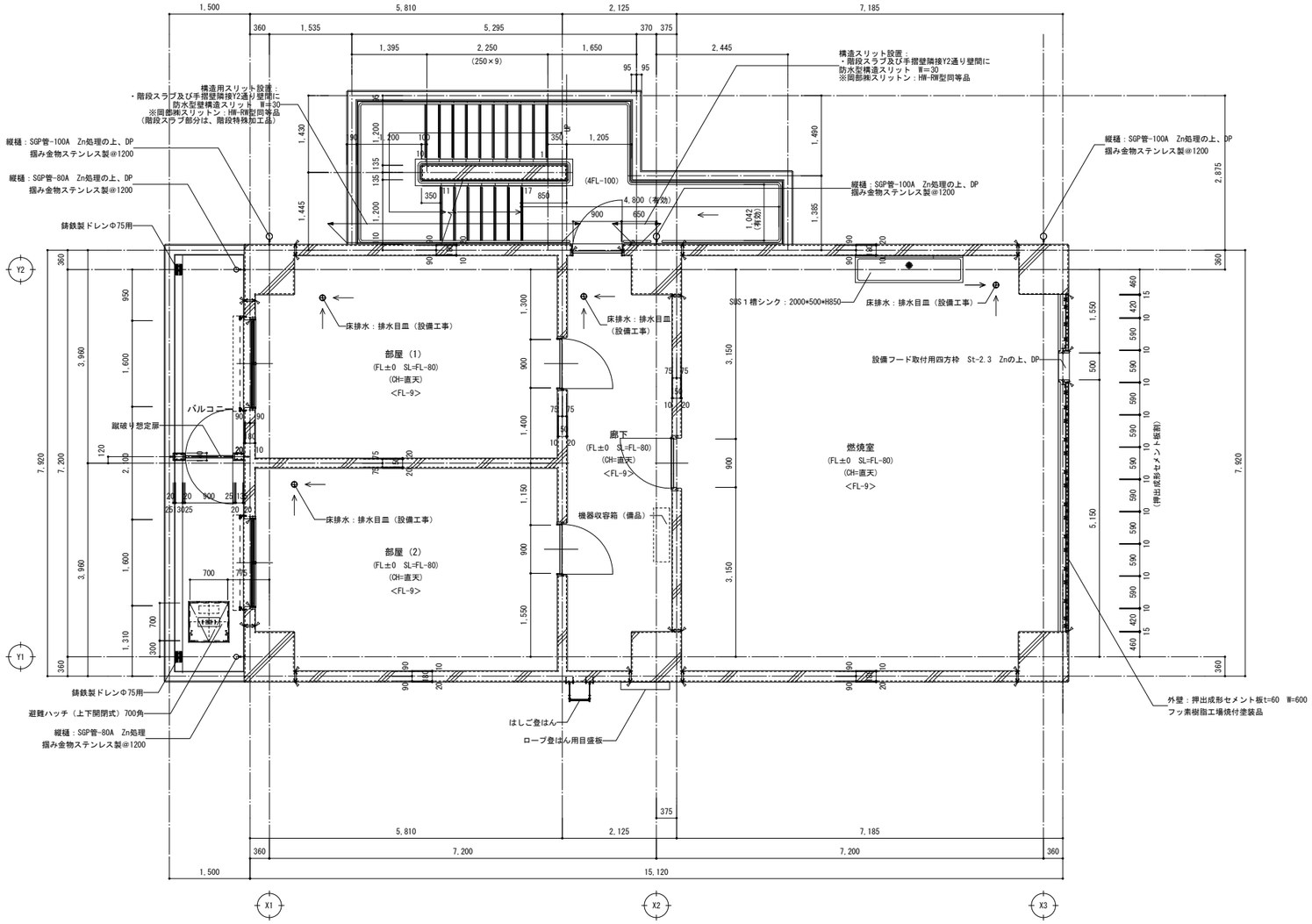
真北
磁北
7° 10′ 00″
（国土地理院
磁気偏角一覧図
2015による）
MT.5
MT.4
294° 26′ 43.38″
（真北を基準にした方位角）

凡　例	仕　様
	RC壁
	押出成形セメント板t=60　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする	

A
D 展開方向 B
C

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　3階平面詳細図		2023/03
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-410



4階　平面詳細図

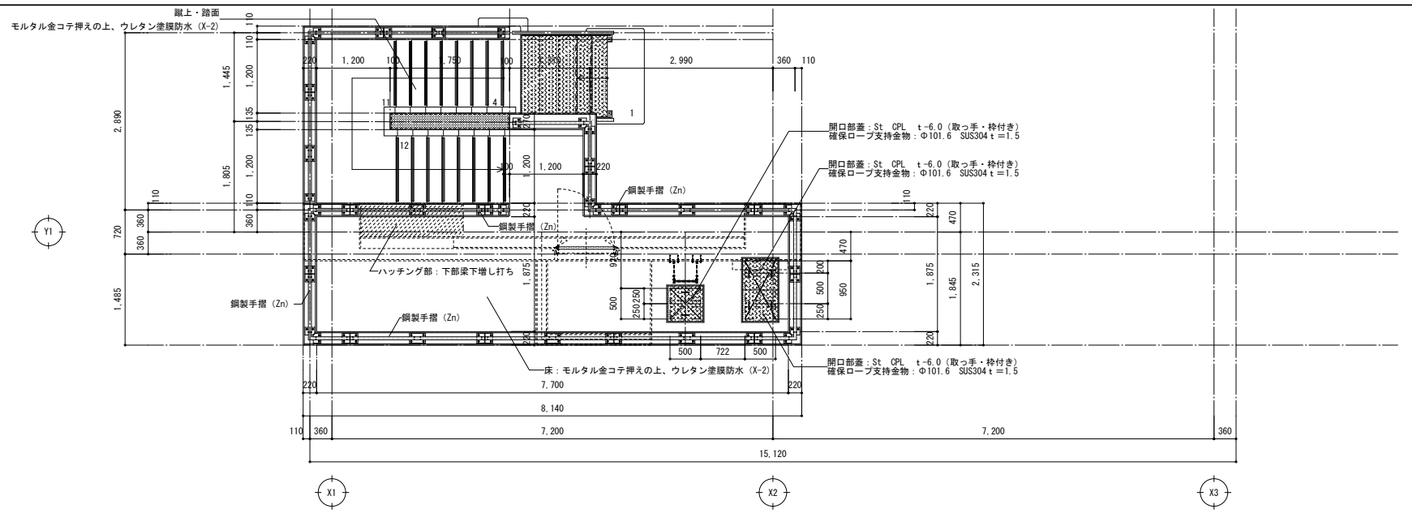
凡　例	仕　様
	RC壁
	押出成形セメント板t=60　縦張り
<**-*>	床の仕様及び壁の仕様（下地）についての凡例
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	シーリングを示す
	備品（別途工事）
特記事項	
・壁記号の記載無き壁については、該当する展開図及び	
部分詳細図（内部1）内01の特記事項に準ずる	
また、壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する	
・特記なき限り、外部出隅は、20×20の面取りとする	

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

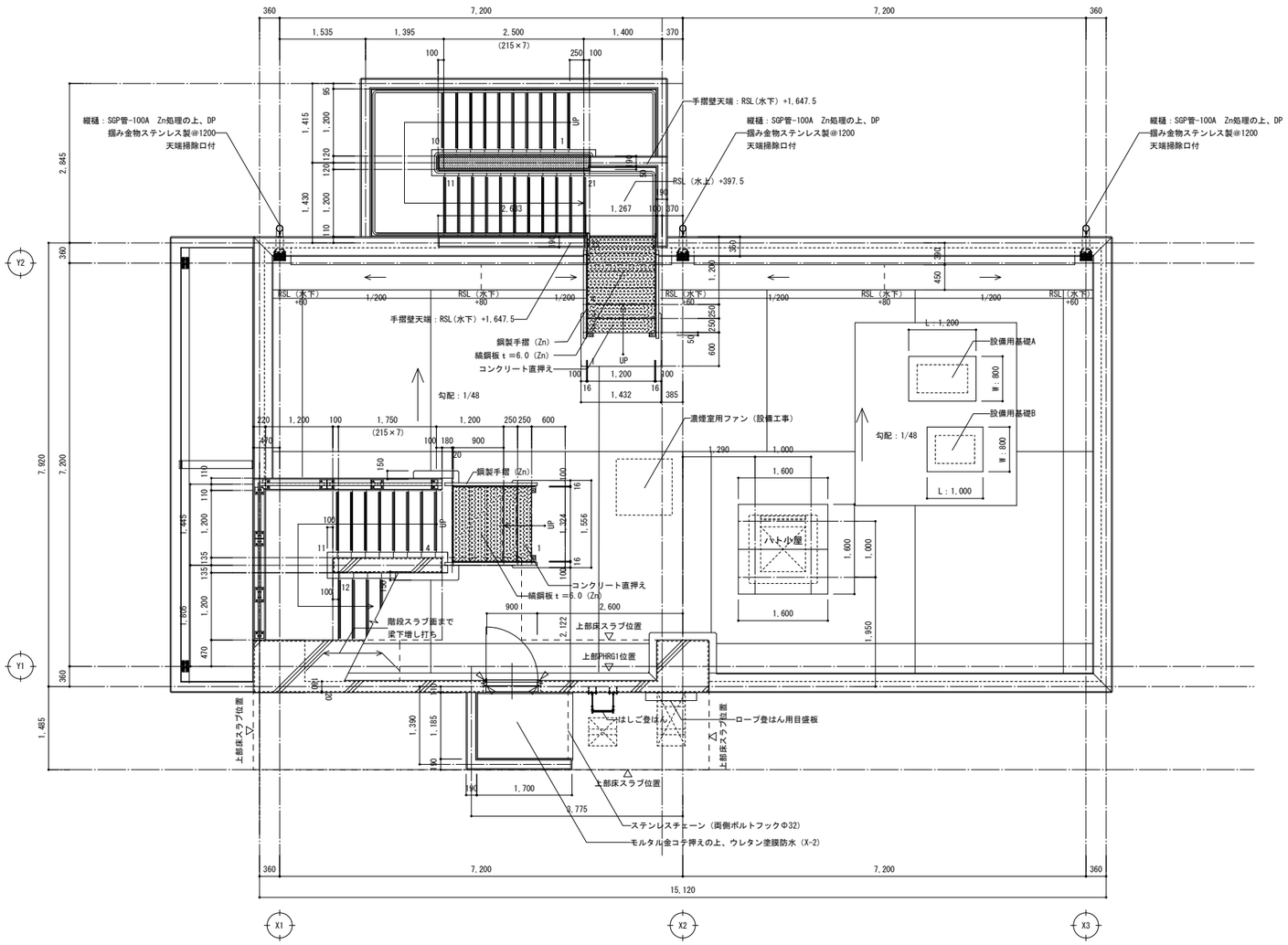
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　4階平面詳細図	2023/03

管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-411

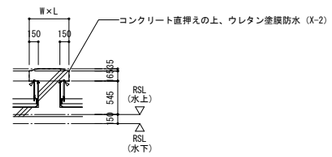
NEWJEC　株式会社ニュージェック



最頂部　平面詳細図



屋上　平面詳細図



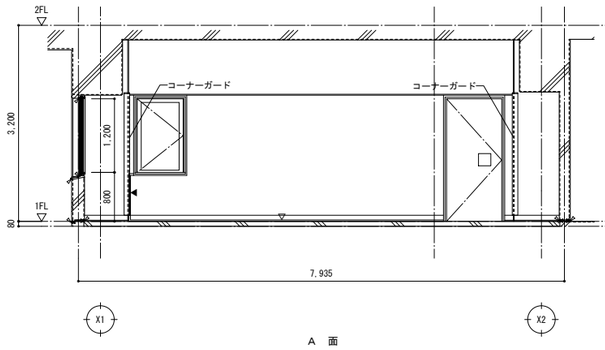
設備基礎詳細図

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

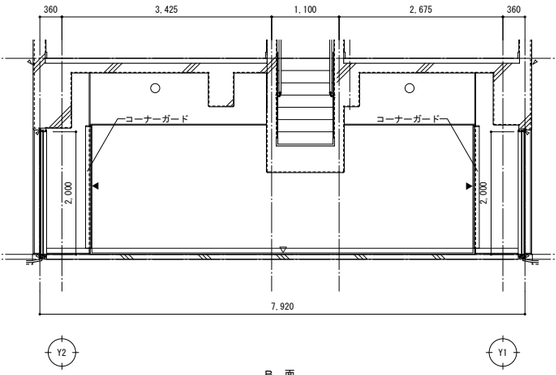
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 屋上平面詳細図	2023/03

NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-412

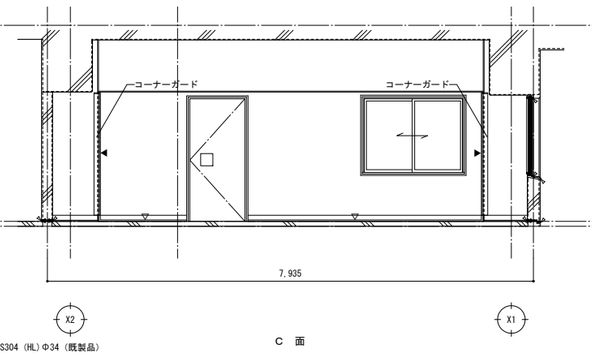
検索訓練室		
床	<FL-9>	
巾木	防錆塗装 H=100	
壁	EP-G (LGS壁両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC (B)素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25
		※同都検スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30
		※同都検スリットン：HW-09型同等品



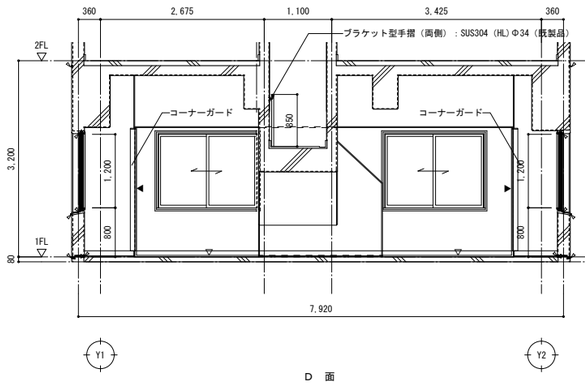
A 面



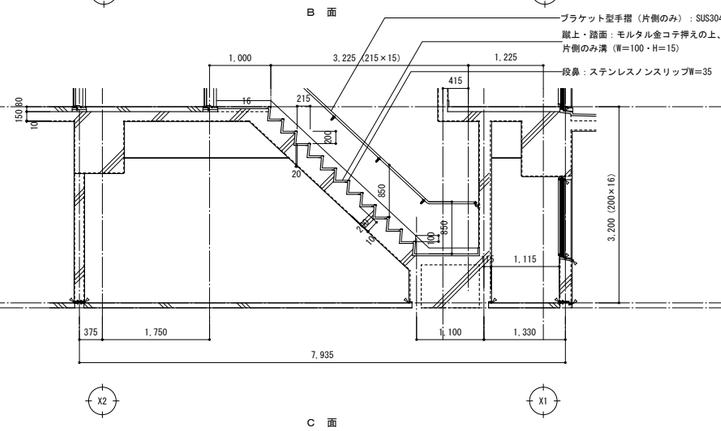
B 面



C 面

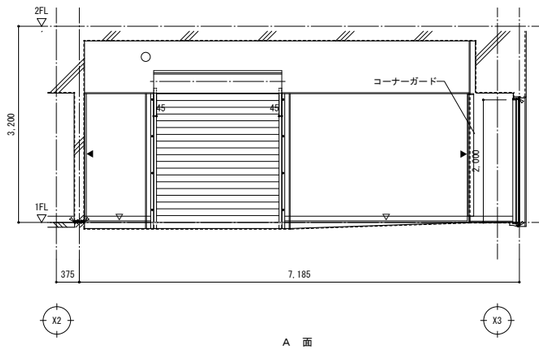


D 面

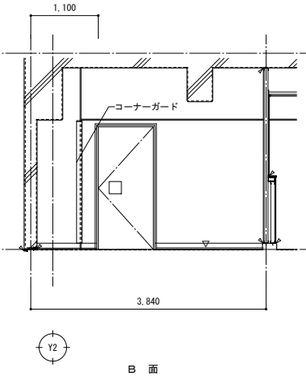


C 面

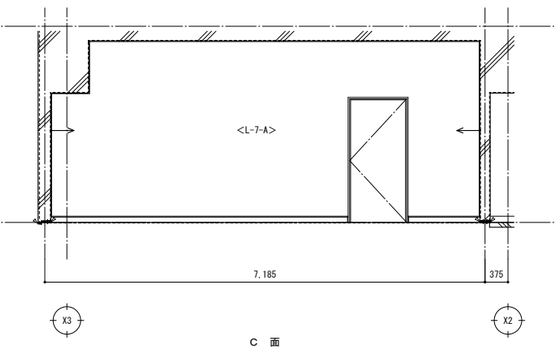
倉庫		
床	<FL-1>	
巾木	防錆塗装	
壁	EP-G (LGS壁両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC (B)素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25
		※同都検スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30
		※同都検スリットン：HW-09型同等品



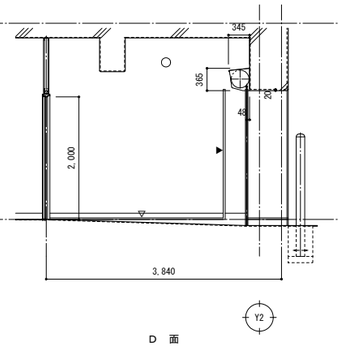
A 面



B 面

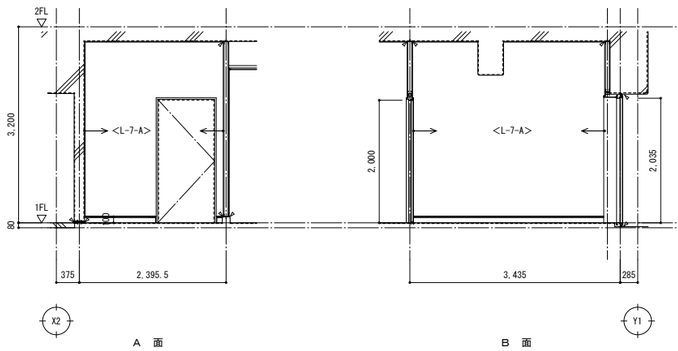


C 面



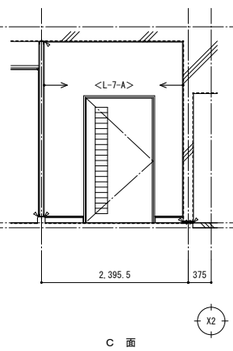
D 面

司令端末室		
床	<FL-1>	
巾木	防錆塗装	
壁	EP-G (LGS壁両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC (B)素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25
		※同都検スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30
		※同都検スリットン：HW-09型同等品

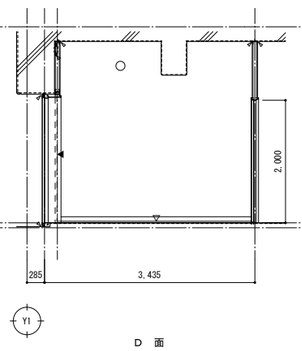


A 面

B 面



C 面



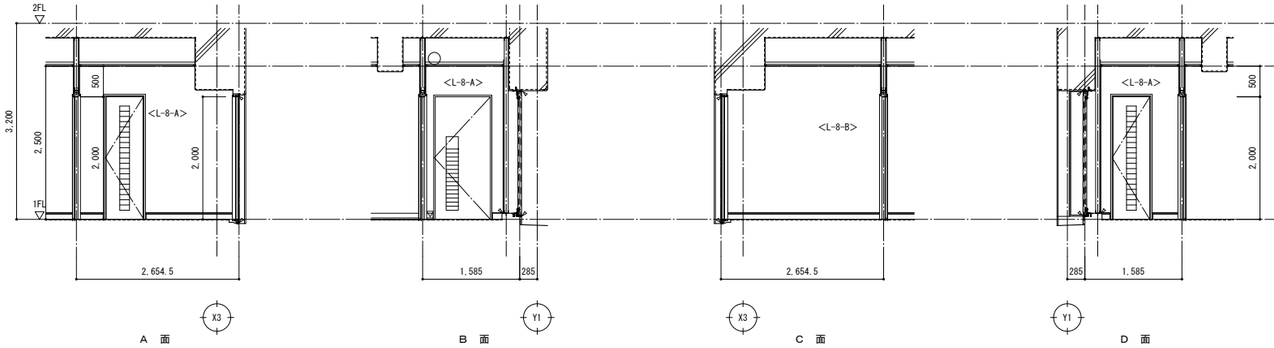
D 面

特記事項

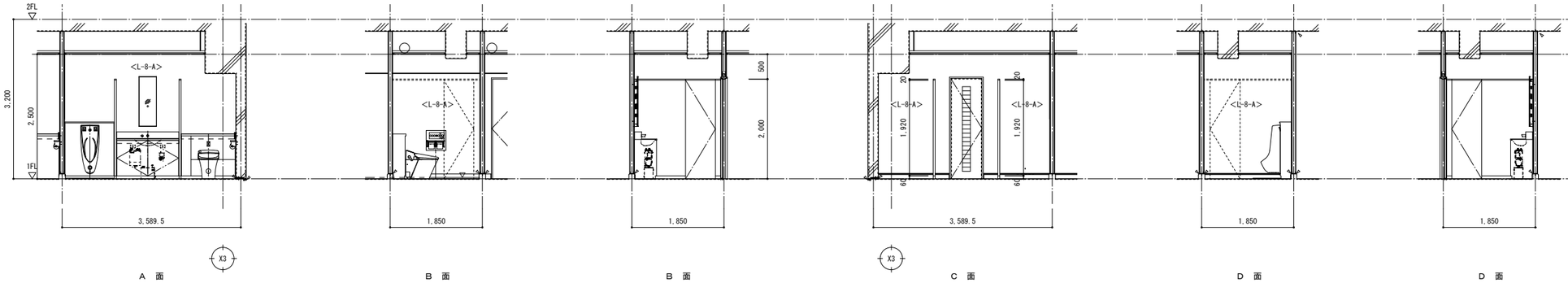
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】 1階展開図（1）		2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-413

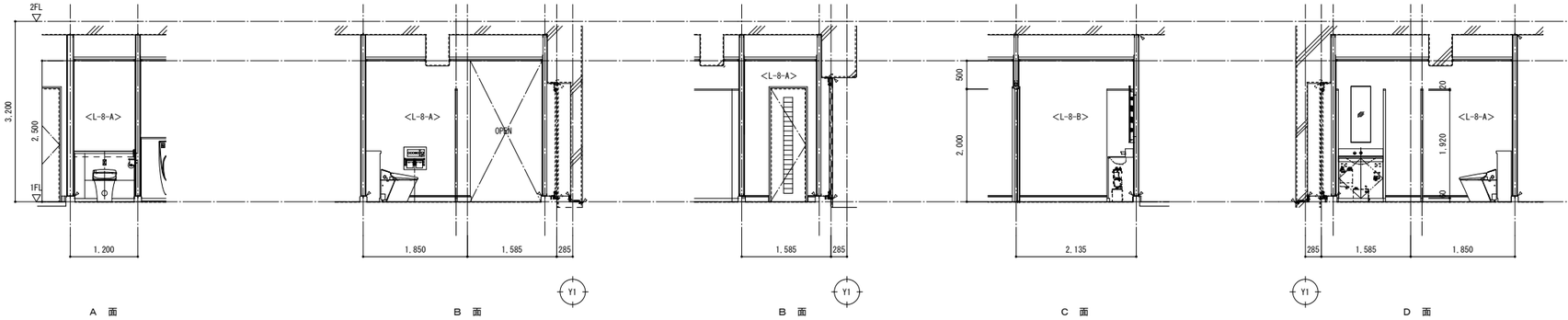
トイレ前通路		
床	<FL-1>	
巾木	防腐塗装 H=100	
壁	EP-G (LGS間両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	GB-NC (J) t =9.5	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットH=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット H=30 ※同部断スリットン：HW-09M型同等品



男子トイレ		
床	<FL-1>	
巾木	防腐塗装 H=100	
壁	EP-G (LGS間両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	GB-NC (J) t =9.5	
備考	※衛生器具及び、ライニング共設備ユニット工事	
	△	防水型壁（水平）構造スリットH=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット H=30 ※同部断スリットン：HW-09M型同等品



女子トイレ		
床	<FL-1>	
巾木	防腐塗装	
壁	EP-G (LGS間両)	
	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	GB-NC (J) t =9.5	
備考	※衛生器具及び、ライニング共設備ユニット工事	
	△	防水型壁（水平）構造スリットH=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット H=30 ※同部断スリットン：HW-09M型同等品

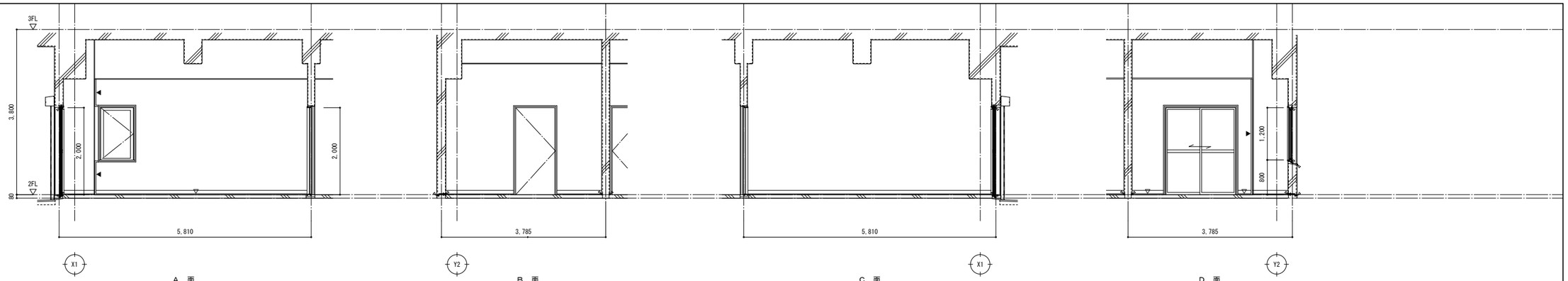


特記事項

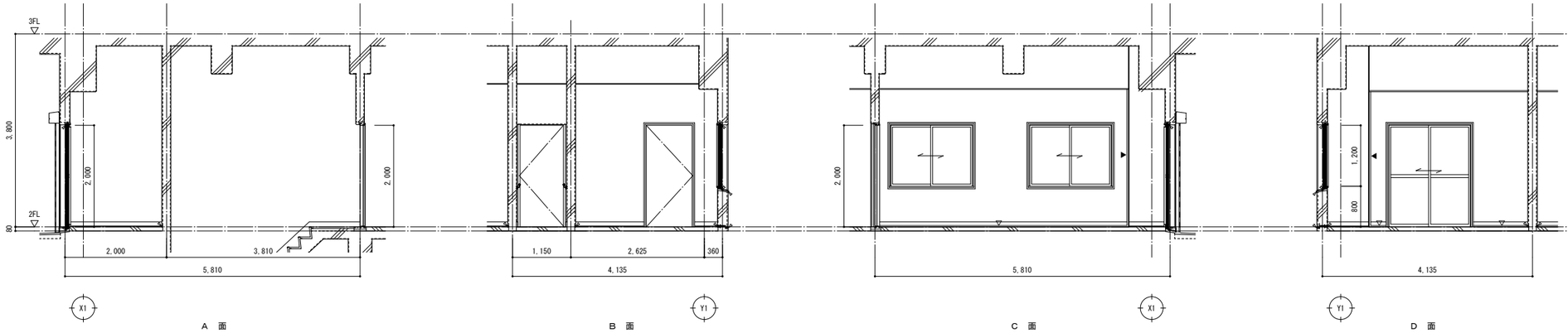
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】 1階展開図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-414

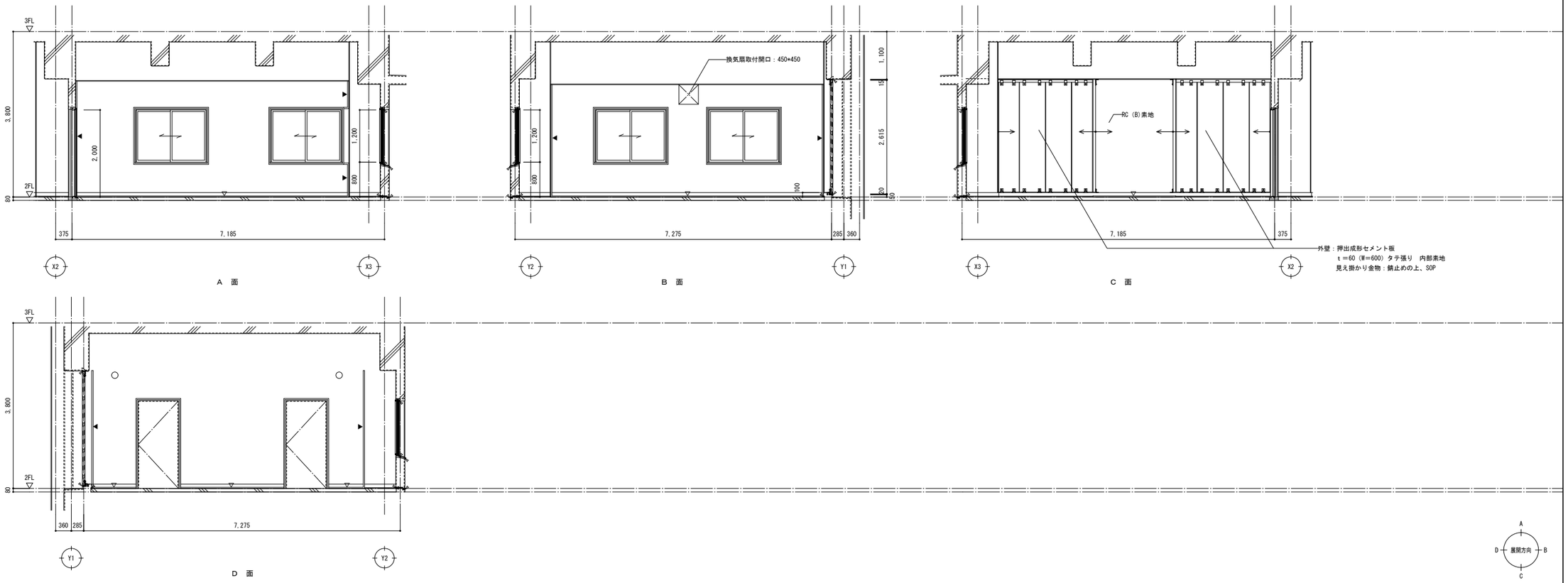
部屋（1）		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装 H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B)素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリット W=25 ※同部断スリット：A2-f型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリット：HW-RW型同等品



遠煙熱気室		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装 H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B)素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリット W=25 ※同部断スリット：A2-f型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリット：HW-RW型同等品



部屋（2）		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装 H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B)素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリット W=25 ※同部断スリット：A2-f型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリット：HW-RW型同等品

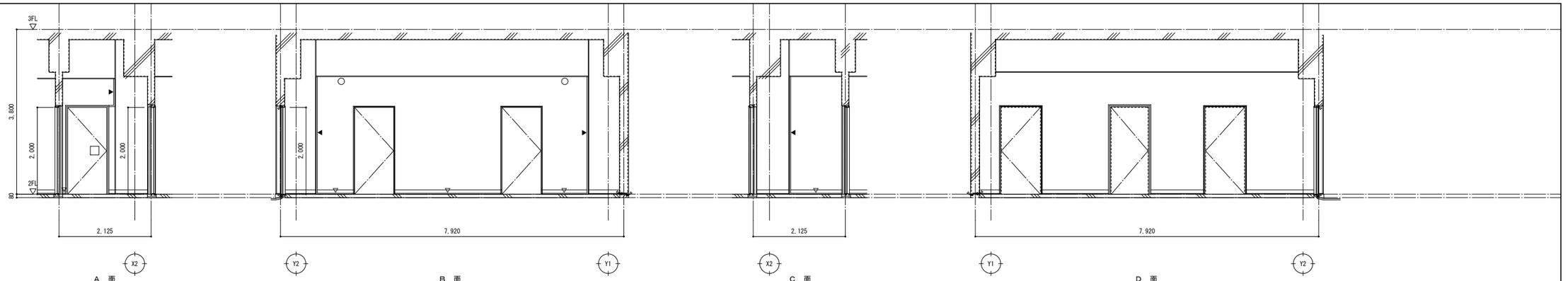


特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】 2階展開図（1）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-415

廊下		
床	<FL-9>	
巾木	防塵塗装 H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-R型同等品



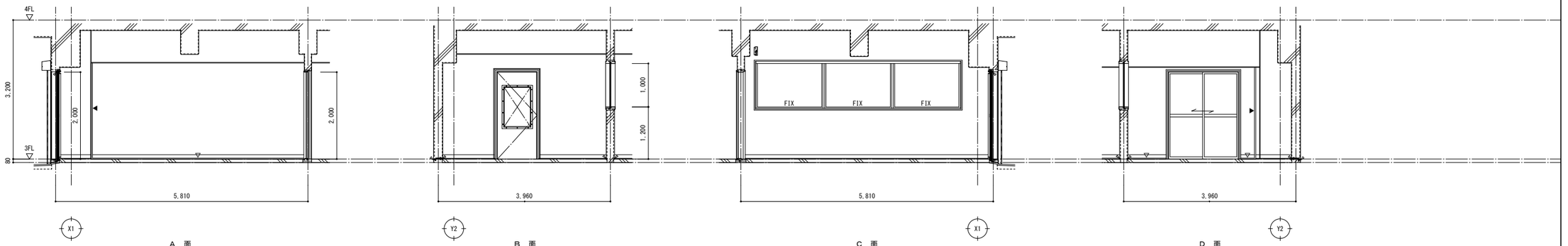
特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 2階展開図（2）	2023/03

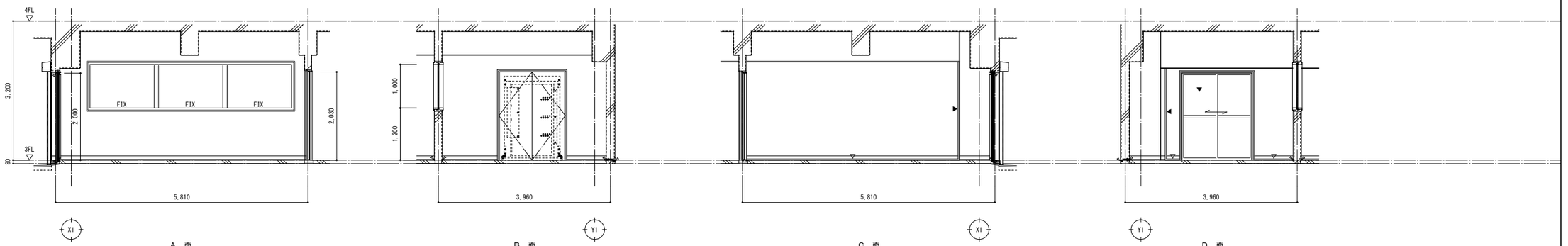
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-416

部屋（1）		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品



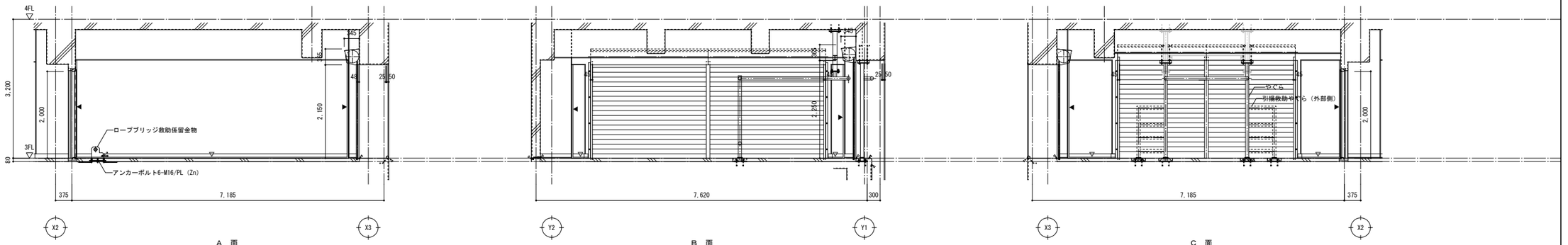
A 面　B 面　C 面　D 面

部屋（2）		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品

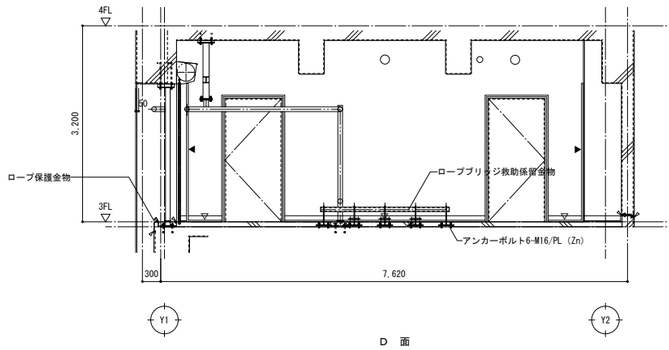


A 面　B 面　C 面　D 面

渡過スペース		
床	<FL-9>	
巾木	防腐塗装	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品



A 面　B 面　C 面



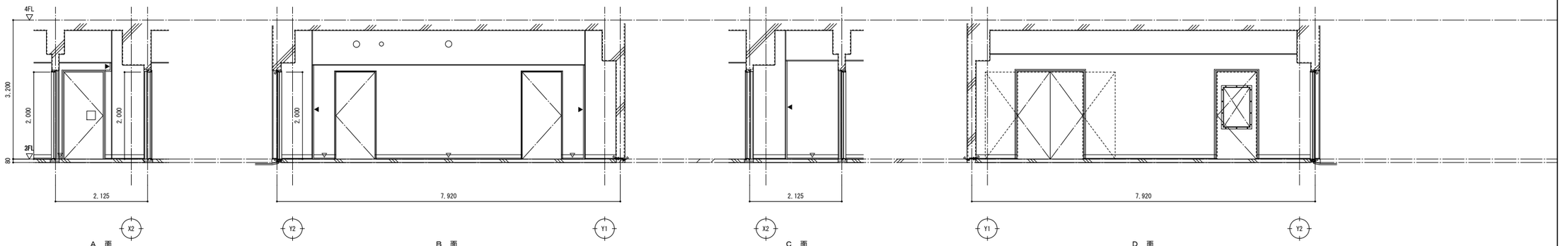
D 面

特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】 3階展開図（1）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-417

廊下		
床	<FL-9>	
巾木	防塵塗装H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-R型同等品



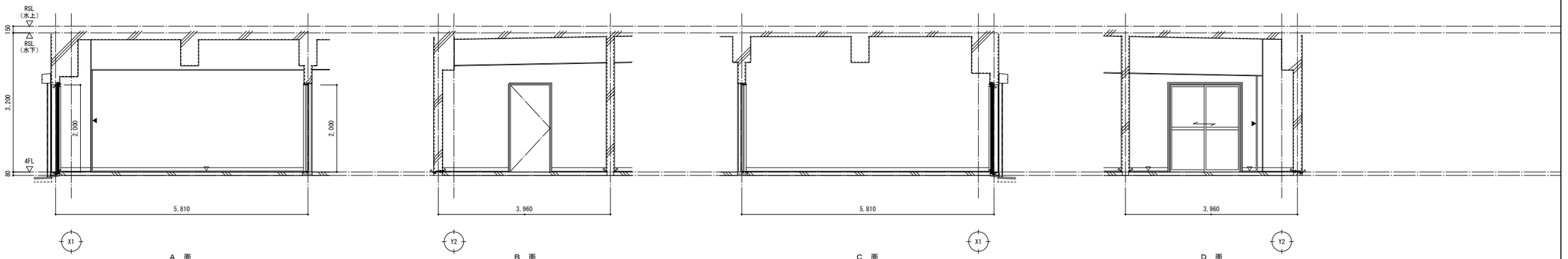
特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 3階展開図（2）	2023/03

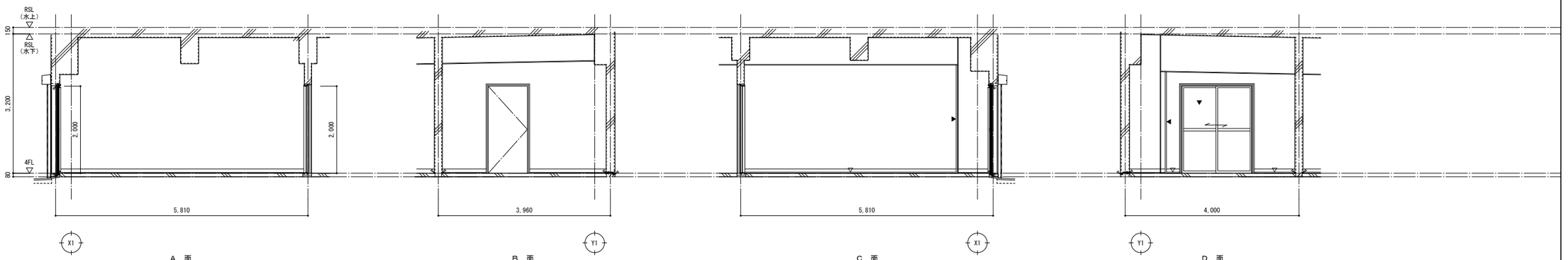
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-418

部屋（1）		
床	<FL-9>	
巾木	RC（B）_防塵塗料塗H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品



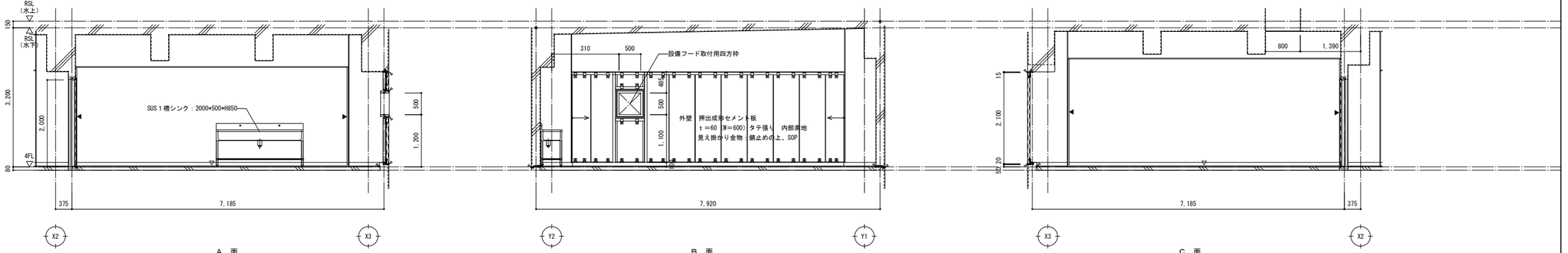
A 面　B 面　C 面　D 面

部屋（2）		
床	<FL-9>	
巾木	RC（B）_防塵塗料塗H=100	
壁	素地 室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品

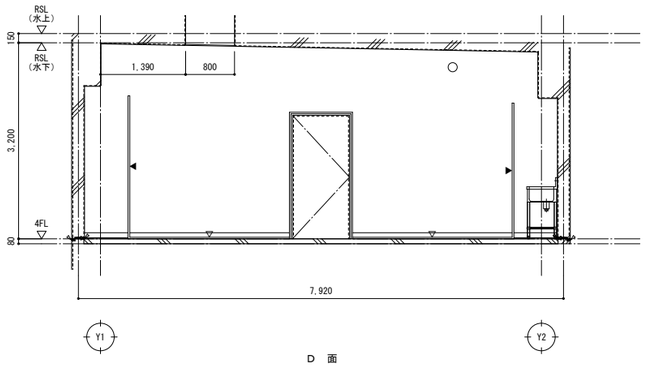


A 面　B 面　C 面　D 面

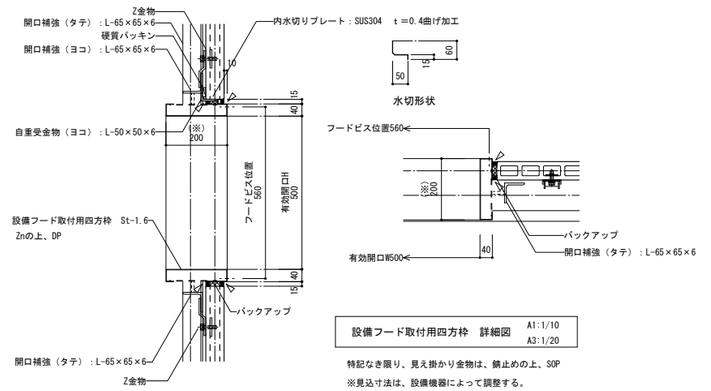
燃焼室		
床	<FL-9>	
巾木	RC（B）_防塵塗料塗H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、RC（B）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部断スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部断スリットン：HW-RW型同等品



A 面　B 面　C 面



D 面



設備フード取付用四方枠　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記なき限り、見え掛かり金物は、錆止めの上、SOP

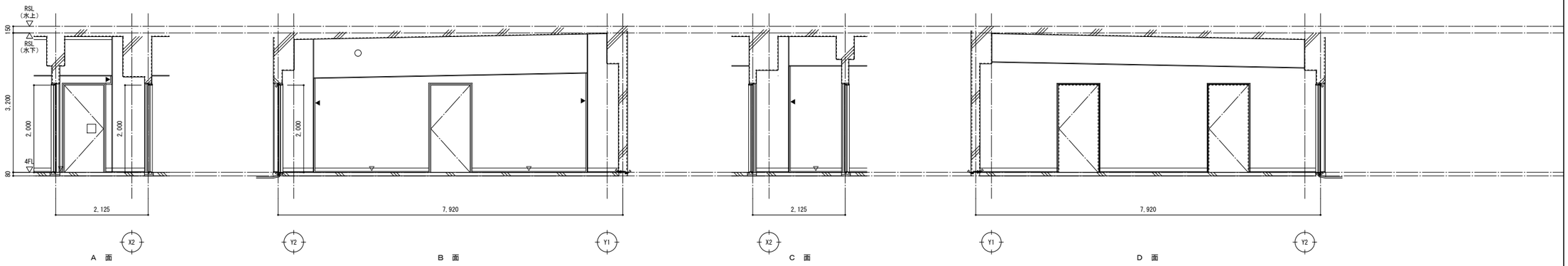
※見込寸法は、設備機器によって調整する。

特記事項

壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】 4階展開図（1）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名		設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武		安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-419

廊下		
床	<FL-9>	
巾木	RC（B） 防塵塗料塗H=100	
壁	室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）素地とする。仕上が異なる場合は書き込みによる。	
天井	RC（B）素地	
備考		
	△	防水型壁（水平）構造スリットW=25 ※同部縦スリットン：A2-F型同等品
	▲	防水型壁（垂直）構造スリット W=30 ※同部縦スリットン：HW-R型同等品

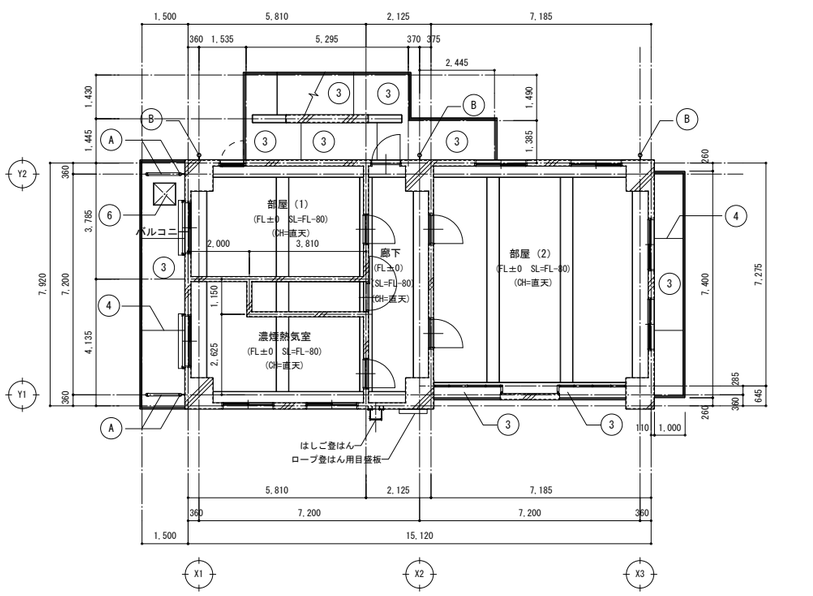


特記事項

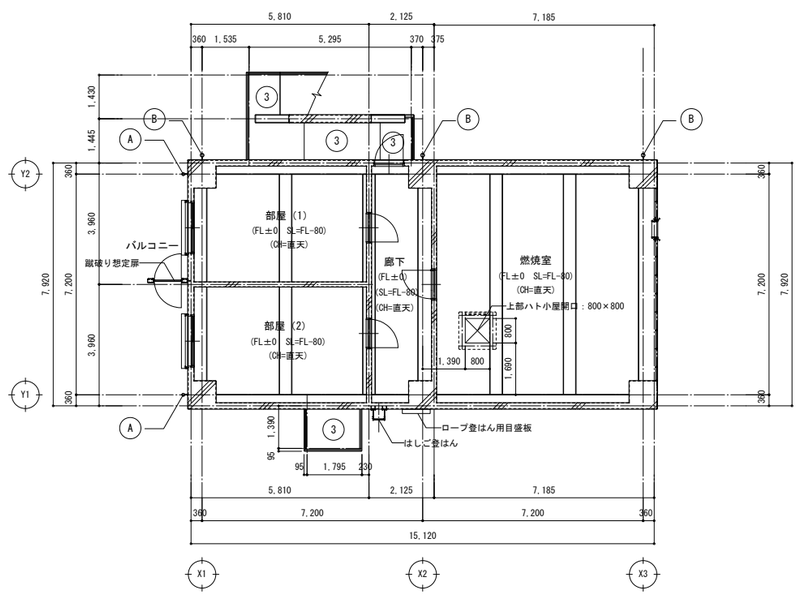
壁記号の内容については、部分詳細図（内部1）内01を参照する。

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 4階展開図（2）	2023/03

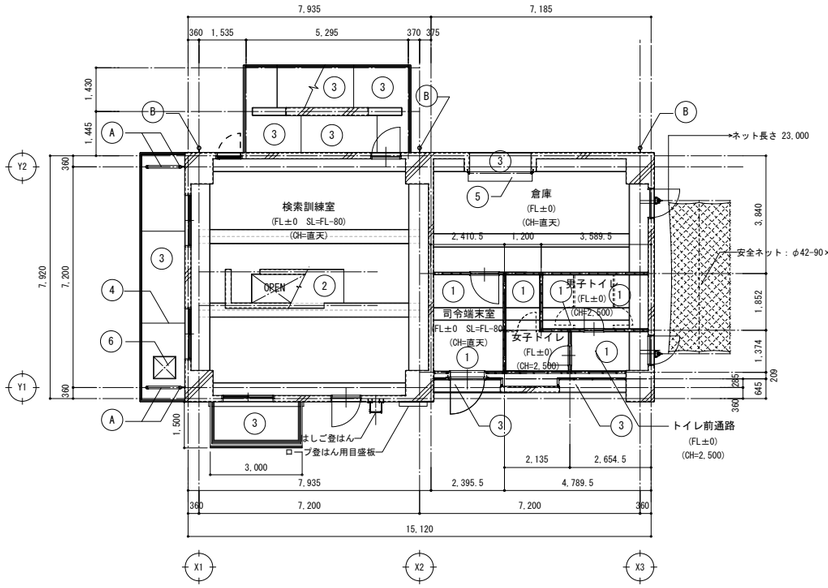
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/50 A3:1/100	A-420



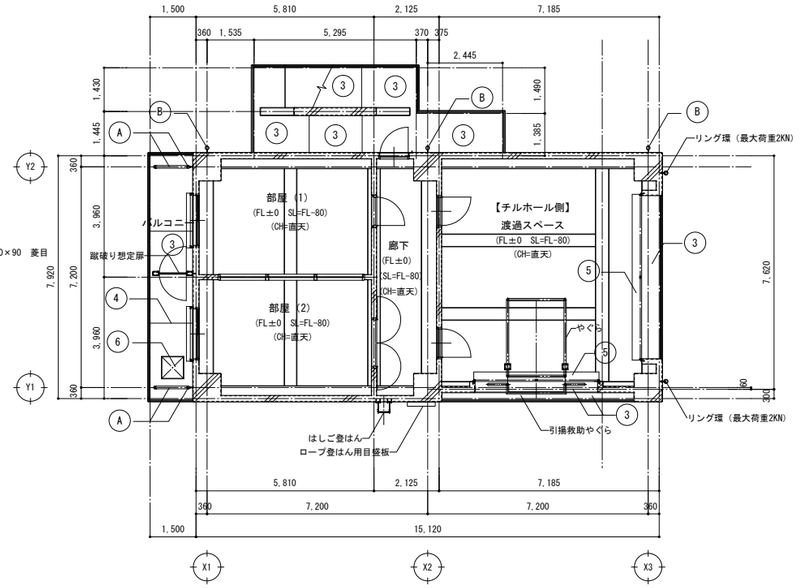
2階天井伏図



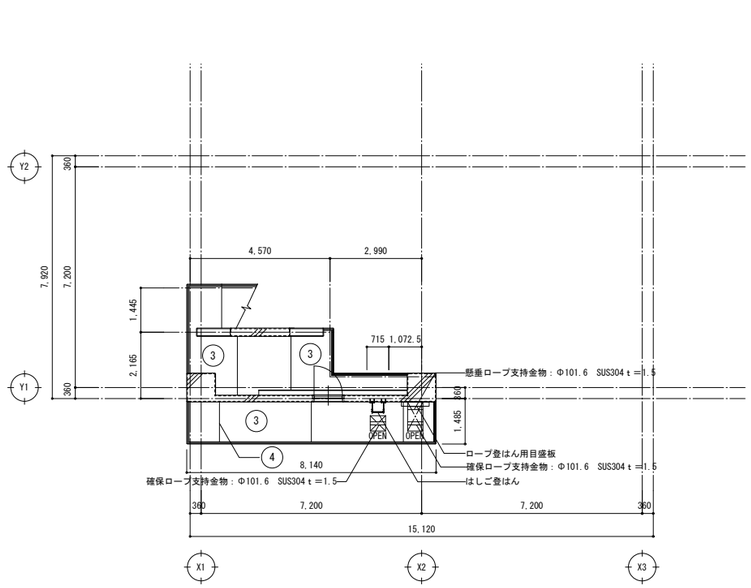
4階天井伏図



1階天井伏図



3階天井伏図

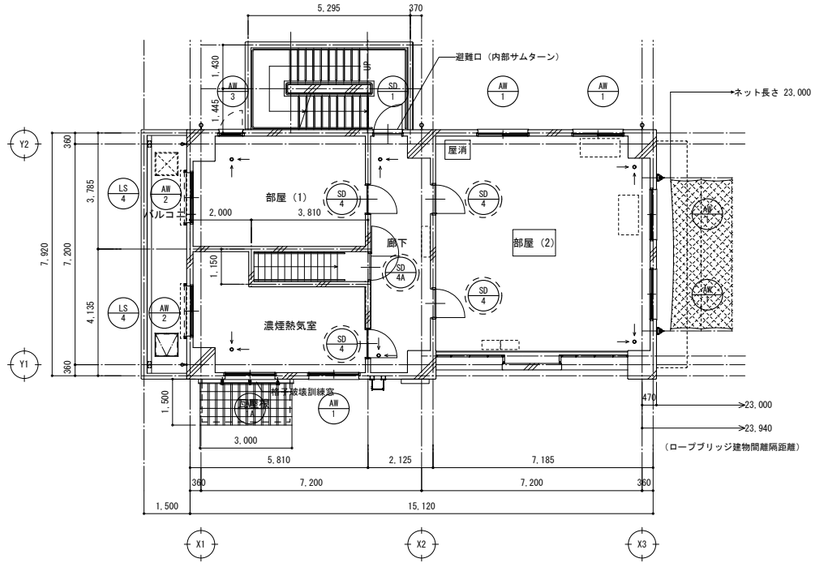


屋上 天井伏図

凡例	仕 様	凡例	仕 様	凡例	仕 様	凡例	仕 様	特 記 事 項
1	GB-NC（T） t＝9.5					A	縦樋：SGP管80A Zn処理の上、DP 掴み金物ステンレス製@1200	(1) 天井下地は、鋼製下地とする。内部用・外部用を使い分けること。外部は、SUS製とする。
2	RC（B） スラブ表し ※見え掛かり梁型共					B	縦樋：SGP管100A Zn処理の上、DP 掴み金物ステンレス製@1200	(2) 天井廻り縁及び出隅見切については、アルミ製（既製品）とする。
3	RC（A）の上、保護塗料A							(3) 直天部分（スラブ裏・梁型）の仕上げは、特記なき限り (2) とする。
4	化粧目地 20×10 @3000							
5	シャッターケース（露出型）見え掛かり							
6	避難ハッチ（上下開閉式）700角							

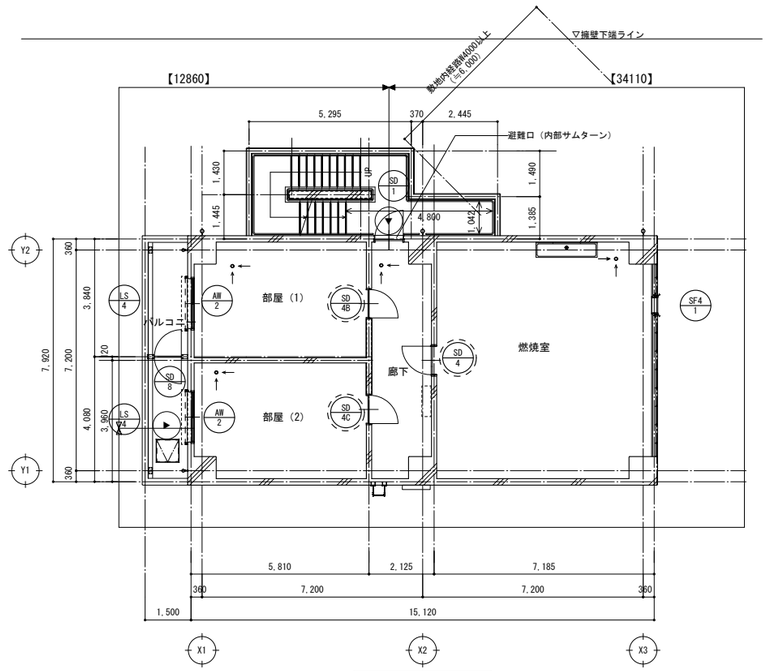
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原 嘉成	小田 文武	安川 雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 天井伏図	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田 文武 / 設計者名：安川 雅巳 / 縮尺：A1:1/100 A3:1/200	図面番号：A-421



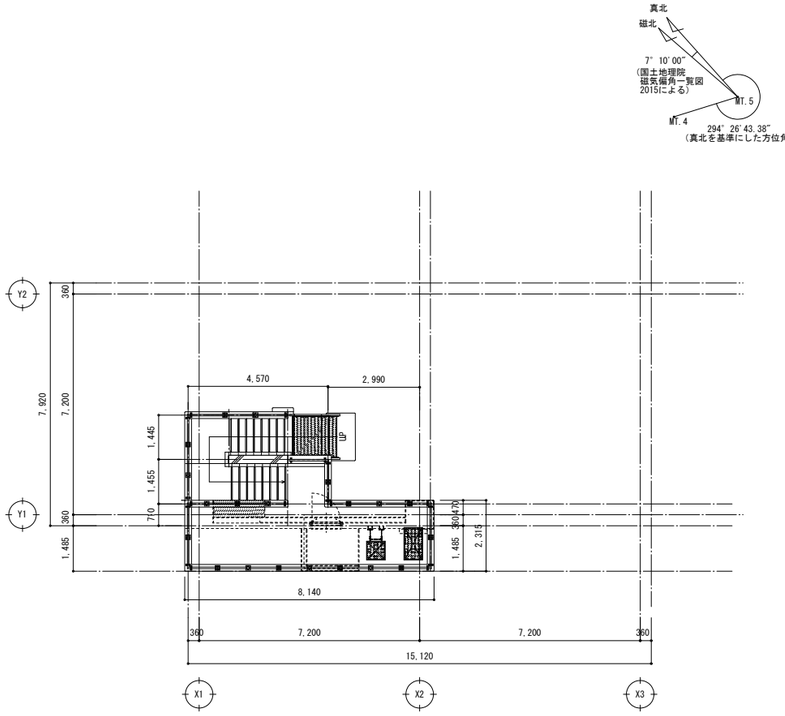
2階建具案内図

2FL=66.50



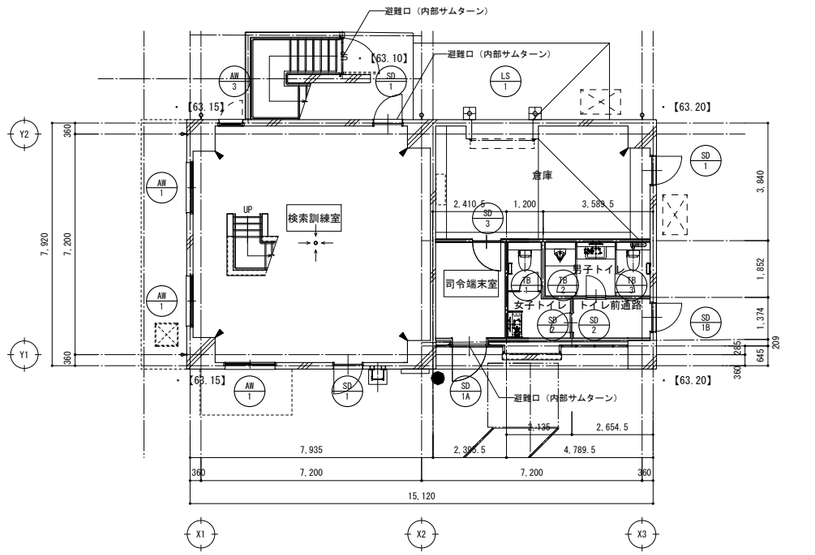
4階建具案内図

4FL=73.50



最上部　平面図

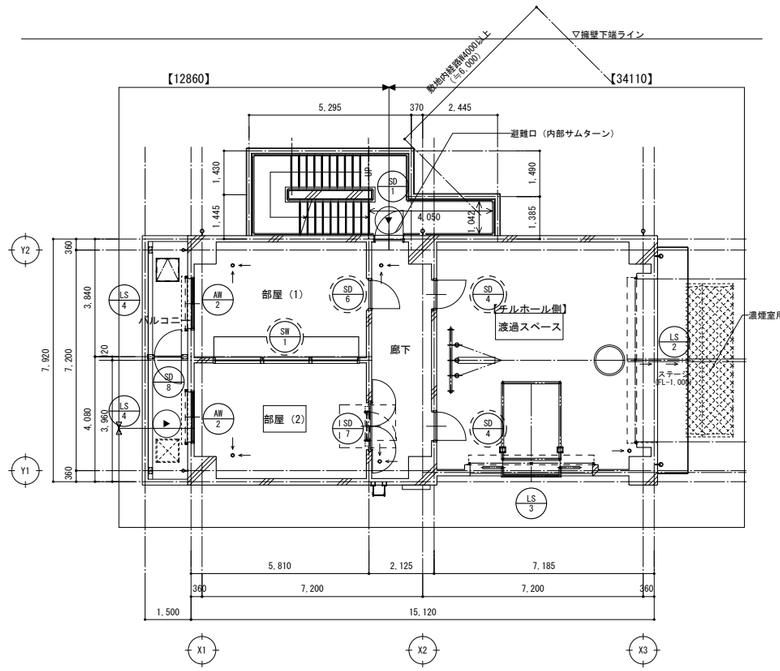
凡例	仕様	凡例	仕様
	RC壁	屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
	LGS壁　特記なき限り65型	消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事
	押出成形セメント板t=60　縦張り	部屋名	部屋を囲う間仕切り壁は、不燃材（仕上・下地）とし、スラブ・梁下までとする ※四角囲いのない部屋は告示249号とする
▲	非常用進入口位置を示す		



1階建具案内図

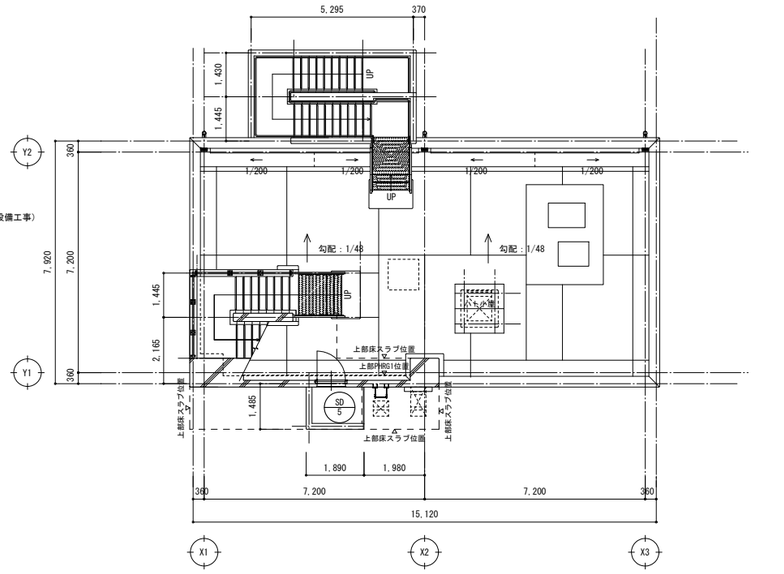
1FL=63.30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63.15とする。



3階建具案内図

3FL=70.30



屋上　建具案内図

凡例	仕様
	特定防火設備を示す

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　建具案内図		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/100 A3:1/200	A-422

記号・数量	AW-1 AW-1A　AW-1：8か所　AW-1A：1か所	AW-2　6か所	AW-3　2か所	SD-1　6か所	SD-1A　1か所	SD-1B　1か所	SD-2　2か所	SD-3　1か所
名称	アルミ製　引違い窓	アルミ製　引違い掃き出し窓	アルミ製　外開き窓	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉
R・O・S	O	O	O	O	O	O	O	O
仕上	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	B-2種（ブラック・標準色）	DP	DP	DP	DP	DP
建具 枠見込・ガラリ	70	70	70	100	100　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	100　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	132　ガラリ：標4-01-1がらりの形式Ⅱ型 ※開口率35%	120
建具 ガラス（ ）内ランマ	AW-1 アルミパネル　ｔ＝3.0　AW-1A スチールパネル　ｔ＝3.0　AE焼付	T-5	アルミパネル　ｔ＝3.0	F-4	—	F-4	—	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	クレセント、アルミ製水切、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	カムラッチハンドル、アルミ製水切、付属金物一式	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、内部サムターン 付属金物一式	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（固定）、丁番、付属金物一式	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式
防火戸の種類	—	—	—	—	—	—	—	—
備考・窓廻り種別	アルミ製額縁　25×25　AW-1A：面格子付【訓練設備】	アルミ製額縁　25×25	アルミ製額縁　25×25	部分詳細図に準ずる	枠・くつずり（標4-42-3）に準ずる	部分詳細図に準ずる	枠（標4-24-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる	枠（標4-24-1）・くつずり（標4-31-1）に準ずる
性能等級	A種	A種	A種	—	—	—	—	—

形状寸法
「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」

記号・数量	SD-4　7か所	SD-4A　1か所	SD-4B　1か所	SD-4C　1か所	SD-5　1か所	SD-6　1か所	SD-7　1か所
名称	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉	鋼製　片開きフラッシュ扉【消防活動訓練扉】	鋼製　両開きフラッシュ扉【消防活動訓練扉】
R・O・S	O	O	O	O	O	O	O
仕上	DP	DP	DP	DP	DP	DP	DP
建具 枠見込・ガラリ	100	100	100	100	100	詳細図による。	100
建具 ガラス（ ）内ランマ	—	—	—	—	—	—	—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	DC（固定無し）、丁番（180度開）、シリンダー本締錠 ケースハンドル、戸当り（建具固定フック付）、付属金物一式	DC、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式 Ｉ型ドアガード（中西産業マイチィーガードMG-102同等品）	DC、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式 U型ドアガード（中西産業ステンレスガードSUS　D-98同等品）	DC（固定）、丁番、シリンダー本締錠、付属金物一式	詳細図による。	DC、丁番、シリンダー本締錠、フランス落し、付属金物一式
防火戸の種類	特定防火設備（常時閉鎖）	特定防火設備（常時閉鎖）	特定防火設備（常時閉鎖）	特定防火設備（常時閉鎖）	—	特定防火設備（常時閉鎖）	特定防火設備（常時閉鎖）
備考・窓廻り種別	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-42-3）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-4）に準ずる	枠（標4-22-3）・くつずり（標4-31-3）に準ずる
性能等級	—	—	—	—	—	詳細図による。	

形状寸法
「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」

記号・数量	SD-8　2か所	3階・4階：バルコニー	SW-1　1か所		TB-1　1か所	TB-2　1か所	TB-3　1か所
名称	鋼製　片開きフラッシュ扉（隔て扉）		鋼製　はめ殺し連窓		トイレブース	トイレブース	トイレブース
R・O・S	O		O				
仕上	DP		DP		木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする	木目塩化ビニル化粧シート（芯材：ペーパーコア、下地：MDF） ※すべて抗ウイルス加工対応とする
建具 枠見込・ガラリ	140		220				
建具 ガラス（ ）内ランマ	—		耐熱強化-8				
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	グレビティヒンジ（上下／扉）、レバーハンドル 戸当り（開時固定式）、付属金物一式		スチール押縁（三方）、付属金物一式		スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式	スライドロック（非常時解錠外開き仕様）、戸当り帽子掛け SUS(HL)巾木・天井レール、アルミ壁面レール 中心吊グレビティヒンジ、付属金物一式
防火戸の種類	—		—				
備考・窓廻り種別	— 部分詳細図による		—				
性能等級	—		—				

形状寸法
「標準型建具の場合（4-01-1)の形状番号を明記」

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの鍵は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本締錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、鍵は表示・大型サムターン付引き戸鍵とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による、
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、とって類の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び排煙オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。（部分詳細図による）
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。（マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。）
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。（結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。）
22. 外壁建具については、詰モルタル充填とする。また露出部については、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウールt=30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。

-ピボットヒンジの仕様-
1. 強度は扉の寸法,重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として支持吊（沓摺挿入型）とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、沓摺挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

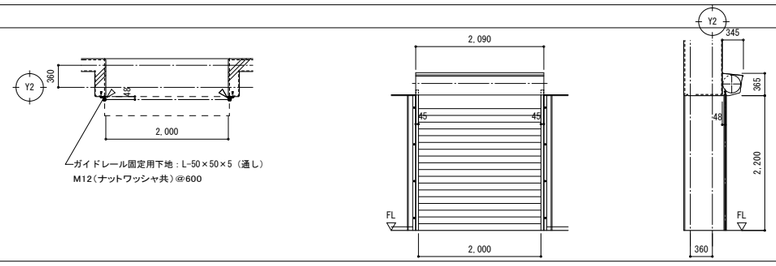
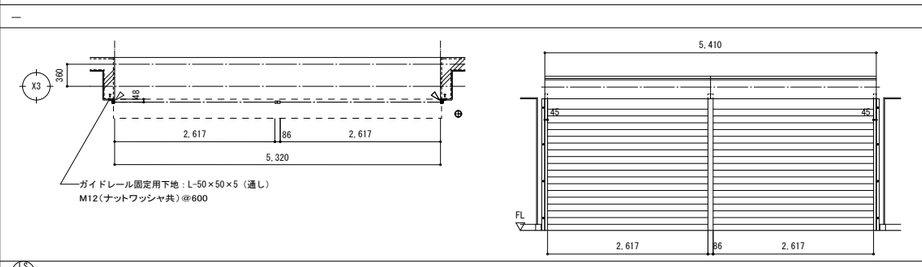
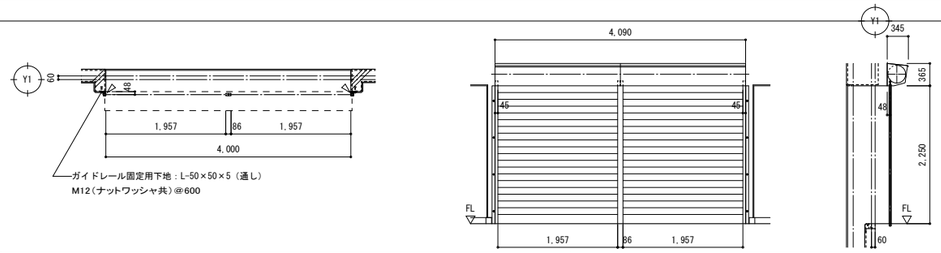
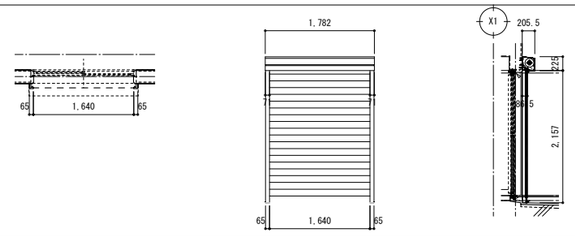
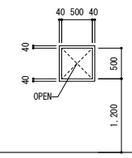
R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SF4	鋼製　四方枠	W	線入型板ガラス
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	NP	網入みがき板ガラス
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	T	強化ガラス
SD	鋼製ドア	H	ふすま	ＴＢ	トイレブース	HP	熱線吸収フロート板ガラス
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	ＳＰ	可動間仕切り	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	ＷＰ	木製可動間仕切り	SL	複層ガラス
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	SLW	移動間仕切り	HM	熱線反射ガラス
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	特防	特定防火設備	A	空気層
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	防	防火設備		
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常開	常時開放戸		
				常閉	常時閉鎖戸		

窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する

ぜん板・額縁 ＼ カーテンボックス取り合い	無し	アルミニウム製	木製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木製（断熱材打込み）
無し（額縁）	ア (4-51-1,2)	イ－1 (4-51-3)又は共通図	ウ－1 (4-51-4)	エ－1 (4-51-5,6)	オ－1 (4-51-7)
有り	―――	イ－2 (4-52-1)又は共通図	ウ－2 (4-52-2)	エ－2 (4-52-3,4)	オ－2 (4-52-5)

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　建具リスト（1）	2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳　縮尺：A1:1/50 A3:1/100	図面番号：A-423

記号・数量	LS 1	1か所	LS 2 1か所
名　　称	軽量　バランス式シャッター（手動）		軽量　バランス式シャッター（手動）
R・O・S	O		O
仕　　上	シャッターケース：カラー鋼板（露出型）、スラット：カラー鋼板 t＝0.8 座板・ガイドレール：SUS304（HL）		シャッターケース：カラー鋼板（露出型）、スラット：カラー鋼板 t＝0.8 座板・ガイドレール・取り外し式中柱：SUS304（HL）
建具 枠見込・ガラリ	—		—
建具 ガラス（　）内ランマ	—		—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	手掛、専用錠、付属金物一式		手掛、専用錠、付属金物一式
防火戸の種類	—		—
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる		部分詳細図に準ずる
性 能 等 級	—		—
形状・寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」		1階：倉庫	 3階：渡過スペース
記号・数量	LS 3	1か所	LS 4 6か所
名　　称	軽量　バランス式シャッター（手動）		軽量　バランス式シャッター（手動）
R・O・S	O		O
仕　　上	シャッターケース：カラー鋼板（露出型）、スラット：カラー鋼板 t＝0.8 座板・ガイドレール・取り外し式中柱：SUS304（HL）		シャッターケース：カラー鋼板（露出型）、スラット：カラー鋼板 t＝0.8 座板・ガイドレール・取り外し式中柱：SUS304（HL）
建具 枠見込・ガラリ	—		—
建具 ガラス（　）内ランマ	—		—
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	手掛、専用錠、付属金物一式		手掛、専用錠、付属金物一式
防火戸の種類	—		—
備考・窓廻り種別	部分詳細図に準ずる		部分詳細図に準ずる
性 能 等 級			
形状・寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	 3階：渡過スペース	 4階：部屋（1）・部屋（2）－2か所 3階：部屋（1）・部屋（2）－2か所 2階：濃煙熱気室・部屋（1）－2か所
記号・数量	SF-4 1 1か所		
名　　称	鋼製　四方枠		
R・O・S	O		
仕　　上	Znの上、DP		
建具 枠見込・ガラリ	200（※）　※設備機器によって調整する。		
建具 ガラス（　）内ランマ	—		
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	—		
防火戸の種類	—		
備考・窓廻り種別	—		
性 能 等 級	—		
形状・寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	 4階：燃焼室		

共通事項

1. 特記のないドアの形状（寸法）は、分類番号　4-01　による。ただしドア高さは2,100を標準とする。
2. 標準型建具とは、形状が　(4-01-1)A-1～B-8　及び寸法等が標準仕様書　(16.4.6)(16.5.6)　によるもの。
3. 特記のない標準型建具の建具枠詳細番号は、(4-21-1～4)(4-23-1,2)(4-24-1,2)(4-31-1～6)(4-41-1)(4-42-1)(4-43-1)(4-44-1)(4-45-1,3)のいずれかとする。
4. 特記のない標準型建具以外の建具枠詳細番号は、(4-11-1～3)(4-12-1,2)(4-13-1～3)(4-22-1～5)(4-23-3～5)(4-24-3,4)(4-25-1,2)(4-31-1～6)(4-41-2,3)(4-42-2,3)(4-44-2,3)(4-45-2,4)(4-46-1)(4-47-1)のいずれかとする。
5. 特記のない外部に面するドアの錠は、フロアヒンジ使用のドアはシリンダー本錠錠、その他のドアは、シリンダー箱錠とする。
6. 特記のない多機能便所の片引きドアは制動装置（ストップ付）とし、錠は表示・大型サムターン付引き戸錠とする。
7. 特記のない外部に面するドアのフロアヒンジは竪スプリング型、その他のドアは横スプリング型とする。
8. 特記のない握り玉、押板類、クレセント類の取付位置は、以下の表による。
また、特記のないドアのカギについては、シリンダー錠（内部サムターン）とする。

金物の種類	床上端からの金物の高さ(m)
握り玉、左って錠の中心	1.0
押板類の中心	1.0
クレセント類の中心及び換気オペレーター	窓は0.8以上1.5以下とする
レバーハンドルの中心	1.0

9. 鋼製（電動）シャッター自動扉及び電気錠は2次配線共とする。又電動シャッターの電源については単相とする。
10. トーメイガラス 厚5mm以上はすべてフロートガラスとする。
11. 特記のない扉見込みは、鋼製・木製（ふすま、障子を除く）の場合40mm、鋼製軽量の場合36mmとする。
12. 特記のない外部に面する軽量シャッターのレール、まぐさはステンレス製（SUS304 厚1.5）とする。
13. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易気密とする。
14. ガラリの形状及び開口率は(4-01-1)付2による　なお特記のないガラリ材種は主材と同材とする。
又、特記のない内部の建具ガラリの種別は　Ⅲ型とする。
15. 特記のない防火設備（防火戸）のくぐり戸は、オートヒンジ付とする。
16. 開放建具のW、H寸法は、開口有効寸法とする。(部分詳細図による)
17. フラッシュ戸は、特記なき限り両面フラッシュ戸とする。
18. 建具の開き勝手開き角度等は平面図による。
19. マスターキーは、3本制作する事。(マスターキー・グランドマスターキー及び各建具キープランについては監督員の指示による。)
20. 扉に使用するガラリの材質・仕上げは、指定のない限り扉と同材とする。
21. サッシの額縁（下縁）は結露受皿付きとする。
但しサッシ枠本体に結露受けのある物は不要とする。(結露受けは、外部排出機能を確保する。額縁寸法は、各詳細図による。)
22. 外壁建具については、詰モルタル充填とする。また露出部については、枠部の仕上（見えがかり）に十分注意する。
23. 水切の両端に立ち上がりを設け雨水が両端に流れないようにする。
24. 代替進入口位置は、3階平面詳細図の書込内容による。
25. 特記のないレバーハンドル：ユニオンUL-1076（同等品）、引手ハンドル：ユニオンG-1231（同等品）とする。
特記のないケースハンドル：ユニオンUCH-1110（同等品）、堀込錠：ユニオンULS-2840ブラック（同等品）とする。
26. LSDのスリット窓及びガラリは、無枠仕様とする。
27. 戸当りは、床付：ユニオンUT-360-53（同等品）、壁付：ユニオンUT-273-90B-AFB（同等品）とする。
28. カードリーダー（別途工事）の仕訳については、各階建具案内図の凡例による。
29. 内部防火設備の枠及び取付下地周囲については、ロックウール t＝30吹付にて覆う事とする。
30. 特記のないDCは、ストップ付とする。

-ピボットヒンジの仕様-

1. 強度は扉の寸法、重量に見合ったものを使用する。
2. 原則として天持吊(吊掛挿入型)とし、建具枠に補強プレート及びピボットヒンジを工場にて溶接する。
3. 扉重量が120kgを越える場合は、吊掛挿入型で建具枠の補強プレートを2重にするか床埋込型とする。
4. FB枠の建具については、ヒンジの種類やセット位置、下枠との取り合いについて十分に検討調整すること。

略号

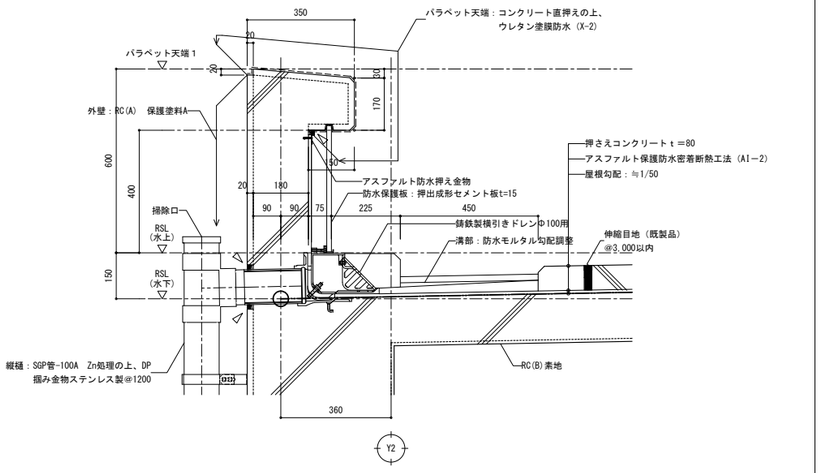
R	既製建具及びこれに準ずる建具			SS	重量シャッター	P	フロート板ガラス	窓回り（ぜん板・額縁及びカーテンボックス有無）（注）備考欄で特記する	
O	既製建具及びこれに準ずる建具以外の建具			LS	軽量シャッター	F	型板ガラス	ぜん板・額縁 / カーテンボックス取り合い	無　し	アルミニウム製	木　製	アルミニウム製（断熱材打込み）	木　製（断熱材打込み）
S	標準型建具			SF	鋼製　三方枠	N	網入型板ガラス						
AD	アルミ製ドア	LD	鋼製軽量ドア	SF4	鋼製　四方枠	W	線入型板ガラス	無　し（額縁）	ア（4-51-1,2）	イー1（4-51-3)又は共通図	ウー1（4-51-4）	エー1（4-51-5,6）	オー1（4-51-7）
AAD	アルミ製自動ドア	LDS	標準型建具鋼製軽量ドア	SSF	ステンレス製　三方枠	NP	網入みがき板ガラス						
AW	アルミ製窓	WD	木製ドア	SOD	鋼製オーバーヘッドドア	WP	線入みがき板ガラス	有　り	———	イー2（4-52-1）又は共通図	ウー2（4-52-2）	エー2（4-52-3,4）	オー2（4-52-5）
AG	アルミ製ガラリ	WW	木製窓	AOD	アルミ製オーバーヘッドドア	L	合わせガラス						
ACW	アルミ製カーテンウォール	WG	木製ガラリ	FOD	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア	T	強化ガラス						
SD	鋼製ドア	H	ふすま	T B	トイレブース	HP	熱線吸収フロート板ガラス						
SDS	標準型建具鋼製ドア	P	紙障子	S P	手動開閉窓	HWP	熱線吸収線入みがき板ガラス						
SW	鋼製窓	DC	ドアクローザー	W P	木製手動開閉窓	SL	複層ガラス						
SG	鋼製ガラリ	FH	フロアヒンジ	SLW	手動開閉窓	HM	熱線反射ガラス						
SSD	ステンレス製ドア	PH	ピボットヒンジ	特防	特定防火設備	A	空気層						
SSW	ステンレス製窓	LH	ラバトリヒンジ	防	防火設備								
SSG	ステンレス製ガラリ	HC	ヒンジクローザー	常開	常時開放戸								
				常閉	常時閉鎖戸								

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	図面の名称	【訓練棟】　建具リスト（2）
		作成年月日	2023/03
NEOJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:1/50 A3:1/100
			図面番号 A-424

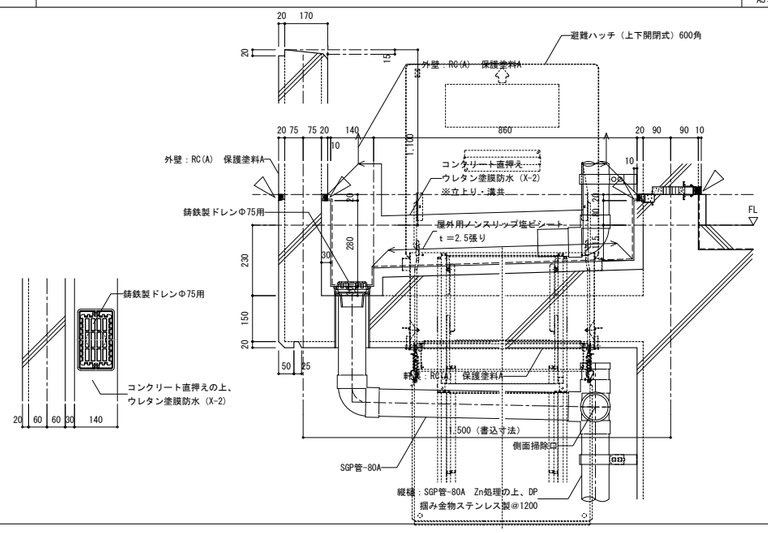
外０１　パラペット　詳細図

A1:1/10
A3:1/20



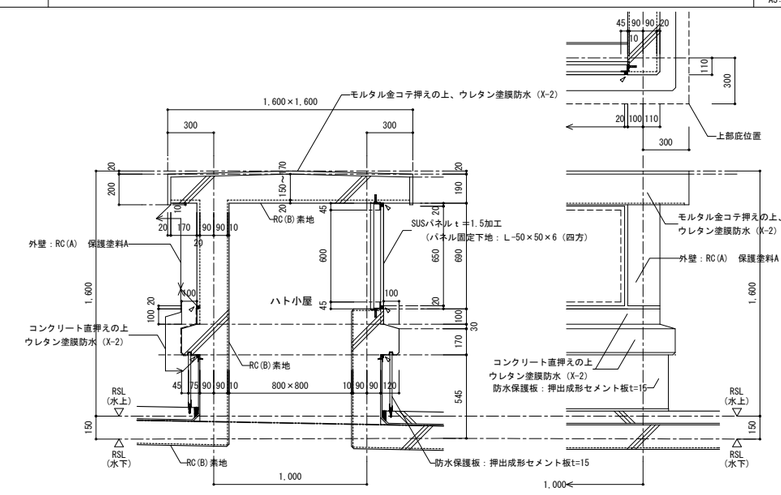
外０２　バルコニー廻り　詳細図

A1:1/10
A3:1/20



外０３　ハト小屋　詳細図

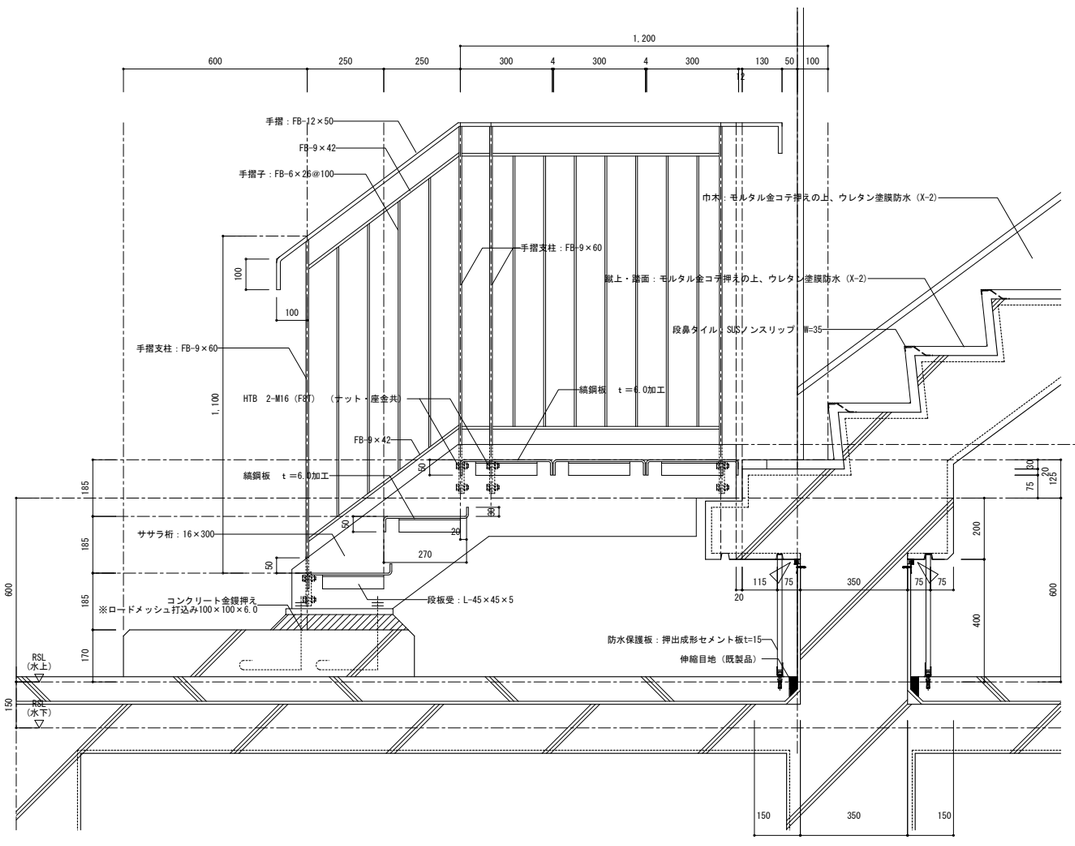
A1:1/20
A3:1/40

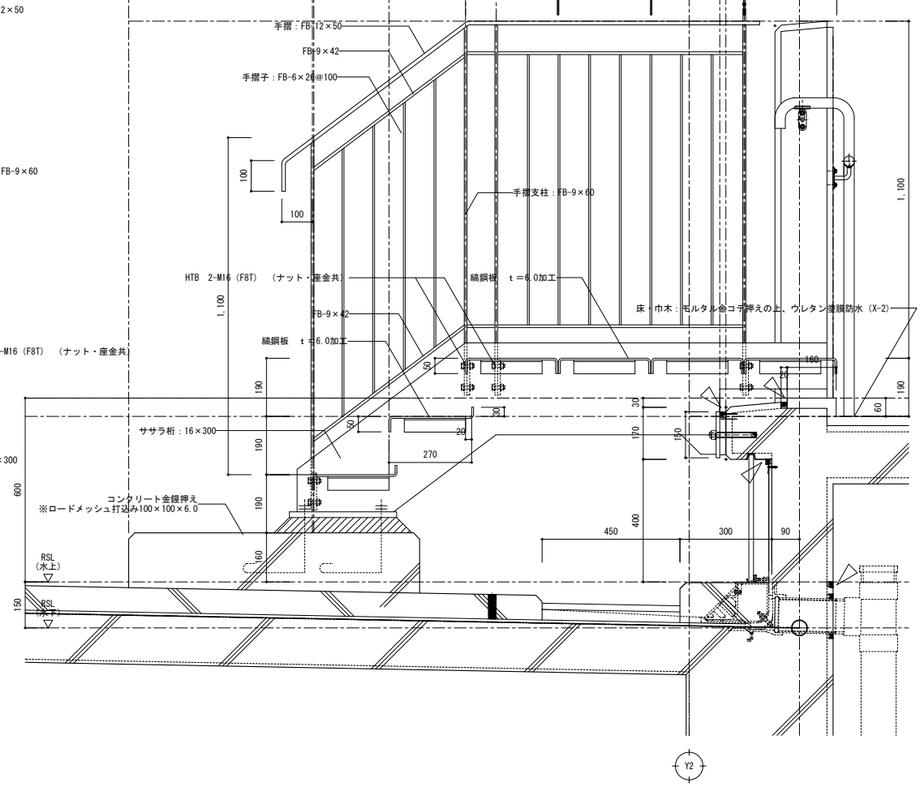


外０４　鉄骨階段　詳細図

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、鉄部は、Zn処理とする
　見え掛かり部分は、Znの上、DPとする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは8d（有効7ｄ）以上とする
　また、接着系アンカー全ネジボルト（先端45度カット）とし、　材質は、SS400同等以上とする



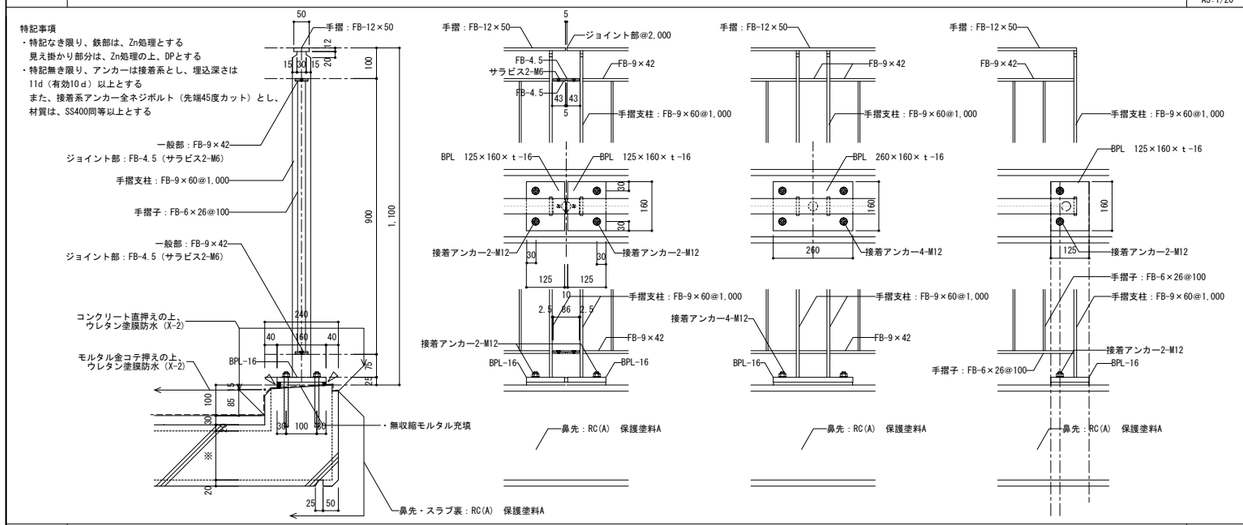


工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】　部分詳細図（外部1）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-425

外０５　階段手摺（スチール製）　詳細図

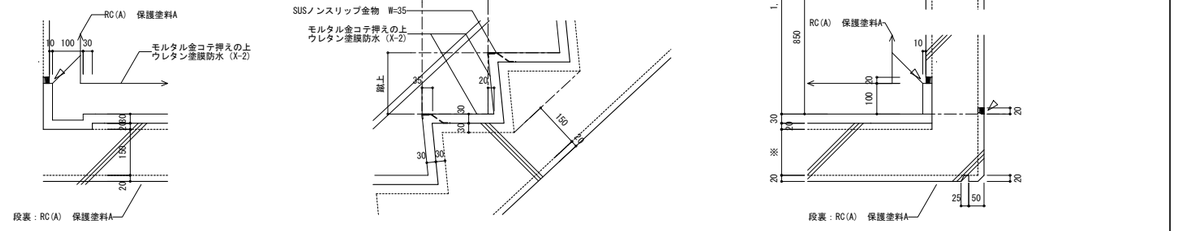
A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、鉄部は、Zn処理とする
　見え掛かり部分は、Zn処理の上、DPとする
・特記無き限り、アンカーは接着系とし、埋込深さは
　11d（有効10ｄ）以上とする
　また、接着系アンカー全ネジボルト（先端45度カット）とし、
　材質は、SS400同等以上とする



外０６　屋外階段　詳細図

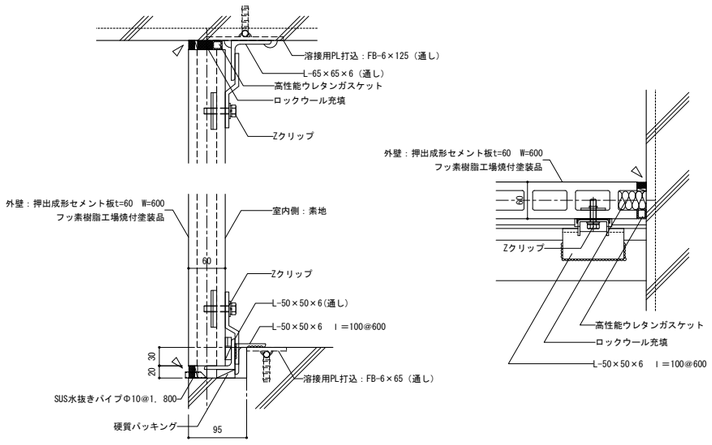
A1:1/10
A3:1/20



外０７　外壁：押出成形セメント板　詳細図

A1:1/5
A3:1/10

特記事項
・見え掛かり鉄部は、原則Zn処理とする

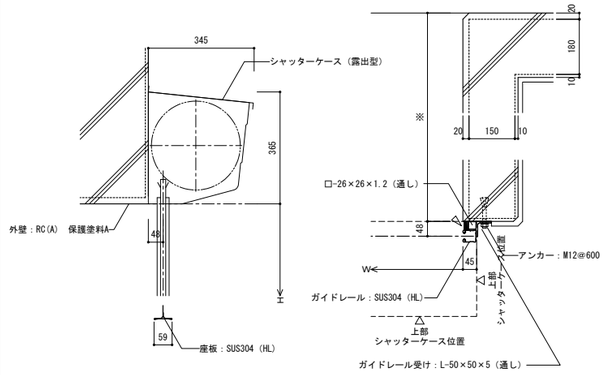


外０８　軽量バランスシャッター　詳細図

LS
*

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる
・見え掛かり鉄部は、錆止め塗装の上、Zn処理とする

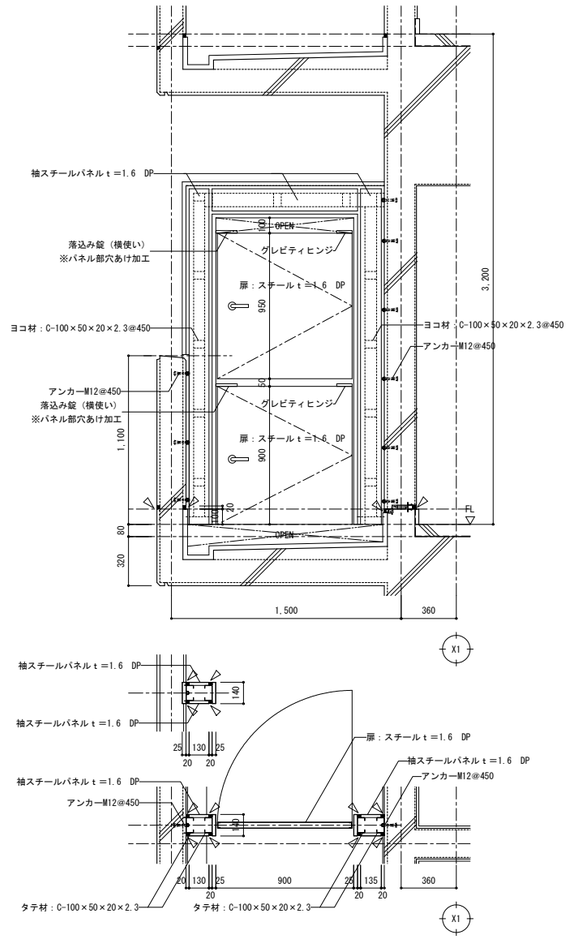


外０９　蹴破り想定扉　詳細図

SD
6

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる
・見え掛かり鉄部は、錆止め塗装の上、Zn処理とする

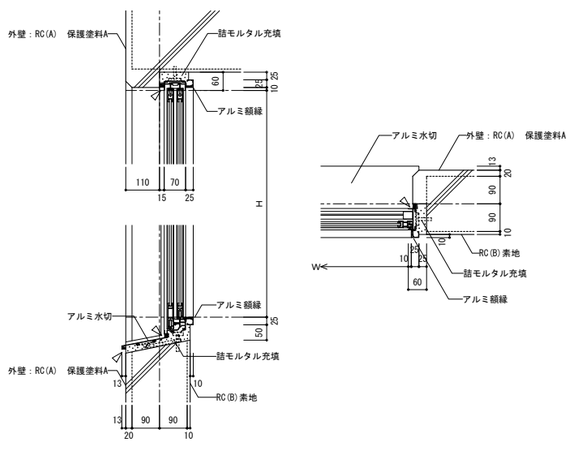


外１０　外部アルミサッシ　詳細図

AW
1

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる

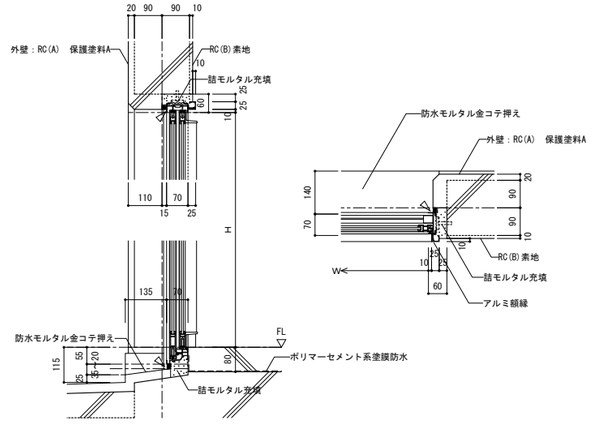


外１１　外部アルミサッシ（掃き出し窓）　詳細図

AW
2

A1:1/10
A3:1/20

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる

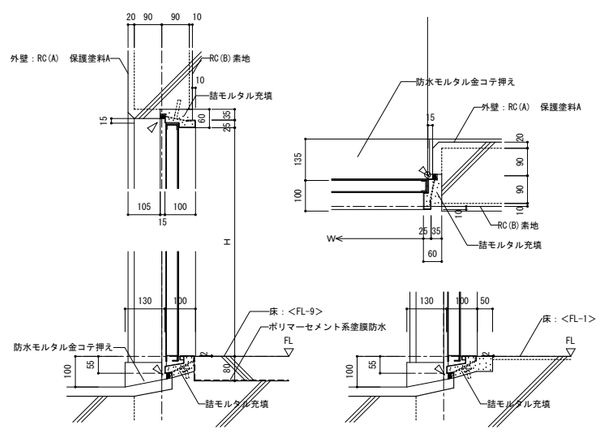


外１２　外部スチール扉　詳細図

SD
1

A1:1/10
A3:1/20

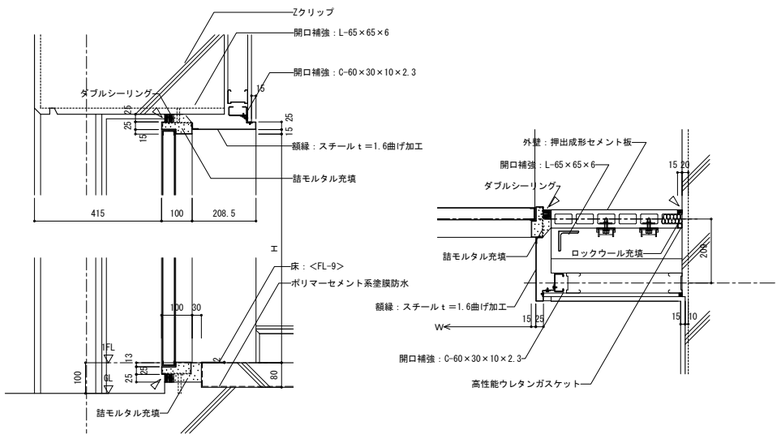
特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる



工事名			図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事			【訓練棟】　部分詳細図（外部2）		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺		図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記		A-426

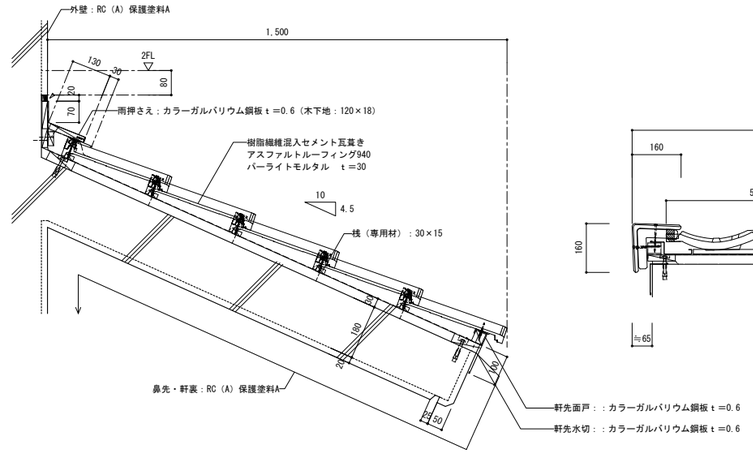
外１３　外部スチール扉　詳細図　SD 1A　A1:1/10 A3:1/20

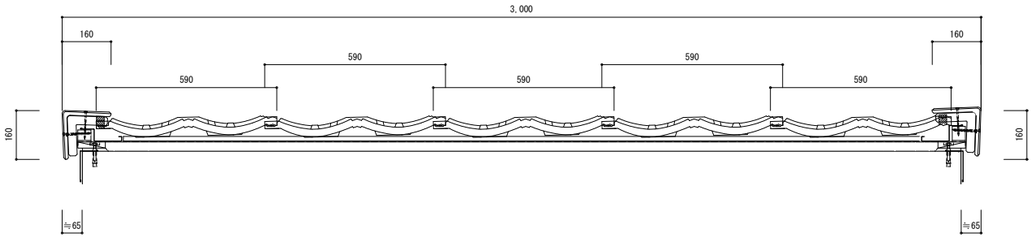
特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる



外１４　瓦屋根　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・Know株式会社　ROOGA（雅）同等品

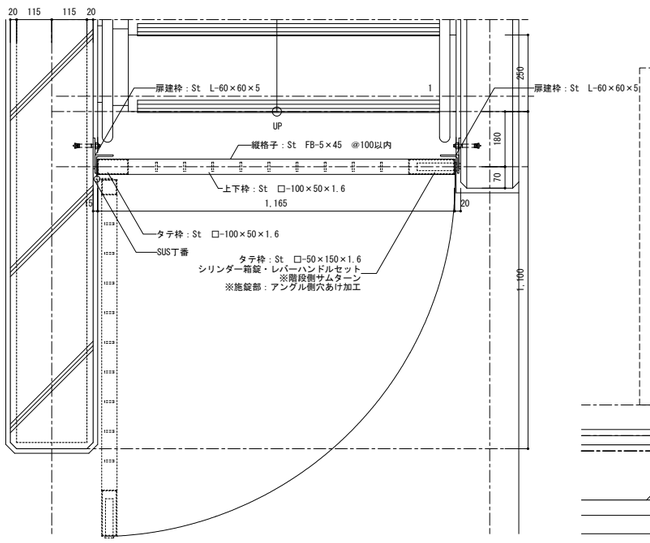




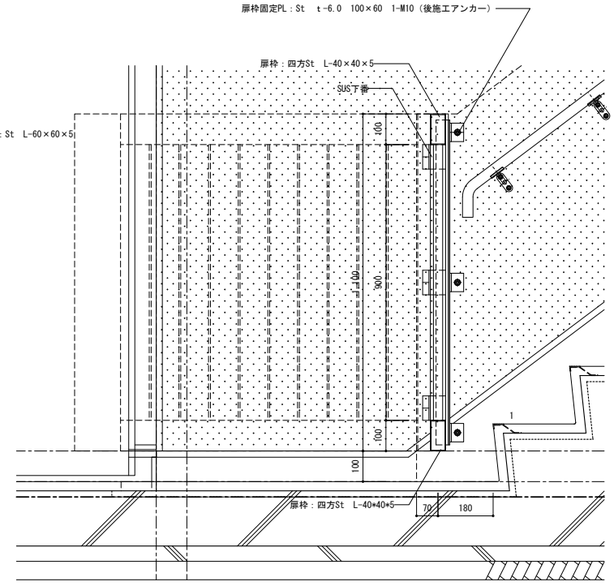
屋根材割付図 1/10

外15　外部階段管理用扉　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見え掛かり部分は、Zn処理の上、DP塗とする



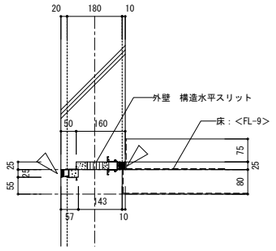
扉　平面詳細図 1/10



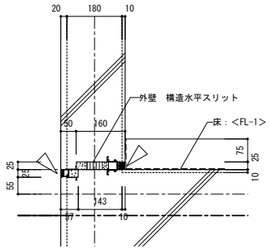
扉　断面詳細図 1/10

外16　外壁　構造水平スリット詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・岡部株式会社　スリットン（A2-F型）同等品



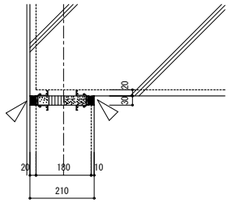
スリット断面詳細図 1/10



スリット断面詳細図 1/10

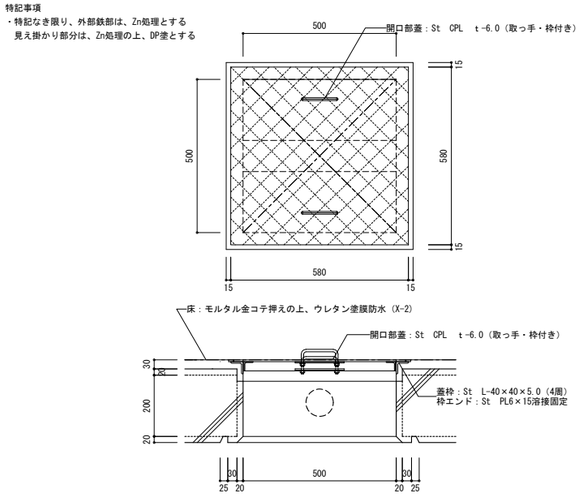
外17　外壁　構造垂直スリット詳細図用扉　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・内部垂直スリットは、岡部株式会社　スリットン（HM-RW型）同等品



外15　屋上　確保ロープ支持金物上部開口部蓋　詳細図　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・特記なき限り、外部鉄部は、Zn処理とする
　見え掛かり部分は、Zn処理の上、DP塗とする



工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】　部分詳細図（外部3）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-427

内０１　壁　リスト　　A1:1/5 A3:1/10

下地	凡例	仕　様	詳細番号	壁材の表面仕上材（下記の仕上以外は図示による）	特記番号
ＬＧＳ下地	<L-7-※>	ケイカル板ｔ＝12の上、各仕上	a	EP-G	(1) (2) (3)
	<L-8-※>	GB-S　ｔ＝12.5の上、化粧ケイカル板ｔ＝6　　※化粧ケイカル板は天井まで	b		(1) (2) (3)

特記事項

（１）　LGSスタッド間隔は、ボード二重張りの場合：@450、一重張りの場合：@300とする。

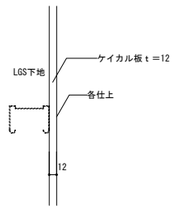
（２）　特記なき限り、LGS下地は、65型とする。

（３）　LGS下地及びボードの範囲は、次の仕分けとする。

<L-※-A>　__ボード及びLGS下地：梁下及びスラブ裏まで施工
<L-※-B>　__ボード：天井+100止め（間接照明内天井+100止め）　LGS下地：梁下及びスラブ裏まで施工
<L-※-C>　__ボード及びLGS下地：天井止メ

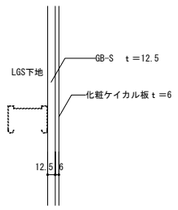
（４）　室内に面するコンクリート壁・柱・梁型は、特記なき限り、ＲＣ（Ｂ）素地（増し打ち10）とする。

a



平面

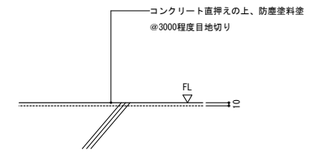
b



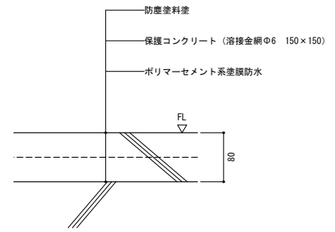
平面

内０２　床　リスト　　A1:1/5 A3:1/10

凡例：　<FL-1>

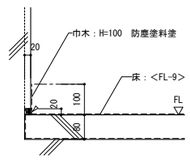


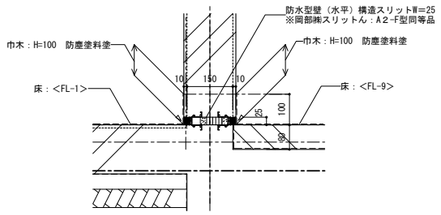
凡例：　<FL-9>

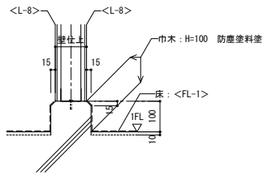


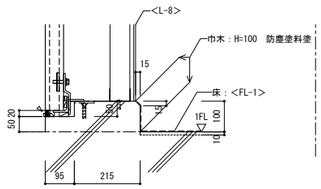
内０３　巾木・立上り　詳細図　　A1:1/10 A3:1/20

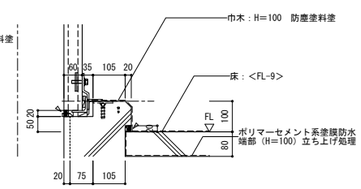
特記事項
・見え掛金物は、Zn処理とする。



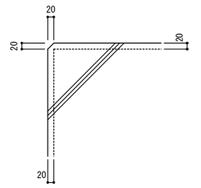




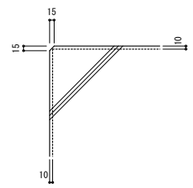




内０４　出隅面取　詳細図　　A1:1/10 A3:1/20



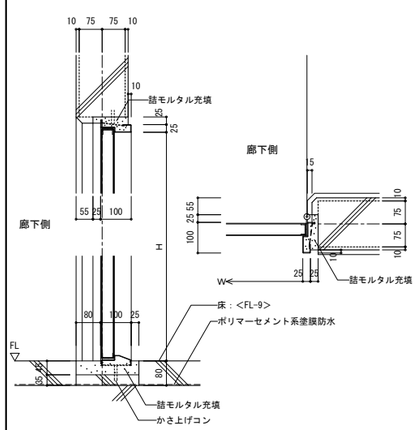
外部

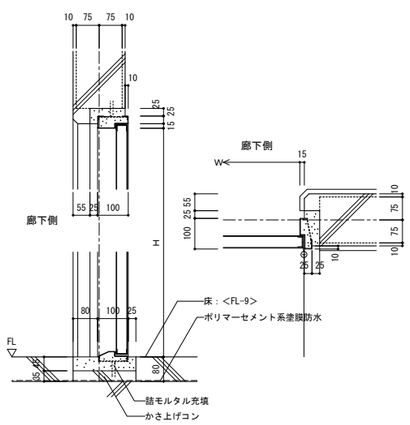


内部

内０５　内部スチール扉　詳細図　SD 4　　A1:1/10 A3:1/20

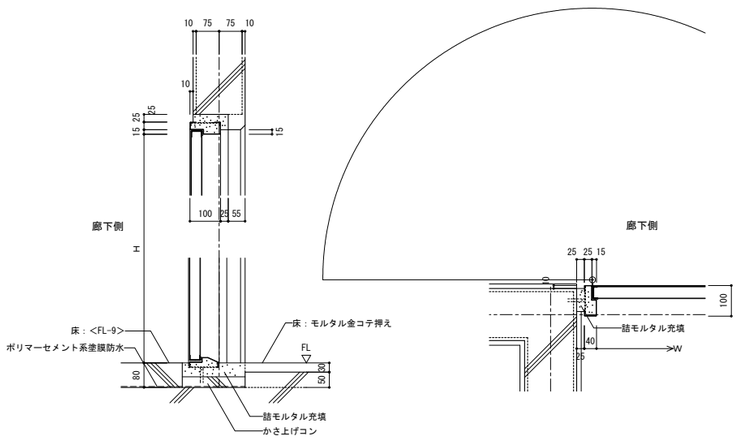
特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる





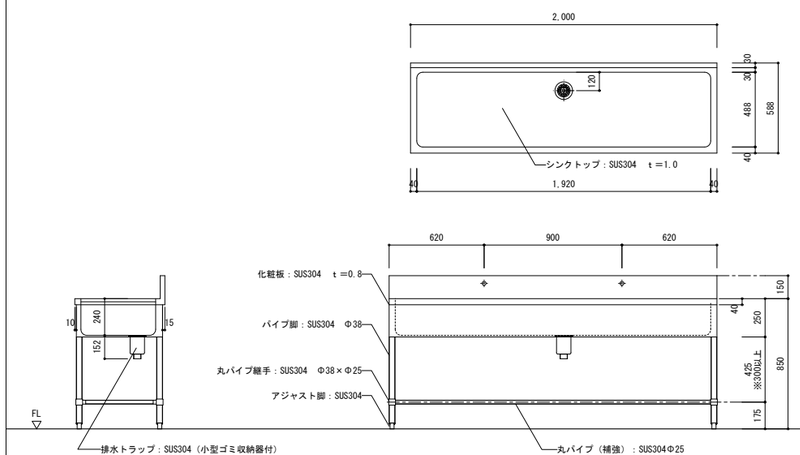
内０６　内部スチール扉　詳細図　SD 4A　　A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・建具の仕上は、該当する建具リストの内容に準ずる

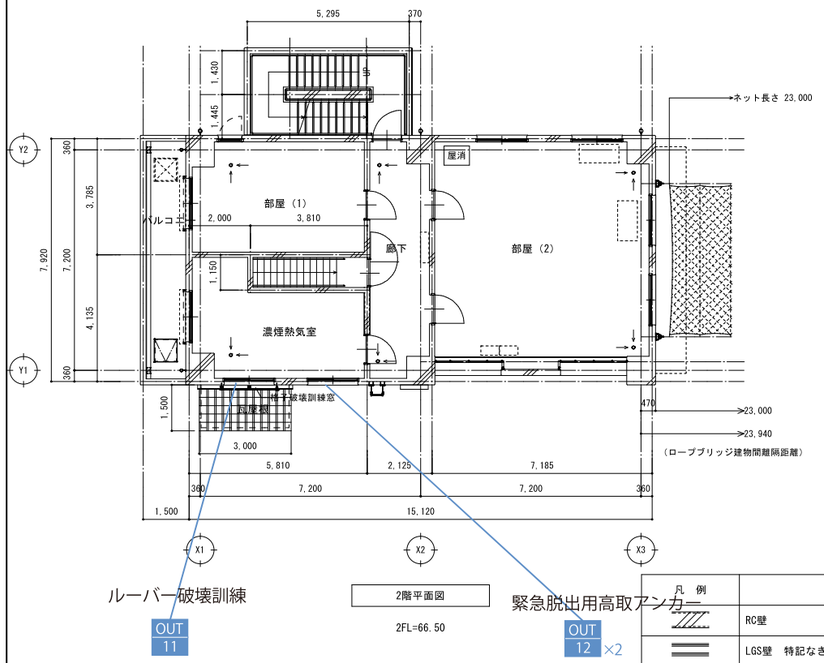


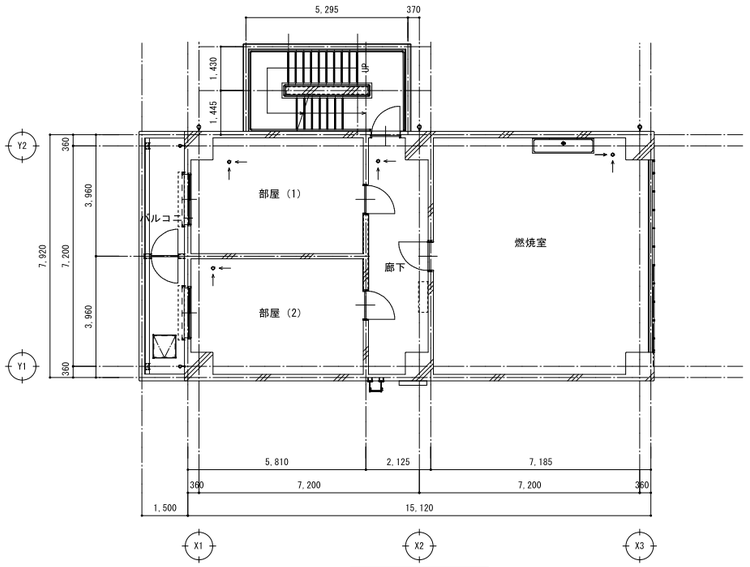
内０７　SUS一槽シンク　詳細図　　A1:1/20 A3:1/40

特記事項
ホーコス株式会社　同等品
仕様
1. 材質：SUS304
2. 仕上：HL（シンクトップ・化粧板）
3. オーバーフロー無し
4. 丸パイプ補強：3辺補強（正面無し）
5. すのこ：無し
6. 排水トラップ目皿SUS製
7. 接続配管：塩ビパイプ（アダプターのみ付属）
8. ジャバラホース（塩ビ）：無し



工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】　部分詳細図（内部１）	2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック　管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:各記 A3:各記 / 図面番号：A-428





4階平面図

4FL=73. 50

ルーバー破壊訓練

OUT 11

2階平面図

2FL=66. 50

緊急脱出用高取アンカー

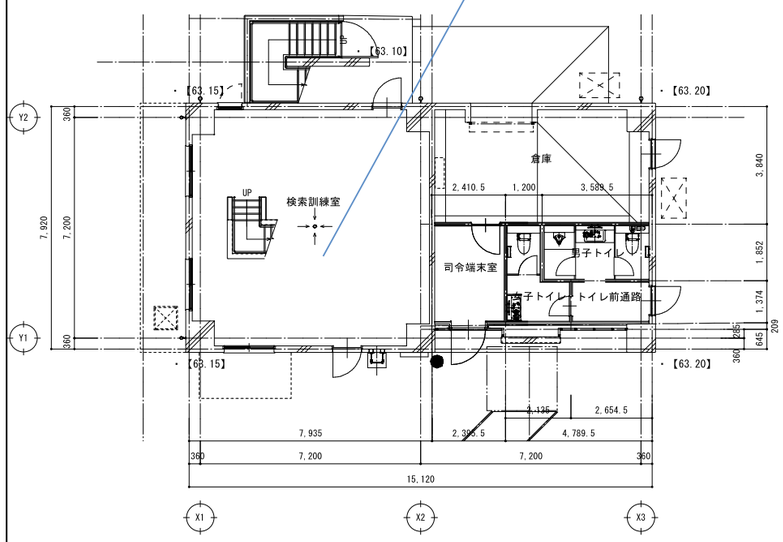
OUT 12 ×2

凡　例	仕　様
	RC壁
	LGS壁　特記なき限り65型
	押出成形セメント板t=60　縦張り
【63. **】	特記以外の床レベルを示す
屋消	屋内消火栓（消火器併用）：設備工事
消	消火器BOX(床置型)　※消火器：建築工事

番号	消防訓練金物名称	取付	合計	訓練棟1階	訓練棟2階	訓練棟3階	訓練棟屋上階
IN 06	着脱間仕切り	［壁付］	1	1	-	-	
IN 07	ドア切断訓練施設	［壁付］	1	-	-	1	
IN 08	強制ドア開放	［壁付］	1	-	-	1	
IN 09	ロープブリッジ救助係留支点	［梁付］	1	-	-	1	
IN 10	ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物	［床付］	1	-	-	1	
IN 11	やぐら	［床 付］	1	-	-	1	
IN 12	訓練ロープ保護金物	［床付］	1	-	-	1	
IN 13	ハイラインアンカー	［壁付］	1	-	-	1	
OUT 11	ルーバー破壊訓練	［壁付］	1	-	1	-	-
OUT 12	緊急脱出用高取アンカー	［壁付］	2	-	2	-	-
OUT 13	引揚救助降下板	［壁付］	1	-	-	1	-
OUT 14	ロープブリッジ救助用自己確保支点	［壁付］	2	-	-	2	-
OUT 15	ロープ応用登はん板	［壁付］	1	-	-	-	1
OUT 16	アルミ梯子	［壁付］	1	-	-	-	1
OUT 17	降下床アンカー	［床付］	3	-	-	-	3

着脱間仕切り

IN 06



1階平面図

1FL=63. 30

※建物周囲造成仕上レベル：特記なき限り、63. 15とする。

ドア切断訓練施設

IN 07

ハイラインアンカー

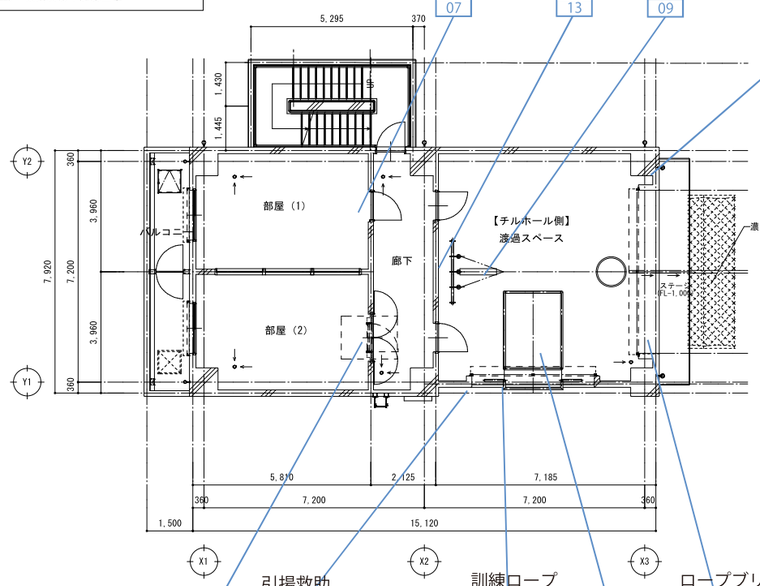
IN 13

ロープブリッジ救助係留支点

IN 09

ロープブリッジ救助ロープ自己確保支点

OUT 14 ×2



強制ドア解放

IN 08

引揚救助降下板

OUT 13

3階平面図

3FL=70. 30

訓練ロープ保護金物

IN 12

やぐら

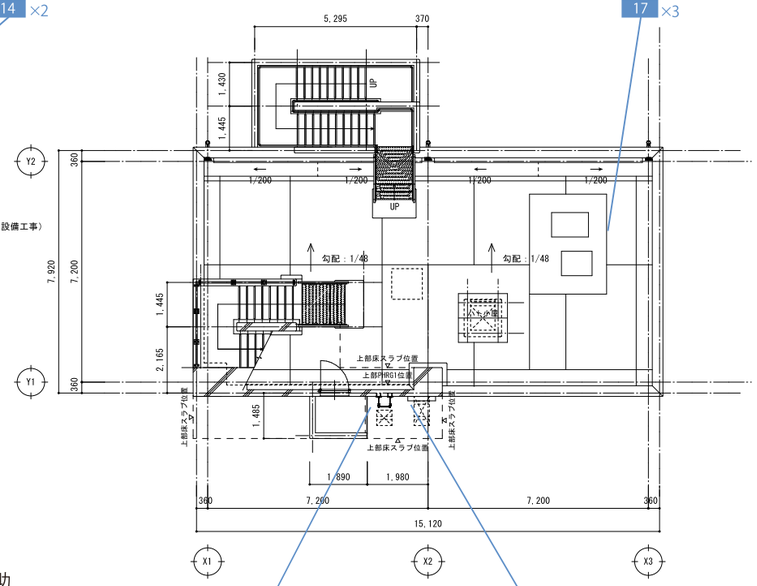
IN 11

ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物

IN 10

降下床アンカー

OUT 17 ×3



アルミ梯子

OUT 16

屋上　平面図

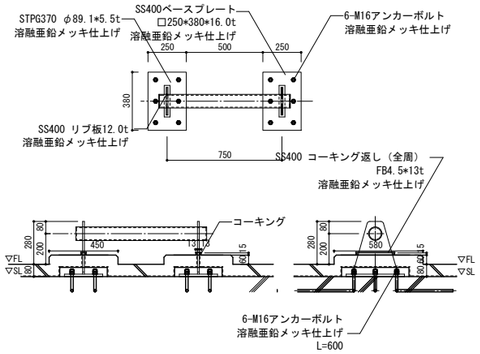
ロープ応用登はん板

OUT 15

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】　平面図		2022/06
NEOJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名　小田　文武	設計者名　安川　雅巳	縮尺　A1:1/100　A3:1/200	図面番号　A-402

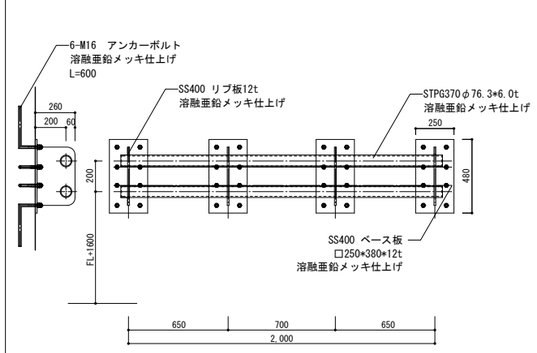
OUT 17　降下床アンカー　個数：3　A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN

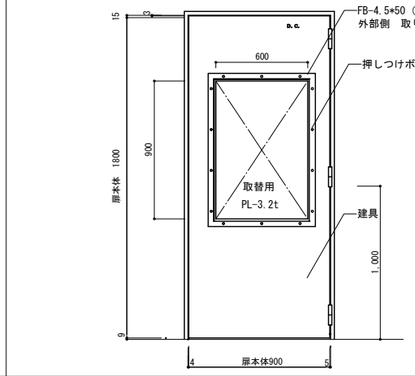


IN 13　ハイラインアンカー　個数：1　A1:1/20 A3:1/40

運用最大荷重：20KN

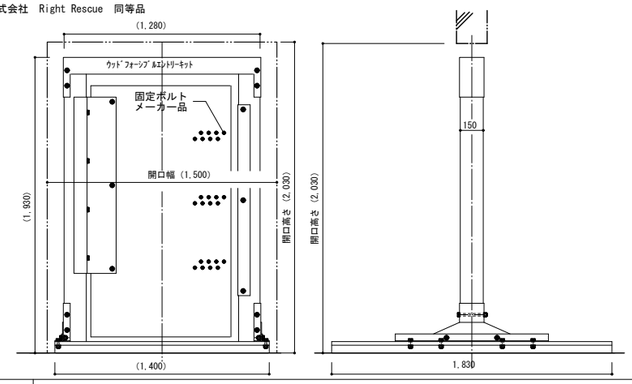


IN 07　ドア切断訓練施設　個数：1　A1:1/20 A3:1/40

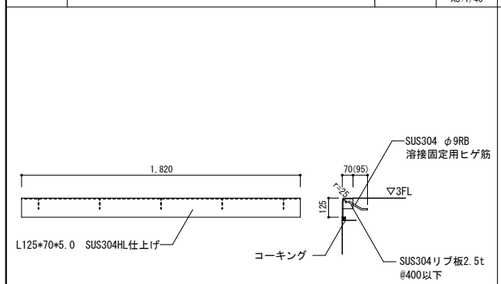


IN 08　強制ドア開放　個数：1　A1:1/20 A3:1/40

株式会社　Right Rescue　同等品

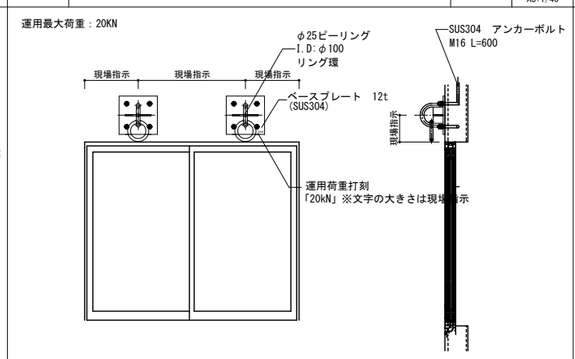


IN 12　訓練ロープ保護金物　個数：1　A1:1/20 A3:1/40

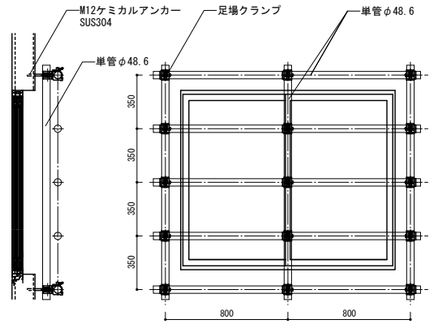


OUT 12　緊急脱出用高取アンカー　個数：2　A1:1/20 A3:1/40

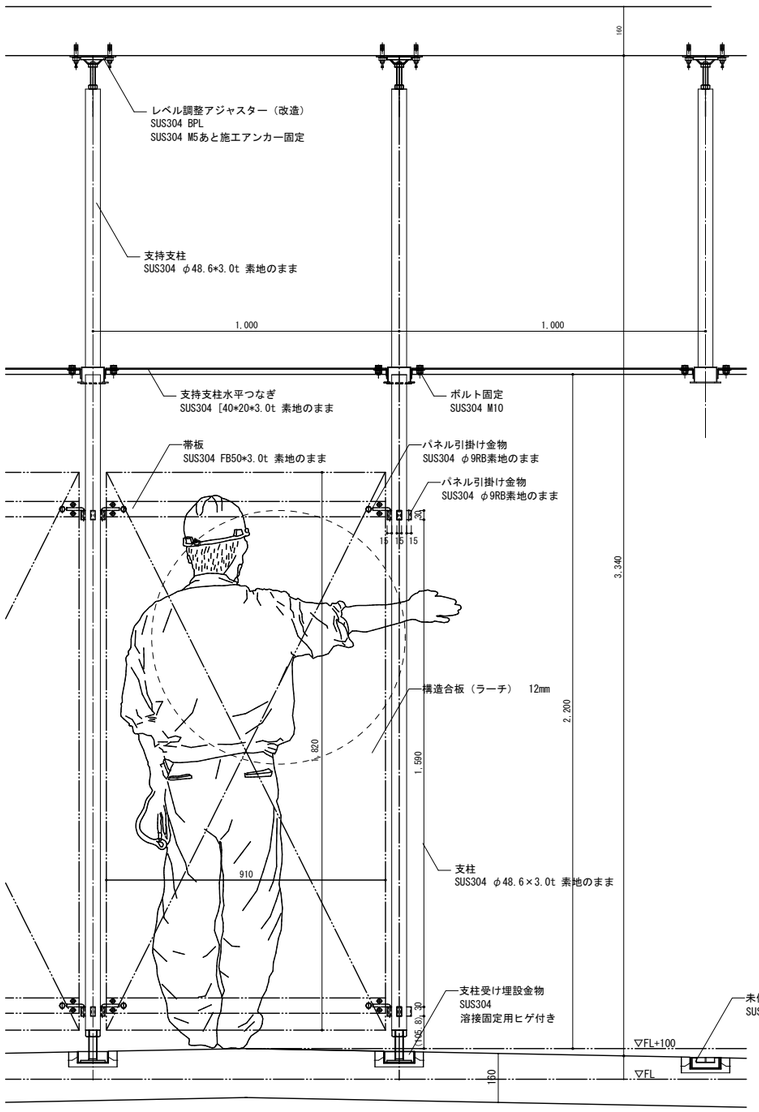
運用最大荷重：20KN



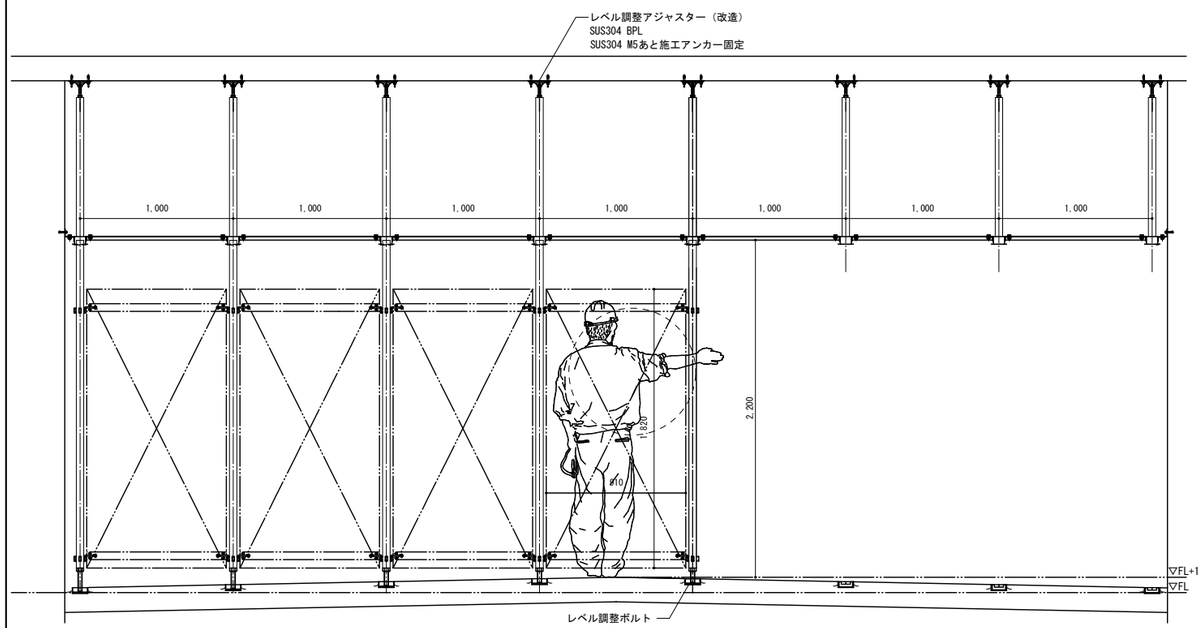
OUT 11　ルーバー破壊訓練　個数：1　A1:1/20 A3:1/40



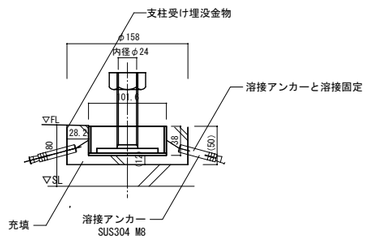
IN 06　居室着脱間仕切り　個数：1　A1:1/20 A3:1/40



IN 06　居室着脱間仕切り　個数：1　A1:1/20 A3:1/40



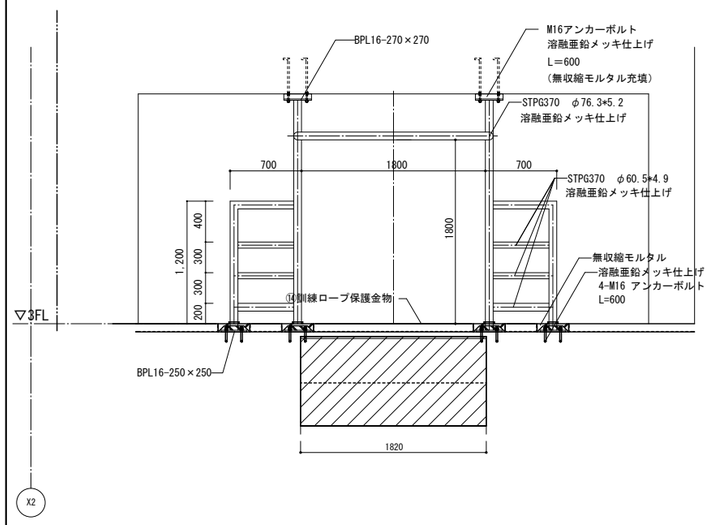
足元拡大図

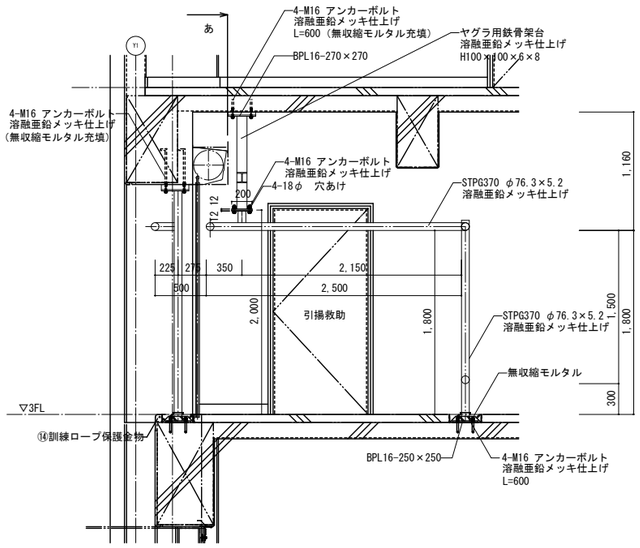


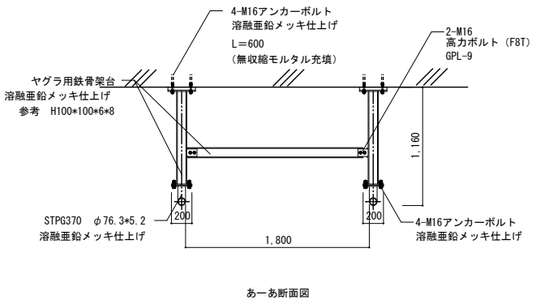
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】 消防訓練金物図（１）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1：各記 A3：各記	図面番号 A-430

IN 11　やぐら　断面図

個数：1　A1:1/30　A3:1/60





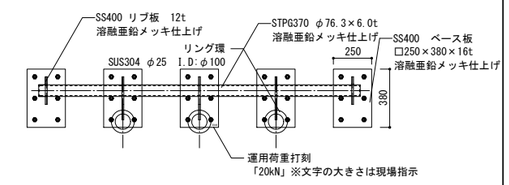


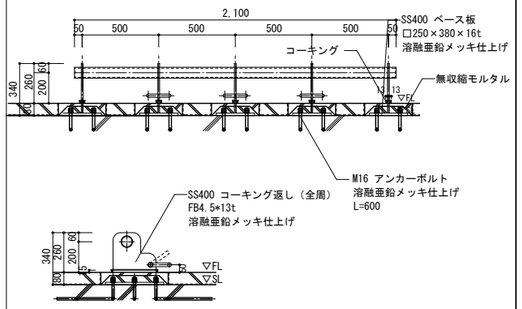
あーあ断面図

IN 09　ロープブリッジ救助係留支点

個数：1　A1:1/20　A3:1/40

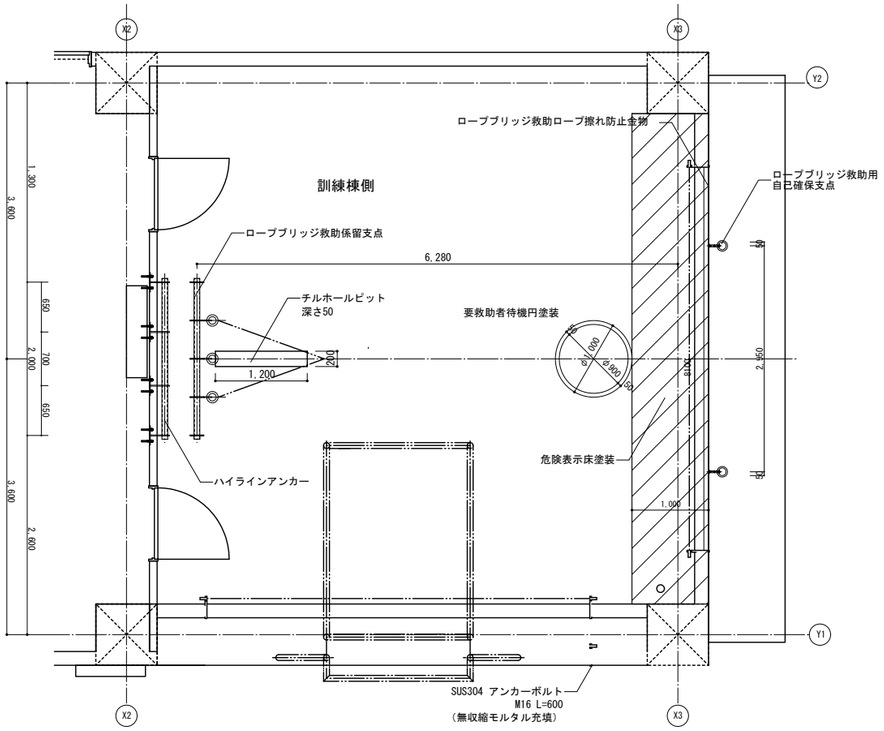
運用最大荷重：20KN





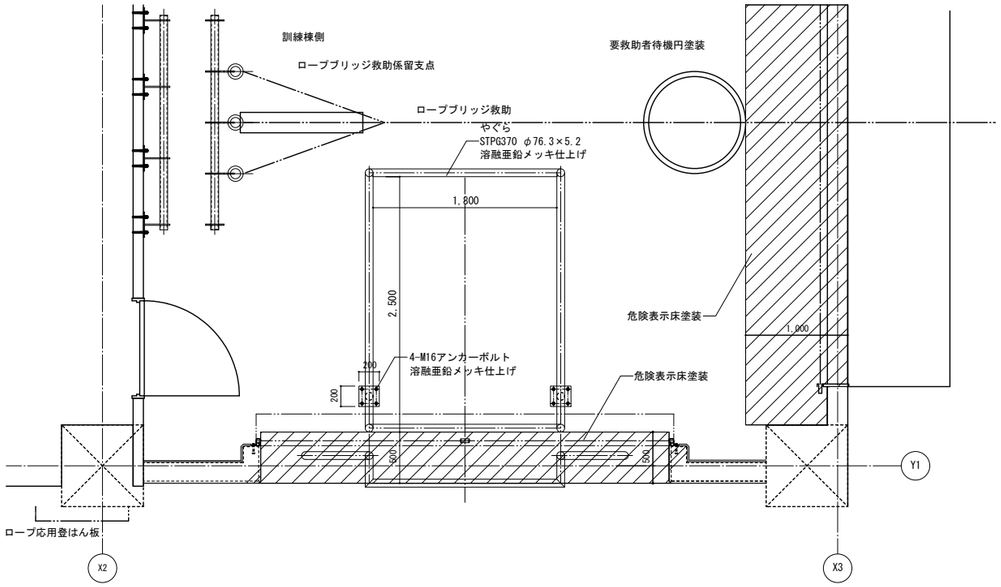
IN 09　ロープブリッジ救助係留支点平面図

-　A1:1/40　A3:1/80



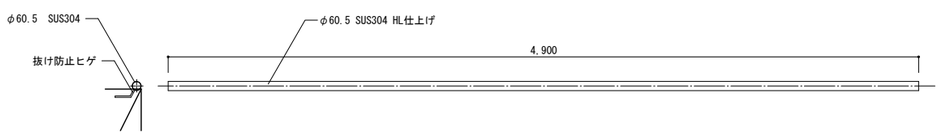
IN 11　やぐら　平面図

-　A1:1/30　A3:1/60



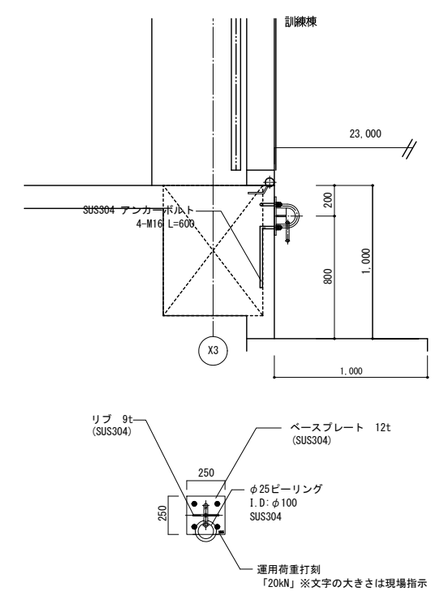
IN 10　ロープブリッジ救助ロープ擦れ防止金物

個数：1　A1:1/20　A3:1/40



OUT 14　ロープブリッジ救助用自己確保支点

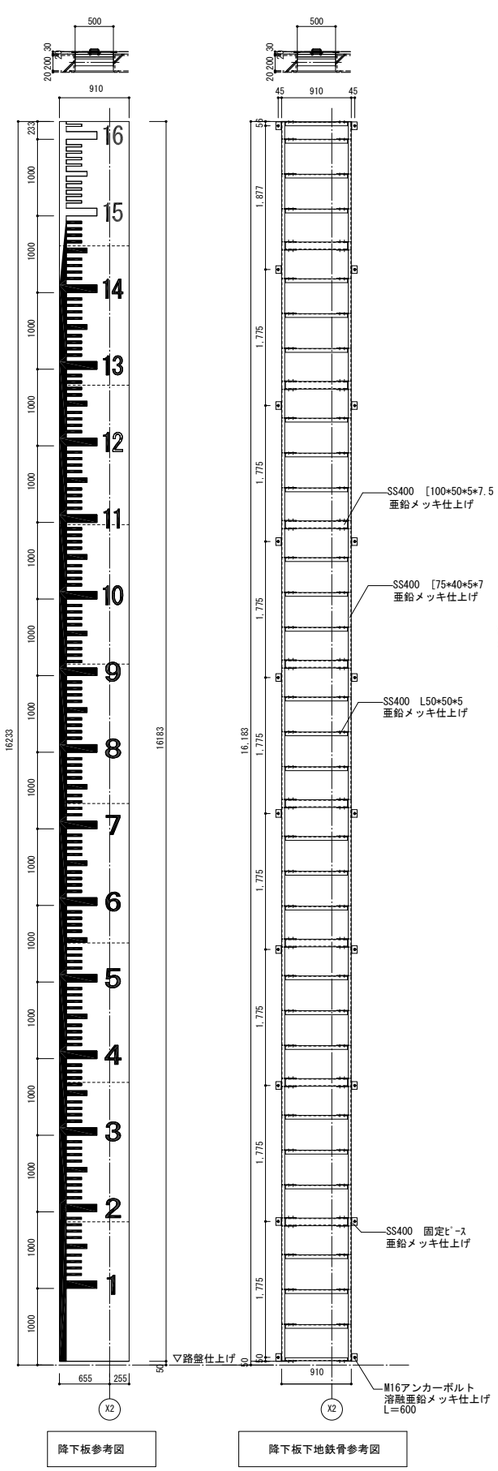
個数：2　A1:1/20　A3:1/40



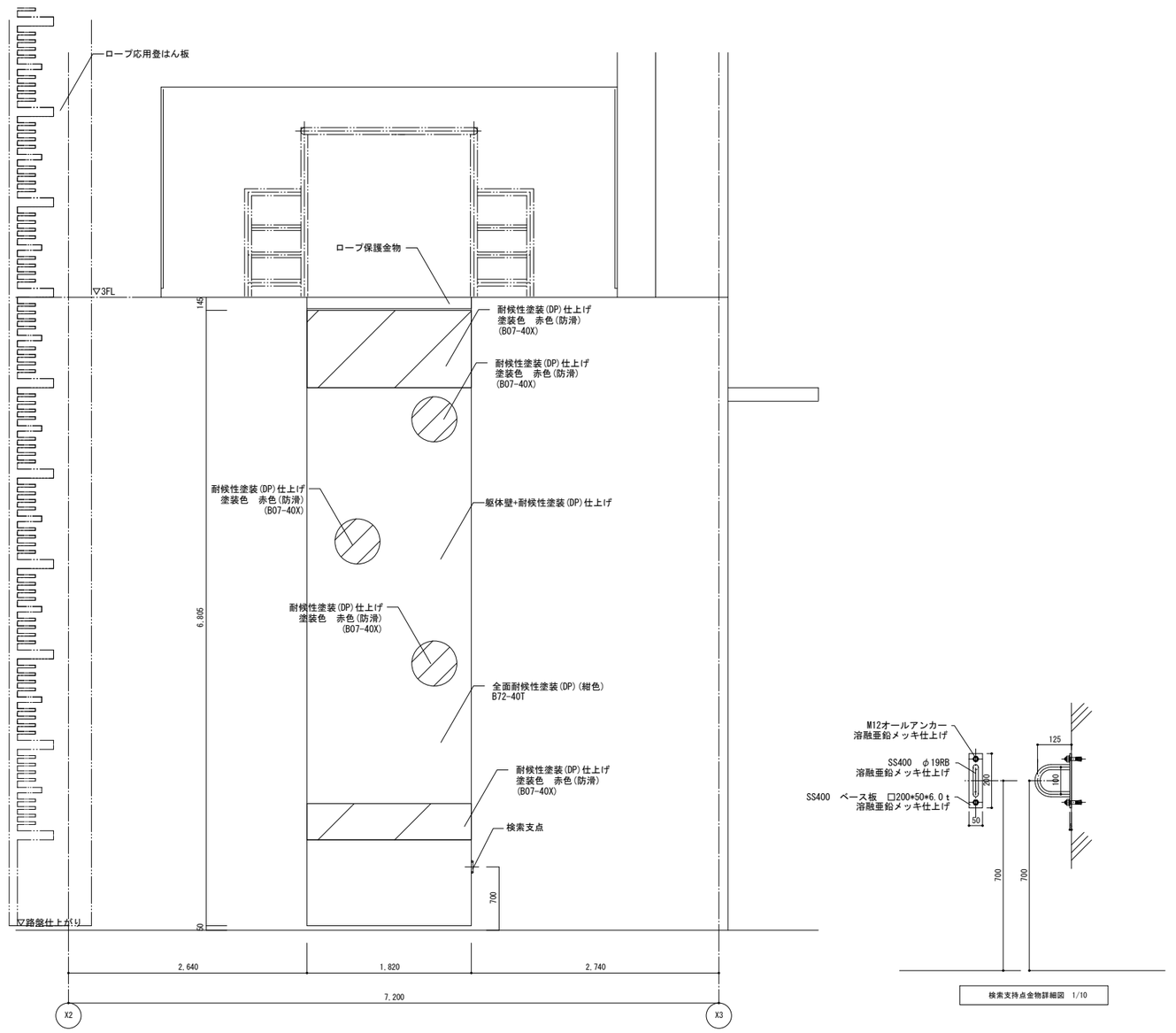
***	***	***	A1:*** A3:***

工事名		図面の名称			作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】　消防訓練金物図（２）			2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名		縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳		A1:各記 A3:各記	A-431

OUT 15	ロープ応用登はん板	個数：1	A1：1/20 A3：1/40



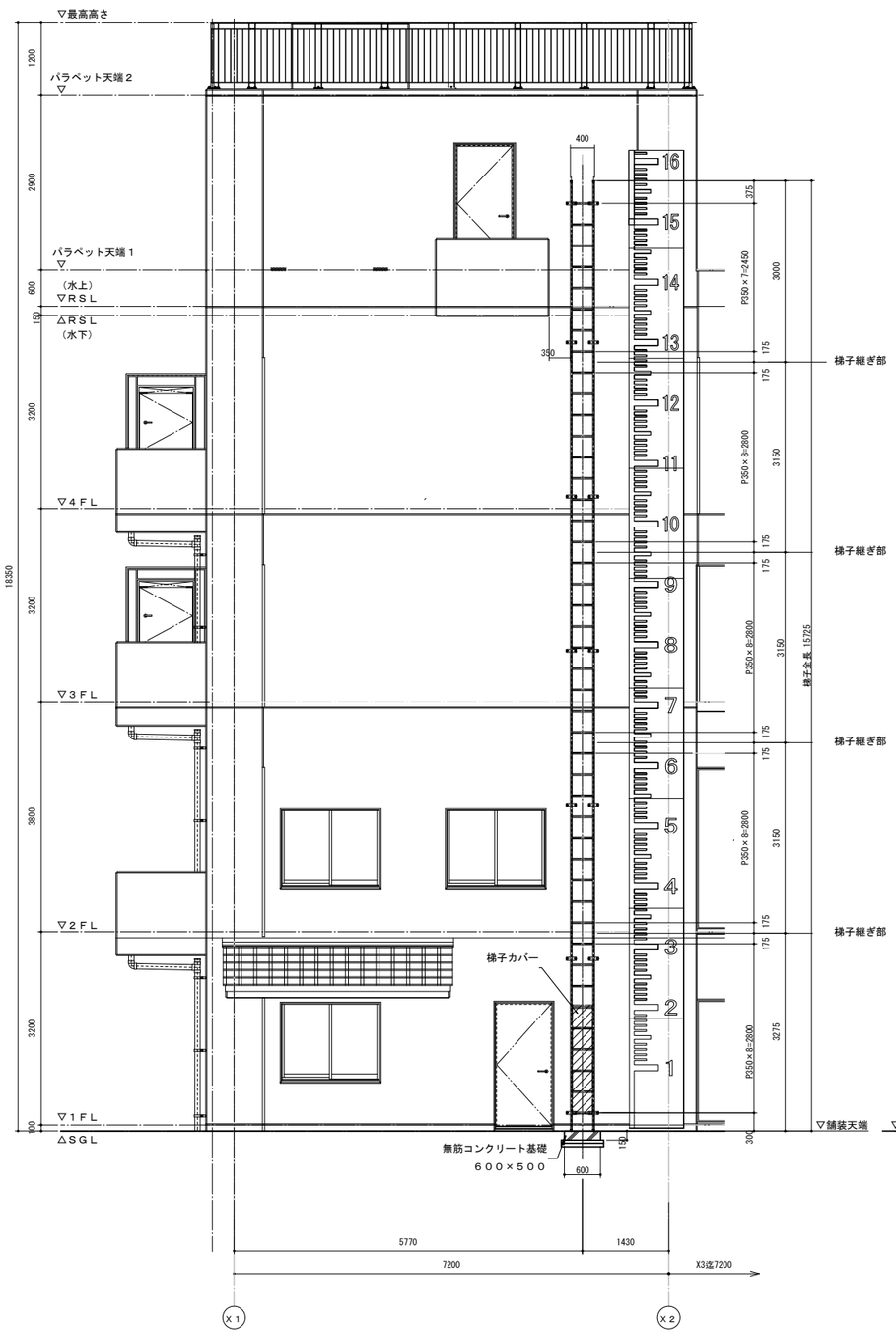
OUT 13	引揚救助降下板	個数：1	A1：1/10 A3：1/20



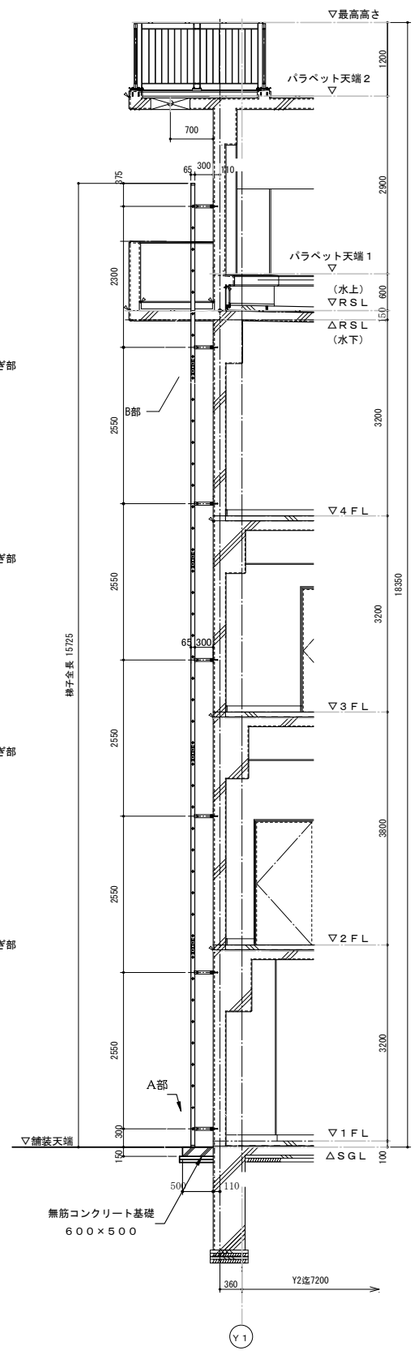
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【訓練棟】 消防訓練金物図（３）	2023/03

	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEOJEC 株式会社ニュージェック	小田 文武	安川 雅巳	A1：各記 A3：各記	A-432

OUT 16	梯子登はん訓練用アルミ梯子組立及び詳細図	個数：1	A1：1/10 A3：1/20



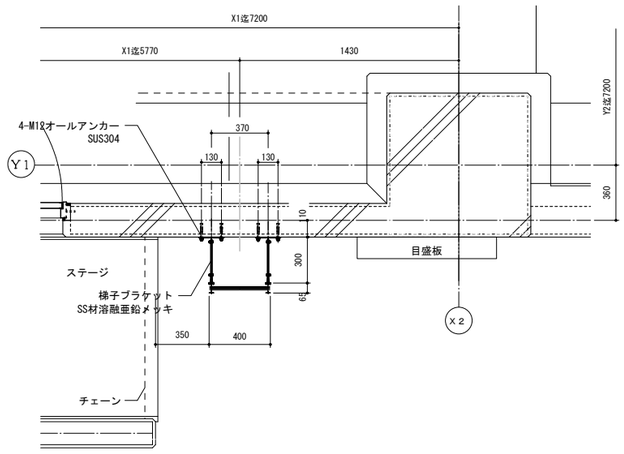
正 面 図



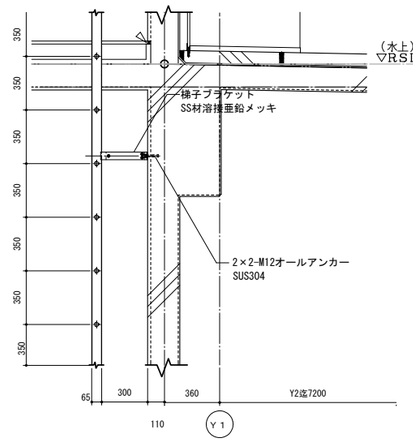
側 面 図

梯子登はん訓練用

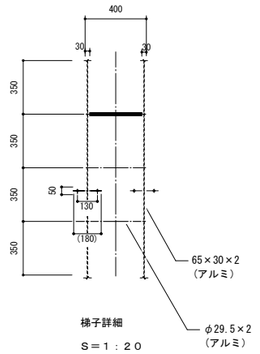
アルミ梯子　組立図及び詳細図　　Ｓ＝１：５０



Ｂ部ー平面詳細図　　Ｓ＝１：２０

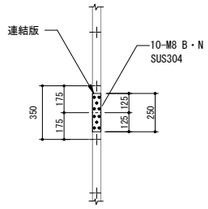


Ｂ部ー断面詳細図　　Ｓ＝１：２０



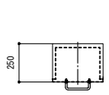
梯子詳細

Ｓ＝１：２０



梯子継ぎ部詳細

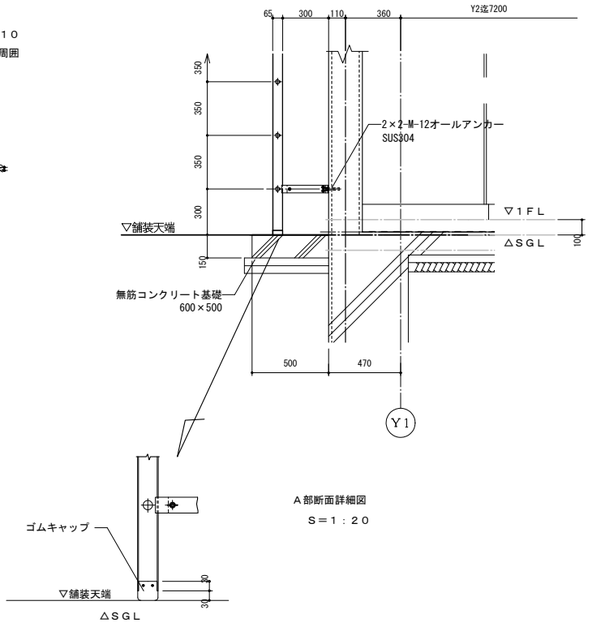
Ｓ＝１：２０



矢視Ｘ　Ｓ＝１：１０
天板折り曲げ部周囲

梯子カバー詳細

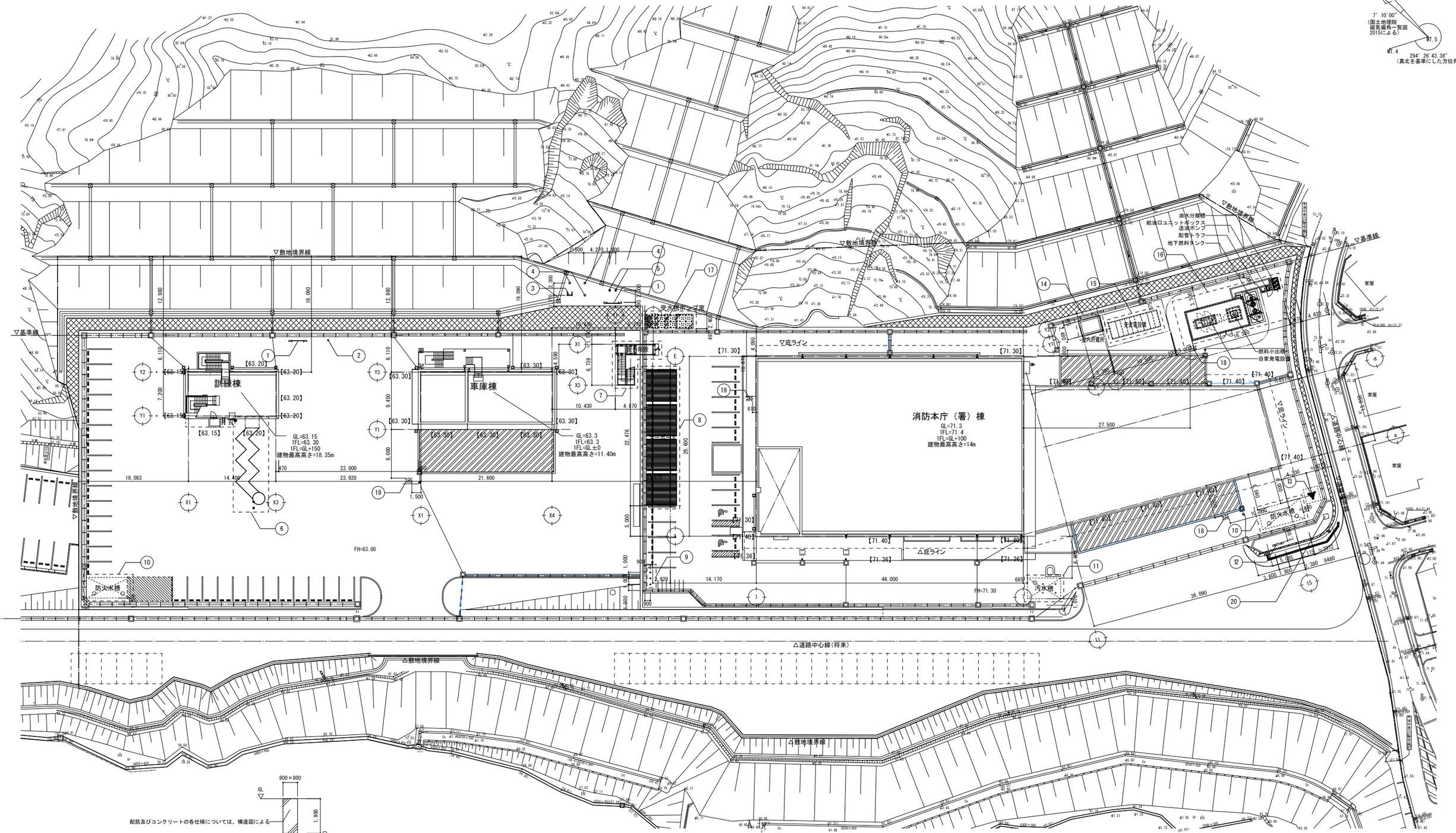
Ｓ＝１：２０



Ａ部断面詳細図

Ｓ＝１：２０

工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【訓練棟】 消防訓練金物図（４）		2023/03
	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
NEWJEC 株式会社ニュージェック	小田　文武	安川　雅巳	A1：各記 A3：各記	A-433



消防出動表示板基礎　詳細図　A1：1/100　A3：1/200

外構配置図

凡例	仕　様	詳細番号	凡例	仕　様	詳細番号	凡例	仕　様	詳細番号	凡例	仕　様	詳細番号	凡例	仕　様	詳細番号	特記事項
①	着脱式ガードレール	外構０３	⑥	引揚救助検索通路・検索通路可倒式ポール・アンカーパイプ 確保専用ロープ支持金物・斜めブリッジ地上金物	外構０１	⑪	汚水槽（土木工事）	—	⑯	自家発電設備・燃料小出槽（設備工事）　基礎：建築工事	外構０９	⑰	受水槽ポンプ室（設備工事）　基礎：建築工事	外構１５	
②	想定電柱	外構０８	⑦	屋外階段　※屋外階段詳細図（1）（2）参照	※	⑫	屋外掲示板	外構１６		配管トラフ	外構１１	⑱	オイルトラップ	外構１７	
③	傾斜地訓練施設　管状支点	外構０５	⑧	カーポート　※カーポート詳細図参照	※	⑬	懸垂幕	外構０７		地下燃料タンク（設備工事）　躯体：建築工事	外構１０	⑲	グリーストラップ	外構１８	
④	傾斜訓練施設　想定立ち木	外構０２	⑨	掲揚ポール	外構０６	⑭	屋内貯蔵所　※屋内貯蔵所詳細図参照	※		給油口ユニットボックス・送油ポンプ（設備工事）基礎：建築工事 危険物看板（屋外自立型）：建築工事	外構１２	⑳	消防出動表示板（設備工事）　基礎：建築工事	—	
⑤	傾斜訓練施設　床アンカー	外構０４	⑩	防火水槽（土木工事）	—	⑮	受変電設備（設備工事）　基礎：建築工事	外構１４		油水分離槽	外構１３	【63.30】	計画地盤面（仕上面）レベルを示す		

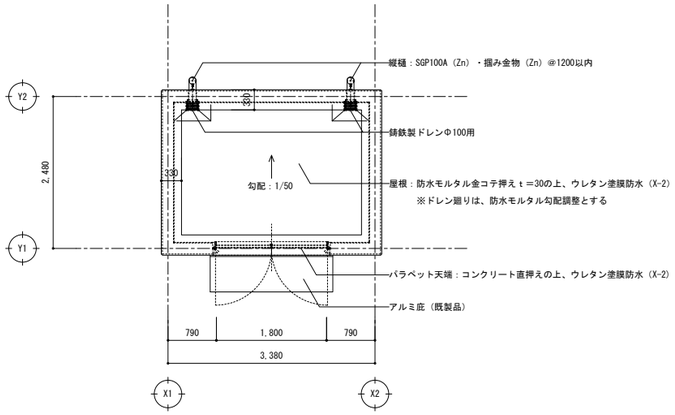
アスファルト舗装範囲については、遮熱性舗装コートとする。

【※】：造成仕上レベルを示す

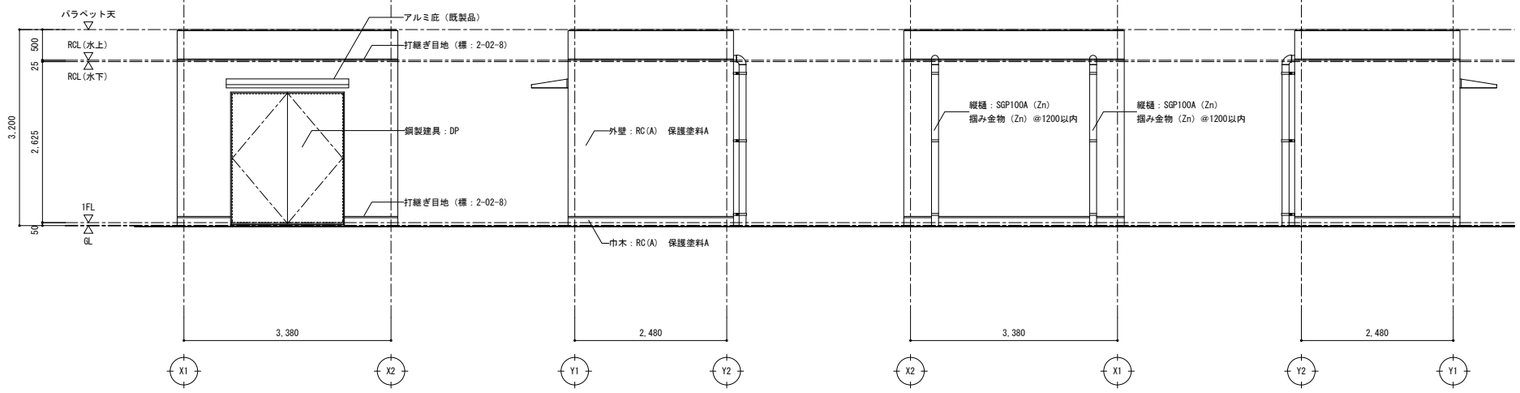
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　外構配置図	2023/03

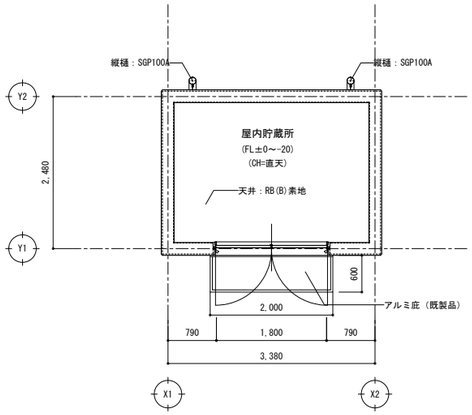
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1：1/300 A3：1/600	A-501



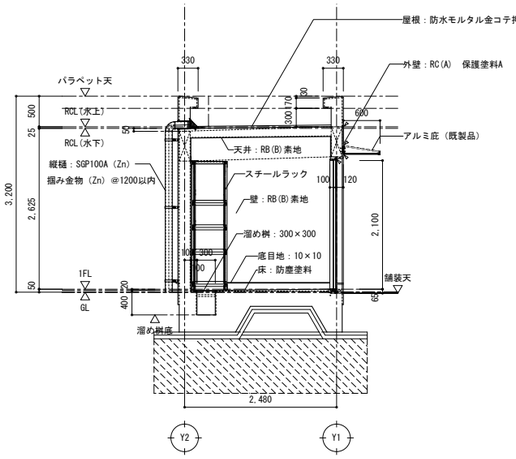
屋根伏図



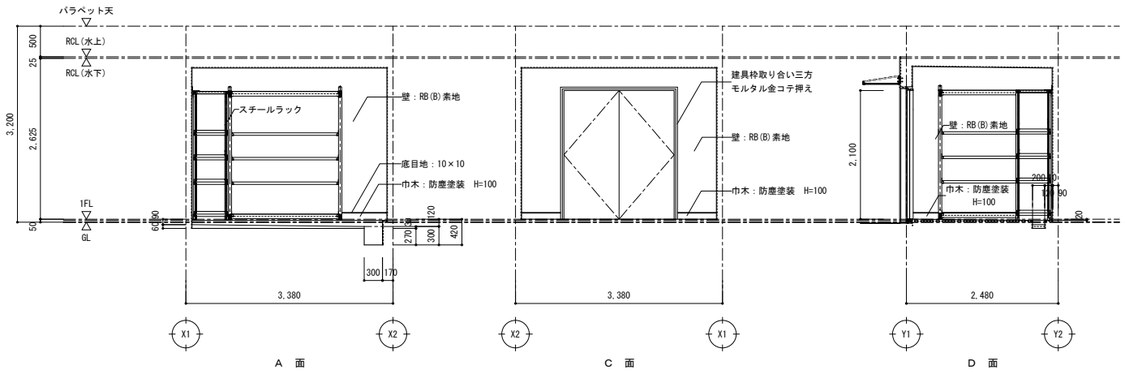
南面　立面図　／　東面　立面図　／　北面　立面図　／　西面　立面図



天井伏図

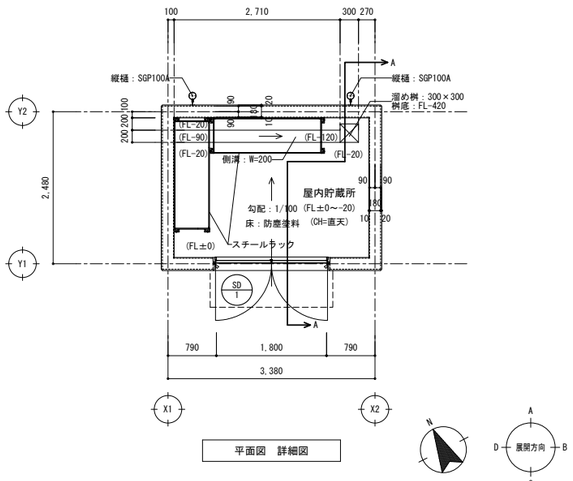


A-A　断面詳細図　　（展開図 B面）



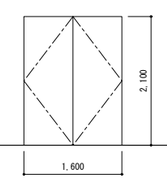
A　面　／　C　面　／　D　面

展開図



平面図　詳細図

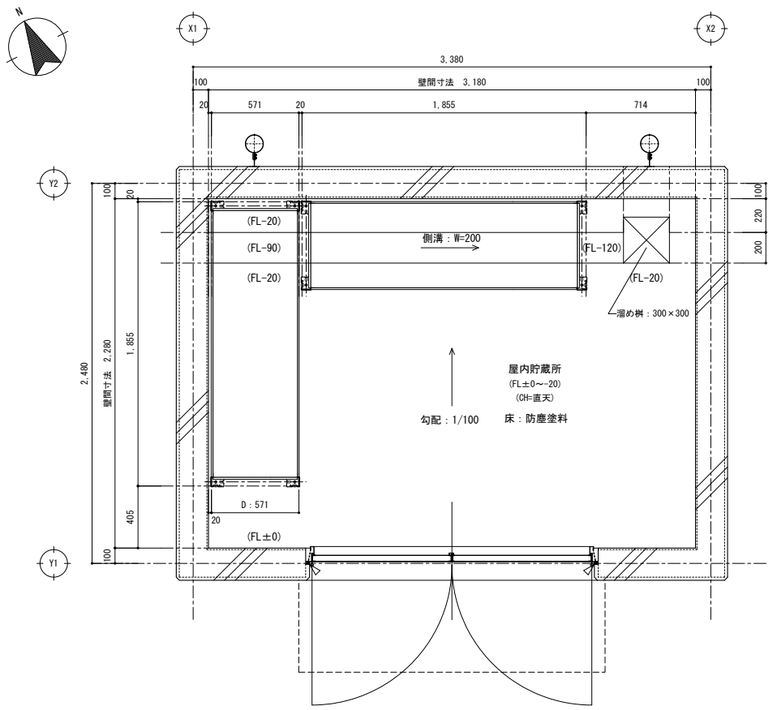
外部仕上表	
外壁	RC(A)　保護塗料A
腰	RC(A)　保護塗料A
屋根	防水モルタル金コテ押えｔ＝30の上、ウレタン塗膜防水（X-2）　※立上り共
パラペット	天端：コンクリート直押えの上、ウレタン塗膜防水（X-2）
内部仕上表	
床	コンクリート直押え（増打ちｔ＝10～30）の上、防塵塗料　側溝：W=200　モルタル勾配調整の上、防塵塗料　溜め桝：300×300　防塵塗料
巾木	防塵塗料　H=100　※目地上端まで施工
壁	RB(B)素地
天井	RB(B)素地
その他	
縦樋・ドレン	縦樋：SGP100A（Zn）　掴み金物（Zn）@1200以内　ドレン：鋳鉄製Φ100用
庇	アルミ製（既製品）　RC壁用アンカー：両端@150　それ以外@500以内　株式会社共和　AF95同等品
扉	鋼製　両開きフラッシュ扉 DP　※枠内はすべて詰モルタル充填とする
打ち継ぎ目地	20×20　（標）2-02-8に準ずる

記号・数量	SD 1　1か所
名称	鋼製　両開きフラッシュ扉
R-O-S	O
仕上	DP
建具 枠見込・ガラリ	100
建具 ガラス（）内ランマ	－
建具 金物 FH・DC・LH HC・その他	DC（固定）、丁番・フランス落とし、付属金物一式
防火戸の種類	特定防火設備（自閉式）告示1369号
備考・窓廻り種別	枠・くつずり（標4-42-3）に準ずる
性能等級	－
形状 寸法 「標準型建具の場合（4-01-1）の形状番号を明記」	

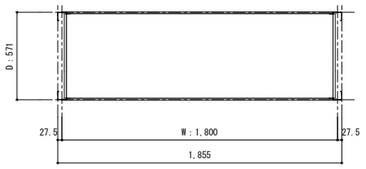
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　屋内貯蔵所　詳細図		2023/03
NEXJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名：小田　文武	設計者名：安川　雅巳	縮尺：A1:1/50 A3:1/100	図面番号：A-502

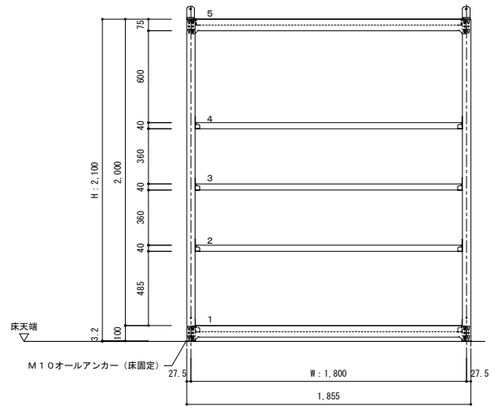
中量ラック			
荷　重	３００ｋｇ／段		
塗　装			
室　名	寸　法	段　数	台　数
屋内貯蔵室	Ｗ１８００×Ｄ５７１×Ｈ２１００	天地５段	基本 ２台
		※段ピッチ　２５mm	



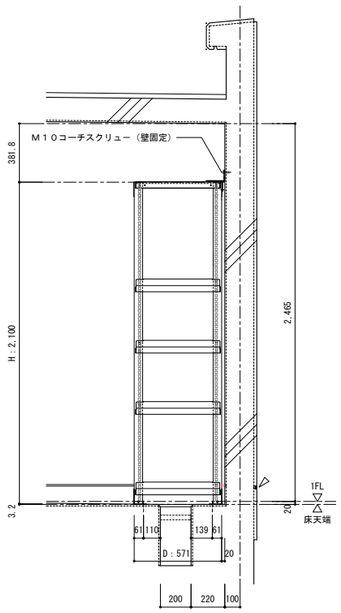
屋内貯蔵所　中量棚　配置図



平 面 図



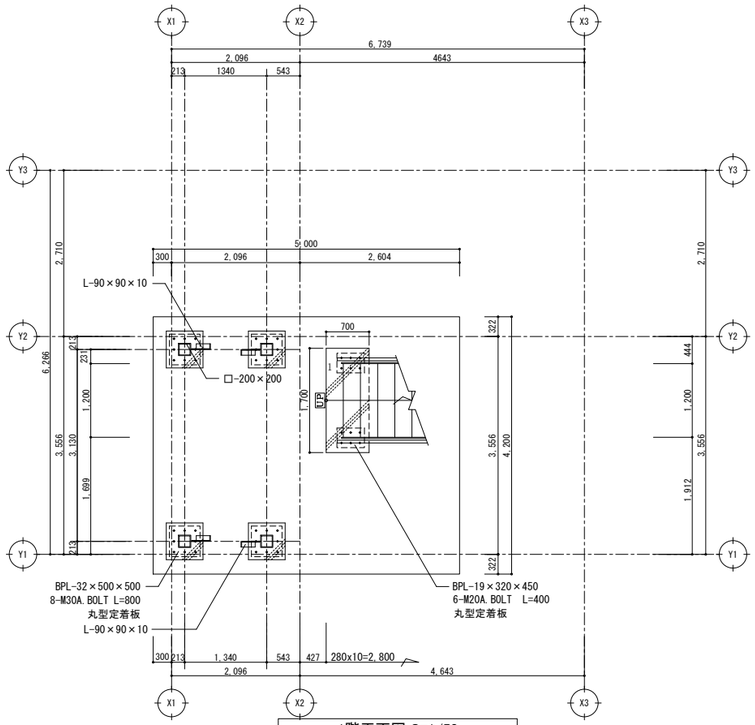
正 面 図



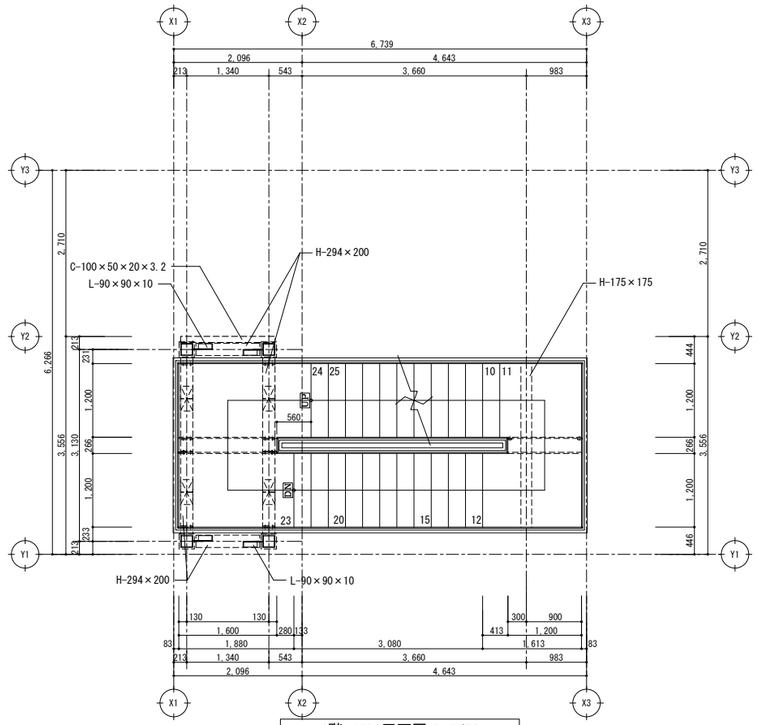
断 面 図

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】 屋内貯蔵所　家具図	2023/03

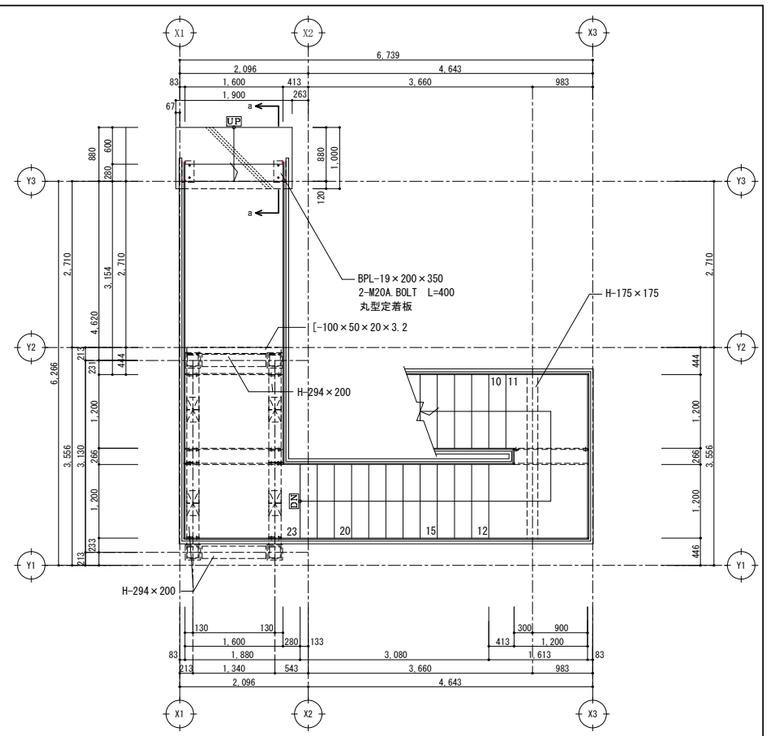
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-503



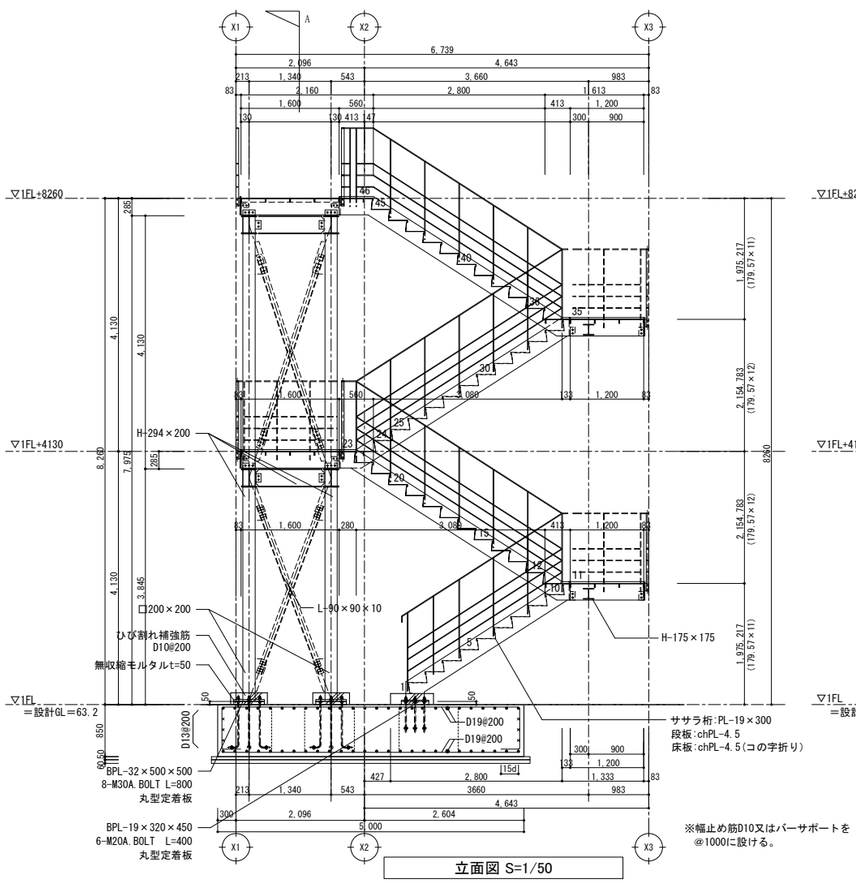
1階平面図 S=1/50



1階+4130平面図 S=1/50

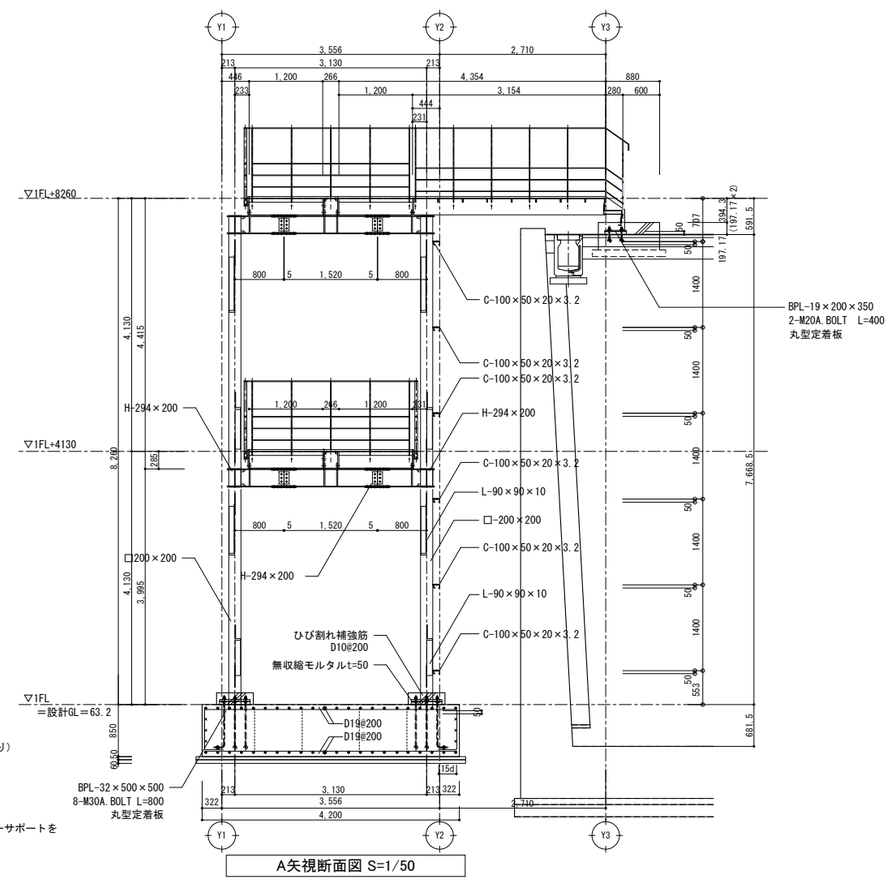


1階+8260平面図 S=1/50

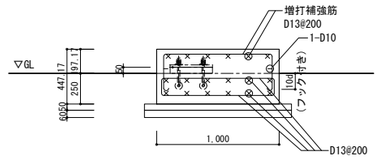


立面図 S=1/50

※幅止め筋D10又はパーサポートを
@1000に設ける。



A矢視断面図 S=1/50



平板載荷試験を行い長期地耐力30kN/m² を確認すること。

a-a矢視断面図 1/25

基礎は特記なき限り下記による。
コンクリート：FC24
鉄筋：SD295(D16以下),SD345(D19以上)
設計地耐力
上段基礎：長期30kn/m²
下段基礎：長期240kn/m²
短期480kn/m²

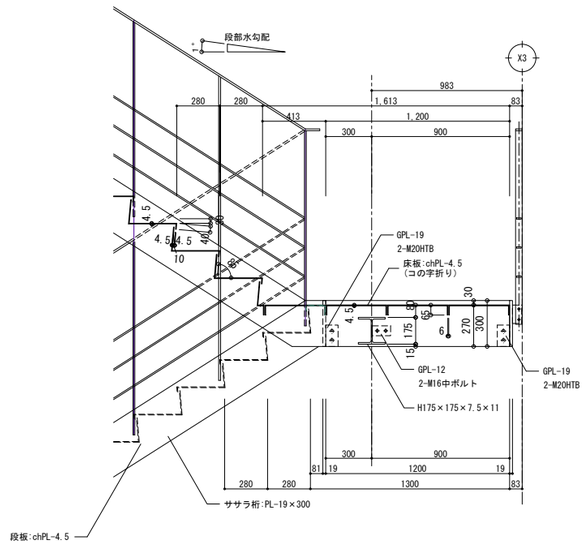
鉄部は溶融亜鉛鍍金仕上げ

鋼材主材料	階段	
部　材	種　類	記　号
階段　階段受鉄骨	厚板(t=9以上)	SS400
	薄板(t=9未満)	SS400
	形鋼	SS400
柱	形鋼	BCR295
段板	縞鋼板	NFP400
		CP400
	HTB	F8T
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ 定着板式	SS400
	ダイアフラム	SN490C
	Y方向（ラーメン架構）の梁	SN400B
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	SNR400B

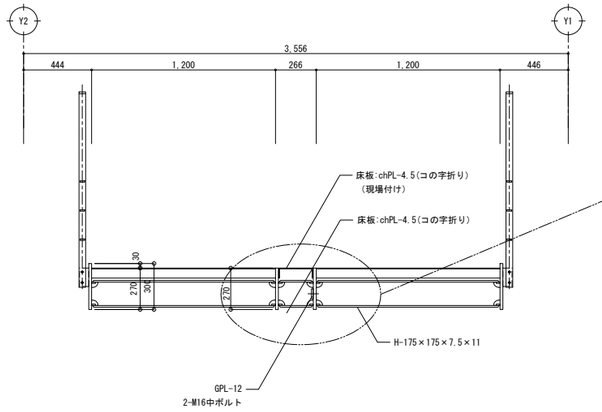
特記事項
屋外階段については、訓練用ではなく敷地内段差を解消する為のものとする。

※地下埋設管あり
水道管500
水道管350
ガス管中圧300

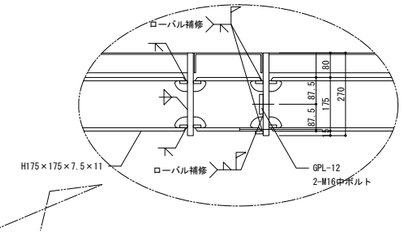
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【その他】 屋外階段詳細図（1）		2023/03
NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:1/50,1/25 A3:1/100,1/50	A-504

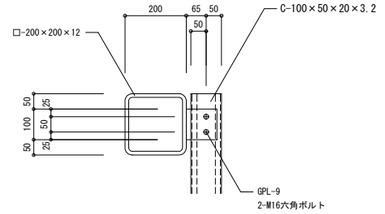


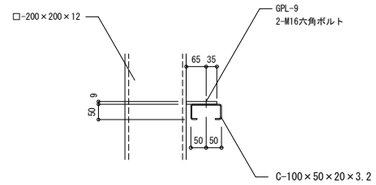
中間踊場詳細図 A1:1/20 A3:1/40



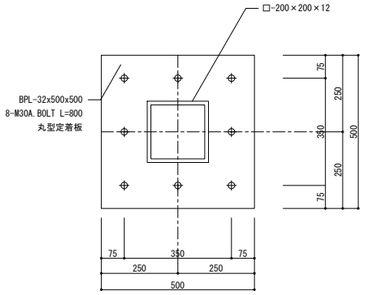
B矢視詳細図 A1:1/20 A3:1/40



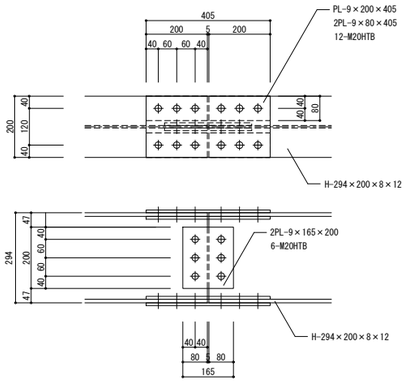




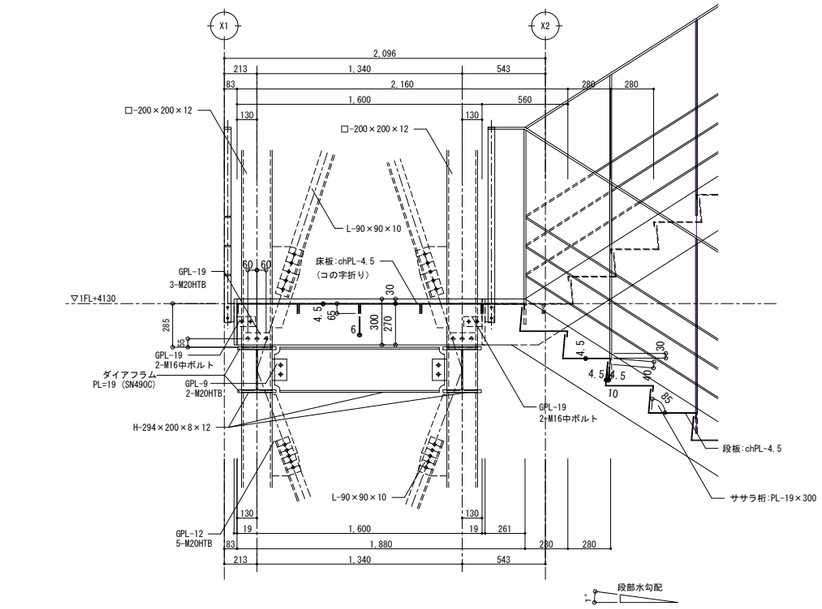
柱設備用部材取付詳細図 A1:1/10 A3:1/20



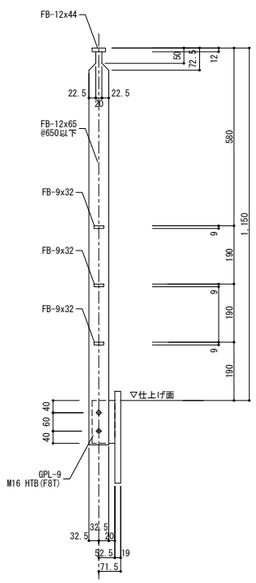
柱ベース詳細図 A1:1/10 A3:1/20



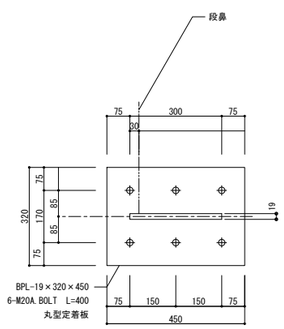
梁ジョイント詳細図 A1:1/10 A3:1/20



フロア踊場詳細図 A1:1/20 A3:1/40



手摺詳細図 A1:1/10 A3:1/20



階段ベース詳細図 A1:1/10 A3:1/20

特記事項
屋外階段については、訓練用ではなく敷地内段差を解消する為のものとする。

※地下埋設管あり
水道管500
水道管350
ガス管中圧300

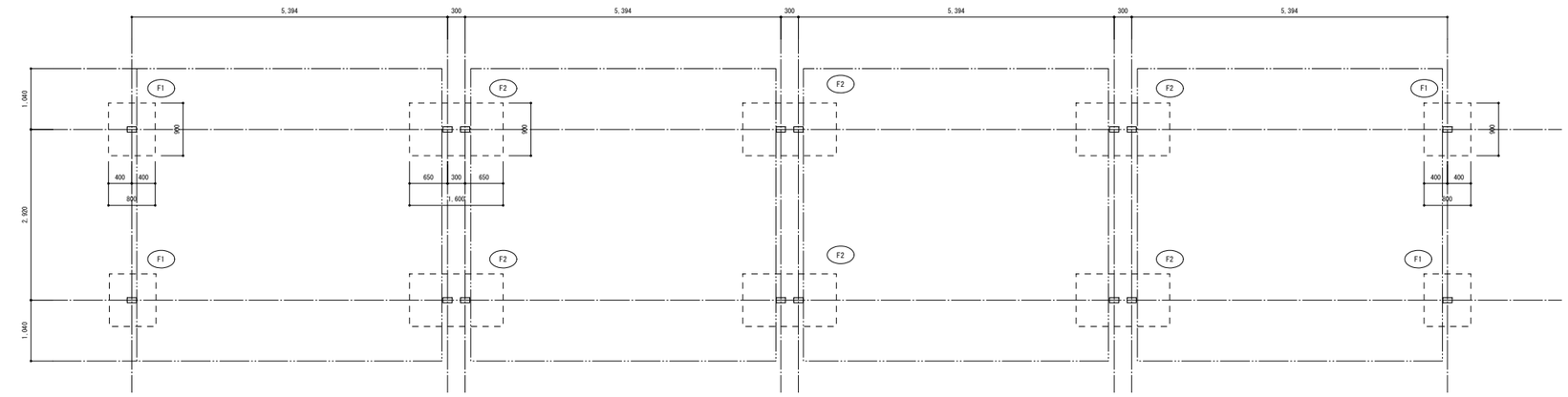
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【その他】 屋外階段詳細図（2）		2023/03
NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田 文武	安川 雅巳	A1:1/20 A3:1/40	A-505

特記事項
コンクリート：FC24
鉄筋：SD295
設計地耐力：長期50kN/m²
：短期100kN/m²

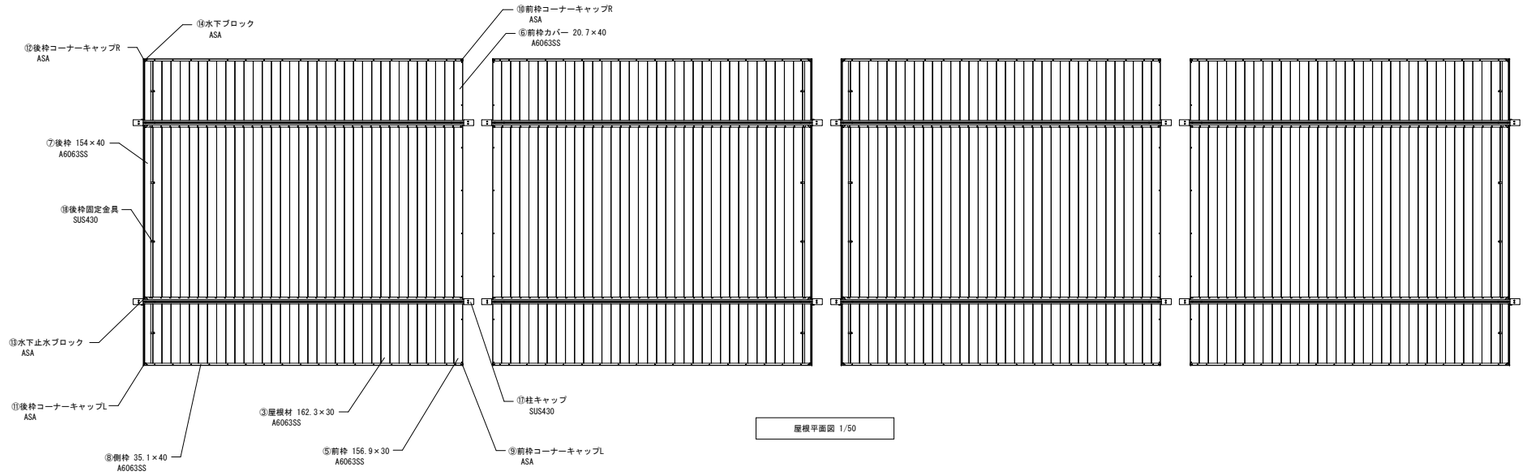
LIXIL　カーポートSC 2台用　同等品

部材名	規格・材質
①柱	JIS H 4100 A6N01SS-T5
②梁	（アルミ押出し形材）
③屋根材	（不燃材　H12建告第1365号）
④柱カバー	
⑤前枠	JIS H 4100 A6063SS-T5
⑥前枠カバー	（アルミ押出し形材）
⑦後枠	（不燃材　H12建告第1365号）
⑧側枠	
⑨前枠コーナーキャップL	
⑩前枠コーナーキャップR	
⑪後枠コーナーキャップL	
⑫後枠コーナーキャップR	ASA （樹脂）
⑬水下止水ブロック	
⑭水下ブロック	
⑮排水部品A	
⑯排水部品B	
⑰柱キャップ	SUS430
⑱後枠固定金具	
⑲アンカー棒	SS400
ボルト類	JIS B 1187/1174
ネジ類	JIS B 1111/1124

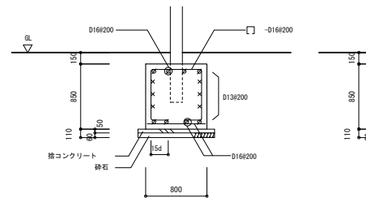
特記事項
③屋根材　：アルミ押出し形材　H12建告第1365号



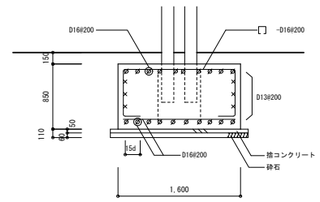
平面図 1/50



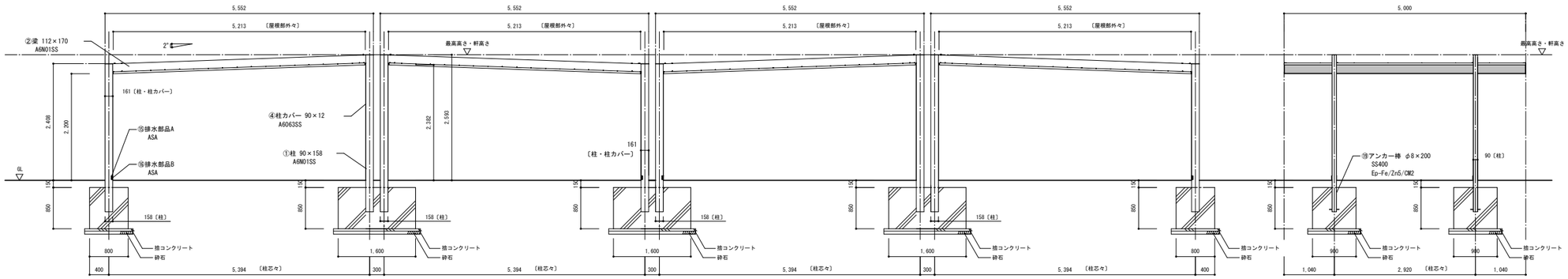
屋根平面図 1/50



F1基礎図　1/40



F2基礎図　1/40



断面図 1/50

断面図 1/50

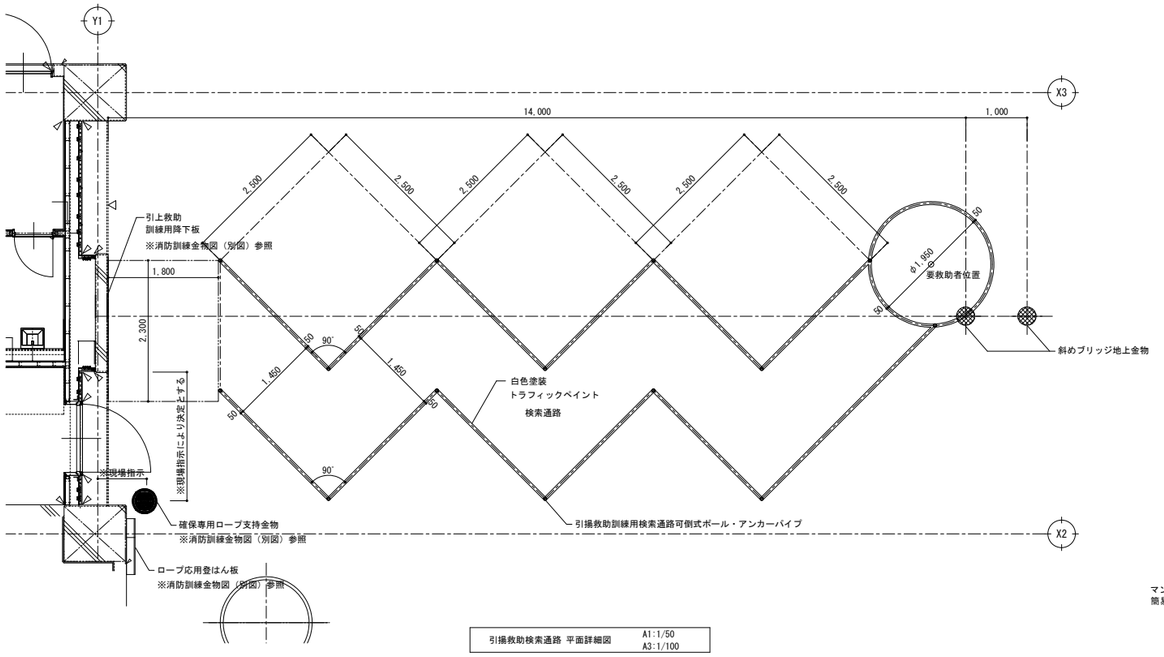
代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　カーポート詳細図	2023/03

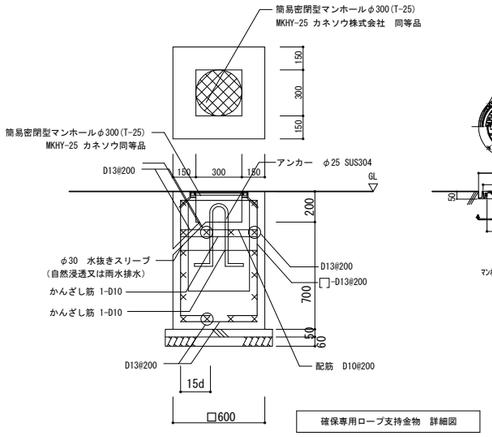
NEXJEC 株式会社ニュージェック

管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
小田　文武	安川　雅巳	A1：1/40, 1/50 A3：1:80, 1/100	A-506

外構０１ | 引揚救助検索通路巡り　消防訓練金物詳細図 | A1:1/20 A3:1/40

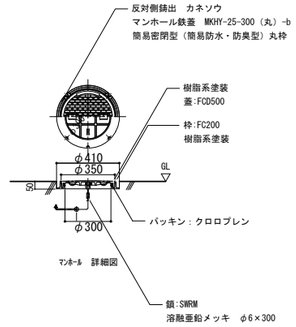


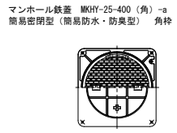
引揚救助検索通路 平面詳細図　A1:1/50 A3:1/100

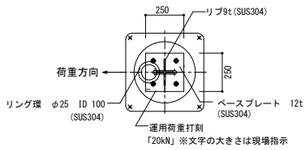


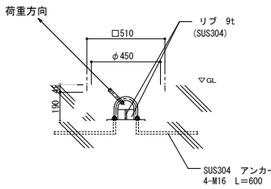
確保専用ロープ支持金物　詳細図

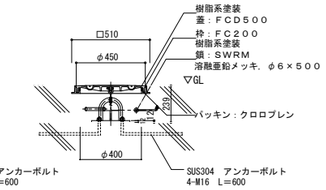
特記事項
コンクリート：FC24
鉄筋：SD295
設計地耐力：長期50kN/m²
(SUS304)　：短期100kN/m²
運用最大荷重：7KN





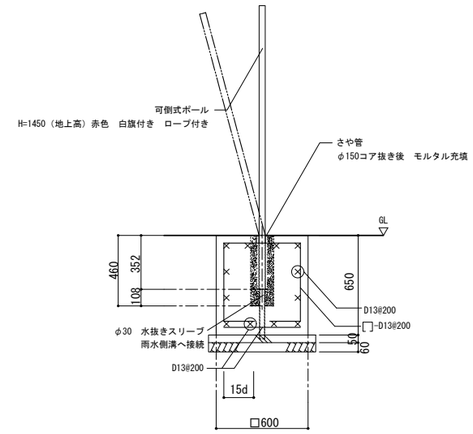






斜めブリッジ地上金物　詳細図

特記事項
運用最大荷重：20KN

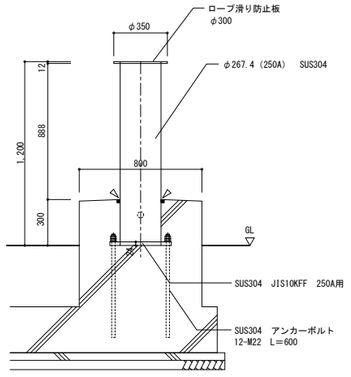


検索通路可倒式ポール・アンカーパイプ　詳細図　A1:1/50 A3:1/100

特記事項
コンクリート：FC24
鉄筋：SD295

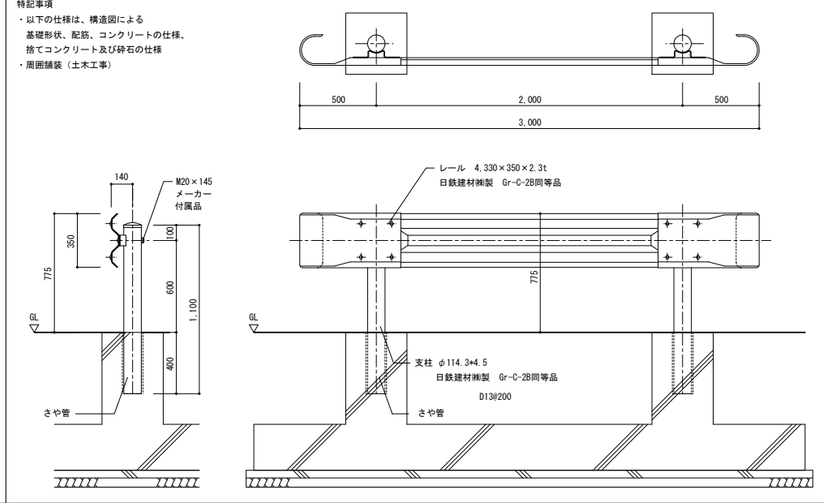
外構０２ | 傾斜地訓練施設　懸定立ち木　消防訓練金物詳細図 | A1:1/20 A3:1/40

特記事項
・運用最大荷重：20KN
・以下の仕様は、構造図による
　基礎形状、配筋、コンクリートの仕様、捨てコンクリート及び砕石の仕様
・周囲舗装（土木工事）



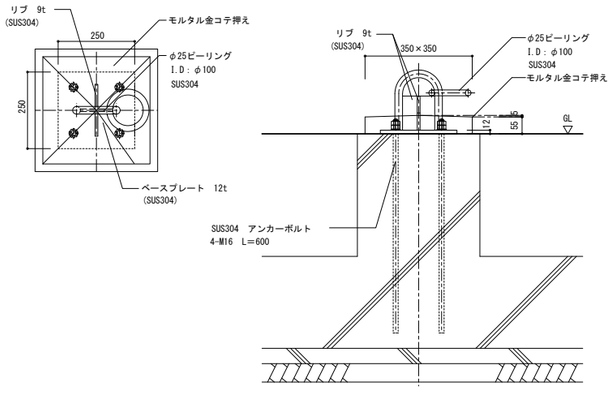
外構０３ | 着脱式ガードレール　消防訓練金物詳細図 | A1:1/20 A3:1/40

特記事項
・以下の仕様は、構造図による
　基礎形状、配筋、コンクリートの仕様、
　捨てコンクリート及び砕石の仕様
・周囲舗装（土木工事）



外構０４ | 傾斜地訓練施設　床アンカー　消防訓練金物詳細図 | A1:1/10 A3:1/20

特記事項
・運用最大荷重：20KN
・以下の仕様は、構造図による
　基礎形状、配筋、コンクリートの仕様、捨てコンクリート及び砕石の仕様
・周囲舗装（土木工事）



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士 第247426号	一級建築士 第318795号	一級建築士 第322365号

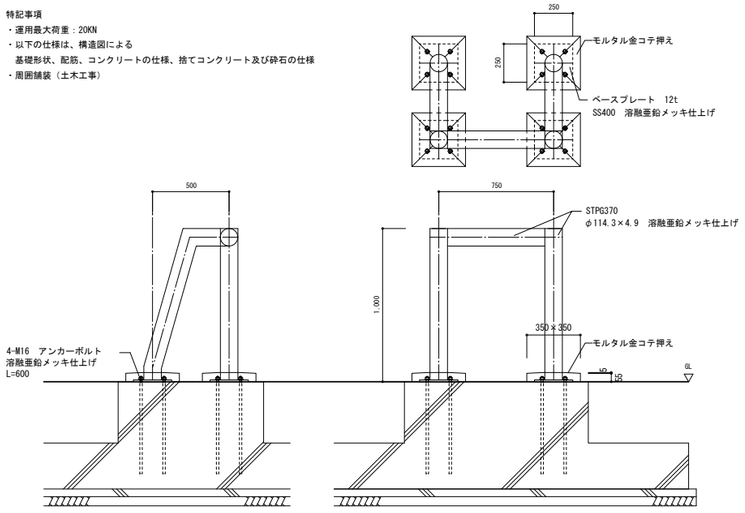
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】 外構詳細図（1）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-507

外構０５　傾斜地訓練施設　管状支点 詳細図

A1:1/20
A3:1/40

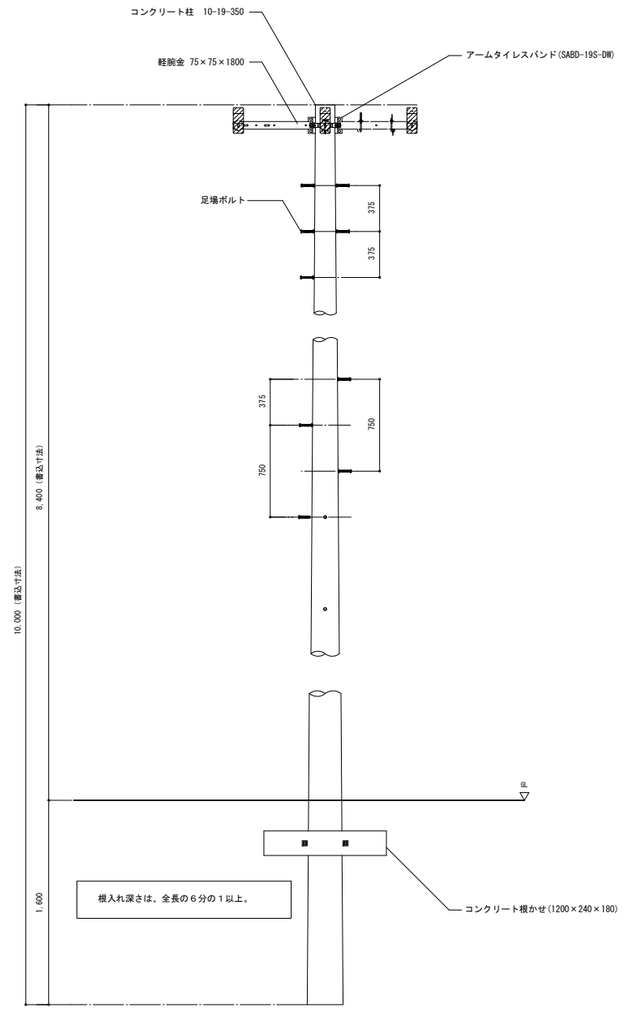
特記事項
・運用最大荷重：20KN
・以下の仕様は、構造図による
　基礎形状、配筋、コンクリートの仕様、捨てコンクリート及び砕石の仕様
・周囲舗装（土木工事）



外構０８　想定電柱　詳細図

A1:1/25
A3:1/50

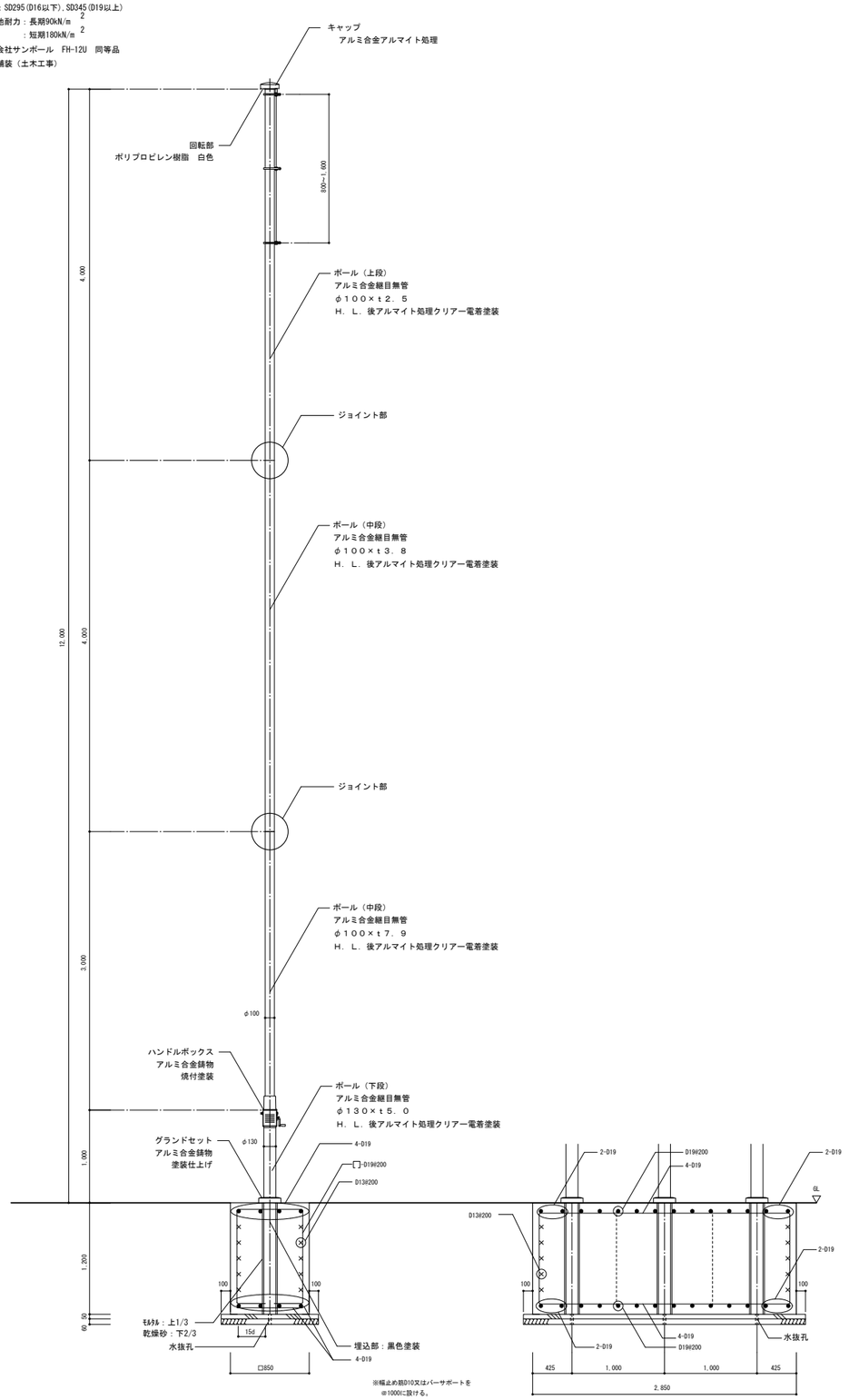
特記事項
・周囲舗装（土木工事）



外構０６　掲揚ポール　詳細図

A1:1/30
A3:1/60

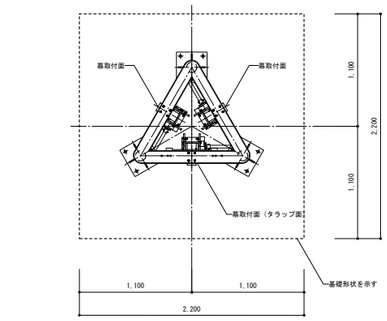
特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295(D16以下)、SD345(D19以上)
・設計地耐力：長期90kN/m²
　　：短期180kN/m²
・株式会社サンポール　FH-12U　同等品
・周囲舗装（土木工事）

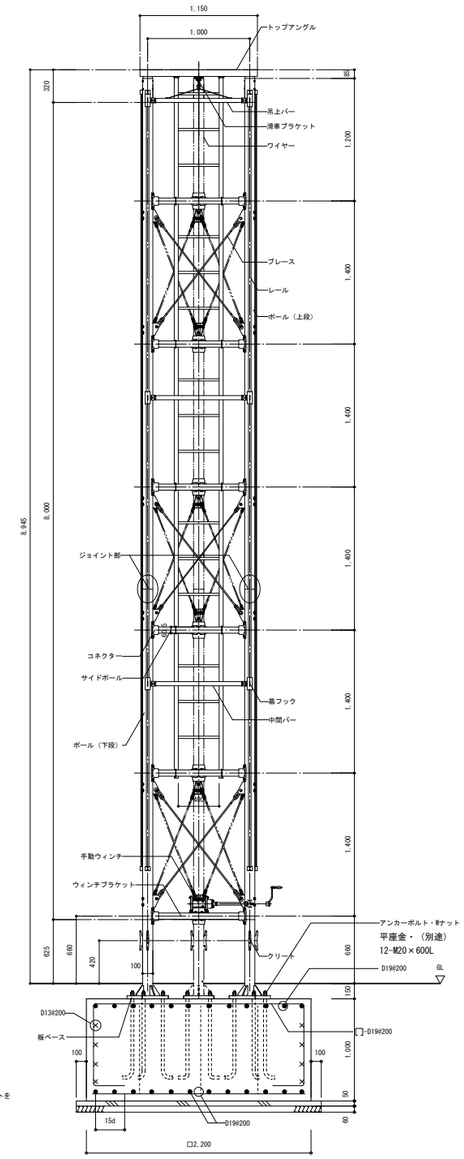


外構０７　懸垂幕　詳細図

A1:1/30
A3:1/60

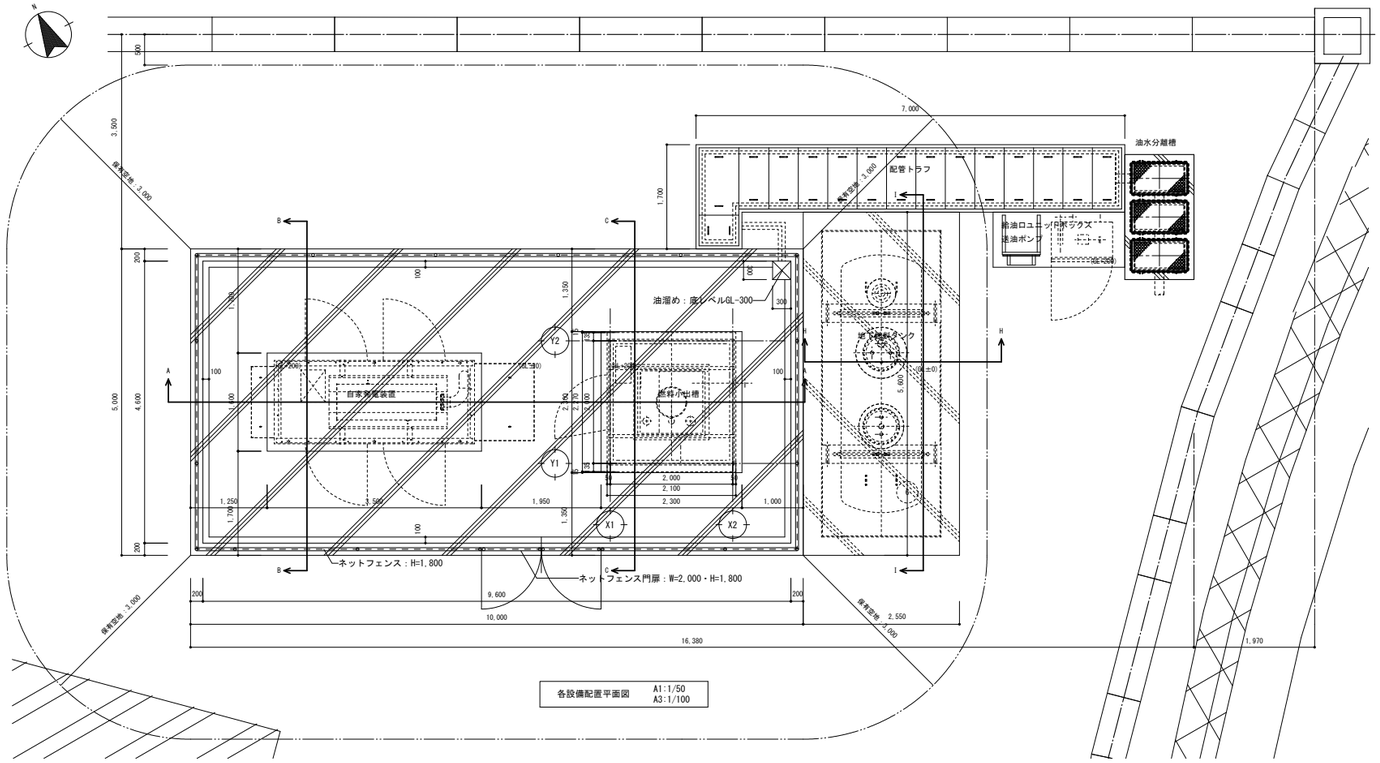
特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295(D16以下)、SD345(D19以上)
・設計地耐力：長期50kN/m²
　　：短期100kN/m²
・株式会社サンポール　CPW-9N-M3　同等品
・周囲舗装（土木工事）





※幅止め筋D10又はバーサポートを
※1000に設ける。

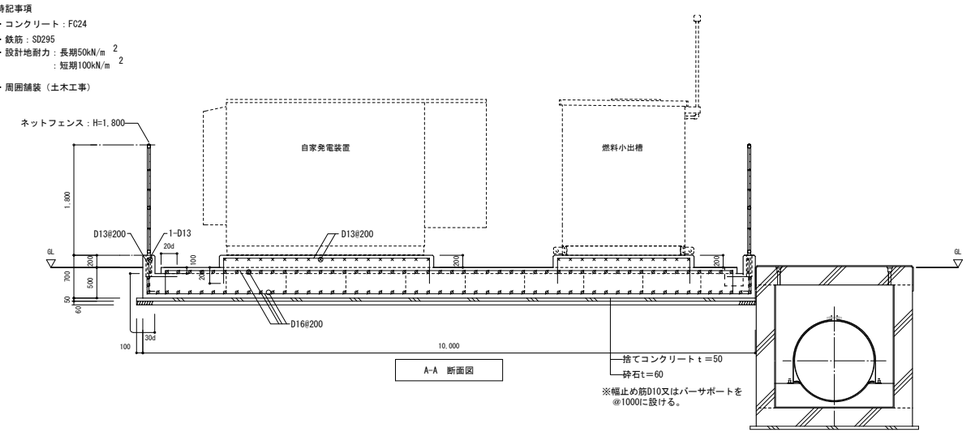
工事名		図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事		【その他】　外構詳細図（2）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名 小田　文武	設計者名 安川　雅巳	縮尺 A1:各記 A3:各記	図面番号 A-508



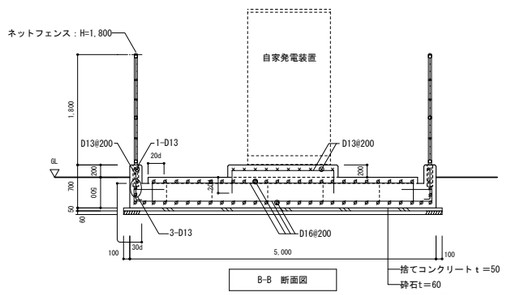
各設備配置平面図　A1:1/50　A3:1/100

外構０９	自家用発電装置・燃料小出槽　基礎詳細図	A1:1/50 A3:1/100

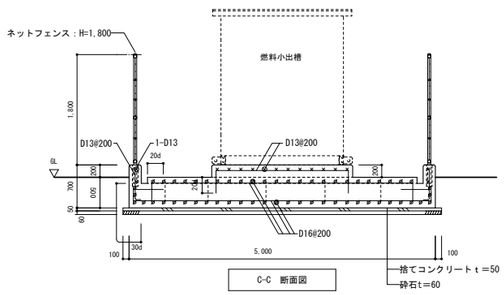
特記事項
- コンクリート：FC24
- 鉄筋：SD295
- 設計地耐力：長期50kN/m²　：短期100kN/m²
- 周囲舗装（土木工事）



A-A　断面図



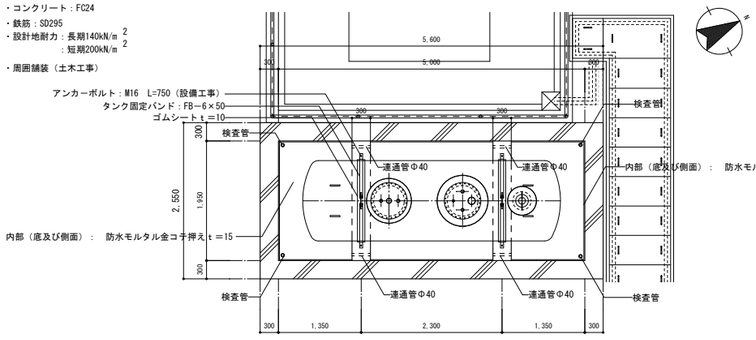
B-B　断面図



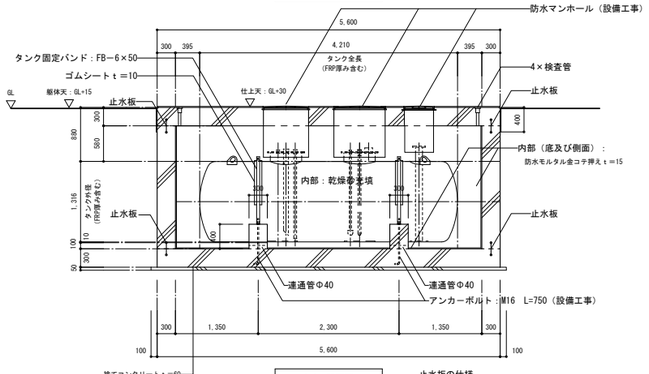
C-C　断面図

外構１０	地下燃料タンク　詳細図	A1:1/50 A3:1/100

特記事項
- コンクリート：FC24
- 鉄筋：SD295
- 設計地耐力：長期140kN/m²　：短期200kN/m²
- 周囲舗装（土木工事）

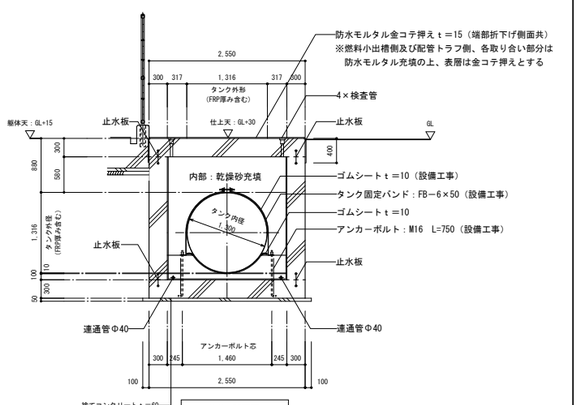


平面図



I-I　断面図

止水板の仕様
止水板W=200（結束線付）※リステンプレート差し込み式同等品

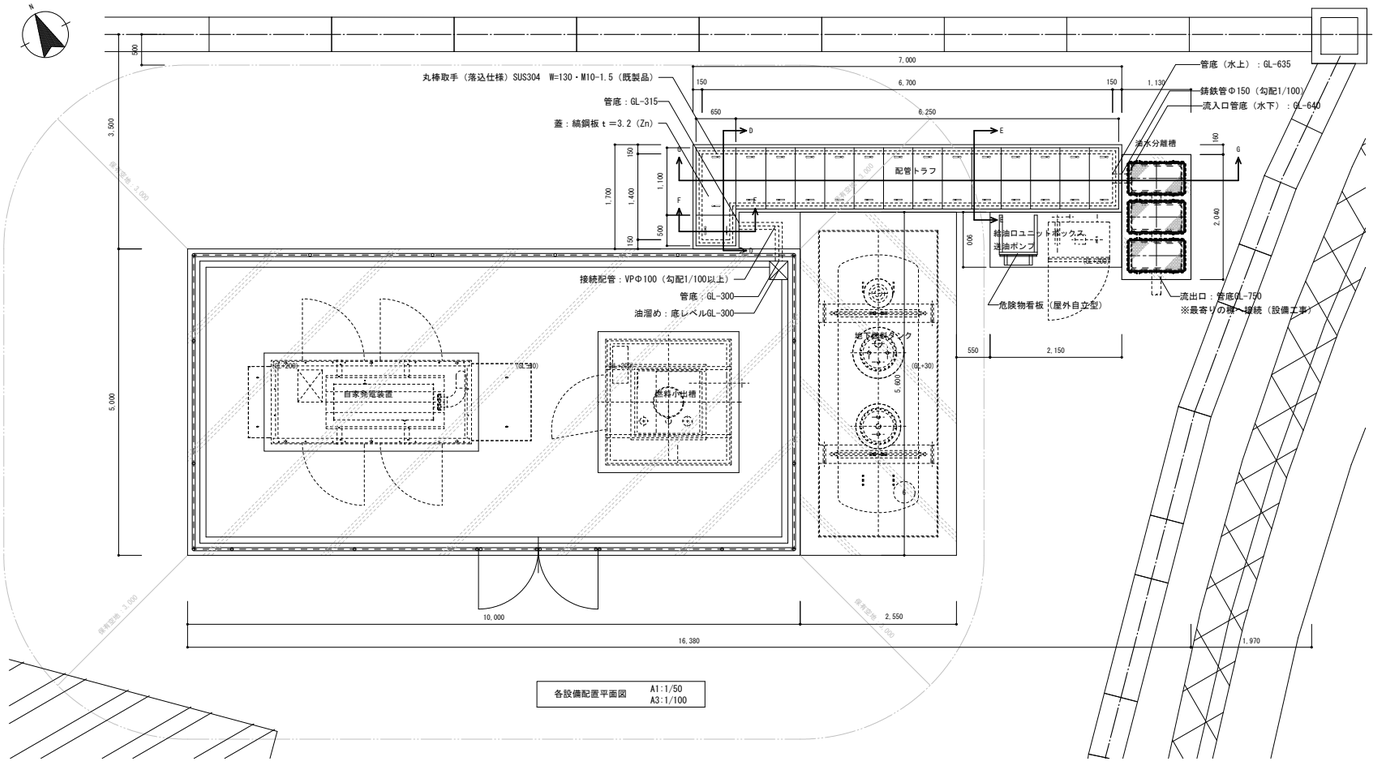


H-H　断面図

特記事項
（１）埋設深さは、現場の油配管勾配により決定すること。
注1）タンク付近は火気厳禁の事
注2）砕石は再生クラッシャランでもよい
（２）配筋の仕様については、構造図による。
（３）四隅検査管及び連通管の有無は客先・消防の判断により決定する。

代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称		作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　外構詳細図（３）		2023/03
NEWJEC　株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-509

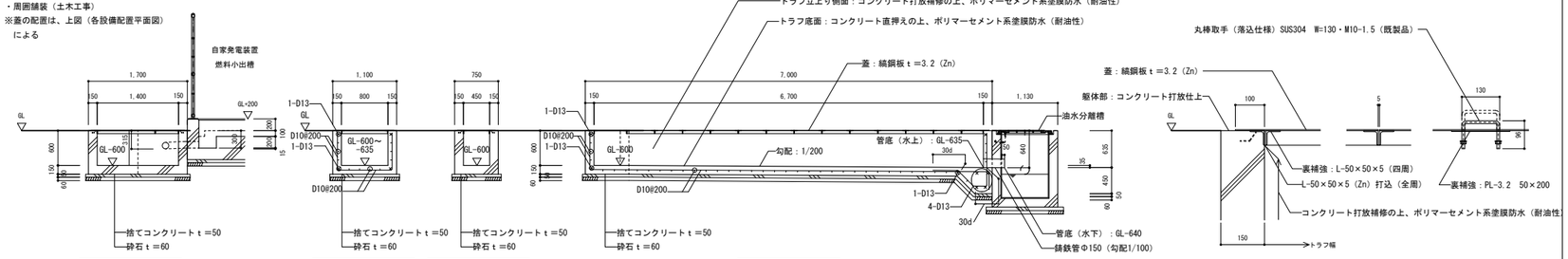


各設備配置平面図　A1:1/50　A3:1/100

外構１１　配管トラフ　詳細図

A1:1/50　A3:1/100

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・周囲舗装（土木工事）
※蓋の配置は、上図（各設備配置平面図）による

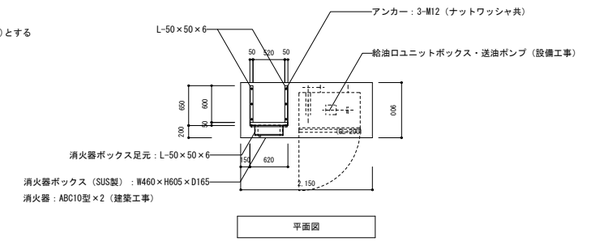


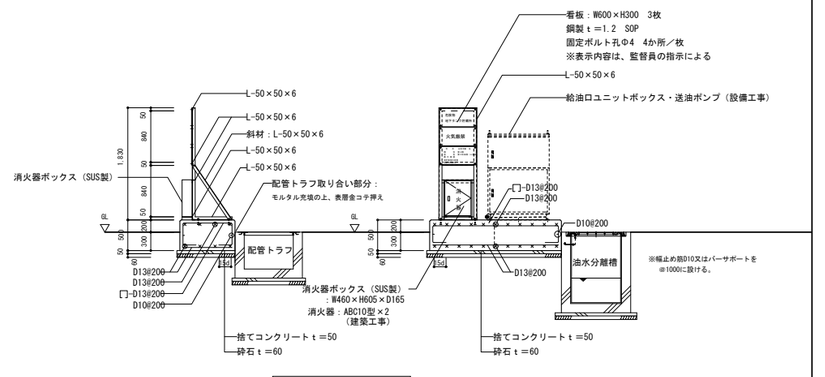
ポリマーセメント系塗膜防水（耐油性）
パラテックス防水B-2工法　同等品

外構１２　給油口ユニットボックス・送油ポンプ　基礎詳細図　危険物看板（屋外自立型）　詳細図

A1:1/50　A3:1/100

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・設計地耐力：長期 50kN/m²　短期100kN/m²
・周囲舗装（土木工事）
※看板のフレーム及びボルト類は、SUS304（HL）とする

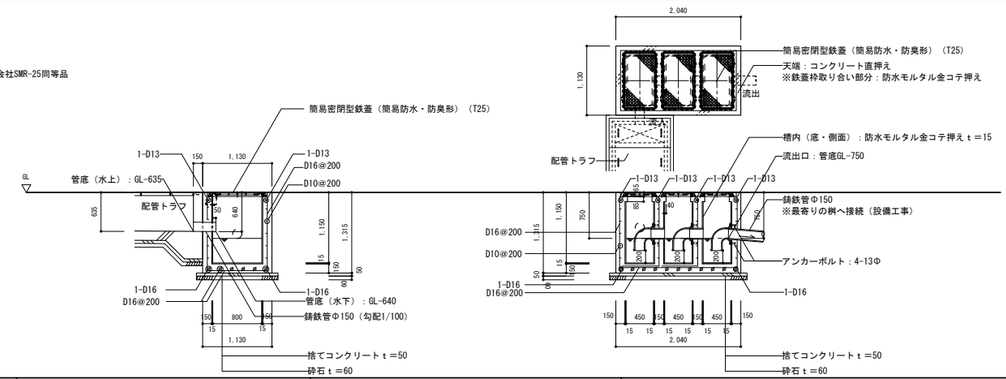




外構１３　油水分離槽　詳細図

A1:1/50　A3:1/100

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・建築工事標準詳細図（最新版）9-13-1　参照
・簡易密閉型鉄蓋（簡易防水・防臭形）（T25）　カネソウ株式会社SMR-25同等品
・周囲舗装（土木工事）



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

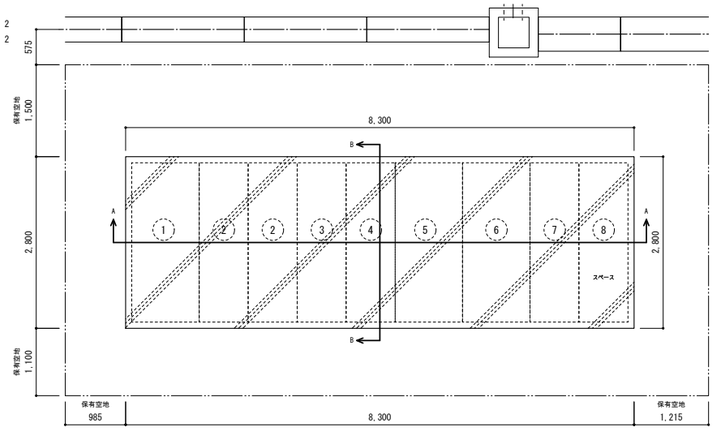
工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　外構詳細図（4）	2023/03

NEWJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-510

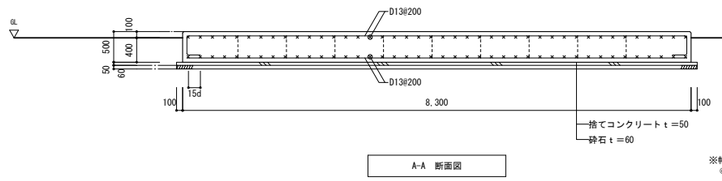
外構１４　受変電設備基礎　詳細図

A1:1/50
A3:1/100

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・設計地耐力：長期30kN/m²
　　：短期60kN/m²
・周囲舗装（土木工事）

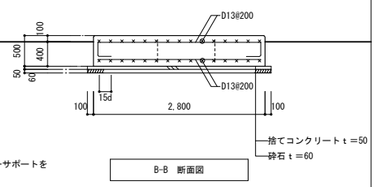


基礎　平面図



A-A　断面図

※幅止め筋D10又はバーサポートを
@1000に設ける。

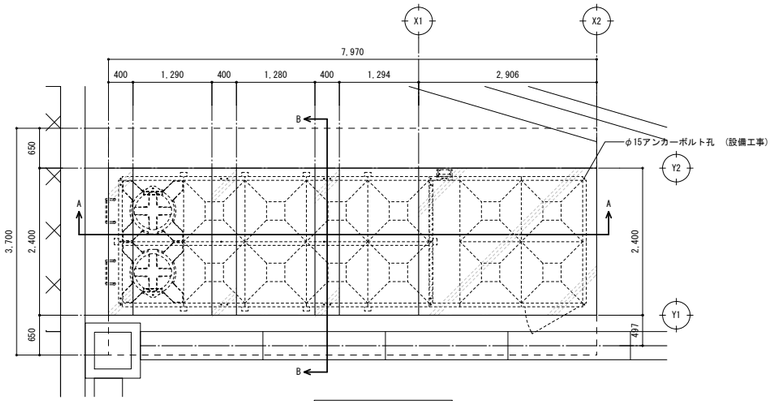


B-B　断面図

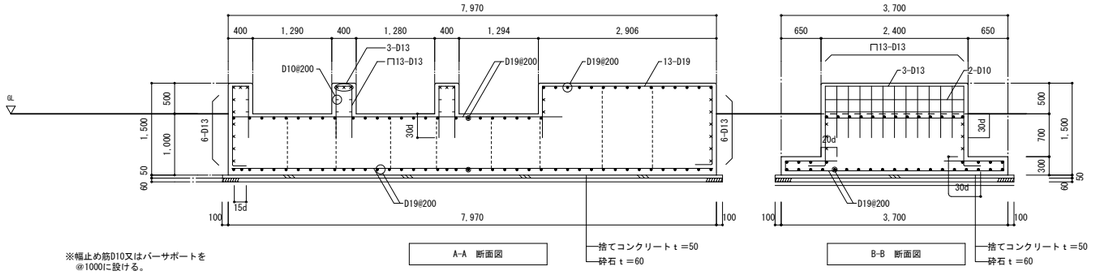
外構１５　受水槽ポンプ室基礎　詳細図

A1:1/50
A3:1/100

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295(D16以下)、SD345(D19以上)
・設計地耐力：長期40kN/m²
　　：短期90kN/m²
・周囲舗装（土木工事）



基礎　平面図



A-A　断面図

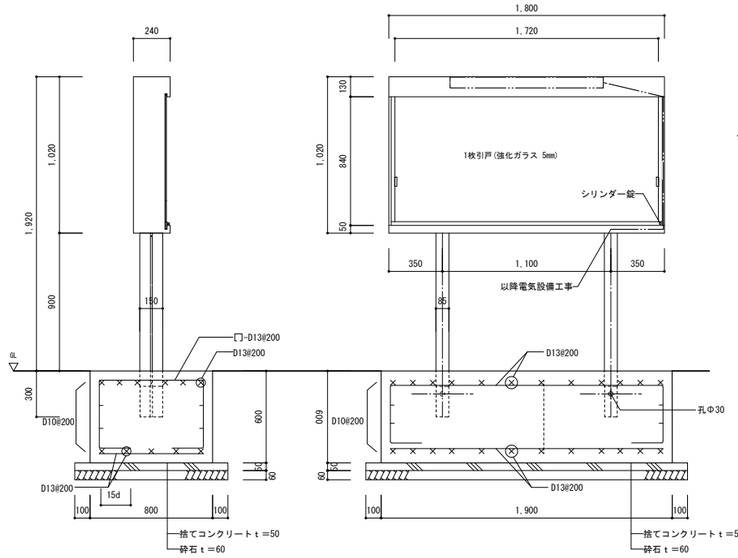
B-B　断面図

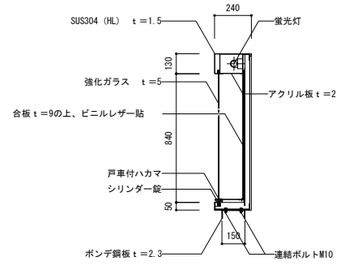
※幅止め筋D10又はバーサポートを
@1000に設ける。

外構１６　屋外掲示板　詳細図

A1:1/20
A3:1/40

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・設計地耐力：長期70kN/m²
　　：短期130kN/m²
・周囲舗装（土木工事）
・神栄ホームクリエイト株式会社（旧新協和）SK-1800-2同等品



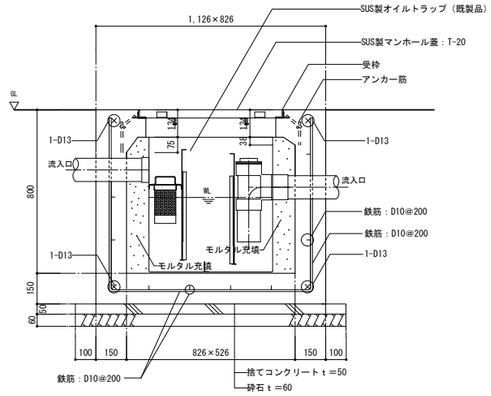


※幅止め筋D10又はバーサポートを
@1000に設ける。

外構１７　オイルトラップ　詳細図

A1:1/15
A3:1/30

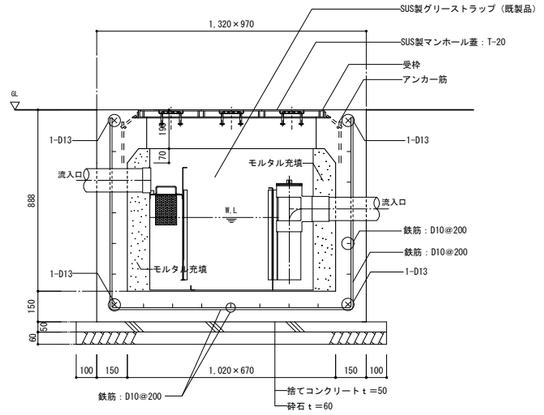
特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・周囲舗装（土木工事）
・SUS製オイルトラップ（既製品）　ホーコス株式会社　KS3-60PD同等品
・SUS製マンホール蓋：T-20　ホーコス株式会社　KS3-60PD同等品
※流入及び流出のレベルについては、設備及び土木と調整の上、最終決定する



外構１８　グリーストラップ　詳細図

A1:1/15
A3:1/30

特記事項
・コンクリート：FC24
・鉄筋：SD295
・周囲舗装（土木工事）
・SUS製グリーストラップ（既製品）　ホーコス株式会社　HGS-NX50PD同等品
・SUS製マンホール蓋：T-20　ホーコス株式会社　HGS-NX50PD同等品
※流入及び流出のレベルについては、設備及び土木と調整の上、最終決定する



代表となる設計者	その他の設計者	その他の設計者
宮原　嘉成	小田　文武	安川　雅巳
一級建築士　第247426号	一級建築士　第318795号	一級建築士　第322365号

工事名	図面の名称	作成年月日
相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎建設工事	【その他】　外構詳細図（5）	2023/03

NEXJEC 株式会社ニュージェック	管理技術者名	設計者名	縮尺	図面番号
	小田　文武	安川　雅巳	A1:各記 A3:各記	A-511